

本書の見かた

本ページは見本を使って本書の基本的な読みかたを説明しています。

タイトル

階層により区別しています。

参照先

関連する内容が記載されているページなどを案内しています。

運転する前に/スイッチの使いかた

フォグランプ

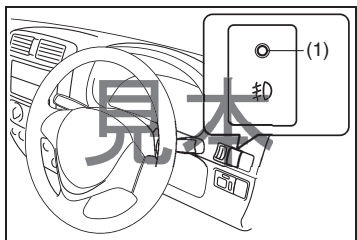
タイプ別装備

フォグランプスイッチ

ヘッドライトや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

→ 3-53ページ（ライトスイッチ）

- スイッチを押すとフォグランプが点灯し、スイッチ内の表示灯（1）が点灯します。もう一度押すと消灯します。



注記

バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

ヘッダー

ページの内容を案内しています。

タイプ別装備

お車のグレードなどにより装備の有無が異なる事を示しています。

3

章番号

各章の番号を案内しています。

操作要領

装備の取扱いかなどを説明しています。

警告・注意・注記・アドバイス

前ページをお読みください。

本書ではハイブリッドのシステムによって、下記のように書き分けておりません。

ハイブリッド車



マイルドハイブリッド車



お知りになりたいことをさがすときは

次のような方法で検索されますと、すばやくさがせます。

■ タイトルからさがす

- ◆ 総合目次
- ◆ 各章のはじめの目次
- ◆ ヘッダー

■ ハイブリッドシステム特有の記載をさがす

- ◆ ハイブリッドシステム → 5-19ページ

■ 取り付け位置、警告灯・表示灯からさがす

- ◆ イラスト目次 → 1-2ページ

■ ブザー音からさがす

- ◆ 警告ブザーが鳴ったときは → 1-28ページ

■ 名称からさがす

- ◆ さくいん → 11-1ページ

■ 4WD車特有の記載をさがす

- ◆ 4WD車を運転するときは → 6-9ページ
- ◆ タイヤチェーン → 6-15ページ
- ◆ けん引してもらうときは → 8-5ページ

■ オイルや、交換部品をさがす

- ◆ お車との上手なつきあいかた → 9-1ページ
- ◆ 万-のとき → 8-1ページ
- ◆ サービスデータ → 10-1ページ

■ よくあるご質問（Q & A）からさがす

- ◆ よくあるご質問（Q & A） → 1-39ページ

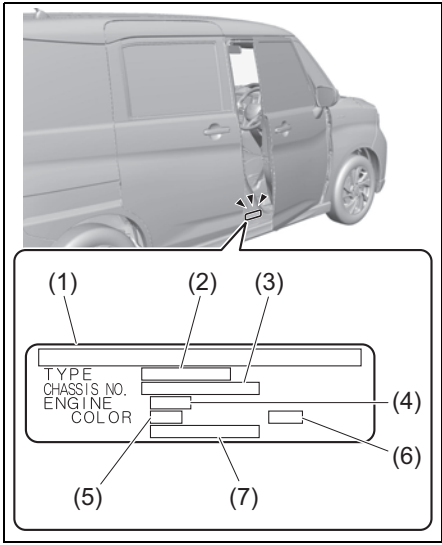
ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、IDプレートをご覧ください。

ご 愛 車 の メ モ	
車名および 車両型式	車名：
	型式：
車台番号	
エンジン型式	
車体色記号	
営業機種記号	
トランス ミッション	
ナンバープレート (自動車登録番号)	
ご購入年月日	年 月 日

IDプレート

運転席ドアを開いたところに貼付してあります。



83S01160

- (1) IDプレート
- (2) 車両型式
- (3) 車台番号
- (4) エンジン型式
- (5) 車体色記号
- (6) 車体色と内装色の組合せコード
- (7) 営業機種記号(補助記号)

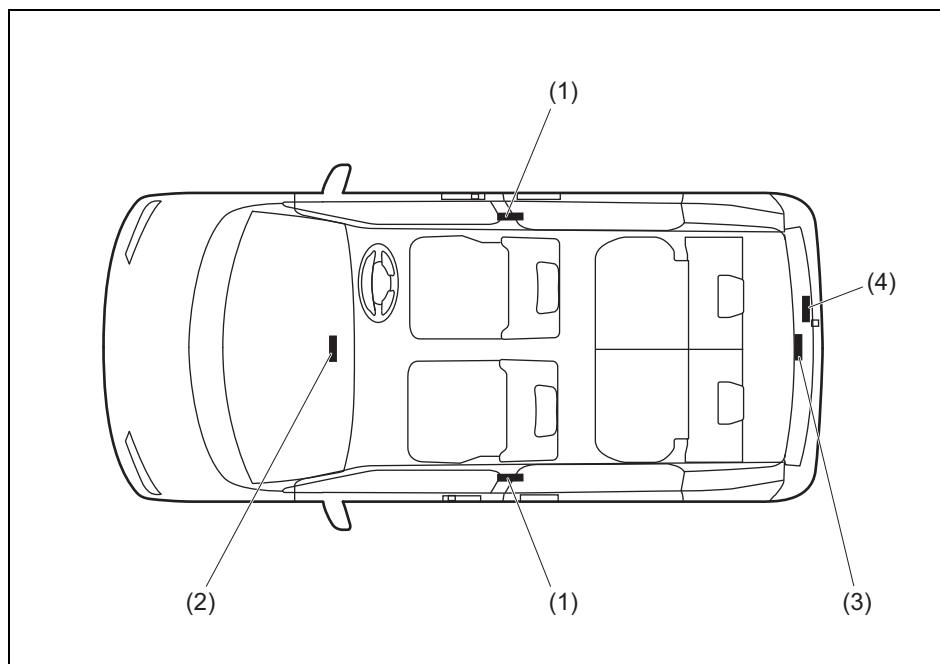
植込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響をあたえるおそれがあります。

キーレスプッシュスタートシステムの各発信機（下図参照）から約22 cm以内の範囲に、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）が近づかないようにしてください。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療用電気機器を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの電波が医療用電気機器の作動に影響をあたえる場合があるため、医療用電気機器製造業者などへ影響を確認してください。
- 詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。



83S01170

- (1) 前席ドア車外発信機
- (2) 車室内発信機
- (3) 荷室発信機
- (4) バックドア車外発信機

データの記録について

この車には、車両の制御や操作などに関するデータを記録するコンピュータが装備されており、以下のデータを記録します。

データの種類について

- エンジンの回転数など、エンジンの状態
 - ギヤポジションなど、変速機の状態
 - アクセル、ブレーキ、シフトポジションなど、操作の状態
 - 各種コンピュータシステムの故障に関する情報
 - SRSエアバッグ作動に関する情報
(イベントデータレコーダー (EDR) に記録されます。EDR は Event Data Recorderの略です。)
- **2-53ページ (SRSエアバッグ)**

⚠️アドバイス

- お車のタイプにより、記録されるデータは異なります。
- 会話などの音声は記録しません。
- 使用条件などにより、データが記録されない場合があります。

データの開示について

スズキおよびスズキが委託した第三者は、コンピュータに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、スズキおよびスズキが委託した第三者は、次の場合を除き、取得したデータを第三者へ開示・提供しません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令そのほか法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを、研究機関などに提供する場合

総 合 目 次

1 クイックガイド

イラスト目次	1-2
警告灯・表示灯	1-20
警告ブザーが鳴ったときは	1-28
よくあるご質問 (Q & A)	1-39

2 安全なドライブのために

運転する前に	2-2
運転席にすわって	2-3
各部の調節	2-4
お子さまの安全のために	2-22
シートベルト	2-29
お子さま用シート	2-39
SRSエアバッグ	2-53
エンジンをかけるとき、 ハイブリッドシステムを 起動するとき	2-69
荷物を積むとき	2-71

3 運転する前に

ドアの開閉	3-2
警報装置	3-28
ウインドーの開閉	3-32
スイッチの使いかた	3-37

4 メーター

メーター	4-2
------------	-----

5 運転するときは

出発の前に	5-2
エンジン始動・停止 (ハイブリッドシステム起動・停止)	5-6
ハイブリッドシステム	5-19
車両接近通報装置	5-32
マイルドハイブリッド	5-33
アイドリングストップシステム	5-35
パーキングブレーキ	5-45

オートマチック車	5-52
オートギヤシフト車	5-63
スズキ セーフティ サポート	5-77
ESP®	5-191

6 運転するときのアドバイス

走行するとき	6-2
4WD車を運転するとき	6-9
パワースライドドアを使用するとき	6-9
エコドライブ	6-11
寒冷時の取扱い	6-12
スタック（立ち往生）	6-16
こんなことにも注意	6-17

7 装備の取扱い

主な装備	7-2
エアコン、ヒーター	7-22
オーディオ	7-35
そのほかの装備	7-38

8 万一のとき

トラブルが起きたときの対処方法	8-2
パンク	8-14
バッテリーあがり	8-34
オーバーヒート	8-37

9 お手入れのしかた

お手入れ	9-2
部品の交換	9-17
寒冷時の取扱い	9-36

10 サービスデータ

サービスデータ	10-1
---------------	------

11 さくいん

さくいん	11-1
------------	------

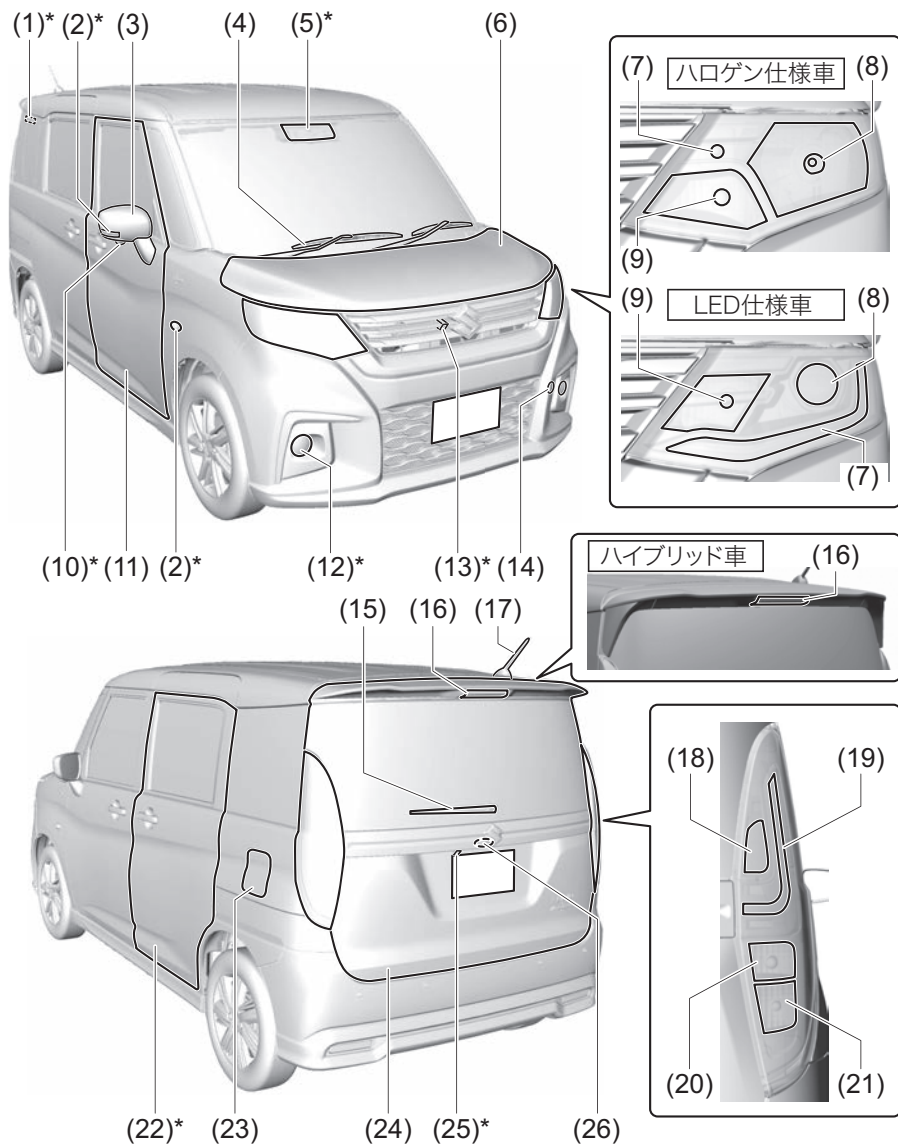
MEMO

1. クイックガイド

- **イラスト目次**
イラスト目次 1-2
- **警告灯・表示灯**
警告灯・表示灯 1-20
- **警告ブザーが鳴ったときは**
警告ブザーが鳴ったときは 1-28
- **よくあるご質問 (Q & A)**
よくあるご質問 (Q & A) 1-39

■ 外観 (ソリオ)

1

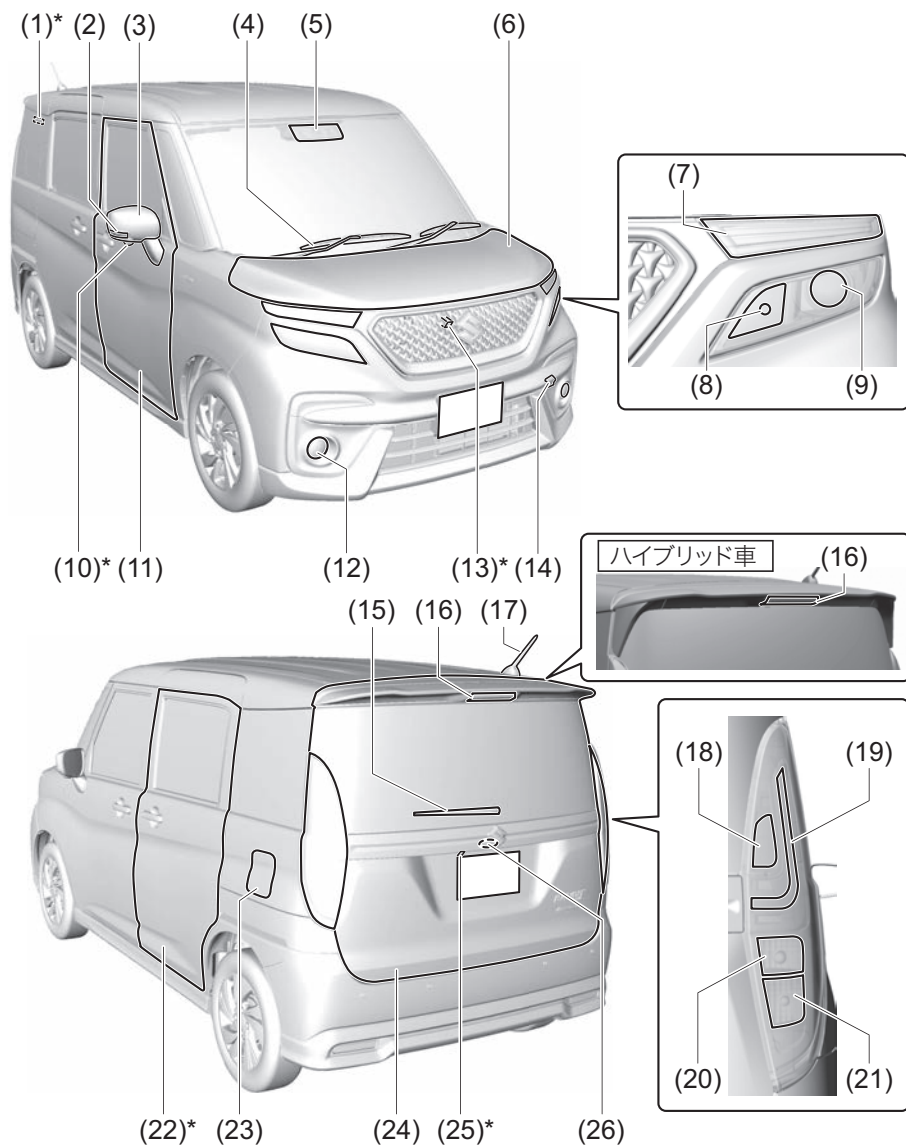


*: グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	ガラスアンテナ	7-36
(2)	方向指示器／非常点滅表示灯(フェンダー またはドアミラー)	3-42、9-26、9-29
(3)	ドアミラー	2-10
(4)	フロントワイパー	3-44、9-12
(5)	ステレオカメラ	5-78
(6)	ボンネット	7-6
(7)	車幅灯	3-37、9-26、9-29、9-30
(8)	ヘッドライト	3-37、9-26、9-29
(9)	方向指示器／ 非常点滅表示灯(フロント)	3-42、9-26、9-31
(10)	サイドカメラ	5-168
(11)	ドア	3-3
(12)	フロントフォグランプ	3-40、9-26、9-29
(13)	フロントカメラ	5-168
(14)	けん引フックカバー	8-7
(15)	リヤワイパー	3-44、9-14
(16)	ハイマウントストップランプ	9-26、9-29
(17)	ルーフアンテナ	7-35
(18)	制動灯	9-26、9-29、9-34
(19)	尾灯	9-26、9-29、9-34
(20)	方向指示器／ 非常点滅表示灯(リヤ)	3-42、9-26、9-33
(21)	後退灯	9-26、9-33
(22)	スライドドア／パワースライドドア	3-3、3-20
(23)	燃料給油口(フューエルリッド)	7-2
(24)	バックドア	3-6
(25)	バックカメラ	5-168
(26)	番号灯	9-26、9-34

■ 外観 (ソリオ バンディット)

1



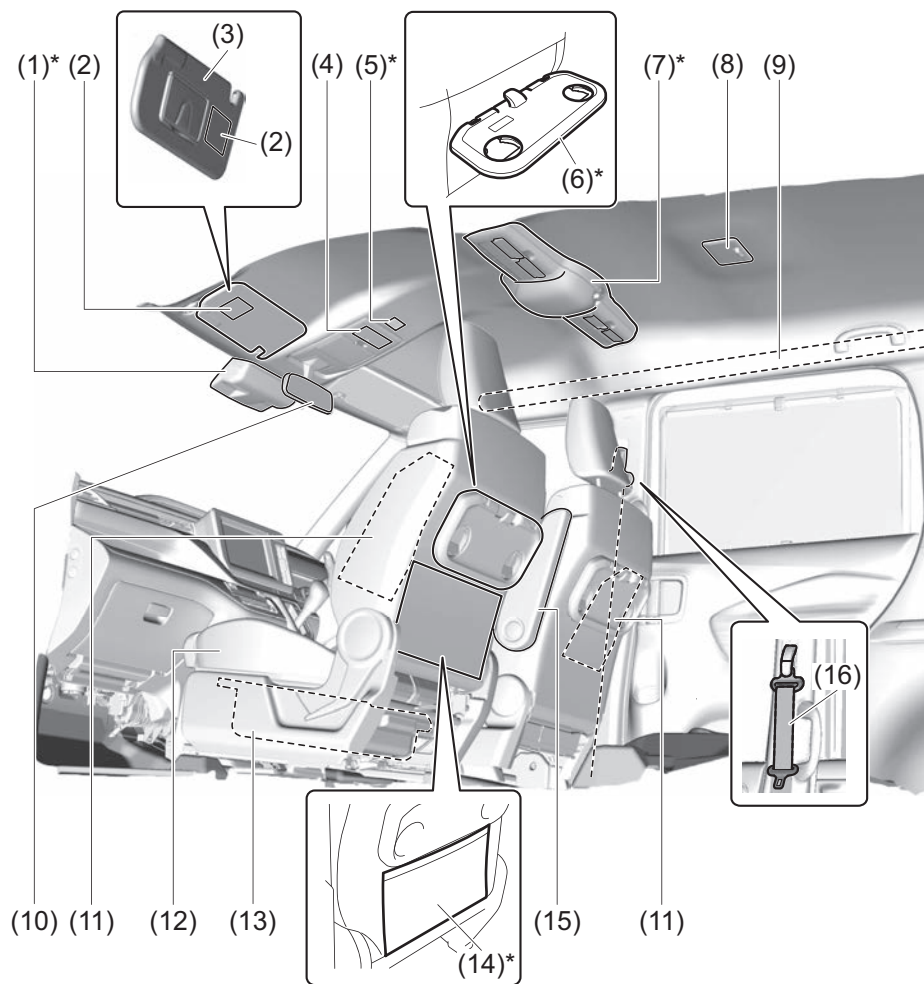
*: グレード・オプションによって装備の有無があります。

83S01210

- (1) ガラスアンテナ 7-36
- (2) 方向指示器／
 非常点滅表示灯(ドアミラー) ... 3-42、9-28、9-29
- (3) ドアミラー 2-10
- (4) フロントワイパー 3-44、9-12
- (5) ステレオカメラ 5-78
- (6) ボンネット 7-6
- (7) 車幅灯 3-37、9-28、9-29
- (8) 方向指示器／
 非常点滅表示灯(フロント) 3-42、9-28、9-31
- (9) ヘッドライト 3-37、9-28、9-29
- (10) サイドカメラ 5-168
- (11) ドア 3-3
- (12) フロントフォグランプ 3-40、9-28、9-29
- (13) フロントカメラ 5-168
- (14) けん引フックカバー 8-7
- (15) リヤワイパー 3-44、9-14
- (16) ハイマウントストップランプ 9-28、9-29
- (17) ルーフアンテナ 7-35
- (18) 制動灯 9-28、9-29、9-34
- (19) 尾灯 9-28、9-29、9-34
- (20) 方向指示器／
 非常点滅表示灯(リヤ) 3-42、9-28、9-33
- (21) 後退灯 9-28、9-33
- (22) スライドドア／パワースライドドア 3-3、3-20
- (23) 燃料給油口(フューエルリッド) 7-2
- (24) バックドア 3-6
- (25) バックカメラ 5-168
- (26) 番号灯 9-28、9-34

■ 内装 1

1



83S01261

*: グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	ステレオカメラ	5-78
(2)	助手席SRSエアバッグに関する 警告ラベル(※1、※2)	2-58
(3)	サンバイザー	7-8
(4)	前席室内灯	7-10、9-35、10-3
(5)	マイク(ハンズフリー／音声認識機能)	7-38
(6)	パーソナルテーブル	7-44
(7)	スリムサーキュレーター	7-31
(8)	後席室内灯	7-10、9-35、10-3
(9)	SRSカーテンエアバッグ	2-55
(10)	ルームミラー	2-9
(11)	SRSサイドエアバッグ	2-55
(12)	前席シート	2-4
(13)	シートアンダーボックス	7-20
(14)	シートバックポケット	7-42
(15)	アームレスト(ひじ掛け)	7-41
(16)	シートベルト	2-29

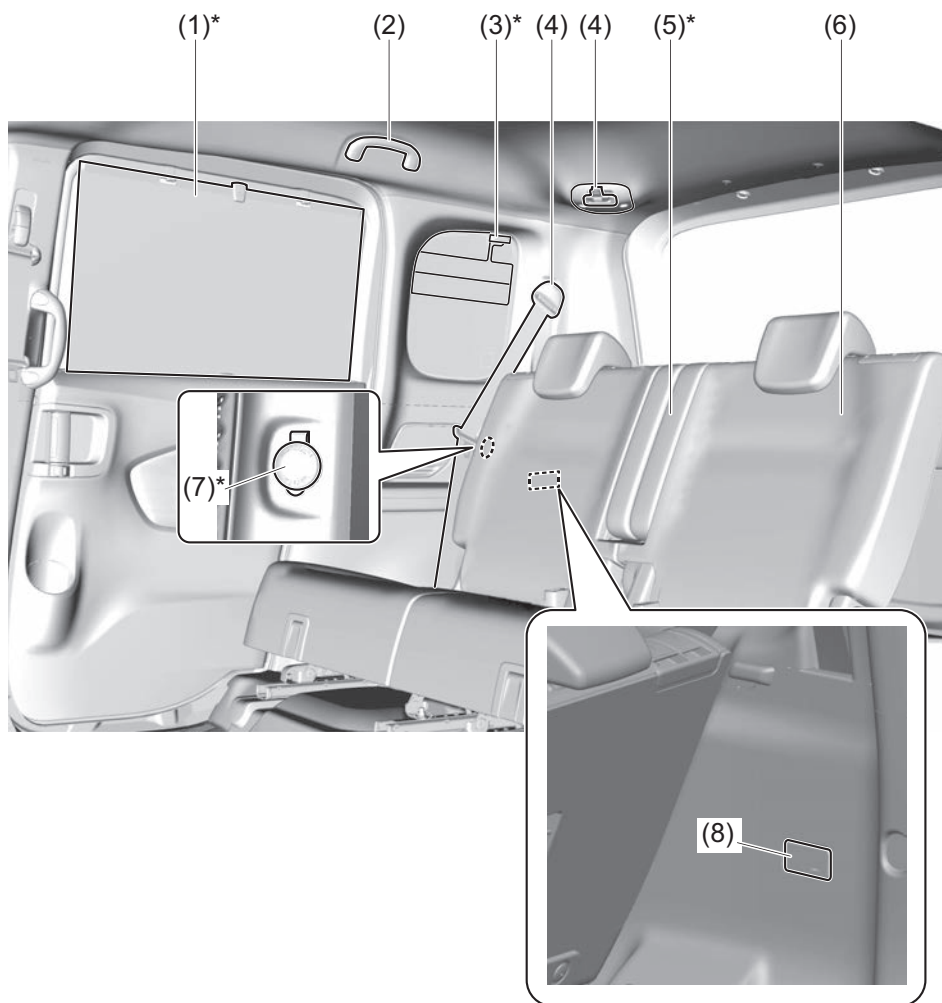
※1 お子さま用シートをご使用になる前に、必ずお読みください。

※2 前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。



■ 内装 2

1



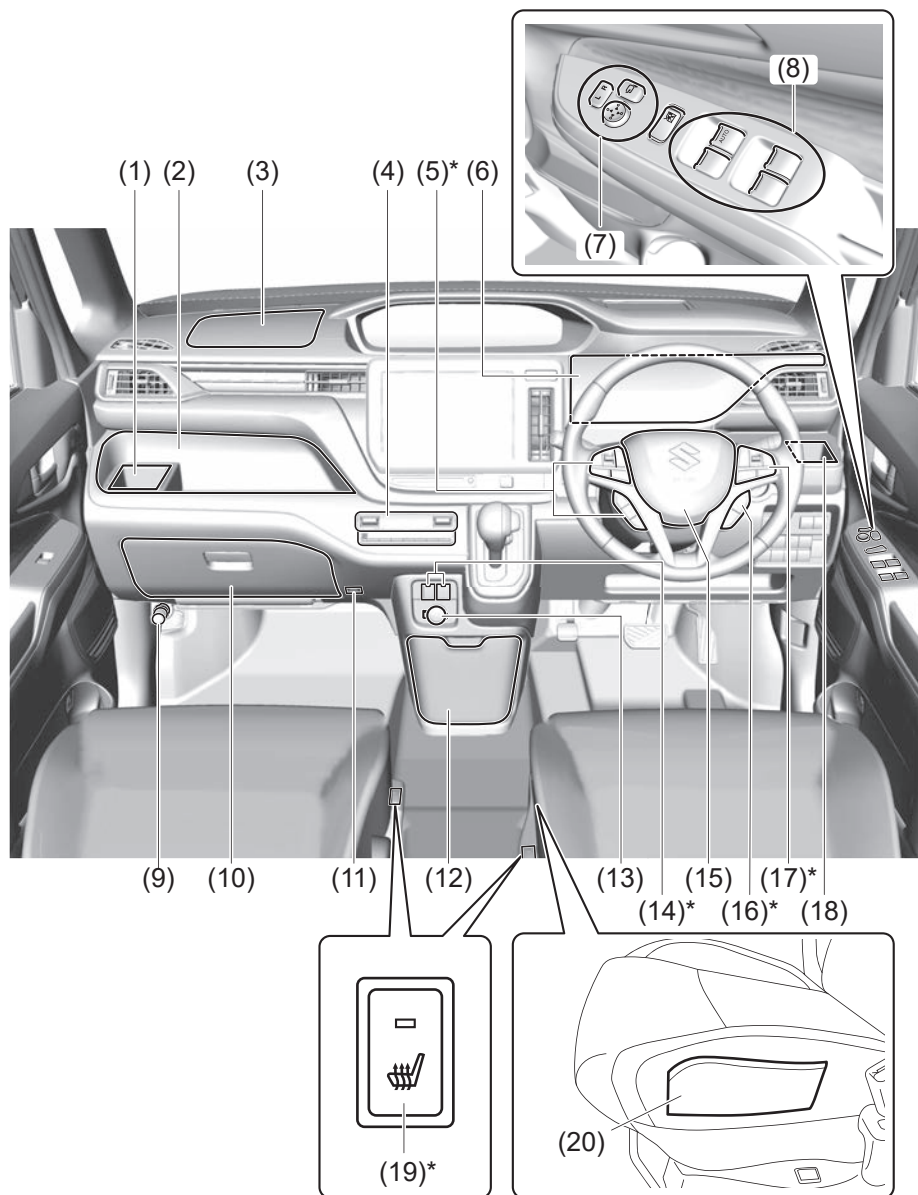
83S01101

*: グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	ロールサンシェード	7-9
(2)	可倒式アシストグリップ	7-19
(3)	ガラスアンテナ	7-36
(4)	シートベルト	2-29
(5)	後席アームレスト	7-41
(6)	後席シート	2-14
(7)	アクセサリースOCKET	7-13
(8)	荷室室内灯	7-10、9-36、10-3

■ 内装 3

1



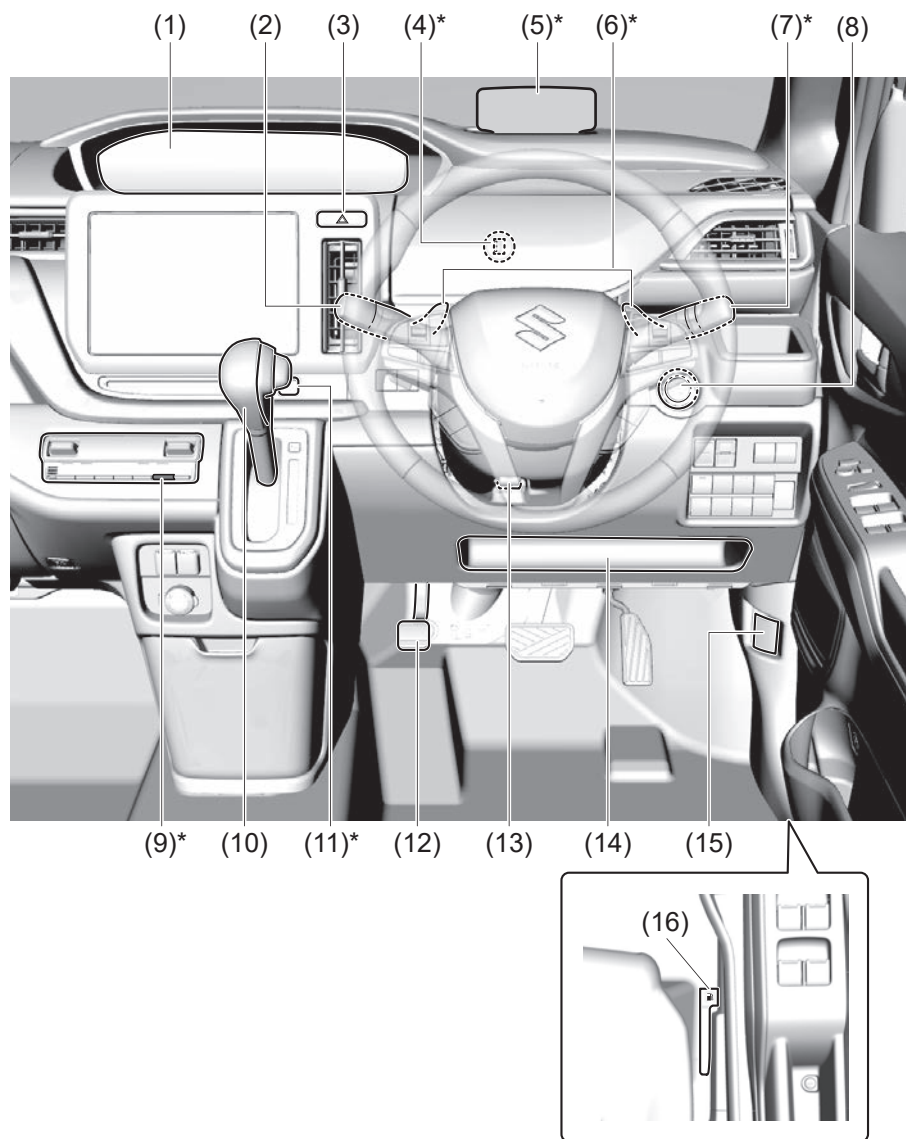
83S01270

*：グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	ドリンクホルダー(助手席)	7-14
(2)	インパネトレー(助手席)	7-16
(3)	助手席SRSエアバッグ	2-54
(4)	エアコン、ヒーター	7-23
(5)	ステアリングオーディオスイッチ	7-37
(6)	インパネアッパーボックス(リッド付)	7-18
(7)	ドアミラー角度調節スイッチ	2-10
	ドアミラー格納スイッチ	2-11
(8)	パワーウインドースイッチ	3-32
(9)	発炎筒	8-4
(10)	グローブボックス	7-18
(11)	ショッピングフック	7-21
(12)	インパネロアボックス(センター)	7-18
(13)	アクセサリーソケット	7-13
(14)	USB電源ソケット	7-40
(15)	運転席SRSエアバッグ	2-54
	ホーンスイッチ	3-45
(16)	車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチ	5-99
(17)	アダプティブクルーズコントロールスイッチ	5-111、5-124
(18)	ドリンクホルダー(運転席)	7-14
(19)	シートヒータースイッチ	2-8
(20)	シートサイドポケット	7-42

■ 運転席まわり 1

1



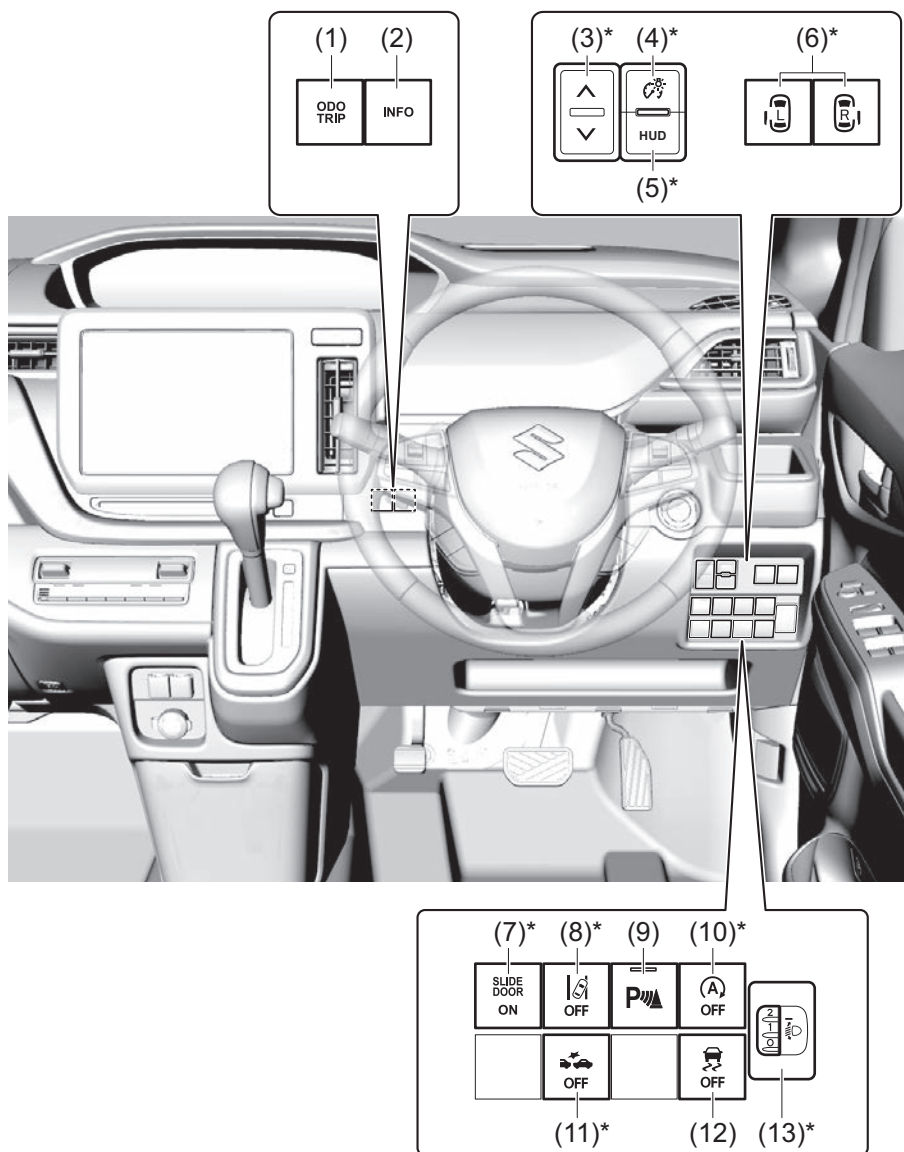
83S01280

* : グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	メーター	4-2
(2)	ワイパー／ウォッシャースイッチ	3-43
(3)	非常点滅表示灯スイッチ	3-42
(4)	USBソケット	7-40
(5)	ヘッドアップディスプレイ	5-158
(6)	パドルシフトスイッチ	5-66
(7)	ライトスイッチ	3-37
	方向指示器スイッチ	3-42
	フォグランプスイッチ	3-40
(8)	エンジンスイッチ	5-6
(9)	ドアミラーヒータースイッチ	2-13、3-46
	リヤデフォッガースwitch	3-46
(10)	セレクトレバー	5-52
(11)	カメラスイッチ	5-170、5-184
(12)	パーキングブレーキ	5-45
(13)	チルトステアリング(レバー)	2-9
(14)	インパネ口アポケット(運転席側)	7-16
(15)	ボンネットオープナー	7-6
(16)	フューエルリッドオープナー	7-2

■ 運転席まわり 2

1



83S01291

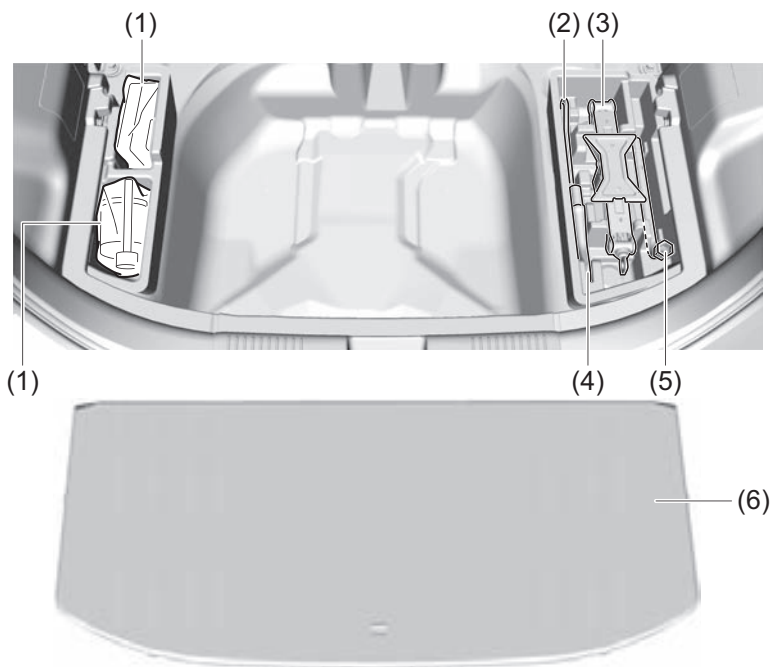
*：グレード・オプションによって装備の有無があります。

(1)	オド&トリップメータースイッチ	4-4
(2)	インフォスイッチ	4-4、4-23
(3)	上下スイッチ(※)	5-160
(4)	明るさ調整スイッチ(※)	5-160
(5)	HUD(ヘッドアップディスプレイ)スイッチ	5-160
(6)	パワースライドドアスイッチ	3-25
(7)	パワースライドドアメインスイッチ	3-22
(8)	車線逸脱警報OFFスイッチ	5-136
(9)	リヤパーキングセンサブザー OFFスイッチ	5-157
(10)	アイドリングストップシステム OFFスイッチ	5-43
(11)	デュアルカメラブレーキサポート (DCBS)OFFスイッチ	5-135
(12)	ESP® OFFスイッチ	5-193
(13)	光軸調整ダイヤル(ハロゲンヘッドライト車)	3-41

※ ヘッドアップディスプレイ表示の明るさおよび位置を調整する際に使用するスイッチです。

■ 荷室
2WD車

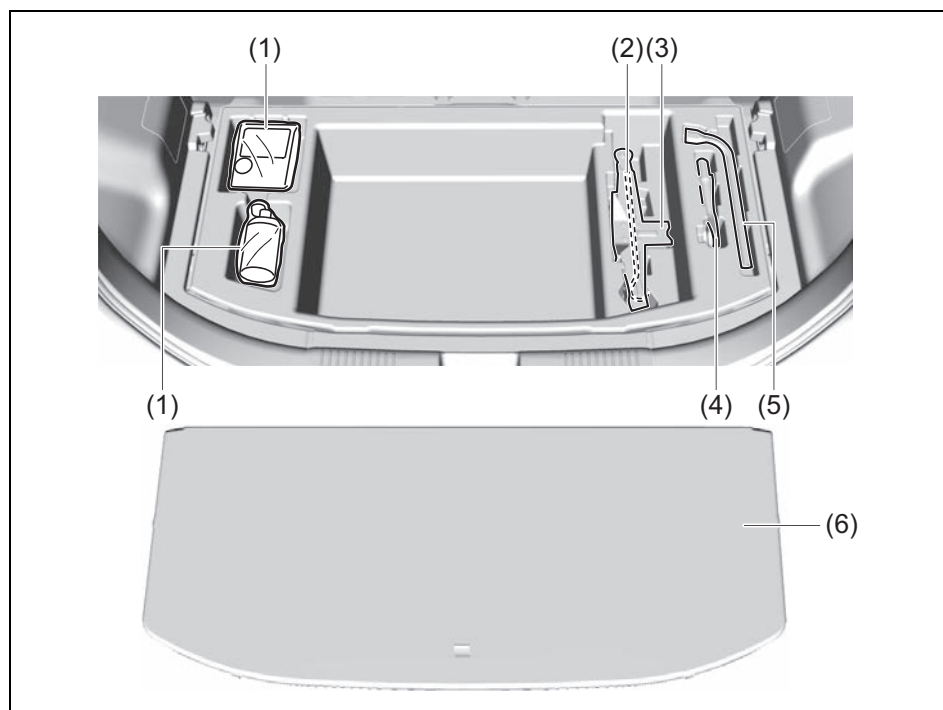
1



83S01141

(1)	タイヤパンク応急修理セット	8-17
(2)	ジャッキバー	8-28
(3)	ジャッキ	8-28
(4)	けん引フック	8-7
(5)	ホイールナットレンチ	8-31
(6)	ラゲッジボード	7-43

4WD車

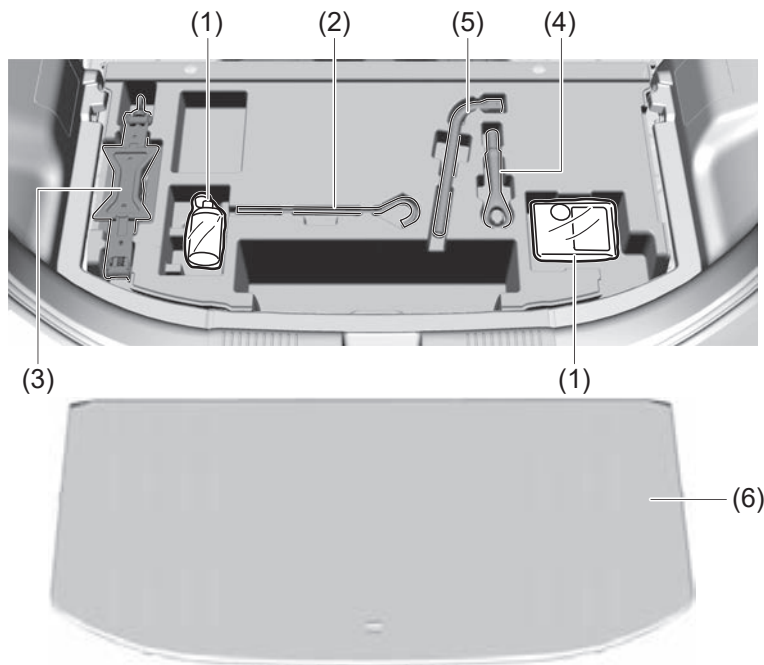


83S01150

(1)	タイヤパンク応急修理セット	8-17
(2)	ジャッキバー	8-28
(3)	ジャッキ	8-28
(4)	けん引フック	8-7
(5)	ホイールナットレンチ	8-31
(6)	ラゲッジボード	7-43

ハイブリッド車

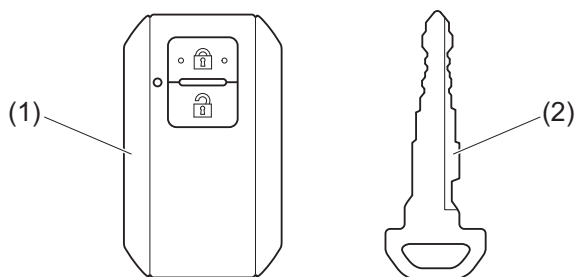
1



83S01221

(1)	タイヤパンク応急修理セット	8-17
(2)	ジャッキバー	8-28
(3)	ジャッキ	8-28
(4)	けん引フック	8-7
(5)	ホイールナットレンチ	8-31
(6)	ラゲッジボード	7-43

■ キー



59R10160

● 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

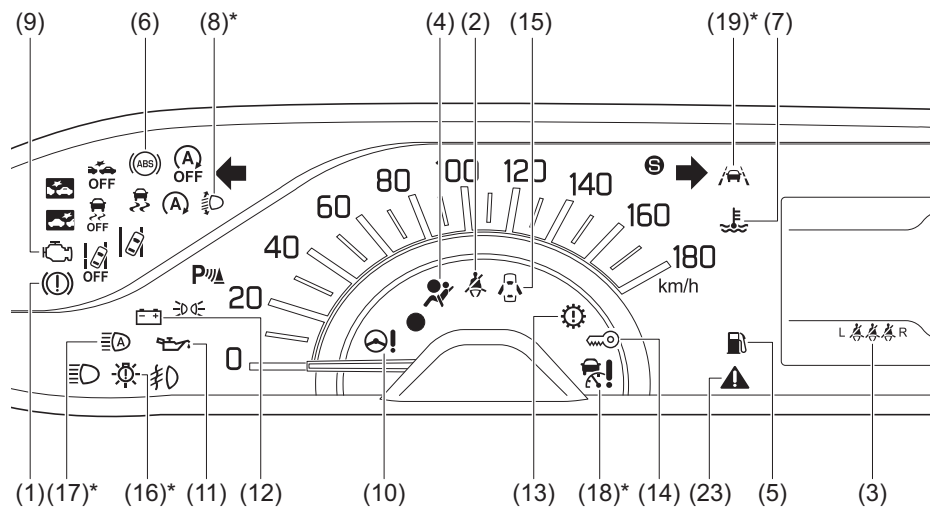
(1) 携帯リモコン	3-13
キーレスエントリー	3-11
キーレスプッシュスタートシステム	5-10
エンジンのかけかた／ ハイブリッドシステムの起動	5-14
(2) エマージェンシーキー	3-2
ドア	3-3

警告灯・表示灯

■ 警告灯

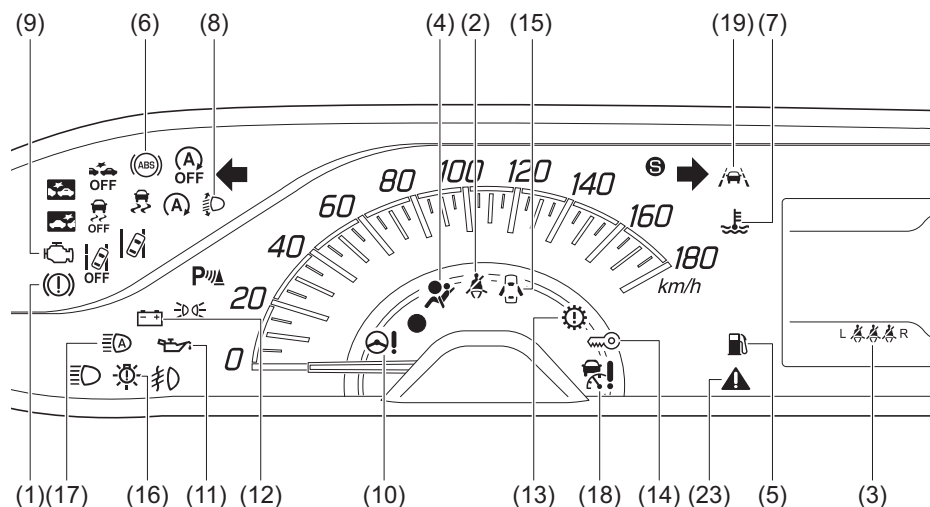
1

ソリオ



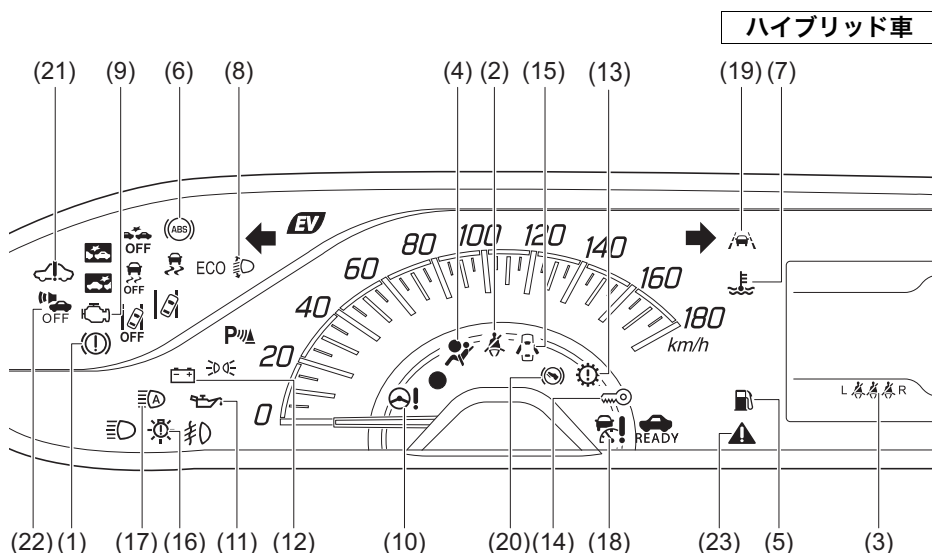
83S01301

ソリオバンディット



83S01310

*: グレード・オプションによって装備の有無があります。



83S01320

- 警告灯が点灯または点滅し続けた場合は、車両またはシステムの異常が考えられます。次の参照先をよくお読みのうえ、スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ **4-52ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

- 警告灯・表示灯が点灯または点滅すると、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。

→ **4-33ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

- ※ 印の警告灯・表示灯は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに初期点灯するのが正常です。（「水温警告灯／低水温表示灯」の初期点灯は赤色に点灯します。）点灯しない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 「水温警告灯（赤色）／低水温表示灯（青色）」は点灯する色で表示を切替えています。
- アイドリングストップシステムには、特有の点灯条件があります。

→ **5-35ページ（アイドリングストップシステム）**

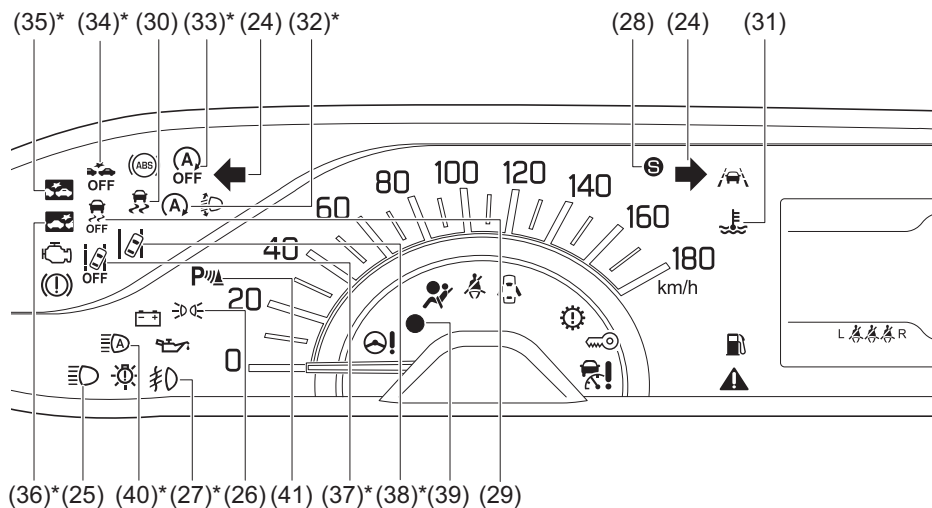
警告灯			色	警告灯名	参照先
(1)		※	赤	ブレーキ警告灯	4-52ページ
(2)			赤	前席シートベルト警告灯	4-53ページ
(3)	L  R		赤	後席シートベルト警告灯	4-54ページ
(4)		※	赤	SRSエアバッグ警告灯	4-54ページ
(5)			オレンジ	燃料残量警告灯	4-55ページ
(6)		※	オレンジ	ABS警告灯	4-56ページ
(7)		※	赤	水温警告灯	4-56ページ
(8)		※	オレンジ	オートレベリング警告灯 (LEDヘッドライト装備車)	4-57ページ
(9)		※	オレンジ	エンジン警告灯	4-57ページ
(10)		※	オレンジ	パワーステアリング警告灯	4-58ページ
(11)		※	赤	油圧警告灯	4-59ページ
(12)		※	赤	充電警告灯	4-59ページ
(13)		※	オレンジ	トランスミッション警告灯	4-60ページ
(14)		※	オレンジ	イモビライザー警告灯	4-61ページ

警告灯			色	警告灯名	参照先
(15)			赤	半ドア警告灯	4-61ページ
(16)		※	オレンジ	LEDヘッドライト警告灯 (LEDヘッドライト装備車)	4-62ページ
(17)		※	オレンジ	ハイビームアシスト警告灯 (タイプ別装備)	4-62ページ
(18)		※	オレンジ	アダプティブクルーズ コントロールシステム警告灯 (タイプ別装備)	4-62ページ
(19)		※	オレンジ	車線逸脱抑制機能警告灯 (タイプ別装備)	4-63ページ
(20)			オレンジ	ブレーキリクエストインジ ケーター (ハイブリッド車)	4-63ページ
(21)		※	赤	ハイブリッドシステム警告灯 (ハイブリッド車)	4-64ページ
(22)		※	オレンジ	車両接近通報装置警告灯 (ハイブリッド車)	4-64ページ
(23)		※	オレンジ	マスターウォーニング	4-65ページ

■ 表示灯

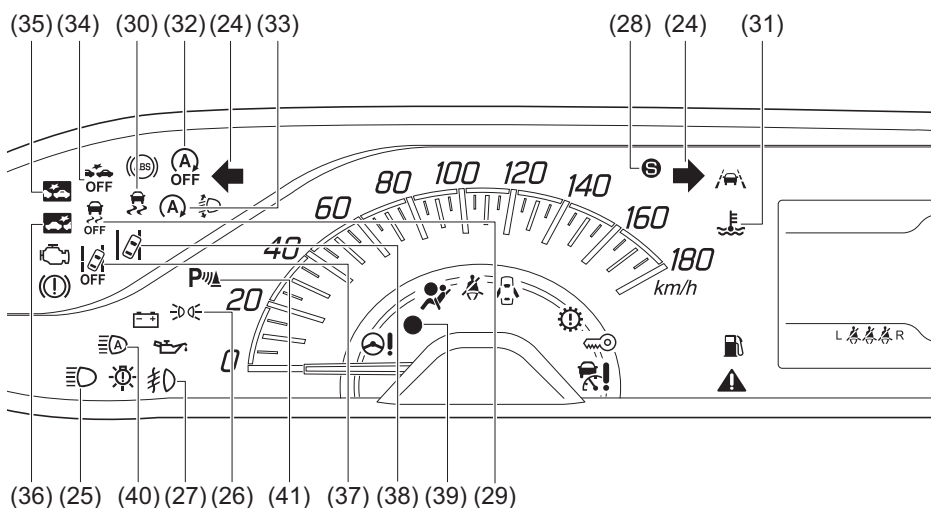
ソリオ

1



83S01331

ソリオバンディット

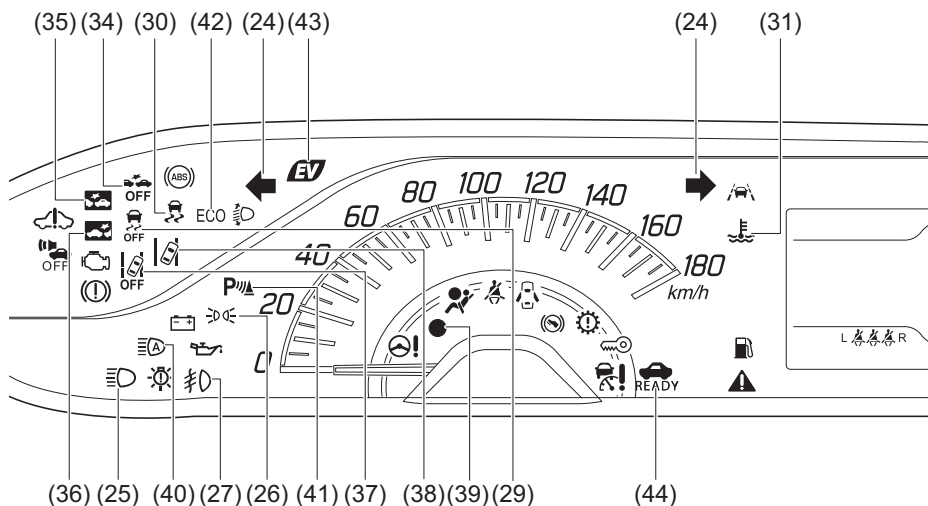


83S01340

*: グレード・オプションによって装備の有無があります。

ハイブリッド車

1



83S01350

表示灯		色	表示灯名	参照先
(24)	←→	緑	方向指示器表示灯	4-66ページ
(25)	≡D	青	ヘッドライト上向き (ハイビーム) 表示灯	4-66ページ
(26)	≡D≡	緑	ライト点灯表示灯	4-66ページ
(27)	≡D	緑	フロントフォグランプ 点灯表示灯 (タイプ別装備)	4-66ページ
(28)	S	オレンジ	Sモード表示灯 (タイプ別装備)	4-67ページ
(29)	OFF	※ オレンジ	ESP® OFF表示灯	4-67ページ

表示灯			色	表示灯名	参照先
(30)		※	オレンジ	ESP® 作動表示灯	4-67ページ
(31)			青	低水温表示灯	4-67ページ
(32)		※	緑	アイドリングストップ表示灯 (マイルドハイブリッド車)	4-68ページ
(33)		※	オレンジ	アイドリングストップシステム OFF表示灯 (マイルドハイブリッド車)	4-68ページ
(34)		※	オレンジ	デュアルカメラブレーキ サポート (DCBS) OFF表示灯 (タイプ別装備)	4-69ページ
(35)		※	オレンジ	デュアルカメラブレーキ サポート (DCBS) 作動表示灯 (タイプ別装備)	4-69ページ
(36)		※	オレンジ	後退時ブレーキサポート 作動表示灯 (タイプ別装備)	4-70ページ
(37)		※	オレンジ	車線逸脱警報OFF表示灯 (タイプ別装備)	4-70ページ
(38)		※	オレンジ	車線逸脱警報作動表示灯 (タイプ別装備)	4-71ページ
(39)			赤	セキュリティアラーム インジケーター	4-71ページ
(40)			緑	ハイビームアシスト作動表示灯 (タイプ別装備)	4-72ページ
(41)		※	オレンジ	リヤパーキングセンサー 作動表示灯	4-72ページ
(42)			緑	ECOモード表示灯 (ハイブリッド車)	4-72ページ

表示灯			色	表示灯名	参照先
(43)			緑	EV表示灯（ハイブリッド車）	4-73ページ
(44)	 READY		緑	READY表示灯 （ハイブリッド車）	4-73ページ

警告ブザーが鳴ったときは

1

全車共通

- ※1 は、メーター内の  (マスターウォーニング) が点滅するとともに、マルチインフォメーションディスプレイに車両状態や対処方法などをお知らせするメッセージが表示されます。
 - ※2 は、マルチインフォメーションディスプレイに車両状態や対処方法などをお知らせするメッセージが表示されます。
- 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
いずれかのドアを開けたとき (ハイブリッド車は、ボンネットを開けたときも含む)	室内ブザー ●ピー、ピー、 (約10秒間)	 2秒間隔で点滅	セキュリティアラームの警報が作動しています。次のいずれかの操作により警報を途中で停止できます。 ● エンジンスイッチを ON にする ● キーレスエントリーまたはリクエストスイッチで解錠する → 3-28ページ (セキュリティアラーム)
エンジンスイッチを ON にしたとき	室内ブザー ●ピー、ピー、 (4回)	 約8秒間 小刻みに点滅	駐車時にセキュリティアラームの警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないか車の中を確認してください。 → 3-28ページ (セキュリティアラーム)
エンジンスイッチを ON にしたとき	室内ブザー ●ポーン (1回)	※1	ハンドルロックが解除されていません。ハンドルを左または右にまわして負荷がかからない状態としながら、エンジンスイッチの操作をやり直してください。 → 5-8ページ (ハンドルロック未解除警告)
エンジンスイッチが ON のとき	室内ブザー ●ポーン (1回)	 点灯 ※2	燃料の残量が少なくなっています。すみやかに給油してください。 → 4-55ページ (燃料残量警告灯)

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
走行中	室内ブザー		●運転者がシートベルトを着用していません。安全な場所に停車して、ベルトを着用してください。 ●助手席の乗員がシートベルトを着用していません。ベルトを着用してください。 ●助手席に荷物などを載せていると、乗員がいなくても、センサーが重量を検知して警告灯が点滅し警告ブザーが鳴る場合があります。 → 4-53ページ (前席シートベルト警告灯)
	●ピー、ピー、 (約95秒間)		
	●ピー、ピー、 (約35秒間)	L  R	後席の乗員がシートベルトを着用していません。ベルトを着用してください。 → 4-54ページ (後席シートベルト警告灯)
	室内ブザー		パーキングブレーキが解除されています。パーキングブレーキを解除してください。 → 5-47ページ (パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー)
	●ピピピッ、 ピピピッ、		
	室内ブザー		いずれかのドアが完全に閉まっていません。安全な場所に停車して、完全に閉めてください。 → 4-61ページ (半ドア警告灯)
	●ポーン (1回)		
運転席ドアを開けたとき	室内ブザー		ヘッドライトまたは車幅灯が点灯したままです。これらを消してください。 → 3-39ページ (ライト消し忘れ警告ブザー)
	●ピー---		
停車中/ 後退中	室内ブザー		セレクトレバーが R に入っています。セレクトレバーの位置を確認してください。 → 5-55ページ (R (リバース)ポジション警告ブザー)
	●ピー、ピー、		
エンジン スイッチを LOCK (OFF) に もどそうと したとき	室内ブザー	※1	セレクトレバーの故障などによりエンジンスイッチを LOCK (OFF) にもどせません。スズキサービス工場にて点検を受けてください。 → 5-18ページ (エンジンスイッチをもどすときは)
	●ポーン (1回)		

警告ブザーが鳴ったときは

1

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
エンジンスイッチが ON のとき	室内ブザー ●ポーン (1回)	 1秒間隔で点滅 ※1	キーレスプッシュスタートシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場 で点検を受けてください。 → 3-31 ページ (セキュリティアラーム インジケーター)
エンジン スイッチを 操作したとき	室内ブザー ●ポーン (2回)	 点灯 ※1	携帯リモコンが検知できない、またはリ モコンの電池が切れています。リモコン を車内の検知できる位置にするか、リモ コンをエンジンスイッチに当ててくださ い。 → 5-10ページ (車内の作動範囲) → 5-14 ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
エンジンを 始動しよう としたとき	室内/車外 ブザー ●ピー、ピー、 (5回) そのあとに 室内ブザー ●ポーン (1回)	 点滅 ※1	エンジンスイッチを ACC または ON にしたときは携帯リモコンを検知してい ましたが、始動時に検知できなくなりました。リモコンを車内の検知できる位置 でエンジンスイッチを操作してください。 → 5-10ページ (車内の作動範囲) → 5-14 ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
いずれかの ドアを開閉 したとき	室内/車外 ブザー ●ピー、ピー、 (5回)	 点滅 ※1	携帯リモコンが検知できなくなりました。リモコンを車内の検知できる位置に してください。 → 5-13ページ (携帯リモコン車外持ち出し警告)
運転席ドアを 開けたとき	室内ブザー ●ピー、ピー、	—	エンジンスイッチが ACC になっていま す。 LOCK (OFF) にもどしてください。 → 5-18ページ (エンジンスイッチもど し忘れ警告ブザー)
	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	—	エンジンスイッチを LOCK (OFF) にも どしていずれかのドアを開閉してもハン ドルがロックされていません。スズキ サービス工場で点検を受けてください。 → 5-18ページ (ハンドルロック未作動警告ブザー)

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
リクエストスイッチを押したとき	車外ブザー	—	エンジンスイッチが ACC または ON になっています。 LOCK (OFF) にもどしてください。 → 3-18ページ (リクエストスイッチ未作動警告ブザー)
	●ピー (約2秒間)	—	携帯リモコンが車内にあります。リモコンを車外に持ち出してください。
		 点灯 ※2	いずれかのドアが完全に閉まっていません。完全に閉めてください。
携帯リモコンのロックスイッチを押したとき	車外ブザー	 点灯 ※2	いずれかのドアが完全に閉まっていません。完全に閉めてください。 → 3-11ページ (キーレスエントリー)
	●ピー (約2秒間)		
停車中／後退中	室内ブザー	 点滅	リヤパーキングセンサーが車両後方の障害物を検知しています。車両の周囲を直接目視やミラーで確認しながら、ゆっくりと後退してください。 → 5-154ページ (リヤパーキングセンサー)
	●ピッ.. ピッ.. ピッ.. または ●ピッ・ピッ・ピッ.. または ●ピピピッ または ●ピーー		

スズキ セーフティ サポート 装備車

※1は、マルチインフォメーションディスプレイに車両状態や対処方法などをお知らせするメッセージが表示されます。

→ 4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
走行中	室内ブザー	 点滅	デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）が作動しています。ブレーキペダルを強く踏み込んでください。 → 5-88ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS））
	●ピピピピピ または ●ピ-----		
停車中／ 徐行中	室内ブザー	 点滅 ※1	誤発進抑制機能が作動しています。すみやかにアクセルペダルから足を離してください。 → 5-93ページ（誤発進抑制機能）
	●ピピピピピ		
後退中	室内ブザー	 点滅	後退時ブレーキサポートが作動しています。ブレーキペダルを強く踏み込んでください。 → 5-147ページ （後退時ブレーキサポート）
	●ピ-----		
停車中／ 後退中	室内ブザー	 点滅 ※1	後方誤発進抑制機能が作動しています。すみやかにアクセルペダルから足を離してください。 → 5-150ページ（後方誤発進抑制機能）
	●ピピピピピ		

パワースライドドア装備車

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
自動開閉操作をしたとき	専用ブザー ●ピーー	—	安全のため自動開閉できません。自動開閉できる条件になっているか確認してください。 → 3-20ページ (パワースライドドア)
自動開閉中	専用ブザー ●ピッピッ ピッ	—	パワースライドドア自動開閉中です。スライドドア周囲の安全を確認してください。 → 3-20ページ (パワースライドドア)
自動開閉中に一時停止したとき	専用ブザー ●ピッ	—	自動開閉を一時停止中です。スライドドア周囲の安全を確認してください。 → 3-20ページ (パワースライドドア)

マイルドハイブリッド車

※1は、マルチインフォメーションディスプレイに車両状態や対処方法などをお知らせするメッセージが表示されます。

→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

いつ	ブザー音	メーター	再始動の理由
エンジンの自動停止中 (※2)	室内ブザー ●ピー (1回)	※1	次のいずれかの状態になったため、エンジンが自動で再始動しました。 ●エアコンの設定温度と室内の温度の差が大きくなった ●デフロスタースイッチを押した ●ブレーキ倍力装置の負圧が低下した ●バッテリーの放電が進んだ
	室内ブザー ●ピー、ピー、	※1	ボンネットが開いたためエンスト状態 (※3) になりました。次の手順で対処してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを P に入れます。 ②ボンネットを完全に閉めます。 ③エンジンスイッチを操作して再始動します。 → 5-14 ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))

警告ブザーが鳴ったときは

いつ	ブザー音	メーター	再始動の理由
エンジンの自動停止中 (※2)	室内ブザー ●ピー、ピー、 (5回)	 いずれか点灯 ※1	次のいずれかの操作をしたため、エンジンが自動で再始動しました。 ●運転席シートベルトを外す ●運転席ドアを開ける 発進する前に、ドアを閉め、シートベルトを着用してください。また、車外に出るときは、事前に次の手順を実施してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを P に入れます。 ②長時間停車するときや車から離れるときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止します。 → 5-17ページ (エンジン (ハイブリッドシステム) を止めるときは)

※2 前記以外にも警告ブザーが鳴り、エンジンが自動で再始動する場合があります。

→ **5-35ページ (アイドリングストップシステム)**

※3 エンスト状態になると、前記以外にも次の警告灯が点灯します。

・エンジン警告灯、パワーステアリング警告灯、油圧警告灯、充電警告灯

→ **1-20ページ (警告灯)**

ハイブリッド車

1

- ※1 は、マルチインフォメーションディスプレイに車両状態や対処方法などをお知らせするメッセージが表示されます。

→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

いつ	ブザー音	メーター	再始動の理由
エンジンの自動停止中	室内ブザー ●ピー、ピー、	※1	ボンネットが開いたためエンスト状態(※2)になりました。次の手順で対処してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②ボンネットを完全に閉めます。 ③エンジンスイッチを操作して再始動します。 → 5-14 ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
	室内ブザー ●ピー、ピー、 (5回)	 いずれか点灯 ※1	次のいずれかの操作をしたため、エンジンが自動で再始動しました。 ●運転席シートベルトを外す ●運転席ドアを開ける 発進する前に、ドアを閉め、シートベルトを着用してください。また、車外に出るときは、事前に次の手順を実施してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②長時間停車するときや車から離れるときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止します。 → 5-17ページ (エンジン (ハイブリッドシステム) を止めるときは)

※2 エンスト状態になると、前記以外にも次の警告灯が点灯します。

- ・エンジン警告灯、パワーステアリング警告灯、油圧警告灯、充電警告灯

→ 1-20ページ (警告灯)

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
エンジンの自動停止中	室内ブザー ●ピー、ピー、	※1	ボンネットが開いたためエンスト状態（※2）になりました。次の手順で対処してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②ボンネットを完全に閉めます。 ③エンジンスイッチを操作して再始動します。 → 5-14 ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））
	室内ブザー ●ピー、ピー、 （5回）	 いずれか点灯 ※1	次のいずれかの操作をしたため、エンジンが自動で再始動しました。 ●運転席シートベルトを外す ●運転席ドアを開ける 発進する前に、ドアを閉め、シートベルトを着用してください。また、車外に出るときは、事前に次の手順を実施してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②長時間停車するときや車から離れるときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止します。 → 5-17ページ（エンジン（ハイブリッドシステム）を止めるときは）
セレクトレバーを操作したとき	室内ブザー ●ピッ、ピッ、 （約1秒間）	 点灯 N 点滅	●車両が前進している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを [D] 、 [M] 、 [N] から [R] へ操作した ●車両が後退している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを [R] 、 [N] から [D] 、 [M] へ操作した ブレーキペダルを踏んで完全に停車してから、セレクトレバーの操作をやり直してください。 → 5-64ページ（セレクトレバーの動かし方）

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
セレクトレバーを操作したとき	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	 点滅	セレクトレバーの位置と実際のギヤが異なります。 そのまま少し（2～3秒）待ってもセレクトレバー位置表示が切り替わらない場合は、ブレーキペダルを踏んで、セレクトレバーの操作をやり直してください。 ●切り替わらない場合は、スズキサービス工場点検を受けてください。 → 5-64ページ（セレクトレバーの動かし方）
走行中	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	 点滅	次のような操作をしたため、トランスミッションに負荷がかかりトランスミッションが高温になっています。 ●上り坂で発進と停止を繰り返している ●上り坂でブレーキペダルを踏まずに、クリーブ機能を利用して停車している ●ブレーキペダルを踏みながらアクセルペダルを踏み続けている ●パーキングブレーキをかけた状態でアクセルペダルを踏み続けている 安全な場所に停車して、しばらくハイブリッドシステムを停止し、トランスミッションを冷やしてください。再度、エンジンスイッチを ON にして、警告灯の点滅と警告ブザーが止まっていることを確認してから走行してください。 → 4-60ページ（トランスミッション警告灯）
走行中	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	 点滅	システムに異常があります。異常が発生すると、次のようになります。スズキサービス工場点検を受けてください。 ●走行中、セレクトレバーを操作しても変速できない ●車速が10 km/h 以下になると自動でN（ニュートラル）になる → 5-64ページ（セレクトレバーの動かし方）

警告ブザーが鳴ったときは

1

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
マニュアルモードで走行中	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	1 点減 (代表例)	マニュアルモードでシフト操作しても希望するギヤポジションに変速されない場合、現在のギヤポジション表示が点滅します。少し待ってから、シフト操作をやり直してください。 → 5-66ページ（マニュアルモードの使いかた）
走行中	室内ブザー ●ピー、ピー、 (約5秒間)	※1	高電圧遮断機能が作動またはハイブリッドシステムに重大な故障が発生しました。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
走行中	室内ブザー ●ピピピッ、 ピピピッ、	※1	ハイブリッドシステムに重大な故障が発生しました。 ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
走行中	室内ブザー ●ポーン (1回)	※1	ハイブリッドシステムに故障が発生しました。 ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。 ●クリーブ機能が働かない場合があります。坂道での発進はパーキングブレーキを使用してください。
走行中	室内ブザー ●ポーン (1回)	—	高電圧バッテリーの残量がなくなりました。セレクトレバーの位置を D にして走行し、高電圧バッテリーを充電してください。 ●クリーブ機能が働かない場合があります。坂道での発進はパーキングブレーキを使用してください。

よくあるご質問 (Q & A)

お問い合わせの多い、よくあるご質問についてご案内します。

1

ドアの開閉

- Q.** キーレスエントリーが作動しない。
- A.** キーレスエントリーが作動しない状況にあるおそれがあります。
3-11ページ（キーレスエントリー）をお読みください。
- A.** 携帯リモコンの電池が消耗しているときは、交換してください。
→ **9-10ページ**（携帯リモコンの電池交換）
- Q.** ドアを開けたら警報が鳴る。
- A.** 警報装置（セキュリティアラーム）が作動しています。
次のいずれかの操作で警報を止めてください。
・ エンジンスイッチを **ON** にする
・ キーレスエントリーまたはリクエストスイッチで解錠する
正しい取扱い方法や設定切替えについては、**3-28ページ**（セキュリティアラーム）をお読みください。
- Q.** ワンアクションスイッチでドアの施錠ができない。
- A.** ワンアクションスイッチではドアの解錠はできますが施錠はできません。
施錠をする場合は、携帯リモコンまたはリクエストスイッチをご使用ください。
→ **3-3ページ**（ドア）

窓ガラス

- Q.** フロントガラスやドアガラス内側のくもりを取りたい。
- A.** デフロスタースイッチ（**7-30ページ**）をご使用ください。
- Q.** バックドアガラス内側のくもりを取りたい。
- A.** リヤデフォグgersスイッチ（**3-46ページ**）をご使用ください。

タイヤ

- Q.**パンクした。
- A.**パンクの状態によっては、タイヤパンク応急修理セットをご使用いただくことで、応急修理ができます。
→ **8-14ページ (パンク)**

バッテリーあがり

- Q.**鉛バッテリーがあがり、エンジンが始動（ハイブリッドシステムが起動）できない。
- A.**救援車のバッテリーとブースターケーブルを接続して、エンジンを始動（ハイブリッドシステムを起動）してください。
→ **8-34ページ (鉛バッテリーあがりのときは)**

アイドリングストップシステム タイプ別装備

- Q.**アイドリングストップシステムが作動しない。
- A.**次の項目をお読みください。
→ **5-35ページ (アイドリングストップシステム)**

スズキ セーフティ サポート タイプ別装備

- Q.**スズキセーフティサポートが作動するとき、作動しないときを知りたい。
- A.**次の項目をお読みください。
→ **5-77ページ (スズキ セーフティ サポート)**

エンジンオイル

- Q.**エンジンオイルを交換したい。
- A.**次の項目をお読みください。
→ **6-20ページ (エンジンオイルを交換するときは)**
→ **10-1ページ (サービスデータ)**

電装品

- Q.** ヘッドライト等の電球が点灯しなくなった。
- A.** 電球を点検してください。
→ **9-24ページ (電球の点検)**
→ **9-24ページ (電球を交換するときは)**
→ **9-26、9-28ページ (電球の容量)**
- Q.** 電気装置が使用できなくなった。
- A.** ヒューズを点検してください。
→ **9-17ページ (ヒューズが切れたときは)**
- Q.** 運転席パワーウィンドーがオートで全開／全閉しなくなった。
- A.** パワーウィンドーのはさみ込み防止機能の初期設定が必要です。
3-36ページ (初期設定のしかた) をお読みください。

2. 安全なドライブのために

- **運転する前に**
 - 運転席フロア 2-2
- **運転席にすわって**
 - 各部の調整 2-3
- **各部の調節**
 - 前席シート 2-4
 - チルトステアリング 2-9
 - ルームミラー 2-9
 - ドアミラー 2-10
 - 後席シート 2-14
 - シートの便利な使いかた 2-17
- **お子さまの安全のために**
 - お子さまを乗せるときは 2-22
- **シートベルト**
 - シートベルトについて 2-29
 - シートベルトの着用のしかた 2-31
 - シートベルトの取扱いとお手入れ 2-36
 - シートベルトプリテンショナー（前席のみ） ... 2-37
 - シートベルト可変フォースリミッター
（前席のみ） 2-38
- **お子さま用シート**
 - お子さま用シート 2-39
 - お子さま用シートの選択について 2-41
 - お子さま用シートのシートベルトによる固定 ... 2-47
 - ISOFIX対応お子さま用シートの固定 2-49

- **SRSエアバッグ**
 - SRSエアバッグ 2-53
 - SRSエアバッグ車を運転するときは 2-56
 - SRSエアバッグシステムの取扱い 2-60
 - SRSエアバッグシステムの作動 2-63
 - 廃棄と廃車 2-69
- **エンジンをかけるとき、
ハイブリッドシステムを起動するとき**
 - エンジンをかける（ハイブリッドシステムを
起動する）ときは 2-69
- **荷物を積むとき**
 - 荷物を積むときは 2-71

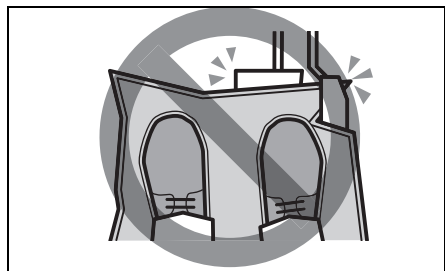
安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

運転席フロア

車にあったフロアマットを
適切に使用する

2



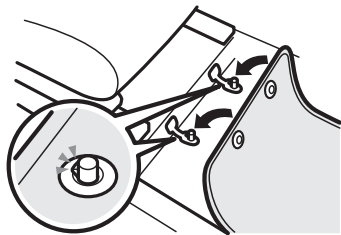
83S06010

⚠ 警告

ペダル操作のさまたげになって思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 足元の形にあわないフロアマットを使わない
- フロアマットを重ねて敷かない
- フロアマットは固定具などで確実に固定する

スズキ純正フロアマットの例



72M10201

※運転席側のフロア（カーペット下）には、スズキ純正フロアマットに付属する固定具を取り付ける穴があります。

⚠ アドバイス

この車専用のスズキ純正フロアマットのご使用をおすすめします。

運転席の足元付近にもものを
置かない

⚠ 警告

空き缶などを足元に放置すると、ペダル操作ができなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。空き缶などを足元に放置しないでください。またシート上の荷物は床に落ちないように固定してください。



69RHS157

各部の調整

ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に

⚠ 警告

- 走行中にハンドル、シート、ルームミラーやドアミラーの調節をするとハンドル操作を誤ったり、前方不注意となったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。ハンドルやシートの調節、ルームミラーやドアミラーの調節は走行前に行なってください。

→ 2-9ページ

(チルトステアリング)

→ 2-4ページ (前席シート)

→ 2-9ページ (ルームミラー)

→ 2-10ページ (ドアミラー)

- 背もたれを倒しすぎると、万一のときにヘッドレストやシートベルトが本来の機能を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。背もたれを必要以上に倒さないでください。



80J014

シートベルトは正しく着用

シートを調節し、上体を起こして奥深くすわる

肩の中央にかけ、たるみ、ねじれを取る



腰のできるだけ低い位置にかけ、たるみを取る

70K216

- シートを正しい位置に調節し、上体を起こして奥深くすわります。
 - ベルトがねじれないように着用します。
 - 腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置にかけます。
 - 肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
 - ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。
- 2-5ページ (正しい運転姿勢)

⚠ 警告

- シートベルトを正しく着用しないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されず、重大な傷害につながるおそれがあります。

エンジンをかける前にシートベルトを正しく着用してください。

- 走行前に同乗者全員にシートベルトを正しく着用させないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されず、重大な傷害につながるおそれがあります。

助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。

→ 2-29ページ（シートベルト）



77R20050

前席シート

⚠ 警告

シートが確実に固定されていないと、走行中にシートが不意に動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。シートを調節したあとは、シートを前後にゆするなどして、確実に固定されているか確認してください。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。

→ 2-3 ページ（ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に）

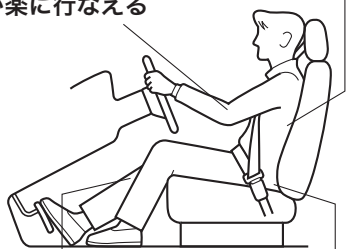
正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次のことに注意してシートを調節してください。

- 背もたれと腰の間にすきまのないようにシートに深くすわります。
- ペダル類を踏み込んだときに、ひざが伸びきらないで余裕があるようにシートを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドルを握ったときにひじが軽く曲がる程度に背もたれの角度を調節します。

ひじが軽く曲がり
ハンドル操作
が楽に行なえる

背中を背もたれ
に軽くつける



ひざが伸びきらず
ペダル類を踏むときに
余裕がある

シートに
深くすわる

74P0210

警告

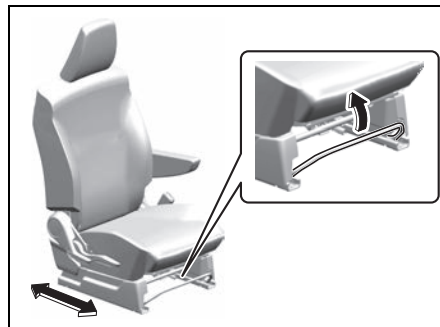
背もたれと背中の上にクッションなどを入れると、正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトやヘッドレストの効果が十分に発揮できず、万一の事故で重大な傷害につながるおそれがあります。

背もたれと背中の上にクッションなどを入れないでください。

前後位置の調節

調節するときは、背もたれ裏側のパーソナルテーブル（タイプ別装備）の上に、ものなどがいないか確認してください。

- スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



83S02010

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

警告

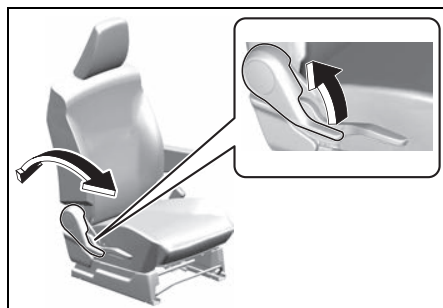
シートの下にものを置かないでください。（助手席のシートアンダーボックス内を除く）ものがはさまり、次のようなことが起きて思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

- シートが固定されない
- シートアンダーボックスを損傷する
- 助手席下（シートアンダーボックス下）にあるリチウムイオンバッテリーを損傷する
 - 5-3ページ
(バッテリーを点検して)
 - 7-20ページ
(シートアンダーボックス)

背もたれの角度調節

調節するときは、背もたれ裏側のパーソナルテーブル（タイプ別装備）の上に、ものなどがなければ確認してください。

- 後方に倒すときは、リクライニングレバーを引き上げたまま、背中ですく軽く押します。
- 前方に起こすときは、背中を少し浮かせて、リクライニングレバーを引き上げます。



83S02020

⚠ 警告

必要以上に背もたれを倒すと、万一のときにシートベルトやSRSエアバッグシステムが本来の効果を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転するときは、背もたれを必要以上に倒さないでください。

⚠ 注意

背もたれから離れてリクライニングレバーを操作すると、背もたれが急に起きあがって、けがをするおそれがあります。

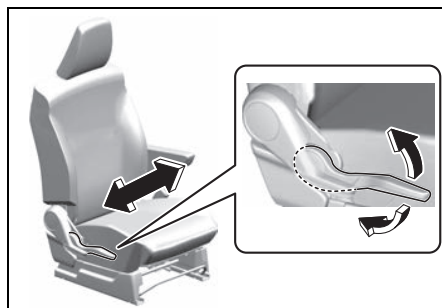
背もたれから離れてリクライニングレバーを操作しないでください。

操作するときは、手などを添えて操作してください。

運転席シートの高さ調節

運転席シート右横のレバーを繰り返して操作します。

- レバーを引き上げると、シート全体が高くなるとともに前方に動きます。
- レバーを押し下げると、シート全体が低くなるとともに後方に動きます。



83S02030

アームレスト（ひじ掛け）

アームレスト（ひじ掛け）の使いかたについては、次の参照先をお読みください。

→ 7-41ページ

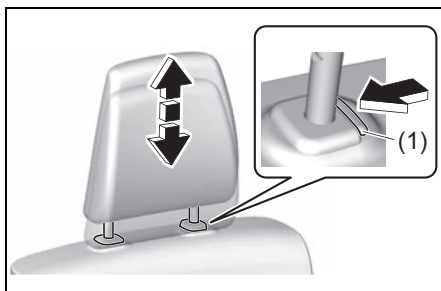
（アームレスト（ひじ掛け））

ヘッドレストの高さ調節と 取り外し・取り付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと固定します。背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

- 高くするときには、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときには、ロックボタン (1) を押したままヘッドレストを押し下げます。



83S02040

！ 警告

走行中にヘッドレストを調整すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ヘッドレストは必ず走行前に調節してください。

■ 取り外しかた

ロックボタン (1) を押したまま引き抜きます。

！ 警告

ヘッドレストを外したまま走行すると、後方からの衝突時に乗員の頭部の後傾を抑えることができないだけでなく、急ブレーキ時や衝突時などに乗員の頭部への衝撃を緩和することができず、重大な傷害につながるおそれがあります。

走行する際は正しくヘッドレストを取り付けてください。

■ 取り付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。

！ 警告

ヘッドレストを前後逆に取り付けたり、固定が不十分だったりすると、万一のときにヘッドレストが本来の効果を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

ヘッドレストが前後逆の場合、高さ調節も固定もできません。

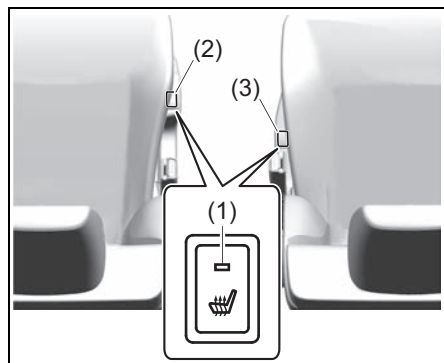
ヘッドレストは、正しい向きで、しっかりと固定してください。

シートヒータースイッチ

タイプ別装備

シート内にあるヒーターで座面をあたためることができます。

- エンジンスイッチが **ON** のときにスイッチを押すと、ヒーターが作動して、スイッチ内の表示灯 (1) が点灯します。もう一度押すと、ヒーターが止まります。
- シートが好みの温度になったら、ヒーターを止めてください。



83S02270

- (2) 助手席シートヒータースイッチ
(3) 運転席シートヒータースイッチ

⚠ 注意

- 長時間連続でヒーターを使用すると、低温やけど（水ぶくれなど）の原因となるおそれがあります。
- 毛布や座ぶとんなど、保温性の高いものをシートにかけないでください。異常過熱の原因となるおそれがあります。

注 記

- 助手席のシートクッションにはシートベルトリマインダーのセンサーが内蔵されています。シートクッションの上に重いものや尖ったもの等を置いたり、助手席の取り外しや分解、改造等を行なったりすると、センサーが誤作動したり破損したりするおそれがあります。シートクッションの上に重いものや尖ったもの等は置かないでください。助手席の取り外しや分解・改造は行なわないでください。
- シートクッションの上にソフトドリンクやジュースなどの液体をこぼしたときは、すぐにやわらかい布などでふき取ってください。助手席シートベルトリマインダーセンサーが損傷するおそれがあります。
- シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面、ヒーターやシートベルトリマインダーセンサーが損傷する原因となります。
→ 9-5ページ（内装のお手入れ）
- 鉛バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときに使用してください。

🔧 アドバイス

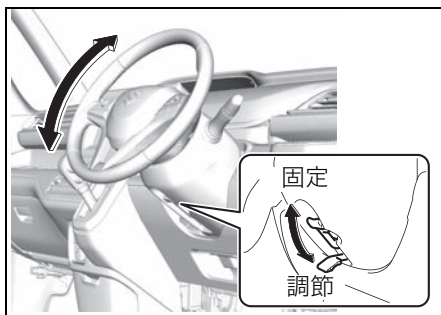
- ヒーターは自動停止しません。スイッチを切らないと、作動し続けます。

チルトステアリング

ハンドルの高さ調節

→ 2-3 ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)

- 1 ハンドルの固定を解除します。
 - 片手でハンドルをささえながら、ハンドル下のレバーを押し下げます。
- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置に調節します。
- 3 調節後は、ハンドルを固定します。
 - その位置でハンドルを押さえたまま、レバーをもとの位置まで確実に戻します。



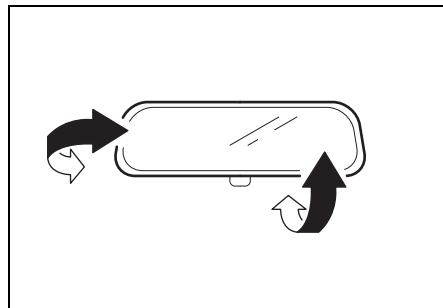
83S02281

⚠ 警告

ハンドルが確実に固定されていないと、ハンドルの位置が不意に動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節後はハンドルを上下にゆすって、確実に固定されているか確認してください。

ルームミラー

ミラー全体を動かして角度を調節します。



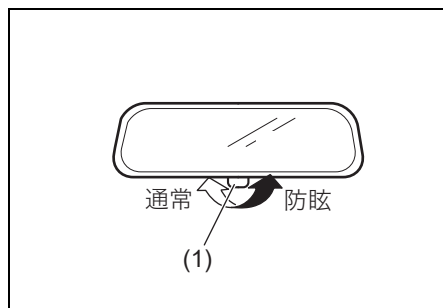
83S02340

⚠ 警告

走行中にルームミラーを調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。ルームミラーは必ず走行前に調節してください。

防眩式ルームミラー

通常はレバー (1) を車の前方向に押した状態で使用します。後続車のライトがまぶしいときは、レバーを手前に引くとライトの反射が弱まります。



83S02350

ドアミラー

角度の調節

⚠ 警告

走行中にドアミラーを調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

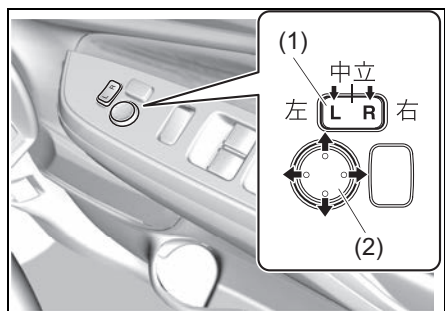
ドアミラーは必ず走行前に調節してください。

■ ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** の位置にあるときに使用できます。

1 左右切替えスイッチ (1) を、調節したいミラーの側に押します。

2 角度調節スイッチ (2) を押して、上下左右にミラーを動かします。

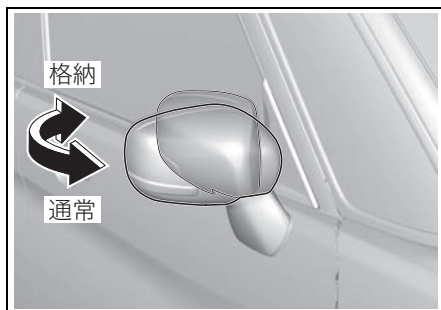


83S02290

格納

狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に格納できます。

- 電動で格納するときは、次の「**ドアミラー格納スイッチ**」をお読みください。



83S02180

- 上図のドアミラーは代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 警告

ドアミラーを格納したまま走行すると、後方の確認ができず、事故を起こすおそれがあります。

ドアミラーは、格納したまま走行しないでください。

注 記

手でドアミラーを動かすと故障の原因となります。

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** の位置にあるときは、手でドアミラーを動かさないでください。

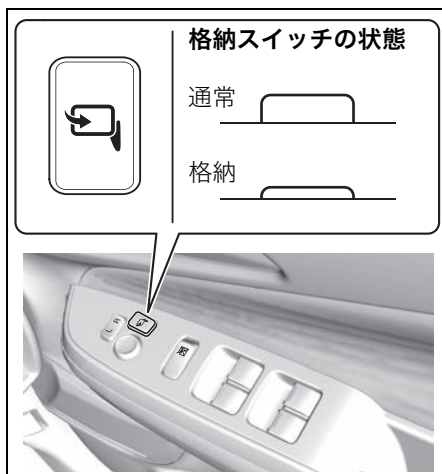
⚠ アドバイス

ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人やものに当たらないように気をつけてください。

■ ドアミラー格納スイッチ

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときに使用できます。

- 格納スイッチを押すごとに、格納と通常の位置に切り替わります。



- 格納スイッチが通常の位置で、ドアミラーが車の前方向に倒れていると、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたときに、ドアミラーがさらに車の前方向に倒れてしまいます。ドアミラーをもとの状態にもどすときは、一度格納操作をしてください。

⚠ 注意

- ドアミラーを動かすときは、次のことに注意してください。けがをしたり、ミラーが破損したりする原因となります。
 - ・ ドアミラーの周囲に人やものがなにか確認する
 - ・ 動いているドアミラーに触れない
- 手でドアミラーを通常の位置にもどすとドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。格納スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常の位置にもどさないでください。その場合は、スイッチを通常の位置に押して、確実にドアミラーを固定してください。

注 記

ドアミラーが凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。ドアミラーが凍結するような寒冷時は、手で動かすことが可能かを確認してから、格納スイッチの操作を行ってください。

→ 9-38ページ（ドアミラーの凍結）

ⓘ アドバイス

ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。

リモート格納ミラー

ドアミラー格納スイッチが通常の位置にあるときは、ドアの施錠やエンジンスイッチの操作と連動して、ドアミラーが自動的に格納と通常の位置に切り替わります。

- キーレスエントリーまたはリクエストスイッチでドアを施錠すると、自動的にドアミラーが格納されます。
→ 3-11ページ(キーレスエントリー)
→ 3-16ページ(リクエストスイッチによる ドアの施錠・解錠)

- 通常の位置にもどすときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にします。
- 工場出荷時は、作動する設定になっています。任意で停止に切替えてください。
→ 2-12ページ(リモート格納ミラーの停止・作動の切替えのしかた)

注 記

ドアミラーが凍結したまま動作を繰り返すと、故障の原因となります。
ドアミラーが凍結するような寒冷時は、リモート格納ミラーの機能を停止してください
→ 9-38ページ(ドアミラーの凍結)

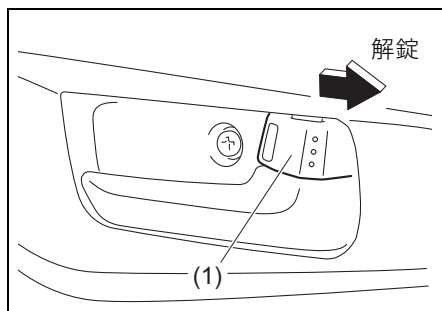
アドバイス

- ドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、ドアミラーが自動的に格納されません。
- ドアミラー格納スイッチが格納の位置にあるときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたときに、ドアミラーが自動的に通常の位置にもどりません。
- タイマーロック機能が作動すると、ドアミラーが自動的に格納されます。
→ 3-13ページ(タイマーロック機能)

■ リモート格納ミラーの停止・作動の切替えのしかた

エンジンスイッチが **LOCK** (OFF) の位置にある状態で、次の手順で切替えてください。

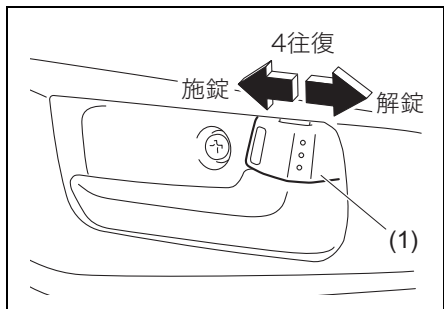
- 1 運転席にすわり、すべてのドアが閉まっているか確認します。
 - いずれかのドアが開いていると、半ドア警告灯が点灯します。
→ 4-61ページ(半ドア警告灯)
- 2 ロックレバー (1) を解錠側 (車の後ろ方向) にします。



83S02380

※次の③から④までの一連の手順は、15秒以内に完了してください。

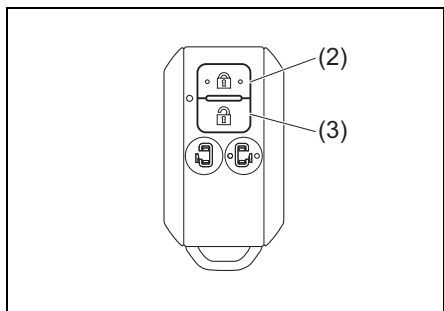
- ③ ロックレバー（1）を施錠側（車の前方向）にし、解錠側（車の後ろ方向）にもどします。この操作を4往復行ないます。



83S02390

- ④ 携帯リモコンの操作部を3回押します。

- 操作部はロック／アンロックスイッチのどちらでも結構です。
- 設定切替え中は、操作部を押してもドアの施解錠は行なわれません。



79R30250

- (2) 操作部(ロックスイッチ)
(3) 操作部(アンロックスイッチ)

前記の手順を行なうと、リモート格納ミラーの設定が次表の順で切り替わります。また、設定確認ブザーの回数によって設定状態が確認できます。

リモート格納ミラーの設定状態	設定確認ブザー
停止	1回
作動	2回

- ③から④までの操作が正しく行なわれなかったり、15秒以内にできなかったりしたときは、設定が切り替わらず、設定確認ブザーが鳴りません。はじめからやり直してください。

ドアミラーヒータースイッチ

4WD車

ドアミラーヒーターは、リヤデフォグと連動します。

→ 3-46ページ

(リヤデフォグスイッチ)

後席シート

前後位置の調節

⚠ 警告

- シートベルトにたるみがあると、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されず、重大な傷害につながるおそれがあります。
シートベルトを着用する前にシートの調節をしてください。
- シートの下にものがはさまると、シートが固定されず、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
シートの下にものを置かないでください。

⚠ 注意

シートを動かすときは、次のことに注意してください。

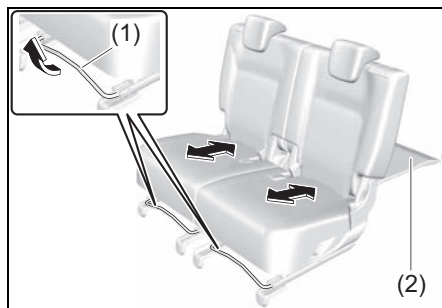
- ラゲッジフロアボードに指や手がはさまれてけがをする。
- 荷物が倒れたときに身体がはさまれてけがをする。

■ 座席下のスライドレバーによる調節

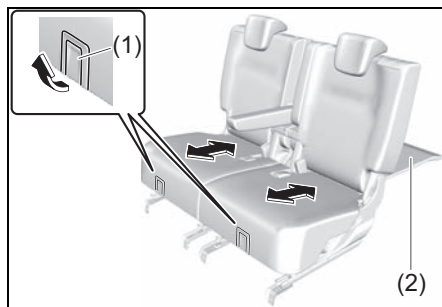
スライドレバー (1) を引き上げたまま、シートを前後に動かします。

- ラゲッジフロアボード (2) も連動して前後に動きますので、ボードの上に荷物がある場合はいったん降ろしてからシートを動かしてください。

Aタイプ



Bタイプ



■ 背もたれ上面のスライドレバーによる調節

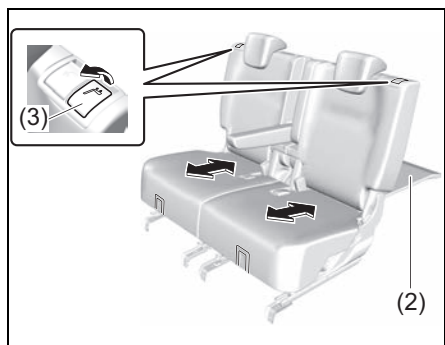
タイプ別装備

荷室側からも前後位置の調節ができます。

後席背もたれ上面にあるスライドレバー (3) を引き上げたまま、シートを前後に動かします。

- ラゲッジフロアボード (2) も連動して前後に動きますので、ボードの上には荷物がある場合はいったん降ろしてからシートを動かしてください。

また、荷室側から調節する場合は、ボードの上に乗らないでください。



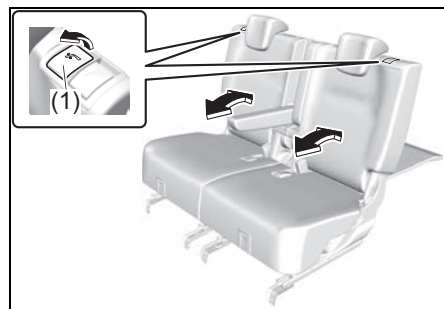
83S02060

背もたれの角度調節

- 1 片方の手を背もたれに添え、もう一方の手で背もたれ上面にあるリクライニングレバー (1) をいっぱい引き上げます。

- シートから降りて操作してください。シートにすわったままリクライニングレバーを引き上げると、背もたれが急に最大角度まで倒れ込むことがあります。
- リクライニングレバーは、いっばいに引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。

- 2 リクライニングレバーを引き上げたまま、背もたれを好みの角度の少し手前まで倒します。



83S02070

- 3 リクライニングレバーから手を離し、固定される位置まで背もたれを倒します。

⚠ 警告

必要以上に背もたれを倒すと、万有的时候にシートベルトが本来の効果を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

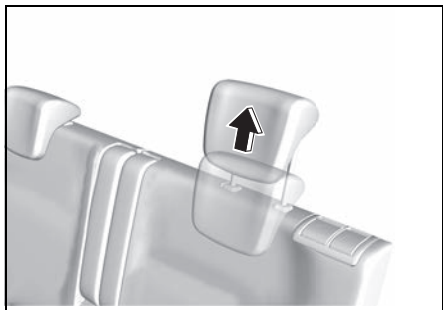
背もたれは、必要以上に倒さないでください。

ヘッドレストの操作方法と 取り外し・取り付け

■ 使用時の位置

使用するときは、ヘッドレストを手で持ち上げ、しっかりと固定します。

使用時

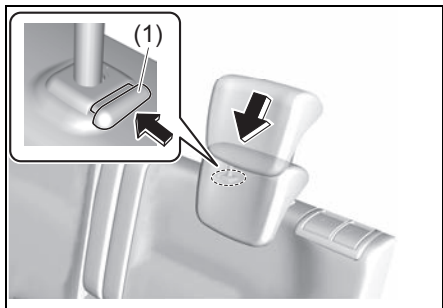


83S02080

■ 収納時の位置

収納するときは、ロックボタン（１）を押したままヘッドレストを一番下まで押し下げます。

収納時



83S02090

⚠ 警告

走行中にヘッドレストを調整すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ヘッドレストは必ず走行前に調節してください。

■ 取り外しかた

ロックボタン（１）を押したまま引き抜きます。

⚠ 警告

ヘッドレストを外したまま走行すると、後方からの衝突時に乗員の頭部の後傾を抑えることができないだけでなく、急ブレーキ時や衝突時などに乗員の頭部への衝撃を緩和することができず、重大な傷害につながるおそれがあります。
走行する際は正しくヘッドレストを取り付けてください。

⚠ 注意

取り外したヘッドレストを、客室内に放置すると、急ブレーキをかけたときなどに飛び出し、乗員やものなどに当たって、思わぬけがや破損のおそれがあります。
取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。

■ 取り付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。

⚠ 警告

- ヘッドレストを前後逆に取り付けたり、固定が不十分だったりすると、万一のときにヘッドレストが本来の効果を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。ヘッドレストが前後逆の場合、高さ調節も固定もできません。ヘッドレストは、正しい向きで、しっかりと固定してください。
- ヘッドレストが当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストに当たるのを防ぐため、ヘッドレストを固定できる範囲で一番高い位置に調節するか取り外してください。

シートの便利な使いかた

荷室を広げるとき（後席シート）

背もたれを前方へ倒すと、荷室が広く使えます。

⚠ 警告

倒した背もたれの上や荷室に人を乗せると、急ブレーキ時や衝突時などに、人が投げ出されて重大な傷害につながるおそれがあります。倒した背もたれの上や荷室に人を乗せないでください。

⚠ 注意

シートを動かすとき、手足をはさんだり、身体に当たったりするとけがのおそれがあります。シートを動かすときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。

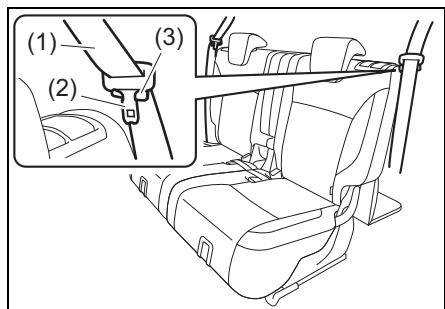
■ 格納のしかた

- 1 格納前に次のことを確認し、格納のさまたげにならないようにします。
 - 後席の足元にものがないか確認する
- 2 ヘッドレストは一番低い位置へ調節します。

→ 2-16ページ（ヘッドレストの操作方法と 取り外し・取り付け）
- 3 後席中央のシートベルトは、荷室天井にあるホルダーへ収納します。

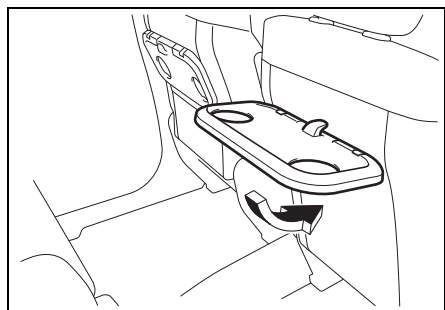
→ 2-34ページ（収納のしかた）

- 4** 後席左右のシートベルト (1) およびタングプレート (2) を図のようにベルトハンガー (3) にかけます。



81P30430

- 5** パーソナルテーブル装備車の場合、テーブルを収納します。
→ **7-44ページ**
(パーソナルテーブル)



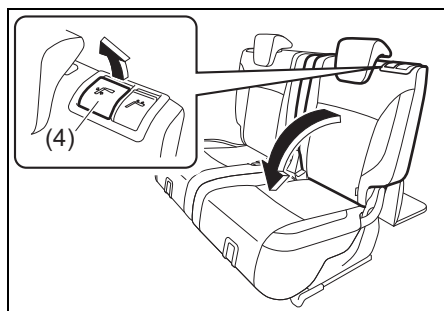
83S02100

- 6** 片方の手を背もたれに添え、もう一方の手で背もたれ上面にあるリクライニングレバーをいっぱいに引き上げます。

- リクライニングレバーはいっぱいに引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。

- 7** リクライニングレバー (4) を引き上げたまま、背もたれを前方へ倒します。

- 背もたれを倒すときに、後席のヘッドレストが前席に当たる場合は、前席を前方へ動かしてください。

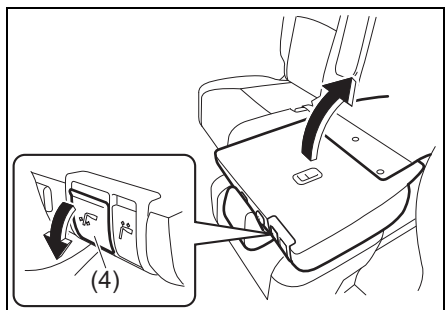


83S02110

■ もとにもどすときは

シートをもとにもどすときは、後席のドア側から行ないます。

- 1 リクライニングレバー (4) を車の前方向へいっぱい倒し、そのまま背もたれを少し起こします。



83S02120

- 2 リクライニングレバーから手を離し、固定される位置まで背もたれを起こします。

- 背もたれを前後にゆすって、確実に固定されているか確認してください。

長い荷物を積むとき (助手席シート)

後席シートの格納のあとに、助手席の背もたれを前方へ倒すと、より長い荷物が積めます。

→ 2-17ページ
(荷室を広げるとき (後席シート))

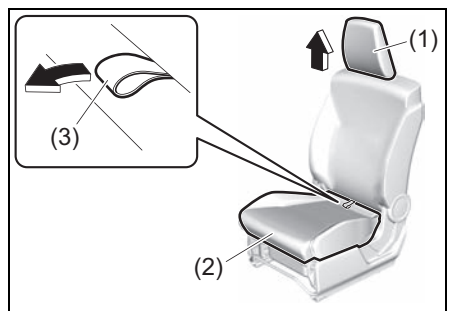
⚠ 警告

- 前方に倒した背もたれの上に人を乗せると、急ブレーキ時や衝突時などに、人が投げ出されて重大な傷害につながるおそれがあります。前方へ倒した背もたれの上に人を乗せないでください。
- 荷物が確実に固定されていないと、ブレーキや加速、衝突のときなどに、荷物が飛び出して身体に当たって、思わぬけがをするおそれがあります。背もたれを前方へ倒したときはとくに、荷物が確実に固定されているか確認してください。

■ 背もたれの前方への倒しかた

- 1 助手席を後方へスライドし、ヘッドレスト (1) を外します。
→ 2-7ページ (ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け)
- 2 クッション (2) の後部についているバンド (3) を引き上げて固定を外し、クッションを車の前方向へ起こします。
● バンドが引き上げにくいときは、背もたれを後方へ倒します。

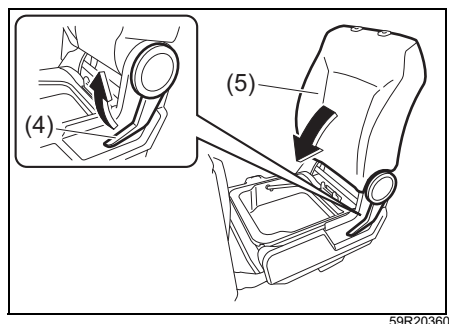
2



注 記

前方へ起こしたクッションに力を加えると、クッション取り付け部が損傷するおそれがあります。
前方へ起こしたクッションに、力を加えないでください。

- 3 リクライニングレバー (4) を引き上げ、背もたれ (5) を前方へいっぱいまで倒します。



■ もとにもどすときは

「背もたれの前方への倒しかた」と逆の手順で行ないます。

フルフラットシート

前席と後席の背もたれを後方へ倒すと、室内に連続的な空間が作れます。

⚠ 警告

- フルフラットにしたシートに、人や荷物を乗せて走行すると、ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されたり、荷物が身体に当たったりして重大な傷害を受けるおそれがあります。フルフラットにしたシートに、人や荷物を乗せて走行しないでください。
- SRS サイドエアバッグ装備車は、前席の背もたれの上でとびはねるなどすると、SRS サイドエアバッグ破損し正常に作動なくなり、万が一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。SRS サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。

注意

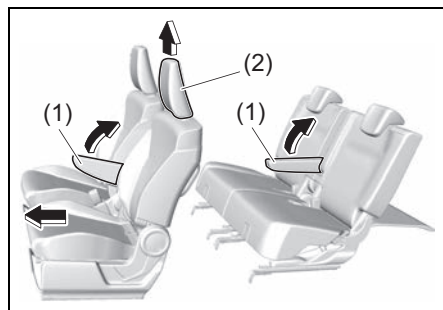
- フルフラットにしたシートの上を歩くと、シートから足を踏み外しけがのおそれがあります。
フルフラットにしたシートの上を歩きまわらないでください。
- シート自体の固定が不確実な場合、走行中に突然シートが動いたり、背もたれが前方へ倒れたりして思わぬけがをするおそれがあります。
シートをもとにもどしたときは、クッションや背もたれをゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。

注記

シートに強い衝撃をあたえると損傷するおそれがあります。
フルフラットにしたときは、シートに強い衝撃をあたえないでください。

■ フルフラットにするときは

- 1 アームレスト (1) (後席はタイプ別装備) を持ち上げ収納します。
→ 7-41ページ
(アームレスト (ひじ掛け))
- 2 前席のヘッドレスト (2) を外し、前席を前方へいっぱいまでスライドさせます。



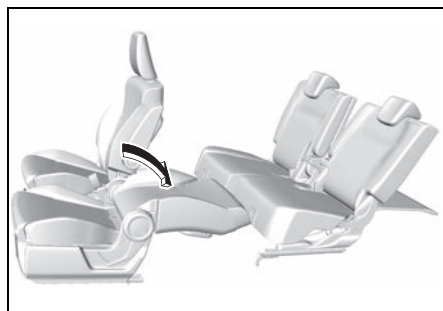
83S02140

- 3 後席を後方へいっぱいまでスライドさせます。
- 4 後席の背もたれを、後方へいっぱいまで倒します。後席はフラットになりません。



83S02150

- 5 前席の背もたれを、後方へいっぱいまで倒します。



83S02160

- 6 後席に当たるまで、前席を後方へスライドさせます。



83S02170

■ もとにもどすときは

「フルフラットにするとき」 と逆の手順で操作します。

お子さまを乗せるときは

慎重に安全を確保し、スピードを控えめに安全運転を心がけましょう。

お子さまは後席に乗せる



51K0188

- できるだけ大人が隣にすわり、お子さまを見守ってください。
- 助手席に乗せるとお子さまの不意の動作が気になったり、お子さまがいたずらしたりして、運転のさまたげになるおそれがあります。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
 - 2-25ページ（お子さま用シートの使用について）
 - 2-41ページ（お子さま用シートの選択について）

警告

- チャイルドブルーフを使用しないと、走行中などに不意にドアが開き、車外に放り出されて重大な傷害につながるおそれがあります。後席のお子さまが走行中にドアを開けないように、チャイルドブルーフを使用してください。

→ 3-10ページ

(チャイルドブルーフ)

- お子さま用シートを必要としないお子さまをやむをえず助手席に乗せるときは、次のことをお守りください。
 - ・助手席を前に出していると、助手席SRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。
お子さまをやむをえず助手席に乗せるときは、助手席を一番後ろに下げてください。
 - ・お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしていると、SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。



59RN04650

- アームレストやシートを動かすとき、お子さまが手や足などをはさんでけがをするおそれがあります。アームレストやシート下のレール部など車内の可動部に手や足などを近付けないように注意してください。

お子さまもシートベルトを着用

警告

- お子さまをしっかり抱いていても、衝突のときなどに十分にささえることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
ひざの上にお子さまを抱かないでください。



69RHS159

- シートベルトを装着しないと、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。
お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。
- 一本のシートベルトを二人以上で使用すると、急ブレーキ時や衝突時などにシートベルトが本来の効果を発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。
一本のシートベルトを二人以上で使用しないでください。

⚠ 警告

- この車のシートベルトは成人サイズの乗員に適するように設計されています。シートベルトを正しく使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまには、チャイルドシートやジュニアシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。



69RHS160

- ベビーシートを使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまには、ベビーシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。

シートベルトで遊ばせない

⚠ 警告

お子さまがベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいると、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。



69RHS161

お子さま用シートの使用について

- ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートは、助手席で使用することができません。後席に取り付けてください。
- 安全のため、チャイルドシートおよびジュニアシートも後席に取り付けてください。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
→ **2-41 ページ（お子さま用シートの選択について）**

- 助手席サンバイザーの両面には、お子さま用シートを取り付ける場合の禁止事項などを示した警告ラベルが貼られています。お子さま用シートをご使用前に、**2-58 ページの「助手席 SRS エアバッグに関する警告ラベル」**を必ずお読みください。
- この車には、次のタイプのお子さま用シートを取り付けることができます。
 - ・ シートベルトで固定するタイプのお子さま用シート
→ **2-47 ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）**
 - ・ ISOFIX タイプのお子さま用シート
→ **2-49 ページ（ISOFIX 対応お子さま用シートの固定）**

- お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取り付けられないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。
- お子さま用シートには、スズキ純正品をおすすめします。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- お子さま用シートを使用していても、お子さまの安全の確保には限界があります。スピードは控えめにして、安全運転に心がけてください。

警告

- 前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、後ろ向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。
やむをえず助手席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、助手席を一番後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



59RN02250

⚠ 警告

- お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしていると、SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。
- お子さま用シートが正しく取り付けられていないと、事故の際お子さまやその他乗員が重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さま用シートは必ず本書とお子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがい、確実に取り付けてください。
- お子さまの体が正しく固定されていないと、事故の際お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。
- シートの背もたれを倒すと、お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。
- 後席でお子さま用シートを使用するときに、前席がお子さまの足やお子さま用シートと干渉していると、事故の際お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。干渉しないよう前席を調整してください。

⚠ 警告

- 事故などで強い衝撃を受けたお子さま用シートを使用すると、万一のときに性能を十分発揮できず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
事故などによりお子さま用シートが強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。

⚠ 注意

お子さま用シートをシートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員やものに当たり、思わぬけがや破損のおそれがあります。
お子さま用シートは、使用していないときでもしっかりとシートに取り付けるか、荷室に収納してください。

ドアやウィンドーの開閉、シート調節は大人が行なう

お子さまの手足や首をはさまないように、大人が開閉や調節を行なってください。

- 3-19ページ
(スライドドアクローザー)
- 3-20ページ
(パワースライドドア)
- 3-32ページ
(パワーウィンドー)



69RHS162

警告

- ウィンドーがロックされていないと、お子さまの誤った操作により、お子さま自身、あるいは他の乗員がウィンドーにはさまれたり巻き込まれたりするおそれがあります。パワーウィンドーは、お子さまが自分で操作しないように、ウィンドーロックスイッチをご使用ください。
- 3-33ページ
(ウィンドーロックスイッチ)

警告

- パワーウィンドーを作動可能なままにしておくと、お子さまの誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、お子さまがパワーウィンドーを操作することがないように、必ずエンジンスイッチをOFFにし、キーを携帯してお子さまと一緒に離れてください。

窓から顔や手を出さない

警告

- お子さまが手や顔などを出していると、急ブレーキで重大な傷害を受けたり、転落したりするおそれがあります。また、車外のものなどに当たって重大な傷害を受けるおそれもあります。お子さまが窓から手や顔などを出さないように注意してください。



69RHS163

車から離れるときは

⚠ 警告

車から離れるときは、お子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまの誤った操作で、火災や車の発進などによる事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内は高温になるため、お子さまが熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害や最悪の場合には死亡につながるおそれがあります。エアコンをつけていても、車内にお子さまだけを残さないでください。



69RHS164

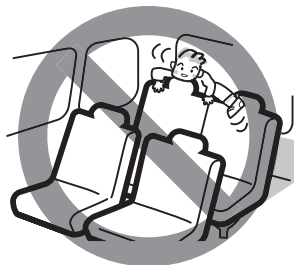
お子さまを荷室に乗せない

⚠ 警告

荷室は人が乗る構造になっていません。

荷室へお子さまを乗せて走行すると、急ブレーキなどで重大な傷害につながるおそれがあります。

荷室へお子さまを乗せないでください。また、道路上での停車中も、お子さまを荷室で遊ばせないでください。



69RHS165

シートベルトについて

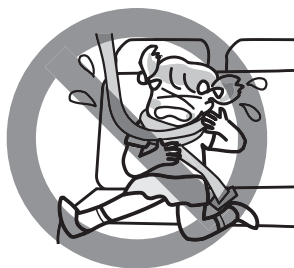
正しい姿勢でシートにすわり、正しくシートベルトを着用しないと、シートベルトが本来の効果を発揮できません。シートベルトは、2-3ページの「シートベルトは正しく着用」を参照のうえ、正しく着用するとともに、同乗者がいる場合は、安全のため全員に着用させましょう。

お子さまもシートベルトを着用

→ 2-22ページ
(お子さまを乗せるときは)

警告

お子さまがベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいると、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。



69RHS161

妊娠中や疾患のある方は

警告

- 妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されるおそれがありますので、医師に相談して注意事項を確認してください。
- 妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



80J075

シートベルト警告ブザー

シートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

- 4-53ページ
(前席シートベルト警告灯)
- 4-54ページ
(後席シートベルト警告灯)

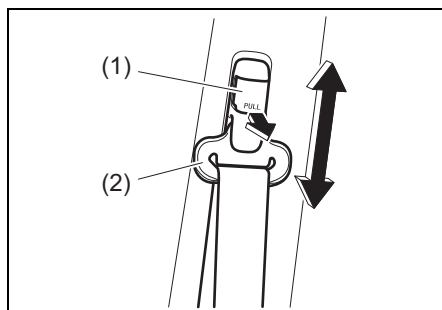
シートベルトの長さ調節

シートベルトは、長さ調節が必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節 (前席のみ)

身体の大きさにあわせて、シートベルトが正しく着用できるようにショルダークラスパー (2) の高さ調節ができます。

- 上に調節するときは、アンカーをそのまま適切な位置まで持ち上げます。
- 下に調節するときは、ロックレバー (1) を引いたままアンカーを下げ、適切な位置でレバーを離します。
- 調節後は、アンカーを下に引いて固定されているか確認します。



62R0051

⚠ 警告

シートベルトが正しく着用できていないと、万一のときにシートベルトが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。シートベルトが正しく着用できるように調節してください。

シートベルトの着用のしかた

■ 着用のしかた

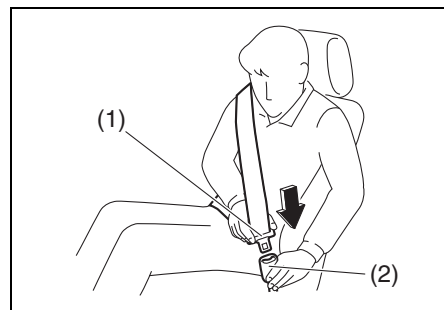
- 1 運転席シートベルトを着用するときは、アームレストを収納します。
→ 7-41ページ
(アームレスト (ひじ掛け))
- 2 タングプレート (1) とシートベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。
ベルトのねじれを取ります。



⚠️ アドバイス

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

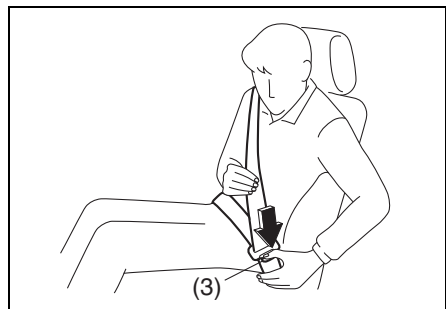
- 3 タングプレート (1) をバックル (2) の差し込み口にまっすぐになるようにあわせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。



- 4 ベルトを引っ張るなどして、タングプレートがバックルに確実に固定されていることを確認します。
- 5 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 6 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。
- 7 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

■ 外すときは

バックルのボタン (3) を押します。シートベルトが自動的に巻きもとされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。



80J1328

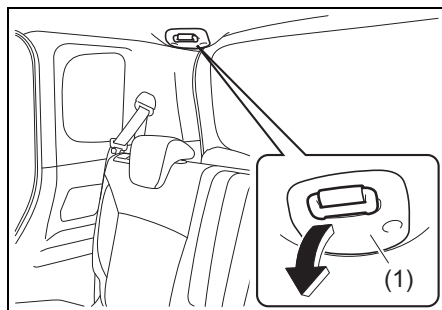
⚠️ アドバイス

ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもとされていることを確認してください。

後席中央席

■ 着用のしかた

- 1 シートベルトをゆっくりと引き出します。シートベルトは、荷室天井にあるホルダー (1) に収納されています。

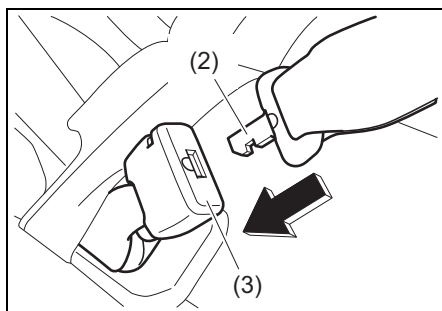


83S02360

⚠️ アドバイス

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

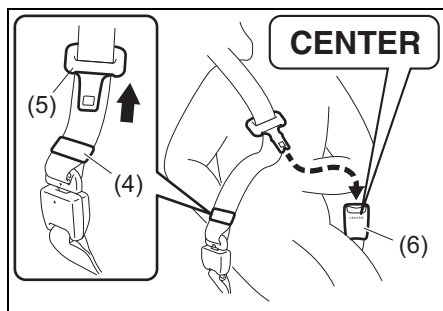
- 2 ベルトがねじれていないことを確認し、シートベルト先端のプレート (2) と中央席右側にあるバックル (3) の円状の切り欠きがある面をあわせ、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。



81P30560

- 3 バンド (4) からタングプレート (5) を引き出し、中央席左側にあるバックル (6) の差し込み口にまっすぐになるようにあわせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。

- 左側後席用のバックルとの間違い防止のため、中央席左側にあるバックル (6) には、**CENTER** の表示があります。



81P30570

- 4 ベルトを引っ張るなどして、タングプレートがバックルに確実に固定されていることを確認します。

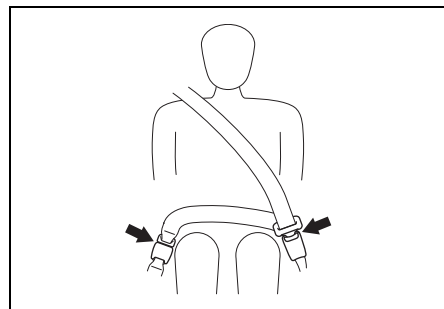
- 5 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。

- 6 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。

- 7 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

警告

- 後席中央席を使用するとき後席左右のシート位置がずれていると、万一のときにシートベルトが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。後席中央席を使用するときは、後席の前後位置および背もたれの角度を合わせてください。
- 重大な傷害を避けるため、後席中央席のシートベルトは前記の手順にしたがって、左右2つのバックルを使用して正しく装着してください。



51K0164

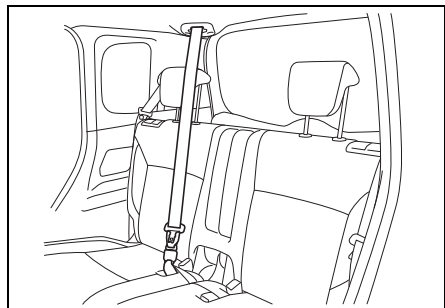
誤装着の例



54G645

■ 外すときは

左側にあるバックルのボタンを押します。シートベルトが自動的に巻きもとされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。下図の位置まで、ベルトが自動的に巻きもとされます。



83S02370

- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

■ 収納のしかた

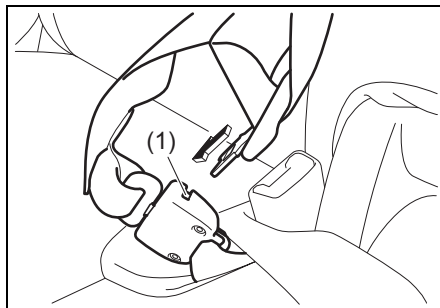
使用しないときは、荷室天井のホルダーに収納してください。



注意

収納せずに後席を倒すと、シートベルトやシートが損傷するおそれがあります。

- 1 右側にあるバックルの解除ボタン (1) に、タングプレートなどを差し込んでベルトを外します。



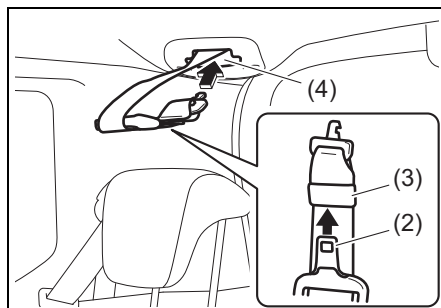
81P30600



注意

解除ボタンを押すときは、ベルトに手を添えてください。自動的に巻き取られたプレートが身体に当たって、けがのおそれがあります。

- 2 タングプレート (2) をバンド (3) に差し込みます。シートベルト先端のプレートを、荷室天井のホルダー (4) 内下側の収納スペースに奥まで差し込みます。



83S02330

- 3 ベルトの残りをすべて巻き取らせ、たるみを取り除きます。

⚠ 注意

シートベルトはしっかりと収納してください。収納が不十分だと、走行中の揺れなどでシートベルトが落ちて身体に当たり、けがをするおそれがあります。

シートベルトを正しく着用する**⚠ 警告**

シートベルトを正しく着用してください。正しく着用しないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことに注意してください。

- シートベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが腰部でなく腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに内臓が強く圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが肩にしっかりとかかっていると、衝撃を受けたときに前方に投げ出されるおそれがあります。
- アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下を通してください。

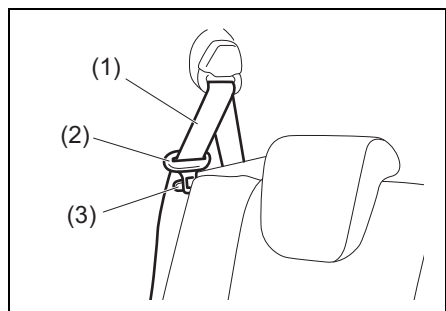


59RN02130

シートベルトの 取扱いとお手入れ

取扱い

- 後席に人を乗せないときは、シートベルト (1) および、タングプレート (2) を後席両側のベルトハンガー (3) にかけてください。
後席のシートベルトを使用するときはベルトハンガー (3) から外してください。
- 中央席のシートベルトを荷室天井のホルダーに収納してください。
→ 2-34ページ (収納のしかた)



59R20210

⚠ 警告

- シートベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- バックルが正常に動かないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 衝突などでベルトに強い力がかかったときは、外観に異常がなくても、機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。

⚠ 警告

- 万一のときにシートベルトが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・ バックルの内部に異物が入ったり、飲み物をこぼしたりしたときは、シートベルトが正常に機能を発揮できないおそれがあるため、スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - ・ シートベルトが損傷するおそれがあるため、シートベルトをドアにはさまないようにしてください。ドアを閉める前に、シートベルトがたるみなく巻きもどされているか確認してください。
 - ・ シートベルトを改造したり、取り外したりしないでください。

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。

→ 9-6 ページ (布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ)

⚠ 警告

漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となり、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー (前席のみ)

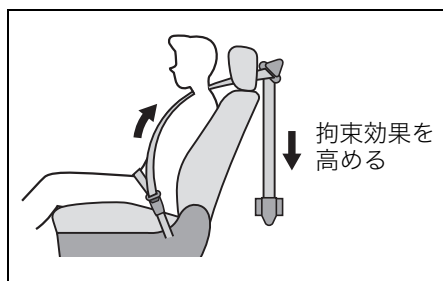
シートベルトプリテンショナーとは

エンジンスイッチが **[ON]** のときに、次のような状況になると、肩ベルトを瞬時に巻き取ります。

- 車の前方向から強い衝撃を受けたとき。運転席・助手席 SRS エアバッグシステムと連動しています。
- 車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けたとき。SRS サイド／カーテンエアバッグシステムと連動しています。

→ **2-63ページ**

(SRSエアバッグシステムの作動)



80J1018

⚠️ アドバイス

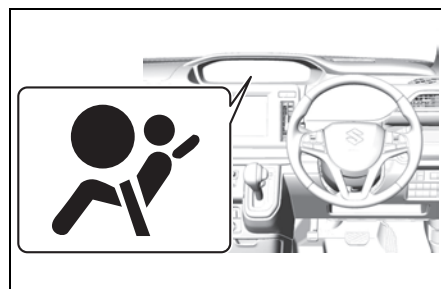
作動したプリテンショナーおよびエアバッグは再使用できません。スズキサービス工場で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に影響をあたえる部品に手を加えないでください。シートベルトが思いがけないときに巻き取られたり、必要なときに正常に巻き取られなくなったりすることがあります。

→ **6-19ページ** (部品の取り付け、取り外し、修理をするときは)

SRSエアバッグ警告灯



83S02261

メーターパネル内にあります。

→ **1-20ページ** (警告灯)

- シートベルトプリテンショナー、SRS エアバッグが作動したとき、または電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。

→ **4-54ページ**

(SRSエアバッグ警告灯)

廃棄や廃車

作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

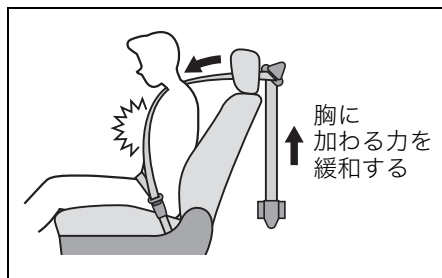
⚠ 警告

プリテンショナーを廃棄する場合、不適切に扱うと、プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

プリテンショナーを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

シートベルト可変フォースリミッター（前席のみ）

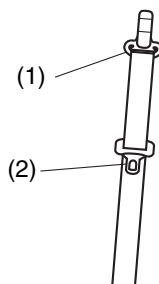
車の前方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻き取り装置内のシートベルト可変フォースリミッターが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを2段階に繰り出して、衝撃を緩和します。



80J1039

⚠ 警告

強い衝撃を受けたシートベルトは、ショルダーアンカー部（1）およびタングプレート部（2）の樹脂が強い摩擦で溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。スズキサービス工場で交換してください。



82K179

お子さま用シート

お子さま用シートの使用について

- ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートは、助手席で使用することができません。後席に取り付けてください。
- 安全のため、お子さま用シートおよびジュニアシートも後席に取り付けてください。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。

→ 2-41ページ（お子さま用シートの選択について）

- 助手席サンバイザーの両面には、助手席 SRS エアバッグ装備車にお子さま用シートを取り付ける場合の禁止事項などを示した警告ラベルが貼られています。お子さま用シートをご使用前に、2-58 ページの「助手席 SRS エアバッグに関する警告ラベル」を必ずお読みください。
- この車には、次のタイプのお子さま用シートを取り付けることができます。
 - ・ シートベルトで固定するタイプのお子さま用シート
 - 2-47ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）
 - ・ ISOFIXタイプのお子さま用シート
 - 2-49 ページ（ISOFIX 対応お子さま用シートの固定）

- お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取り付けられないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。
- お子さま用シートには、スズキ純正品をおすすめします。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- お子さま用シートを使用していても、お子さまの安全の確保には限界があります。スピードは控えめにして、安全運転に心がけてください。

警告

前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。

やむをえず助手席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、助手席を一番後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



59RN02250

- お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしていると、SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。

⚠ 警告

- お子さま用シートは、正しく取り付けられていないと、万一のときに性能を十分発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行する前に、お子さま用シートが確実に固定され、ガタつき、ゆるみなどがないことを確認してください。

- シートの背もたれを倒すと、お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。

- 後席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときに、前席が近すぎると万一のときにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

後席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、可能な限り前席を前方に移動してください。

- 事故などで強い衝撃を受けたお子さま用シートを使用すると、万一のときに性能を十分発揮できず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

事故などによりお子さま用シートが強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。

⚠ 注意

お子さま用シートをシートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員やものに当たり、思わぬけがや破損のおそれがあります。

お子さま用シートは、使用していないときでもしっかりとシートに取り付けるか、荷室に収納してください。

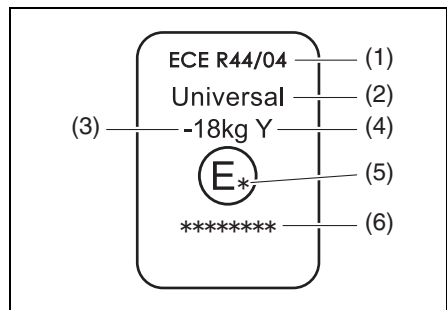
お子さま用シートの選択 について

お子さま用シートは、この項目をよく読んだうえで、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。

- 2-22ページの「お子さまを乗せるときは」もよくお読みください。
 - この車は、2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISOFIX対応お子さま用シート固定専用金具（ISOFIX アンカーおよびテザーアンカー）を装備しています。
- 2-49 ページ（ISOFIX 対応お子さま用シートの固定）

UN R44 の基準に適合するお子さま用シートの認証マークについて

UN R44（※1）の基準に適合するお子さま用シートには、次のような認証マークが表示されています。



51K1022

- (1) 法規番号（※2）
 - (2) お子さま用シートのカテゴリー（※3）
 - (3) 対象となるお子さまの体重範囲
 - (4) 装置の仕様
 - (5) お子さま用シートを認可した国番号
 - (6) お子さま用シートの認可番号
- 上図の認証マークは代表例です。

※1 UN R44 とは、お子さま用シートに関する国際法規です。

※2 お子さま用シート本体の認証マークにECEとありますが、内容はUNと同じです。

※3 上図の「**Universal**」は、汎用カテゴリーの認可であることを表します。

アドバイス

この車のスズキ純正お子さま用シートは、UN R44 の基準に適合しています。

UN R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表の見かた

→ 2-43ページ（座席位置別のお子さま用シート適合性について）

2

■ 質量グループについて

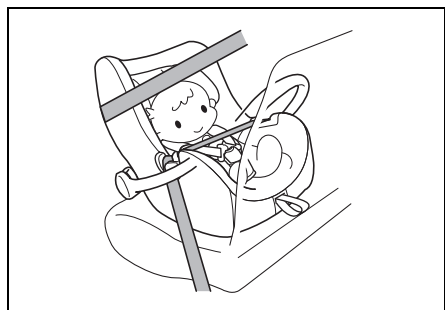
- UN R44 の基準に適合するお子さま用シートは、次の5種類に分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9～18kg
グループⅡ	15～25kg
グループⅢ	22～36kg

- 代表的なお子さま用シートには、次のようなものがあります。

ベビーシート

後ろ向き、または横向き装着のお子さま用シートで、首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまに使用します。UN R44基準のグループ0、0+に相当します。



64L30810

チャイルドシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。UN R44 基準のグループⅠに相当します。



64L30820

ジュニアシート

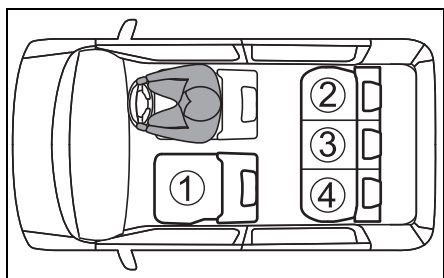
前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。UN R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



64L30830

座席位置別のお子さま用シート適合性について

■ 座席位置別のお子さま用シート適合性



83R02310

シート位置 番号	マーク
① (※1、※2、 ※3)	U
② (※2、※3)	U
③	X
④ (※2、※3)	U



車両のシートベルトで固定するタイプのユニバーサル（汎用）カテゴリーのお子さま用シートに適しています。



ISOFIX お子さま用シートに適しています。



テザーアンカーが装備されています。



前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートを絶対に使用しないでください。



お子さま用シートの取り付けに適していません。

- ※1 お子さま用シートを取り付けるときは、シートは一番後ろに下げてください。
- ※2 前向きお子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートと背もたれの間にすきまができないように背もたれの角度を調節してください。
- ※3 ヘッドレストとお子さま用シートが干渉するときは、ヘッドレストをお子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外してください。

■ 座席位置別のお子さま用シート適合性の詳細情報

シート位置番号	着席位置			
	①	②	③	④
シートベルトで固定するタイプのユニバーサル（汎用）カテゴリのお子さま用シートに適する着席位置（有 / 無）	有※1	有	無	有
i-Sizeお子さま用シートに適する着席位置（有 / 無）	無	無	無	無
横向きお子さま用シートに適する着席位置（治具：L1/L2）	無	X	無	X
後ろ向きお子さま用シートに適する着席位置（治具：R1/R2X/R2/R3）	無	R1, R2X, R2, R3	無	R1, R2X, R2, R3
前向きお子さま用シートに適する着席位置（治具：F2X/F2/F3）	無	F2X, F2, F3	無	F2X, F2, F3
ジュニアシートに適する着席位置（治具：B2/B3）	B2, B3※2	B2, B3	無	B2, B3

- ※1 前向きお子さま用シートのみ取り付けができます。取り付けるときはシートを一番後ろに下げてください。
- ※2 取り付けるときはシートを一番後ろに下げてください。

<上表に記入する文字の説明>

- 有 ： お子さま用シートを取り付けることができます。
- 無 ： お子さま用シートを取り付けることができません。
- X ： この治具に対応するISOFIX対応お子さま用シートの取り付けには適していません。

お子さま用シートはいくつかの「治具」の種類に分けられます。上表に示す「治具」の着席位置でお子さま用シートを使用することができます。「治具」の種類は次のページをお読みください。

■ ISOFIXタイプのお子さま用シートのサイズ等級と治具について

サイズ等級は、お子さま用シートに表示される分類記号です。サイズ等級と治具の関係は次の一覧表をご覧ください。

お子さま用シートの「サイズ等級」を確認するために、お子さま用シートに付属の取扱説明書をお読みください。お手持ちのお子さま用シートに「サイズ等級」がない（または必要な情報が表の中にない）場合は、お子さま用シートの「車種別適合表」を参照するか、製造元または販売店にご相談のうえ、適合性を確認してください。

質量グループ (体重)	サイズ等級	治具	説明
0 (10kgまで)	F	L1	左向き位置用チャイルドシート (キャリコット※)
	G	L2	右向き位置用チャイルドシート (キャリコット※)
	E	R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
0+ (13kgまで)	E	R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
	D	R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	—	R2X	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート (R2とは別形状)
	C	R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
I (9～18kg)	D	R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	—	R2X	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート (R2とは別形状)
	C	R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	B	F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
	B1	F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (F2とは別形状)
	A	F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
II (15～25kg)	—	—	—
III (22～36kg)	—	—	—

※キャリコットとは、お子さまを寝かせた姿勢で横向きに取り付けることができるベビーシートの一つです。

詳しくは、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。

■ ジュニアシートタイプのお子さま用シートの治具について

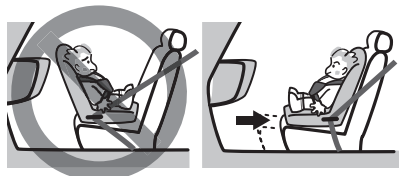
治具	説明
B2	幅が440 mmのジュニアシート
B3	幅が520 mmのジュニアシート

お子さま用シートの シートベルトによる固定

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
→ 2-41 ページ（お子さま用シートの選択について）
- ISOFIX タイプのお子さま用シート（別売り）を取り付けるときは、2-49 ページの「ISOFIX対応お子さま用シートの固定」をお読みください。

⚠ 警告

- お子さま用シートが確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時にお子さま用シートが飛び出し、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
必ずお子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。
- 前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。
やむをえず助手席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、助手席を一番後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



59RN02250

⚠ 警告

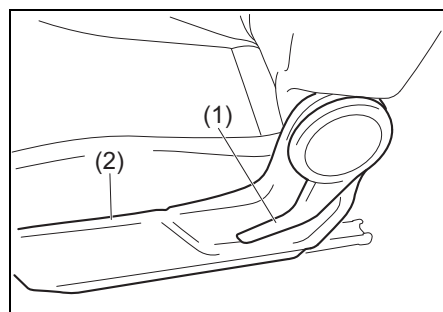
- 後席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、前席が近すぎると万一のときにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
後席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、可能な限り前席を前方に移動してください。

2

固定のしかた

この項目では、お子さま用シートを後席に取り付ける手順を説明しています。助手席に取り付ける場合は、次のこともあわせて確認してください。

- 助手席は、一番後ろに下げてください。
- 下図のリクライニングレバー（1）とカバー（2）の間にシートベルトを通さないでください。



59R20370

お子さま用シート

- 1 ヘッドレストがお子さま用シートに当たるときは、ヘッドレストの高さを調節するか取り外します。

→ 2-16ページ（ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け）

2



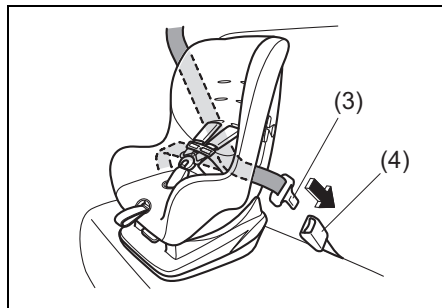
83S02080

警告

ヘッドレストが当たった状態では、お子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストに当たるのを防ぐため、ヘッドレストを固定できる範囲で一番高い位置に調節するか取り外してください。

- 2 お子さま用シートと背もたれの間にすきまができないように背もたれの角度を調節します。
- 3 座席が確実に固定されているか確認します。
- 4 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、所定の部位にシートベルトを通します。

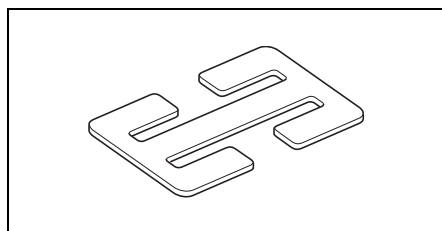
- 5 カチッと音がするまで、タングプレート (3) をバックル (4) にしっかりと差し込みます。



80P0343

- 上図のお子さま用シートは代表例です。

- 6 お子さま用シートにシートベルト固定機構もロックングクリップも備わっていない場合は、ロックングクリップ（市販品）を使用してしっかりと固定します。



72M00172

- 上図のロックングクリップ（市販品）は代表例です。

警告

お子さま用シートのシートベルト固定機構またはロッキングクリップでお子さま用シートを確実に固定しないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さま用シートは、シートベルト固定機構またはロッキングクリップで確実に固定してください。

- 7 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に固定されているか確認します。

- 確実に固定できない場合は、お子さま用シートに付属の取扱説明書をご確認いただくか、お子さま用シートを購入された販売店にご相談ください。

警告

お子さま用シートが確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

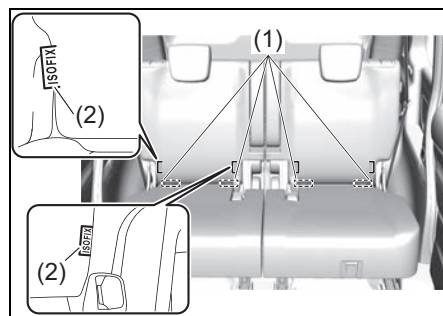
お子さま用シートは、確実に固定してください。

ISOFIX対応お子さま用シートの固定

ISOFIX お子さま用シート固定対応取付装置

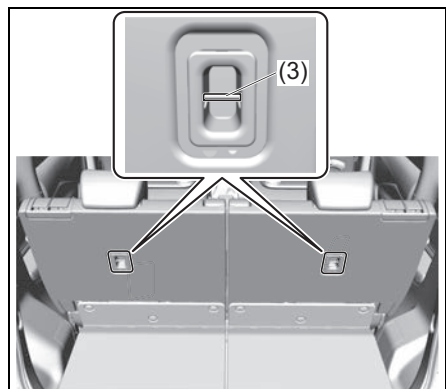
後席には、UN R44 (2-41 ページ参照) の基準に適合したISOFIX (※1) タイプのお子さま用シート (別売り) を固定するための取付装置が装備されています。

- 座面と背もたれのすきまにある金具が、ISOFIX 対応お子さま用シート固定用アンカー (以下ISOFIX アンカーと略す) です。



- (1) ISOFIXアンカー
(2) タグ

- 背もたれ裏側にある金具が、お子さま用シート固定用テザーアンカー（以下テザーアンカーと略す）です。



83S02200

(3) テザーアンカー

※1 ISOFIX とは、お子さま用シートの固定装置の大きさや取り付け方法を統一した国際標準化機構【ISO（※2）】の規格です。

※2 ISOとは、International Organization for Standardization の略で国際標準化機構のことです。

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。

→ 2-41ページ（お子さま用シートの選択について）

- ISOFIX タイプのお子さま用シートは、シートベルトで固定する必要があります。
- シートベルトで固定するお子さま用シートを取り付けるときは、2-47ページの「お子さま用シートのシートベルトによる固定」をお読みください。

■ 固定のしかた

⚠ 警告

- お子さま用シートが確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時にお子さま用シートが飛び出し、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

必ずお子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。

- シートベルトなどがかみ込むと、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さま用シートを取り付けるときは、ISOFIX アンカーやテザーアンカー周辺に異物やシートベルトなどがないか確認してください。

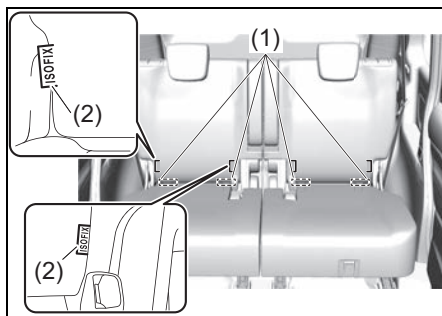
- 荷物の固定をするときに、ISOFIX アンカーやテザーアンカーを使用すると、アンカーが曲がったり損傷したりして、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

荷物の固定などに、ISOFIX アンカーやテザーアンカーを使用しないでください。

お子さま用シートのISOFIXアンカーによる固定

- 1 ISOFIX アンカー (1) の位置を確認します。

- 座面と背もたれのすきまにあります。



(1) ISOFIXアンカー

(2) タグ

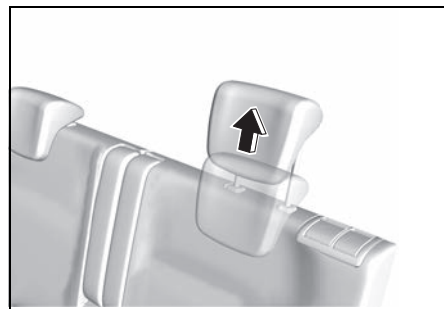
- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

ISOFIXアンカーがある付近には、前図のようなタグ (2) がついています。

- 2 後席のヘッドレストがお子さま用シートに当たるときは、ヘッドレストの高さを調節するか取り外します。

→ 2-16ページ (ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け)



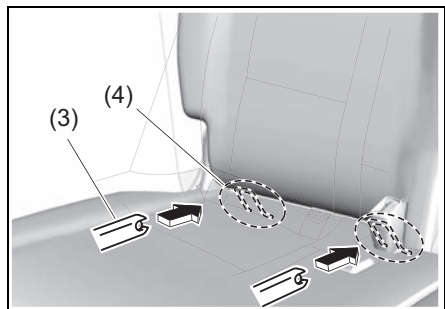
警告

ヘッドレストが当たった状態では、お子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストに当たるのを防ぐため、ヘッドレストを固定できる範囲で一番高い位置に調節するか取り外してください。

お子さま用シート

3 座席が確実に固定されているか確認します。

4 お子さま用シートのコネクター (3) を ISOFIX アンカー (4) へ差し込みます。



(3) コネクター (4) ISOFIXアンカー

●上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

5 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に取り付けられているか確認します。

お子さま用シートのテザーアンカーによる固定

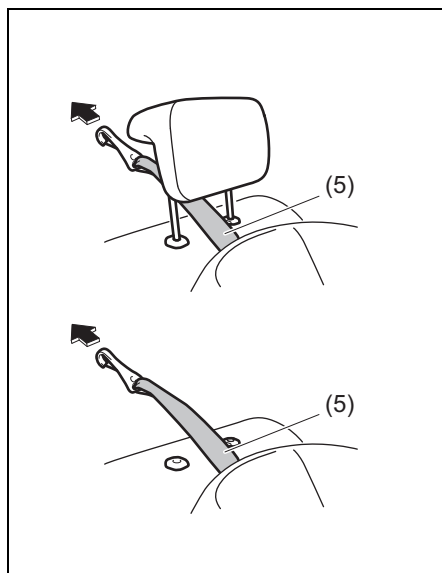
1 お子さま用シートがISOFIXアンカーで確実に取り付けられているか確認します。

→ **2-51ページ**

(お子さま用シートのISOFIXアンカーによる固定)

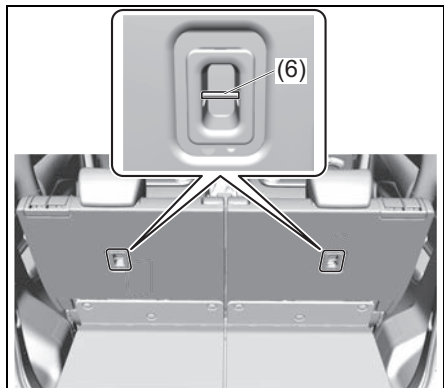
2 テザーベルトを、次のようにしてテザーアンカーへ取り付けます。

●ヘッドレストを取り付けているときは、図（代表例）のように持ち上げたヘッドレストと背もたれの間をテザーベルト (5) がねじれないように通す



52RS20431

- 3 背もたれ裏側にあるテザーアンカー
(6) にテザーベルトを取り付けま
す。



83S02201

(3) テザーアンカー

- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 4 テザーベルトにねじれやたるみが無く確実に取り付けられているか確認します。

SRSエアバッグ

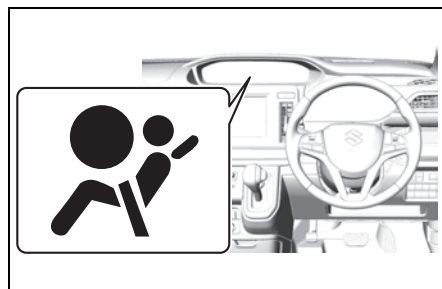
SRSエアバッグシステムとは

SRS とは Supplemental Restraint System の略で、補助拘束装置の意味です。

- メーター内の SRS エアバッグ警告灯は、エンジンスイッチが **ON** のときに、次のような状況で点灯します。
点灯した場合は、スズキサービス工場
で点検を受けてください。
- ・ SRS エアバッグ、シートベルトプリ
テンショナーが作動したとき
- ・ SRS エアバッグ、シートベルトプリ
テンショナーの電子制御システムに
異常があるとき

→ 4-54ページ

(SRSエアバッグ警告灯)



83S02261

⚠ 警告

- SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。シートベルトを装着していないと、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。SRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。
- シートベルトを正しく着用しないと、SRS エアバッグの効果が十分発揮できず、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。

📌 アドバイス

この車は、イベントデータレコーダー（EDR）システムにより、SRS エアバッグが作動したときのデータを記録・蓄積します。

→ データの記録について

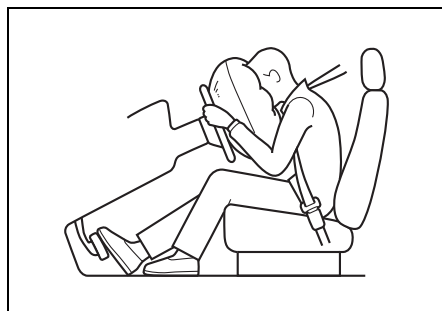
■ 運転席・助手席 SRS エアバッグシステム

エンジンスイッチが **ON** の場合に、車の前方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面が当たるような強い衝突のときに、運転席・助手席 SRS エアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

- 運転席・助手席 SRS エアバッグシステムは、ふくらんだ SRS エアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した運転席・助手席乗員の主に顔面への衝撃を軽減する効果があります。シートベルトは必ず着用してください。

→ 2-31ページ

（シートベルトの着用のしかた）



80J090

📌 アドバイス

助手席SRSエアバッグは、助手席に乗員がいなくても、運転席SRSエアバッグと同時にふくらみます。

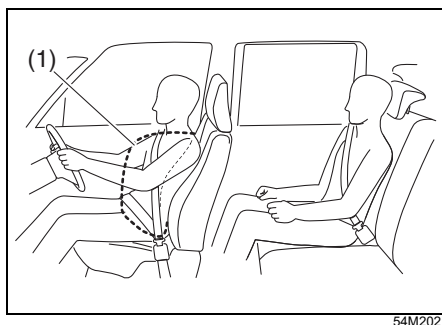
■ SRSサイドエアバッグシステム

エンジンスイッチが **ON** の場合に、車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けて、ドアと前席乗員の胸部などが衝突するようなときに、衝撃を受けた側（運転席側または助手席側）の SRS サイドエアバッグが SRS カーテンエアバッグと連動して瞬時にふくらむ構造となっています。

- SRS サイドエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS サイドエアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した前席乗員の主に胸部にかかる衝撃を軽減する効果があります。シートベルトは必ず着用してください。

→ 2-31ページ

（シートベルトの着用のしかた）



(1) SRSサイドエアバッグ

- 上図は、運転席側が作動したときを表しています。

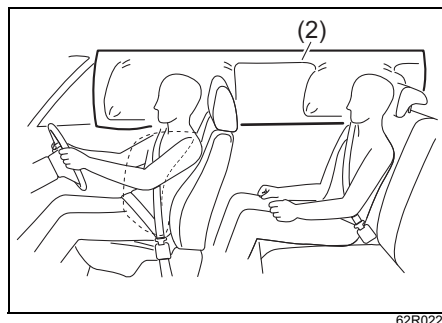
■ SRS カーテンエアバッグシステム

エンジンスイッチが **ON** の場合に、車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けて、ドアと前席および後席外側乗員の頭部などが衝突するようなときに、衝撃を受けた側（運転席側または助手席側）の SRS カーテンエアバッグが SRS サイドエアバッグと連動して瞬時にふくらむ構造となっています。

- SRSカーテンエアバッグシステムは、ふくらんだ SRSカーテンエアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した前席および後席外側乗員の主に頭部にかかる衝撃を軽減する効果があります。シートベルトは必ず着用してください。

→ 2-31ページ

（シートベルトの着用のしかた）



(2) SRSカーテンエアバッグ

- 上図は、運転席側が作動したときを表しています。

⚠️ アドバイス

SRSサイド／カーテンエアバッグは、乗員の有無に関係なく、衝撃を受けた側の SRS サイド／カーテンエアバッグがふくらみます。

SRSエアバッグ車を 運転するときは

SRS エアバッグシステムの効果を発揮させるために、**2-53 ページ**の「**SRS エアバッグ**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

2

シートベルトは必ず着用

⚠ 警告

SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。

シートベルトを装着していないと、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

SRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。



65J106

着座姿勢

瞬時にふくらむ運転席・助手席 SRS エアバッグにより強い衝撃を受けるおそれがあるため、運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出しすぎないようにシートの位置を調節してください。

→ **2-5ページ**（正しい運転姿勢）



80J014

⚠ 警告

- ハンドルやインパネに顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしていると、SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。

ハンドルやインパネに顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしないでください。

- SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。また、後席に乗るときは、前席の背もたれを抱えないでください。



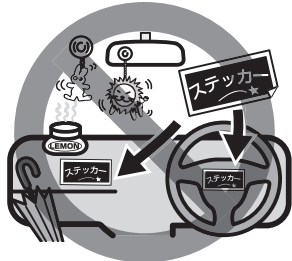
59RN02190

SRS エアバッグシステムを正 常に機能させるために

⚠ 警告

万一のときに SRS エアバッグが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。

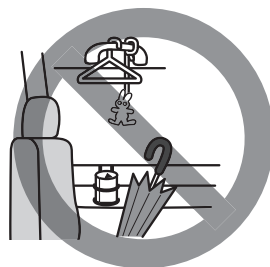
- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーで覆うなどの改造をしないでください。
- エアバッグ収納部およびその周辺に、ステッカーを貼る、色をぬる、アクセサリや芳香剤、ETC車載器やポータブルカーナビなどを取り付ける、置く、傘などを立てかけるなどしないでください。
- フロントガラスやルームミラーにアクセサリ（スズキ純正用品を除く）などを取り付けしないでください。
- SRS サイドエアバッグ装備車の場合、前席にシートカバーを取り付けるときは、専用のスズキ純正シートカバー以外のものは使用しないでください。



83S06020

⚠ 警告

- SRS サイド／カーテンエアバッグ装備車の場合、ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリ用品を取り付ける、傘を立てかけるなどしないでください。



59RN02200

助手席 SRS エアバッグに関する警告ラベル

助手席サンバイザーの両面には、次の警告ラベルが貼られています。このラベルは、助手席 SRS エアバッグが作動したときにお子さま用シートに与える影響と、お子さま用シートの取り付けに関する禁止事項を示しています。

この車の助手席にお子さま用シートを取り付ける場合は、警告ラベルの説明および参照先の項目をよくお読みになり、適切に取り付けてください。



72M00150

 警告

前部の作動可能なエアバッグで保護されているシートには、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。

警告ラベルの説明

シンボルマーク	シンボルマークの意味
	助手席 SRS エアバッグ 装備車の助手席に、後ろ 向きのお子さま用シー トを取り付けて、お子さ まを乗せることを禁止
	助手席 SRS エアバッグ がふくらむと、後ろ向 きお子さま用シートお よびお子さまに強い衝 撃が加わることを表示
	詳しくは、取扱説明書 (本書)を読むことを指 示 → 2-25ページ (お子 さま用シートの使 用について) → 2-41ページ (お子 さま用シートの選 択について)

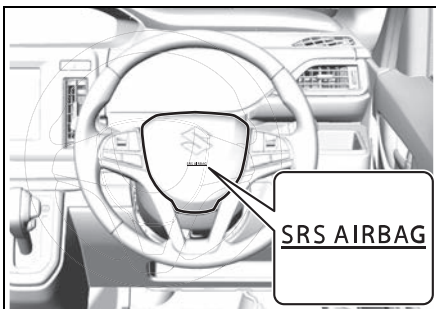
表示と収納場所

“SRS AIRBAG” の表示がある付近に収納されています。

⚠ 警告

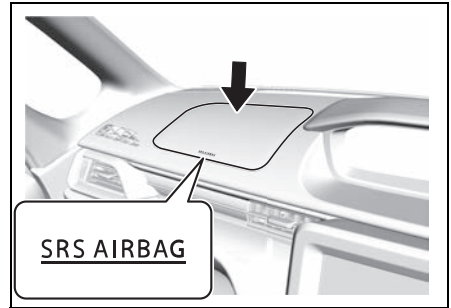
- エアバッグの収納部分に傷がついたり、ひび割れがあったりすると、万一のときにエアバッグが正常に作動できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
エアバッグの収納部分に傷がついたり、ひび割れがあったりするときは、スズキサービス工場で交換してください。
- エアバッグの収納場所を強打したり衝撃を加えると、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらんだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えたりしないでください。

■ 運転席SRSエアバッグ



83S02221

■ 助手席SRSエアバッグ

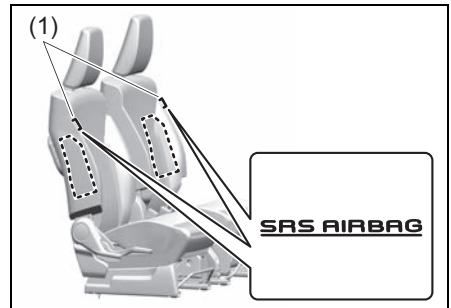


83S02230

2

■ SRSサイドエアバッグ

前席背もたれのドア側に収納されています。前席シートには、図のようなタグがついています。

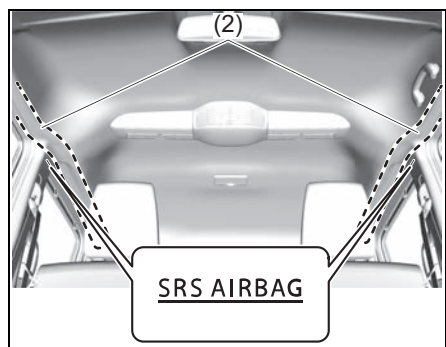


83S02240

(1) SRSサイドエアバッグ

■ SRSカーテンエアバッグ

運転席側および助手席側のルーフサイドに収納されています。また、ピラーには図のような表示がついています。



(2) SRSカーテンエアバッグ

83S02251

お子さま用シートの取り付け

お子さま用シートの取り付けについては、次の参照先をお読みください。

- 2-39ページ（お子さま用シートの使用について）
- 2-41ページ（お子さま用シートの選択について）
- 2-47ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）

SRSエアバッグシステムの取扱い

SRSエアバッグシステムを正常に機能させるために

SRS エアバッグがふくらむ範囲にものがあると、ものが飛ばされたり SRS エアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。

⚠ 警告

- 万一のときにSRS エアバッグが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・ サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRS エアバッグの誤作動の原因となります。
 - ・ 車両前部にグリルガードなどを装着するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。車両前部を改造すると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
 - ・ 無線機などを取り付けるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。無線機の電波などがSRS エアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。
 - ・ SRS エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故後はスズキサービス工場で点検を受けてください。システム本来の機能が損なわれているおそれがあります。

警告

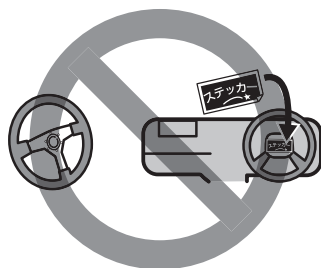
- SRS エアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手が加えられると、必要でないときに作動したり、必要なときに正常に作動しなくなったりすることがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼしますので、事前にスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- ・ハンドルの取り外し、ハンドルまわりの修理
- ・インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
- ・オーディオ用品などの取り付け
- ・ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ・前席シートの交換およびシートまわりの修理
- ・フロントピラー、バックピラーおよびルーフサイドまわりの修理
- ・センターピラーまわりの修理

■ 運転席SRSエアバッグについて

警告

- SRS エアバッグ収納部に手や顔、胸などを近づけると、SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。ハンドルにもたれかかるなどして、収納部に手や顔、胸などを近づけないでください。
- 万一のときにSRSエアバッグが本来の効果を十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーで覆うなどの改造をしないでください。



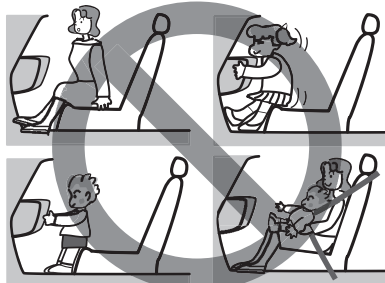
83S06030

■ 助手席SRSエアバッグについて

⚠ 警告

● 助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことをお守りください。守らないとSRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ・インパネのSRSエアバッグ収納部に手足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。
- ・お子さまをSRSエアバッグ収納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いてすわったりしないでください。お子さまは後席に乗せて、シートベルトを着用させてください。



69RHS170

・シートベルトを正しく着用できないお子さまは、お子さま用シートをご使用のうえ、後席に乗せてください。

- 2-39ページ（お子さま用シートの使用について）
- 2-41ページ（お子さま用シートの選択について）

⚠ 警告

● 万一のときにSRS エアバッグの本来の効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。

- ・エアバッグ収納部およびその周辺に、ステッカーを貼る、色をぬる、アクセサリや芳香剤、ETC車載器やポータブルカーナビなどを取り付ける、置く、傘を立てかけるなどしないでください。
- ・フロントガラスやルームミラーにアクセサリ（スズキ純正用品を除く）などを取り付けしないでください。



83S06040

■ SRS サイド／カーテンエアバッグについて

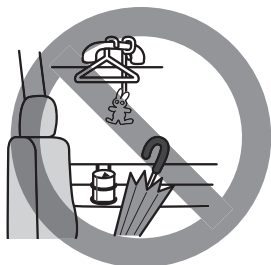
⚠ 警告

- スズキ純正シートカバーを正しい向きと位置に取り付けないと、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、純正の専用品以外のものを使用すると、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなる原因となります。

前席にシートカバーを取り付けるときは、SRS サイドエアバッグ装備車専用のスズキ純正シートカバーを使用し、付属の取扱説明書をよくお読みください。

- ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリ用品を取り付けたり、傘などを立てかけると、SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときに、これらのものが飛散したり正常にふくらまなくなったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリ用品を取り付けたり、傘などを立てかけたりしないでください。



59RN02200

SRSエアバッグシステムの作動

作動したとき

- エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ふくらんだエアバッグは、すぐにしぼむ構造になっています。

⚠ 注意

- SRS エアバッグ作動直後は構成部品が熱くなり、やけどのおそれがあります。

SRS エアバッグが作動したあとは、エアバッグの構成部品に触れないでください。

- エアバッグが作動すると大きな音が出て白い煙のようなガスが出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。

ただし、残留物が目や皮膚などに付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚を刺激する場合があります。

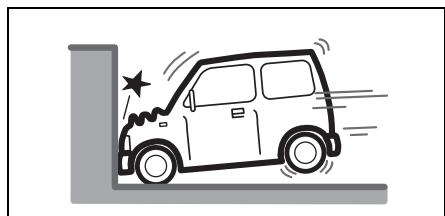
🔧 アドバイス

作動したプリテンショナーおよびエアバッグは再使用できません。スズキサービス工場で交換してください。

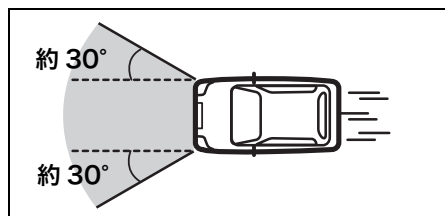
運転席・助手席SRSエアバッグ

■ こんなとき作動します

- 衝突しても変形や移動をしない構造物（コンクリートの壁など）に、約 25 km/h以上の速度で正面衝突したとき



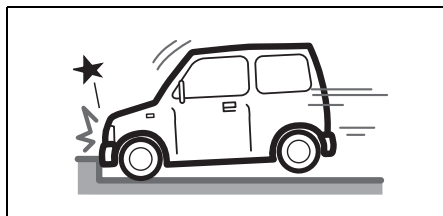
- 車両前方左右約30°以内の方向から、上図の正面衝突と同等の強い衝撃を受けたとき



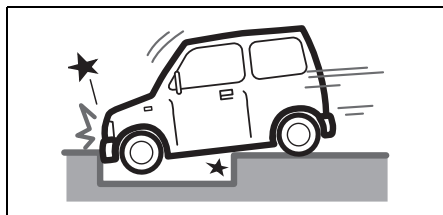
■ こんなとき作動することがあります

車体下部に強い衝撃を受けると、作動することがあります。

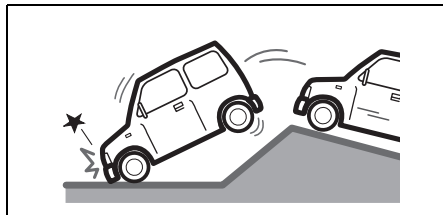
- 縁石や中央分離帯などに衝突したとき



- 深い穴や溝などに落ちたとき



- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したりしたとき

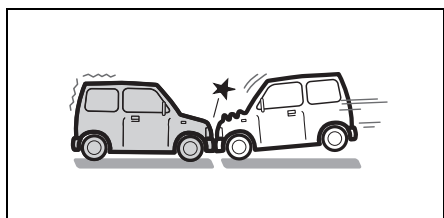


■ こんなとき作動しないことがあります

衝突の相手が変形または移動しやすかったり、自車の衝突部位が変形しやすかったりして強い衝撃が発生しない場合は作動しません。

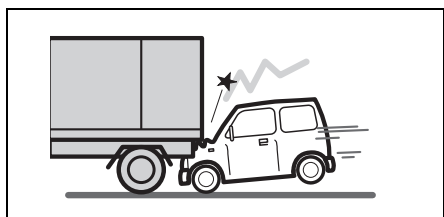
また、衝突の角度が車両前方左右約30°を超えると、多くの場合は作動しません。

- 停車している同程度の重さの車に、50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で前面衝突したとき



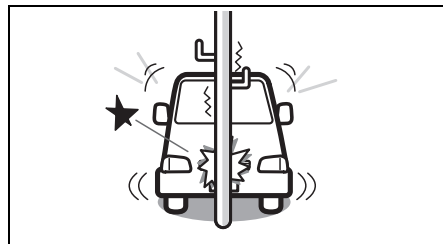
80J102

- トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき



80J103

- 電柱や立木などに衝突したとき



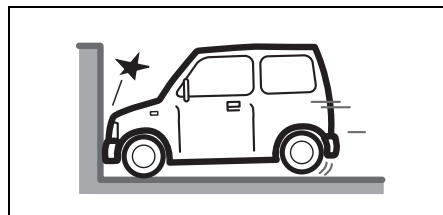
80J104

- 車両前方左右約30°を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



80J105

- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/hよりも低いとき

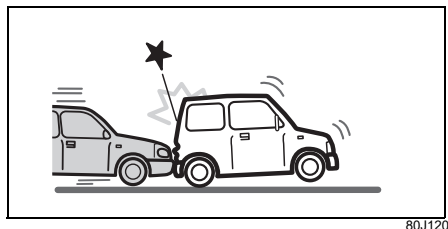


80J106

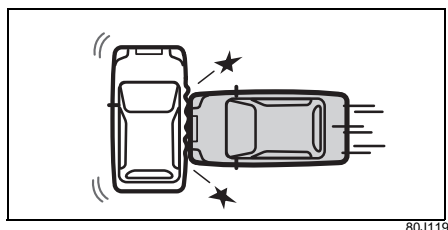
■ こんなときは作動しません

後方、横方向からの衝突、横転などでは作動しません。衝撃が強いとまれに作動する場合があります。

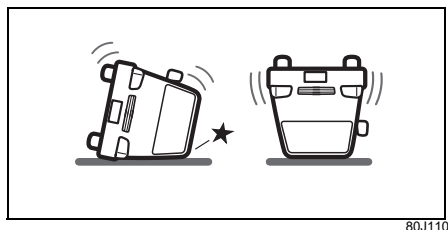
- 後方からの衝突



- 横方向からの衝突



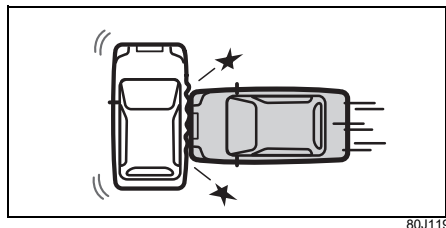
- 横転や転覆をしたとき



SRSサイド／カーテンエアバッグ

■ こんなとき作動します

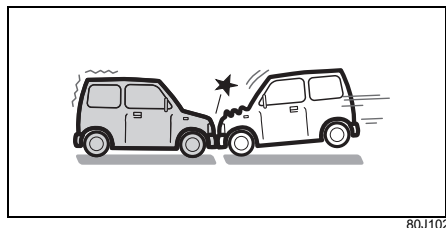
- 一般的な乗用車に約 30 km/h 以上の速度で真横から客室部に衝突されたとき、またはそれと同等以上の衝撃を受けたとき



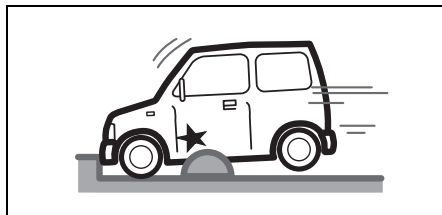
■ こんなとき作動することがあります

前面衝突でも横方向への衝撃が強いときは作動する場合があります。また、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動する場合があります。

- 前面衝突

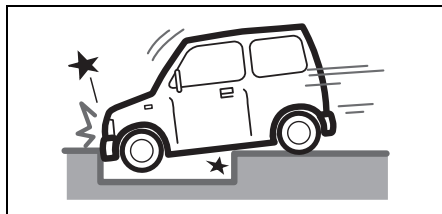


- 縁石や地面の突起物に衝突したとき



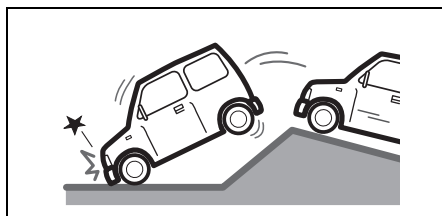
52R31330

- 深い穴や溝などに落ちたとき



80J100

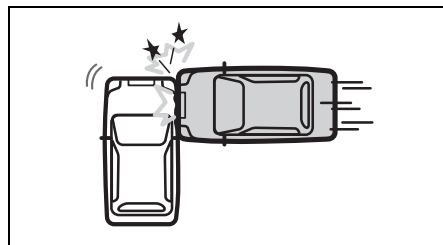
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したりしたとき



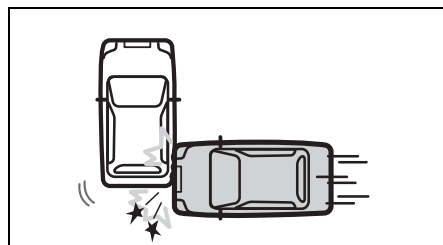
80J101

■ こんなとき作動しないことがあります

- 客室部以外（エンジンルームや荷室部）に側面から衝突されたとき

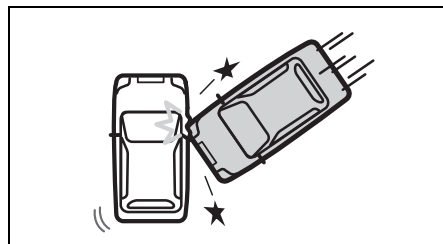


80J121



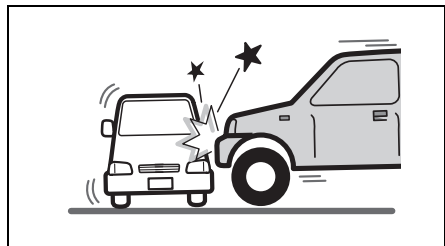
80J122

- 側面の斜め方向から衝突されたとき

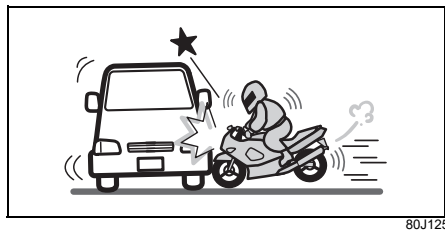


80J123

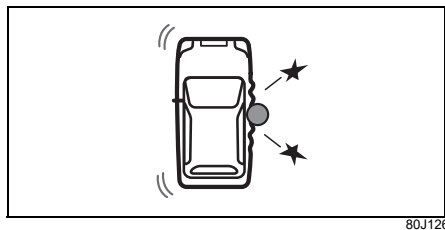
- 車高の高い車に側面から衝突されたとき



- 二輪車に側面から衝突されたとき

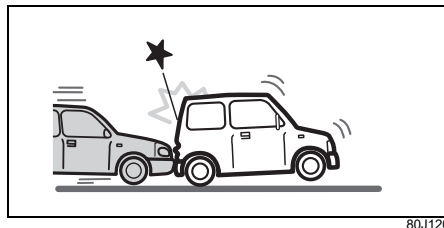


- 電柱、立ち木などに衝突したとき

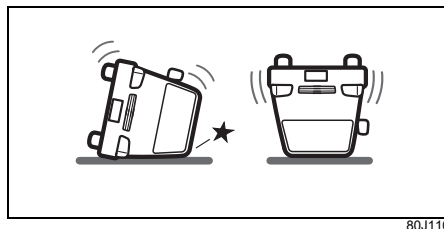


■ こんなときは作動しません

- 後方からの衝突



- 横転や転覆をしたとき



廃棄と廃車

作動していないエアバッグを廃棄するときは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。



80J112

⚠ 注意

エアバッグは正しく取り扱わないと、思いがけないときにふくらんで、けがをすることがあります。
エアバッグを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

エンジンをかける（ハイブリッドシステムを起動する）ときは

一酸化炭素中毒に注意

⚠ 警告

排気ガスには、無色無臭の有害な一酸化炭素（CO）が含まれています。吸引すると、眠気を招き事故の原因になるほか、重大な健康障害を引き起こしたり、最悪の場合死亡につながる可能性があります。
エンジンをかけるときは、一酸化炭素中毒に注意してください。

2

窓越しのエンジンスイッチ操作はしない



83S06050

運転席にすわり、ブレーキペダルを踏んでからエンジンを始動してください。

⚠ 警告

窓越しのエンジンスイッチ操作はしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 5-14ページ

（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））

換気が悪いところでエンジンをかけない（ハイブリッドシステムを起動したままにしない）

2

警告

排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒となり、重大な健康障害や最悪の場合には死亡につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。

● ハイブリッド車以外

車庫の中など、換気が悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが充満します。

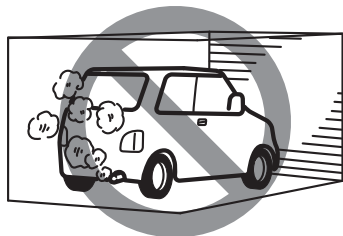
ハイブリッド車

車庫の中など、換気が悪いところでハイブリッドシステムを起動したままにしないでください。エンジンが停止していてもお車の状態により自動で再始動して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- エンジンがかかった状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入します。
- 排気管に漏れがあると、排気ガスが車内に侵入することがあります。

警告

- 車内で排気ガスのおいがしたときは、すべての窓を全開にし、エアコン、ヒーターの内外気切替を外気導入に切替え、ファンを強にして換気してください。換気してもにおいが消えないときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。



52D334

エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを起動したまま）仮眠しない

⚠ 警告

エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを起動したまま）仮眠しないでください。事故につながったり、重大な健康障害や最悪の場合には死亡につながるおそれがあるため、次のことに注意してください。

- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故のおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して火災のおそれがあります。
- 周囲の状況や風向き、排気管の漏れなどにより排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



69RHS172

荷物を積むときは

荷物の積みすぎは、車体や走行に悪影響をおよぼします。

⚠ 警告

- 燃料、薬品が入った容器、スプレー缶などは、引火や爆発のおそれがあります。
燃料や薬品が入った容器、スプレー缶などを車内に持ち込まないでください。



83S06060

- インパネの上にものを置くと運転視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いたりして、安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故で助手席SRS エアバッグが正常に作動しなかったり、助手席SRS エアバッグがふくらんだときに飛ばされたりして、けがのおそれがあります。
インパネの上には、ものを置かないでください。



59RN02240

⚠ 注意

- セレクトレバーにものをかけたり、ハンドレスト代わりに使用すると、セレクトレバーが正常に作動しなくなり故障の原因や思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - セレクトレバーにものをかけたり、ハンドレスト代わりに使用したりしないでください。
 - 荷物を積み重ねると、視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキで荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車内に荷物を積み重ねないでください。



83S06070

- 動物が車内で動きまわると運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながったりするおそれがあります。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないように注意してください。

3. 運転する前に

● ドアの開閉

キー	3-2
ドア	3-3
キーレスエントリー	3-11
携帯リモコン	3-13
スライドドアクローザー	3-19
パワースライドドア	3-20

● 警報装置

セキュリティアラーム（警報装置）	3-28
------------------------	------

● ウィンドーの開閉

パワーウィンドー	3-32
----------------	------

● スイッチの使いかた

ライトスイッチ	3-37
フォグランプスイッチ	3-40
光軸調整ダイヤル	3-41
方向指示器スイッチ	3-42
非常点滅表示灯スイッチ	3-42
ワイパー／ウォッシャースイッチ	3-43
ホーンスイッチ	3-45
リヤデフォグガススイッチ	3-46
ECOモードスイッチ	3-47

キー

キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。

- 携帯リモコンに格納されているキーはドアの施錠・解錠に使えますが、エンジンの始動・停止には使えません。エンジンの始動・停止には携帯リモコンをご使用ください。

→ 3-5 ページ (キー操作による車外からの 施錠・解錠)

→ 3-13 ページ (携帯リモコン)

→ 5-14 ページ

(エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))

- 携帯リモコンには、常にキーを格納しておいてください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。

⚠ 警告

携帯リモコンを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

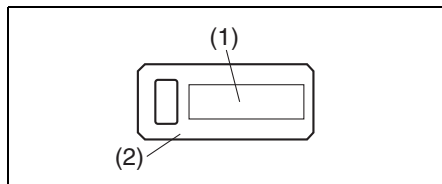
※携帯リモコンは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

📌 アドバイス

- 盗難などを防ぐため、キーを紛失したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キーのご購入については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレート (2) には、キー作成時に必要なキーナンバー (1) が打刻されています。



80J1008

🔑 アドバイス

- お客様以外の方にキーナンバーを知られないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、キーナンバープレートをお車のキーとともにお渡しください。

ドア

フューエルリッドが開いていると、干渉防止のため、助手席側スライドドアは少ししか開きません。

→ 7-2ページ (燃料給油口)

⚠ 警告

- シートベルトや荷物などをはさむと、半ドア状態になって走行中にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ドアを閉めるときは、シートベルトや荷物などをはさまないようにしてください。
- エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにすると、排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒となり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。
- 火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。
- ドアを開けるときは、周囲に注意してください。後ろからの車や歩行者にぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
とくに風が強い日は注意してください。
- お子さまがドアの開閉を行なうと、手、足、頭などをはさんでけがをするおそれがあります。
ドアの開閉はお子さまではなく、大人が行なうようにしてください。

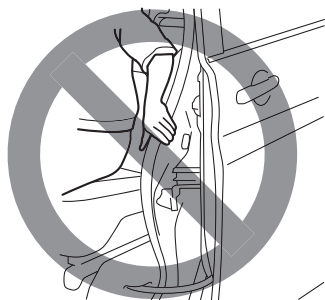
⚠ 警告

- スライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06082

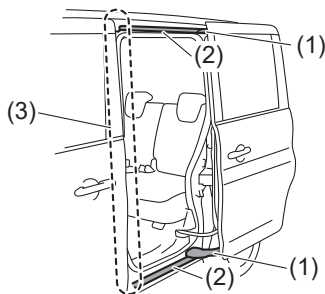
- スライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行なってください。ドアに手足や頭などの身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06090

⚠ 注意

- 傾斜地では、スライドドアを開けたままにしたり、途中で停止させたままにしたりしないでください。スライドドアが不意に動き出すおそれがあります。
- バックドアの開けかたが不十分な場合、思わぬときに閉まって、けがのおそれがあります。
バックドアを開けるときは、完全に開けてください。
- 排気管の真後ろでバックドアを開閉すると、やけどなどのおそれがあります。
エンジンがかかっているときは、排気管の真後ろでバックドアを開閉しないでください。
- スライドドア開口部のアーム (1)、レール (2)、およびピラー (3) には、手足をかけないでください。けがのおそれがあります。また、故障の原因となります。

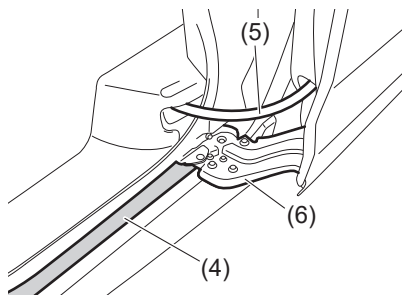


83S03020

注 記

スライドドアが開いているときは次のことに気をつけてください。故障の原因となります。

- ローラー滑走面 (4) に石などの異物を入れない
- 配線 (5) やアーム (6) を足で踏むなどして不要な力をかけない



83S03030

アドバイス

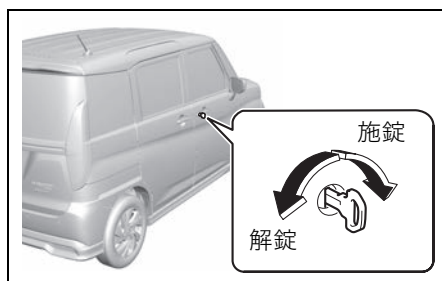
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- セキュリティアラームのセット状態およびドアの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。
→ 3-28 ページ (セキュリティアラーム (警報装置))
- オートギヤシフト車の場合、運転席ドアを開けたとき、車体より作動音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。

キー操作による車外からの施錠・解錠

- 3-11 ページ (キーレスエントリー)
- 3-13 ページ (携帯リモコン)

■ 運転席ドア

キーを差し込んで車の前方向にまわすと施錠、後ろ方向にまわすと解錠できます。

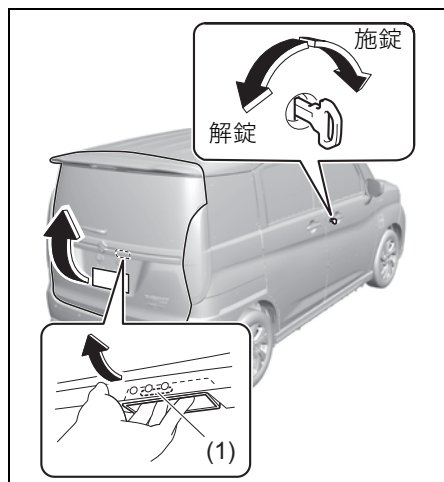


83S03040

■ バックドア

運転席ドアにキーを差し込んで車の前方向にまわすと施錠、後ろ方向にまわすと解錠できます。

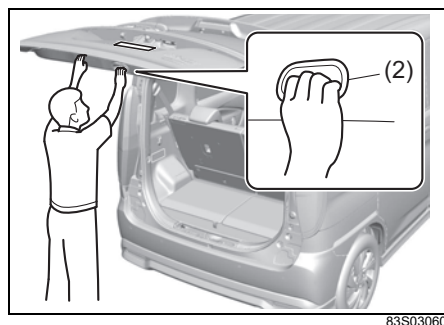
- バックドアを開けるときは、解錠後、バックドアオープナースイッチ (1) を押しながらドアを持ち上げます。



バックドアを閉めるときは

ドア下面右側の手かけ部 (2) を持って引き下げます。

ドアを持って引き下げ、最後は外側から手で、少し勢いをつけて押し付けます。

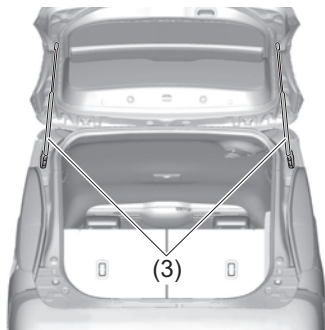


- バックドアオープナースイッチを押したあと、バックドアを少し開けてすぐに閉めた場合、完全に閉まらず半ドア状態になります。もう一度ドアを開け、しばらくしてから閉め直してください。

注 記

ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。お守りいただかないと、バックドアをささえているダンパーステア (3) が円滑に動かなくなったり、バックドアを開けたときに、保持できなくなったりするおそれがあります。

- ステアのロッド部 (ドア開閉時に摺動する棒部分) に傷をつけたり、泥やビニール片、テープなどの異物を付着させたりしないでください。
- ステアに手をかけたり、ものをかけたりしないでください。

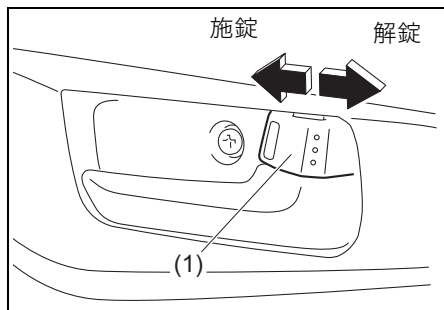


車内からの施錠・解錠

■ 前席ドア、後席ドア

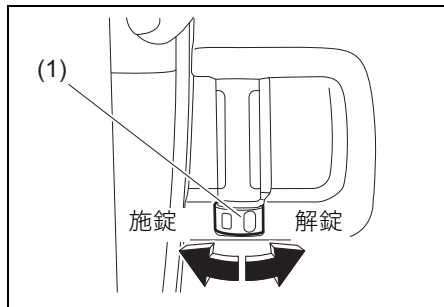
ドアを閉めてロックレバー (1) を施錠側 (車の前方向) にすると施錠、解錠側 (車の後ろ方向) にすると解錠できます。

前席ドア



83S03340

スライドドア



83S03080

⚠️ アドバイス

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

■ バックドア

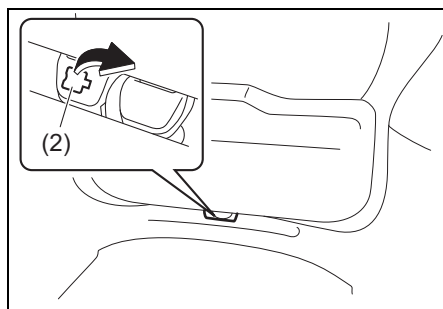
故障や鉛バッテリーあがりなどでバックドアが解錠できないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

緊急を要するときは、次の手順で解錠できます。

- 1 後席の背もたれを倒すなどして、作業スペースを確保します。

→ 2-17 ページ (荷室を広げるとき (後席シート))

- 2 バックドアのロック機構部にあるカバー (2) を開きます。



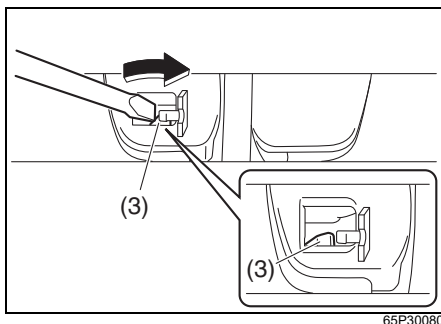
83S03090

⚠️ アドバイス

カバーは小さい部品のため、紛失にご注意ください。

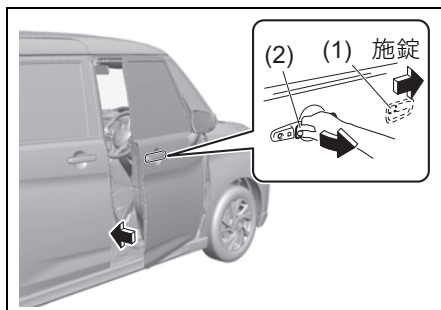
3 レバー (3) をマイナスドライバー (市販品) など で図の矢印方向に操作すると、バックドアが解錠します。

- 解錠後すぐにレバーを離すと、半ドア状態になります。バックドアを開けるときは、レバーを操作したままドアを押し上げてください。



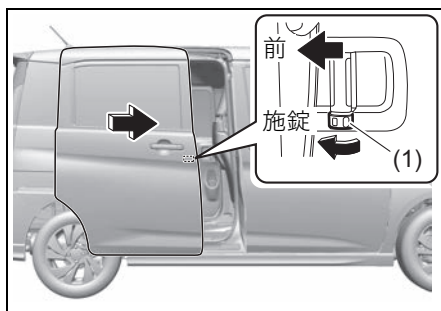
■ 前席ドア

ロックレバー (1) を施錠側 (車の前方向) にして、ドアハンドル (2) を引いたままドアを閉めると施錠できます。



■ スライドドア

ロックレバー (1) を施錠側 (車の前方向) にして、ドアを閉めると施錠できます。



キーを使わない施錠

⚠️ アドバイス

- 「キーを使わない施錠」をするときは、キーが手元にあるか確認してください。キーを閉じ込めてしまうおそれがあります。
- 次のような状況では、「キーを使わない施錠」ができない場合があります。

- ・ 携帯リモコンが車内にある
- ・ エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき

→ **3-17ページ**

(携帯リモコン閉じ込み防止機能)

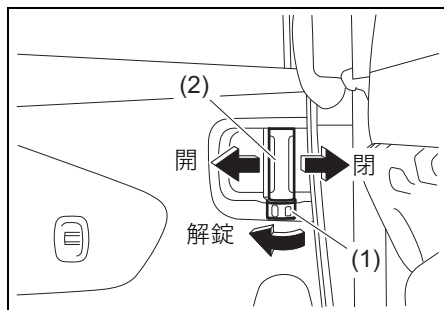
車内からの開閉

■ スライドドア（手動開閉時）

車内から開閉するときは、次の図のようにロックレバー（1）を解錠側にして、ドアハンドル（2）を矢印方向に操作し、ドアをスライドさせます。

→ 3-20ページ

（パワースライドドア）



83S03130

- フューエルリッドが開いていると、干涉防止のため、助手席側スライドドアは少ししか開きません。

→ 7-2ページ

（フューエルリッド）

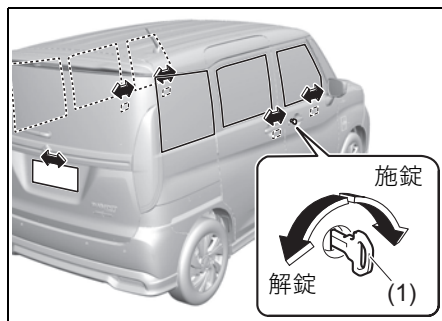
キーまたはロックレバー操作によるパワードアロック

→ 3-11ページ

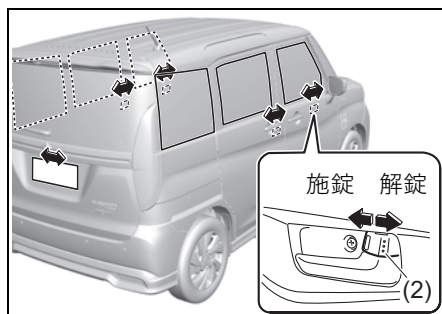
（キーレスエントリー）

→ 3-13ページ（携帯リモコン）

運転席ドアをキー（1）または、ロックレバー（2）操作で施錠・解錠すると、助手席／スライドドア／バックドアも同時に施錠・解錠します。



83S03141



83S03151

⚠️ アドバイス

- いずれかのドアが開いていると、キーまたは運転席ドアのロックレバー操作で施錠できない場合があります。

→ 3-17 ページ（携帯リモコン閉じ込み防止機能）

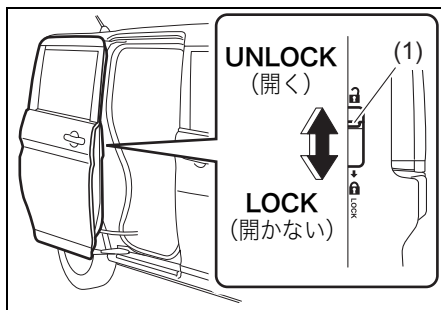
■ ドアロック解除機能

衝突などで SRS エアバッグが作動すると、自動的にすべてのドアロックを解除します。

- SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときも、ドアロック解除機能が作動します。

🔧 アドバイス

エアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、ドアロック解除機能が作動しません。



83S03160

⚠ 注意

- チャイルドブーフによる施錠中でも、車内のドアハンドル以外の操作でドアを開けるときは、お子さまなどに注意してください。窓から顔や手を出していると、身体をはさまれて、思わぬけがのおそれがあります。
- スライドドアは、窓から手を出して外側のドアハンドルまたはワンアクションスイッチで開閉しないでください。腕などをはさまれ、けがのおそれがあります。

チャイルドブーフによる 施錠・解錠

スライドドアのロックレバー位置に関係なく、車内のドアハンドルでスライドドアが開かないようにできます。お子さまなどによるドア誤開放を防止するために使用してください。

- スライドドアにあるレバー (1) を **LOCK** (開かない) の位置にして、ドアを閉めます。車内のドアハンドルで開けることはできません。
- スライドドアのロックレバーが解錠側にあるときは、次の操作で開けることができます。
 - ・車外のドアハンドル
 - ・ワンアクションスイッチ
 - ・運転席にあるパワースライドドアスイッチ
 - ・携帯リモコン

キーレスエントリー

車から約2 m以内の範囲で、携帯リモコンの操作部を押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。

警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。

注 記

携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- インパネの上などの高温になるような場所に置かない
- 落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
- 水洗いをしたり、水中に入れたりしない

アドバイス

- キーレスエントリーの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、キーレスエントリーが作動しないことがあります。
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- 携帯リモコンでドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠をしてください。

アドバイス

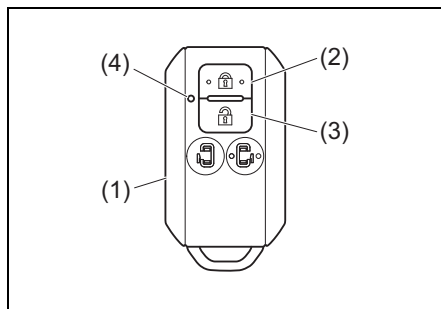
- キーレスエントリーが正しい距離で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。

→ 9-10ページ

(携帯リモコンの電池交換)

- 携帯リモコンを必要以上に操作すると、電池の消耗が早まります。
- 携帯リモコンのご購入、暗証コードの登録については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

キーレスプッシュスタートシステム



79R30020

- (1) 携帯リモコン
- (2) 操作部(ロックスイッチ)
- (3) 操作部(アンロックスイッチ)
- (4) 作動表示灯

🔧アドバイス

- 次のようなときは、キーレスエントリーが作動しません。
 - ・ いずれかのドアが開いていると、施錠できません。（解錠はできます）車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴ります。
 - ・ エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき。
- 1 台の車両で、4 個の携帯リモコンまで登録できます。

アンサーバック機能

キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。

アンサーバック機能	初期設定 (工場出荷時)		設定切替え時	
	ロック (施錠)	アンロック (解錠)	ロック (施錠)	アンロック (解錠)
非常点滅表示灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯 (スイッチがDOOR位置)		約15秒間点灯	2回点滅	約15秒間点灯

- キーレスエントリーの作動と同時に室内灯を点灯または点滅させたい場合は、室内灯スイッチをDOOR位置にします。

- 室内灯が約 15 秒間点灯したあとは、徐々に減光しながら消灯します。
→ **7-10ページ (室内灯)**
- キーレスプッシュスタートシステム装備車の場合、車外ブザーも鳴ります。

アンサーバック機能	初期設定 (工場出荷時)		設定切替え時	
	ロック (施錠)	アンロック (解錠)	ロック (施錠)	アンロック (解錠)
車外ブザー	1回吹鳴	2回吹鳴		

🔧アドバイス

- アンサーバック機能の設定切替え（カスタマイズ）については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- リクエストスイッチで施錠・解錠したときにも、アンサーバック機能が作動します。また、次の合図が別々にカスタマイズできます。
 - ・ 非常点滅表示灯／室内灯による合図
 - ・ 車外ブザーによる合図
- マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、アンサーバック機能の車外ブザーによる合図を停止することができます。
→ **4-25ページ (セッティングモード)**

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- キーレスエントリーで解錠したあと、約 30 秒以内にいずれのドアも開けなかったときに自動的にドアを施錠します。
- タイマーロック機能が作動すると、セキュリティアラームが自動的にセットされます。(警報なしモード(Aモード)時を除く)

→ 3-28ページ

(セキュリティアラーム)

- ハイブリット車は、タイマーロック機能が作動した場合も、ボンネットが開いている場合はセキュリティアラームがセットされません。
ただし、ボンネットが開いている状態で、タイマーロック機能が作動した場合は、ボンネットを閉めてから約 20 秒後にセキュリティアラームがセットされます。

🔊 アドバイス

リクエストスイッチで解錠したときにも、タイマーロック機能が作動します。

携帯リモコン

すべてのドアが閉まっているときに、前席ドアまたはバックドアにあるリクエストスイッチを押すと、所持している携帯リモコンが車両と電波で通信を開始し、照合がとれるとドアの施錠・解錠が可能となります。

また、そのほかに次の機能があります。

- キーレスエントリー
→ 3-11 ページ (キーレスエントリー)
- エンジンスイッチによる始動および電源の切替え
→ 5-10ページ (キーレスプッシュスタートシステム)
- イモビライザー (車両盗難防止装置)
→ 5-8ページ (イモビライザーシステム)
- ワンアクションスイッチ
→ 3-24 ページ (ワンアクションスイッチによる自動開閉)

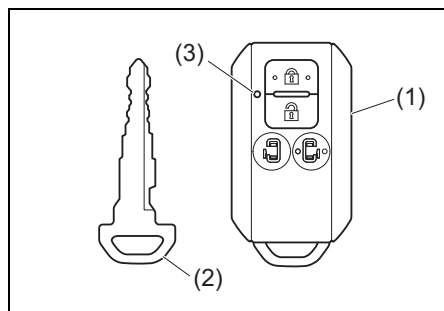
注 記

携帯リモコンが発信する電波が、携帯電話やほかのリモコンなどの無線通信機器に影響をあたえることがあります。必要以上に携帯リモコンやリクエストスイッチ、エンジンスイッチの操作をしないでください。

アドバイス

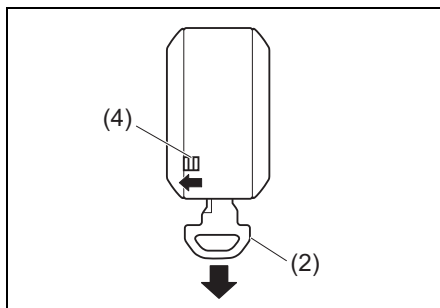
- 携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。車内にリモコンを置き忘れないでください。
- 盗難などを防ぐため、携帯リモコンを紛失したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンは車両と通信するとき、外的影響を受けやすい微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では、正常に作動しないことがあります。
 - ・ 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備がある
 - ・ 携帯電話、無線機などの無線通信機器やノートパソコンなどと一緒に所持している
 - ・ 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - ・ 近くで他車のキーレスエントリーが使用されている
 - ・ コインパーキングに駐車している（車両検出用の電波の影響があるため）

携帯リモコン (1) が 2 個、リモコンに格納可能なキー (2) が 2 本ついてきます。



(3) 作動表示灯

- リモコンに格納されているキー (2) は、ロック解除レバー (4) を ← 方向に引きながら取り出します。



62R30020

注意

携帯リモコンの分解、修理、改造をすると、発火や感電、けがのおそれがあります。また、法律により処罰されることがあります。

携帯リモコンの分解（電池交換時を除く）や修理、改造をしないでください。

注記

携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- インパネの上などの高温になるような場所に置かない
- 落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
- 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない
- テレビやオーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない

🔧 アドバイス

- 携帯リモコンは、日本国内でのみご使用ください。
- 携帯リモコンの内部に適合証明マークが貼り付けてあります。適合証明マークの消去、改ざんをしないでください。法律により処罰されることがあります。
- 携帯リモコンには、キーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
- 1 台の車両で、4 個の携帯リモコンまで登録できます。
- 電池の寿命は使用状況によりますが約2年です。
→ **9-10ページ**
(携帯リモコンの電池交換)
- 携帯リモコンは、車両と通信するために常時受信動作をしています。強い電波を受信し続けたとき、電池を著しく消耗することがあります。
(テレビやパソコンなどの強い電波を発信する電化製品の近くに置いたときなど)
- 携帯リモコンのご購入、暗証コードの登録については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ 携帯リモコン電池消耗警告

携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。電池交換のうえ、警告をリセットしてください。

→ **4-34ページ**

(マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

→ **9-10ページ**

(携帯リモコンの電池交換)

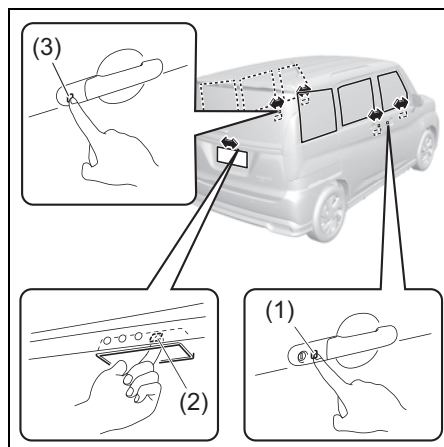
🔧 アドバイス

設定の切替え（カスタマイズ）をすると、メッセージを表示させなくすることもできます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

リクエストスイッチによる ドアの施錠・解錠

すべてのドアが閉まっているときに、所持している携帯リモコンが「**リクエストスイッチの作動範囲**」(3-16 ページ参照)に入っていると、リクエストスイッチを押すごとに、すべてのドアを施錠・解錠できます。また、ワンアクションスイッチを押すことで、すべてのドアを解錠することができます。

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



83S03172

- (1) 前席ドアのリクエストスイッチ
- (2) バックドアのリクエストスイッチ
- (3) パワースライドドアのワンアクションスイッチ

⚠ 警告

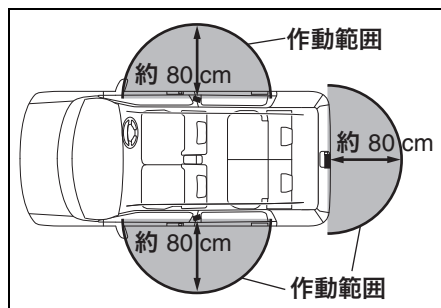
火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。

🔊 アドバイス

- 次のようなときは、リクエストスイッチが作動しません。
 - ・ いずれかのドアが開いている
 - ・ エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき
- リクエストスイッチでドアの施錠・解錠をすると、アンサーバック機能やタイマーロック機能が作動します。
 - 3-12ページ (アンサーバック機能)
 - 3-13ページ (タイマーロック機能)
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難などのおそれがあります。

リクエストスイッチの作動範囲 (車外)

前席ドアまたはバックドアにあるリクエストスイッチ付近から半球状に周囲約 80 cm 以内です。



82K266

アドバイス

●「リクエストスイッチの作動範囲」

で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチが作動しない場合があります。

- ・携帯リモコンの電池が消耗している
 - ・携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - ・携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - ・携帯リモコンがドアに近づきすぎている
 - ・携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあったりして、リクエストスイッチから離れている
- リクエストスイッチの作動は、携帯リモコンが作動範囲にあるドアのみとなります。例えば、運転席ドアの作動範囲にリモコンがあると、運転席ドアにあるリクエストスイッチは作動しますが、助手席ドアおよびバックドアにあるリクエストスイッチは作動しません。
- 車内に予備の携帯リモコンがあると、そのリモコンが検知され、リクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

リクエストスイッチ未作動 警告ブザー

次のようなときは車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴って、リクエストスイッチが未作動であることを警告します。

- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** の状態で携帯リモコンを車外に持ち出し、すべてのドアを閉め、リクエストスイッチを押したとき
 - エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしたあと、次のような状況でリクエストスイッチを押したとき
 - ・携帯リモコンを車内に置き忘れている
 - ・いずれかのドアが開いている
- **4-61ページ (半ドア警告灯)**

エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にして携帯リモコンを車外に持ち出し、すべてのドアを完全に閉めたことを確認してから、再度リクエストスイッチを押してください。

携帯リモコン閉じ込み防止機能

携帯リモコンを車内に置き忘れた状態で、次のような施錠操作をすると自動的にすべてのドアが解錠されます。

- 運転席ドアを開けて、運転席ドアのロックレバーで施錠操作をしたとき

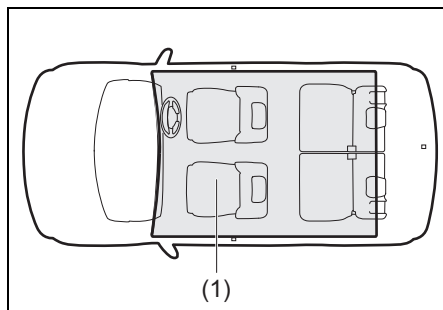
⚠️アドバイス

- 「キーを使わない施錠」をするときは、携帯リモコンが手元にあるか確認してください。リモコンを閉じ込めてしまうおそれがあります。
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときは、携帯リモコンの位置に関係なく、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動します。
- 鉛バッテリーが完全にあがっているときや接続されていないときは、携帯リモコン閉じ込み防止機能は作動しません。

3

リクエストスイッチ未作動警告ブザー／携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲（車内）

「車内の検知範囲」（1）は、インパネの上を除く車室内です。



76R0013

⚠️アドバイス

- 「**車内の検知範囲**」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。
 - ・携帯リモコンの電池が消耗している
 - ・携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - ・携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - ・携帯リモコンが奥まったところや収納スペースなどにある
 - 7-16ページ（インパネ収納スペース）
 - 7-14ページ（ドリンクホルダー）
 - ・携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床、天井付近や荷室にある
- 「**車内の検知範囲**」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動する場合があります。
 - ・車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
 - ・携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

スライドドアクローザー

スライドドアクローザーは、スライドドアを完全に閉めるための補助機能です。スライドドアを半ドアの状態まで閉めると、この機能が作動して自動的に全閉になります。

- パワースライドドアメインスイッチの **ON** / **OFF** 位置に関係なく、スライドドアクローザーは作動します。(パワースライドドア装備車)

→ **3-22ページ (パワースライドドアメインスイッチ)**

- パワースライドドアは安全のため、スライドドアクローザーの作動中に次の操作を行なうと、自動で全開になります。
 - ・ 車外のドアハンドルを引く
 - ・ 車内のドアハンドルを、開ける方向に操作する
 - ・ ワンアクションスイッチを押す
 - ・ 運転席パワースライドドアスイッチを押す
 - ・ 携帯リモコンのパワースライドドアボタンを押す

警告

スライドドアが半ドア状態から自動的に全閉になります。指などをはさまないように気をつけてください。



83S06100

注意

スライドドアクローザー機能だけがあるスライドドア（パワースライド機能なし）の場合、次のようなときには作動を途中で停止できません。指などをはさまないように、とくに注意してください。

- ロックレバーが施錠側にあるときに、車内または車外のドアハンドルを引く
- チャイルドブルーフのレバーが **LOCK** 位置にあるときに、車内のドアハンドルを引く

注記

スライドドアクローザーはモーターの駆動力を利用しているため、エンジン停止状態で必要以上に使用すると、鉛バッテリーがあがる原因となります。また、バッテリーの性能が低下しているときは、作動しない場合があります。

アドバイス

スライドドアクローザー作動中にエンジンを始動すると、クローザーが正常に作動しない場合があります。

パワースライドドア

タイプ別装備

- パワースライドドアは、解錠されている状態でパワースライドドアメインスイッチが **ON** のとき、次の操作で自動開閉できます。

→ **3-22ページ (パワースライドドアメインスイッチ)**

- ・ドアハンドル
- ・ワンアクションスイッチ
- ・運転席にあるパワースライドドアスイッチ
- ・携帯リモコン

- 自動開閉中は、周囲に注意をうながすため、警告ブザーが“ピッピッピッ”と断続的に鳴り続けます。
- パワースライドドアが施錠されていると、ワンアクションスイッチ以外では自動で開けられません。先にドアを解錠してください。ワンアクションスイッチでは、施錠されていても、すべてのドアを解錠すると同時に自動でスライドして開きます。
- 急な坂道では、パワースライドドアを自動開閉できない場合があります。
- 自動開閉中にエンジンを始動すると、パワースライドドアが正常に作動しなくなる場合があります。

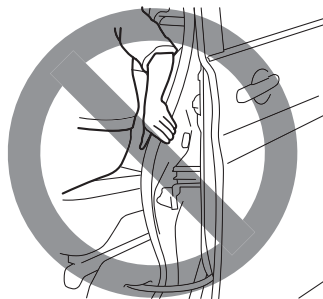
⚠ 警告

- パワースライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06082

- パワースライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行なってください。ドアに手足や頭などの身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06090

警告

- パワースライドドアの開閉はお子さまではなく大人が行ない、お子さまの身体をはさまないように気をつけてください。



83S06100

- パワースライドドアは、走行中に自動開閉できないようになっていますが、次の条件をみたすと自動開閉する場合があります。完全に停車したことを確認してから操作してください。車が動いているときの開閉は、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・車速が約3 km/h以下
 - ・パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキペダルを踏んでいる
- 自動開閉中に一時停止させたままのとき、約3分後（はさみ込み防止機構で停止した場合は約30分後）に一時停止が解除され、手動開閉状態になります。このとき、傾斜地などでパワースライドドアが不意に動き出すおそれがあります。

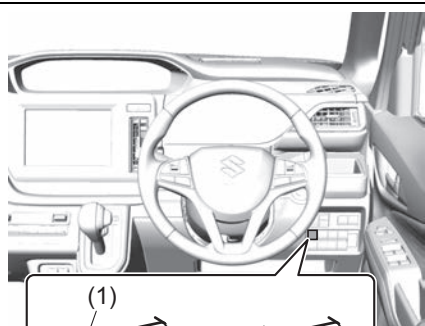
注記

- ドアが凍結しているときは、パワースライドドアが開閉可能かを手動で確認してから、自動開閉操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。
→ 9-39ページ（ドアの凍結）
- パワースライドドアはモーターの駆動力を利用しているため、エンジン停止状態で必要以上に使用すると、鉛バッテリーがあがる原因となります。また、バッテリーの性能が低下しているときは、作動しない場合があります。

パワースライドドアメインスイッチ

パワースライドドアは、パワースライドドアメインスイッチ (1) を押すことによって、自動開閉 (**[ON]**) と手動開閉 (**[OFF]**) に切り替えることができます。

- 通常は **[ON]** 位置 (自動開閉) にしておきます。



手動開閉位置 自動開閉位置

83S03271

警告

パワースライドドアメインスイッチが **[OFF]** 位置のときでも、スライドドアクローザーは作動します。指などをはさまないように気をつけてください。

→ 3-19ページ

(スライドドアクローザー)

注意

- 自動開閉中に、パワースライドドアメインスイッチを **[OFF]** 位置にするなどして手動開閉に切り替えると、ドアが途中で停止し、警告ブザーが鳴ります。坂道などの傾斜地の場合、途中で停止したドアが不意に動き出すおそれがあります。十分に注意して開閉操作を行なってください。
- 後輪のタイヤ交換などをするときは、安全のため、パワースライドドアメインスイッチを **[OFF]** 位置にしてください。誤って自動開閉してしまうと、手などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。

注記

パワースライドドアメインスイッチを **[OFF]** 位置にするなどしてドアを手動開閉する際には、ドアをゆっくりと閉めてください。

ドアを強く閉めると部品が変形、損傷するおそれがあります。

■ メインスイッチが **[ON]** でもこんなときは自動開閉ができません

安全のため、次のようなときは自動開閉ができません。

- 自動開閉ができない場合
 - ・ パワースライドドアを開けたまま鉛バッテリーを外すなどしてシステムへの電源供給を一度絶ち、再び鉛バッテリーを接続するなどして、ドアを全閉にするまで
 - ・ フューエルリッドが開いているとき (助手席側スライドドアのみ)

→ 7-2ページ (燃料給油口)

- 自動で開かない場合
 - ・ 車が動いている（車速 3 km/h 以上）
 - ・ エンジンスイッチが **ON** のとき
- 自動で閉まらない場合
 - ・ タッチセンサーが断線している（断線時でも自動で開くことは可能）

⚠️ アドバイス

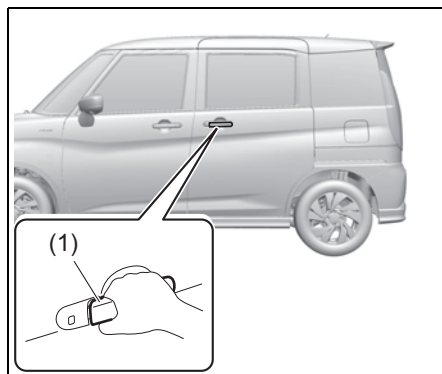
前記のようなときに、ドアハンドルで手動開閉すると警告ブザーが“ピーー”と鳴って、ドアにブレーキがかかったような状態になることがあります。これは坂道の影響などで手動開閉時にドアが急開閉するのを防ぐためであり、異常ではありません。

■ メインスイッチが **ON** でもこんなときは自動で開くことができません（自動で閉めることはできます）

- エンジンスイッチが **ON** のときに、下記条件のいずれもみたさない場合
 - ・ パーキングブレーキがかかっている
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいる
 - ・ セレクトレバーが **P** 位置

車外のドアハンドルによる自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、車外のドアハンドル (1) を引くと、自動開閉できます。

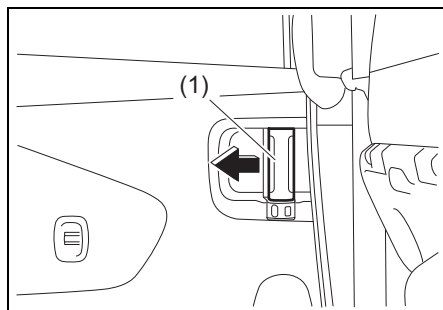


83S03280

- 自動開閉中にもう一度ドアハンドルを引くと、パワースライドドアがその場で停止します。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを引くと、停止しない場合があります。
- パワースライドドアが途中で停止しているときにもう一度ドアハンドルを引くと、停止前とは逆方向へ作動します。
- パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときは自動開閉しません。

車内のドアハンドルによる自動開閉

- パワースライドドアが解錠状態の全閉時に、車内のドアハンドル (1) を次の図の矢印方向に操作すると、自動で開きます。

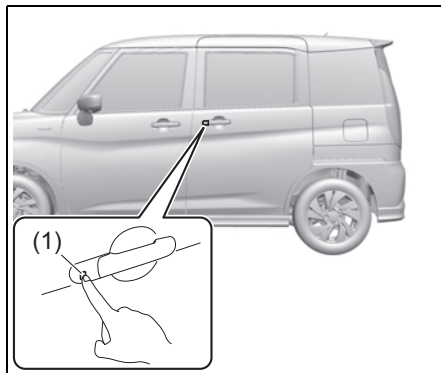


83S03290

- パワースライドドアが全開のときは、車内のドアハンドルを閉める方向（車の前方向）に操作すると、自動で閉められます。
- 自動開閉中に車内のドアハンドルを前後どちらかに操作すると、パワースライドドアがその場で停止します。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを操作すると、停止しない場合があります。
- パワースライドドアが途中で停止しているときにもう一度車内のドアハンドルを前後どちらかに操作すると、操作した方向に作動します。
- パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときは自動開閉しません。

ワンアクションスイッチによる自動開閉

パワースライドドアが全開または全閉時に、車外ドアハンドルにあるワンアクションスイッチ (1) を押すと自動開閉できます。



83S03300

- パワースライドドアが施錠状態の場合（そのほかのドアが解錠状態でも）、所持している携帯リモコンがリクエストスイッチの作動範囲（車外）（3-16ページ参照）に入っていると、ワンアクションスイッチを押すことで、すべてのドアを解錠すると同時に自動で開きます。
- 自動開閉中にもう一度ワンアクションスイッチを押すと、パワースライドドアがその場で停止します。ただし、パワースライドドア作動開始直後にワンアクションスイッチを押すと、停止しない場合があります。
- パワースライドドアが途中で停止しているときにもう一度ワンアクションスイッチを押すと、停止前とは逆方向へ作動します。
- パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときは自動開閉しません。

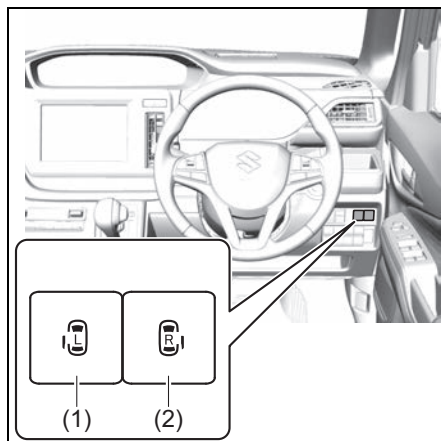
アドバイス

ワンアクションスイッチでドアを解錠すると、アンサーバック機能が作動します。

→ **3-12ページ**
(アンサーバック機能)

パワースライドドアスイッチによる自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、運転席にあるパワースライドドアスイッチを 0.5 秒以上押すと、自動開閉ができます。



83S03311

- (1) 助手席側パワースライドドアスイッチ
- (2) 運転席側パワースライドドアスイッチ(タイプ別装備)

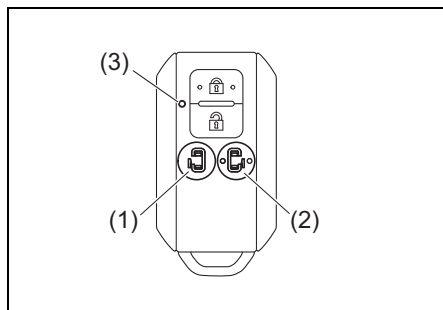
- スイッチは長押し (0.5秒以上) してください。スイッチを押している時間が短いと、自動開閉できません。
- 自動開閉中にもう一度スイッチを押すと、パワースライドドアがその場で停止します。ただし、パワースライド

ドア作動開始直後にスイッチを押すと、停止しない場合があります。

- パワースライドドアが途中で停止しているときにもう一度スイッチを押すと、停止前とは逆方向へ作動します。
- パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときは自動開閉しません。

携帯リモコンによる自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、車から約2 m以内の範囲で、携帯リモコンのパワースライドドアボタンを 1 秒以上押すと、自動開閉ができます。



79R30100

- (1) 助手席側パワースライドドアボタン
- (2) 運転席側パワースライドドアボタン(タイプ別装備)
- (3) 作動表示灯

- ボタンは長押し (1 秒以上) してください。ボタンを押している時間が短いと、自動開閉できません。
- 自動開閉中にもう一度ボタンを押すと、パワースライドドアがその場で停止します。ただし、パワースライドドア作動開始直後にボタンを押すと、停止しない場合があります。

- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときは、携帯リモコンによる自動開閉ができません。
- パワースライドドアが途中で停止しているときにもう一度ボタンを押すと、自動的に全開になります。全閉にしたい場合は、再度ボタン操作をしてください。
- パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときは自動開閉しません。

3

パワースライドドア [予約ロック機能付]

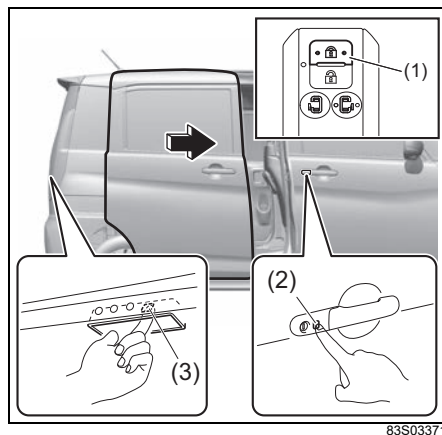
パワースライドドアを閉めている途中に、携帯リモコンまたはリクエストスイッチを使って事前にすべてのドアの施錠を予約できる機能です。

予約ロック機能を使うときは、エンジンスイッチが **LOCK** (OFF) の位置で、次の操作を行ってください。

- 1 パワースライドドア以外のドアを閉めてください。

- 2 パワースライドドアを閉めている途中に、携帯リモコンのロックスイッチ (1)、または前席ドアのリクエストスイッチ (2)、またはバックドアのリクエストスイッチ (3) を押すと、パワースライドドア以外のドアが施錠され、アンサーバック機能でお知らせします。

→ 3-12ページ (アンサーバック機能)



- 3 パワースライドドアが完全に閉まると予約ロックが完了し、再度アンサーバック機能でお知らせします。

→ 3-12ページ (アンサーバック機能)

注 記

パワースライドドアが閉まったあとに、アンサーバック機能が作動しない場合は、予約ロック機能が正常に作動していない可能性があります。

⚠️ アドバイス

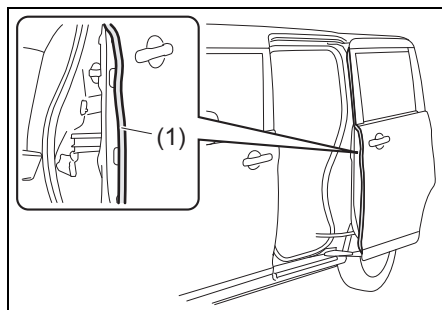
- 次の操作が行われると、予約ロック機能が解除され、すべてのドアが開錠されます。
 - ・ 運転席のロックレバーを解錠方向へ操作する
 - ・ 携帯リモコンにて解錠操作を行なう
 - ・ ドアハンドル、リクエストスイッチ、パワースライドドアスイッチ、携帯リモコンによるパワースライドドアの停止する
 - ・ はさみ込み防止機構が作動する
- 予約ロック機能作動中に携帯リモコンを車内にもどすと、車内に携帯リモコンが閉じ込められることがあります。
パワースライドドア〔予約ロック機能付〕を使用するときは、必ず携帯リモコンを所持した状態で行なってください。
- 施錠したあと車から離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。

はさみ込み防止機構

パワースライドドアには、自動開閉するときの安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- 自動で閉めているときに、ドア前端部のタッチセンサー (1) が異物ののはさみ込みを検知すると、ドアの動く方向は反転し、少し動いてから停止します。
- 自動開閉中に、異物をはさみ込むなどしてドアに一定以上の負荷がかかると、ドアの動く方向は反転し、少し動いてから停止します。(過負荷検知方式)

- 自動開閉中に、2 回以上はさみ込みを検知すると警告ブザーが鳴り、パワースライドドアが止まります。作動のじゃまになるようなものを取り除いたあと、再度操作してください。
- タッチセンサーに手などを強く触れたままにしていると、パワースライドドアを自動で閉められません。



81P30200

⚠️ 警告

- はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては、タッチセンサーで検知できなかったり、過負荷検知されなかったりして、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。
- はさみ込み防止機構が作動してオートスライドドアが停止したままのとき、約 30 分後に停止状態が解除され、手動開閉状態になります。このとき、傾斜地などでパワースライドドアが不意に動き出すおそれがあります。

⚠ 注意

全閉直前または全開直前の位置では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように気をつけてください。

注 記

パワースライドドア前端部のタッチセンサーは、刃物などの鋭利なもので傷つけないでください。タッチセンサーが切断されると、自動で閉められなくなります。

セキュリティアラーム (警報装置)

ハイブリッド車以外

セキュリティアラームは、ドアをキーレスエントリーまたはキーレスプッシュスタートシステムのリクエストスイッチで施錠すると、約 20 秒後にセットされます。

セット状態にて、キーレスエントリー、リクエストスイッチまたはワンアクションスイッチ以外のもの(※)で解錠し、いずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

- 工場出荷時は、<警報モード (D モード)>になっています。任意で<警報なしモード (A モード)>に切替えてください。

→ 3-31ページ
(モード設定の切替えのしかた)

- 警報を誤作動させたときは
→ 3-30ページ
(警報の停止のしかた)

注 記

セキュリティアラームを改造したり取り外したりすると、システムが正常に作動しないおそれがあります。セキュリティアラームの改造や取り外しをしないでください。

🔧 アドバイス

セキュリティアラームのメンテナンスは不要です。

ハイブリッド車

セキュリティアラームは、ボンネットを閉じた状態にて、ドアをキーレスエントリーまたはキーレスプッシュスタートシステムのリクエストスイッチで施錠すると、約20秒後にセットされます。

ただし、ボンネットが開いている状態で、ドアをキーレスエントリーまたはキーレスプッシュスタートシステムのリクエストスイッチで施錠した場合は、ボンネットを閉めてから約20秒後にセキュリティアラームがセットされます。

セット状態にて、キーレスエントリー、リクエストスイッチまたはワンアクションスイッチ以外のもの(※)で解錠し、いずれかのドアまたはボンネットを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

- ハイブリッド車は、＜**警報モード(Aモード)**＞に切替えることはできません。

- 警報を誤作動させたときは
→ **3-30ページ**

(警報の停止のしかた)

アドバイス

- セキュリティアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- アラームのセット中は、ドアを必ずキーレスエントリーまたはリクエストスイッチで解錠してください。キーで解錠してドアを開けると、警報が作動します。

アドバイス

- 車を貸すときや、セキュリティアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、アラームを＜**警報なしモード(Aモード)**※＞に切替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。

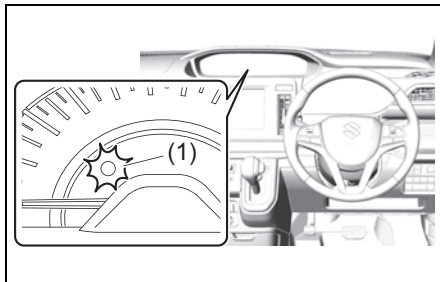
- アラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないください。盗難のおそれがあります。

※ハイブリッド車は、＜**警報モード(Aモード)**＞に切替えることはできません。

セキュリティアラームのセットのしかた(警報モード(Dモード)時)

ドアをキーレスエントリーまたはリクエストスイッチで施錠してください。セキュリティアラームインジケータ(1)が小刻みに点滅し、約20秒後にアラームがセットされます。

セット中は、セキュリティアラームインジケータが2秒間隔で点滅します。



83S03181

⚠️アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはアラームをセットしないでください。車内の人々がロックレバーで解錠し、ドアを開けた場合にも警報が作動します。
 - すべてのドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、アラームがセットされません。
 - タイマーロック機能が作動すると、アラームが自動的にセットされます。※1
(＜警報なしモード(Aモード)※2＞時を除く)
- 3-13ページ

(タイマーロック機能)

- ※1 ハイブリッド車は、タイマーロック機能が作動した場合も、ボンネットが開いている場合はセキュリティアラームがセットされません。
- ※2 ハイブリッド車は、＜警報モード(Aモード)＞に切替えることはできません。

セキュリティアラームの解除のしかた

ドアをキーレスエントリーまたはリクエストスイッチで解錠してください。アラームが解除され、セキュリティアラームインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、次のいずれかの操作により警報を途中で停止できます。

- エンジンスイッチを **ON** にする
- キーレスエントリーまたはリクエストスイッチで解錠する

⚠️アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをキーレスエントリーまたはリクエストスイッチで施錠すると、約20秒後にアラームが再びセット状態となります。
- アラームセット状態または警報作動状態で鉛バッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- ハイブリッド車以外：
警報が終了しても、アラームの解除をせずにいずれかのドアを開けると、再び警報が作動します。
- ハイブリッド車：
警報が終了しても、アラームの解除をせずにいずれかのドアまたは、ボンネットを開けると、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを **[ON]** にすると、セキュリティアラームインジケーターが約 8 秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが 4 回鳴ります。盗難にあっていないか車の中を確認してください。

セキュリティアラームモード

<警報モード (D モード)> と <警報なしモード (A モード)> の 2 つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

<警報モード (Dモード)> (工場出荷時)
非常点滅表示灯が約 40 秒間点滅するとともに、室内ブザーが約 10 秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終わると、ホーンが約 30 秒間断続的に鳴ります。作動中は、セキュリティアラームインジケーターも点滅します。

<警報なしモード (Aモード)>

警報は作動しません。

- ハイブリッド車は、<警報モード (A モード)> に切替えることはできません。

モード設定の切替えのしかた

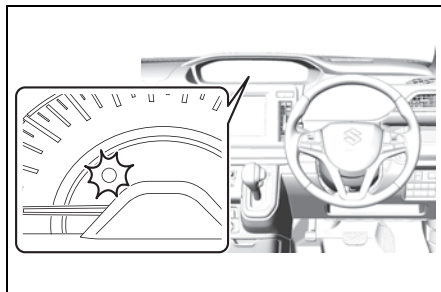
ハイブリッド車以外

↓m アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードでも、モード設定を切替えることができます。

→ **4-25ページ**
(セッティングモード)

セキュリティアラームインジケーター

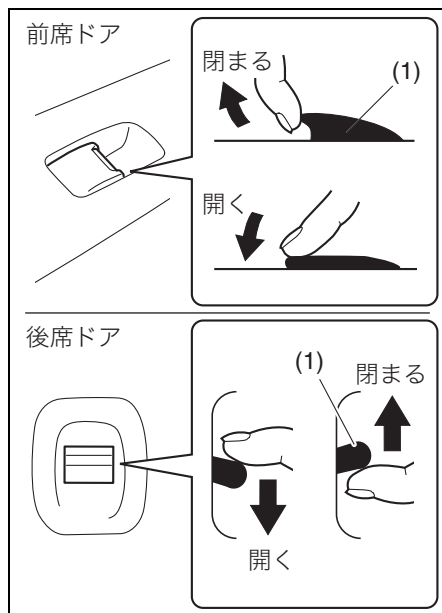


83S03191

- セキュリティアラームが<警報モード (D モード)> のときに、ドアをキーレスエントリーまたはリクエストスイッチで施錠すると、小刻みに点滅して約 20 秒後にセキュリティアラームがセットされます。セット中は、2秒間隔で点滅します。
- 駐車時に警報が作動していると、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに約 8 秒間小刻みに点滅します。
- 車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに 1 秒間隔で点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

パワーウインドー

エンジンスイッチが **ON** のときに、パワーウインドースイッチ (1) を操作すると、ウインドーの開閉ができます。



81M30981

⚠ 警告

- ウインドーの開閉操作をするとき、誤って手足や首などが挟み込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ウインドーを操作するときは、次のことに注意してください。

- ・運転者は自身だけでなく他の乗員にもウインドー開閉操作に注意を払わせてください。
- ・お子さまにはウインドースイッチを操作させないでください。
- ・お子さまを乗せているときは常にウインドーロックスイッチをロック位置にしてください。

→ 3-33ページ

(ウインドーロックスイッチ)

⚠ 警告

- ・車から離れるときは必ずエンジンスイッチを **OFF** にし、キーを携帯してお子さまと一緒に離れてください。
- ・運転席で他席のウインドーを開閉するときは、開閉操作の前に、他の乗員やお子さまが、手や顔を出していないかを必ず確認し、声かけをしてから操作してください。
- 窓から手を入れてパワーウインドースイッチを操作すると、手や首をはさむおそれがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓から手を入れてパワーウインドースイッチを操作しないでください。

⚠ 注意

ウインドーガラスを開閉するとき、ガラスに触れると、巻き込まれてけがをするおそれがあります。

ウインドーガラスを開閉するときは、ガラスに触れないでください。

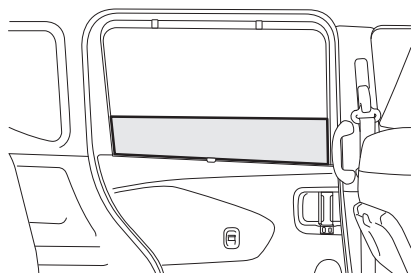
注 記

エンジン停止中にウインドーを開閉すると、鉛バッテリーあがりの原因となります。

鉛バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときにウインドーの開閉を行なってください。

アドバイス

- お子さまを乗せているときは、はさみ込み事故を未然に防ぐため、お子さま用シートを使用し、ウインドーロックスイッチをロック位置にしてください。
- 走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。
後席ウインドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。
 - ・ 前席ウインドーも開ける。
 - ・ 後席ウインドーの開き具合を変える。例えばウインドーが全開なら半開にする。
- 後席ウインドーは、下図の位置までしか開きません。



83S03330

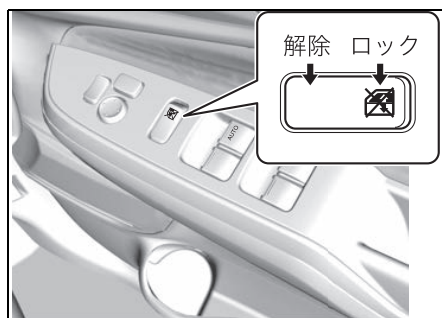
アドバイス

- 走行中に前席ウインドーだけを開けていると、後席ウインドーだけを開けている場合と同様に耳を圧迫するような音が発生する場合があります。
前席ウインドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。
 - ・ 後席ウインドーも開ける。
 - ・ 前席ウインドーの開き具合を変える。例えばウインドーが全開なら半開にする。

ウインドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウインドーロックスイッチの **ロック** 側を押すと、助手席／後席ウインドーの開閉ができなくなります。

- ロックを解除するときは、ウインドーロックスイッチの **解除** 側を押します。



83S03201

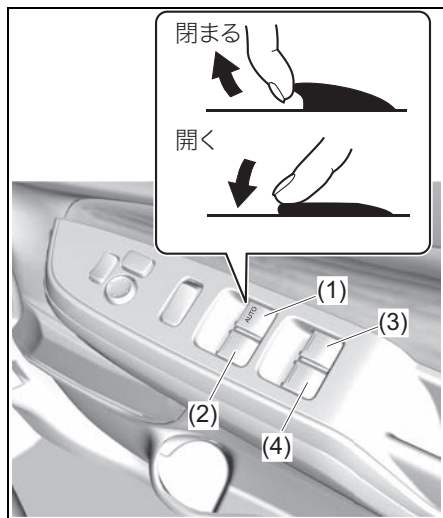
アドバイス

ウインドーロックスイッチが **ロック** 位置のときでも、運転席ウインドーは開閉できます。

運転席での開閉

運転席で各席のウインドーの開閉ができます。

- ウインドースイッチを操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。（運転席ウインドーのオート機構を除く）



- (1) 運転席ウインドースイッチ（オート機構付）
- (2) 助手席ウインドースイッチ
- (3) 右後席ウインドースイッチ
- (4) 左後席ウインドースイッチ

■ 運転席ウインドーのオート機構

運転席ウインドースイッチを強く操作すると、オート機構が作動してスイッチから手を離しても自動で全開または全閉します。

途中で止めたいときは、操作した方向と逆の方向に軽く操作します。

■ 運転席ウインドーのオフディレイタイマー機能

運転席ウインドーは、エンジンスイッチを **ON** の位置から **ACC** または **LOCK** (OFF) にしたあとでも、30 秒以内は開閉が可能です。

⚠️ アドバイス

- 30 秒以内でも、運転席または助手席のドアを開けると、運転席ウインドーの開閉ができません。
- 運転席ウインドーの開閉が可能な間は、運転席ウインドースイッチの“**AUTO**”の文字が点灯しています。

■ はさみ込み防止機構

運転席ウインドーには安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。（過負荷検知方式）

⚠ 警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、はさみ込み防止機構が作動せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。ウインドーの開閉操作は、十分に注意して行なってください。

⚠ 注意

はさみ込み防止機構は、ウインドーが閉まりきる直前に、はさみ込みを検知できない領域があり、指などをはさみけがをするおそれがあります。ウインドーが閉まりきる直前は、とくに指などをはさまないように気をつけてください。

🔧 アドバイス

- はさみ込み防止機構は、スイッチを引き上げ続けた状態では作動しません。
- ウインドーの故障で、はさみ込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、運転席ウインドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。
- 悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

■ はさみ込み防止機構の初期設定が必要なとき

次のような場合は、運転席ウインドーが自動で開かなくなるとともに自動で閉めたときに、はさみ込み防止機構が作動しなくなってしまうです。

「初期設定のしかた」をお読みになり、初期設定を行なってください。

→ 3-36ページ（初期設定のしかた）

- 鉛バッテリーの端子を外したとき
- 鉛バッテリーを交換したとき
- 鉛バッテリーあがりがおきたとき
→ 8-34ページ
（鉛バッテリーあがりのときは）
- ヒューズを点検・交換したとき
→ 9-17ページ
（ヒューズが切れたときは）

⚠ 警告

はさみ込み防止機構は、初期設定が完了するまで作動しないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。はさみ込み防止機構は、必ず初期設定してください。

🔧 アドバイス

運転席ウインドーが自動で開くことも閉めることもできなくなった場合も、初期設定を行なってください。

ウインドーの開閉

■ 初期設定のしかた

はさみ込み防止機構の初期設定は次の手順で行なってください。

- 1 エンジンスイッチを **ON** にします。
- 2 運転席ウインドースイッチを押し続け、ウインドーを完全に開けます。
- 3 運転席ウインドースイッチを引き上げ続け、ウインドーを完全に閉めます。
- 4 そのままスイッチを2秒以上引き上げ続けます。
- 5 運転席ウインドーが自動開閉できるようになったか確認します。

- 手順①～④を何度繰り返しても運転席ウインドーが自動開閉できない場合、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

助手席、後席での開閉

自席のウインドーを開閉できます。

- ウインドースイッチ(1)を操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。
- お子さまを乗せているときは、運転席ドアのウインドーロックスイッチを **ロック** 位置にしてください。

→ **3-33ページ**

(ウインドーロックスイッチ)



81M30932

⚠️ アドバイス

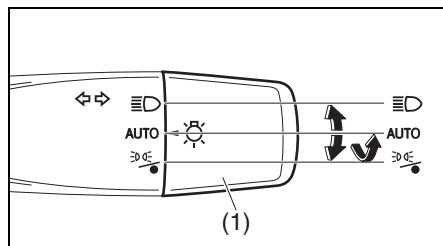
ウインドーロックスイッチが **ロック** 位置のときは、助手席/後席ウインドーの開閉ができません。

ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

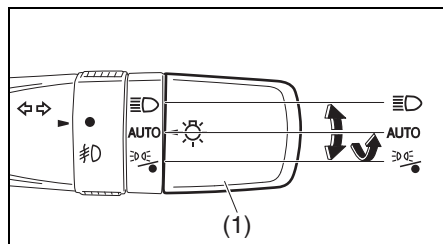
ヘッドライトなどを自動で点灯・消灯できます。自動で点灯または消灯しているとき手で消灯または点灯できます。

フォグランプ非装備車



59R30170

フォグランプ装備車



59R30180



ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯を点灯できます。

AUTO

オートライトシステムによりヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯を自動で点灯・消灯します。



ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯を消灯します。車幅灯、尾灯、番号灯を点灯します。ライトスイッチのツマミ (1) から手を離すと AUTO の位置に戻ります。

注 記

- エンジン停止中に長時間点灯させると、鉛バッテリーあがりの原因となります。
エンジン停止中は、ライトを長時間点灯させないでください。
- AUTO 位置のままエンジンスイッチを **ON** にしていると、エンジンがかかっていなくても、車外が暗くなるとともにライトや車幅灯が点灯するため、そのまま長時間点灯させると、鉛バッテリーあがりの原因となります。
AUTO 位置で、エンジンスイッチを **ON** にしたままにしないでください。

アドバイス

- ヘッドライトや車幅灯が点灯している間は、メーター内のライト点灯表示灯が点灯します。
→ **4-66ページ**
(ライト点灯表示灯)
- スズキ セーフティ サポート装備車の場合、ハイビームアシストによりヘッドライトの上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を自動的に切替えることができます。
→ **5-104ページ**
(ハイビームアシスト)

■ 点灯の位置

ライトスイッチのツマミ (1) を 点灯 にするとヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

- エンジンスイッチが **ON** から **ACC** または **LOCK** (OFF) にしても点灯したままです。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) でも点灯します。

■ AUTOの位置
(オートライトシステム)

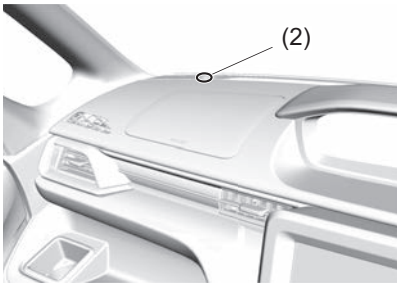
オートライトシステムにより車外の明るさに応じて自動的に点灯・消灯します。

- ライトスイッチのつまみ (1) が AUTO の位置でエンジンスイッチが **ON** のときに機能します。
- ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が同時に点灯・消灯します。
- 薄暗くなったときやトンネルなど急に暗くなったときに自動で点灯します。
- 自動で点灯しているとき
 - ・ 走行時は消灯できません。
 - ・ エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると消灯します。

🔧 アドバイス

オートライトセンサー (2) の上や周囲にものを置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に点灯・消灯しなくなります。

インパネ助手席側



83S03220

■ 点灯の位置

ライトスイッチのつまみ (1) を 点灯 までまわす、またはまわして保持すると点灯・消灯します。

- 自動でヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯していて、停車しているとき

点灯の操作	ヘッドライト	車幅灯、尾灯、番号灯
まわす	消灯	点灯
まわして保持	消灯 (先に消灯)	消灯 (後に消灯)

- ヘッドライトが消灯しているとき 点灯 まで操作するたびに点灯、消灯が切り替わります。

点灯の操作	車幅灯、尾灯、番号灯
まわす	消灯 ↔ 点灯
まわして保持	消灯 ↔ 点灯

- ・ エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) でも点灯・消灯します。
- 車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯していたとき、エンジンスイッチを **ON** から **ACC** または **LOCK** (OFF) にしても点灯したままになります。
- 車外がヘッドライトなどが自動で点灯する明るさの場合、走行をはじめると停車中に消灯させた全てのライトが再び点灯します。

ライト自動消灯システム

鉛バッテリーあがりを防ぐため、次の場合点灯しているライトは自動で消灯します。

- エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) したときにヘッドライトまたは車幅灯、尾灯、番号灯が点灯している場合、運転席ドアを開けるまたは約 10 分経過すると、ライトは自動で消灯します。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときにヘッドライトまたは車幅灯、尾灯、番号灯を点灯した場合、約 10 分経過すると、ライトは自動で消灯します。
ヘッドライトが自動消灯した後、ライトスイッチのツマミ (1) が **ⅡD** のままで運転席ドアを開けるとヘッドライトなどが再点灯します。

自動で消灯したあと再びライトを点灯させる場合は、ライトスイッチのツマミ (1) を **AUTO** の位置にしてから、 または **ⅡD** へ操作してください。

→ **3-37ページ (ⅡD の位置)**

→ **3-38ページ ( の位置)**

ライト自動消灯システムは、エンジンスイッチを **ON** にすると停止し、自動または手動で点灯・消灯します。

ライト消し忘れ警告ブザー

ヘッドライトや車幅灯の消し忘れを防止するため、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしたあとに、ヘッドライトや車幅灯を点灯させた場合、運転席ドアを開けると室内ブザーが“ピーー”と連続して鳴ります。

ヘッドライトおよび車幅灯を消すと、室内ブザーは止まります。

- 警告ブザーの作動中は、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

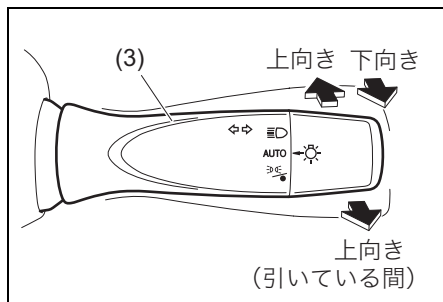
→ **4-34ページ**

(マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

ライトの上向き、下向きの切替え

ヘッドライトを上向き（ハイビーム）に切替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバー(3)を車の前方向に押すと上向きになります。もとの位置にもどすと、下向きになります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。
→ 4-66ページ（ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯）



83S03350

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠️ アドバイス

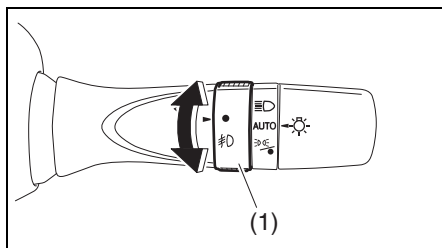
- 対向車や先行車があるときは、ライトを下向きにしてください。
- スズキ セーフティ サポート 装備車の場合、ライトスイッチのツマミがAUTOの位置にし、ヘッドライトが点灯した状態でレバーを前方向に押すと、ハイビームアシストが作動します。
→ 5-104ページ（ハイビームアシスト）

フォグランプスイッチ

タイプ別装備

雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

- フロントフォグランプはヘッドライトや車幅灯が点灯しているときに使用できます。ライトスイッチのリング(1)を Φ 位置にまわすとフロントフォグランプが点灯し、メーター内のフロントフォグランプ点灯表示灯が点灯します。もとの位置にもどすと消灯します。
→ 4-66ページ（フロントフォグランプ点灯表示灯）



59R30200

注 記

鉛バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

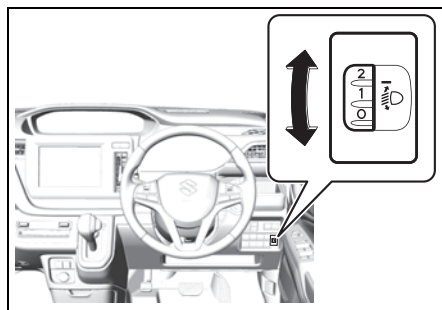
光軸調整ダイヤル

ハロゲンヘッドライト装備車

ハロゲンヘッドライト装備車は、ライトを点灯して光軸調整ダイヤルをまわすと、ライトの光軸が調整できます。

荷物や同乗者を乗せてライトの光軸が上向きになると、対向車や先行車の迷惑となります。ダイヤルを操作して、光軸を下向きに調整してください。

- ダイヤル操作は、ライトが下向き（ロービーム）に点灯しているときに行ってください。ライトが上向き（ハイビーム）に点灯している、または点灯していないときは、光軸が適切に調整できているか判断できません。
- ダイヤルの目盛りは **0** ～ **5** まであり、光軸が11段階（0.5きざみ）に調整できます。
- ダイヤルの数字を大きくすると、光軸が下向きになります。



83S03231

- 荷物や同乗者の乗せかたによって変わりますが、次表の数値を参考に適切な位置に調整してください。

〈ダイヤル位置の目安〉

条件	ダイヤル位置	
	2WD	4WD
運転席のみ乗車	0	0
運転席および助手席に乗車	0.5	0.5
5名乗車	2	2
5名乗車で荷室満載	2.5	2.5
運転席のみ乗車で荷室満載	4.0	3.5

⚠ 警告

走行中のダイヤル操作は、操作に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中はダイヤル操作をしないでください。

📌 アドバイス

- 車検などで基本の光軸を調整するときは、ダイヤルを0の位置にしてください。0以外の位置で基本光軸を調整すると、ライトの光軸が基準より上向きになるなど、安全上問題となるおそれがあります。
- ダイヤルを操作すると、ライトの下向き（ロービーム）と上向き（ハイビーム）の光軸が同時に調整されます。
- LEDヘッドライト装備車の場合、光軸が自動調整されます。

→ **4-57ページ**

（オートレベリング警告灯）

方向指示器スイッチ

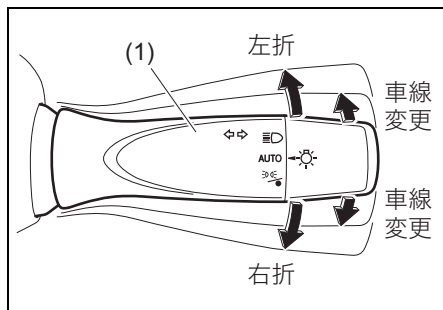
エンジンスイッチが **ON** のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時：レバー（1）を押し上げます。

右折時：レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが自動的にもとどり、方向指示器と表示灯が消灯します。



- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠️ アドバイス

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもとどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

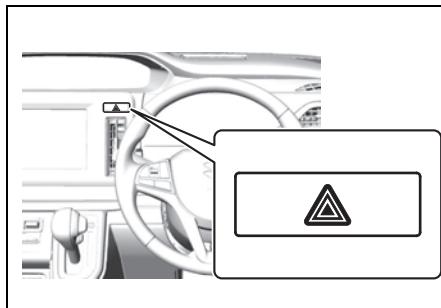
レバーを車線変更しようとする方向に軽く押さえます。

- 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

非常点滅表示灯スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。故障などでやむをえず路上駐車するときや非常時に使用します。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



- 上図のインパネは代表例です。お車のタイプにより異なります。

注 記

エンジン停止中に非常点滅表示灯を長時間点滅させると、鉛バッテリーあがりの原因となります。
エンジン停止中は、長時間点滅させないでください。

ワイパー/ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが **ON** のときに使用できます。

▲ 注意

寒冷時は、ガラス面に吹きつけたウォッシャー液が凍結して、視界が悪くなることがあります。ガラス面をデフロスターで暖めてから、ウォッシャー液を噴射してください。

→ 7-22ページ (デフロスター)

注 記

- 空ぶきするとガラス面やワイパーブレード (ゴム部) に傷がつくおそれがあります。
ウィンドーが乾いているときは、ウィンドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。
- ワイパーブレードがガラスにはりついているときにワイパーを作動させると、ブレード部 (ゴムの部分) が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。
ワイパーブレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。
- ウォッシャー液が十分に出ないときにウォッシャーを使用すると、ウォッシャーポンプが故障する原因となります。
ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。

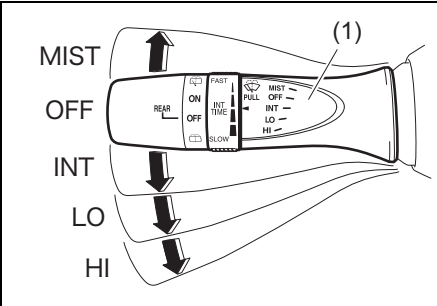
■ ワイパーが作動中に停止したときは

積雪などでワイパーに大きな負荷がかかる状態が続きワイパーモーターの温度が上がると、ワイパーモーターを保護するためにブレーカーが作動してワイパーが一時的に停止します。次の手順で対処してください。

- 1 安全な場所に停車し、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にします。
 - 2 ワイパースイッチをOFFにします。
 - 3 ワイパーの作動をさまたげる積雪などの障害物を取り除きます。
 - 4 しばらくしてワイパーモーターの温度が下がると、ブレーカーが自動復帰してワイパーの使用が可能となります。
- しばらく待ってもワイパーが使用できない場合は、別の原因が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

フロントワイパースイッチ

レバー (1) を上下に操作すると、フロントワイパーが次表のように作動します。

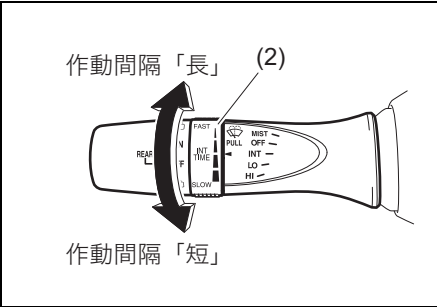


81P30980

MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速作動
HI	高速作動

■ 間欠ワイパーの時間調節のしかた

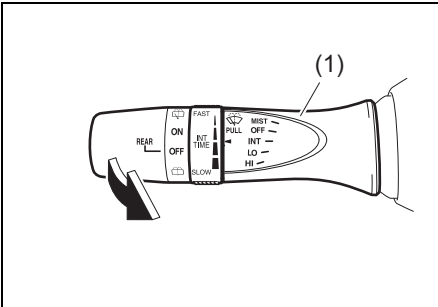
[INT] のときにリング (2) をまわすと、作動間隔を調節できます。



81P30990

フロントウォッシャースイッチ

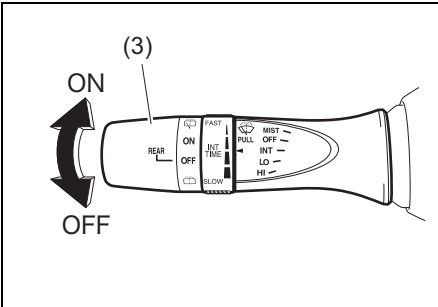
レバー (1) を手前に引くと、ウォッシャー液が噴射されワイパーが数回動きます。



81P31000

リヤワイパースイッチ

ツマミ (3) をまわします。

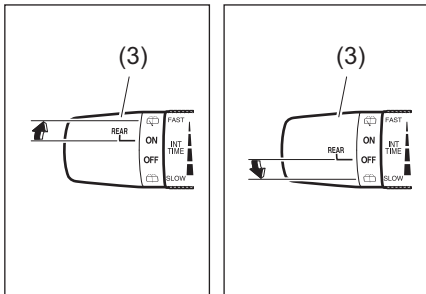


81P31010

ON	作動
OFF	停止

リヤウォッシャースイッチ

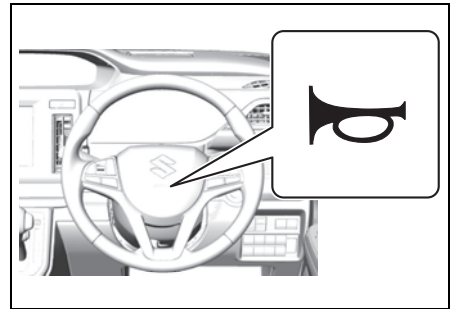
- 図の **▲** 方向にツマミ (3) をまわし、ONの上にある **☐** (ウォッシャー) にあわせるとウォッシャー液が噴射し、同時にリヤワイパーも連動して動きます。
ツマミから手を離すと ON にもどります。
- 図の **▼** 方向にツマミ (3) をまわし、OFFの下にある **☐** (ウォッシャー) にあわせるとウォッシャー液が噴射します。
ツマミから手を離すと OFF にもどります。



81P31020

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ハンドルのホーンマークがついている部分を押し、ホーンが鳴ります。



83S03251

リヤデフォッガースイッチ

ドアミラーヒーターはタイプ別装備

バックドアガラスの内側のくもりを取ります。エンジン回転中、またはアイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中（ハイブリッド車は、メーター内のREADY表示灯が点灯中）に使用できます。

ドアミラーヒーター装備車では、同時にドアミラーも暖められ、ミラーについたくもりを取ります。

→ 5-35ページ

(アイドリングストップシステム)

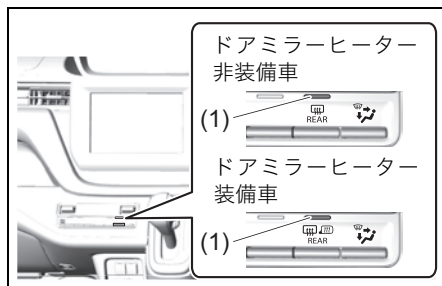
→ 2-13ページ

(ドアミラーヒータースイッチ)

→ 5-19ページ

(ハイブリッドシステム)

- スイッチを押すとバックドアガラスが暖められて、リヤデフォッガースイッチ内の表示灯 (1) が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。
- 約 15 分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。
- 使用中にエンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、エンジンを再始動しても自動的にスイッチは入りません。



83S03260

注 記

ガラスのくもりが取れたらすみやかにスイッチを切らないと、鉛バッテリーが上がるおそれがあります。

バッテリー保護のため、ガラスのくもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。

また、雪を溶かしたり、雨水を乾燥させたりする目的で使用しないでください。

⚠️ アドバイス

- バックドアガラスの室内側をふくときは、熱線や端子を傷つけないように、水を含ませたやわらかい布で熱線に沿ってふいてください。

● ハイブリッド車以外

エンジン停止中はスイッチが入りません。（アイドリングストップシステムのエンジン自動停止中を除く。）

ハイブリッド車

メーター内のREADY表示灯が消灯中はスイッチが入りません。

ECOモードスイッチ

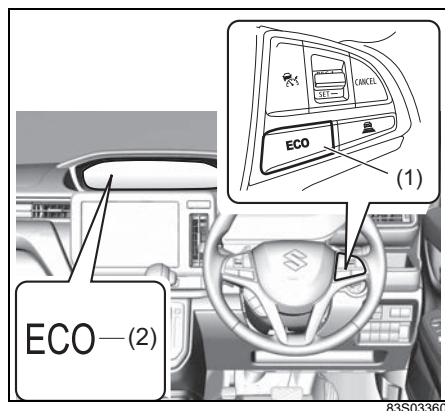
ハイブリッド車

ECO モードにすると、次のようになり燃費向上につながります。

- アクセルペダルの踏み込みに対する駆動力の発生がゆるやかになります。
- 空調の作動を抑えます。
- エンジンの再始動がアクセルペダルを踏み込んだときになります。（※）

※ ノーマルモードの場合、エンジンの自動再始動はブレーキペダルから足を離れたときです。

ECO モードスイッチ (1) を押すと ECO モードとなり、メーター内の ECO モード表示灯 (2) が点灯します。もう一度スイッチを押すと ECO モードが解除され、表示灯が消灯します。



83S03360

アドバイス

- セレクトレバーを **M** に入れると、ECO モードは解除されます。
- ECO モードが ON のときは、セッティングモードの「IS (アイドリングストップ) 空調設定」が非表示になります。

→ 4-25ページ

(セッティングモード一覧)

MEMO

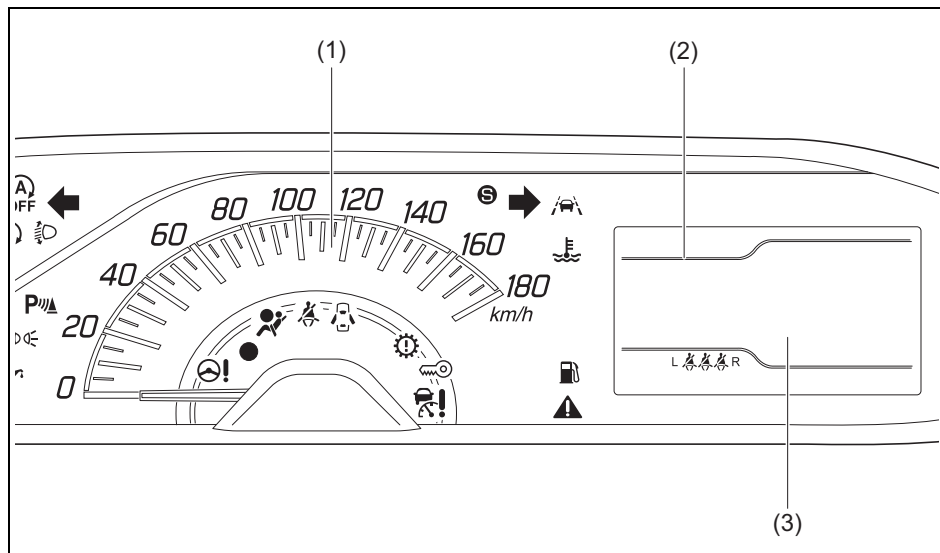
4. メーター

● メーター

メーターの見かた	4-2
マルチインフォメーションディスプレイ	4-4
警告灯・表示灯の見かた	4-52

メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



83S04510

(1) スピードメーター(速度計)

(2) ステータスインフォメーションランプ

(3) マルチインフォメーションディスプレイ

→ 4-4ページ (マルチインフォメーションディスプレイ)

アドバイス

メーターの照明は、エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、**ACC** または **LOCK** (OFF) にすると消灯します。

スピードメーター（速度計）

走行速度がkm/hで示されます。

ステータスインフォメーションランプ

燃費効率が良い運転をしていると判定されると、ステータスインフォメーションランプ（2）が青色から緑色に変化します。

- ブレーキペダル、アクセルペダルの操作により、メータの色が変化します。
- 減速エネルギー回生機能が作動しているときは、白色に変化します。

→ 5-33ページ

（マイルドハイブリッド）

→ 5-19ページ

（ハイブリッドシステム）

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに 3 秒間青色、その後緑色に変化し、エンジンがかかると青色に変化します。
- 次のようなときは、ステータスインフォメーションランプは緑色へ変化しません。
 - ・セレクトレバーが **D** の位置以外するとき
 - ・S モードスイッチ（タイプ別装備）がONのとき
 - ・車速が約10 km/h未満のとき

⚠️ アドバイス

● **マイルドハイブリッド車**

アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中も緑色に変化します。

→ 5-35 ページ（アイドリングストップシステム）

⚠️ アドバイス

● **ハイブリッド車**

EV 走行によるエンジンの自動停止中も緑色に変化します。

→ 5-19ページ

（ハイブリッドシステム）

- マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、ステータスインフォメーションランプを変化させなくすることができます。

→ 4-25ページ

（セッティングモード一覧）

メーターの照明

メーターの照明は、エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、**ACC** または **LOCK**（OFF）にすると消灯します。また、車外の明るさに応じて自動的にメーター照明を減光・減光解除します。ヘッドライトなどを手動で点灯・消灯させたときは同時に減光・減光解除します。

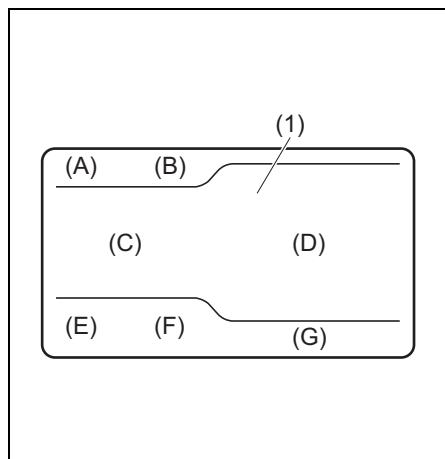
→ 4-19ページ

（照明コントロール表示）

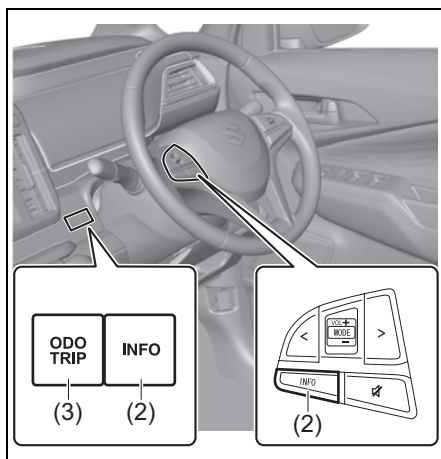
⚠️ アドバイス

- 周囲の明るさの状況によって、メーターの減光および減光解除のタイミングが異なることがあります。
- トンネルなど急に明るさが変わるときは、ヘッドライトなどの自動点灯・消灯と同時にメーターの照明が減光または減光解除されます。だんだん明るさが変わるときはタイミングが異なります。

マルチインフォメーションディスプレイ



83S04020



83S04031

- (1) マルチインフォメーションディスプレイ (2) インフォスイッチ
(3) オド&トリップメータースイッチ

エンジンスイッチを **ON** にすると、マルチインフォメーションディスプレイに少しの間、次の起動画面が表示されます。またそのあと各表示位置に、次の表のいずれかが表示されます。



83S04040

ⓘ アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、起動画面を変更することができます。

→ **4-25ページ (セッティングモード一覧)**

表示位置	表示される内容
(A)	時計表示 → 4-7ページ
(B)	外気温 → 4-10ページ

表示位置	表示される内容
(C) (D)	● マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ → 4-33ページ ● アダプティブクルーズコントロール画面表示（タイプ別装備） → 5-121ページ ● 瞬間燃費 → 4-13ページ ● 平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費 → 4-13ページ ● 航続可能距離 → 4-14ページ ● 平均車速／5分毎平均車速 → 4-15ページ ● 積算走行時間表示 → 4-15ページ ● 積算アイドリングストップ時間／積算節約燃料表示（マイルドハイブリッド車） → 4-16ページ ● 時計表示 → 4-7ページ ● モーション表示 → 4-16ページ ● アクセル/ブレーキ操作表示 → 4-17ページ ● エネルギーフロー表示（タイプ別装備） → 4-17ページ ● パワーメータ表示（ハイブリッド車） → 4-18ページ ● タコメーター → 4-18ページ ● ブランク表示 → 4-12ページ ● 交差点案内表示（ナビゲーション装備車） → 4-20ページ ● 照明コントロール表示 → 4-19ページ ● 標識認識機能表示 → 5-136ページ
(E)	セレクトレバー位置／ギヤポジション／M モード表示 → 4-21ページ

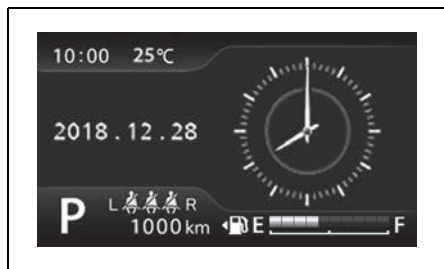
表示位置	表示される内容
(F)	●後席シートベルト警告灯 → 4-54ページ ●トリップメーター（区間距離計） → 4-22ページ ●オドメーター（積算距離計） → 4-22ページ
(G)	燃料計 → 4-23ページ

 アドバイス

メッセージの種類によっては、エンジンスイッチが **ACC** または **OFF** のときでも表示される場合があります。

時計

エンジンスイッチが **ON** のときに、表示位置 (A) と (D) に時計が表示されます。

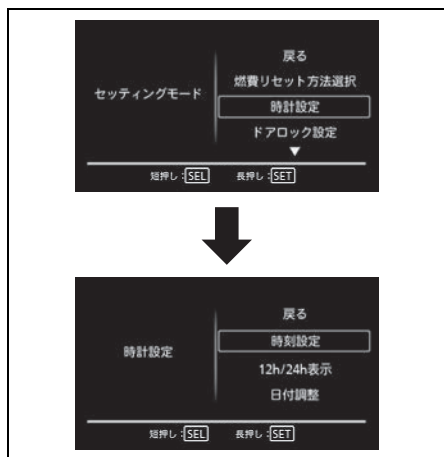


83S04050

時刻の設定

ナビゲーション非装備車

- 1 インフォスイッチ (2) を長押ししてセッティングモードの画面に切替えます。
「時計設定」、「時刻設定」の順にインフォスイッチ (2) を短押しして選択して、インフォスイッチ (2) を長押しして決定します。

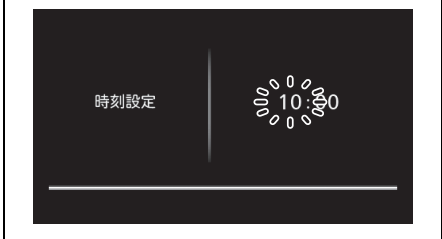


83S04061

- 2 インフォスイッチ (2) を短押しして「時」を合わせます。しばらくの間、スイッチを押さないでいると「時」が決定され、「分」の設定に進みます。

- インフォスイッチを長押しすると、値が早送りされます。

図の値は表示例です



83S04070

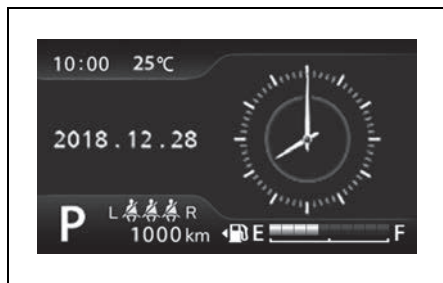
- 3 「分」表示が点滅したら、インフォスイッチ (2) を短押しして「分」を合わせます。しばらくの間、スイッチを押さないでいると「分」が決定され、時刻の設定が終了します。

⚠️ アドバイス

- 鉛バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、設定をやり直す必要があります。
- 表示位置 (D) で表示される時計も同時に時刻設定されます。

■ 日付およびカレンダー表示

エンジンスイッチが **[ON]** のときに、表示位置 (D) の時計の横にカレンダーが表示されます。



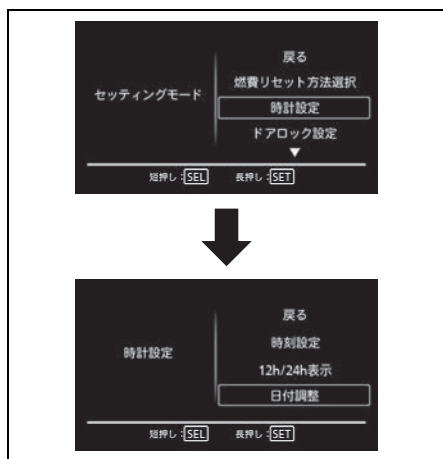
83S04050

4

■ 日付調整

1 インフォスイッチ (2) を長押ししてセッティングモードの画面に切替えます。

「時計設定」、「日付調整」の順にインフォスイッチ (2) を短押しして選択して、インフォスイッチ (2) を長押しして決定します。



83S04081

2 下図のように画面が表示されます。インフォスイッチ (2) を短押しして「YYYY (年 (西暦))」表示を合わせます。しばらくの間、スイッチを押さないでいると「YYYY (年 (西暦))」表示が決定され、「MM (月)」表示の設定に進みます。

●インフォスイッチを長押しすると、値が早送りされます。



83S04090

3 「MM (月)」表示が点滅したら、インフォスイッチ (2) を短押しして「MM (月)」を合わせます。しばらくの間、スイッチを押さないでいると「MM (月)」が決定され、「DD (日)」表示に進みます。

4 「DD (日)」表示が点滅したら、インフォスイッチ (2) を短押しして「DD (日)」を合わせます。しばらくの間、スイッチを押さないでいると「DD (日)」が決定され、日付の設定が終了します。そのあと「時計選択」の表示に切り替わります。

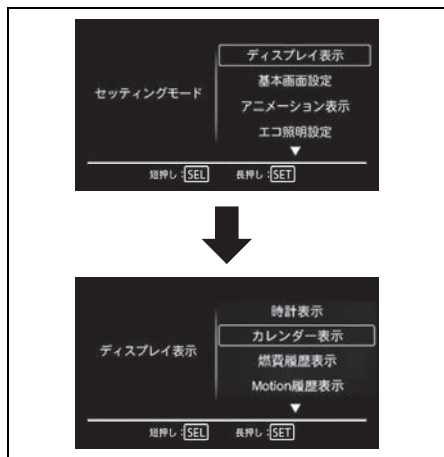
5 セッティングモードの表示で「戻る」を選択すると元の画面に戻ります。

■ カレンダー表示

ナビゲーション非装備車

- 1 インフォスイッチ (2) を長押ししてセッティングモードの画面に切替えます。

「ディスプレイ表示」、「カレンダー表示」の順にインフォスイッチ (2) を短押しして選択して、インフォスイッチ (2) を長押しして決定します。



83S04101

- 2 下図のように画面が表示されます。



83S04110

- DD.MM.YYYY (日.月.年 (西暦)、例: 16.12.2019)
- YYYY.MM.DD (年 (西暦).月.日、例: 2019.12.16) ※
- MM.DD.YYYY (月.日.年 (西暦)、例: 12.16.2019)

※初期状態 (工場出荷時)

お好みの表示を選択したあとインフォスイッチ (2) を長押しするとカレンダー表示切替えが完了します。

そのあとインフォスイッチ (2) を短押しして「戻る」に合わせ、インフォスイッチ (2) を長押しして決定すると、セッティングモードの「ディスプレイ表示」の表示に切り替わります。

- 3 セッティングモードの表示で「戻る」を選択するとととの画面に戻ります。

外気温

エンジンスイッチが **ON** のときに、表示位置 (B) に外気温が°C単位で表示されます。

- 外気温が氷点下近くになると、次のメッセージが表示されます。路面が凍結しているおそれがありますので、とくに慎重に運転してください。

→ 6-12ページ

(雪道を走行するとき)

表示例



59R40660

⚠ 注意

フリーズマークの点灯は目安です。気象状況によっては、フリーズマークが点灯しなくても路面が凍結している場合があり、スリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

外気温が低いときは注意して走行してください。

⚠ アドバイス

- 外気温はセンサー取り付け部の温度を表示していますので、実際の外気温と異なる場合があります。
- 次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅れたりすることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 停車時または低速走行時
 - ・ 外気温が急激に変化したとき (車庫、トンネルの出入口付近など)
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます

→ 5-158ページ

(ヘッドアップディスプレイ)

アダプティブクルーズコントロール

タイプ別装備

アダプティブクルーズコントロール機能を使用する際の作動状況/設定画面が表示位置 (C) に表示されます。

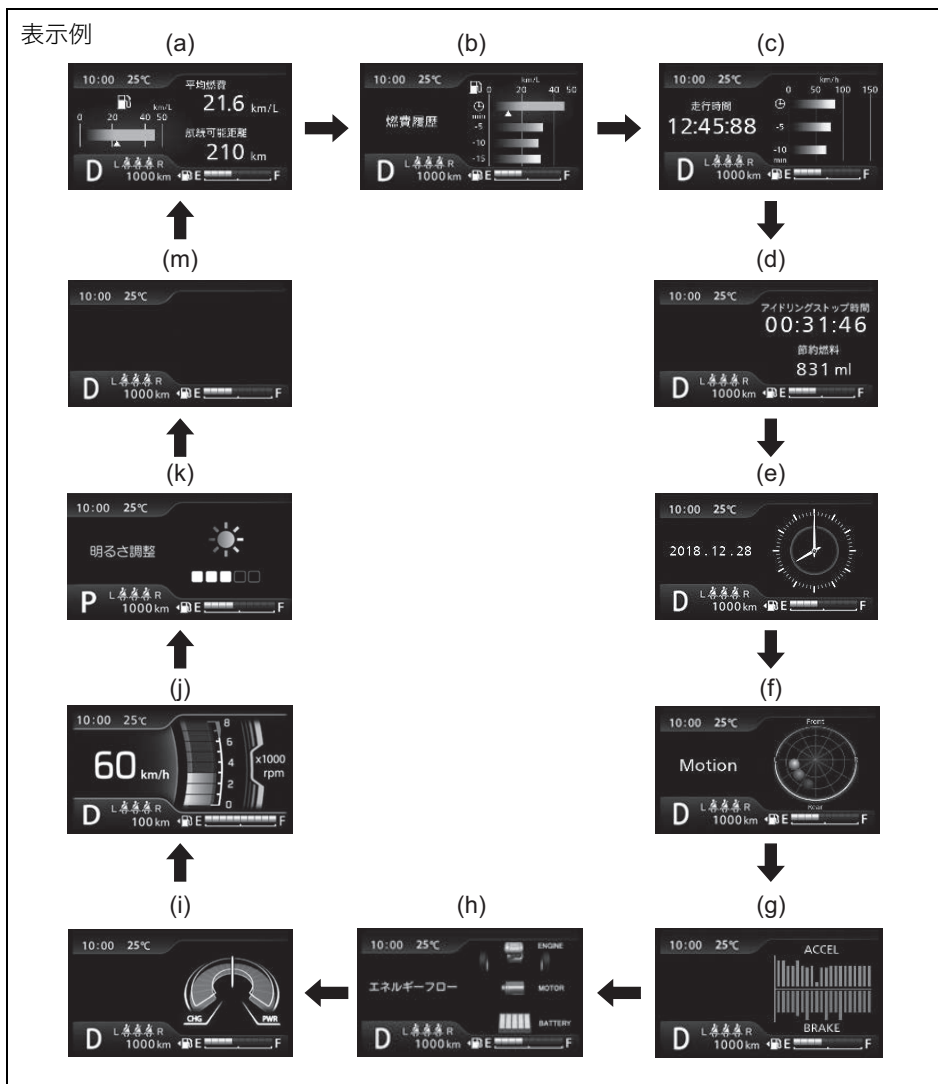
→ 5-108ページ (アダプティブクルーズコントロール)

→ 5-121ページ (アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付))

表示の切替え

メッセージがない場合は、エンジンスイッチが **[ON]** のときに、表示位置 (C) および (D) に次のいずれかが表示されます。

また、インフォスイッチを短押しすると、次のように表示が切り替わります。



83S04470

(a) 瞬間燃費／平均燃費／航続可能距離表示

(b) 瞬間燃費／平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費表示

(c) 平均車速／5分毎平均車速／積算走行時間表示

- (d) 積算アイドリングストップ時間／積算節約燃料表示(マイルドハイブリッド車)
- (e) 時計表示
- (f) モーション表示
- (g) アクセル／ブレーキ操作表示
- (h) エネルギーフロー表示(タイプ別装備)
- (i) パワーメータ表示(ハイブリッド車)
- (j) 車速／タコメーター表示
- (k) 照度調整表示
- (m) ブランク表示(画面にはなにも表示されない状態)

⚠ 警告

走行中に表示の切替えをすると、操作に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。

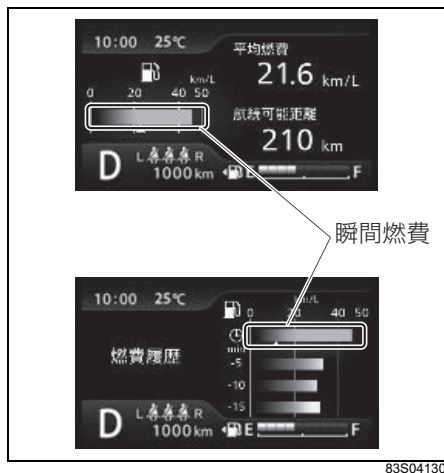
4

🔊 アドバイス

- 表示は、スイッチから手を離れたときに切り替わります。
 - 表示される値は目安です。実際の値とは異なる場合があります。
 - 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、燃費や航続可能距離が正しく表示されない場合があります。
- **4-57ページ (エンジン警告灯)**

■ 瞬間燃費

走行中の瞬間燃費が表示されます。



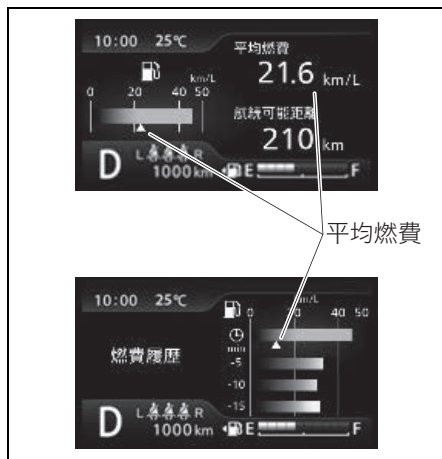
83S04130

⚠️ アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は 50 km/L です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。
- 燃費が大きく変化する走行をすると、表示に遅れが発生します。

■ 平均燃費 / 5 分毎平均燃費 / 運転1回毎平均燃費

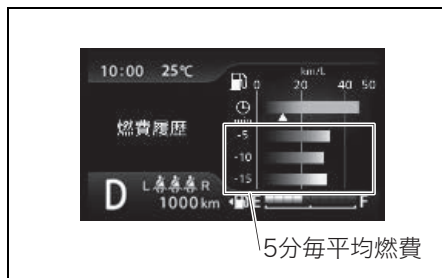
平均燃費が数字、およびグラフ上で示される位置にマークで表示されます。燃費リセットを行うと表示もリセットされます。



83S04140

直近の走行15分間の5分毎の平均燃費が表示されます。

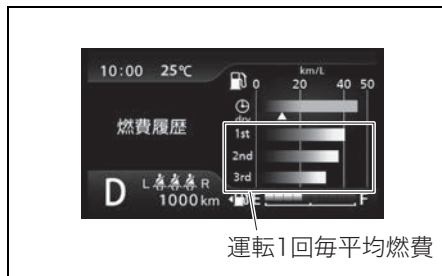
燃費リセットを行うと表示もリセットされます。



83S04150

直近3 回分の運転毎の平均燃費が表示されます。

燃費リセットを行うと表示もリセットされます。



83S04160

ⓘ アドバイス

- 燃費リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均燃費の表示はリセットされます。
- 5分毎平均燃費表示と運転1回平均燃費表示の切替えは、セッティングモードで選択できます。

→ **4-25ページ**
(セッティングモード一覧)

- 燃費リセット方法は、セッティングモードで次の3つから選択できます。

→ **4-25ページ**
(セッティングモード一覧)

(給油連動)

給油することに自動的にリセットされます。

ⓘ アドバイス

給油量が少ないと、自動的にリセットされない場合があります。

(TRIP A連動)

トリップメーター **A** のリセットと連動してリセットされます。

→ **4-22ページ**
(トリップメーター (区間距離計))

(非連動)

平均燃費の表示中にインフォスイッチを長押しするとリセットされます。

■ 航続可能距離



航続可能距離

83S04170

現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。

- 航続可能距離は過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- 給油すると表示が更新されます。ただし、給油量が少ないと、表示が更新されない場合があります。

ⓘ アドバイス

- 算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。
 - 鉛バッテリーを外すと過去の平均燃費の記憶が消去されますので、外す前までとは異なる値が表示される場合があります。
 - エンジンスイッチを **ON** のままにして給油すると、正しい値が表示されない場合があります。
 - 次のような場合は値が表示されません。
 - ・ 鉛バッテリー接続後しばらくの間
 - ・ 燃料残量警告灯の点灯中
- **4-55ページ (燃料残量警告灯)**

■ 平均車速／5分毎平均車速



83S04180



83S04190

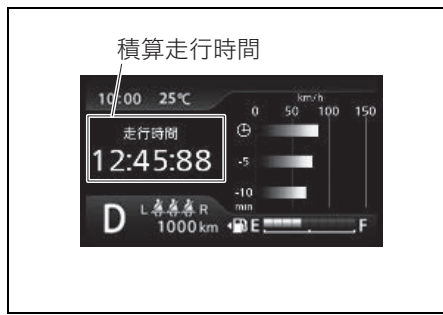
表示をリセットしてからの平均車速と走行10分前から5分毎に5分間の平均車速が表示されます。

- リセットするときは、平均車速の表示中にインフォスイッチ (2) を長押しします。
- 表示される値は、目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

⚠️ アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均車速の表示はリセットされます。

■ 積算走行時間



83S04200

表示をリセットしてからの走行時間が表示されます。

- リセットするときは、走行時間の表示中にインフォスイッチ (2) を長押しします。

⚠️ アドバイス

- 走行時間の最大値は、99 : 59 : 59 (時 / 分 / 秒) で、リセットするまで固定されます。
- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、積算走行時間の表示はリセットされます。

■ 積算アイドリングストップ時間／積算節約燃料

マイルドハイブリッド車



83S04211

4

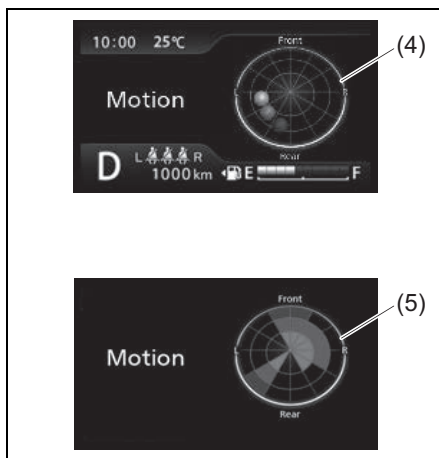
表示をリセットしてからのアイドリングストップ時間の累計が、時、分、秒単位で表示されます。同時にアイドリングストップによる節約燃料の累計がml単位で表示されます。

- リセットするときは、積算アイドリングストップ時間の表示中にインフォス イッチ (2) を長押しします。

ⓘ アドバイス

- 積算アイドリングストップ時間の最大値は99:59:59 (時/分/秒) で、リセットするまで固定されます。
- 鉛バッテリーを外すと、積算アイドリングストップ時間および積算節約燃料の表示はリセットされます。

■ モーション表示



83S04221

車体にどのような重心変化があるのかをリアルタイムで表示します。

最大加速度や減速度を感知した際、G (加速度) センサー (球上アイコン (4) が画面に表示されます。

車体を停止した際、運転中に記録された G センサー位置に関する履歴はグラフ (5) で表示が可能です。

- 表示される画面は目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

⚠ 警告

走行中に画面を注視をすると、画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、画面を注視しないでください。

ⓘ アドバイス

- モーション表示およびモーション履歴表示は、設定の切替え (カスタマイズ) をすると表示させなくすることもできます。

→ 4-25ページ

(セッティングモード一覧)

- モーション履歴表示を OFF にしてもモーション表示は表示されます。

■ アクセル/ブレーキ操作表示

現在の運転傾向を表示します。アクセルとブレーキの踏み加減をそれぞれ棒グラフで表示されます。

- 表示される画面は目安です。実際の値とは、異なる場合があります。



83S04230

⚠ 警告

走行中は画面を注視しないでください。画面に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🔊 アドバイス

- アダプティブクルーズコントロール（タイプ別装備）が作動しているときは、表示されません。
- アクセル/ブレーキ操作表示は、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。（セッティングモードのアクセル/ブレーキ表示の表示 ON / 表示 OFF 表示の項）

→ 4-25ページ

（セッティングモード一覧）

■ エネルギーフロー表示

マイルドハイブリッド車

マイルドハイブリッドが作動しているかどうかを確認できます。

→ 5-33ページ

（エネルギーフローインジケーター）



83S04240

4

ハイブリッド車

高電圧バッテリーの残量や車の状態によるエネルギーの流れを表示します。

→ 5-21ページ

（エネルギーフロー表示）

図は表示例です



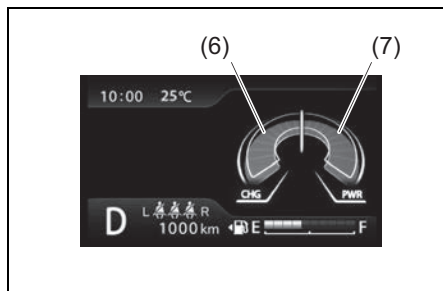
83S04240

■ パワーメータ表示

ハイブリッド車

駆動用モーターの作動状態を表示します。

- 回生ブレーキ (6) とモーターアシスト (7) の作動状態が表示されます。



83S04460

■ タコメーター

表示例



83S04252

(8) レッドゾーン

1 分間あたりのエンジン回転速度（回転数）が表示されます。

注 記

- エンジン保護のため、エンジン回転数がレッドゾーン（※）に入らないように運転してください。
※ エンジンの許容回転を超えていることを示す表示範囲
- シフトダウンすると、エンジン回転が上がります。とくに注意してください。

⚠️ アドバイス

タコメーターは、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。

→ 4-25ページ
(セッティングモード一覧)

■ 照明コントロール表示

現在設定されているメーターの明るさが表示されます。

- メーターの照度には、周囲が明るいときの昼照度と、周囲が暗くなったときに照度が減光される夜照度があります。

明るさ調整

- 調節するときは、インフォスイッチを長押しすると、明るさが1段階ずつ変化します。
- 5段階に調節できます。



83S04280

⚠ 警告

走行中に明るさの調節をすると、操作に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、明るさの調節をしないでください。

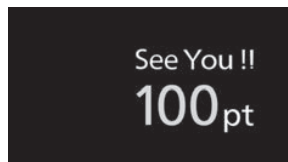
🔊 アドバイス

- 鉛バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、明るさ調節をやり直す必要があります。
- メーカーオプションのナビゲーション装備車は、メーターの明るさを最大にすると、地図の画面が昼画面（明るい色）になります。

■ エンディングモード

エンジンスイッチを **ACC** または **OFF** にすると、1回の運転での走行時間／走行距離／航続可能距離、アイドリングストップ時間と節約燃料（カスタマイズ）が表示位置（D）に数秒間表示されます。その後、モーション履歴の表示が数秒間表示されます。

表示例



83S04260

🔊 アドバイス

- アイドルストップ時間と節約燃料、モーション履歴表示は、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。

→ 4-25ページ

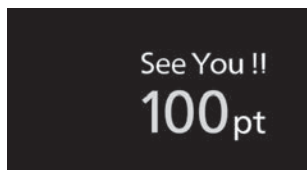
（セッティングモード一覧）

- モーション履歴表示 OFF にしてもモーション表示は表示されます。

■ エコスコア表示機能

エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にすると、エコスコアが一定時間、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示例



83S04270

- 1 回の運転で、燃費効率が良いと判定された割合から、運転内容を採点します。
 - エコドライブの目安としてお使いください。
- **6-11ページ**
(エコドライブをしましょう)

⌚ アドバイス

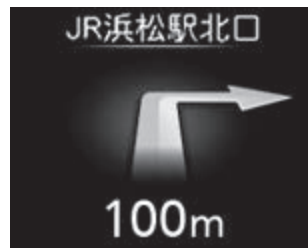
- メーター内のエコドライブアシスト照明において緑色に点灯させる走行を心がけると、高得点が得られます。(100 点満点)
 - エコスコア表示機能は、設定の切替え(カスタマイズ)をすると、表示させなくすることもできます。
- **4-25ページ**
(セッティングモード一覧)

交差点案内表示

全方位モニターおよび 全方位モニター対応ナビゲーション装備車

ナビゲーションと連動して、表示位置(D)に次に進む方向と距離が表示されます。

表示例



59R40850

⌚ アドバイス

- インフォメーションディスプレイの交差点案内表示とナビゲーションの案内表示との間に、わずかなズレが生じることがあります。
 - 交差点案内表示のON/OFFは、ナビゲーションの案内機能が表示されているときに切替えてください。
 - ・ 交差点案内表示の ON / OFF とナビゲーションで示される案内表示の間に、差が生じることがあります。
 - ・ ナビゲーション本体の機能や操作方法については、付属の取扱説明書をお読みください。
 - 交差点案内表示は、設定の切替え(カスタマイズ)をすると表示させなくすることができます。また交差点案内表示は、標識認識機能表示との優先表示の切替えをすることもできます。
- **4-25ページ**
(セッティングモード一覧)

アドバイス

- ヘッドアップディスプレイ装備車は、交差点案内表示がヘッドアップディスプレイにも表示されます。
→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

セレクトレバー位置／ギヤポジション

ハイブリッド車以外

表示例



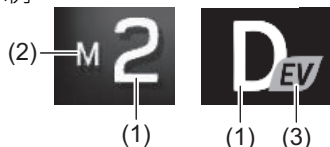
83S04370

(1)セレクトレバー表示／ギヤポジション表示

エンジンスイッチが **ON** のときに、表示位置 (E) に走行状況にあわせて表示されます。

ハイブリッド車

表示例



52RH30021

- (1)セレクトレバー表示／ギヤポジション表示
(2)Mモード表示
(3)EV走行表示

- エンジンスイッチが **ON** のときに、表示位置 (E) に走行状況にあわせて表示されます。
- EV 走行のとき、EV 走行表示 (3) が表示されます。

■ セレクトレバー位置表示

セレクトレバーの位置が表示されます。
(マニュアルモード時を除く)

→ **5-63ページ**
(セレクトレバーの各位置のはたらき)

■ ギヤポジション／ M (マニュアル) モード表示

マニュアルモードのときに、M モード表示と現在のギヤポジションが表示されます。

→ **5-66ページ**
(マニュアルモードの使いかた)

トリップメーター（区間距離計）

表示例



(1)

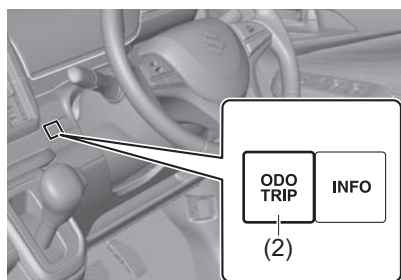
83S04290

(1)トリップメーター（区間距離計）

エンジンスイッチが **[ON]** のときに、表示位置 (F) に、リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。（次にリセットするまで距離計測は継続されます）

- **[A]** および **[B]** の2種類の走行距離を同時に計測できます。

オド＆トリップメータースイッチ (2) を押すごとに **[A]**、**[B]** およびオドメーター（積算距離計）の表示が切り替ります。



83S04451

<使いかたの例>

- [A]**: 出発時にリセットして、出発後の距離を計測
- [B]**: 給油時にリセットして、給油後の距離を計測

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまでオド＆トリップメータースイッチを長押しします。

アドバイス

トリップメーターの最大値は 9999.9 で、そのあと 0.0 にもどります。（距離計測は継続されます）

オドメーター（積算距離計）

表示例



(1)

83S04300

(1)オドメーター（積算距離計）

エンジンスイッチが **[ON]** のときに、表示位置 (F) に新車時（またはメーター交換時）からの走行距離の累計が km 単位で表示されます。（リセットはできません）

- オド＆トリップメータースイッチ (2) を押すごとにトリップメーター（区間距離計）**[A]**、**[B]** およびオドメーターの表示が切り替ります。

燃料計

エンジンスイッチが **ON** のときに、表示位置 (G) に燃料残量の目安が表示されます。

表示例



59R41000

- 燃料残量警告灯が点灯し、インフォメーションディスプレイへメッセージが表示されたときは、すみやかに給油してください。

→ 4-55ページ (燃料残量警告灯)

→ 4-33 ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ)

- 燃料残量警告灯が点灯するとともに燃料計の目盛り (1 つ) が点滅したときは、燃料がほとんどありません。ただちに給油してください。

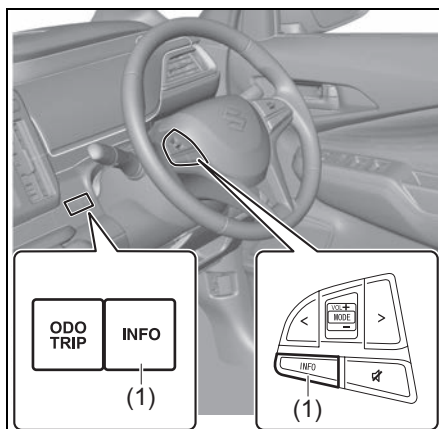
⚠️ アドバイス

- 給油後は、エンジンスイッチを **ON** にしてから正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が変わることがあります。
- 燃料計の左にある **◀**印は、給油口 (フューエルリッド) が助手席側の車両後方にあることを示します。

セッティングモード

■ セッティングモードへの切替えのしかた

切替えは、エンジンスイッチが **ON** のときの停車中にできます。(走行中ではできません)



83S04381

(1) インフォスイッチ

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 1 インフォスイッチを長押しします。マルチインフォメーションディスプレイ全体がセッティングモードに切り替わります。

⚠️ アドバイス

下記の表示中にセッティングモードにすると、同時に現在の値がリセットされてしまいます。先にインフォスイッチを短押しして、ほかの表示に切替えてください。

- 平均燃費
- 平均車速
- 走行時間
- 積算アイドリングストップ時間
- 積算節約燃料

- 2 インフォスイッチを短押しして、設定を切替えたい表示を選択し、インフォスイッチを長押しして決定します。

表示例



83S04311

4

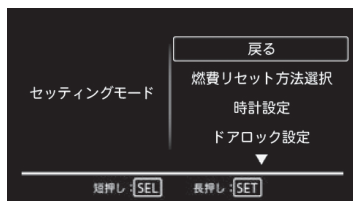
アドバイス

選択されている設定は、文字が枠で囲まれて表示されます。

- 3 設定切替え表示に移動します。

■ セッティングモードの終了のしかた

インフォスイッチを短押しして「戻る」を選択し、インフォスイッチを長押しします。



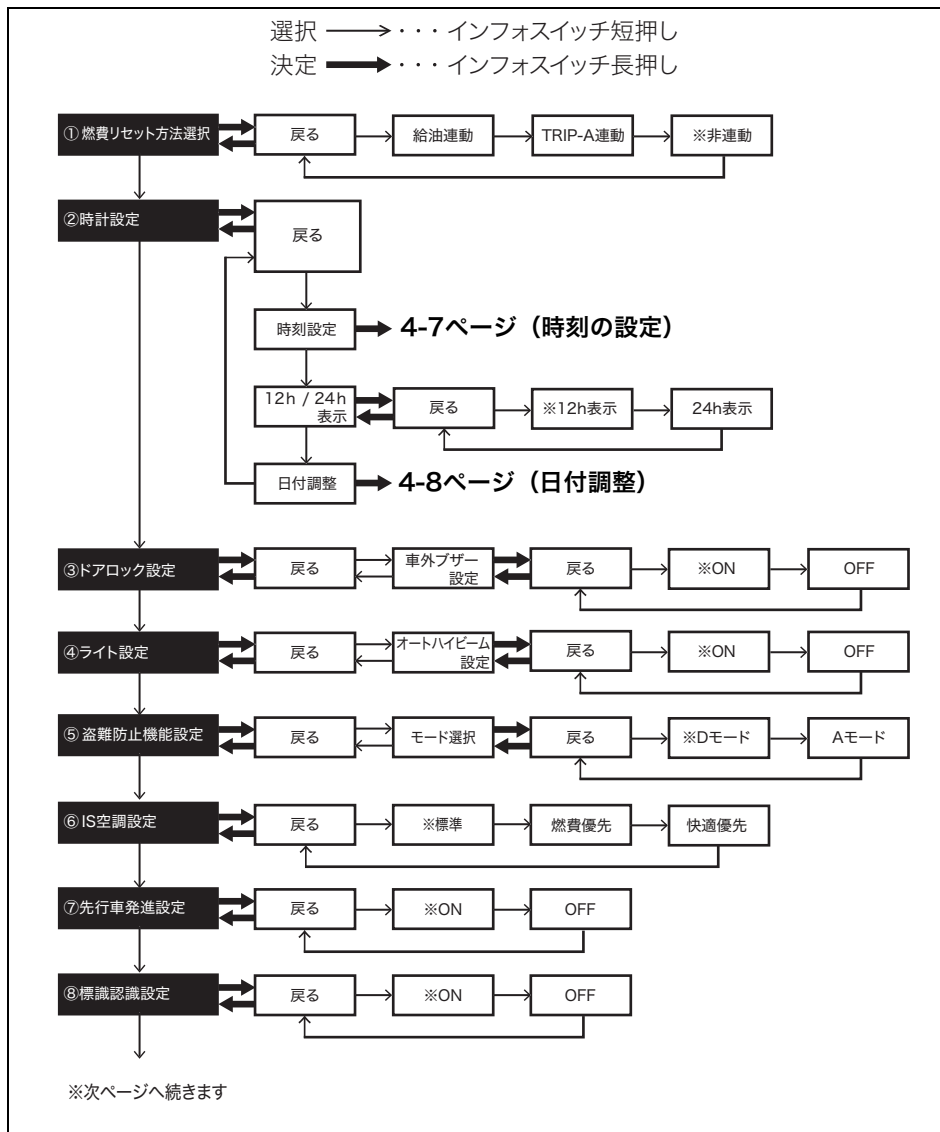
83S04321

- 次のような操作でも終了できます。
 - ・ エンジンスイッチを **ACC** または **OFF** にする。
 - ・ 走行を開始する。

■ セッティングモード一覧

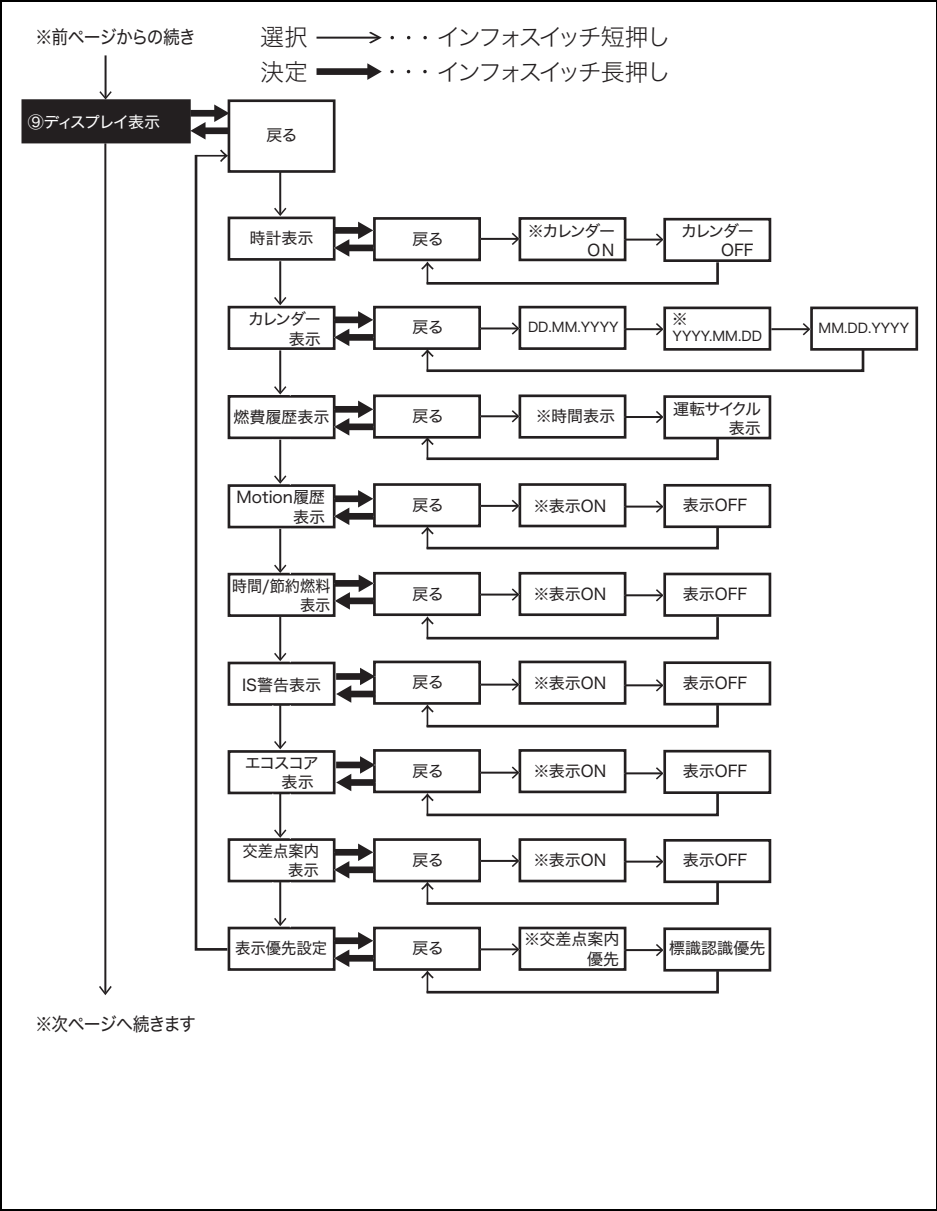
セッティングモードでは次の設定切替え（カスタマイズ）ができます。

- お車のタイプにより設定できる項目は異なります。



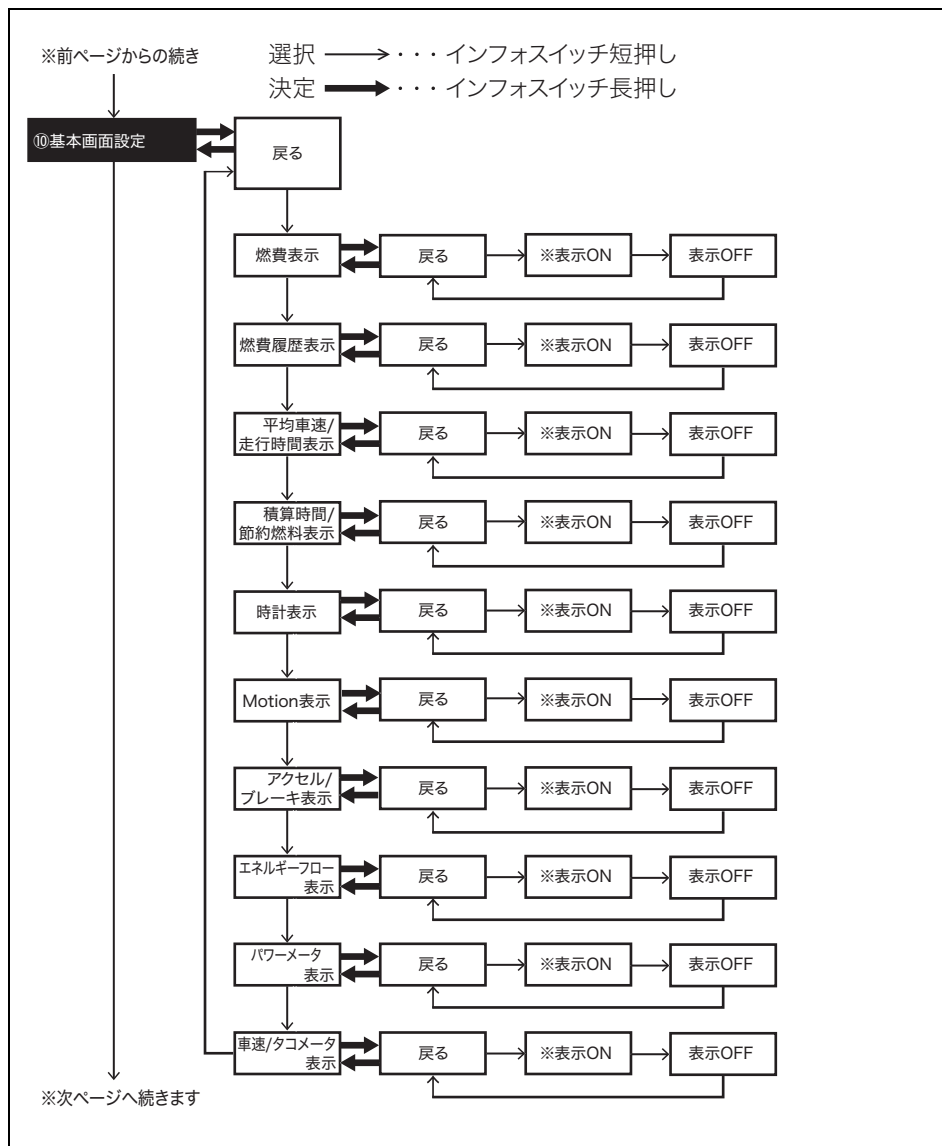
83S04401

※初期状態（工場出荷時）

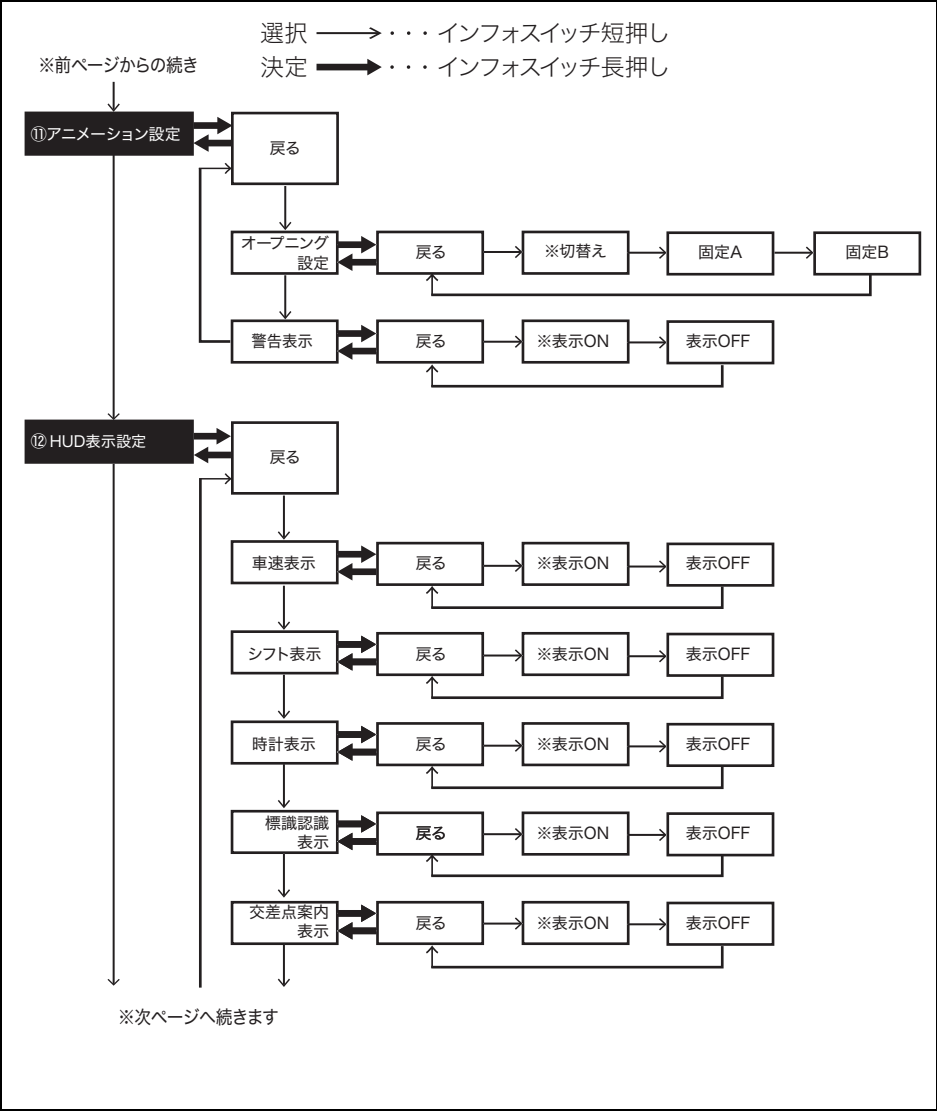


83S04490

※初期状態（工場出荷時）

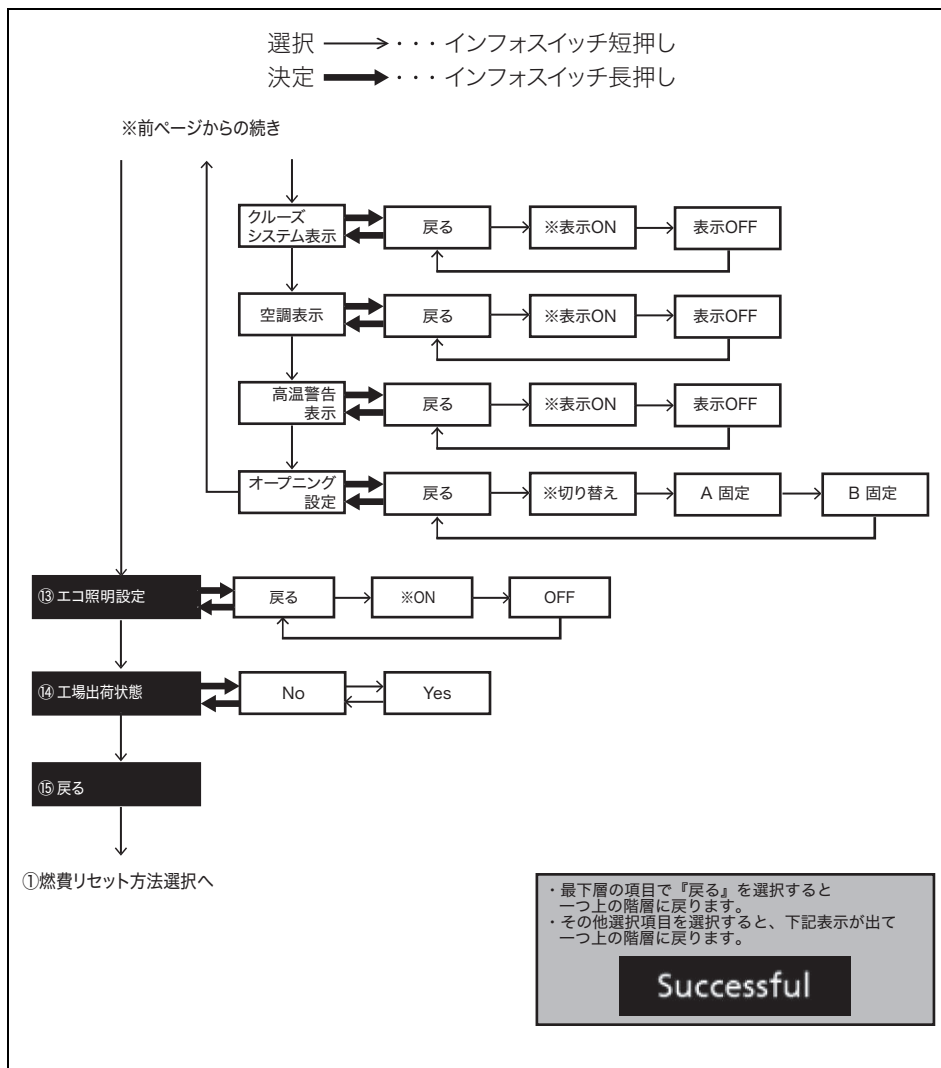


※初期状態（工場出荷時）



83S04411

※初期状態（工場出荷時）



83S04440

※初期状態（工場出荷時）

下記の①～⑪の設定切替え表示において更に選択肢がある場合、インフォスイッチを長押しします。

① 燃費リセット方法選択

平均燃費のリセット方法を、「給油連動」、「TRIP-A 連動」、「非連動」から選択できます。

→ **4-13ページ (平均燃費/5分毎平均燃費/運転1回毎平均燃費)**

② 時計設定

〔時刻調整〕

時計の調整ができます。

→ **4-7ページ (時刻の設定)**

〔12h / 24h表示〕

時計表示で「12h 表示」、「24h 表示」から選択できます。

〔日付調整〕

年（西暦）、月、日の日付調整ができます。

→ **4-8ページ (日付調整)**

③ ドアロック設定

〔車外ブザー設定〕

アンサーバック機能の車外ブザーによる合図の設定を「ON」、「OFF」から選択できます。

→ **3-12 ページ (アンサーバック機能)**

④ ライト設定

オートハイビーム（ハイビームアシスト）の設定を、「ON」、「OFF」から選択できます。

⑤ 盗難防止機能設定

（ハイブリッド車以外）

セキュリティアラームのモード設定切替えを「A モード」、「D モード」から選択できます。

→ **3-28 ページ (セキュリティアラーム (警報装置))**

⑥ IS空調設定

（マイルドハイブリッド車、またはハイブリッド車）

アイドリングストップ空調設定を「標準」、「燃費優先」、「快適優先」から選択できます。

→ **5-45ページ**

(アイドリングストップ 空調設定)

⑦ 先行車発進設定（タイプ別装備）

先行車発進お知らせ機能の設定を、「ON」、「OFF」から選択できます。

→ **5-103ページ**

(先行車発進お知らせ機能)

⑧ 標識認識設定（タイプ別装備）

標識認識機能の設定を、「ON」、「OFF」から選択できます。

→ **5-136ページ (標識認識機能)**

⑨ ディスプレイ表示

〔時計表示〕

カレンダー表示で「カレンダーON」で表示、「カレンダーOFF」で表示しない切替が選択できます。

〔カレンダー表示〕

カレンダー表示で「DD.MM.YYYY (日.月.年 (西暦))」、「YYYY.MM.DD (年 (西暦).月.日)」、「MM.DD.YYYY (月.日.年 (西暦))」から選択できます。

→ **4-9ページ (カレンダー表示)**

〔燃費履歴表示〕

平均燃費/5分毎平均燃費/運転1回毎平均燃費の表示において、「時間表示」、「運転サイクル表示」から選択することができます。

→ **4-13ページ (平均燃費/5分毎平均燃費/運転1回毎平均燃費)**

〔Motion履歴表示〕

エンディングモードのモーション履歴表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

→ **4-16ページ (モーション表示)**

→ **4-19ページ
(エンディングモード)**

〔時間/節約燃料表示〕

〔マイルドハイブリッド車〕

1 回の運転での積算アイドリングストップ時間と積算節約燃料表示で「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

→ **4-16 ページ (積算アイドリングストップ時間/積算節約燃料)**

→ **4-19ページ
(エンディングモード)**

〔IS警告表示〕

〔マイルドハイブリッド車〕

アイドリングストップに関する警告が発生した場合に警告メッセージ表示で「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

→ **4-33 ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ)**

〔エコスコア表示〕

エコスコア表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

→ **4-20ページ
(エコスコア表示機能)**

〔交差点案内表示〕

〔ナビゲーション装備車〕

交差点表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

→ **4-20ページ (交差点案内表示)**

〔表示優先設定〕

〔ナビゲーション装備車〕

インフォメーションディスプレイに表示される案内において「交差点案内優先」、「標識認識優先」の切替えができます。

→ **5-136ページ (標識認識機能)**

→ **4-20ページ (交差点案内表示)**

⑩ 基本画面設定

基本画面表示の切替えができます。

→ **4-11ページ (表示の切替え)**

〔燃費表示〕

瞬間燃費/平均燃費/航続可能距離の表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔燃費履歴表示〕

瞬間燃費/平均燃費/5分毎平均燃費/運転1回毎平均燃費の表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔平均車速/走行時間表示〕

平均車速/5分毎平均車速/積算走行時間の表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔積算時間/節約燃料表示〕

〔マイルドハイブリッド車〕

積算アイドリングストップ時間/積算節約燃料の表示において「表示 ON」、「表示OFF」の切替えができます。

〔時計表示〕

時計表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔Motion表示〕

モーション表示において「表示 ON」、「表示OFF」の切替えができます。

〔アクセル/ブレーキ表示〕

アクセル/ブレーキの表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔エネルギーフロー表示〕

〔マイルドハイブリッド車およびハイブリッド車〕

エネルギーフローの表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔パワーメータ表示〕

〔ハイブリッド車〕

パワーメータの表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

〔車速/タコメータ表示〕

車速/タコメータの表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

⑪ アニメーション設定

アニメーション表示される画面の切替えができます。

〔オープニング設定〕

オープニングのアニメーション表示を「切替え」、「固定 A」、「固定 B」から選択できます。

→ **4-4ページ (起動画面)**

〔警告表示〕

警告に関するアニメーション表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。

⑫ HUD表示設定 (タイプ別装備)

〔車速表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) の車速表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔シフト表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) のシフト表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔時計表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) の時計表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔標識認識表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) の標識認識表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔交差点案内表示〕

〔ナビゲーション装備車〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) の交差点案内表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔クルーズシステム表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) のアダプティブクルーズコントロール表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔空調表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) のエアコン表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔高温警告表示〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) の高温時の警告表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

〔オープニング設定〕

ヘッドアップディスプレイ (HUD) のオープニング時の表示において「切り替え」、「A 固定」、「B 固定」の切替えができます。

⑬エコ照明設定

ステータスインフォメーションランプの表示において「ON」、「OFF」の切替えができます。

→ 4-3 ページ (ステータスインフォメーションランプ)

⑭工場出荷状態

工場出荷時の初期設定にもどせます。

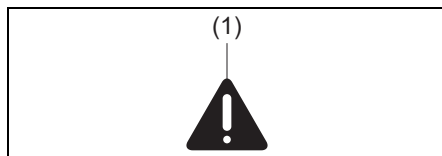
⑮戻る

セッティングモードを終了します。

マルチインフォメーション
ディスプレイのメッセージ

各システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メッセージが表示されます。また、メッセージの種類によっては、同時に室内／車外ブザーが鳴る場合があります。

- メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。詳しくは、次のページの「マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧」をお読みください。また、その一覧に案内されている参照ページもあわせてお読みください。
- 表示されるメッセージの種類によっては、メーター内のマスターウォーニング (1) が同時に点滅する場合があります。



80P0386

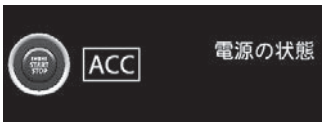
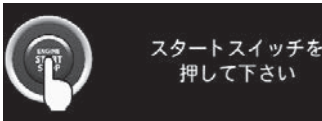
🔊アドバイス

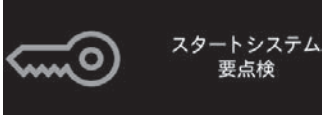
- メッセージの要因が解消されると、表示が消えます。
- メッセージの表示中に、別のメッセージが追加されると、割り込み表示されます。そのあとは、約5秒ごとに表示が切り替わります。
- メッセージが表示されているときに、インフォスイッチを長押しすると、もとの画面にもどります。ただし、メッセージの種類によっては、要因が解消されるまでは、ふたたび表示される場合があります。

■ マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧

お車のタイプにより内容が異なります。

● エンジンスイッチが **ACC** または **OFF** のとき

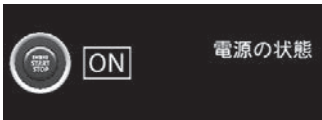
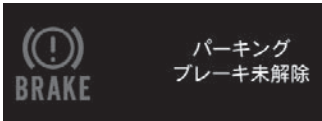
メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 83S04330	消灯	なし	いずれかのドアが完全に閉まっていません。 ● 安全な場所に停車して、ドアを完全に閉めてください。 → 4-61ページ (半ドア警告灯)
 59R40300	消灯	なし	電源の状態が ACC のときに表示されます。 → 5-11 ページ (電源の切替のしかた)
 59R40310	消灯	なし	ブレーキペダルを踏んでいます。エンジンをかけるときは、エンジンスイッチを押してください。 → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
 59R40320	消灯	なし	セレクトレバーが P N 以外の位置、またはブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押しています。メッセージの指示にしたがってください。 → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 ギアシフトを Pに入れて下さい 59R40330	消灯	なし	ハイブリッド車以外 セレクトレバーが P 以外の位置になっています。メッセージの指示にしたがってください。 ハイブリッド車 次の状況でエンジンスイッチを押しています。 ●セレクトレバーが P N 以外 ●ブレーキペダルを踏んでいない エンジンをかけるときは、メッセージの指示にしたがってください。 → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
 ステアリングロック 要点検 59R40340	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ハンドルロックに異常が考えられます。スズキサービス工場点検を受けてください。 → 5-18 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)
 スタートシステム 要点検 59R40350	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	イモビライザー／キーレスプッシュスタートシステムの異常または鉛バッテリーの電圧が低いことが考えられます。 鉛バッテリーの電圧が正常な状態でもこのメッセージが表示されたときはスズキサービス工場点検を受けてください。 → 5-10 ページ (キーレスプッシュスタートシステム)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 59R40360  59R40370	点滅	●ポーン ●2回 ●室内ブザー	携帯リモコンが検知できない、またはリモコンの電池が切れている状態で、エンジンスイッチ操作をしています。リモコンを車内の検知できる位置にするか、リモコンをエンジンスイッチに当ててください。 → 5-10ページ (車内の作動範囲) → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
 59R40360  59R40370	点滅	●ピー、ピー ●5回 ●室内／車外ブザー そのあとに ●ポーン ●1回 ●室内ブザー	エンジンスイッチを ACC または ON にしたときは携帯リモコンを検知していたが、始動時に検知できなくなりました。リモコンを車内の検知できる位置で、エンジンスイッチを操作してください。 → 5-10ページ (車内の作動範囲) → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))
 59R40370	点滅	●ピー、ピー ●5回 ●車外ブザー	エンジンをかけた状態、またはエンジンスイッチが ACC または ON のときに、ドアのいずれかを開閉して、携帯リモコンが検知外(車外など)になりました。リモコンを車内の検知できる位置にもどしてください。 → 5-13 ページ (携帯リモコン車外持ち出し警告)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 ライト点灯 しています 59R40380	点滅	•ピーー - ー •室内 ブザー	ライトや車幅灯が点灯しています。これらを消してください。 → 3-39ページ（ライト消し忘れ警告ブザー）

● エンジンスイッチが **ON** のとき

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 83S04330 (停車中は※1)	点滅 (走行中のみ)	(走行中のみ) ●ポーン ●1回 ●室内ブザー	いずれかのドアが開いています。安全な場所に停車して、ドアを完全に閉めてください。 → 4-61ページ (半ドア警告灯)
 59R40390 (※1)	消灯	なし	電源の状態が ON のときに表示されます。 → 5-11 ページ (電源の切替えのしかた)
 59R40400	点滅	●ピピ ピッ、 ピピ ピッ、 ●室内ブザー	走行中に、パーキングブレーキが解除されていません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキを解除してください。 → 5-47ページ (パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー)
 59R40410 (※1)	消灯	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	燃料の残量が少なくなっています。すみやかに給油してください。 → 4-55ページ (燃料残量警告灯)

※1 印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間がすぎると消えます。

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 スタートスイッチを 押して下さい 59R40310	消灯	なし	ブレーキペダルを踏んでいます。エンジンをかけるときは、エンジンスイッチを押してください。 → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステム の起動))
 ギアシフトを Pに入れ ブレーキを 踏んで下さい 59R40320	消灯	なし	セレクトレバーが P N 以外の位置でブレーキペダルを踏んで、エンジンスイッチを押しています。メッセージの指示にしたがってください。 → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステム の起動))
 ステアリングロック 要点検 59R40340	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ハンドルロックに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-18 ページ (エンジン スイッチをもどすときは)
 ハンドルを左右に 回しながら スタートスイッチを 押してください 59R40420	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ハンドルロックが解除されていません。ハンドルを左右にまわしながら、エンジンスイッチの操作をやり直してください。 → 5-8ページ (ハンドルロックが解除できないときは)
 トランスミッション オイル高温 59R40430	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	CVT フルード／オートギヤシフトオイルの過熱が考えられます。安全な場所に停車して、アイドリング状態にしてください。 → 4-60 ページ (トランス ミッション警告灯)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 スタートシステム 要点検 59R40350	点滅	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	イモビライザー／キーレス プッシュスタートシステムの 異常または鉛バッテリーの電 圧が低いことが考えられま す。 鉛バッテリーの電圧が正常な 状態でもこのメッセージが表示 されたときはスズキサービ ス工場で点検を受けてくださ い。 → 5-10 ページ (キーレス プッシュスタートシステ ム)
 リモコンの 電池要交換 59R40440	消灯	なし	携帯リモコンの電池切れが近 いです。電池を交換してくだ さい。 → 9-10 ページ (携帯リモコ ンの電池交換)
 リモコンを 検知できません 59R40370  リモコンを スタートスイッチ に当てて下さい 59R40360	点滅	●ピー、 ピー ●5回 ●室内／ 車外 ブザー そのあとに ●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	携帯リモコンが車内にない、 またはリモコンの電池切れが 考えられます。リモコンを車 内にもどすか、リモコンをエ ンジンスイッチに当ててくだ さい。 → 5-13 ページ (携帯リモ コン車外持ち出し警告) → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステム の起動))

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 59R40670	点滅	●ピー、ピー ●室内ブザー	運転者がシートベルトを着用していません。安全な場所に停車して、ベルトを着用してください。 → 2-30 ページ (シートベルト警告ブザー)
 59R40680	点滅	●ピー、ピー ●室内ブザー	助手席の乗員がシートベルトを着用していません。ベルトを着用してください。 → 2-30 ページ (シートベルト警告ブザー)
 59R40450	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ESP® のシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-191 ページ (ESP® 装備車の取扱い)
 59R40460	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ヒルホールドコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-195 ページ (ヒルホールドコントロール)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 パーキング センサーを掃除 して下さい 59R41070	消灯	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	リヤパーキングセンサーが汚 れています。 → 5-154 ページ (リヤパー キングセンサー)
 83S04340	消灯	●ピッ・・・ ピッ・・・ ピッ・・・ または ピッ・・・ ピッ・・・ ピッ ●断続的 ●室内 ブザー	超音波センサーが障害物を検 知しています。 → 5-154 ページ (リヤパー キングセンサー)
 83S04350	消灯	●ピピピピ ピ ●断続的 ●室内 ブザー	
 83S04360	消灯	●ピーー ー ●連続 ●室内 ブザー	

スズキ セーフティ サポート 装備車

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 59R40470	消灯	●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	ふらつき警報が作動しています。 → 5-102ページ (ふらつき警報)
 59R40480	消灯	●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	車線逸脱警報が作動しています。 → 5-95ページ (車線逸脱警報機能)
 59R40490	消灯	●ピピッ ●1回 ●室内 ブザー	先行車発進お知らせ機能が作動しています。 → 5-103ページ (先行車発進お知らせ機能)
 59R40500	点滅	●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	誤発進抑制機能が作動しています。 → 5-93ページ (誤発進抑制機能)

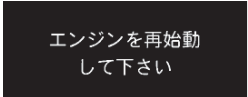
メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 システム 一時機能停止中 59R40510	点滅	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	ステレオカメラの機能が一時停止しています。 → 5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)
 システム 一時機能停止中 (カメラ温度範囲外) 59R40520			カメラ本体の高温により、ステレオカメラの機能が一時停止しています。 → 5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)
 システム 一時機能停止中 (カメラ視界不良) 59R40530			カメラの視界不良により、ステレオカメラの機能が一時停止しています。 → 5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)
 システム要点検 59R40540	点滅	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	ステレオカメラの異常が考えられます。エンジンを再始動してもメッセージが表示される場合、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。 → 5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)
 デフロスターを 最大風量で 使用してください (カメラ視界不良) 59R41040	消灯	なし	ステレオカメラがフロントガラスの曇りを検知しています。エアコンのデフロスタースイッチを使用して曇りを取り除いてください。 → 5-81ページ (ステレオカメラの一時停止・故障) → 7-23ページ (オートエアコン)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 誤発進抑制機能が 作動しています 59R41020	点滅	●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	後方誤発進抑制機能が作動しています。 → 5-150 ページ (後方誤発進抑制機能)
 システム 一時機能停止中 59R41050	点滅	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	超音波センサーの機能が一時停止しています。 → 5-142ページ (超音波センサーの一時停止・故障)
 システム要点検 59R41030	点滅	●ポーン ●1回 ●室内 ブザー	超音波センサーの異常が考えられます。エンジンを再始動してもメッセージが表示される場合、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。 → 5-142ページ (超音波センサーの一時停止・故障)
 53SJ0018	消灯	●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	前方衝突警報が作動しています。 → 5-90ページ (前方衝突警報ブレーキ)
		●ピピピ ピピ ●断続的 ●室内 ブザー	前方衝突被害軽減ブレーキアシストが作動しています。 → 5-90ページ (前方衝突被害軽減ブレーキアシスト)
		●ピーー ー ●連続 ●室内 ブザー	衝突被害軽減ブレーキ機能が作動しています。 → 5-91ページ (衝突被害軽減ブレーキ機能)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 ハンドルを 持ってください 83S04500	消灯	●ピピピ ピピ ●室内 ブザー	ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がありません。ハンドルを持って操作してください。 → 5-97ページ (車線逸脱抑制機能)
 LDPシステム 要点検 59R40640  LDPシステム 要点検 59R40650	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブ ザー	車線逸脱抑制機能の異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-97ページ (車線逸脱抑制機能)

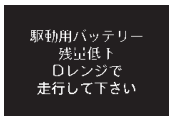
マイルドハイブリッド車

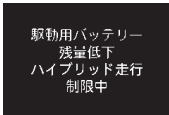
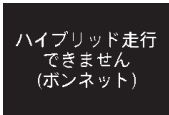
メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 アイドリング ストップが できません (ボンネット) 59R40550	消灯	なし	エンジン始動時ボンネットが完全に閉まっていなかった、またはエンジンスイッチを ON にしたあと、ボンネットの開閉をしたため、アイドリングストップができません。 → 5-39 ページ (エンジン自動停止中はこんなことに気をつけて) → 5-40ページ (スタンバイ条件)
 アイドリング ストップが できません 59R40560	消灯	なし	バッテリー内部温度が所定温度内にない、急な坂道、冷却水の温度が所定温度内にない、運転席ドアが開いている、または運転席シートベルトが外れているなどの理由によりアイドリングストップできません。 → 5-39 ページ (エンジン自動停止中はこんなことに気をつけて) → 5-40ページ (スタンバイ条件)
 アイドリング ストップが できません (エアコン) 59R41060	消灯	なし	空調の設定温度と車内温度の差が大きくなった、または冷暖房機能が十分でなくなったため、アイドリングストップできません。 → 5-40ページ (スタンバイ条件)
 アイドリング ストップが できません (充電中) 59R40570	消灯	なし	鉛バッテリーまたはリチウムイオンバッテリーを充電する必要があるため、アイドリングストップできません。 → 5-40ページ (スタンバイ条件)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 アイドリング ストップが できません (水温) 59R40580	消灯	なし	冷却水の温度が所定温度内にないため、アイドリングストップできません。 → 5-40ページ (スタンバイ条件)
 アイドリング ストップが できません (ハンドル) 59R40590	消灯	なし	ハンドル操作によりアイドリングストップできません。 → 5-41 ページ (エンジン自動停止の条件)
 アイドリング ストップが できません (ブレーキ) 59R40600	消灯	なし	ブレーキの踏み込みが弱いため、アイドリングストップできません。 → 5-41 ページ (エンジン自動停止の条件)
 エンジンを再始動 して下さい 52R31220	消灯	※2	自動停止中に次の状態になりました。エンジンを再始動してください。 ● ボンネットが開いたあと、完全に閉めた → 5-14ページ (エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動))

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 59R40610	消灯	• ピー • 1回 • 室内ブザー	次の状態のため、まもなくエンジンが再始動します。 • バッテリーの放電が進んだ • 時間経過 • 空調の設定温度と車内温度の差が大きくなった → 5-42 ページ (エンジン自動再始動の条件) また、エアコンによるアイドリングストップ時間の長さは設定により変更することができます。 → 4-25ページ (セッティングモード一覧)
 59R40620	消灯	※2	ブレーキ倍力装置の負圧低下、車両の転がり出し、運転席ドアが開いた、デフロスタースイッチを押した、または運転席シートベルトが外されたなどによりエンジンが再始動しました。 → 5-42 ページ (エンジン自動再始動の条件)

→ ※2 メッセージが表示される原因によりブザー音は異なります。**1-28 ページ**の「警告ブザーが鳴ったときは」または**5-39 ページ**の「エンジン自動停止中はこんなことに気をつけて」をお読みください。

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 ハイブリッド システム要点検 走行することが できません	点滅	●ピー、ピー、 ●約5秒間 ●室内ブザー	高電圧遮断機能が作動した、またはハイブリッドシステムに重大な故障が発生しています。ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
 ハイブリッド システム要点検 安全な場所に 停車して下さい	点滅	●ピピ ピッ、ピ ピピッ ●室内ブザー	ハイブリッドシステムに重大な故障が発生しています。ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。走行を続けた場合、お車の損傷や思わぬ事故につながるおそれがあります。このメッセージ表示から約50秒後にエンジンが停止します。
 ハイブリッド システム要点検	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	ハイブリッドシステムに故障が発生しています。ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。（※3）
 駆動用バッテリー 残量低下 Dレンジで 走行して下さい	点滅	●ポーン ●1回 ●室内ブザー	高電圧バッテリーの残量がありません。セレクトレバーの位置を  にして走行し、高電圧バッテリーを充電してください。（※3）

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 ハイブリッド システム高温 ハイブリッド走行 制限中	消灯	なし	駆動用モーターや高電圧バッテリーが高温となり、駆動用モーターの出力を制限しています。急な加速や減速を控えてください。（※3）
 駆動用バッテリー 残量低下 ハイブリッド走行 制限中	消灯	なし	高電圧バッテリーの残量が低下したため、駆動用モーターの出力を制限しています。セレクタレバーの位置を D にして走行し、高電圧バッテリーを充電してください。（※3）
 ハイブリッド走行 できません	消灯	なし	車が動いている状態で、ハイブリッドシステムの起動を行なったなどの理由により、システムが起動できずハイブリッド走行ができません。ハイブリッドシステムを再起動してください。（※3）
 ハイブリッド走行 できません (ボンネット)	消灯	なし	ハイブリッドシステムの起動時ボンネットが完全に閉まっていなかった、またはエンジンスイッチを ON にしたあと、ボンネットの開閉をしたため、ハイブリッド走行ができません。
 ハイブリッド走行 できません (低温)	消灯	なし	高電圧バッテリーの温度が低いため、ハイブリッドシステムを起動できません。高電圧バッテリーが温まった状態でハイブリッドシステムを再起動してください。なお、エンジンのみでの走行は可能です。（※3）

※3 クリープ機能が働かない場合があります。坂道での発進はパーキングブレーキを使用してください。

→ 5-73ページ（急な上り坂での発進）

警告灯・表示灯の見かた

次に示す警告灯・表示灯のメーター内の位置については、1-20ページをご覧ください。

警告灯



(1) ブレーキ警告灯

82K170

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。
 - ・ ブレーキ液が不足している
 - ・ パーキングブレーキをかけている
 - ・ ブレーキシステムに異常がある
- システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを **ON** にすると約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に一時的に点灯しても、そのあと消灯し再点灯しなければ正常です。

⚠ 警告

- 次のようなときはただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
 - ・ パーキングブレーキを完全に解除しても消灯しないときや、走行中に点灯したとき。ブレーキの効きが悪くなっていることがあります。ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
 - ・ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したままのとき。ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。ハンドルをしっかりと握り、ブレーキペダルを慎重に踏んで徐々にスピードを落とし、停車してください。
- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。また、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。
パーキングブレーキの解除忘れにご注意ください。
→ 5-47ページ（パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー）



(2) 前席シートベルト警告灯

80J221

運転者または助手席の乗員がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

また、エンジンをかけて（ハイブリッドシステムを起動して）走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときにシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。

- シートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場での点検を受けてください。
- シートに水や飲み物などをこぼさないように 気をつけてください。
→ **6-20ページ（飲み物などをこぼしたときは）**

🔊 アドバイス

- シートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーはシートベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK**（OFF）にするまで消灯しません。
- 助手席に荷物などを載せていると、乗員がいなくても、センサーが重量を検知して警告灯が点滅し警告ブザーが鳴る場合があります。
- 助手席にお子さまや小柄な大人が乗車したり、クッションを使用したりすると、センサーが感知せず正常に作動しない場合があります。
- 警告灯は運転席側・助手席側兼用です。
- シートベルト警告がインフォメーションディスプレイに表示されます。
→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、シートベルト警告がディスプレイにも表示されます
→ **5-158ページ（ヘッドアップディスプレイ）**

	(3) 後席シートベルト警告灯
--	--------------------------

83S01030

後席の乗員の有無にかかわらずシートベルトを着用していないと点灯します。エンジンをかけて走行を開始すると、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときから約 65 秒間点灯したあと消灯します。また、走行していないときに後席ドアを開けたときも点灯します。

- 次のような場合、後席シートベルト警告灯が約 65 秒間点滅するとともにシートベルト警告ブザーが約 35 秒間鳴り続けます。シートベルト警告ブザーが停止したあと約 30秒たつと後席シートベルト警告灯が点滅から点灯に切り替わります。
 - ・ 車速が約15 km/h以上になったあとに後席シートベルトをはずした場合
 - ・ 後席ドアを開かずに後席シートベルトをはずしたあとと車速が約 15 km/h 以上になった場合
- シートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠️ アドバイス

- 後席シートベルト警告灯は、インフォメーションディスプレイに表示されます。
- シートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーはシートベルトを着用しなくても、約35秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、後席シートベルト警告灯は点滅から点灯に切り替わったあと、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にするまで消灯しません。
- 後席シートベルト警告灯に表示される L は左側 (Left) を R は右側 (Right) を表しています。

	(4) SRSエアバッグ警告灯
---	--------------------------

80J111

- 次のような場合、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯します。
 - ・ SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーが作動
 - ・ SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常がある
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 6 秒間点灯したあと消灯します。

⚠ 警告

次のような場合、万一、衝突したときSRS エアバッグまたはシートベルトプリテンショナーが正常に作動せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

ただちに使用を止め、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

- エンジンスイッチを **ON** にしても点灯しない
- エンジンスイッチを **ON** にしたあと、約6秒間たっても消灯しない
- 運転中に点灯



80J225

(5) 燃料残量警告灯

4

- 燃料の残量が少なくなると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。すみやかに給油してください。
 - ・ 点灯すると、警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。また、そのまま給油しないしていると、エンジンスイッチを **ON** にすることに警告ブザーが鳴ります。
- システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - **4-23ページ (燃料計)**

🔧 アドバイス

- 給油後は、エンジンスイッチを **ON** にしてから正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯することがあります。
- 走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。
- 燃料残量警告がインフォメーションディスプレイに表示されます。
 - **4-38ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)**
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、燃料残量警告がディスプレイにも表示されます。
 - **5-158ページ (ヘッドアップディスプレイ)**



(6) ABS警告灯

80J127

ABS（アンチロックブレーキシステム）の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。点灯中はABSが作動しません。スズキサービス工場にて点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。

⚠ 警告

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。ハンドルをしっかり握り、ブレーキペダルを慎重に踏んで徐々にスピードを落とし、停車してください。

4

🔊 アドバイス

点灯中はABSは作動しませんが、通常のブレーキとして使用することができます。



(7) 水温警告灯(赤色)

65P30800

エンジン回転中に、エンジン冷却水温が高くなると、赤色に点滅または点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 2 秒間赤色に点灯したあと消灯します。（※）

※エンジン冷却水温が低いときは、赤色に点灯したあと青色に点灯します。

- 赤色に点滅または点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車してください。

→ **8-37ページ（オーバーヒートしたときは）**



(8) オートレベリング警告灯

80J217

LEDヘッドライト装備車

LEDヘッドライト装備車では、オートレベリング（自動光軸調整）システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 2 秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に点灯した場合は、安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。再びエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯すれば、そのまま使用できます。
消灯せず再び点灯する場合は、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場 で点検を受けてください。

4



(9) エンジン警告灯

80J222

- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点灯または点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯・点滅したときは、スズキサービス工場 で点検を受けてください。

⚠ 警告

点滅したときは、すみやかに停車しエンジンを止めてください。触媒装置が溶損するおそれがありますので、次のことに注意してください。

- 枯れ草などの燃えやすいものがない安全な場所に停車する
- やむをえず走行する場合はアクセルペダルを大きく踏み込む走行をしないで、低速で走行する



80J408

(10) パワーステアリング警告灯

電動パワーステアリングシステムに異常があると、エンジン回転中（ハイブリッド車は、READY 表示灯が点灯中）に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかる（ハイブリッドシステムが起動する）と消灯します。

注 記

電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止し、ハンドル操作が重くなります。通常より大きな力で操作することは可能ですが、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

ⓘ アドバイス

- 駐車するときや停車中に、ハンドル操作を繰り返したり、ハンドルをいっぱいにまわした状態で長く保持したりすると、ハンドル操作が徐々に重くなる場合があります。これはシステムの過熱防止のための保護機能であり異常ではありません。しばらくハンドル操作を控えるとシステムの温度が下がり操作力はもとにもどりますが、このようなハンドル操作を繰り返すと故障の原因となります。
- すばやいハンドル操作を行なうと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえることがあります。異常ではありません。



80J223

(11)油圧警告灯

エンジン回転中（ハイブリッド車は、READY 表示灯が点灯中）に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかる（ハイブリッドシステムが起動する）と消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベルゲージで点検してください。点検方法は、「メンテナンスノート」を参照してください。
- エンジン回転中（ハイブリッド車は、READY 表示灯が点灯中）に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジン（ハイブリッドシステム）を止めてスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

注 記

点灯したまま走行を続けると、エンジンが破損するおそれがあります。
油圧警告灯が点灯したままの走行は続けしないでください。



80J226

(12)充電警告灯

充電系統に異常があると、エンジン回転中（ハイブリッド車は、READY 表示灯が点灯中）に点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかる（ハイブリッドシステムが起動する）と消灯します。
- エンジン回転中（ハイブリッド車は、READY 表示灯が点灯中）に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、鉛バッテリー保護のためエンジン（ハイブリッドシステム）を止めて、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。



80J219

(13) トランスミッション警告灯

ハイブリッド車以外

- CVT のシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 運転中に、CVTフルードの温度が異常に高くなると点滅します。すみやかに安全な場所に停車してください。しばらくするとCVTフルードの温度が下がり、警告灯が消灯します。
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 2 秒間点灯したあと消灯します。

ハイブリッド車

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 2 秒間点灯したあと消灯します。
 - AGS (※) のシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - ・ 点灯しているとき次のようになることがあります。
 - ・ セレクトレバーを操作しても変速できない
 - ・ 車速が10 km/h以下になると、自動でN（ニュートラル）になり、メーター内のセレクトレバー位置表示がNで点滅し、警告ブザーが鳴る
 - ・ 停車時にエンジンが停止する
 - ・ ハイブリッドシステムが起動できない
 - 次のような操作をすると、トランスミッションに負荷がかかってトランスミッションが高温になります。警告灯が点滅するとともに、警告ブザーが鳴ります。安全な場所に停車して、しばらくハイブリッドシステムを停止し、トランスミッションを冷やしてください。再度、エンジンスイッチを **ON** にして、警告灯の点滅と警告ブザーが止まっていることを確認してから走行してください。
 - ・ 上り坂で発進と停止を繰り返している
 - ・ 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、クリーブ機能を利用して停車している
 - ・ ブレーキペダルを踏みながらアクセルペダルを踏み続けている
 - ・ パーキングブレーキをかけた状態でアクセルペダルを踏み続けている
- 1-28ページ（警告ブザーが鳴ったときは）

※AGS とは、Auto Gear Shift（オートギヤシフト）の略です。5 速マニュアルトランスミッションに、クラッチおよびシフト操作を自動で行なう電動油圧方式アクチュエーターを搭載したスズキのオートメイトドマニュアルトランスミッション（Automated Manual Transmission：AMT）です。



(14)イモビライザー警告灯

80J216

車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯することがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- イモビライザー／キーレスプッシュスタートシステムの異常が考えられます。鉛バッテリー電圧が正常な状況での操作でこの表示がされたときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ **5-8ページ（イモビライザーシステム）**



(15)半ドア警告灯

82K274

4

いずれかのドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

- 点灯したままにしていると、走行するごとに警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。

⚠ 警告

ドアが完全に閉まっていない半ドア状態のときは、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

半ドア警告灯が点灯したまま走行しないでください。

🔧 アドバイス

鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。
（バッテリーセーバー機能）

- エンジンスイッチが **LOCK**（OFF）の位置
- 点灯したまま15分が経過
- 半ドア警告がインフォメーションディスプレイに表示されます。
→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、半ドア警告がディスプレイにも表示されます
→ **5-158ページ（ヘッドアップディスプレイ）**



81P30700

(16)LEDヘッドライト警告灯

LEDヘッドライト装備車

LEDヘッドライトに異常があると、エンジンスイッチが **ON** でライトスイッチを **III** または **AUTO** の位置にしたときに点灯します。点灯した場合、ライトスイッチを **III** の位置に操作しても、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にするまで点灯し続けます。

→ **3-37ページ (ライトスイッチ)**

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 2 秒間点灯したあと消灯します。
- ライトスイッチが **AUTO** 位置であっても、日中など明るい状態ではヘッドライトが点灯しないため、警告灯は点灯しません。
- エンジン回転中に点灯した場合は、安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。



63R30580

(17)ハイビームアシスト警告灯

スズキ セーフティ サポート装備車

ハイビームアシストのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときにオレンジ色に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。



54P000233

(18) アダプティブクルーズコントロール警告灯

タイプ別装備

アダプティブクルーズコントロールシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ **5-108ページ (アダプティブクルーズコントロール)**

→ **5-121ページ (アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付))**



59S010030

(19) 車線逸脱抑制機能警告灯

タイプ別装備

- 車線逸脱抑制機能が作動しています。
→ **5-97ページ（車線逸脱抑制機能）**
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに数秒間点灯したあと消灯します。
点灯しない場合、車線逸脱抑制機能の作動を確認できません。車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチを操作して車線逸脱抑制機能を停止させ、スズキサービス工場で点検を受けてください。
→ **5-99ページ（車線逸脱抑制機能ON/OFF スイッチ）**
- 車線逸脱抑制機能の異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠️ アドバイス

- 車線逸脱抑制機能が異常のときは、車線逸脱抑制機能警告がインフォメーションディスプレイに表示されます。
→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**



76S00008

(20) ブレーキリクエストインジケーター

ハイブリッド車

ブレーキペダルを踏まずに次のような操作をすると、インジケーターが点灯し、ブレーキペダルを踏んで操作する必要があることをお知らせします。

- 車両が前進している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを **[D]**、**[M]**、**[N]** から **[R]** へ操作した、または車両が後退している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを **[R]**、**[N]** から **[D]** または **[M]** へ操作した
 - ・ 警告ブザーが約1秒間鳴り、セレクトレバー位置表示が点滅します。ブレーキペダルを踏んで完全に停車してから、セレクトレバーの操作をやり直してください。



83S01240

(21)ハイブリッドシステム警告灯

ハイブリッド車

ハイブリッドシステムや高電圧システム、ブレーキへの負圧供給システムに異常があると点灯または点滅します。点灯または点滅した場合はとくに慎重に運転し、すみやかにお近くのスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

- ハイブリッドシステム警告灯が点灯すると、一部の電装品の電源が停止することがあります。

電源が停止すると思わぬ事故につながるおそれがあるため、次のことにご注意ください。

- ・ この電源につながったETC車載器あるいはDSRC車載器が停止して機能しなくなります。
- ・ 有料道路料金所のETCレーン通過の際にゲートが開かないため、ETCレーンは使用しないでください。
- ・ ナビゲーションやオーディオなどが停止して機能しなくなります。
- ・ ドライブレコーダー、バックアイカメラを装着している場合、電源が停止して機能しなくなります。

- ハイブリッドシステム警告灯が点灯すると、クリーブ機能が作動しない場合があります。坂道での発進はパーキングブレーキを使用してください。

→ **5-73ページ（急な上り坂での発進）**

- インテグレートッドスタータージェネレーターに故障が発生している場合、ハイブリッドシステム警告灯は点灯します。
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。



76S00007

(22)車両接近通報装置警告灯

ハイブリッド車

- 車両接近通報装置に異常があると、警告灯が点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。



80P0382

(23) マスターウォーニング

- メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージがあるとき、同時に点滅する場合があります。
→ **4-33ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、数秒間点灯したあと消灯します。

表示灯



72M00170

(24) 方向指示器表示灯

- 方向指示器／非常点滅表示灯を作動させると点滅します。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。
→ 9-24ページ（電球を交換するときは）

4



80J212

(25) ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯

- ヘッドライトが上向きのときに点灯します。
→ 3-37ページ（ライトスイッチ）



82K096

(26) ライト点灯表示灯

- ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。
→ 3-37ページ（ライトスイッチ）



74P30830

(27) フロントフォグランプ点灯表示灯

タイプ別装備

- フロントフォグランプが点灯している間、点灯します。
→ 3-40ページ（フォグランプスイッチ）



(28) Sモード表示灯

65P30920

タイプ別装備

SモードスイッチがONのときに点灯します。

→ 5-54ページ (Sモードスイッチ)



(29)ESP® OFF表示灯

57L30045

ESP® OFFスイッチを長押しすると点灯します。

→ 5-191ページ (ESP® 装備車の取扱い)



(30)ESP® 作動表示灯

79K019

- トラクションコントロールまたはスタビリティコントロールが作動すると、小刻みに点滅します。
- ESP® のシステムに異常があると点灯します。
→ 5-191ページ (ESP® 装備車の取扱い)



(31)低水温表示灯(青色)

65P30800

エンジンスイッチが **ON** のときに、エンジン冷却水温が低いと青色に点灯し、エンジンが暖まると消灯します。

- 暖機を十分にしても青色に点灯したままのときは、センサーの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。



72M00032

(32) アイドリングストップ表示灯

マイルドハイブリッド車

走行中に、エンジンが自動停止する条件（スタンバイ条件）をみたすと点灯します。

→ **5-35ページ（アイドリングストップシステム）**

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。

🔊 アドバイス

インフォメーションディスプレイにアニメーションが表示されます。

→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**



62R0352

(33) アイドリングストップシステムOFF表示灯

マイルドハイブリッド車

- アイドリングストップシステムOFFスイッチを押すと点灯します。
→ **5-43ページ（アイドリングストップシステムOFFスイッチ）**
- 次のような状況になると点滅します。
 - ・ アイドリングストップシステムに異常があるとき
 - ・ リチウムイオンバッテリーに異常があるとき
 - ・ 鉛バッテリーが交換時期であるとき→ **5-35ページ（アイドリングストップシステム）**
- アイドリングストップシステムOFF表示灯が点滅したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。



62R0316

(34)デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFF表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

- デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチを長押しすると点灯します。
→ **5-135ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ)**
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 3 秒間点灯したあと消灯します。



72M20304

(35)デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

- デュアルカメラブレーキサポートまたは誤発進抑制機能が作動中に点滅します。
→ **5-88ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))**
→ **5-93ページ (誤発進抑制機能)**
- ステレオカメラのシステムが一時停止のときに点灯します。同時にマスターウォーニングが点滅します。
- 次のような電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - ・デュアルカメラブレーキサポート (DCBS)
→ **5-88ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))**
 - ・誤発進抑制機能
→ **5-93ページ (誤発進抑制機能)**
 - ・先行車発進お知らせ機能
→ **5-103ページ (先行車発進お知らせ機能)**
 - ・標識認識機能
→ **5-136ページ (標識認識機能)**
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 6 秒間点灯したあと消灯します。

⚠️ アドバイス

- エンジンスイッチを **ON** にしたときの初期点灯が、ほかの表示灯より長いですが異常ではありません。
- 鉛バッテリーの性能が弱っている場合、エンジンスイッチを **ON** にしたときの初期点灯が、一度消灯した後に再度約6秒間点灯することがあります。



79R10130

(36) 後退時ブレーキサポート作動表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

- 後退時ブレーキサポートまたは後方誤発進抑制機能が作動中に点滅します。
 - 5-147ページ（後退時ブレーキサポート）
 - 5-150ページ（後方誤発進抑制機能）
 - 後退時ブレーキサポート、後方誤発進抑制機能、リヤパーキングセンサーのシステムが一時停止のときに点灯します。同時にマスターウォーニングが点滅します。超音波センサーが一時停止のときも点灯し、マスターウォーニングも点滅します。
 - 5-141ページ（超音波センサー）
 - 次のような超音波センサーによる電子制御システムに異常があると点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - ・ 後退時ブレーキサポート
 - 5-147ページ（後退時ブレーキサポート）
 - ・ 後方誤発進抑制機能
 - 5-150ページ（後方誤発進抑制機能）
 - ・ リヤパーキングセンサー
 - 5-154ページ（リヤパーキングセンサー）
- また、超音波センサーが故障のときも点灯します。
- ・ 超音波センサー
 - 5-141ページ（超音波センサー）
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 4 秒間点灯したあと消灯します。



76R0197

(37) 車線逸脱警報OFF表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

- 車線逸脱警報OFFスイッチを長押しすると点灯します。
 - 5-136ページ（車線逸脱警報OFFスイッチ）
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 3 秒間点灯したあと消灯します。



63R31060

(38)車線逸脱警報作動表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

- 車線逸脱警報またはふらつき警報が作動中に点滅します。
 - **5-95ページ（車線逸脱警報機能）**
 - **5-102ページ（ふらつき警報）**
- ステレオカメラのシステムが一時停止のときに点灯します。同時にマスターウォーニングが点滅します。
- 次のような電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
 - ・ 車線逸脱警報
 - **5-95ページ（車線逸脱警報機能）**
 - ・ ふらつき警報
 - **5-102ページ（ふらつき警報）**
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約 6 秒間点灯したあと消灯します。



82K269

(39)セキュリティアラームインジケーター

- セキュリティアラームが＜警報モード（D モード）＞のときに、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、小刻みに点滅して約 20 秒後にセキュリティアラームがセットされます。
- 駐車時に警報が作動していると、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 8 秒間小刻みに点滅します。
 - **3-28ページ（セキュリティアラーム（警報装置））**
- 車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに約15秒間、1秒間隔で点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。



63R30580

(40) ハイビームアシスト作動表示灯

スズキ セーフティ サポート 装備車

ハイビームアシストのシステムが作動すると緑色に点灯します。

→ 5-104ページ (ハイビームアシスト)



59S010120

(41) リヤパーキングセンサー作動表示灯

- リヤパーキングセンサーが作動中に障害物を検知すると点滅します。
→ 5-154ページ (リヤパーキングセンサー)
- リヤパーキングセンサーのシステムが一時停止のときに点灯します。
→ 5-141ページ (超音波センサー)
- リヤパーキングセンサーに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、数秒間点灯したあと消灯します。



81Ph30070

(42) ECOモード表示灯

ハイブリッド車

ECOモードがONのとき点灯します。

→ 3-47ページ (ECOモードスイッチ)



(43)EV表示灯

81Ph30060

ハイブリッド車

EV走行中などエンジンが自動停止しているとき点灯します。



(44)READY表示灯

81Ph30050

ハイブリッド車

4

次の状態でエンジンスイッチを押すとハイブリッドシステムが起動し、走行可能な状態になると点灯します。

- セレクトレバーが **P** の位置
- ブレーキペダルを踏んでいる

警告

走行中に READY 表示灯が消灯すると次の状態になります。安全な場所に停車し、エンジンスイッチの操作をやり直してください。

- パワーステアリング装置がはたらかないため、ハンドルが重くなる
- ABSが作動しない（ABS警告灯が同時に点灯したとき）

エンジンスイッチの操作をやり直しても READY 表示灯が再点灯しない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

5. 運転するときは

● 出発の前に	
出発の前に（お車の確認）	5-2
● エンジン始動・停止	
（ハイブリッドシステム起動・停止）	
エンジンスイッチの各位置のはたらき	5-6
イモビライザーシステム	5-8
キーレスプッシュスタートシステム	5-10
エンジンのかけかた	
（ハイブリッドシステムの起動）	5-14
エンジン（ハイブリッドシステム）の	
止めかた	5-17
● ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステム	5-19
● 車両接近通報装置	
車両接近通報装置	5-32
● マイルドハイブリッド	
マイルドハイブリッド	5-33
● アイドリングストップシステム	
アイドリングストップシステム	5-35
エコクール（蓄冷エバポレーター）	5-44
アイドリングストップ空調設定	5-45
● パーキングブレーキ	
パーキングブレーキの操作	5-45
駐車するとき	5-47
● オートマチック車	
セレクトレバーの操作	5-52
オートマチック車を運転するとき	5-55
オートマチック車の特性	5-57
オートマチック車の運転のしかた	5-58

● オートギヤシフト車

セレクトレバーの操作	5-63
オートギヤシフト車の特性	5-68
オートギヤシフト車を運転するとき	5-69
オートギヤシフト車の運転のしかた	5-72

● スズキ セーフティ サポート

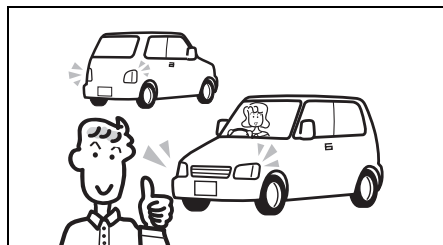
スズキ セーフティ サポート	5-77
前方	5-78
ステレオカメラ	5-78
デュアルカメラブレーキサポート (DCBS)	5-88
誤発進抑制機能	5-93
車線逸脱警報機能	5-95
車線逸脱抑制機能	5-97
ふらつき警報	5-102
先行車発進お知らせ機能	5-103
ハイビームアシスト	5-104
アダプティブクルーズコントロール	5-108
アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付)	5-121
デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ	5-135
車線逸脱警報OFFスイッチ	5-136
標識認識機能	5-136
後方	5-141
超音波センサー	5-141
後退時ブレーキサポート	5-147
後方誤発進抑制機能	5-150
リヤパーキングセンサー	5-154
リヤパーキングセンサブザー OFFスイッチ	5-157
ヘッドアップディスプレイ	5-158
全方位モニター	5-168

● ESP®

ESP® 装備車の取扱い	5-191
ヒルホールドコントロール	5-195
ABS装備車の取扱い	5-196

出発の前に（お車の確認）

日常点検を確実に



64L20180

車の走行距離、使用状態から判断した適切な時期に実施してください。

→ メンテナンスノート（日常点検）

5

こんな症状に気づいたときは



80J009

⚠ 注意

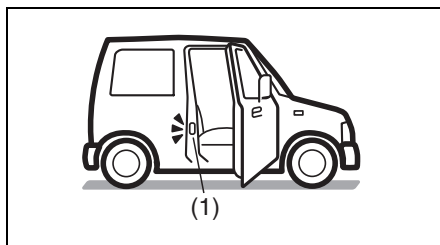
次のような場合、そのまま使用を続けると故障の原因や思わぬ事故につながるおそれがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- 地面に油や液の漏れたあとが残っている
- ブレーキ液が不足している
- いつもと違うにおい、音、振動がある
- ハンドルやブレーキを操作したときの感じがいつもと違う

タイヤの空気圧をチェック

- 定期的に点検・調整してください。この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」（1）で確認できます。

→ メンテナンスノート（日常点検）

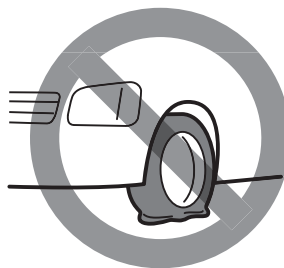


70K115

- 空気圧が不足したまま走行すると、タイヤの両端が摩耗する原因となります。また、燃費が悪くなります。

⚠ 警告

- 空気圧が低いまま走行すると、タイヤがバースト（破裂）して思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が極端に低いまま走行しないでください。



69RHS173

警告

- 指定空気圧を守らないと車の性能が十分に発揮できず、次のようなことが起きるおそれがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因となったりするおそれがあります。
タイヤの空気圧は指定空気圧に調整してください。

- ・ 走行安定性が悪化する
- ・ ブレーキをかけたときの制動距離が伸びる
- ・ 正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、次の機能が正常に作動しなくなる

-ABS

- エマージェンシーストップシグナル (ESS)

-ESP®

- デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) (タイプ別装備)

- 誤発進抑制機能

(タイプ別装備)

- 車線逸脱抑制機能

(タイプ別装備)

- アダプティブクルーズコントロール (タイプ別装備)

- アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付)

(タイプ別装備)

- 後退時ブレーキサポート

(タイプ別装備)

- 後方誤発進抑制機能

(タイプ別装備)

注記

4WD 車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。
タイヤの空気圧は指定空気圧に調整してください。

バッテリーを点検して

この車は、次のバッテリーを搭載しています。

●鉛バッテリー

車の電源供給に使用されています。

●リチウムイオンバッテリー (マイルドハイブリッド車またはハイブリッド車)

車の電装品に電気を供給するために使用されています。

→ 5-33ページ

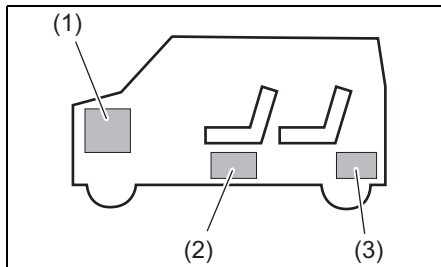
(マイルドハイブリッド)

●高電圧バッテリー (ハイブリッド車)

駆動用モーターを駆動するために使用されています。

→ 5-19ページ

(ハイブリッドシステム)



81Ph20010

(1) 鉛バッテリー

(2) リチウムイオンバッテリー (マイルドハイブリッド車またはハイブリッド車)

(3) 高電圧バッテリー (ハイブリッド車)

各バッテリーについて、次の「鉛バッテリー」、「リチウムイオンバッテリー」および「高電圧バッテリー」をお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

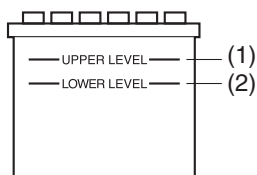
- 鉛バッテリー、リチウムイオンバッテリーおよび高電圧バッテリーは少しずつ放電します。バッテリーあがりを防ぐためには、1 か月に一度は連続して30分以上走行して充電する必要があります。

■ 鉛バッテリー

鉛バッテリーの液面を点検する

液面が下限（2）より下にあるときは、バッテリー補充液を上限（1）まで補充してください。バッテリー液が不足すると、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

→ メンテナンスノート（日常点検）



80J1267

⚠ 警告

- バッテリー液が不足すると、発熱して爆発のおそれがあります。
バッテリー液量が下限以下のまま使用または充電しないでください。
- バッテリー端子にゆるみがあると、火災や故障の原因となります。
バッテリー端子を外して再び接続するときは、確実に締め付けてください。

注 記

マイルドハイブリッド車

または ハイブリッド車

この車は、高性能な専用の鉛バッテリーを使用していますので、次のことをお守りください。守らないとアイドリングストップシステム（ハイブリッドシステム）が正常に作動しなくなったり、バッテリーの寿命が短くなったりするおそれがあります。

- バッテリーを交換するときは、指定のバッテリーを使用する（指定外のものを使用しない）

→ 10-2ページ

（サービスデータ）

- バッテリー端子から電気製品の電源をとらない

■ リチウムイオンバッテリー

マイルドハイブリッド車 またはハイブリッド車

マイルドハイブリッド車またはハイブリッド車用のバッテリーで、助手席下（シートアンダーボックス下）にあります。

- リチウムイオンバッテリーは点検不要です。ただし、バッテリーは少しずつ放電します。バッテリーあがりを防ぐためには、1か月に一度は連続して30分以上走行して充電する必要があります。
- リチウムイオンバッテリーの交換または廃棄については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠ 警告

リチウムイオンバッテリーの取扱いを誤ると、火災や感電などを起こしたり、故障の原因となったりするおそれがあるため、次のことをお守りください。

- 取り外したり分解したりしない
- 水などで濡らさない
- 強い衝撃をあたえない
- 上に乗ったり、荷物を載せたりしない
- バッテリー端子を外したり、端子から電気製品の電源をとったりしない

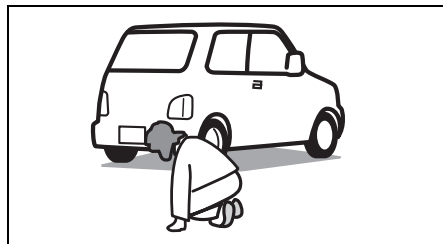
■ 高電圧バッテリー

→ 5-27ページ

(高電圧バッテリー)

排気管も点検

排気管に穴やひび割れがないか、ときどき点検してください。



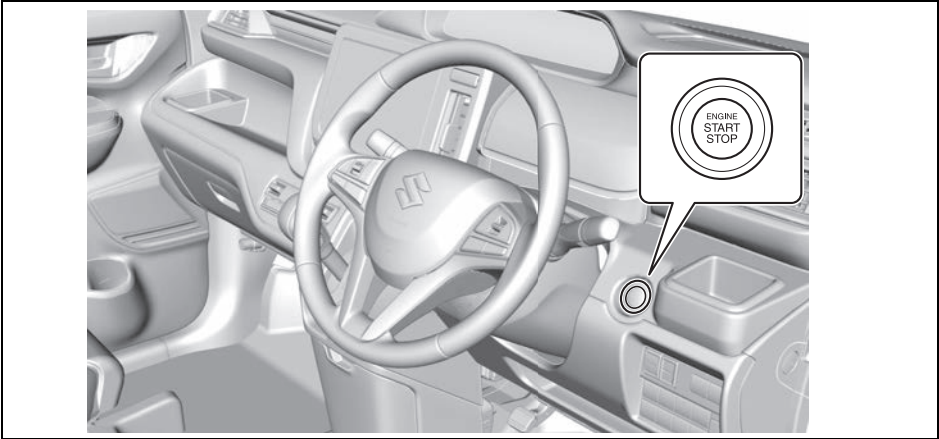
80J011

⚠ 警告

排気管に漏れがあると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒のおそれがあります。異常を感じたときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

エンジンスイッチの各位置のはたらき

● 下図は代表例です。お車のタイプにより異なります。



83S05011

5

● エンジンを始動する場合は、5-14ページの「エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動）」をお読みください。

エンジンスイッチ の位置（※）	エンジンの状態	はたらき
LOCK （OFF）	停止	駐車するときの位置です。エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどして、いずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
ACC	停止	エンジンをかけず（ハイブリッドシステムを起動せず）にドアミラーやオーディオまたはナビゲーション、アクセサリソケットなどの電装品を使用するときの位置です。
ON	停止	エンジンをかけず（ハイブリッドシステムを起動せず）にパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーターが点灯します。
	回転中	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。

エンジンスイッチ の位置（※）	エンジンの状態	はたらき
START	始動	● ハイブリッド車以外 エンジンを始動するときの位置です。 → 5-14 ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動）） ● ハイブリッド車 携帯リモコンを所持してセレクトレバーを P に入れ、ブレーキペダルを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に起動します。 → 5-14 ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））

※エンジンスイッチ位置の切替えについては、5-10 ページの「キーレスプッシュスタートシステム」をお読みください。

- エンジンスイッチの位置によって、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。詳しくは4-33ページの「マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ」をご覧ください。

注 記

エンジン停止中（ハイブリッドシステムを停止中）に、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたまま長時間ナビゲーション、またはオーディオなどを使用すると、鉛バッテリーあがりの原因となります。

エンジンを止めている（ハイブリッドシステムを停止している）ときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたままにしないでください。

⚠️ アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) から **ACC** または **ON** にしたときに解除されます。
- 強い電波やノイズの影響を受けると、マルチインフォメーションディスプレイ内にメッセージが表示され、電源の切替えやエンジンの始動（ハイブリッドシステムの起動）ができない場合があります。

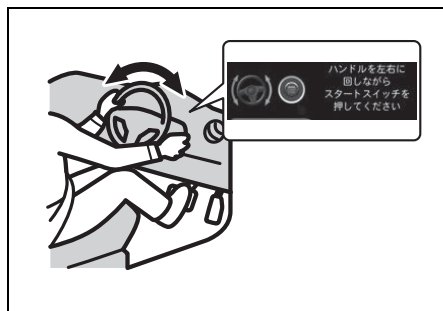
● **ハイブリッド車**

高電圧バッテリーは、エンジンが回転していても停車状態で放置すると、バッテリーを消費します。

高電圧バッテリーの充電が少なくなると、高電圧システムを停止しバッテリーの消費を抑えます。そのため、一時的にEV走行ができなくなります。復帰するには、走行して高電圧バッテリーを充電させる必要があります。

ハンドルロックが解除できないときは

ハンドルロック未解除警告がインフォメーションディスプレイに表示され、エンジンの始動（ハイブリッドシステムの起動）ができません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。

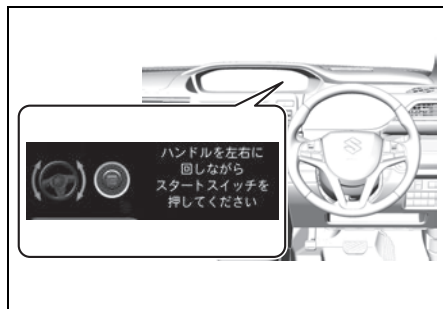


59R50020

■ ハンドルロック未解除警告

エンジンスイッチが **ON** のときに、ハンドルロックが未解除の場合、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

→ 4-39 ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）



83S05031

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムは盗難防止のため、リモコンキー（携帯リモコン）が電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコンキー（携帯リモコン）以外ではエンジンを始動（ハイブリッドシステムを起動）できないようにするシステムです。

- エンジンの始動（ハイブリッドシステムの起動）が可能な場合は、携帯リモコンを所持してエンジンスイッチを **ON** にすると、イモビライザーシステムが解除され、メーター内のイモビライザー警告灯が約 2 秒間点灯したあと消灯します。
- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にすると、イモビライザーシステムが作動します。

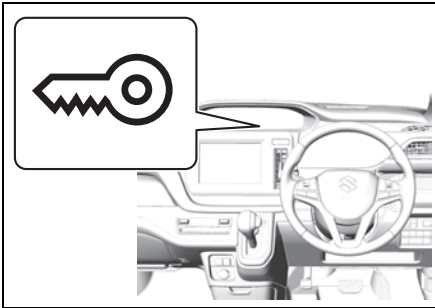
注 記

イモビライザーシステムを改造したり取り外したりすると、システムが正常に作動しないおそれがあります。イモビライザーシステムの改造や取り外しをしないでください。

アドバイス

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

イモビライザー警告灯



83S05021

メーターパネル内にあります。

→ 1-20ページ (警告灯)

- イモビライザーシステムまたはキーレスブッシュスタートシステムの異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ 4-61ページ

(イモビライザー警告灯)

- 点滅または約 5 秒間点灯すると、エンジンがかからない (ハイブリッドシステムが起動しない) 場合があります。携帯リモコンの場所を確認し、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから、操作をやり直してください。

→ 5-16 ページ ▲ (マスターウォーニング) が点滅してエンジンがかからないときは)

- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。

→ 5-13ページ

(携帯リモコン車外持ち出し警告)

アドバイス

イモビライザー警告灯が点灯または点滅すると、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。

→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

キーレスプッシュスタートシステム

所持している携帯リモコンが、インパネの上や荷室などを除く車内の作動範囲に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。

→ 5-14ページ

（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））

→ 5-11ページ

（電源の切替えのしかた）

また、そのほかに次の機能があります。

● リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠

→ 3-13ページ（携帯リモコン）

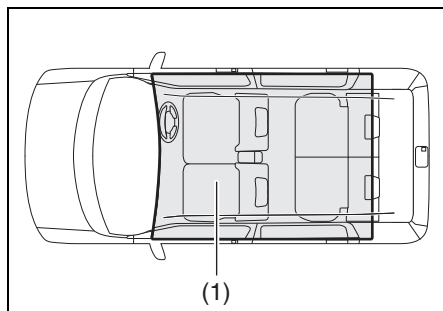
● キーレスエントリー

→ 3-11 ページ（キーレスエントリー）

● イモビライザー（車両盗難防止装置）

→ 5-8ページ

（イモビライザーシステム）



81M40230

(1) 車内の作動範囲

アドバイス

● 車内の作動範囲に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動（ハイブリッドシステム起動）や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。

・ 携帯リモコンの電池が消耗している

・ 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている

・ 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている

・ 携帯リモコンが奥まったところや収納スペースなどにある

→ 7-14ページ

（ドリンクホルダー）

→ 7-16ページ

（インパネ収納スペース）

→ 7-39ページ

（ドアポケット）

・ 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床、天井付近や荷室にある

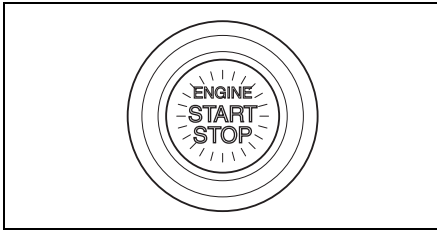
● 車内の作動範囲に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動（ハイブリッドシステム起動）や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。

・ 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている

・ 携帯リモコンがインパネの上にある

エンジンスイッチ照明

- 運転席ドアを開けると点灯します。運転席ドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。
- ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。ライトを消すと消灯します。



82K253

⚠️ アドバイス

鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）

- ヘッドライトや車幅灯が消灯
- 運転席ドアを開けたまま約 15 分が経過

電源の切替えのしかた

エンジンをかけず（ハイブリッドシステムを起動せず）に電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切替えます。

なお、この切替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

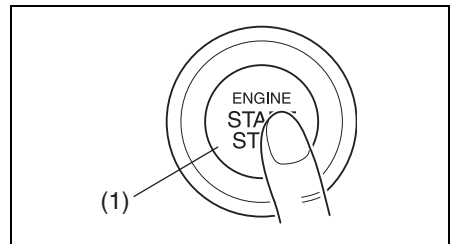
⚠️ アドバイス

電源の切替え時、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

→ **4-34ページ**

（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）

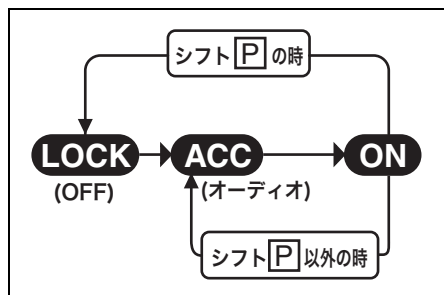
- 1 携帯リモコンを所持して運転席に座ります。
- 2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。



82K254

エンジン始動・停止（ハイブリッドシステム起動・停止）

- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。



70K130

⚠️ アドバイス

- セレクトレバーが **P** 以外に入っていると、**LOCK** (OFF) にはもどけません。
- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。

→ **5-18 ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**

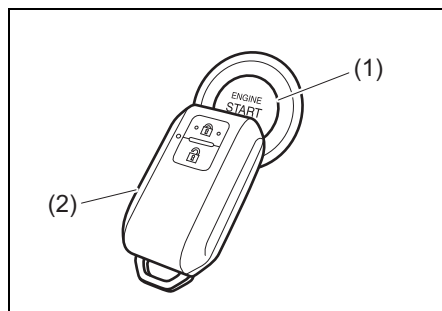
■ ⚠️（マスターウォーニング）が点滅して電源が切り替わらないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」（5-10 ページ参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切替えてください。

- 1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。

- 2 メーター内の ⚠️（マスターウォーニング）が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン(2)の先端(ロックスイッチ側)をエンジンスイッチ(1)に約2秒間当てます。

- ⚠️（マスターウォーニング）の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。



※前記の手順を行っても切り替わらないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

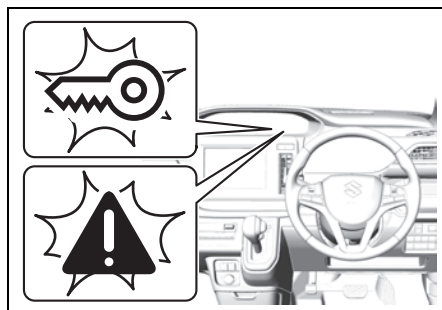
⚠️ アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
 - **3-15ページ（携帯リモコン電池消耗警告）**
 - **9-10ページ（携帯リモコンの電池交換）**

携帯リモコン車外持ち出し警告

エンジン回転中（ハイブリッドシステム起動中）やエンジンスイッチを操作するときに携帯リモコンが検知されないと次のもので警告します。

- イモビライザー警告灯
- 室内／車外ブザー
 - 1-28ページ
(警告ブザーが鳴ったときは)
- マスターウォーニング
 - 4-33ページ
(マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ)
- メッセージ
 - 4-34ページ
(マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)



83S05041

警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンを車内にもどしてください。

- 警告の作動中は、エンジン（ハイブリッドシステム）の再始動ができません。また、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにもメッセージが表示されます。

→ 4-34ページ
(マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

- イモビライザー警告灯およびマスターウォーニングの点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから再操作してください。

アドバイス

携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。

エンジンのかけかた （ハイブリッドシステムの起動）

2-69 ページの「エンジンをかける（ハイブリッドシステムを起動する）とき」もあわせてお読みください。

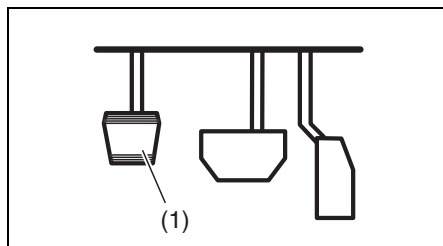
ハイブリッド車は、エンジンがかかったあと、ハイブリッドシステムが起動してREADY表示灯が点灯します。READY表示灯が点灯すると走行することができます。

🔊アドバイス

- ヘッドライトやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。

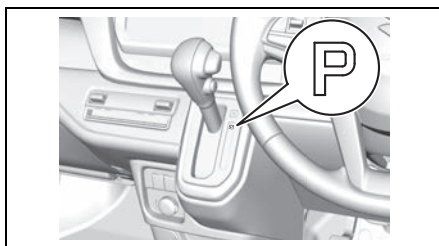
→ 5-8 ページ（ハンドルロックが解除できないときは）

- 1** パーキングブレーキ（1）がしっかりかかっていることを確認します。



81M20050

- 2** セレクトレバーが **P** に入っていることを確認します。

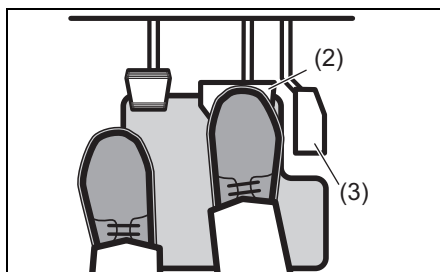


83S05050

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

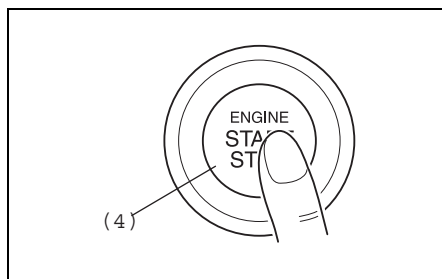
- 3** 右足でブレーキペダル（2）をしっかりと踏み続けます。

- アクセルペダル（3）は踏まないでください。



81M40590

- 4** メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「スタートスイッチを押して下さい」が表示されたらエンジンスイッチ (4) を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。



76R0171

ハイブリッド車

- メーター内の READY 表示灯が点灯するとハイブリッドシステムは作動しています。



83SR5160

- エンジンがかからなくても、スターターは約12秒で自動的に停止します。この場合は、一度エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどし、再度エンジンをかけて下さい。
- システムに異常があると、エンジンスイッチを押しても自動でエンジンがかからない場合があります。スターターがまわらない、またはすぐに停止してエンジンがかからない場合は、次の手順でエンジンをかけてください。
 - エンジンスイッチを **ON** の状態にします。
 - 5-14~5-15ページの「エンジンのかけかた (ハイブリッドシステムの起動)」の手順 **1** ~ **4** を行います。
 - エンジンがかかるまでエンジンスイッチを押し続けます。エンジンがかかったら、すみやかにエンジンスイッチから指を離します。

5

注 記

鉛バッテリーおよびスターター保護のため、エンジンがかからないときは、一度 **LOCK** (OFF) にもどし、30秒以上待ってから再びかけてください。前記の手順を数回繰り返してもエンジンがかからない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

■ ⚠（マスターウォーニング） が点滅してエンジンがかからないときは

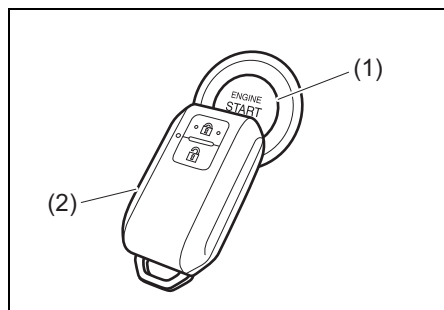
携帯リモコンが「車内の作動範囲」（5-10ページ参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行ってください。

1 セレクトレバーが **P** に入っていることを再確認し、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。

2 メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「**ON** スタートスイッチを押して下さい」が表示されたらエンジンスイッチ（1）を押します。

3 メーター内の ⚠（マスターウォーニング）が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン（2）の先端（ロックスイッチ側）をエンジンスイッチ（1）に約 2 秒間当てます。

- ⚠（マスターウォーニング）の点滅中に、イモビライザー警告灯が約 5 秒間点灯します。



63R40050

※前記の手順を行ってもエンジンがかからないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

🔧 アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を 1 回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
 - 3-15 ページ
(携帯リモコン電池消耗警告)
 - 9-10 ページ
(携帯リモコンの電池交換)

エンジン（ハイブリッドシステム）の止めかた

エンジン（ハイブリッドシステム）を止めるときは

⚠ 警告

緊急時以外は、走行中にエンジン（ハイブリッドシステム）を止めないでください。

- ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。
- パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。
- 次の機能が作動しません。
 - ・ABS
 - ・エマージェンシーストップシグナル（ESS）
 - ・ESP®
 - ・デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）（タイプ別装備）
 - ・誤発進抑制機能（タイプ別装備）
 - ・車線逸脱抑制機能（タイプ別装備）
 - ・アダプティブクルーズコントロール（タイプ別装備）
 - ・アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）（タイプ別装備）
 - ・後退時ブレーキサポート（タイプ別装備）
 - ・後方誤発進抑制機能（タイプ別装備）

注 記

ハイブリッド車以外

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。

ハイブリッド車

走行中にハイブリッドシステムを止めると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

緊急時以外は、走行中にハイブリッドシステムを止めないでください。

車両の状態	エンジン（ハイブリッドシステム）停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中（緊急時）	エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押しする

停車中にエンジン（ハイブリッドシステム）を停止できないときは、エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。

エンジンスイッチをもどすときは

- 1 セレクトレバーを **P** に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。

→ 5-52ページ、5-63ページ
(セレクトレバーの操作)

- 2 エンジンスイッチを押して **LOCK** (OFF) にもどします。

⚠️ アドバイス

エンジンスイッチをもどすときに、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。

→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどして、いずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
 - 誤操作防止のため、次のようなときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせません。
 - ・セレクトレバーの位置が **P** 以外
 - ・セレクトレバーの位置が **P** に入っているにもかかわらず、セレクトレバーのボタンを押しているとき
- 5-61ページ、5-76ページ
(駐車)

- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。
 - ・盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。(リクエストスイッチやキーレスエントリーでは施錠できません)
 - ・鉛バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。(10 mmスパナなどの市販工具が必要です)

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを **ACC** にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを **P** に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。エンジンスイッチを2回押して **LOCK** (OFF) にもどすと、室内ブザーが止まります。
- **LOCK** (OFF) にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

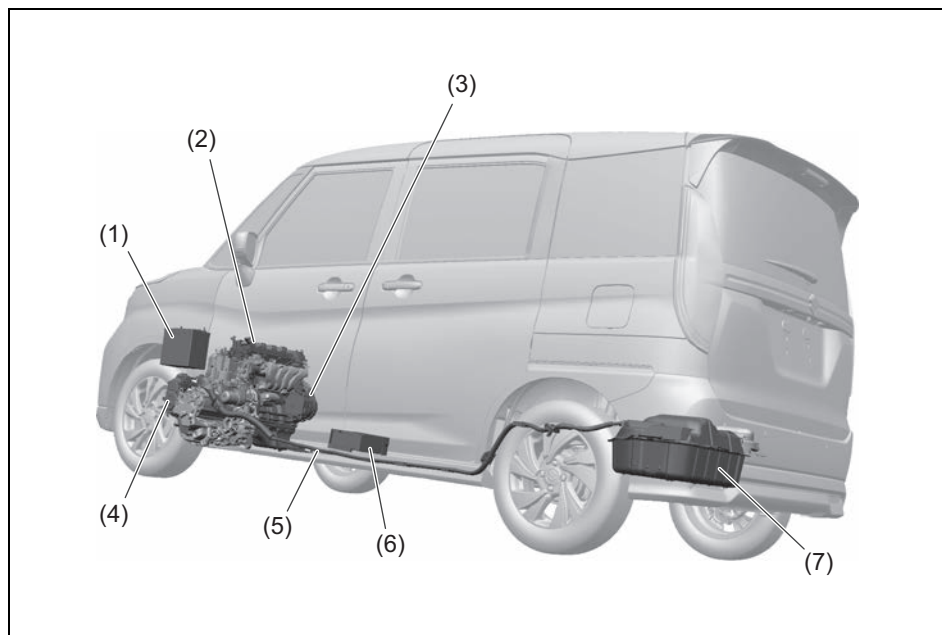
故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどして、いずれかのドアを開閉してもハンドルがロックされない場合、運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

ハイブリッドシステム

ハイブリッド車

ハイブリッドシステムとは、ガソリンエンジンを主動力とし、状況に合わせて駆動用モーターがエンジンをアシストしたり、駆動用モーターのみで走行したりすることで高い走行性能と燃費向上、排出ガスの低減を実現したシステムです。

また、減速時には、回転するタイヤの力で駆動用モーターを発電機として利用し、高電圧バッテリーを充電します。（回生ブレーキ）



83SR5151

- (1) 鉛バッテリー
- (2) ガソリンエンジン
- (3) インテグレートッドスタータージェネレーター
- (4) 駆動用モーター
- (5) 高電圧配線(オレンジ色)
- (6) リチウムイオンバッテリー
- (7) パワーパック(高電圧バッテリー、インバーター)

ハイブリッドシステムの作動

アクセルペダル、ブレーキペダルの操作や車速など、車の状況に合わせて、ガソリンエンジンは自動的に停止・再始動します。

- エンジンが自動停止しているとき、メーター内のEV表示灯が点灯します。
→ **4-73ページ (EV表示灯)**

⚡️アドバイス

- 高電圧バッテリーの残量によって、EV走行可能車速やモーターアシスト量が変わります。
- 鉛バッテリーの交換などでバッテリーケーブルを脱着したときは、EV走行せず、しばらくエンジン走行が続く場合があります。EV走行しない状態が2～3日続く場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店へご連絡ください。

■ 発進

エンジン回転中はエンジンを使って発進します。エンジンが自動停止中かつ、ECOモード（※）のときにブレーキペダルを離すと、駆動用モーターのみを使用して車がゆっくり動きます。

※ ノーマルモード時は、ブレーキペダルを離すとエンジンが自動再始動します。

→ **3-47ページ (ECOモードスイッチ)**

■ 通常走行（ゆるやかな加速・一定速走行）

車速が約60 km/h以下の一定速度で走行しているときは、EV走行（エンジンは使用せず、駆動用モーターのみを使用して走行）が可能です。

- 車や道路の状況によっては、EV走行をしない場合があります。
- 道路状況や高電圧バッテリーの残量によって、EV走行できる車速は変化します。

■ 急加速走行

エンジン走行を駆動用モーターがアシストします。（モーターアシスト走行）

- EV走行中のときにアクセルペダルを深く踏み込むと、エンジンが自動再始動し力強く加速します。
- ハイブリッドシステムの状態によって、モーターアシスト量は変化します。

■ 減速

車速が約80 km/h以下の場合、エンジンを自動停止し、タイヤの回転力で駆動用モーターを発電機として動かし、高電圧バッテリーを充電します。（回生ブレーキ）

■ 停車

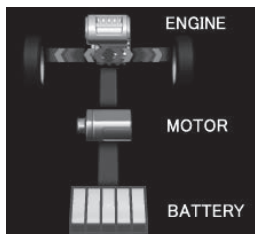
エンジンを自動停止します。車の状況によっては、エンジンが自動停止しない場合があります。

■ エネルギーフロー表示

高電圧バッテリーの残量や車の状態によるエネルギーの流れを表示します。

- エンジンでの走行時。

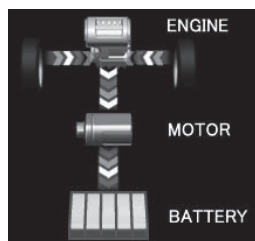
図は表示例です



59R50090

- 通常走行の減速時に、回生ブレーキが作動しているとき。高電圧バッテリーへ充電しています。

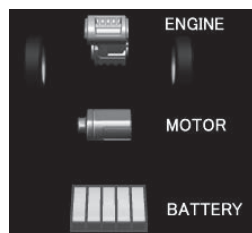
図は表示例です



59R50100

- 停車中にエンジンが自動停止しているとき。

図は表示例です

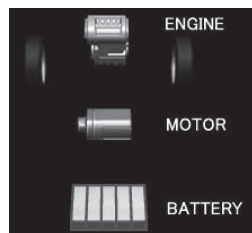


59R50110

- エンジン自動停止時にスターターモーター機能が作動したとき。ISG のスターターモーター機能を作動させます。

スターターモーター機能
ISG とは、Integrated Starter Generator (インテグレートド スターター ジェネレーター) の略でモーター機能付き発電機です。ハイブリッドシステムによるエンジンの自動停止から再始動するときに、ISG がベルトを介してエンジンを再始動させます。

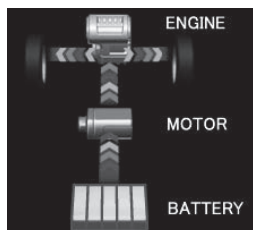
図は表示例です



59R50120

- 加速時にモーターアシストが作動しているとき。エンジン出力にモーター出力を上乗せしてアシストしています。

図は表示例です



59R50130

モーターアシスト機能

走行時に駆動用モーターがエンジンをアシストし、エンジンの負担を低減することで、燃費向上を図ります。

アドバイス

- エネルギーフローインジケータ表示は目安です。外気温が低いときなど、状況によっては表示が遅れたり、実際とは異なる表示になったりする場合があります。
- 車速が低い場合などは回生ブレーキが作動しない場合があります。

バッテリー表示について

バッテリー表示 (1) の目盛りは、高電圧バッテリーの充電量の目安を示します。充電状態によって、表示内の目盛りが増減します。

図は表示例です



(1)

59R50150

エンジンの自動停止・再始動

お車の状態により、エンジンが自動停止したり、再始動したりします。次のときは自動停止しません。

- セレクトレバーの位置が **R**、**M** である
- エアコンの設定が次のいずれかになっている
 - ・ 設定温度がLOかつ、エアコンスイッチを入れている
 - ・ 設定温度がHIである
- デフロスタースイッチが作動状態（ON）になっている
- 運転席シートベルトを外した
- 運転席ドアが完全に閉まっていない
- ボンネットが完全に閉まっていない
- エンジン冷却水の温度が低い
- 鉛バッテリー、リチウムイオンバッテリー、高電圧バッテリーの残量が不足している
- 鉛バッテリー、リチウムイオンバッテリー、高電圧バッテリーの温度が所定温度内でない

上記以外でも、状況によりエンジンを自動停止しない場合があります。

アドバイス

- 鉛バッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの充電状態は、メーター内のエネルギーフローインジケーターで確認できません。
→ **5-21ページ（エネルギーフロー表示）**
- 鉛バッテリーの接続を外したときは、エンジン自動停止するまでにいつもより時間がかかります。

EV走行

お車の状態により、エンジンが自動的に停止しモーターの駆動力だけで走行します。次のときにEV走行します。

- セレクトレバーの位置が **[D]** である
- アクセルペダルを低開度で一定に踏んでいる
- デフロスタースイッチが停止状態（OFF）になっている
- 運転席シートベルトを着用している
- 運転席ドアが完全に閉まっている
- ボンネットが完全に閉まっている（※1）
- エンジン冷却水の温度が所定温度内にある
- 鉛バッテリー、リチウムイオンバッテリー、高電圧バッテリーの充電量が所定範囲内になっている
- 鉛バッテリー、リチウムイオンバッテリー、高電圧バッテリーの温度が所定温度内になっている
- エアコンの設定が次のいずれかになっている
 - ・ 「設定温度がLOかつ、エアコンスイッチを入れている」 以外になっている
 - ・ 「設定温度がHI」 以外になっている
- 空調設定で「快適優先」を選択し、空調を使用している以外の上記の条件を満たしていても、状況によりEV走行しない場合があります。

※1 エンジンスイッチを **[ON]** にしたあとボンネットの開閉をすると、エンジンは自動停止しません。

回生ブレーキ

タイヤの回転力で駆動用モーターを発電機として利用するときに発生するブレーキ力のこと、エンジンブレーキと同様の減速力を得ることができます。

セレクトレバーが **[D]** または **[M]** で走行中、次のとき回生ブレーキが作動します。

- アクセルペダルから足を離したとき

🔊アドバイス

- エンジンが回転しているとき、エンジンブレーキによるブレーキ力も発生します。
- 高電圧バッテリーが満充電に近いときや、高電圧バッテリーの温度が高いまたは低いときは、回生ブレーキの効きが弱かったり回生ブレーキが作動しないことがあります。
- 回生ブレーキが作動する場合と作動しない場合では、フィーリング（感覚）が異なります。減速力がいつもより弱いと感じたときは、ブレーキペダルを操作してください。

ハイブリッドシステムの取扱い

■ ハイブリッドシステムの始動

エンジンがかかると、ハイブリッドシステムが起動し、メーター内の READY 表示灯が点灯します。

→ 5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））



83SR5160

5

⚠ 警告

駐車時はパーキングブレーキをかけて、セレクトレバーを **[P]** に入れてください。
ハイブリッド車には通常の車のようなエンジン音や振動がないことがあるため、走行できる状態であることに気づかず、思わぬ事故につながる可能性があります。

🔊 アドバイス

READY表示灯が点灯しているときに、ボンネットを開けると次のようになります。

- エンジンが回転している場合、エンジンの自動停止を禁止します。
- エンジンが自動停止している場合、エンスト状態になります。

■ 高電圧バッテリー

高電圧バッテリーは少しずつ放電します。バッテリーあがりを防ぐためには、1か月に一度は連続して30分以上走行して充電する必要があります。

高電圧バッテリーがバッテリーあがりのときは、ハイブリッドシステム警告灯が点灯します。ハイブリッドシステム警告灯が点灯したときはスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

→ 4-64ページ (ハイブリッドシステム警告灯)

- セレクトレバーが **[P]**、**[N]** の位置では、高電圧バッテリーへの充電が行なわれません。セレクトレバーは **[D]** または **[M]** で運転するようにしてください。
- 高電圧バッテリーには寿命があります。寿命はお車の使いかたや走行条件により異なります。

⚠ 警告

高電圧バッテリーの取扱いを誤ると、火災や感電などを起こしたり、故障の原因となったりするおそれがあるため、次のことをお守りください。

- 整備や分解、修理したりしない
- 高電圧バッテリーを改造、転売または譲渡しない
- 高電圧バッテリーをもともと搭載された車以外に使用しない

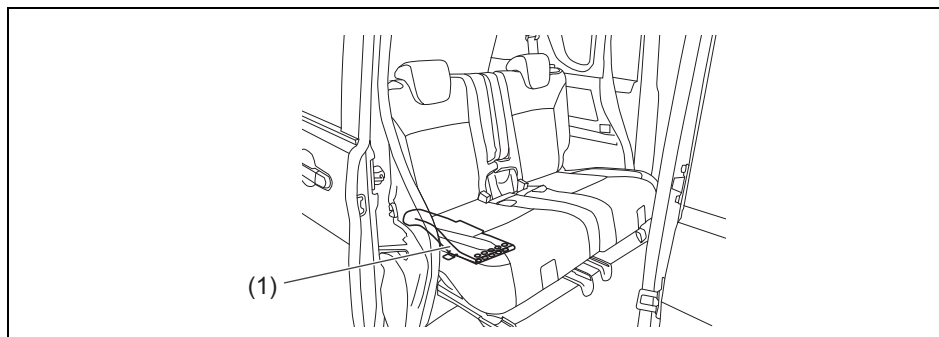
🔧 アドバイス

高電圧バッテリーは、エンジンが回転していても停車状態で放置すると、バッテリーを消費します。

高電圧バッテリーの充電が少なくなると、高電圧システムを停止しバッテリーの消費を抑えます。そのため、一時的にEV走行ができなくなります。復帰するには、走行して高電圧バッテリーを充電させる必要があります。

■ 高電圧バッテリーの冷却用空気取り入れ口

運転席側の後席下に高電圧バッテリーの冷却用空気取り入れ口（1）があります。



81Ph10080

注 記

- 冷却用空気取り入れ口のまわりに荷物などを置かないでください。取り入れ口がふさがれると高電圧バッテリーやインバーターが過熱したり、故障の原因になります。
- 取り入れ口に水や異物を入れないでください。高電圧バッテリーやインバーターが故障する原因になります。

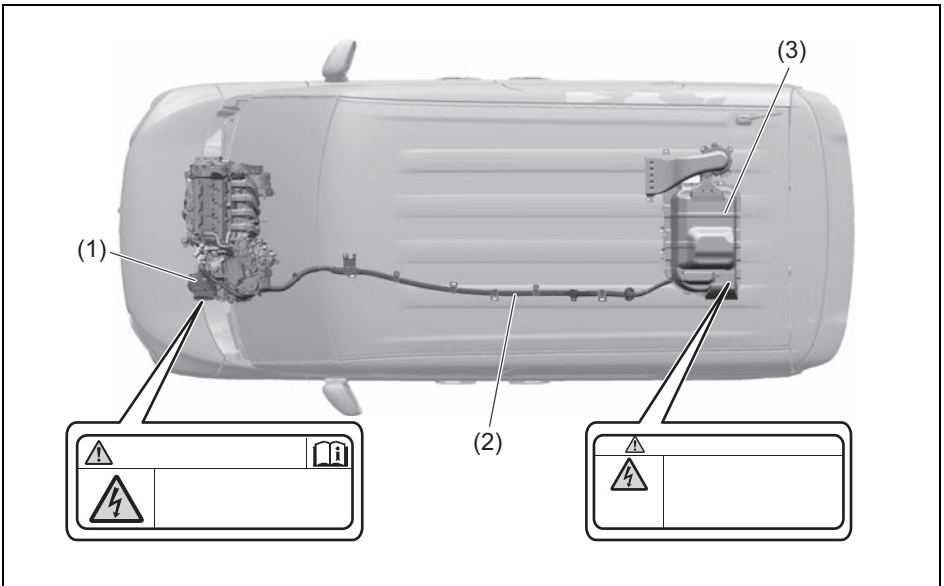
■ 高電圧部位に触れないで

- 高電圧システムの分解や配線取り外しなどを行なうと感電するおそれがあります。点検・修理は、必ずスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- ハイブリッドシステムには、高電圧バッテリー、インバーター、駆動用モーター、オレンジ色の高電圧配線などの高電圧部位や、ラジエーターなどの高温部位があります。取扱い上の注意を記載したラベルが、高電圧部位などに貼り付けてあります。

⚠ 警告

次のことをお守りください。守らないとやけどや感電など生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 高電圧部位やラジエーターなどの高温部位には触れないでください。
- 高電圧部位、高電圧配線（オレンジ色）およびそのコネクター、パワーパック（高電圧バッテリー、インバーター）の取り外しや分解など絶対に行なわないでください。



83SR5171

- (1) 駆動用モーター
 (2) 高電圧配線（オレンジ色）
 (3) パワーパック（高電圧バッテリー、インバーター）

■ 電磁波について

高電圧部位や高電圧配線は電磁シールド構造です。従来の車や家電製品と比べ、電磁波が多いということはありません。

■ ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車では、次のような特有の音や振動がありますが、異常ではありません。

- 後席の高電圧バッテリー、インバーター冷却用空気取り入れ口および荷室から聞こえるファンの作動音
- エンジンルーム（トランスミッション付近）からのモーター音
- ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる作動音やモーター音

■ 車両接近通報装置について

車速が約24 km/h以下のEV走行時、車両の接近を歩行者などに知らせるために走行音を鳴らします。

- 周囲の騒音が大きいときや、大雨や強風のときは、通報装置の音が歩行者などに聞こえにくい場合があります。また、車両接近通報装置は車両の前方に装着されているため、車両後方は車両前方に比べ聞こえにくい場合があります。

5

⚠ 警告

通報音が鳴っていても、周囲の騒音などが大きい場合には車両の接近に気が付かない場合がありますので、十分注意して運転してください。

■ メンテナンスや修理について

お車のメンテナンスや修理についてはスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

🔧 アドバイス

高電圧バッテリーの取扱いには専門的な知識と技術が必要です。

■ 廃車や高電圧バッテリーの廃棄について

廃棄処分については特別な取扱いが必要です。廃車や高電圧バッテリーを廃棄するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店に必ずご相談ください。

⚠ 警告

高電圧バッテリーは適切に処理してください。高電圧バッテリーを放置または不法投棄するなど適切に処理しないと、第三者が高電圧部位に触れる感電事故を引き起こし、命に関わる重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 高電圧遮断機能

事故などにより車体が衝撃を受けたとき、自動的に高電圧が遮断され、走行不能になる場合があります。

このとき、お客様がハイブリッドシステムを再起動させることはできないため、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。

- 高電圧が遮断されたとき、次のもので警告します。
 - ・ ハイブリッドシステム警告灯
 - 4-64ページ (ハイブリッドシステム警告灯)
 - ・ メッセージ
 - 4-33ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ)
 - ・ 室内ブザー
 - 1-28ページ (警告ブザーが鳴ったときは)

■ 万一、事故が起きたときは

⚠ 警告

万一、事故が起きたときは、次のことをお守りください。守らないとやけどや感電など生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 高電圧部位・高電圧配線（オレンジ色）には絶対に触れないでください。
- 液体の付着や漏れがある場合は絶対に触れないでください。高電圧バッテリーの電解液は目や皮膚に付くと重大な傷害を受けるおそれがあります。万一付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
- 火災が発生したときは、電気火災用消火器で消火してください。少量の水による消火はかえって危険な場合があるため、消火栓などから大量に放水するか、消防隊の到着を待ってください。

車両接近通報装置

ハイブリッド車

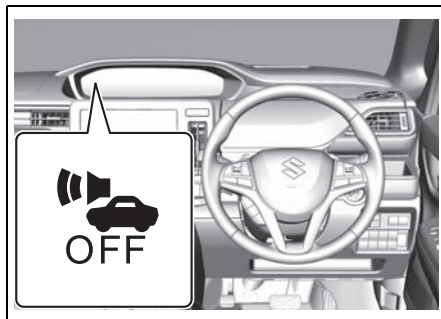
モーターによるEV 走行時などにおいて、車両の接近を周囲の人に知らせるために通報音を鳴らします。

周囲の騒音が大きいときや、大雨や強風のときは通報音が周囲の人に聞こえにくい場合があります。また、車両接近通報装置は車両の前方に装着されているため、車両後方は車両前方に比べ聞こえにくい場合があります。なお、走行中に車内でも通報音が聞こえることがあります。が、車両接近を周囲の人に知らせるための音なので異常ではありません。

警告

通報音が鳴っていても、周囲の騒音などが大きい場合には車両の接近に気が付かない場合がありますので、十分注意して運転してください。

■ 車両接近通報装置の異常のとき



83SR5180

- 車両接近通報装置に異常があると、上図の表示灯が点滅します。
→ **4-64ページ**
(車両接近通報装置警告灯)
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

マイルドハイブリッド

マイルドハイブリッド車

この車のマイルドハイブリッドは、モーター機能付き発電機 (ISG) を用いて、次の機能を運転操作に合わせて作動させることで静粛性および燃費向上を図ったものです。

ISG とは、Integrated Starter Generator (インテグレートッド スタータージェネレーター) の略です。

● 減速エネルギー回生機能

減速時に集中的に ISG で発電を行い、走行中の発電が不要なときは ISG を停止させることで、エンジンの負荷を低減して燃費を向上させます。

● モーターアシスト機能

走行時に ISG がモーターとしてエンジンをアシストし、エンジンの出力を低減することで、燃費向上を図ります。

● スターターモーター機能

アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止から再始動するときに、ISG がベルトを介してエンジンを再始動させます。

🔊 アドバイス

エンジンスイッチを操作して再始動した時は、通常のスターターモーターが作動するため、ギヤの噛み込み音が聞こえます。

■ ステータスインフォメーションランプ

減速エネルギー回生時には、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイの一部が、白色に変化します。

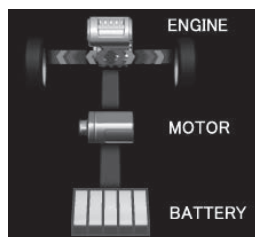
→ **4-3 ページ (ステータスインフォメーションランプ)**

エネルギーフローインジケーター

ISG が作動しているかどうかを、メーター内のエネルギーフローインジケーターで確認できます。

- 通常の走行時。ISG は作動していません。

図は表示例です

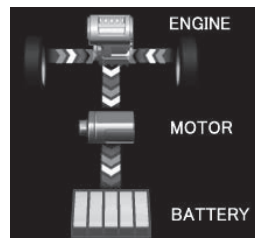


59R50090

5

- 通常走行の減速時に、減速エネルギー回生機能が作動しているとき。バッテリーへ充電しています。

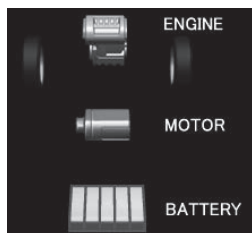
図は表示例です



59R50100

- 停車中にエンジンが自動停止しているとき。バッテリーへの充電は行なわず、蓄積した電気をオーディオなどの電装品に使用しています。

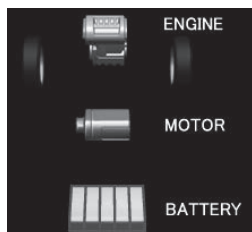
図は表示例です



59R50110

- エンジン自動停止時にスターターモーター機能が作動したとき。バッテリーへの充電は行なわれず、蓄積した電気でISGを作動させます。

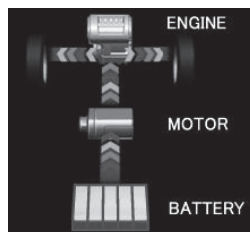
図は表示例です



59R50120

- ゆるやかな加速時にモーターアシスト機能が作動しているとき。エンジンをアシストしています。

図は表示例です



59R50130

次の条件をすべてみたすと、モーターアシスト機能が作動します。

- 加速のために、少しアクセルペダルを踏み増した
- セレクトレバーが **[D]** または **[L]** に入っている
- ブレーキペダルを踏んでいない
- 発進後～約 100 km/h、エンジン回転数が3900 rpm以下で走行中
- 次の機能が作動していない
 - ・ ABS
 - ・ ESP®
- リチウムイオンバッテリーのバッテリー表示が3目盛り以上で、バッテリー内部が所定温度内にある
- エンジンの冷却水が所定温度内にある
- CVTフルードが所定温度内にある
- 鉛バッテリーが十分に充電されていて、バッテリー内部が所定温度内にある

⚠️ アドバイス

- 急加速などのアクセルペダルをいっぱいまで踏み込んだときはモーターアシスト機能は作動しません。
- 1 回のモーターアシストは最長で 30 秒間です。

バッテリー表示について

バッテリー表示 (1) の目盛りは、リチウムイオンバッテリーの充電量の目安を示します。充電状態によって、表示内の目盛りが増減します。

図は表示例です



(1)

59R50150

⚠️ アドバイス

エネルギーフローインジケータ表示は目安です。外気温が低いときなど、状況によっては表示が遅れたり、実際とは異なる表示になったりする場合があります。

アイドリングストップシステム

マイルドハイブリッド車

アイドリングストップシステムは、信号待ちなどの一時的な停車時および停車前の減速時に、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。排出ガスの低減、燃費向上、エンジン騒音低下に役立ちます。

- 本システムは一定の条件のもとで、一時的にエンジンを停止させるものです。長時間停車するときや車から離れたときは、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止してください。

→ 5-17ページ

(エンジン (ハイブリッドシステム) を止めるときは)

- 一定の条件をみたすと停車前の減速時 (約 13 km/h 以下) に自動停止します。ただし、システムの機能確認が終了するまでは、減速時に自動停止しません。

⚠️ 警告

- アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中に車から離れると、車が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中は、車外に出ないでください。

⚠ 警告

- エンジンが再始動しない状態で車を動かすと、ハンドルをまわすときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止後、自動で再始動しない場合は、エンジンスイッチを操作してエンジンを始動してください。

注 記

アイドリングストップシステムは、高性能な専用の鉛バッテリーを使用していますので、次のことをお守りください。守らないと本システムが正常に作動しなくなったり、バッテリーの寿命が短くなったりするおそれがあります。

- バッテリーを交換するときは、指定のバッテリーを使用する（指定外のものを使用しない）
→ 10-1 ページ（サービスデータ）
- バッテリー端子から電気製品の電源をとらない

⚠ アドバイス

ブレーキペダルを踏んでいても運転席シートベルトを外す、または運転席ドアを開くとエンジンが再始動し、アイドリングストップシステムによるエンジン自動停止中であつたことをお知らせします。



72M2042

エンジンの自動停止・再始動のしかた

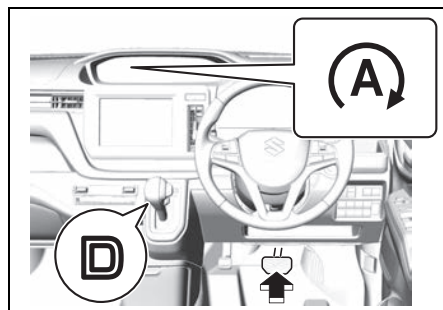
- 1 走行中に、エンジンが自動停止可能な状態（スタンバイ条件）になると、メーター内のアイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯します。

→ 4-68ページ

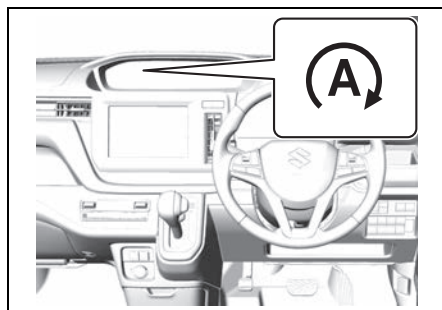
（アイドリングストップ表示灯）

→ 5-40ページ

（スタンバイ条件）



83S05071



83S05061

- 2 セレクトレバーが **D** のままブレーキペダルを踏んで減速すると、停車前（約 13 km/h 以下）にエンジンが自動停止します。このとき、アイドリングストップ表示灯（緑色）は点灯したままです。

- アイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯した状態でブレーキペダルを踏んで減速しても、エンジン自動停止の条件をすべて満たさないと、エンジンが自動停止しません。

→ 5-41ページ

（エンジン自動停止の条件）

- 自動停止中に安全確保のため、室内ブザーが鳴ってエンスト状態にさせたり、エンジンを再始動させたりする場合があります。

→ 5-39ページ

（エンジン自動停止中はこんなことに気をつけて）

アドバイス

- ブレーキペダルを踏まずに、エンジンブレーキなどを使用して減速しても、エンジンは自動停止しません。
- 停車前（約 13 km/h 以下）にエンジンが自動停止しない場合でも、停車時にエンジンが自動停止する場合があります。
- 自動停止中でもナビゲーション、またはオーディオなどの電装品は使用できますが、エアコンは送風に切り替わります。
- オートエアコンの場合、冷暖房性能を長持ちさせるため、自動停止中の風量（自動制御時のみ）に制限がかかります。

3 停車の前後に関わらず、ブレーキペダルから足を離すとエンジンが再始動し、アイドリングストップ表示灯（緑色）が消灯します。

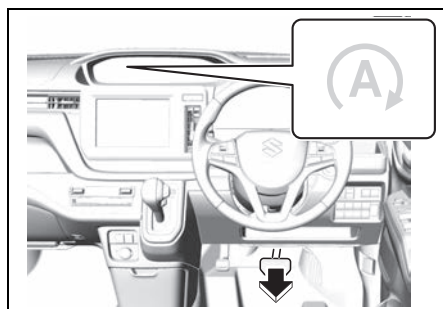
- ブレーキペダルを踏んでいても、エンジン自動再始動の条件をみたすと自動的に再始動します。

→ **5-42ページ**

(エンジン自動再始動の条件)

- エンジン再始動時にブレーキ踏力を一時的に保持することで車両のクリープ力による飛び出しや上り坂での車両の後退を防ぎます。

→ **5-195 ページ (ヒルホールドコントロール)**



83S05081

アドバイス

エンジン自動再始動のとき、ヒルホールドコントロールが作動します。

→ **5-195ページ**

(ヒルホールドコントロール)

4 エンジン自動再始動後しばらく走行して、エンジンが自動停止可能な状態（スタンバイ条件）になると、アイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯します。

エンジン自動停止中はこんなことに気をつけて



警告

自動停止中は、次表の操作は行なわないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

操作／車両の状態	対処方法
ボンネットを開ける ●室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。 ●エンジン自動停止状態からエンスト状態になります。 ●アイドリングストップ表示灯（緑色）は消灯します。	エンジンを再始動するときは、次の手順で対処してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②ボンネットを完全に閉めます。 ③エンジンスイッチを操作して再始動します。 → 5-14 ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））
運転席シートベルトを外す、または運転席ドアを開ける ●室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。（約5秒間） ●エンジンが自動で再始動します。 ●アイドリングストップ表示灯（緑色）は約5秒間点滅したあと消灯します。	発進する前に、ドアを閉め、シートベルトを着用してください。また、車外に出るときは、事前に次の手順を実施してください。 ①パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを [P] に入れます。 ②長時間停車するときや車から離れるときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止します。 → 5-17ページ（エンジン（ハイブリッドシステム）を止めるときは）

 アドバイス

メーターパネル内の次の警告灯は、エンジンの自動停止中は点灯しませんが、エンスト状態になると点灯します。

- エンジン警告灯
- パワーステアリング警告灯
- 油圧警告灯
- 充電警告灯

→ **1-20ページ（警告灯）**

アイドリングストップシステムの作動条件

■ スタンバイ条件

次の条件をすべてみたすと、走行中にアイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯し、エンジンの自動停止が可能な状態になります。

エンジン始動時	ボンネットが完全に閉まっている状態でエンジンを始動する
走行時	●アイドリングストップシステムが停止状態（OFF）になっていない → 5-43ページ （アイドリングストップシステムOFFスイッチ） ●バッテリーが十分に充電されていて、バッテリー内部が所定温度内にある（※1） ●冷却水が所定温度内にある ●CVTフルードが所定温度内にある ●運転席シートベルトを着用している ●運転席ドアが完全に閉まっている ●ボンネットが完全に閉まっている（※2） ●セレクトレバーの位置が D または N である（※3） ●アイドリングストップシステム以外の電子制御システムから、エンジン停止を禁止する信号が出ていない（※4） ●Sモードスイッチが停止状態（OFF）になっている → 5-54ページ（Sモードスイッチ） ●エアコンの吹出し口温度が、冷房時は十分に冷えている、または暖房時は十分に暖まっている ●デフロスタースイッチが停止状態（OFF）になっている → 7-23ページ（オートエアコン）

- ※1 車を長期間使用しなかったときや、エンジン停止中にナビゲーション、またはオーディオなどの電装品を長時間使用したときなど、バッテリーが放電している状況では、スタンバイ状態になるまでに時間がかかることがあります。
- ※2 エンジンスイッチを **ON** にしたあとボンネットの開閉をすると、エンジンは自動停止しません。
- ※3 セレクトレバーの位置が **N** でもスタンバイ状態になりますが、このときは停車前の減速時（約 13 km/h以下）ではなく、停車時にエンジンが自動停止します。

※4 アイドリングストップ表示灯（緑色）の点灯後に、エンジン停止を禁止する信号が出ることがあります。この場合、停車時にアイドリングストップ表示灯（緑色）が消灯し、エンジンは自動停止しません。また、アイドリングストップシステムに影響をあたえる警告灯や表示灯のいずれかが点灯したときは、エンジンは自動停止しません。

■ エンジン自動停止の条件

アイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯中に次の条件をすべてみたすと、停車前の減速時または停車時にエンジンが自動停止します。

停車前の減速時	● ブレーキペダルを適切に踏んでいる（※） ● 車速約 13 km/h以下に減速している ● ハンドル操作をしていない ● アクセルペダルを踏んでいない ● 急な坂道を走行していない ● 急減速をしていない ● ABSやESP® が作動していない ● ブレーキ倍力装置の負圧が正常である
停車時	● ブレーキペダルを適切に踏んでいる（※） ● ハンドル操作をしていない ● アクセルペダルを踏んでいない ● 急な坂道で停車していない ● 停車前に急減速をしていない ● ABSやESP® が作動していない ● ブレーキ倍力装置の負圧が正常である

※ブレーキペダルの踏みかたが弱い、または強いと、自動停止しない場合があります。

■ エンジン自動再始動の条件

自動停止中に次のいずれかの操作をすると、または車両がいずれかの状態になると、エンジンが自動で再始動し、アイドリングストップ表示灯（緑色）が消灯します。

5 共通	● ブレーキペダルから足を離す（※1） ● ハンドル操作をする（※2） ● アクセルペダルを踏む ● アイドリングストップシステムを停止状態（OFF）にする → 5-43ページ （アイドリングストップシステムOFFスイッチ） ● 下り坂などで車速が2 km/h以上増加したとき ● バッテリーの放電が進んだとき（※3） ● 本システムに関わる異常を検出したとき（※3） ● ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき（※3） ● セレクトレバーを [P]、[R] または [L] に入れる ● SモードスイッチをONにする <オートエアコン装備車> ● 自動停止後、エアコンの吹出し口温度が大きく変化し、冷暖房性能が十分でなくなったとき（※3） ● 温度調節スイッチを冷房時はCOOL 側、暖房時はHOT 側に大きく操作したとき（※3） ● デフロスタースイッチを作動状態（ON）にしたとき（※3） → 7-23ページ（オートエアコン）
減速時 （約 13 km/h以下）	● ボンネットを開けたとき ● セレクトレバーを [N] に入れたとき ● 道路の勾配が急変したとき
停車時	● セレクトレバーを [N] に入れたあと [D] にもどす ● 運転席シートベルトを外したとき（※3） ● 運転席ドアを開けたとき（※3） ● 坂道などで車両が動き出したとき ● 自動停止してから、しばらく経過したとき（3分程度）（※3）

※1 ブレーキペダルの踏み込みが弱いと、自動再始動する場合があります。この場合、再びブレーキペダルを踏み込むと自動停止し、アイドリングストップ表示灯（緑色）が再点灯することがあります。

※2 ハンドル操作時の自動再始動条件は、操作量ではなく操舵力となります。このため、自動再始動するときのハンドル操作量は、路面状況や乗車人数によって変化する場合があります。

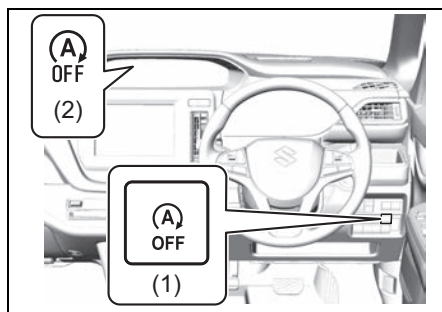
※3 アイドリングストップ表示灯（緑色）は点滅したあと消灯します。

検出した異常の内容により、通常の再始動または※3の再始動になります。

アイドリングストップシステムOFFスイッチ

アイドリングストップシステムを停止状態（OFF）にできます。

- システムを停止状態にするときは、メーターパネル内のアイドリングストップシステム OFF 表示灯（2）が点灯するまで、アイドリングストップシステム OFF スイッチ（1）を押します。
- システムを作動可能な状態にもどすときは、表示灯が消灯するまでスイッチ（1）を押します。
- 手でエンジンを停止するたびに、システムは作動可能な状態にもどり、アイドリングストップシステムOFF表示灯は消灯します。



83S05091

アドバイス

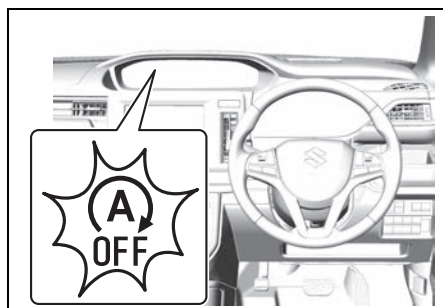
エンジンの自動停止中にアイドリングストップシステム OFF スイッチ（1）を押すとエンジンが自動再始動し、アイドリングストップシステムOFF表示灯（2）が点灯します。

- メーターパネル内のアイドリングストップシステムOFF表示灯（オレンジ色）はアイドリングストップシステムが停止していることをお知らせします。
- 次のような場合、エンジンスイッチを **ON** にしたときにアイドリングストップシステムOFF表示灯が点滅します。（マイルドハイブリッド、アイドリングストップシステムは正しく作動しません。）

点滅した場合は、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。

- ・マイルドハイブリッド、アイドリングストップシステム、リチウムイオンバッテリーに異常がある場合
- ・アイドリングストップシステムに関わるエンジン部品または鉛バッテリーが交換時期の場合

→ **4-68ページ（アイドリングストップシステムOFF表示灯）**



83S05101

⚠️ アドバイス

アイドリングストップによるエンジン自動停止中に点滅（システムが故障）すると、エンジンが再始動または、エンスト状態になる場合があります。

エコクール （蓄冷エバポレーター）

マイルドハイブリッド車 またはハイブリッド車

エアコンを使用して走行しているとき、エアコンユニット内の蓄冷材に冷気を蓄えます。蓄えられた冷気は、アイドリングストップによるエンジン自動停止中に車内に送風されるため、エアコンが作動していない状態でも車内温度の上昇を抑えます。

オートエアコン装備車の場合、車内温度の上昇が抑えられることでエンジン自動停止の時間が長くなり、燃費の向上につながります。

⚠️ アドバイス

走行を開始して間もないときや渋滞中は、冷気が十分に蓄えられない場合があります。また、外気温やエアコンの設定状態によっては、効果に差があります。

アイドリングストップ 空調設定

マイルドハイブリッド車 またはハイブリッド車

アイドリングストップシステムによるエンジン自動停止中の空調設定を「燃費優先」、「標準」、「快適優先」から選択できます。

→ 4-25ページ

(セッティングモード)

- 「燃費優先」を選択すると、「標準」に対して空調によるアイドリングストップ条件が緩和され、エンジン自動停止になりやすく、自動停止時間も長くなります。(燃料の消費を抑えます。)
- 「快適優先」を選択すると、「標準」に対して空調によるアイドリングストップ条件が厳しくなり、エンジンが自動停止しにくく、自動停止時間も短くなります。(快適性が向上します。)

📌アドバイス

ハイブリッド車

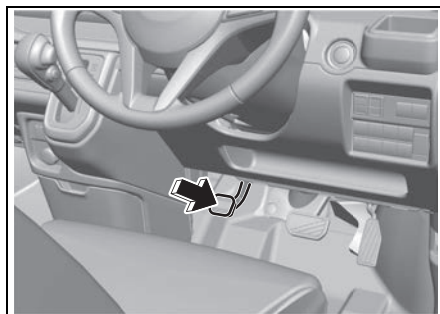
ECO モードが ON のときは、セッティングモードの「IS (アイドリングストップ) 空調設定」が非表示になります。

→ 3-47ページ

(ECOモードスイッチ)

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。



83S05111

⚠ 警告

パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。

→ 4-52ページ (ブレーキ警告灯)

📌アドバイス

パーキングブレーキをかけると、ヒルホールドコントロールが作動しません。

→ 5-195ページ

(ヒルホールドコントロール)

駐車するときは

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- パーキングブレーキをかけるときは、確実にブレーキが効くまで一気に踏み込んでください。
- 一気に踏み込まないで途中でペダルから足を離してしまったときは、一度解除してから、同じ手順で再度踏み込んでください。

⚠ 警告

- 走行中パーキングブレーキペダルを踏むと、急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。

走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。

- 走行中にパーキングブレーキペダルに足を乗せていると、カーブを曲がるときなどに足に力がかかり、踏み込んで急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。

走行中はパーキングブレーキペダルに足を乗せないでください。

📌 アドバイス

- パーキングブレーキの効きを強くしようとして、2度踏みをししないでください。2度踏みをする、と、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。
- パーキングブレーキを解除するときは、右足でブレーキペダルを踏んでください。

パーキングブレーキをさらに強く効かせたいときは

- 1 右足でブレーキペダルを強く踏んだままにします。
- 2 左足でパーキングブレーキペダルを踏んで解除してから、再度踏み込みます。

解除するときは

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりと離します。
- 坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動き出す感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりともどしてください。

パーキングブレーキ解除忘れ 警告ブザー

パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

- 警告ブザーの作動中、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

⚠ 警告

走行中の解除は、操作に気を取られて思わぬ事故を起こすおそれがあります。

警告ブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキを解除してください。

📌 アドバイス

ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。

→ 5-158ページ
(ヘッドアップディスプレイ)

駐車するときは

パーキングブレーキをしっかりとかけ

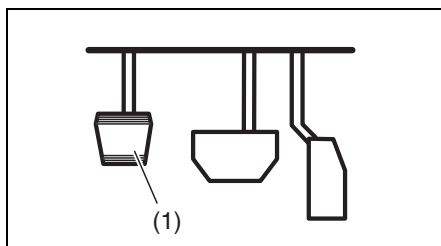
⚠ 警告

ハイブリッド車

駐車時はパーキングブレーキをかけて、セレクトレバーを **P** に入ってください。ハイブリッド車には通常の車のようなエンジン音や振動がないことがあるため、走行できる状態であることに気づかず、思わぬ事故につながる可能性があります。

■ 平らな場所に駐車するときは

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
→ 5-45ページ
(パーキングブレーキの操作)



81M20050

(1) パーキングブレーキペダル

- 2 セレクトレバーを **P** に入れます。
→ 5-52ページ、5-63ページ
(セレクトレバーの操作)

- ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、車が動き出さないことを確認してください。

⚠ 注意

寒冷時にパーキングブレーキをかけると、凍結して解除できなくなるおそれがあります。坂道を避け、平らな場所に駐車してください。

→ 6-13ページ
(パーキングブレーキ)

📌 アドバイス

平らな場所に少しの間駐車するときでも、安全のため、セレクトレバーを **P** に入れてください。

■ 坂道に駐車するときは

①、②は、平らな場所で駐車するときと同じ操作です。

③ 市販品の輪止めや石などでタイヤを固定し、車が動き出さないようにしてください。

⚠ 警告

急な坂道に駐車すると、無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
急な坂道には駐車しないでください。

エンジン作動中、冷却ファン (ラジエーターファン) が 突然、回転することがあります

エンジンルーム内の冷却ファン (ラジエーターファン) は、エンジン冷却水の温度条件により、自動で停止したり回転したりします。

⚠ 警告

回転する冷却ファン (ラジエーターファン) に近づくと、手や髪、衣類などが巻き込まれけがをするおそれがあります。

エンジン作動中は、冷却ファン (ラジエーターファン) が停止していても、自動で回転し始めることがある為、冷却ファンに近づかないでください。

エンジン停止後に冷却ファン (ラジエーターファン) が回 転することがあります

エンジン冷却水温が高い場合、エンジンを停止させたあとでもエンジンルーム内の冷却ファン (ラジエーターファン) が回転し続けますが、異常ではありません。冷却水の温度が下がると、自動的に冷却ファンが停止します。

⚠ 警告

回転する冷却ファン (ラジエーターファン) に近づくと、手や髪、衣類などが巻き入れ、けがのおそれがあります。

回転中の冷却ファン (ラジエーターファン) に近づかないでください。

車を移動するときは

車を移動するときは、エンジンをかけて（ハイブリッドシステムを起動して）移動してください。

⚠ 警告

惰性で車を移動させると、ハンドルをまわすときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起こすおそれがあります。坂道を利用して惰性で車を移動しないでください。

仮眠するときは

仮眠するときは、エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを起動したまま）仮眠しないでください。



69RHS172

⚠ 警告

- 周囲の状況や風向きで排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して火災のおそれがあります。

燃えやすいものの近くに駐車しない

⚠ 警告

可燃物の近くに車を止めると、排気管や排気ガスが高温になるため、火災のおそれがあります。

枯れ草、紙くず、ベニヤ板などの可燃物の近くに車を止めないでください。



69RHS174

⚠ 警告

エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを起動したまま）車から離れると、火災や盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。

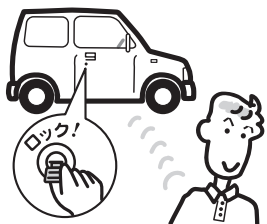
車から離れるときは、エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを起動したまま）離れないでください。

車内にパソコンや携帯電話などを放置しない

盗難にあったり、水分や湿気または温度変化などにより故障したりするおそれがあります。

車から離れるときはエンジンを止めて（ハイブリッドシステムを停止して）ドアを施錠

少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。



70K20010

ライターやメガネなどを放置しない

⚠ 警告

- 炎天下で駐車すると、車内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカード、CDケースなどの変形やひび割れ、炭酸飲料缶の破裂を起こすおそれがあります。

炎天下で駐車するときは、車内にライターやスプレー缶、プラスチック製品（メガネやカード、CDケースなど）や炭酸飲料缶を放置しないでください。



69RHS175

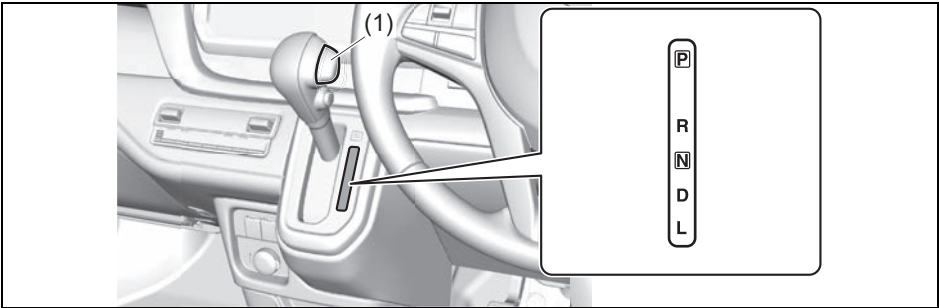
- 荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
- 操作部が露出しているライターやスプレー缶をグローブボックスや小物入れなどに入れたり、床やシートのすきまに落としたままにしたりしないでください。

セレクトレバーの操作

ハイブリッド車以外

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT 車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき



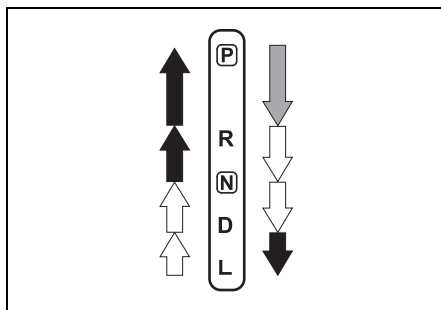
83S05120

5 (1) ボタン

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するときの位置 ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ● エンジンを始動できますが、安全のため P 位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
L ロー	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ● 急な下り坂を走行するときなどに使用します。

セレクトレバーの動かし方



74P40060

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。



ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。



ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

注 記

車が動いているとき、セレクトレバーを **R** に入れると、トランスミッションが故障の原因となります。完全に停車させてから、セレクトレバーを **R** に入れてください。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約 10 km/h 以上のときは変速されません。（ニュートラルのまま）

アドバイス

- 上下の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違って **P**、**R**、または **L** へ入れてしまうおそれがあります。
- 運転席および助手席にお乗りの方の乗車姿勢によっては膝などが当たって、セレクトレバーを動かしてしまうことがあります。運転中は正しい姿勢でシートにすわってください。

→ 2-5ページ

(正しい運転姿勢)

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** からほかの位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを **P** からほかの位置に動かさせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** からほかの位置へ動かせない場合は、次の「シフトロックの解除のしかた」をお読みいただき、シフトロックを解除してください。この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスズキサービス工場で点検を受けてください。

注 記

セレクトレバー可動部に飲み物などをこぼしたり、内部に異物が入ったりした場合、そのまま使用を続けるとシフトロックシステムが正常に機能しなくなるおそれがありますので、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠️ アドバイス

発進するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままセレクトレバーを操作してください。

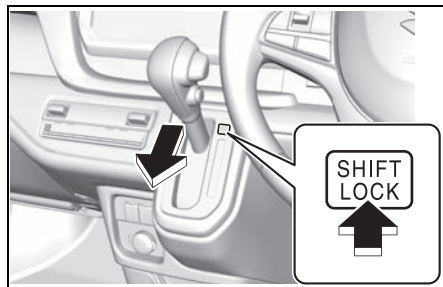
5

■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障や鉛バッテリーあがりなどで、セレクトレバーを **P** からほかの位置へ動かせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

1 安全のため、エンジンスイッチを **ACC** にしてパーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

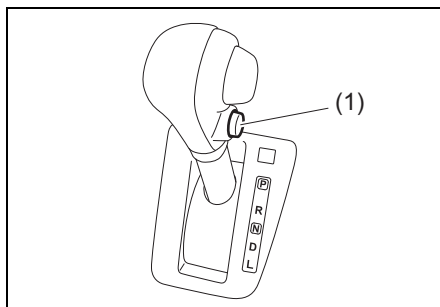
2 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



83S05130

Sモードスイッチ

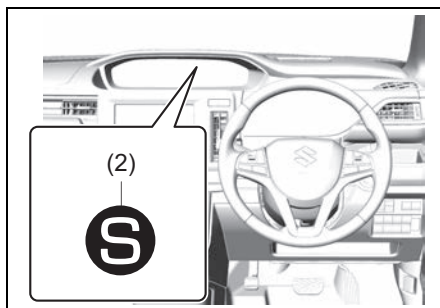
- スイッチを押すごとに、ON と OFF が切り替わります。



63R40110

(1) Sモードスイッチ

- ONのとき、メーター内のSモード表示灯 (2) が点灯します。



83S05141

- S モードスイッチは、エンジン始動時にはOFF状態にもどります。

⚠️ アドバイス

ヘッドアップディスプレイ装備車は、表示灯がディスプレイにも表示されます。

→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

■ スイッチがONのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

- 下り坂ではエンジンプレーキがかかります。

■ スイッチがOFFのとき

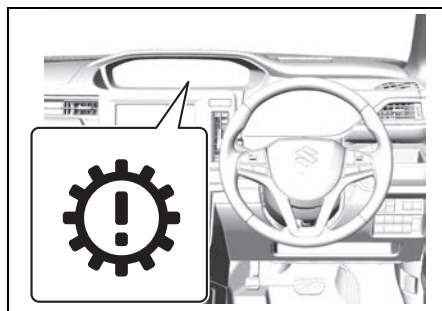
通常走行に適しています。

- 燃費性能と静粛性の高い走行ができます。

オートマチック車を運転するとき

ハイブリッド車以外

トランスミッション警告灯



メーターパネル内にあります。

→ **1-20ページ (警告灯)**

- CVT のシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ **4-60ページ**

(トランスミッション警告灯)

R (リバース) ポジション 警告ブザー

セレクトレバーを **R** に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが **R** に入っていることを運転者に知らせます。

⚠️ アドバイス

R (リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

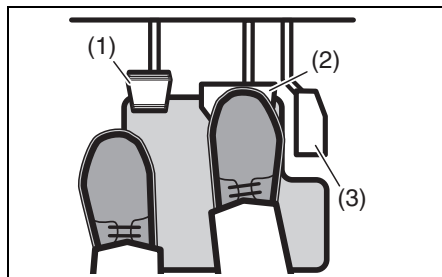
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

⚠ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ペダルの踏み間違いには注意してください。

ブレーキペダルは右足で踏む



81M20060

- (1) パーキングブレーキペダル
- (2) ブレーキペダル
- (3) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作すると、急発進して事故を起こすおそれがあります。
アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は **[P]**、前進時は **[D]**、後退時は **[R]** に入っていることを目で確認してください。

車から離れるときは

⚠ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **P** 以外に入っていると、車がひとりで動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。



83S05050

オートマチック車の特性

ハイブリッド車以外

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠ 注意

- セレクトレバーを **P** **N** 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時などは、クリープ現象が強くなる場合があります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

👉 アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

⚠ 注意

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速をするおそれがあります。
通常の加速をするときは、ゆっくり踏み込んでください。

5

登降坂変速制御

セレクトレバーが **D** 位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

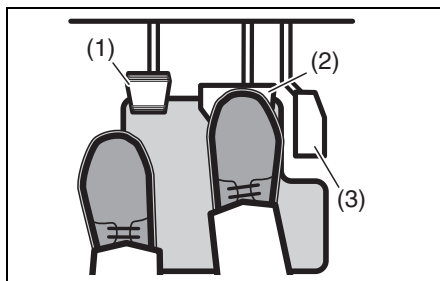
オートマチック車の運転のしかた

ハイブリッド車以外

5-52ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートやハンドルを調節します。
→ 2-4ページ（前席シート）
→ 2-9ページ（チルトステアリング）
- 2 アクセルペダル（3）とブレーキペダル（2）の位置を右足で確認します。
- 3 パーキングブレーキペダル（1）の位置を左足で確認します。

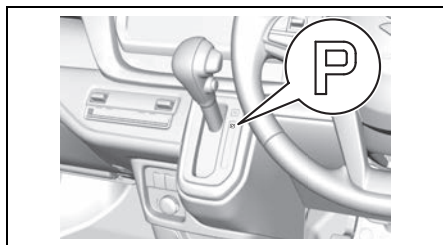


81M20060

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は 5-14 ページの「エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動）」をお読みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 セレクトレバーが **P** にあるか確認します。



83S05050

⚠️ アドバイス

セレクトレバーが **N** 位置でもエンジンがかかりますが、安全のため **P** でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

⚠️ 注意

キーレスブッシュスタートシステム装備車は、エンジンスイッチを確実に押せていない場合、エンジンがかかっていないことがあります。エンジンがかかっていない状態でセレクトレバーを **R** または **D** に入れても車は動きません。この状態で発進しようとする、坂道などで意図しない方向に車が動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。エンジンを始動するときは、エンジンスイッチを確実に押し、エンジン音や警告灯などで、エンジンがかかっていることを確認してください。

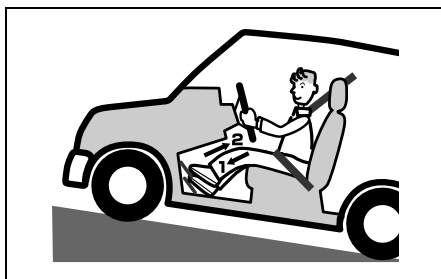
発進

■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏み込みます。
- 2 前進時は **D**、後退時は **R** にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

- 1、2 は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏みます。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足を離し、アクセルペダルを慎重に踏みます。
- 5 車が動き出す感触を確認しながら、パーキングブレーキペダルをもどして発進します。



82K202

アドバイス

ヒルホールドコントロール装備車の場合、急な上り坂での発進時に車が後退することを一定時間防ぐ機能があります。

→ 5-195ページ
(ヒルホールドコントロール)

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを **[D]** に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

警告

走行中にセレクトレバーを **[N]** に入れると、エンジンブレーキがまったく効かないため、思いがけない事故の原因となります。

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを **[N]** に入れないでください。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を **[D]** で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

■ 下り坂走行

下り坂を **[D]** のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ S モードスイッチを ON にしてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには **[L]** に入れます。

警告

急な下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。

一時停止

- 1 セレクトレバーは走行位置のままです。ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
 - 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
 - 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを **[N]** に入れます。
- 2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠ 警告

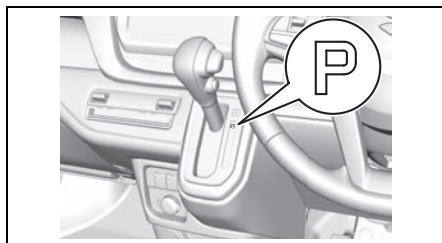
セレクトレバーが **[P]** **[N]** 以外に入っていると急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。

注 記

上り坂などで、ブレーキを踏まずにアクセル操作で車を停止させようとすると、トランスミッションフルードが過熱し、故障の原因となります。
上り坂などでも、ブレーキを踏んで車を停止させてください。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを **[P]** に入れたからエンジン止め、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。
 - セレクトレバーが **[P]** 位置になっているか目で確かめます。



⚠ 警告

セレクトレバーが **[P]** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作など思わぬ事故につながるおそれがあります。
駐車するときは、セレクトレバーを **[P]** に入れたからエンジンを止めてください。

🔊 アドバイス

パーキングブレーキをかける前にセレクトレバーを **[P]** に入れ、エンジンを止めた場合、エンジンを再始動後にレバーを **[P]** 以外の位置へ操作しようとする、レバー操作が重い、あるいはいつもと違う音やショックが発生することがありますが、異常ではありません。

4 エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどします。

→ 5-18 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行ってください。

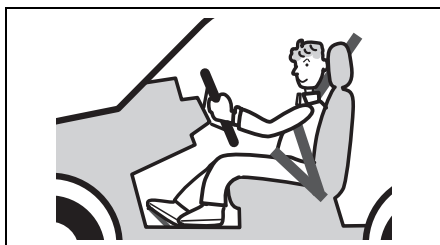
🔊 アドバイス

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **R** に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **R** から **N** に入れる習慣をつけてください。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

⚠ 注意

セレクトレバーが前進位置で後退したり、後退位置で前進したりすると、エンストしてブレーキの効が悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。坂道などで、セレクトレバーを前進の位置 (**D**、**L**) にしたまま自重で後退したり、後退の位置 (**R**) にしたまま自重で前進したりしないでください。

■ 停車するとき

注 記

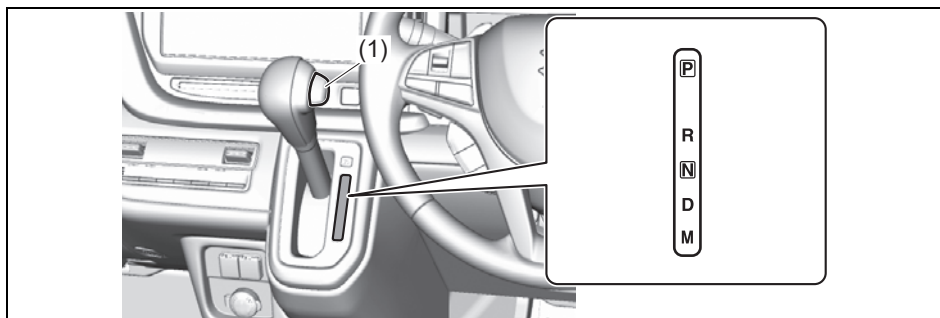
車が少しでも動いているときにセレクトレバーを **P** に入れると、トランスミッションが故障する原因となります。車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを **P** に入れないでください。

セレクトレバーの操作

ハイブリッド車

※本書で「オートギヤシフト車」と記載されている場合は、「AGS（オートギヤシフト）車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき



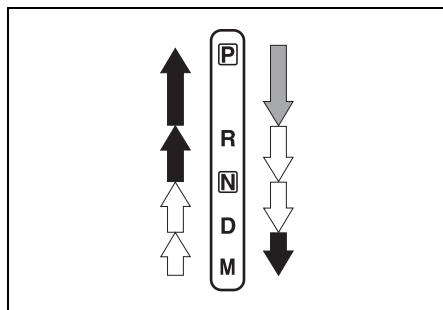
83SR5190

(1) ボタン

5

P パーキング	駐車するとき、ハイブリッドシステムを起動・停止するときの位置 ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ● ハイブリッドシステムを起動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
M マニュアル	マニュアルモードで走行するときの位置 ● マニュアル感覚で走行したいとき、坂道や山間路を走行するときなどに使用します。 → 5-66ページ（マニュアルモードの使いかた）

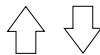
セレクトレバーの動かし方



83SR5200



ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。



ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

- セレクトレバーを操作したときは、必ずメーター内のセレクトレバー位置表示を確認してください。
- エンジンスイッチが **ON** でも、READY 表示灯が点灯していない状態では、セレクトレバーを操作しても実際のギヤポジションは切り替わりません。また傾斜がある場所では、ブレーキを放したときに傾斜によって意図しない方向に車が動いてしまうことがあります。

アドバイス

⇕ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣を付けてください。常にボタンを押して操作していると、間違っ^てて **P**、**R**、**M** の位置へ入ってしまうおそれがあります。

- 次のような操作をすると、メーター内の表示や警告ブザーでお知らせします。
 - ・ 車両が前進している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを **D**、**M**、**N** から **R** へ操作、または車両が後退している状態で、ブレーキペダルを踏まないでセレクトレバーを **R**、**N** から **D**、**M** へ操作すると、メーター内のブレーキリクエストインジケーターが点灯、セレクトレバー位置表示が点滅し、警告ブザーが鳴ります。ブレーキペダルを踏んで完全に停車してから、セレクトレバーの操作をやり直してください。
 - ・ セレクトレバーを操作したとき、セレクトレバーの位置と実際のギヤが異なる場合、セレクトレバー位置表示が点滅し、警告ブザーが鳴ります。そのまま少し（2～3秒）待ってもセレクトレバー位置表示が切り替わらないときは、ブレーキペダルを踏んで、セレクトレバーの操作をやり直してください。

注意

運転席および助手席にお乗りの方の乗車姿勢によってはひざなどが当たって、セレクトレバーを動かしてしまうことがあります。

注 記

- 完全に停車させてから、セレクトレバーを **D**、**M** または **R** に入ってください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。
- トランスミッション警告灯が点灯したときは、ただちに運転をやめて、スズキサービス工場で点検を受けてください。警告灯が点灯しているとき、次のようになることがあります。
→ 4-60ページ
(トランスミッション警告灯)
 - ・セレクトレバーを操作しても変速できない
 - ・車速が10 km/h以下になると、自動でN（ニュートラル）になり、メーター内のセレクトレバー位置表示がNに点滅し、警告ブザーが鳴る
 - ・停車時にエンジンが停止
 - ・ハイブリッドシステムが起動できない

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** からほかの位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを **P** からほかの位置に動かさせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** からほかの位置へ動かせない場合、次のページの手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスズキサービス工場で点検を受けてください。

5

⚠ 警告

セレクトレバー可動部に飲み物などをこぼしたり、内部に異物が入ったりした場合、そのまま使用を続けるとシフトロックシステムが正常に機能しなくなるおそれがありますので、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 注意

発進するときは、ブレーキペダルをしっかり踏んだままセレクトレバーを操作してください。

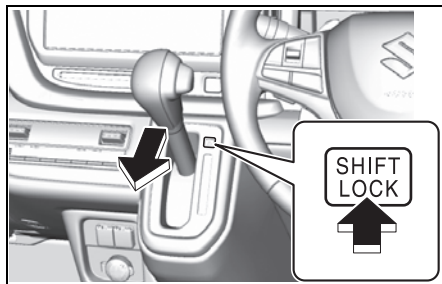
■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障や鉛バッテリーあがりなどで、セレクトレバーを **[P]** からほかの位置へ動かさせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

1 安全のため、パーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

2 メーター内の READY 表示灯が点灯していないことを確認します。
→ **4-73ページ**
(READY表示灯)

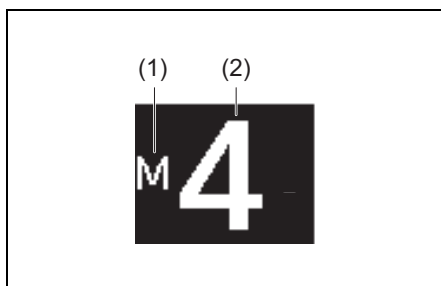
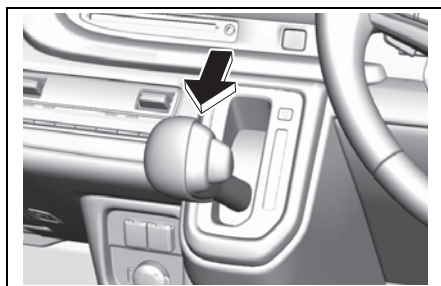
3 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



マニュアルモードの使いかた

[D] で走行中、オートギヤシフト車は自動的に変速しますが、マニュアルモード（手動変速モード）にすると、任意に変速することができます。マニュアルモードにするときは、セレクトレバーを **[D]** から **[M]** に動かします。

- メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに、**[M]**（マニュアル）モード表示 (1) と現在のギヤポジションが表示されます
- セレクトレバーを **[D]** から **[M]** に動かした直後のギヤポジションは、**[D]** のときに自動的に選択されていたギヤポジションです。



- (1) M(マニュアル)モード表示
(2) ギヤポジション表示

- セレクトレバーを **[M]** に動かさなくても、走行中 **[D]** のままパドルシフトスイッチを手前に引くと、一時的にマニュアルモードにすることが出来ます。

→ 5-68 ページ（一時的にマニュアルモードにするときは）

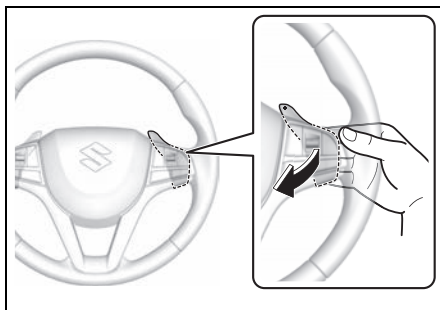
■ マニュアルモード時のシフト操作

ギヤポジションは、走行速度に応じて1速から5速まで選択できます。

- エンジンおよびトランスミッション保護のため、シフト操作をしなくてもエンジンが高回転になると、自動的にシフトアップします。
- シフト操作をしなくても車のスピードが低下すると、自動的にシフトダウンし、停車するとギヤポジションは **1** になります。

シフトアップしたいとき

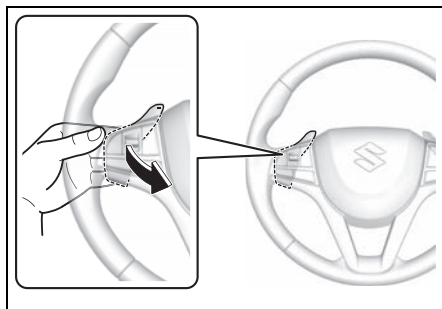
ハンドルの右側にあるパドルシフトスイッチ（+側）を手前に引きます。手を離すと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。



83SR5230

シフトダウンしたいとき

ハンドルの左側にあるパドルシフトスイッチ（-側）を手前に引きます。手を離すと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。



83SR5240

アドバイス

- 連続して変速したいときは、パドルシフトスイッチから手を離してから、スイッチを引き直す必要があります。スイッチを引いた状態のままでは、連続して変速できません。
- 左右のパドルシフトスイッチを同時に操作すると、変速しないことがあります。

■ マニュアルモードシフト警告

走行性能を確保するため、またはトランスミッションの保護のため、シフト操作をしても希望するギヤポジションに変速されない場合があります。

このようなときは、メーター内に現在使用しているギヤポジション表示が点滅し、警告ブザーが鳴ります。

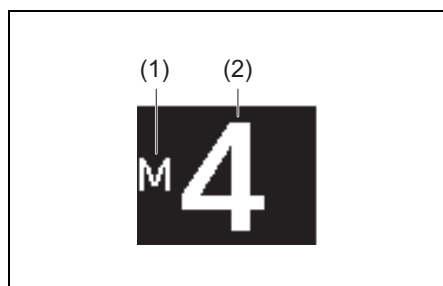
→ 1-38 ページ（警告ブザーが鳴ったときは）

■ マニュアルモードを解除するときは

セレクトレバーを **[M]** から **[D]** にもどすと、マニュアルモードが解除されます。

■ 一時的にマニュアルモードにするときは

[D] で走行中（低車速時を除く）に、パドルシフトスイッチを手前に引きます。メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに、**[M]**（マニュアル）モード表示（1）と現在のギヤポジションが表示されます。



54PJ000045

(1) M(マニュアル)モード表示

(2) ギヤポジション表示

- 次のような操作または状況になると、マニュアルモードが自動的に解除され、もとの制御にもどります。
 - ・ 変速しないで、一定時間アクセルペダルを踏み続けたとき
 - ・ 低車速になったとき

オートギヤシフト車の特性

ハイブリッド車

オートギヤシフト車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートギヤシフト車特有の機能や操作上の注意があります。

クリープ機能に注意して

ハイブリッドシステムを起動した状態で停車しているとき、セレクトレバーが **[P]** **[N]** 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ機能といいます。ブレーキペダルを踏んでいるときは、クリープ機能は働きません。

⚠ 注意

- セレクトレバーを **[P]** **[N]** 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- ハイブリッドシステム起動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなる場合があります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

🔊 アドバイス

トランスミッション警告灯が点灯したり、点滅したりしているときはクリープ機能が働かない場合があります。

→ 4-60ページ

（トランスミッション警告灯）

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをするときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

⚠ 注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱい踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登降坂変速制御

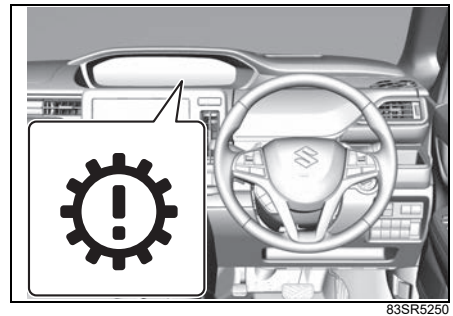
セレクトレバーが **[D]** の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンプレーキがかかります。

オートギヤシフト車を運転するとき

ハイブリッド車

トランスミッション警告灯



メーター内にあります。

- AGSのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯または点滅し、次のようになることがあります。点灯または点滅したままの場合は、落ち着いてただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。また、警告灯が消灯した後、再度点灯または点滅した場合は、スズキサービス工場での点検を受けてください。
 - ・セレクトレバーを操作しても変速できない
 - ・車速が10 km/h以下になると、自動でN（ニュートラル）になり、メーター内のセレクトレバー位置表示がNで点滅し、警告ブザーが鳴る
 - ・停車時にエンジンが停止
 - ・ハイブリッドシステムが起動できない

- 次のような操作をすると、トランスミッションに負荷がかかってトランスミッションが高温になります。警告灯が点滅するとともに、警告ブザーが鳴ります。安全な場所に停車して、しばらくハイブリッドシステムを停止し、トランスミッションを冷やしてください。再度、エンジンスイッチを[ON]にして、警告灯の点滅と警告ブザーが止まっていることを確認してから走行してください。

- ・ 上り坂で発進と停止を繰り返している
- ・ 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、クリープ機能を利用して停車している
- ・ ブレーキペダルを踏みながらアクセルペダルを踏み続けている
- ・ パーキングブレーキをかけた状態でアクセルペダルを踏み続けている

→ 1-28ページ

(警告ブザーが鳴ったときは)

→ 1-20ページ (警告灯・表示灯)

5

[R] (リバース) ポジション 警告ブザー

セレクトレバーを [R] に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが [R] に入っていることを運転者に知らせます。

⚠️ アドバイス

[R] (リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

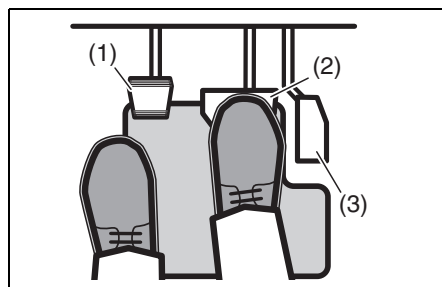
⚠️ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ペダルの踏み間違いには注意してください。

注 記

アクセルペダルとブレーキペダルの両方を同時に踏まないでください。トランスミッションが損傷したり、発熱したりする原因になります。

ブレーキペダルは右足で踏む



81M20060

- (1) パーキングブレーキペダル
- (2) ブレーキペダル
- (3) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するとき

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。
- セレクトレバーを操作したときに、セレクトレバー位置表示が点滅し、警告ブザーが鳴った場合、セレクトレバーの位置と実際のギヤにずれが生じています。そのまま少し（2～3秒）待っても切り替わらないときは、ブレーキペダルを踏んでセレクトレバーの操作をやり直してください。
- セレクトレバーの位置とメーター内の表示が異なる場合、メーター内の表示が正しいギヤの位置を示しています。

⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は **[P]**、前進時は **[D]** または **[M]**、後退時は **[R]** にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



83SR5260

⚠ 警告

ハイブリッドシステムを作動させたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **[P]** 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートギヤシフト車の運転のしかた

ハイブリッド車

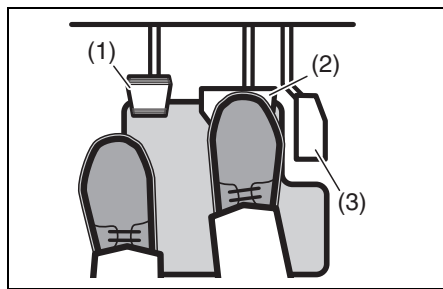
5-63 ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートやハンドルを調節します。
→ 2-4ページ（前席シート）
→ 2-9ページ
（チルトステアリング）

- 2 アクセルペダル (3) とブレーキペダル (2) の位置を右足で確認します。

- 3 パーキングブレーキペダル (1) の位置を左足で確認します。



81M20060

ハイブリッドシステムの起動

ハイブリッドシステムの起動の詳細は、5-14 ページの「エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動）」をお読みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 セレクトレバーが **P** にあるか確認します。



83SR5260

⚠️ アドバイス

セレクトレバーが **N** の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため **P** でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 ハイブリッドシステムを起動します。

▲ 注意

キーレスブッシュスタートシステム装備車は、エンジンスイッチを確実に押していない場合、エンジンがかかっていないことがあります。エンジンがかかっていない状態でセレクトレバーを **R** または **D** に入れても車は動きません。この状態で発進しようとする、坂道などで意図しない方向に車が動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンを始動するときは、エンジンスイッチを確実に押し、エンジン音や警告灯などで、エンジンがかかっていることを確認してください。

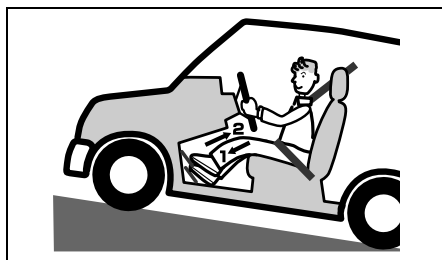
発進

■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。
- 2 前進時は **D**、後退時は **R** にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。
●アクセルペダルを踏まなくても、ブレーキペダルを離すと、クリーブ機能が働いて車がゆっくり動きます。

■ 急な上り坂での発進

- 1、2 は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 ブレーキペダルからゆっくりと右足を離し、アクセルペダルを慎重に踏みます。
- 4 車が動き出す感触を確認しながら、パーキングブレーキレバーを解除して発進します。



82K202

📌 アドバイス

パーキングブレーキをかけると、ヒルホールドコントロールが作動しません。

→ 5-195ページ
(ヒルホールドコントロール)

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを **[D]** に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠ 警告

高速走行中のマニュアルモードでの過度なシフトダウンに注意してください。急激なエンジンブレーキがかかって、スリップ事故を起こすおそれがあります。また、エンジンの回転が上がすぎて故障の原因となります。

⚠ 注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを **[N]** にしないでください。回生ブレーキ（エンジンブレーキ）がまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

注 記

空ぶかし状態でセレクトレバーを **[D]**、**[M]** または **[R]** に操作するとクラッチが故障または破損するおそれがあります。

📌 アドバイス

セレクトレバーを **[D]** へ操作したとき、正常に変速できないと再度システムが自動で変速します。このとき作動音が聞こえたり、変速時の衝撃を感じたりすることがありますが異常ではありません。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 坂道走行（登降坂変速制御）

（上り坂走行）

登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。

- スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

📌 アドバイス

EV 走行中のとき、平坦路から急な上り坂になるとエンジンが自動再始動することがあります。

（下り坂走行）

降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

- エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。
 - ・ 坂の勾配に応じて、あらかじめパドルシフトスイッチ（一側）を操作して適切なギヤポジションにし、エンジンブレーキを併用します。

→ 5-66ページ

（マニュアルモードの使いかた）

⚠ 警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（**D** **M**）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（**R**）にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

一時停止

1 セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかり踏み込みます。

- 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 停車時間が長くなりそうときは、セレクトレバーを **N** に入れます。

2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置、メーター内のセレクトレバー位置表示およびパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠ 警告

一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 記

上り坂などで、アクセル操作またはクリープ機能を利用して車を停止し続けると、トランスミッションが高温になりトランスミッション警告灯が点滅し、警告ブザーが鳴り続けます。トランスミッションが故障または破損するおそれがあります。安全な場所に停車して、しばらくハイブリッドシステムを停止し、トランスミッションを冷やしてください。再度、エンジンスイッチを **ON** にして、警告灯の点滅と警告ブザーが止まっていることを確認してから走行してください。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを **[P]** に入れてからハイブリッドシステムを停止し、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。
 - セレクトレバーが **[P]** の位置になっているか目で確かめます。



⚠ 警告

駐車するときは、セレクトレバーを **[P]** に入れてからハイブリッドシステムを止めてください。 **[P]** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

ℹ アドバイス

パーキングブレーキをかける前にセレクトレバーを **[P]** に入れ、エンジンを止めた場合、エンジンを再始動後にレバーを **[P]** 以外の位置へ操作しようとすると、レバー操作が重い、あるいはいつもと違う音やショックが発生することがありますが、異常ではありません。

- 4 エンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどしハイブリッドシステムを停止します。

→ **5-18ページ(エンジンスイッチをもどすときは)**

- ハイブリッドシステムを停止したあと、セレクトレバーを操作しないでください。もし、操作してしまった場合は、**[P]** にもどしておいてください。

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

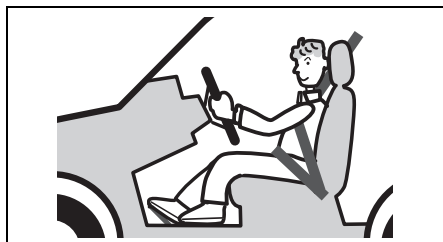
ℹ アドバイス

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入れる習慣をつけてください。
- セレクトレバーを **[R]** へ操作したとき、作動音が聞こえたり、変速時の衝撃を感じたりすることがありますが、異常ではありません。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

⚠ 注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（**D** **M**）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（**R**）にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 停車するとき

注 記

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを**P**に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

スズキ セーフティ サポート

タイプ別装備

スズキ セーフティ サポートの各機能により事故の予防、回避、または被害の軽減を図ります。

スズキ セーフティ サポートの各機能

- デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）（タイプ別装備）
→ 5-88ページ
- 誤発進抑制機能（タイプ別装備）
→ 5-93ページ
- 車線逸脱警報（タイプ別装備）
→ 5-95ページ
- 車線逸脱抑制機能（タイプ別装備）
→ 5-97ページ
- ふらつき警報（タイプ別装備）
→ 5-102ページ
- 先行車発進お知らせ機能（タイプ別装備）
→ 5-103ページ
- ハイビームアシスト（タイプ別装備）
→ 5-104ページ
- アダプティブクルーズコントロール（タイプ別装備（ハイブリッド車））
→ 5-108ページ
- アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）（タイプ別装備（ハイブリッド車以外））
→ 5-121ページ
- 標識認識機能（タイプ別装備）
→ 5-136ページ
- 後退時ブレーキサポート（タイプ別装備）
→ 5-147ページ
- 後方誤発進抑制機能（タイプ別装備）
→ 5-150ページ
- リヤパーキングセンサー
→ 5-154ページ

- 全方位モニター
(全方位モニター用カメラ装備車)
→ 5-168ページ

次の項目もあわせてお読みください。

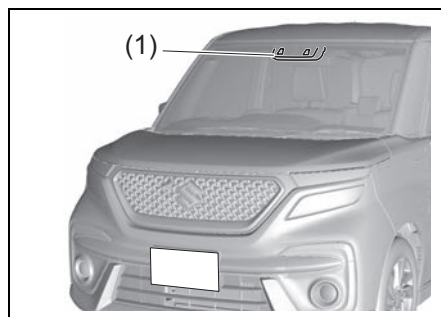
- 5-78ページ (ステレオカメラ)
- 5-141ページ (超音波センサー)
- 5-135ページ
(デュアルカメラブレーキサポート
(DCBS) OFFスイッチ)
- 5-136ページ
(車線逸脱警報OFFスイッチ)
- 5-157ページ
(リヤパーキングセンサー ブザー
OFFスイッチ)
- 6-17ページ
(車検を受けるときの注意)
- 8-5ページ
(けん引してもらうときは)

前方

ステレオカメラ

タイプ別装備

前方のスズキセーフティサポート各機能のために障害物や区画線などを検知します。



83S05160

(1) ステレオカメラ

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

警告

ステレオカメラによる検知機能には限界があり、すべての車両や障害物、区画線、道路標識を検知できるわけではありません。走行中は常に周囲の状況を確認し、必要に応じてブレーキペダルなどを操作して安全運転に努めてください。

●ステレオカメラを正しく作動させるために、次のことをお守りください。取扱いを誤ると、前方障害物や区画線、道路標識を正しく検知できなくなり、誤作動し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・ステレオカメラのレンズ部には触れない
- ・ステレオカメラのレンズ部は清掃しない
- ・ステレオカメラ本体、およびその周辺部に強い衝撃や力を加えない
- ・ステレオカメラを取り外したり、分解したりしない
- ・ステレオカメラのレンズ部にフィルムやステッカーなどを貼らない（透明なものを含む）
- ・煙タイプの消臭剤等は使用しない
- ・ルーフ上に長い荷物（サーフボードやスキー板など）を積載するときは、ステレオカメラの視野をさえぎらない

警告

●ステレオカメラは人の目と似た特性を持っているため、霧や大雨などで前方の視界が悪いときには、ステレオカメラも同様に前方車両や障害物、区画線、道路標識を検知しづらくなります。

●ステレオカメラによる前方車両や障害物、区画線、道路標識の検知は視野範囲内に限られています。また、視野範囲に対象物が入ってから制御、警報の対象となるまでには数秒間かかります。

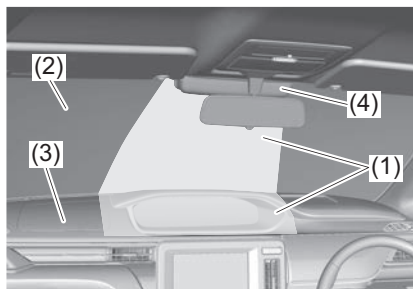
●接触事故などでステレオカメラ周辺部が変形・損傷した場合や、ステレオカメラ前面のフロントガラスにひび割れなどの傷がある状態で走行すると、ステレオカメラが前方障害物や区画線、道路標識を正しく検知できなくなり、誤作動して思わぬ事故につながるおそれがあります。

デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFF スイッチを操作して、DCBS および誤発進抑制機能を停止させ、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

●次の場所にアクセサリ（スズキ純正用品を除く）などの取り付けや設置、フィルムやステッカーなどの貼付けをしないでください。ステレオカメラの視野に影響したり、安定した検知ができなかったりして、システムが正常に作動しない場合があります。また、禁止エリア（1）以外に置いた場合でも、光の反射やガラスへの映りこみなどにより、ステレオカメラの動作に異常があるときは移動させてください。

- ・フロントガラス（2）
- ・インパネ上面（3）
- ・ボンネット



83S05180

(4)ステレオカメラ

※ 検査標章（車検ステッカー）は、前図の禁止エリア（1）に貼らないでください。また、ETCアンテナや無線機などを取り付けるときはスズキ販売店またはスズキ代理店に相談ください。ステレオカメラに悪影響をあたえるおそれがあります。

⚠ 注意

次のとき、ステレオカメラが安定して検知できず、システムが正常に作動しない場合があります。

- ワイパーのふき残しが発生したとき
- スズキ純正品以外のフロントガラスを使用したとき
- スズキ指定以外のガラスコーティング剤を使用したとき

注 記

レンズ部が汚れてカメラの交換が必要になるおそれがあるため、次のことをお守りください。

- ステレオカメラのレンズ部には触れない
- ステレオカメラのレンズ部は清掃しない

■ ステレオカメラの一時停止・故障

次の表のようになったとき、ステレオカメラが一時停止または故障しています。

ステレオカメラ		
	システム 一時停止	故障
(1) 	点灯	
(2) 	点灯	
(3) 	点灯	
(4) 	点灯	
(5) 	点灯	
(6) 	点灯	
(7) 一時機能停止中	点灯	消灯
(8) システム 要点検	消灯	点灯
(9) 	点滅	

- (1) デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯
- (2) 車線逸脱警報作動表示灯
- (3) 車線逸脱抑制機能警告灯
- (4) アダプティブクルーズコントロール システム警告灯

- (5) 後退時ブレーキサポート作動表示灯
- (6) ハイビームアシスト警告灯
- (7) マルチインフォメーションディスプレイの表示
- (8) マルチインフォメーションディスプレイの表示
- (9) マスターウォーニング

以下のような場合にも表示することがあります。

- ・街灯のない暗い道路を走行しているとき
- ・勾配の変化がきつい坂を走行しているとき
- ・ガレージの中で停車しようとしているとき
- ・単色の壁に前向きにゆっくり接近しているとき
- ・シャッターや横縞の壁に前向きにゆっくり接近しているとき

🔊 アドバイス

- システム一時停止または故障のときは次の機能が停止します。
 - ・デュアルカメラブレーキサポート (DCBS)
 - ・誤発進抑制機能
 - ・車線逸脱警報機能
 - ・車線逸脱抑制機能 (タイプ別装備)
 - ・ふらつき警報機能
 - ・先行車発進お知らせ機能
 - ・ハイビームアシスト
 - ・アダプティブクルーズコントロール (タイプ別装備)
 - ・アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) (タイプ別装備)
 - ・標識認識機能
 - ・後退時ブレーキサポート
 - ・後方誤発進抑制機能
 - ・リヤパーキングセンサー

ステレオカメラのシステム一時停止

次のようなときステレオカメラが一時停止します。
状況が改善されれば、システムの一時停止は解除されます。

表示される内容	原因	対処方法
 システム 一時機能停止中 59R40510	次の状態のため、ステレオカメラの機能が一時停止しています。 ・スズキ セーフティ サポートに関連するシステムが一時停止した ・鉛バッテリーの電圧が一時的に異常になった ・ステレオカメラの自動調整が一時的に不十分になった	原因が解消するまで、周囲に十分注意して走行してください。 表示がしばらく経過しても消えない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
 システム 一時機能停止中 (カメラ温度範囲外) 59R40520	ステレオカメラ本体が低温または高温になったことで、ステレオカメラの機能が一時停止しています。	
 システム 一時機能停止中 (カメラ視界不良) 59R40530	ステレオカメラの視界不良により、ステレオカメラの機能が一時停止しています。以下の原因が考えられます。 ・大雨、吹雪、霧などの悪天候 ・ステレオカメラの前部のフロントガラスの外に汚れ、油膜、雨滴などが付着している ・前方から強い光（逆光、対向車のヘッドライトの光など）を受けた	●悪天候のときはフロントワイパーを使用してください。フロントワイパーを使用してもシステム一時停止が解除されない場合は、天候が回復するのを待ちください。 ●ワイパーとウォッシャー、またはやわらかい布などでフロントガラスの外の汚れ、油膜、雨滴などをふき取ってください。 ●前方から強い光が無くなるのを待ちください。 → 3-43ページ (ワイパー / ウォッシャースイッチ)

表示される内容	原因	対処方法
 デフロスターを 最大風量で 使用してください (カメラ視界不良) 59R41040  システム 一時機能停止中 (カメラ視界不良) 59R40530 (※)	ステレオカメラの前部のフロントガラスが曇っている、または凍り付いています。	エアコンを作動させ、フロントデフロスターを以下の条件で使用して曇りなどを取り除いてください。 ・ 外気導入に切替える ・ 設定温度を上げる ・ 風量を最大にする → 7-23ページ (オートエアコン)

※ 2つのメッセージが交互に表示されます。

🔊 アドバイス

- 車内の湿度が高いときや車内と外気の温度差が大きいときなどはフロントガラスが曇りやすくなります。
- ステレオカメラがフロントガラスの曇りを検知した直後は「デフロスターを最大風量で使用してください (カメラ視界不良)」のみが一定時間、一定間隔で表示されますが、ステレオカメラの機能は一時停止しません。フロントデフロスターを使用してくもりなどを取り除いてください。状況が改善されればメッセージは解除されます。

ステレオカメラの故障

故障したときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にするまでシステムが停止します。

安全な場所に停車して、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にし、エンジン (ハイブリッドシステム) を止めてください。再度、エンジンを始動したとき (ハイブリッドシステムを起動したとき)、デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯、車線逸脱警報作動表示灯およびハイビームアシスト警告灯が点灯していることを確認します。

- エンジンを再始動 (ハイブリッドシステムを再起動) しても表示灯が点灯している場合、ステレオカメラの故障が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

5

故障の原因として次のようなことが考えられます。

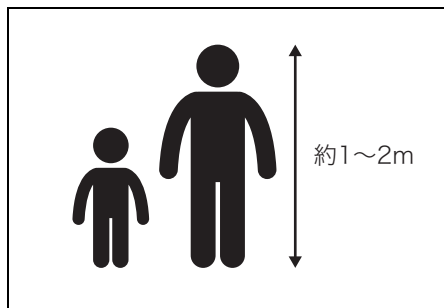
- ステレオカメラが異常のとき
- ステレオカメラ本体の温度が異常に低い、または異常に高いとき
- ステレオカメラの取り付けが大きくずれたとき
- エンジン、トランスミッション、ブレーキのコントローラおよびコントローラ間の通信が異常になったとき
- デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチが異常のとき
- 車線逸脱警報 OFF スwitchが異常のとき
- ハンドルの舵角センサが異常のとき
- ステレオカメラの電源が遮断された

アドバイス

- エンジンを始動 (ハイブリッドシステムを起動) したあと、次のようなときにもデュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯、車線逸脱警報作動表示灯およびハイビームアシスト警告灯が点灯しますが、これは故障ではありません。エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にし、エンジンを再始動 (ハイブリッドシステムを再起動) すれば表示灯が消灯します。
 - ・ 衝突被害軽減ブレーキ機能が3回作動したとき
 - ・ 衝突被害軽減ブレーキ機能が長時間作動したとき
- デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯、車線逸脱警報作動表示灯およびハイビームアシスト警告灯が点灯し、故障が考えられる場合、システムが停止しますが、通常の走行には支障ありません。

■ 歩行者の検知

対象物の大きさや形状、動きから歩行者の検知を行っています。



81M40470

⚠ 警告

検知条件を満たしていても、必ず歩行者を検知できるわけではありません。次のような状況では、検知ができない、または検知が遅れる可能性が高くなります。常に安全運転に努めてください。

- 集団で歩いている
- 壁際や別の障害物のそばにいる
- 傘をさしている
- 背景と似た色合いで風景に溶け込んでいる
- 大きな荷物をもっている
- 前かがみやしゃがんだ姿勢でいる
- 横たわっている
- 横から急に、目の前に飛び出してきた
- 背景、周囲の明るさが一様ではない（薄暮、街灯、対向車のヘッドライトの光など）

■ こんな場合検知できないことがあります

- 次のようなとき、ステレオカメラが前方の障害物や区画線、道路標識を検知できない可能性が高くなります。また、スズキ セーフティ サポートが一時停止になる場合があります。状況が改善されると再び機能は作動します。
 - ・ 大雨、濃霧および吹雪などの悪天候のとき
 - ・ 前方から強い光（逆光、対向車のヘッドライトの光など）を受けたとき
 - ・ 雪景色など、周囲一面が同じような色合いのとき
 - ・ 真っ暗で周囲にものがないとき
 - ・ 前方車両の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などで前方の視界が悪いとき
 - ・ 夕方、朝方の薄暗いときや、屋内駐車場などの暗い場所で対象物に接近するとき
 - ・ フロントガラスにくもり、雪、氷、土埃などが付着して汚れているとき
 - ・ フロントガラス上の雨滴や水滴、汚れが十分にふき取れてないとき
 - ・ フロントウォッシャーの使用時
 - ・ スズキ純正品以外のワイパーブレードを装着したとき（長さが短いタイプ含む）

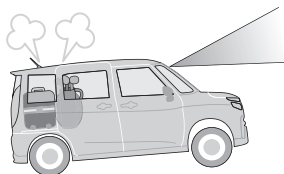
例



81M40380

- ・スズキ指定以外のガラスコーティング剤を使用したとき
- ・インパネ上面をケミカル剤などで光沢をもたせたとき
- ・フロントガラスへの映り込みがあるとき
- ・レンズ前を手などでふさいだとき
- ・レンズを汚したり傷をつけたとき
- ・次のように、ステレオカメラの視界をさまたげたとき
 - ・フロントガラスにステッカーやフィルムを貼った
 - ・フロントガラスに傷、ひびなどが生じた
 - ・ルーフキャリアやスキー板などの長尺物を搭載した
- ・重い荷物を積んで、車両が傾いているとき

例



83S05200

- ・タイヤの空気圧が適正でない、または摩耗したタイヤのとき
- ・タイヤチェーンを装着したり、指定サイズ以外のタイヤを装着したりしたとき
- ・ホイールアライメントがずれているとき
- ・パンクを応急修理したとき
- ・サスペンションを改造したとき
- ・トンネルの出入り口を通過するなど、明るさが極端に変化するとき
- ・夜間やトンネル内でヘッドライトを点灯せずに走行しているとき
- ・急な坂道や急なカーブ、道路の継ぎ目を走行しているとき

- ・ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ・ヘッドライトやフォグランプを改造したとき
- ・ヘッドライトに汚れ、冰雪、泥などが付着しているとき

- 次のような車両や障害物、状況は、ステレオカメラが前方の障害物を検知できなかったり、検知に時間がかかる場合があります。
 - ・前方車両の最後面が小さい（トレーラーなど）、低い、または凹凸がある
 - ・荷台にあおりがなく荷物が載っていないトラックなど
 - ・後端から積荷が飛び出している車両など
 - ・特殊な形状の車両（キャリアカー、サイドカーなど）
 - ・車高の低い車両など

例

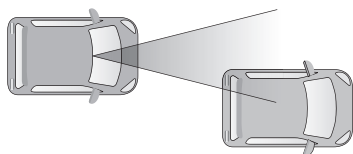


83S05210

- ・ふらつき運転をしているとき
- ・先行車が太陽光などを強く反射しているとき
- ・対向車両やバックしてくる車両
- ・横向きの車両
- ・夜間またはトンネル内で、テールランプが点灯していない先行車
- ・停車している車両の前に壁などがある
- ・車両の近くに別の障害物がある
- ・フェンス、均一な模様（縞模様やレンガなど）や模様のまったくない壁、シャッターなどのとき
- ・標識や街灯、電柱、木などポール状のもの

- ・ 高さの低い障害物
- ・ 鏡の壁や扉、ガラスなどのとき
- ・ 小動物や幼児などの高さの低い対象物
- ・ ガードレール
- ・ 自車バンパーの近い位置に対象物が存在する
- ・ 前方車両の一部しかステレオカメラの検知範囲に入っていないとき

例



72M20406

- ・ カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからしばらくの間
- ・ 前方車両との速度差が大きい場合
- ・ 前方車両と近距離の場合
- ・ 前方車両が急ハンドル、急加速、急減速した
- ・ ヘッドライト照射範囲外に対象物がある場合
- ・ 横からすぐ目の前に飛び出してきた
- ・ 自車が車線変更を行ない、先行車のすぐ後ろに接近した

- 次のような区画線や状況は、ステレオカメラが区画線を検知できなかったり、検知に時間がかかる場合があります。
 - ・ 車線の幅が狭いとき
 - ・ 車線が検知しづらいとき
 - ・ 区画線がない、または消えている
 - ・ 区画線の色が路面の色と似ている
 - ・ 区画線の幅が狭い
 - ・ 区画線がかすれている、または道路鉾や置き石などがある
 - ・ 区画線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっている
 - ・ 雨天、雨上がり、水たまりなどぬれた路面を走行している
 - ・ 区画線が縁石等の上に引かれている
 - ・ 照り返しなどにより明るくなった路面を走行している
 - ・ 前方車両と近距離の場合
 - ・ 車線変更した直後、または交差点を通過した直後

デュアルカメラブレーキサポート (DCBS)

タイプ別装備

DCBSとはDual Camera Brake Support (デュアル カメラ ブレーキ サポート) の略です。DCBS は走行中、ステレオカメラにより前方車両や障害物、歩行者などを検知し、警報によって衝突の回避をうながしたり、ブレーキ制御によって衝突時の被害軽減を図ったりします。

- DCBS が作動したとき、アクセルペダルの操作をしても作動を継続します。ただし、アクセルペダルを強く踏み込むと作動を解除します。
- ブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドル操作をしていたりすると、操作状態によっては回避操作と判断され、DCBSが作動しない場合があります。
- DCBS は、主に車両や歩行者への衝突の回避、あるいは衝突の被害を軽減することを目的としていますが、すべての状況において車両や歩行者を検知できるわけではありません。
- DCBS は作動停止状態にすることができます。

→ 5-135ページ

(デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ)

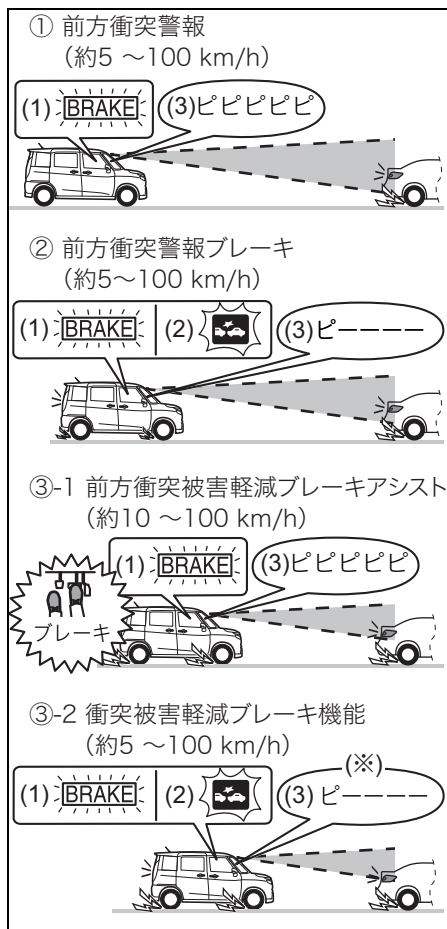
⚠ 警告

- DCBSの検知・制御性能には限界がありますので、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。DCBSにたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で DCBS の作動確認を行なわないでください。周囲の状況によっては DCBS が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は、強いブレーキがかかりますので、運転前に全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。

📢 アドバイス

- DCBS作動中に、前方障害物が検知範囲外に移動するなど、検知できなくなったときは、途中で作動が解除されることがあります。
- DCBS作動中にブレーキペダルを踏んでいなくてもブレーキの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ 作動イメージ



83S05222

- (1) 前方衝突警告表示
- (2) デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯
- (3) 室内ブザー

※ 衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停止後、衝突被害軽減ブレーキ機能が解除されるまでの間、ブザー音は継続されます。また、前方衝突警告表示およびデュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯は、ブレーキ制御終了後、約3秒後に消灯します。

▲ 注意

オートマチック車 (オートギヤシフト車) は衝突被害軽減ブレーキ機能が解除されるとクリープ現象により車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停止後は、すみやかにブレーキをかけてください。

♫ アドバイス

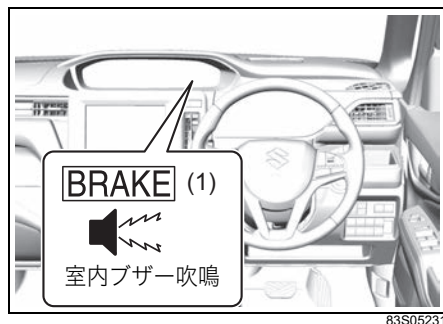
- 前方衝突警報ブレーキ、前方衝突被害軽減ブレーキアシスト、衝突被害軽減ブレーキ機能が作動した場合、同時に前方衝突警報も作動します。
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、前方衝突警告表示がディスプレイにも表示されます。

→ 5-158ページ
(ヘッドアップディスプレイ)

①前方衝突警報

約5～100 km/hで走行中に、前方車両などに衝突する可能性があるとき、室内ブザーとメーター内の表示で運転者に警報を発します。

- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴り、マルチインフォメーションディスプレイ内の前方衝突警告表示 (1) が点灯します。

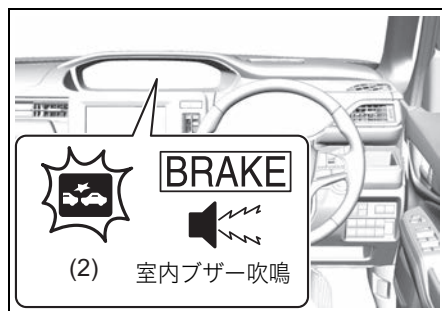


- 前方衝突警報が鳴ったときは、前方や周囲の状況に応じて、ブレーキ、ハンドル操作などの回避行動をしてください。

②前方衝突警報ブレーキ

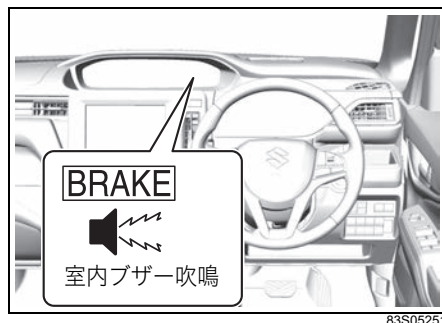
約5～100 km/hで走行中に、前方車両などに衝突する可能性が高いとき、自動的に弱いブレーキをかけることによって運転者に回避操作をうながします。前方衝突警報ブレーキが作動した場合、同時に前方衝突警報も作動します。

- 前方衝突警報ブレーキの作動中は、室内ブザーが“ピーーーーー”と鳴り、メーター内のデュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯 (2) が点滅し、制動灯が点灯します。
- この機能が作動した場合は、前方や周囲を確認の上、ブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。



③-1 前方衝突被害軽減ブレーキアシスト

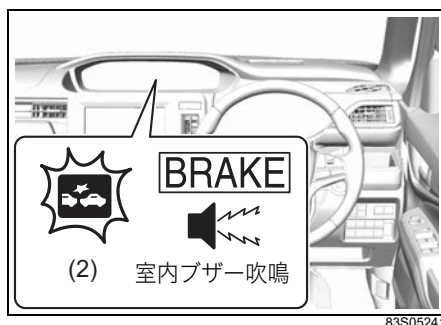
約10～100 km/hで走行中に、前方車両などに衝突する可能性が高いときにブレーキペダルを強く踏むと、制動力を増強します。前方衝突被害軽減ブレーキアシストが作動した場合、同時に前方衝突警報も作動します。



③-2 衝突被害軽減ブレーキ機能

前方車両などとの衝突を避けられないとシステムが判断した場合、自動的に強いブレーキがかかります。衝突被害軽減ブレーキ機能が作動した場合、同時に前方衝突警報も作動します。

- 衝突被害軽減ブレーキ機能の作動中は、室内ブザーが“ピーーーー”と鳴り、メーター内のデュアルカメラブレーキサポート（DCBS）作動表示灯（2）が点滅し、制動灯が点灯します。



🔊 アドバイス

前方衝突警告表示の点灯およびデュアルカメラブレーキサポート（DCBS）作動表示灯の点滅は、機能が解除してから約3秒後に消灯します。

■ こんな場合は作動しません

次のようなとき、DCBSは作動しません。

- **ハイブリッド車以外**
エンジン停止中のとき（アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中を除く）
- **ハイブリッド車**
ハイブリッドシステムが起動していないとき
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、DCBS作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-69 ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）作動表示灯）**
→ **4-71 ページ（車線逸脱警報作動表示灯）**
- セレクトレバーの位置が **[P]** **[R]** のとき
- ESP®が作動しているとき（前方衝突警報を除く）
- 次のスイッチを操作して、DCBS を停止させているとき
 - ・デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ
→ **5-135ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ）**
 - ・ESP® OFFスイッチ
→ **5-193ページ（ESP® OFFスイッチ）**
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81ページ（ステレオカメラの一時停止・故障）**

■ こんな場合は作動しないことがあります

次のようなとき、DCBS が作動しない場合があります。

- 前方障害物を正しく検知できないとき
→ **5-85ページ（歩行者の検知）**
→ **5-85ページ（こんな場合検知できないことがあります）**
- アクセルペダルやハンドルの操作などから、回避操作をしたと判断したとき

■ こんな場合は作動しても十分に減速できないことがあります

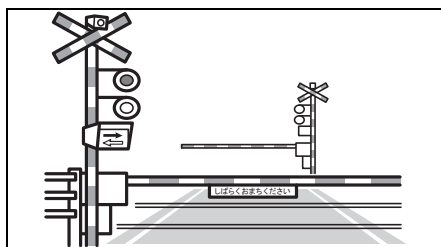
次のようなとき、DCBS が作動しても十分に減速できない場合があります。

- 外気温が低いときや走行開始直後でブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱され、ブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などでブレーキが濡れて効きが悪くなっているとき
- 次のような路面を走行しているとき
 - ・急カーブや、凸凹の激しい路面
 - ・急な勾配
- 次のような滑りやすい路面を走行しているとき
 - ・凍結路や積雪路
 - ・マンホールや工事用の鉄板の上
 - ・砂利道
- 降雨時に走行しているとき

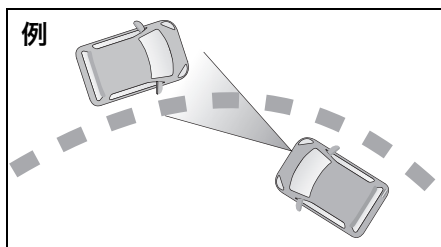
■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、ステレオカメラが前方障害物と判断してDCBSが作動する場合があります。あわてず注意して走行してください。

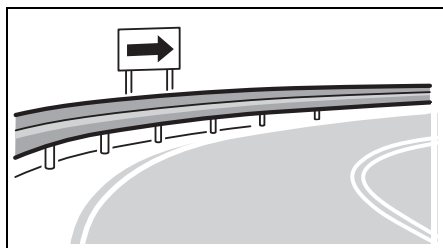
- 規定速度を超えて ETC ゲートを通過するとき
- 駐車場や遮断機のバーが上がりきる前するとき



- 路面の勾配が急に変化するような坂道を走行するとき
- 前方車両や隣車線の先行車に急接近したとき
- 前方および対向車両の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などで前方の視界が悪いとき
- 水蒸気や煙のかたまりなどを通過するとき
- 前方障害物のすぐ近くに停車するとき
- 車両や障害物のすぐ横を通過するとき
- カーブ路で対向車とすれ違うとき

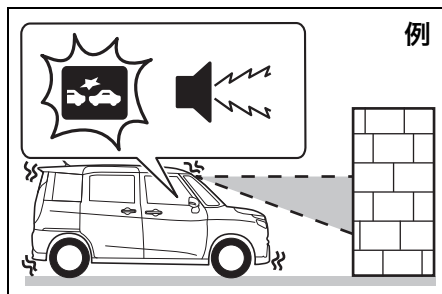


- カーブ入口にガードレールや看板、木立などの路側物があるとき



72M20410

デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯の点滅は、機能が解除されてから約3秒後に消灯します。



83S05260

誤発進抑制機能

タイプ別装備

誤発進抑制機能は停車または徐行（車速約10 km/h以下）中に、車体前端から前方約4 m以内に車両や障害物を検知すると、アクセルペダルの急激な踏み込みによるエンジン出力の上昇を自動的に最大約5秒間抑制することで衝突時の被害軽減を図る機能です。抑制されていたエンジン出力は、機能が解除されると徐々に戻ります。

作動中は、次の方法でお知らせします。

- メーター内のデュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯が点滅
→ 4-69ページ
(デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯)
- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示
→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)
- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴る

警告

- 誤発進抑制機能は、運転者による安全運転をサポートし、衝突時の被害軽減を図ることを目的としていますが、その検知・制御性能には限界がありますので、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。誤発進抑制機能にたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で誤発進抑制機能の作動確認を行なわないでください。周囲の状況によっては誤発進抑制機能が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 誤発進抑制機能は停車状態を保つものではありません。急な上り坂などで機能が作動すると、自重により後退し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 前輪を輪止めや縁石などに接触させておくと、より衝突を回避しやすくなります。
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。
→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

■ こんな場合は作動しません

- **ハイブリッド車以外**
エンジンがかかっていないとき
- **ハイブリッド車**
ハイブリッドシステムが起動していないとき
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、DCBS作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-69 ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯)**
→ **4-71 ページ**
(車線逸脱警報作動表示灯)
- セレクトレバーの位置が **[P]** **[R]** **[N]** のとき
- ハンドルを操作しているとき
- 次のスイッチを操作して、誤発進抑制機能を停止させているとき
 - ・デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ
→ **5-135ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ)**
 - ・ESP® OFFスイッチ
→ **5-193ページ**
(ESP® OFFスイッチ)

- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)**

■ こんな場合は作動しないことがあります

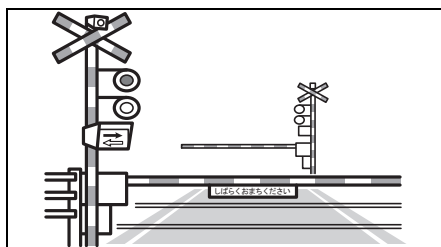
前方障害物を正しく検知できないとき、誤発進抑制機能が作動しない場合があります。

- **5-85ページ (歩行者の検知)**
- **5-85ページ (こんな場合検知できないことがあります)**

■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、ステレオカメラが前方障害物と判断して誤発進抑制機能が作動する場合があります。

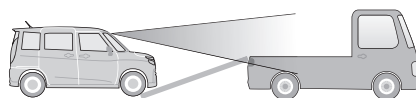
- 駐車場や遮断機のバーが上がりきる前のとき



72M20415

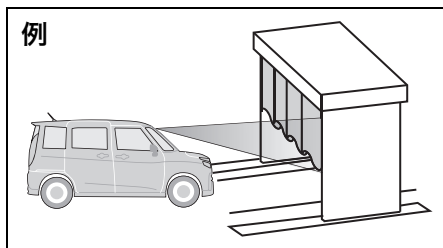
- キャリアカーに積載するとき

例



83S05270

- ビニールカーテンなどをくぐって通過するとき



83S05280

- 河川敷や生い茂った草むらや木立の中を走行するとき
- 路面の勾配が急に变化するような坂道を走行するとき
- 前方車両および対向車両の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などを通過するとき
- カーブ入口にガードレールや看板などの路側物があるとき
- 車両や障害物のすぐ横を通過するとき
- 前方障害物のすぐ近くに停車するとき

■ 踏切内などで作動した場合は

誤発進抑制機能が遮断機を障害物と判断して、踏切内に閉じ込められた場合は、次のいずれかの操作を行ない、機能を解除または停止させて、踏切内からすみやかに脱出してください。

- アクセルペダルを5秒以上踏み続ける
- いったんアクセルペダルを離し、再度すばやく踏み込む
- ハンドルを大きくまわす
- デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチを長押しする
→ 5-135ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ)

⚠ 警告

遮断機が下がる直前に無理に踏切内に進入しないでください。踏切内でDCBSや誤発進抑制機能が作動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 8-2 ページ (踏切内で動けなくなったときは)

車線逸脱警報機能

タイプ別装備

走行時 (約60 km/h以上)、ステレオカメラが車線の左右区画線を検知し、車線を逸脱すると判断した場合、次の方法により注意をうながします。

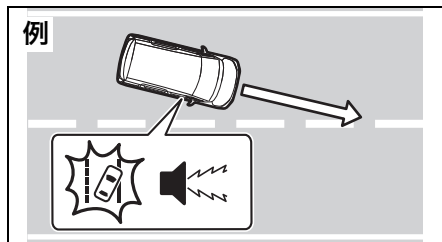
- メーター内の車線逸脱警報作動表示灯が点滅

→ 4-71ページ

(車線逸脱警報作動表示灯)

- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴る
- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示
→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)

例



83S05290

⚠ 警告

- 車線逸脱警報はあらゆる状況で機能を発揮できるものではありません。また、逸脱を自動的に回避するものではありません。車線逸脱警報にたよった運転はせず、走行中は常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で車線逸脱警報の作動確認を行なわないでください。周囲の状況によっては車線逸脱警報が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🔊 アドバイス

- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。
→ 5-158ページ
(ヘッドアップディスプレイ)

■ こんな場合は作動しません

次のときは、車線逸脱警報が作動しません。

- エンジンスイッチを **ON** にした直後の、DCBS作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ 4-69 ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯)
→ 4-71 ページ
(車線逸脱警報作動表示灯)

- 次のスイッチを操作して、車線逸脱警報を停止させているとき
 - ・ 車線逸脱警報OFFスイッチ
→ 5-136ページ
(車線逸脱警報OFFスイッチ)
 - ・ ESP® OFFスイッチ
→ 5-193ページ
(ESP® OFFスイッチ)
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ 5-81ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)
- 方向指示器作動中および作動後などの意図的な車線変更と判断したとき

🔊 アドバイス

車線逸脱警報機能OFFスイッチが操作されていた場合でも、車線逸脱抑制機能の作動時は車線逸脱警報機能が作動します。

■ こんな場合は作動しないことがあります

次のようなときは、車線逸脱警報が作動しない場合があります。

- ハンドルを大きく、または早くまわしたとき
- 区画線に急に接近する場合
- 急なカーブを走行しているとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- アクセルペダルを踏んで加速しているとき
- 車線逸脱警報が作動したあと、車線の内側にもどっていないとき

※上記以外にもステレオカメラが区画線を検知できないとき、作動しない場合があります。

- 5-85ページ (こんな場合検知できないことがあります)

■ こんな場合は作動することがあります

次のときは、車線逸脱警報が作動する場合があります。

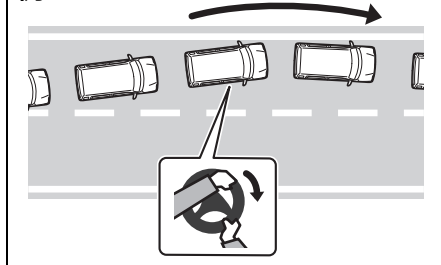
- ガードレールの影のような区画線に並行する影があるときや区画線が影の中にあるとき
- 区画線が2重に描かれているとき
- 道路工事区間で以前の区画線が完全に消えていないなど、路面に線状のペイントがあるとき
- 道路の補修跡や雪とアスファルトの境目などがあるとき
- 積雪路や濡れた路面で、タイヤの跡などがあるとき
- 車線内に複数の線が引かれているとき
- 料金所や検札所の手前や交差点など白線または黄線がない場所を走行するとき
- 分岐路または合流路などを走行しているとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行しているとき

車線逸脱抑制機能

タイプ別装備

高速道路や自動車専用道路などで、車線が整備された道路を走行中、ステレオカメラが車線の左右区画線を検知し、車線を逸脱すると判断した場合、逸脱を防ぐ方向にハンドル操作をアシストします。

例



59R50470

⚠ 警告

- 車線逸脱抑制機能はあらゆる状況で機能を発揮できるものではありません。また、自動運転システムではなく、運転者のハンドル操作に代わるものではありません。車線逸脱抑制機能にたよった運転はせず、走行中は常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で車線逸脱抑制機能の作動確認を行なわないでください。周囲の状況によっては車線逸脱抑制機能が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠️ アドバイス

- しばらくの間、手放し運転をつづけると短い室内ブザーが鳴り注意をうながします。さらに手放し運転を続けると同じ間隔で室内ブザーが繰り返して鳴り、繰り返すごとに1回の室内ブザーが長くなっていきます。ブザーが鳴り始めると、ハンドルを握ったり機能をOFFにしても、ブザーを中断させることができません。
- 車線逸脱抑制機能が約9秒作動すると機能が停止するまで断続的に室内ブザーが鳴ります。
- ハンドル操作が行われないまま一定時間内に複数回、車線逸脱抑制機能が作動したときには警告メッセージの表示の一部(1)が赤色に変化し、室内ブザーが「ピー、ピー、ピー」と鳴る場合があります。



(1)

83S04520

■ 車線逸脱抑制機能の作動条件

次の条件をすべて満たしたときに作動します。

- 車線逸脱抑制機能を ON にしているとき
- 車速が約65 km/h以上のとき
- システムが左右区画線を認識しているとき
- 車線の幅が約3 m～約4 mのとき

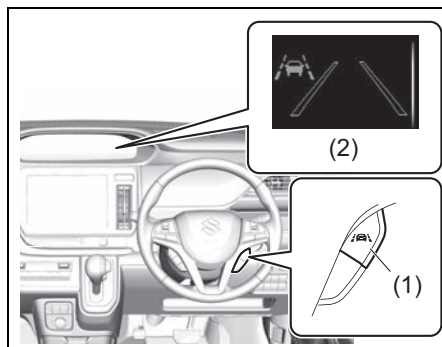
作動中に車線を逸脱しそうになるとハンドル操作をアシストします。

⚠️ アドバイス

ハンドル操作がアシストされているときでも運転者がハンドルを操作できます。

■ 車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチ

車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチはハンドルの右側下方にあります。



83SR5301

- (1) 車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチ
(2) 車線逸脱抑制機能表示

- 車線逸脱抑制機能を ON (スタンバイ状態) にするときは、車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチ(1)を押します。マルチインフォメーションディスプレイ内の車線逸脱抑制機能表示(2)が表示されます。
- 機能を停止させるときは、もう一度車線逸脱抑制機能ON/OFFスイッチを押します。車線逸脱抑制機能表示が消えます。

🔧 アドバイス

- エンジン停止させても ON/OFF の設定は記憶されます。
- 次のような状況では、システムの初期学習が完了していないため、車線逸脱抑制機能を ON (スタンバイ状態) にしても、作動するまでに時間がかかる場合があります。
 - ・ 納車直後で走行距離が少ない
 - ・ お車の点検、整備を行なった直後

■ 車線逸脱抑制機能表示

マルチインフォメーションディスプレイ内の車線逸脱抑制機能表示が次のようになったとき、以下の作動状態を表します。

	表示	表示色
(1)		白色
(2)		オレンジ色
(3)		
(4)		
(5)		内側が黒色
(6)		内側が白色
(7)		内側が白色 (逸脱側が点滅)

- (1) 車線逸脱抑制機能がスタンバイ状態です。機能は作動しません。
- (2) 車線逸脱抑制機能がレディ状態です。機能が作動できます。
- (3) 車線逸脱抑制機能がアクティブ状態です。機能が作動しています。
- (4) 車線逸脱抑制機能の異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- (5) 車線逸脱抑制機能がスタンバイ状態です。機能は作動しません。
- (6) 車線逸脱抑制機能がレディ状態です。機能が作動できます。
内側が左右で白色と黒色の場合があります。
- (7) 車線逸脱抑制機能がアクティブ状態です。機能が作動しています。
内側が左右で白色と黒色の場合があります。

📌 アドバイス

車線逸脱抑制機能の作動状態によりマルチインフォメーションディスプレイ内にメッセージが表示される場合があります。

→ **4-4 ページ (マルチインフォメーションディスプレイ)**

■ こんな場合は機能が停止します

次のときは、車線逸脱抑制機能が停止します。

- 車線逸脱抑制機能 ON/OFF スイッチを操作して、車線逸脱抑制機能を停止させているとき
→ **5-99 ページ (車線逸脱抑制機能 ON/OFF スイッチ)**
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)**
- パワーステアリング警告灯が点灯しているとき
→ **4-58 ページ (パワーステアリング警告灯)**
- ESP® 作動表示灯が点灯しているとき作動しない場合があります。
- 手放し運転に関する警告メッセージが表示されたあと、ハンドル操作を行わなかったとき
→ **4-34 ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)**

📌 アドバイス

- 車線逸脱抑制機能が作動している状態でハンドル操作を一定時間行わないと警告メッセージの表示の一部(1)が赤色に変化し、数秒後に室内ブザーが「ピーーーー」と鳴り機能が停止します。



(1)

83S04520

■ こんな場合は十分に性能を発揮できないことがあります

次のようなときは、車線逸脱抑制機能が十分に性能を発揮できないことがあります。

- 横風を受けているとき
- 急なカーブ、またはカーブの形状が急激に変化しているとき
- 次のような路面を走行しているとき
 - ・ 凸凹、うねり、つなぎ目がある
 - ・ 勾配が大きい、または急激に変化している
 - ・ 積雪路や濡れた路面で、タイヤの跡などがある
 - ・ 一般道 (自動車専用道路以外)
- タイヤの空気圧が適正でないとき
- 指定サイズ以外のタイヤやホイールを装着したとき
- スタッドレスタイヤやスズキ純正品以外のタイヤを装着しているとき
- タイヤが著しく摩耗しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ホイールバランスが異常なとき
- ホイールアライメントがずれているとき
- パンクを応急修理したとき

- サスペンションを改造したとき
- サスペンションやパワーステアリング装置を修理、交換したとき
- ハンドルに異常な振動を感じる、または通常よりもハンドルが重いと感じるとき
- 事故や故障によって、まっすぐ走行できないとき
- 重い荷物を積んでいるとき
- 急な加速、または減速を行なっているとき
- 高速でカーブを曲がっているとき
- 区画線に急に接近するとき
- 牽引しているとき、または牽引されているとき

■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のときは、車線逸脱抑制機能が正常に作動しないことがあります。

- 雨天や、降雪のとき
- 夕方、朝方の薄暗いときや道路に十分な照明がないとき
- トンネルの出入り口、高架下など明るさが極端に変化するとき
- 次のような路面を走行しているとき
 - ・ 雪や凍結防止剤が残っている
 - ・ ひび割れや補修の跡がある
 - ・ 舗装されていない、荒れている
 - ・ コンクリート路や照り返しなどにより明るくなっている
 - ・ 雨天、雨上がり、水たまりなどによりぬれている
- 料金所や検札所の手前や交差点など区画線がない場所を走行するとき
- 分岐路または合流路などを走行しているとき
- 様々な路面標示や形状のレーンマーカーがあるとき
- 道路工事区間で以前の区画線が完全に消えていないなど、路面に線状のペイントがあるとき
- 前方から強い光（逆光、対向車のヘッドライトの光など）を受けたとき
- ガードレールの影のような区画線に並行する影があるときや区画線が影の中にあるとき
- 路面の凹凸やつなぎ目などで車両が上下に大きく揺れているとき
- 前方車両の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などで前方の視界が悪いとき
- 車間距離が短く、区画線が見えにくくなっているとき
- 前方車両や隣車線の先行車が車線変更したとき
- 区画線がない、または消えかかっているとき
- 区画線が二重に引かれているとき
- 車線内に複数の線が引かれているとき
- 区画線の幅が狭いとき
- 区画線の色が路面の色と似ているとき
- 区画線の形状が急激に変化しているとき
- 路肩に縁石や側壁があるとき
- 区画線が壁やポールに隣接して引かれているとき
- 区画線が縁石等の上に引かれているとき
- ヘッドライトに汚れ、氷雪、泥などが付着しているとき
- 夜間やトンネル内でヘッドライトを点灯せずに走行しているとき
- ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ヘッドライトやフォグラмпなどのランプ類を改造したとき
- 表示灯、警告灯が正常に点灯消灯しない、ブザーが鳴らない、マルチインフォメーション表示が通常と異なるなど、何らかの異常があるとき
- ステレオカメラ付近のフロントガラスがくもったり、遮蔽物があったりしてカメラの視界がさまたげられたとき
- ステレオカメラの調整・修理または交換をした直後

■ こんな場合は一時的に作動が停止します

次のようなときは、車線逸脱抑制機能が一時的に作動が停止します。再び作動条件が満たされると作動します。

- 回避行動などのために、運転者自身がハンドル操作をしたとき
- 方向指示器作動中および作動後などの意図的な車線変更があったとき
- ESP®が作動したとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- 両側、または片側の車線を認識できなくなったとき

📌 アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイ内に「LDPシステム要点検」のメッセージが表示された場合、車線逸脱抑制機能は停止しますが、通常の走行に支障ありません。

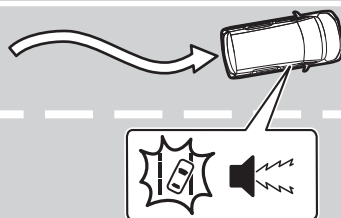
ふらつき警報

タイプ別装備

走行時（約60 km/h以上）、システムが車線内での車両の蛇行パターンまたは短時間に連続で車線逸脱警報が作動したことにより、ふらつきと判断した場合、次の方法により注意をうながします。

- メーター内の車線逸脱警報作動表示灯が点滅
→ **4-71ページ**
（車線逸脱警報作動表示灯）
- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示
→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**
- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴る

例



83S05320

⚠ 警告

- ふらつき警報はあらゆる状況で機能を発揮できるものではありません。また、運転者に注意をうながす機能であり、ふらつきを自動的に回避するものではありません。ふらつき警報にたよった運転はせず、走行中は常に安全運転に努めてください。
- お客様自身でふらつき警報の作動確認を行なわないでください。周囲の状況によってはふらつき警報が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📢 アドバイス

- 車線内でのお車の蛇行パターンによるふらつき警報は、過去数十分程度の走行データをもとにふらつきと判断しています。ふらつきはじめてもすぐに判断されません。
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。
→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

■ こんな場合は作動しません

次のときは、ふらつき警報が作動しません。

- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、DCBS作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-69 ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) 作動表示灯)**
→ **4-71ページ**
(車線逸脱警報作動表示灯)
- 次のスイッチを操作して、ふらつき警報を停止させているとき
 - ・ 車線逸脱警報OFFスイッチ
→ **5-136ページ**
(車線逸脱警報OFFスイッチ)
 - ・ ESP® OFFスイッチ
→ **5-193ページ**
(ESP® OFFスイッチ)
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)**

■ こんな場合は作動しないことがあります

次のようなときは、ふらつき警報が作動しない場合があります。

- 連続するカーブを走行しているとき
- 車速が大きく変化したとき
- 車線変更をした直後のとき

※上記以外にもステレオカメラが区画線を検知できないとき、作動しない場合があります。

→ **5-85ページ (こんな場合検知できないことがあります)**

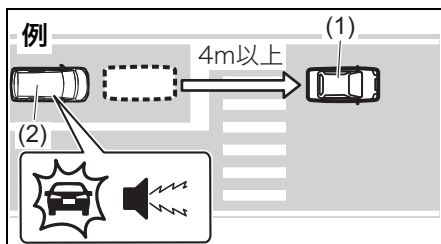
先行車発進お知らせ機能

タイプ別装備

5

先行車 (1) から約 10 m 以内に停車し、そのあと先行車が発進して約 4 m 以上離れても、自車 (2) が停止し続けた場合、次の方法により先行車が発進したことをお知らせします。

- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示
→ **4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)**
- 室内ブザーが“ピピ”と鳴る



83S05330

アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、先行車発進お知らせ機能を停止することができます。
→ **4-25ページ**
（セッティングモード）
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。
→ **5-158ページ**
（ヘッドアップディスプレイ）

■ こんな場合は作動しません

次のときは、先行車発進お知らせ機能が作動しません。

- **ハイブリッド車以外**
エンジンがかかっていないとき（アイドリングストップシステムによるエンジン自動停止中を除く）
- **ハイブリッド車**
ハイブリッドシステムが起動していないとき
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、DCBS作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-69ページ**
（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）作動表示灯）
→ **4-71ページ**
（車線逸脱警報作動表示灯）
- セレクトレバーの位置が **[P]** **[R]** のとき
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81ページ（ステレオカメラの一時停止・故障）**
- ESP® OFFスイッチを操作して、ESP® を停止させているとき
→ **5-193ページ**
（ESP® OFFスイッチ）

- 設定の切替え（カスタマイズ）により先行車発進お知らせ機能を停止させているとき
→ **4-25ページ**
（セッティングモード一覧）

- パーキングブレーキが解除され、ブレーキペダルを踏んでいないとき

■ こんな場合は作動しないことがあります

次のようなときは、先行車発進お知らせ機能が作動しない場合があります。

- 先行車が検知範囲外に移動したとき
- 停止した先行車との間に二輪車などが割り込んできたとき

ハイビームアシスト

タイプ別装備

ステレオカメラにより先行車のライト、街路灯の明るさなど車両前方の状況判断しヘッドライトの上向き（ハイビーム）、下向き（ロービーム）を自動的に切替えることができます。

⚠ 警告

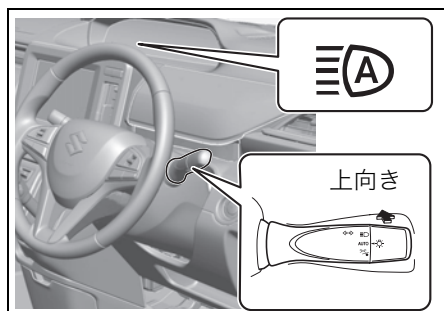
ハイビームアシストのシステムを過信せず常に周囲の状況を把握して注意を払い安全運転に心がけてください。必要に応じて手動でハイビームとロービームに切替えてください。

- エンジンスイッチが **[ON]** のときに、ライトスイッチのツマミをAUTOの位置に回し、ヘッドライトが点灯した状態でレバーを車の前方向に押すと、メーター内のハイビームアシスト作動表示灯（緑色）が点灯します。もとの位置にもどすとオートライトの状態ではヘッドライトが下向きにもどります。

オートライトセンサーの感度でヘッドランプが点灯する条件の時に作動します。

→ **3-37ページ（ライトスイッチ）**

- 約30 km/h以上で走行時、前方に先行車や対向車がない時はヘッドライトが自動的に上向きに切り替わります。



83S05341

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- 車速が約 25 km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 前方車両がランプを点灯している
- 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

次の条件をすべてみたすと、ハイビームを点灯します。

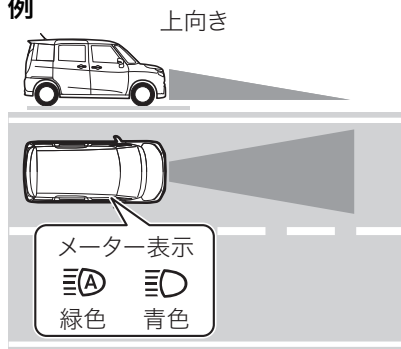
- 車速が約30 km/h以上
- 車両前方が暗い
- 前方にランプを点灯した車両がない
- 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

● 作動イメージ

① 先行車や対向車がないとき

ヘッドライトがハイビームになります。メーター内のハイビームアシスト作動表示灯とヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。

例



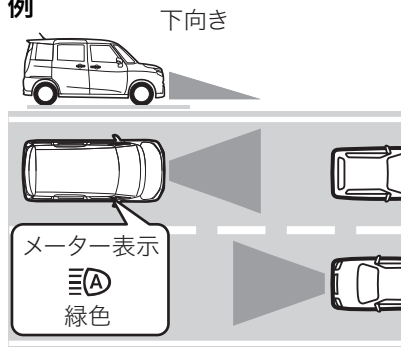
83S05350

② 先行車や対向車がいるとき

ヘッドライトがロービーム（下向き）になります。

メーター内のハイビームアシスト作動表示灯のみ点灯します。

例

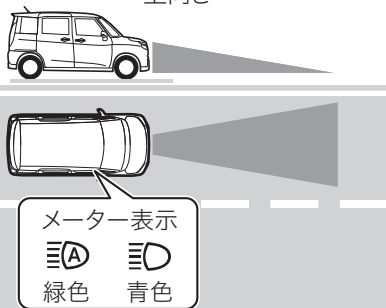


83S05360

③先行車や対向車がいなくなったとき再びヘッドライトが自動でハイビームになります。メーター内のハイビームアシスト作動表示灯とヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。

例

上向き



83S05350

●次の状況ではハイビームが自動でロービームに切り替わらない場合があります。

- ・見通しの悪いカーブで対向車と急にすれ違った時
- ・他車が自車の前方を横切ったとき
- ・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
- ・前方車両が離れた車線から接近してきたとき
- ・前方車両が無灯火のとき

●次の状況によりハイビームとロービームの切替えタイミングが変化する場合があります。

- ・前方車両のランプの明るさ
- ・前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
- ・前方車両の動きや向き
- ・前方車両が二輪車のとき
- ・道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
- ・乗車人数や荷物の量

●次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や先行車などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手でハイビームとロービームを切替えてください。

- ・周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
- ・前方車両のランプが無灯火のとき
- ・前方車両のランプに汚れや変色があるとき
- ・対向車のヘッドランプの光軸がずれているとき
- ・急激な明るさの変化が連続するとき
- ・起伏や段差が多い道路を走行しているとき
- ・カーブが多い道路を走行しているとき
- ・車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
- ・コンテナなど前方車両の後部が光を強く反射するとき
- ・自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- ・パンクや牽引などにより自車が傾いているとき

上記以外でもステレオカメラが前方車両や光源を認識できず、ハイビームアシスト機能が正しく作動しない場合があります。

→ 5-78ページ（ステレオカメラ）

- 以下のような場合は、ハイビームアシストを使用せず、手動でハイビームとロービームを切替えてください。
 - ・ ハイビームとロービームが頻繁に切り替わってしまうとき
 - ・ ハイビームの使用に問題があるとき
 - ・ 他の運転者や付近の歩行者の迷惑になると思われるとき
- 車両前方のフォグランプなどにより、ハイビームがロービームに切り替わる場合があります。
- 街路灯や信号や広告などの照明または標識や看板などの反射物によりハイビームがロービームに切り替わる場合や、ロービームが継続する場合があります。

 警告

- お車の改造やステレオカメラの取り外しを行なうと、ハイビームアシストが正常に作動しないおそれがあります。
サスペンションやヘッドライトの改造、ステレオカメラの取り外しを行なわないでください。

 アドバイス

- ハイビームアシスト警告灯（オレンジ色）が点灯し続けたときはシステムの異常が考えられますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 急加速時には、車速が約 30 km/h を超えても数秒間ハイビームアシスト機能が作動しない場合があります。
- ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切り替わる場合があります。
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、ハイビームアシスト機能を停止することができます。
 - **4-25ページ**
（セッティングモード）

アダプティブクルーズコントロール

タイプ別装備（ハイブリッド車）

アクセルペダルから足を離しても、設定した車速で走行できます。また、先行車が現れたときは、車速に応じて設定した車間距離を保ち、追従できます。高速道路や自動車専用道路でご使用ください。

⚠ 警告

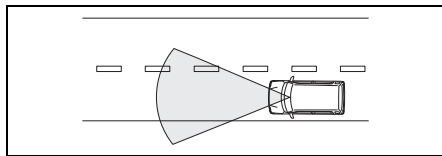
システムを過信しない

アダプティブクルーズコントロールは操作負担を軽減するためのシステムで、あらゆる状況で追突を防止するシステムではありません。

運転中は、常に先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキペダルやアクセルペダルを操作して安全運転に努めてください。

① 定速制御（先行車がないとき）

セットした目標車速で定速走行します。

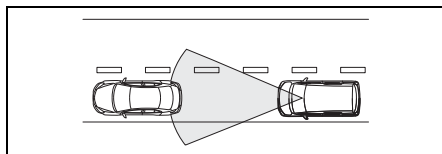


83S05370

- 目標車速は、約 40 km/h 以上でセットできます。

② 減速制御（セット車速より遅い先行車が現れたとき）

ステレオカメラが先行車を検知すると、先行車の車速に応じて、設定した車間距離を保ちながら自動で減速し、先行車に追従します。

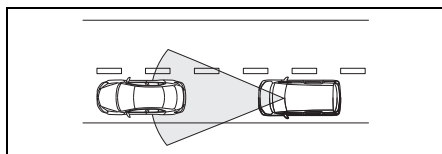


83S05380

- ステレオカメラが検知可能な先行車との車間距離は、前方約 100m 以内です。

③ 追従制御（セット車速より遅い先行車がいるとき）

- 先行車の車速に応じて、設定した車間を保ちながら自動減速・自動加速し、先行車に追従します。



83S05390

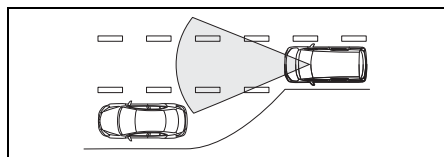
📢 アドバイス

減速・追従制御時に、先行車に接近した場合は、前方衝突警報が作動します。

→ **5-116ページ（前方衝突警報）**

④加速制御（セット車速より遅い先行車がいなくなったとき）

セット車速までゆっくり加速し、定速走行します。



83S05400

警告

次のような状況では使用しない

適切な制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります

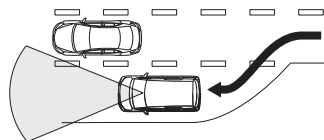
- 交通量の多い道。交通状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 急カーブのある道。道路状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 凍結や積雪などで滑りやすい道。タイヤが空転し、コントロールを失うおそれがあります。
- 急な下り坂。設定した車速を超えるおそれがあります。また、追従制御時は十分に減速できず、先行車に接近するおそれがあります。
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道。ステレオカメラが先行車を検知できず、先行車に接近するおそれがあります。



83S05410

警告

- けん引されているとき
- 高速道路の出口など。本線でセット車速より遅い車に追従している場合、出口に向けて本線を外れて先行車がいらない状態になると、セット車速まで加速をはじめます。



83S05420

- 事故や故障によって、まっすぐ走行できないとき
- 右折専用車線や左折専用車線を走行しているとき
- 前方衝突警報が頻繁に作動するとき
→ 5-116ページ（前方衝突警報）
- 雨、霧、雪、砂嵐などの悪天候時や、フロントガラス周辺に水滴や雪、汚れなどが付着しているとき。ステレオカメラが先行車との車間距離を正確に測定できないおそれがあります。
→ 5-78ページ（ステレオカメラ）
- トンネルの出入り口、高架下など明暗が急激に変化する状況では、先行車を正しく認識できず、先行車に急接近して、衝突するおそれがあります。

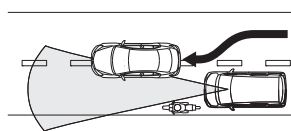
⚠ 警告

次のような状況に注意してください

- 料金所や渋滞の最後尾などで先行車が停車中または低速走行中のときは、ステレオカメラが先行車を検知できず、前方衝突警報も作動しません。ブレーキで減速してください。
- 次のようなときは、ステレオカメラが先行車を正しく検知できないおそれがあります。また、前方衝突警報が作動しないおそれもあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
 - ・先行車などが路上の水や雪を巻き上げて走行しているとき。
 - ・先行車が空荷のトレーラーなど車両の後部が小さすぎるとき
 - ・荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき
- 次のようなときは、ステレオカメラが隣車線の車両や路側などを検知して、前方衝突警報が作動するおそれがあります。
 - ・カーブ路や、車線幅が狭いとき
 - ・ハンドル操作などにより、自車の車線内の位置が不安定なとき

⚠ 警告

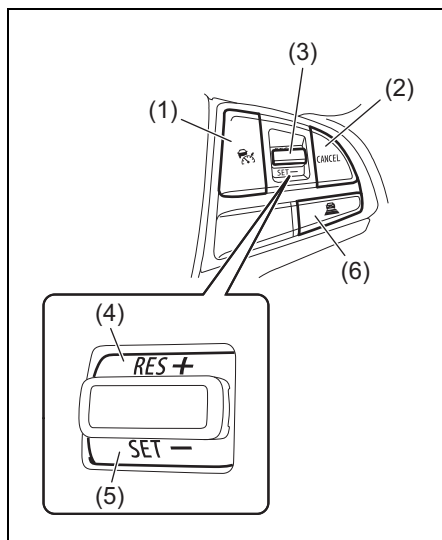
- 近距離ではステレオカメラの検知範囲が狭いため、次のようなときは、先行車の検知が遅れたり検知できなかったりするおそれがあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
 - ・先行車が急に割り込んできたとき
 - ・自車または前方の車両が、車線の片側に偏って走行しているとき
 - ・前方の車両が二輪車など幅の狭い車両のとき



83S05430

■ アダプティブクルーズコントロールスイッチ

アダプティブクルーズコントロールスイッチはステアリングホイールの右側にあります。



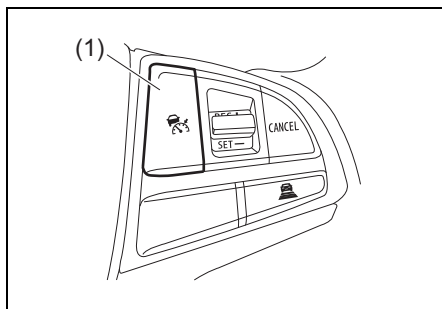
83S05440

- (1) クルーズスイッチ
- (2) キャンセルスイッチ
- (3) RES / SET ノブ
- (4) RES +位置
- (5) SET -位置
- (6) 車間距離設定スイッチ

■ 車速設定のしかた

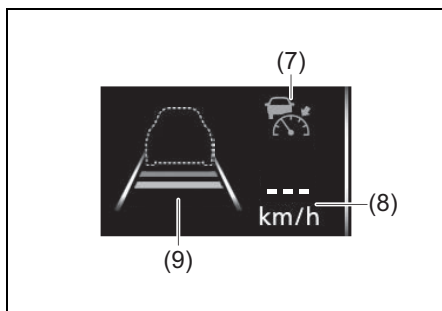
定速走行時の車速を設定します。

- 1 クルーズスイッチ (1) を押して、システムをON (待機状態) にします。



83S05450

マルチインフォメーションディスプレイにアダプティブクルーズコントロール表示灯 (7) が点灯し、「--- km/h」 (8) が表示され、車間距離設定表示 (9) が表示されます。



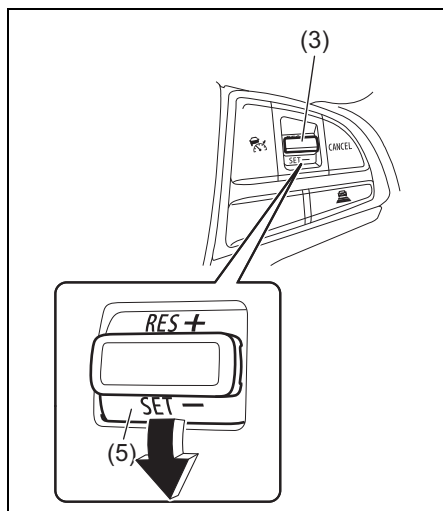
59R50620

- 2 アクセルペダルで加速／減速しながら、希望の車速に調節します。
 - 目標車速は約 40 km/h 以上の車速で走行していることにより設定可能です。

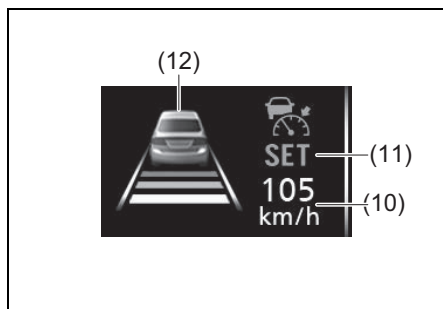
3 RES/SET ノブ (3) を SET- 位置 (5) に動かします。

マルチインフォメーションディスプレイに設定车速 (10) と SET 表示灯 (11) が表示されると、設定した车速または先行車に追従して走行できます。

- 先行車検知表示 (12) は先行車が検知されている場合と検知されていない場合の表示があります。



83S05460



59R50640

警告

アダプティブクルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチ (1) を押してシステムを解除してください。誤ってアダプティブクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 標識や標示で指定された最高速度を超えないように车速を設定してください。

→ 5-114ページ
(設定车速の変えかた)

- 次のいずれかのときは、設定できません。
 - ・ 车速が約40 km/h 以下のとき
 - ・ セレクトレバーが **P** **R** **N** および **M** (マニュアルモード) の1速または2速のとき
 - ・ ステレオカメラが故障または一時停止したとき
 - ・ ESP® OFF スイッチが押されているとき
 - ・ 運転席のシートベルトを外しているとき
 - ・ 運転席のドアを開けているとき
 - ・ パーキングブレーキが解除されていないとき
 - ・ ブレーキパッドが高温のとき
 - ・ 急勾配を走行しているとき
- エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、自動的にシステムが解除されます。

アドバイス

ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。

→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

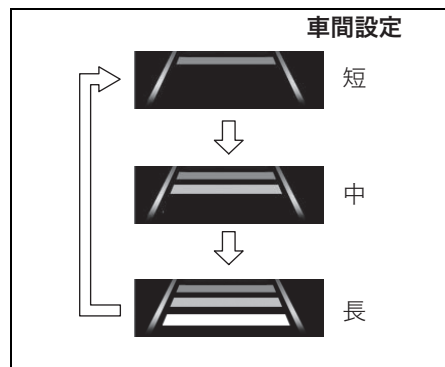
先行車検知表示の見かた

表示	状況
 53SB3050	先行車が検知されていないとき（定速制御になります）
 53SB3051	先行車が検知されているとき（減速・追従制御になります）

■ 車間距離設定の切替えかた

先行車の車間距離は、交通状況に応じて「短」、「中」、「長」の3段階から選択できます。

- アダプティブクルーズコントロール表示灯（7）が点灯中に、車間距離設定スイッチ（6）を押すと、車間距離設定表示（9）が次のように切り替わります。



アドバイス

- ハイブリッドシステムを停止すると記憶が消去され、初期状態にもどります。
- 車速や道路状況に応じて適切な車間距離は増減しますが、次の表を参考に設定してください。

<車速80 km/h走行時の目安>

車間設定	車間距離
「短」	約35 m
「中」	約45 m
「長」	約55 m

■ 一時的に加減速したいときは

加速したいとき

アクセルペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、通常走行と同様に加速できます。

- アクセルペダルを踏み込むと制御が一時的に解除され車速が上がります。このとき、アダプティブクルーズコントロールの警告範囲内に先行車がいっても前方衝突警報は作動しません。
- アクセルペダルから足を離すと、自動的にもとの制御にもどります。

減速したいとき

ブレーキペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、マルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯(11)が消えて、待機状態になります。

一時的に解除した制御を復帰できます。
→ **5-115ページ(一時的な解除の復帰)**

🔊アドバイス

- **[M]** モードで走行中、減速するときは車速に応じてシフトダウンしますが、加速時に自動シフトアップしないので、手動で行なう必要があります。
- アダプティブクルーズコントロールシステム制御中にESP®システムの作動音が聞こえる場合がありますが、これはブレーキを昇圧している音であり異常ではありません。

■ 設定車速の変えかた

現在車速にあわせる

- 速度を上げるとき
アクセルペダルで目標の車速まで加速し、RES/SET ノブ (3) を **SET-** 位置 (5) に動かします。
- 速度を下げるとき
ブレーキペダルで目標の車速まで減速し、RES/SET ノブ (3) を **SET-** 位置 (5) に動かします。

🔊アドバイス

ブレーキペダルを踏むと制御がキャンセルされ、SET 表示灯 (11) が消灯します。(待機状態)

RES / SET ノブを使って

- 速度を上げるとき
RES/SET ノブ (3) を **RES +** 位置 (4) に動かします。
微調整 (1 km/h ずつ) : 小刻みに動かします。
大幅調整 (5 km/h ずつ) : 動かしたままにし、希望の速度になったら手を離します。
- 速度を下げるとき
RES/SET ノブ (3) を **SET -** 位置 (5) に動かします。
微調整 (1 km/h ずつ) : 小刻みに動かします。
大幅調整 (5 km/h ずつ) : 動かしたままにし、希望の速度になったら手を離します。

⚠️ アドバイス

先行車を検知している減速・追従制御時は、RES /SET ノブ (3) を **RES+** 位置 (4) に動かしたままセット車速を上げても加速しません。ただし、先行車がいなくなると、自動的にセット車速まで加速しますので気をつけてください。

■ 一時的な解除のしかた

操作による解除

- キャンセルスイッチ (2) を押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- ステレオカメラが一時停止したとき

同時にマルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯 (11) が消えて、待機状態になります。

一時的に解除した制御を復帰できます。

→ **5-115ページ (一時的な解除の復帰)**

制御の自動解除

- 車速が約40 km/h 以下になったとき
- 車が横滑りしそうになったとき (ESP®作動時を含む)
- セレクトレバーが **P** **R** **N** および **M** (マニュアルモード) の1速または2速のとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 運転席のドアを開けたとき
- パーキングブレーキが作動したとき
- ブレーキパッドが高温のとき

解除された制御を復帰できます。制御が解除されたときの状況が改善されるなどしてから、行ってください。

→ **5-115ページ (一時的な解除の復帰)**

■ 一時的な解除の復帰

RES/SET ノブ (3) を **RES+** 位置 (4) に動かします。マルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯 (11) が表示され、制御が復帰します。

ただし以下のときは復帰しません。

- 車速が約40 km/h 以下のとき
- 制御が自動解除されたときの状況が改善されていないとき

■ システムの解除

- クルーズスイッチ (1) を押したとき

⚠️ アドバイス

システム異常があると自動的に解除され、同時にアダプティブクルーズコントロール警告灯が点灯します。

→ **5-130 ページ (アダプティブクルーズコントロール警告灯)**

■ 前方衝突警報

減速・追従制御中に先行車が急減速したり、他車が割り込んできたりして、十分に自動減速ができず先行車に接近すると、前方衝突警報が作動して注意を促します。

室内ブザーが、“ピピピピッ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。



BRAKE

53SJ0018

- 前方衝突警報が作動したときは、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

⚠ 警告

- 前方衝突警報が頻繁に作動するような状況では、アダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

- 次のようなときは、短い車間距離でも前方衝突警報が作動しない場合があります。

- ・ 先行車とほぼ同じ速度で走行するとき
- ・ 先行車の方が速く、次第に離れていくとき
- ・ 目標車速をセットした直後
- ・ アクセルペダルを踏んでいるときや離れた直後

- 5-110ページの

次のような状況に注意してください

もあわせてお読みください。

- 衝突のおそれがあると判断されると、前方衝突警報ブレーキが作動します。

→ 5-88 ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))

■ アダプティブクルーズコントロール警告灯



54P000233

メーター内にあります。

→ 1-20ページ (警告灯)

- アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときにオレンジ色に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約6秒間点灯したあと消灯します。
- ESP® を作動停止 (OFF) にすると、ESP® OFF 表示灯、デュアルカメラブレーキサポート OFF 表示灯および車線逸脱警報OFF 表示灯が点灯し、アダプティブクルーズコントロールの機能が作動停止します。

→ 5-88ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))

■ アダプティブクルーズコントロールのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メーター内またはマルチインフォメーションディスプレイに警告灯もしくはメッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

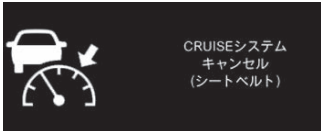
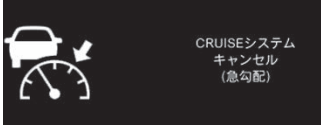
メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISE システム要点検 59R50660	 点滅	ポーン (1回)	アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-116 ページ (アダプティブクルーズコントロール警告灯)
 53SJ0018	消灯	ピピピ...	先行車に接近しています。ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。 → 5-116 ページ (前方衝突警報)

- アダプティブクルーズコントロールが設定できないとき。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 59RN05820	消灯	なし	ブレーキパッドが高温のため設定できません。安全な場所に停車して、ブレーキパッドの温度が下がるまで待ってください。 → 5-111 ページ (車速設定のしかた)
 59RN05830	消灯	なし	車速が約40 km/h 以下のため設定できません。40 km/h 以上の速度まで加速して設定してください。 → 5-111 ページ (車速設定のしかた)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
59RN05840	消灯	なし	運転席のシートベルトが外れているため、設定できません。運転席のシートベルトを着用して設定してください。 → 5-111ページ (車速設定のしかた)
59RN05850	消灯	なし	急勾配を走行しているため設定できません。平坦な道で設定してください。 → 5-111ページ (車速設定のしかた)
59RN05860	消灯	なし	セレクトレバーが [P] [R] [N] または [M] (マニュアルモード) の1速または2速のため設定できません。セレクトレバーを [D] または [M] (マニュアルモード) の3速、4速または5速にして設定してください。 → 5-111ページ (車速設定のしかた)
59RN05870	消灯	なし	上記以外で設定できないとき。説明に従い車速設定を再度行ってください。 → 5-111ページ (車速設定のしかた)

- アダプティブクルーズコントロールが自動解除したとき。

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISEシステム キャンセル (ブレーキパッド高温) 59RN05880	消灯	ポーン (1回)	ブレーキパッドが高温になったため自動解除しました。安全な場所に停車して、ブレーキパッドの温度が下がるまで待ってください。
 CRUISEシステム キャンセル (車速低下) 83SR5280	消灯	ポーン (1回)	車速が約 40 km/h 以下になったため自動解除しました。速を約 40 km/h 以上にして復帰してください。
 CRUISEシステム キャンセル (シートベルト) 59RN05890	消灯	ポーン (1回)	運転席のシートベルトが外れたため自動解除しました。運転席のシートベルトを着用して復帰してください。 → 5-115ページ (制御の自動解除) → 5-115ページ (一時的な解除の復帰)
 CRUISEシステム キャンセル (急勾配) 59RN05900	消灯	ポーン (1回)	急勾配を走行していたため自動解除しました。平坦な道で復帰してください。 → 5-115ページ (制御の自動解除) → 5-115ページ (一時的な解除の復帰)

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISEシステム キャンセル (ギアポジション) 59RN05910	消灯	ポーン (1回)	セレクトレバーが [P] [R] [N] または [M] (マニュアルモード) の1速または2速になったため自動解除しました。セレクトレバーを [D] または [M] (マニュアルモード) の3速、4速または5速にして復帰してください。 → 5-115ページ (制御の自動解除) → 5-115ページ (一時的な解除の復帰)
 CRUISEシステム キャンセル 59RN05920	消灯	なし	キャンセルスイッチを押した、ブレーキペダルを踏んだなどの操作により解除しました。また、運転席のドアが開いたなどの理由により自動解除しました。原因を改善して復帰してください。 → 5-115ページ (操作による解除) → 5-115ページ (制御の自動解除) → 5-115ページ (一時的な解除の復帰)
	消灯	ポーン (1回)	上記以外で自動解除したとき。原因を改善して復帰してください。 → 5-115ページ (制御の自動解除) → 5-115ページ (一時的な解除の復帰)

アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）

タイプ別装備（ハイブリッド車以外）

アクセルペダルから足を離しても、設定した車速で走行できます。また、先行車が現れたときは、車速に応じて設定した車間距離を保ち、追従できます。高速道路や自動車専用道路でご使用ください。

⚠ 警告

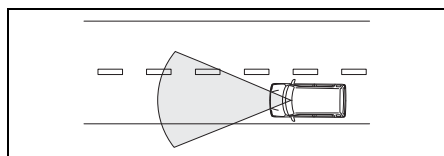
システムを過信しない

アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）は操作負担を軽減するためのシステムで、あらゆる状況で追突を防止するシステムではありません。

運転中は、常に先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキペダルやアクセルペダルを操作して安全運転に努めてください。

① 定速制御（先行車がないとき）

セットした目標車速で定速走行します。

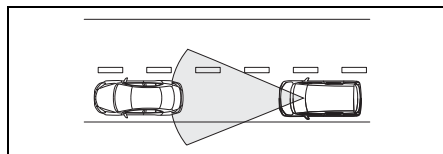


83S05370

- 目標車速は、約 40 km/h 以上でセットできます。

② 減速制御（セット車速より遅い先行車が現れたとき）

ステレオカメラが先行車を検知すると、先行車の車速に応じて、設定した車間距離を保ちながら自動で減速し、先行車に追従します。

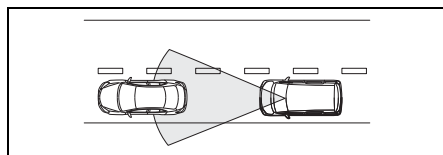


83S05380

- ステレオカメラが検知可能な先行車との車間距離は、前方約 100m 以内です。

③ 追従制御（セット車速より遅い先行車がいるとき）

- 先行車の車速に応じて、設定した車間を保ちながら自動減速・自動加速し、先行車に追従します。
- 0 km/h まで追従し、停止 2 秒後にシステムが一時的に解除されます。解除される前に前車が発進すれば、追従を継続します。



83S05390

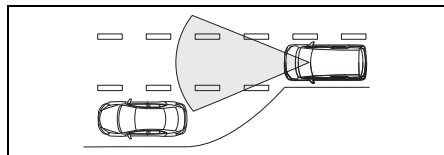
🔊 アドバイス

減速・追従制御時に、先行車に接近した場合は、前方衝突警報が作動します。

→ **5-129ページ（前方衝突警報）**

④加速制御（セット車速より遅い先行車がいなくなったとき）

セット車速までゆっくり加速し、定速走行します。



83S05400

⚠ 警告

次のような状況では使用しない

適切な制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります

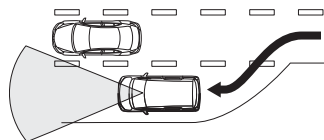
- 交通量の多い道。交通状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 急カーブのある道。道路状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 凍結や積雪などで滑りやすい道。タイヤが空転し、コントロールを失うおそれがあります。
- 急な下り坂。設定した車速を超えるおそれがあります。また、追従制御時は十分に減速できず、先行車に接近するおそれがあります。
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道。ステレオカメラが先行車を検知できず、先行車に接近するおそれがあります。



83S05410

⚠ 警告

- けん引されているとき
- 高速道路の出口など。本線でセット車速より遅い車に追従している場合、出口に向けて本線を外れて先行車がいなくなった状態になると、セット車速まで加速をはじめます。



83S05420

- 事故や故障によって、まっすぐ走行できないとき
- 右折専用車線や左折専用車線を走行しているとき
- 前方衝突警報が頻繁に作動するとき
→ 5-129ページ（前方衝突警報）
- 雨、霧、雪、砂嵐などの悪天候時や、フロントガラス周辺に水滴や雪、汚れなどが付着しているとき。ステレオカメラが先行車との車間距離を正確に測定できないおそれがあります。
→ 5-78ページ（ステレオカメラ）
- トンネルの出入り口、高架下など明暗が急激に変化する状況では、先行車を正しく認識できず、先行車に急接近して、衝突するおそれがあります。

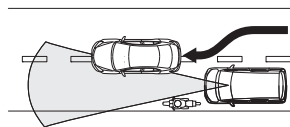
警告

次のような状況に注意してください

- 料金所や渋滞の最後尾などで先行車が停車中または低速走行中のときは、ステレオカメラが先行車を検知できず、前方衝突警報も作動しません。ブレーキで減速してください。
- 次のようなときは、ステレオカメラが先行車を正しく検知できないおそれがあります。また、前方衝突警報が作動しないおそれもあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
 - ・先行車などが路上の水や雪を巻き上げて走行しているとき。
 - ・先行車が空荷のトレーラーなど車両の後部が小さすぎるとき
 - ・荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき
- 次のようなときは、ステレオカメラが隣車線の車両や路側などを検知して、前方衝突警報が作動するおそれがあります。
 - ・カーブ路や、車線幅が狭いとき
 - ・ハンドル操作などにより、自車の車線内の位置が不安定なとき

警告

- 近距離ではステレオカメラの検知範囲が狭いため、次のようなときは、先行車の検知が遅れたり検知できなかったりするおそれがあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
 - ・先行車が急に割り込んできたとき
 - ・自車または前方の車両が、車線の片側に偏って走行しているとき
 - ・前方の車両が二輪車など幅の狭い車両のとき



83S05430

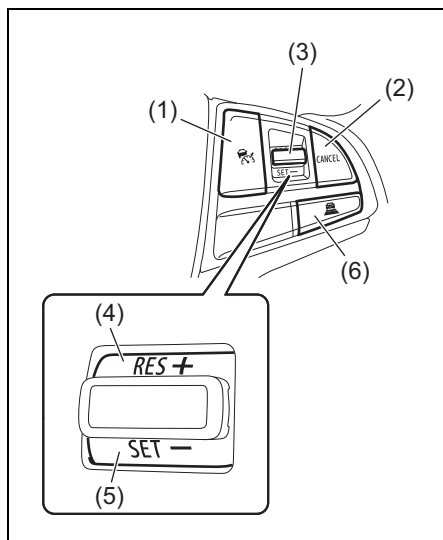
5

アドバイス

先行車が停車したときは、自車も追従して停車します。
ただし停車状態を保持する機能はありませんので、停車したら速やかにブレーキを踏んでください。

■ アダプティブクルーズコントロールスイッチ

アダプティブクルーズコントロールスイッチはステアリングホイールの右側にあります。



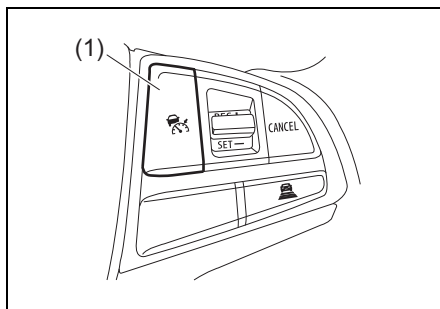
83S05440

- (1) クルーズスイッチ
- (2) キャンセルスイッチ
- (3) RES / SET ノブ
- (4) RES + 位置
- (5) SET - 位置
- (6) 車間距離設定スイッチ

■ 車速設定のしかた

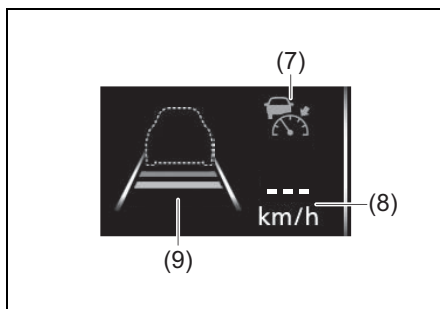
定速走行時の車速を設定します。

- 1 クルーズスイッチ (1) を押して、システムをON（待機状態）にします。



83S05450

マルチインフォメーションディスプレイにアダプティブクルーズコントロール表示灯 (7) が点灯し、「--- km/h」 (8) が表示され、車間距離設定表示 (9) が表示されます。



59R50620

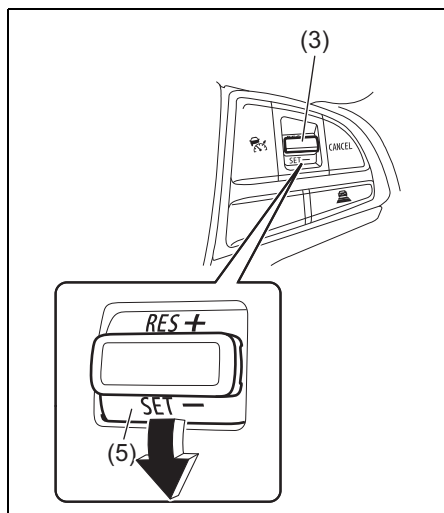
- 2 アクセルペダルで加速／減速しながら、希望の車速に調節します。
 - 先行車を検知していない場合、約 40 km/h 以上の車速で走行していることにより設定可能です。
 - 先行車を検知している場合、約 1 km/h 以上の車速で走行していることにより設定可能です。

3 RES/SET ノブ (3) を SET- 位置 (5) に動かします。

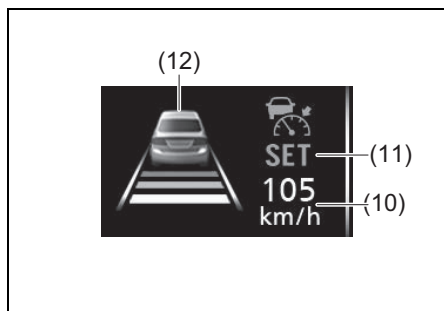
マルチインフォメーションディスプレイに設定車速 (10) と SET 表示灯 (11) が表示されると、設定した車速または先行車に追従して走行できます。

約 40 km/h 以上で走行している場合は、走行している車速で設定されます。先行車を検知していて約 40 km/h 以下で走行している場合は約 40 km/h で車速が設定されます。

- 先行車検知表示 (12) は先行車が検知されている場合と検知されていない場合の表示があります。



83S05460



59R50640

警告

アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) を使用しないときは、必ずクルーズスイッチ (1) を押してシステムを解除してください。誤ってアダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) を作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 標識や標示で指定された最高速度を超えないように車速を設定してください。

→ 5-127ページ (設定車速の変えかた)

- 次のいずれかのときは、設定できません。
 - ・車速が約 1 km/h 以下のとき
 - ・車速が約 40 km/h 以下で、先行車を検知していないとき
 - ・セレクトレバーが **P** **R** および **N** のとき
 - ・ステレオカメラが故障または一時停止したとき
 - ・ESP® OFF スイッチが押されているとき
 - ・運転席のシートベルトを外しているとき
 - ・運転席のドアを開けているとき
 - ・パーキングブレーキが解除されていないとき
 - ・ブレーキパッドが高温のとき
 - ・急勾配を走行しているとき
- エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、自動的にシステムが解除されます。

📌アドバイス

ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。

→ **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

先行車検知表示の見かた

表示	状況
 53SB3050	先行車が検知されていないとき（定速制御になります）
 53SB3051	先行車が検知されているとき（減速・追従制御になります）

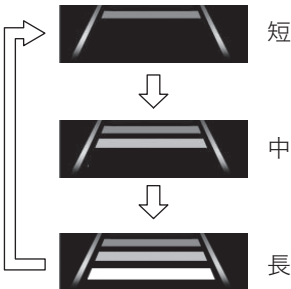
5

■ 車間距離設定の切替えかた

先行車の車間距離は、交通状況に応じて「短」、「中」、「長」の3段階から選択できます。

- アダプティブクルーズコントロール表示灯（7）が点灯中に、車間距離設定スイッチ（6）を押すと、車間距離設定表示（9）が次のように切り替わります。

車間設定



68PJ40013

📌アドバイス

- エンジン进行を切ると記憶が消去され、初期状態にもどります。
- 車速や道路状況に応じて適切な車間距離は増減しますが、次の表を参考に設定してください。

<車速80 km/h走行時の目安>

車間設定	車間距離
「短」	約35 m
「中」	約45 m
「長」	約55 m

■ 一時的に加減速したいときは

加速したいとき

アクセルペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、通常走行と同様に加速できます。

- アクセルペダルを踏み込むと制御が一時的に解除され車速が上がります。このとき、アダプティブクルーズコントロールの警告範囲内に先行車がいっても前方衝突警報は作動しません。
- アクセルペダルから足を離すと、自動的にもとの制御にもどります。

減速したいとき

ブレーキペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、マルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯(11)が消えて、待機状態になります。

一時的に解除した制御を復帰できます。
→ **5-129ページ(一時的な解除の復帰)**

ⓘ アドバイス

- アダプティブクルーズコントロールシステム制御中にESP®システムの作動音が聞こえる場合がありますが、これはブレーキを昇圧している音であり異常ではありません。

■ 設定車速の変えかた

現在車速にあわせる

- 速度を上げるとき
アクセルペダルで目標の車速まで加速し、RES/SET ノブ (3) を **SET-** 位置 (5) に動かします。
- 速度を下げるとき
ブレーキペダルで目標の車速まで減速し、RES/SET ノブ (3) を **SET-** 位置 (5) に動かします。

ⓘ アドバイス

ブレーキペダルを踏むと制御がキャンセルされ、SET 表示灯 (11) が消灯します。(待機状態)

RES / SET ノブを使って

- 速度を上げるとき
RES/SET ノブ (3) を **RES +** 位置 (4) に動かします。
微調整 (1 km/h ずつ) : 小刻みに動かします。
大幅調整 (5 km/h ずつ) : 動かしたままにし、希望の速度になったら手を離します。
- 速度を下げるとき
RES/SET ノブ (3) を **SET -** 位置 (5) に動かします。
微調整 (1 km/h ずつ) : 小刻みに動かします。
大幅調整 (5 km/h ずつ) : 動かしたままにし、希望の速度になったら手を離します。

アドバイス

先行車を検知している減速・追従制御時は、RES /SET ノブ (3) を **RES+** 位置 (4) に動かしたままセット車速を上げても加速しません。ただし、先行車がいなくなると、自動的にセット車速まで加速しますので気をつけてください。

■ 一時的な解除のしかた

操作による解除

- キャンセルスイッチ (2) を押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- ステレオカメラが一時停止したとき

同時にマルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯 (11) が消えて、待機状態になります。

一時的に解除した制御を復帰できます。

→ **5-129ページ(一時的な解除の復帰)**

制御の自動解除

- 車速が0 km/hになるまで追従し、2秒間以上停止したとき

警告

減速・追従制御中に先行車が停車した場合は、自車も追従して停車します。停止して約2秒後に、制御が自動的に解除されます。制御の解除後はクリープ現象により車両が動き出すため、停車後は速やかにブレーキペダルを踏んでください。

停車後は、室内ブザーが“ピッピッピ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。



59R50650

- 車が横滑りしそうになったとき (ESP®作動時を含む)
- セレクトレバーが **P** **R** および **N** のとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 運転席のドアを開けたとき
- パーキングブレーキが作動したとき
- ブレーキパッドが高温のとき
- 制御による停車時に急坂路を検知したとき

解除された制御を復帰できます。制御が解除されたときの状況が改善されるなどしてから、行ってください。

→ **5-129ページ(一時的な解除の復帰)**

■ 一時的な解除の復帰

RES/SET ノブ (3) を **RES+** 位置 (4) に動かします。マルチインフォメーションディスプレイのSET表示灯 (11) が表示され、制御が復帰します。

ただし以下のときは復帰しません。

- 車速が約 40 km/h 以下で、先行車を検知していないとき
- 先行車を検知しているが、車速が約 1 km/h 以下のとき

■ システムの解除

- クルーズスイッチ (1) を押したとき

🔊 アドバイス

システム異常があると自動的に解除され、同時にアダプティブクルーズコントロール警告灯が点灯します。

→ 5-130 ページ (アダプティブクルーズコントロール警告灯)

■ 前方衝突警報

減速・追従制御中に先行車が急減速したり、他車が割り込んできたりして、十分に自動減速ができず先行車に接近すると、前方衝突警報が作動して注意を促します。

室内ブザーが、“ピピピピッ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。



53SJ0016

- 前方衝突警報が作動したときは、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

⚠ 警告

- 前方衝突警報が頻繁に作動するような状況では、アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) を使用しないでください。
- 次のようなときは、短い車間距離でも前方衝突警報が作動しない場合があります。
 - ・ 先行車とほぼ同じ速度で走行するとき
 - ・ 先行車の方が速く、次第に離れていくとき
 - ・ 目標車速をセットした直後
 - ・ アクセルペダルを踏んでいるとき
 - ・ や離れた直後

● 5-123ページの

次のような状況に注意してください

もあわせてお読みください。

- 衝突のおそれがあると判断されると、前方衝突警報ブレーキが作動します。

→ 5-88 ページ (デュアルカメラ ブレーキサポート (DCBS))

■ アダプティブクルーズコントロール警告灯



54P000233

メーター内にあります。

→ **1-20ページ (警告灯)**

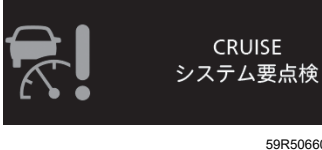
- アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときにオレンジ色に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約6秒間点灯したあと消灯します。
- ESP® を作動停止 (OFF) にすると、ESP® OFF 表示灯、デュアルカメラブレーキサポート OFF 表示灯および車線逸脱警報OFF 表示灯が点灯し、アダプティブクルーズコントロールの機能が作動停止します。

→ **5-88ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))**

■ アダプティブクルーズコントロールのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メーター内またはマルチインフォメーションディスプレイに警告灯もしくはメッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

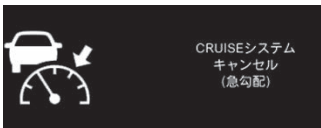
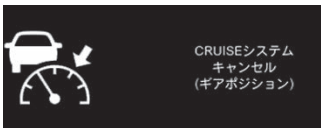
メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
	 点滅	ポーン (1回)	アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）のシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → 5-130ページ（アダプティブクルーズコントロール警告灯）
	消灯	ピピピ...	先行車に接近しています。ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。 → 5-129ページ（前方衝突警報）

- アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）が設定できないとき。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
	消灯	なし	ブレーキパッドが高温のため設定できません。安全な場所に停車して、ブレーキパッドの温度が下がるまで待ってください。 → 5-124ページ（車速設定のしかた）
	消灯	なし	車速が約40 km/h 以下のため設定できません。40 km/h 以上の速度まで加速して設定してください。 → 5-124ページ（車速設定のしかた）

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISEシステムを SETできません (シートベルト) 59RN05840	消灯	なし	運転席のシートベルトが外れているため、設定できません。運転席のシートベルトを着用して設定してください。 → 5-124ページ (車速設定のしかた)
 CRUISEシステムを SETできません (急勾配) 59RN05850	消灯	なし	急勾配を走行しているため設定できません。平坦な道で設定してください。 → 5-124ページ (車速設定のしかた)
 CRUISEシステムを SETできません (ギアポジション) 59RN05860	消灯	なし	セレクトレバーが [D] または [L] の位置にないため設定できません。セレクトレバーを [D] または [L] の位置にして設定してください。 → 5-124ページ (車速設定のしかた)
 CRUISEシステムを SETできません 59RN05870	消灯	なし	上記以外で設定できないとき。説明に従い車速設定を再度行ってください。 → 5-124ページ (車速設定のしかた)

- アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）が自動解除したとき。

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISEシステム キャンセル (ブレーキパッド高温) 59RN05880	消灯	ポーン (1回)	ブレーキパッドが高温になったため自動解除しました。安全な場所に停車して、ブレーキパッドの温度が下がるまで待ってください。
 CRUISEシステム キャンセル (シートベルト) 59RN05890	消灯	ポーン (1回)	運転席のシートベルトが外れたため自動解除しました。運転席のシートベルトを着用して復帰してください。 → 5-128ページ (制御の自動解除) → 5-129ページ (一時的な解除の復帰)
 CRUISEシステム キャンセル (急勾配) 59RN05900	消灯	ポーン (1回)	急勾配を走行していたため自動解除しました。平坦な道で復帰してください。 → 5-128ページ (制御の自動解除) → 5-129ページ (一時的な解除の復帰)
 CRUISEシステム キャンセル (ギアポジション) 59RN05910	消灯	ポーン (1回)	セレクトレバーが [D] または [L] 以外になったため自動解除しました。 [D] または [L] の位置にして復帰してください。 → 5-128ページ (制御の自動解除) → 5-129ページ (一時的な解除の復帰)

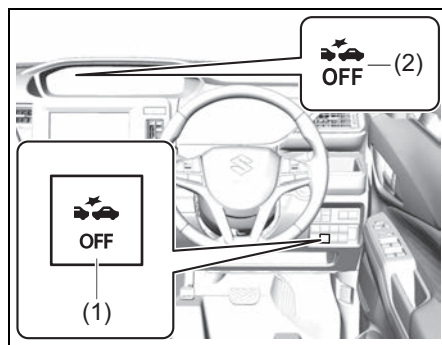
メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 CRUISEシステム キャンセル 59RN05920	消灯	なし	キャンセルスイッチを押した、ブレーキペダルを踏んだなどの操作により解除しました。また、運転席のドアが開いたなどの理由により自動解除しました。原因を改善して復帰してください。 → 5-128ページ (操作による解除) → 5-128ページ (制御の自動解除) → 5-129ページ (一時的な解除の復帰)
	消灯	ポーン (1回)	上記以外で自動解除したとき。原因を改善して復帰してください。 → 5-128ページ (制御の自動解除) → 5-129ページ (一時的な解除の復帰)

デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFFスイッチ

タイプ別装備

DCBS、誤発進抑制機能、後退時ブレーキサポート、および後方誤発進抑制機能を停止できます。

- 機能を停止させるときは完全に停車させてから、メーター内のDCBS OFF表示灯 (2) が点灯するまでDCBS OFFスイッチ (1) を長押しします。
- 機能を復帰させるときは、もう一度DCBS OFFスイッチを長押ししてDCBS OFF表示灯を消灯させます。
- 走行中はDCBS OFFスイッチを押して機能を停止できません。
- 手でエンジンを停止するたびに機能は復帰し、DCBS OFF表示灯は消灯します。
- DCBS OFFスイッチを押すたびに、室内のブザーが“ピッ”と鳴り、作動が切り替わったことをお知らせします。



83S05471

- 次のような状況では、DCBS および誤発進抑制機能が予期せず作動するおそれがあるため、事前に DCBS OFF スイッチを操作して作動停止の状態にしてください。
 - ・車検などでデスターに載せるとき
 - ・車をリフトで上げて、タイヤを空転させるとき
 - ・けん引されるとき

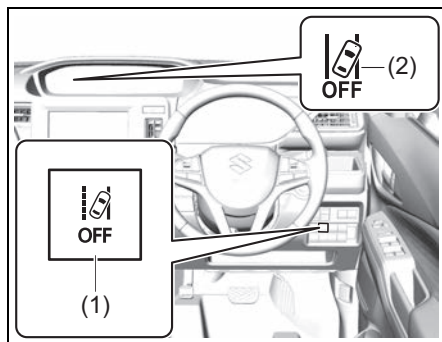
- ・キャリアカーなどに積載するとき
- ・サーキット場などでスポーツ走行するとき
- ・ビニールカーテンや垂れ下がった枝があるとき
- ・生い茂った草むらなどを走行するとき
- ・洗車機を使用するとき
- ・スペアタイヤ (市販品) やタイヤチェーンを装着したとき
- ・パンクを応急修理したとき
- ・事故にあったときや、故障などで走行が不安定なとき
- ・衝突被害軽減ブレーキ機能が何回も予期せず作動したとき
- ・タイヤの空気圧が適正でないとき
- ・タイヤが著しく摩耗しているとき
- ・指定サイズ以外のタイヤやホイールを装着したとき
- ・サスペンションを改造したとき
- ・ステレオカメラの視界をさまたげるようなものを取り付けたとき
- ・ヘッドライトの汚れなどで、前方を正しく照射できないとき
- ・ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ・ヘッドライトやフォグランプを改造したとき
- ・重い荷物を積んで、車両が傾いているとき

車線逸脱警報OFFスイッチ

タイプ別装備

車線逸脱警報およびふらつき警報を停止できます。

- 機能を停止させるときは、メーター内の車線逸脱警報OFF表示灯 (2) が点灯するまで車線逸脱警報 OFF スイッチ (1) を長押しします。
- 機能を復帰させるときは、もう一度車線逸脱警報 OFF スイッチを長押しして車線逸脱警報OFF表示灯を消灯させます。
- 車線逸脱警報 OFF スイッチを押すたびに、室内にブザーが“ピッ”と鳴り、作動が切り替わったことをお知らせします。



83S05481

⚠️ アドバイス

- 一度エンジンを止め、再始動しても作動可能な状態にもどりません。エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にする前の作動状態を維持します。
- 車線逸脱警報 OFF スイッチが操作されていた場合でも、車線逸脱抑制機能の作動時は車線逸脱警報機能が作動します。

→ 5-95ページ

(車線逸脱警報機能)

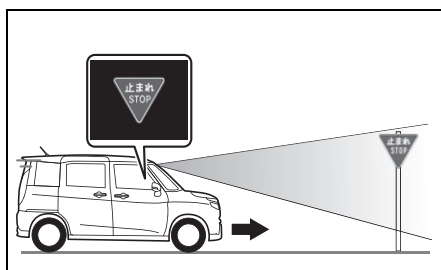
標識認識機能

タイプ別装備

ステレオカメラが走行中に認識した標識を、マルチインフォメーションディスプレイに表示し、運転者へお知らせします。

■ 一時停止標識を認識したときは

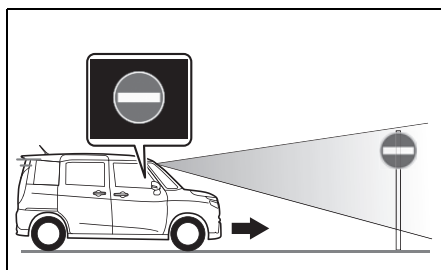
- 走行時 (約40 km/h以下)、一時停止標識を認識すると、マルチインフォメーションディスプレイへ表示して運転者へお知らせします。



83S05490

■ 車両進入禁止標識を認識したときは

- 走行時 (約60 km/h以下)、車両進入禁止標識を認識すると、マルチインフォメーションディスプレイへ表示して運転者へお知らせします。



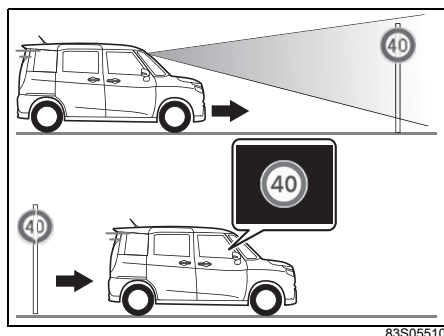
83S05500

- ステレオカメラが車両進入禁止標識を認識し、自車が一方通行の道路へ進入したと判断した場合、マルチインフォ

メーションディスプレイの表示を点滅させ、運転者へ注意を促します。

■ 最高速度またははみ出し通行禁止標識を認識したときは

標識を通過すると、マルチインフォメーションディスプレイに表示し、運転者へお知らせします。



83S05510

⚠ 警告

標識認識機能には限界がありますので、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。標識認識機能にたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。

🔊 アドバイス

- 周囲の状況や車両の状態などにより、マルチインフォメーションディスプレイへの表示が遅れる場合があります。
- 標識認識機能は、最大2つまでマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。
- 次の状況になると、マルチインフォメーションディスプレイの表示は消えます。
 - ・ 最高速度またははみ出し通行禁止標識が表示されたあと、一定の距離を走行したとき
 - ・ 方向指示器を点滅させて、右折または左折するとき
 - ・ セレクトレバーの位置が **P** **R** のとき（最高速度または一時停止標識が表示されているときを除く）
 - ・ 最高速度やはみ出し通行禁止標識の上にある規制区間の終わりを示す標識を通過したとき
- 最高速度標識が表示された状態でエンジンスイッチを **OFF** したとき、再度エンジンを始動させると、前回と同じ標識が表示されます。
- 最高速度標識は、実際よりも高い速度を表示したり、低い速度を表示することがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、標識認識機能を停止することができます。また標識認識機能表示は、交差点案内表示との優先表示の切替えをすることもできます。
 - **4-25ページ**
(セッティングモード一覧)
- ヘッドアップディスプレイ装備車は、メッセージがディスプレイにも表示されます。
 - **5-158ページ**
(ヘッドアップディスプレイ)

■ 認識する標識の種類

マルチインフォメーション ディスプレイの表示	表示条件
 59R50840	最高速度標識を認識し、標識を通過すると表示
 59R50850	はみ出し通行禁止標識を認識し、標識を通過すると表示
 59R50860	車両進入禁止標識を認識すると同時に表示
 59R50870	一時停止標識を認識すると同時に表示

■ こんな場合は作動しません

次のときは、標識認識機能が作動しません。

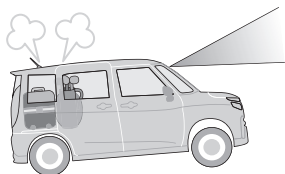
- **ハイブリッド車以外**
エンジンがかかっていないとき
- **ハイブリッド車**
ハイブリッドシステムが起動していないとき
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、デュアルカメラブレーキサポート作動表示灯および車線逸脱警報作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-69 ページ (デュアルカメラブレーキサポート作動表示灯)**
→ **4-71 ページ (車線逸脱警報作動表示灯)**
- セレクトレバーの位置が **[P]** **[R]** **[N]** のとき
- ステレオカメラが一時停止または故障しているとき
→ **5-81 ページ (ステレオカメラの一時停止・故障)**
- ESP® OFFスイッチを操作して、ESP® を停止させているとき
→ **5-193 ページ (ESP® OFFスイッチ)**
- マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、標識認識機能を停止させているとき
→ **4-25 ページ (セッティングモード一覧)**
- 最高速度標識はないが、最高速度が定められた区間を走行するとき

■ こんな場合は正しく認識できないことがあります

- 次のようなとき、ステレオカメラが標識を正しく認識できない可能性が高くなります。
また、ステレオカメラが一時停止になる場合があります。状況が改善されると再び機能は作動します。
 - ・ 車速約 60 km/h 以上で車両進入禁止標識に接近するとき
 - ・ 車速約 40 km/h 以上で一時停止標識に接近するとき
 - ・ 大雨、濃霧および吹雪などの悪天候時
 - ・ 前方から強い光（太陽光、対向車のヘッドライトの光など）を受けたとき
 - ・ 雪景色など、周囲一面が同じような色合いのとき
 - ・ 照り返しなどにより明るくなった路面を走行しているとき
 - ・ 真っ暗で周囲に街灯などの照明がないとき
 - ・ 前方車両の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などで前方の視界が悪いとき
 - ・ 夕方、朝方、夜間など暗くて見えづらい時間帯や、屋内駐車場などの暗い場所にいるとき
 - ・ 標識の手前で減速もしくは加速するときや、車線変更や右折または左折をした場合など、車両進行方向または車両位置が大きく変化したとき
 - ・ フロントガラスにくもり、雪、氷、土埃などが付着して汚れているとき
 - ・ フロントガラス上の雨滴や水滴、汚れが十分にふき取れてないとき
 - ・ フロントウォッシャーの使用中止
 - ・ スズキ純正品以外のワイパーブレードを装着したとき（長さが短いタイプ含む）
 - ・ 指定サイズ以外のタイヤを装着したときやタイヤの空気圧が適正ではないとき

- ・重い荷物を積んで、車両が傾いているとき

例



83S05200

- ・ヘッドライトに汚れ、氷雪、泥などが付着しているとき
- ・ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ・トンネルの出入り口を通過するなど、明るさが極端に変化するとき
- ・凸凹道や石だたみなどの悪路で車両が揺れ、ステレオカメラの視界が安定しないとき

- 次のようなとき、標識認識が正しく作動せず、自車に関係の無い標識を表示したり、その場に存在しない標識を表示したりすることがあります。
 - ・ 自車が進行する道路に対して隣接する側道や、分岐地点、合流地点に標識があるとき（高速道路の分岐地点や合流地点に設置された最高速度標識、側道が本線に合流する地点の一時停止標識など）
 - ・ 標識の色や形に似たものがあるとき（類似の標識、看板、構造物など）
 - ・ ロータリーや環状交差点（ラウンドアバウト）を走行中、前方に標識があるとき
 - ・ 標識のステッカーが貼られている車両が前方にある、もしくはそれらの車両を追い越すとき
 - ・ 標識に影が写りこんでいるとき

アドバイス

次のような場合は、インフォメーションディスプレイに表示されている標識が実際の規制速度と異なる場合があります。実際の交通規則に従って運転してください。

- ・ 規制速度が変化する道路において、新たな規制速度の最高速度標識が設置されていないとき
- ・ 車線や文字などの道路（路面）標示、規制区間の終わりや条件（曜日や時間帯）を示す矢印の補助標識などがあるエリアを走行するとき

■ 標識の位置や状態により正しく認識できないことがあります

次のようなときは、標識の認識が遅れたり、正しく認識しないまたは誤って認識することがあります。

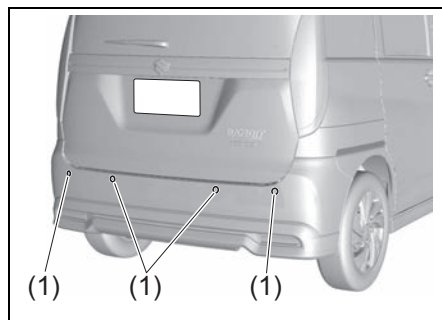
- ・ 標識の一部が汚れていたり、樹木や前方の車両などによって隠れて不明瞭なとき
- ・ 標識の周りがこみ入って見つけにくいとき
- ・ 標識が遠く離れた位置にあるとき
- ・ 標識が折れ曲がっているときなど形状が変わってしまっているとき
- ・ 標識が色あせているとき
- ・ 標識の向きが変わっていたり、破損しているとき
- ・ 数字の一部が隠れていたり、かすれていたりして数字の判別がつきにくいとき
- ・ 強い光（太陽光やヘッドライトの光など）が標識に反射して、正しく認識できないとき
- ・ 標識の上や下に、看板、ポスター、案内板などが設置されているとき
- ・ 標識に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき
- ・ 標識が曲がり角やカーブ路にあるとき

- ・異なる最高速度標識が複数設置されているとき
- ・ヘッドライトの光が届きにくい位置にあるとき
- ・標識が街灯などの光や建物の影などで見えにくくなっているとき
- ・小さいサイズの標識のとき
- ・標識が電光式のとき
- ・背景の建物などに同化して、標識を判別しにくいとき
- ・自発光式の一時停止標識が点滅しているとき

後方

超音波センサー

超音波センサーは、送信した超音波が障害物にあたって反射してきたものを再度受信し、その送受信に要した時間から障害物の位置を検出します。



83S05520

(1) 超音波センサー

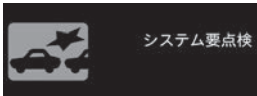
- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 注意

- センサーおよびその周辺に強い衝撃を受けたとき、またはセンサーの故障や衝突などにより取り付け方向がずれているときは、システムが正常に作動しない場合があります。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 高圧洗浄機を使うときは、センサーに直接ノズルを向けないでください。センサーが正常に作動しなくなったり破損のおそれがあります。
- スチームを使用した洗浄機を使うときは、センサーにスチームを近づけすぎないようにしてください。センサーが正常に作動しなくなったり破損のおそれがあります。
- センサーの分解、改造、塗装などをしないでください。
- スズキ純正品以外のセンサーを使用しないでください。
- センサーに傷などをつけないようにして、常にきれいな状態にしてください。

■ 超音波センサーの一時停止・故障

次の表のようになったとき、センサーが一時停止または故障しています。

		超音波センサーの状態		
		一時停止 (※2)	システムの 一時停止	故障
後退時ブレーキ サポート作動表示灯 ※1	 79R10130	点灯		
システム 一時機能停止表示 ※1	 59R50920	表示 (R 以外)	表示	非表示
マスター ウォーニング ※1	 81M10110	点滅 (R 以外)	点滅	
システム要点検表示 ※1	 59R50930	非表示		表示
リヤパーキング センサー作動表示灯	 59S010120	点灯		
リヤパーキング センサー掃除表示	 59R41070	表示		非表示

※1 タイプ別装備

※2 センサーの一時停止については、**5-146 ページ**の「**超音波センサーが異物を検知したとき**」もお読みください。

 アドバイス

- 超音波センサー一時停止、超音波センサーシステム一時停止または超音波センサー故障のときは下記の機能が停止します。
 - ・後退時ブレーキサポート（タイプ別装備）
 - ・後方誤発進抑制機能（タイプ別装備）
 - ・リヤパーキングセンサー
- デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）（タイプ別装備）が一時停止したときは、マルチインフォメーションディスプレイ内の、超音波センサーシステム一時機能停止表示が点灯します。
- デュアルカメラブレーキサポート（タイプ別装備）が故障したときは、マルチインフォメーションディスプレイ内の、超音波センサーシステム要点検表示が点灯します。

超音波センサーの一時停止

次のようなときセンサーが一時的に停止します。

状況が改善されれば、センサーの一時停止は解除されます。

- デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）（タイプ別装備）が一時的に停止したとき
- センサー部に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき
- 鉛バッテリーの電圧が一時的に異常になったとき

超音波センサーの故障

故障したときは、エンジンスイッチを **LOCK**（OFF）にするまでシステムが停止します。

安全な場所に停車して、エンジンスイッチを **LOCK**（OFF）にし、エンジンを止めてください。再度、エンジンを始動したとき、後退時ブレーキサポート作動表示灯が消灯していることを確認します。

- エンジンを再始動しても後退時ブレーキサポート表示灯が点灯している場合、センサーの故障が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠️ アドバイス

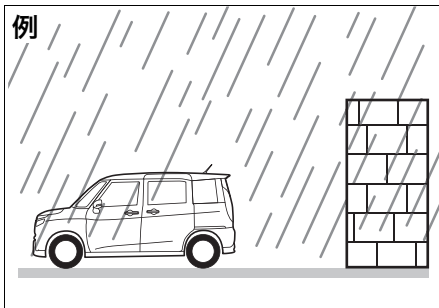
- デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）（タイプ別装備）が故障すると、超音波センサーも故障の状態になります。
- 後退時ブレーキサポート作動表示灯（タイプ別装備）が点灯し、故障が考えられる場合、システムが停止しますが、通常の走行には支障ありません。

■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のようなとき、センサーが障害物を正しく検知できずに、後退時ブレーキサポートが正常に作動しない場合があります。

- センサー部に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき（異物を取り除いてください）
- 大雨、濃霧、吹雪などの悪天候時

例

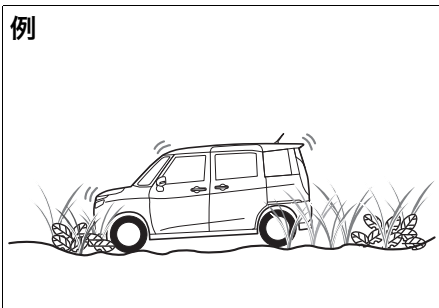


83S05540

- 車両の排気ガスや水、雪の巻き上げ、水蒸気、砂、煙などで後方の視界が悪いとき
- センサーをステッカー、アクセサリなどで覆ったとき
- けん引フック、字光式ナンバープレート、フォグランプ、コーナールール、または無線機アンテナなどの市販の電装品を装着したとき
- サスペンションの改造などで車両姿勢やバンパーの高さを変更したとき
- 衝突などによりリヤパーキングセンサーの取り付け方向がずれているとき
- タイヤチェーンまたは指定サイズ以外のタイヤを装着したとき
- 段差を乗り越えるなどで車両が傾いているとき
- 炎天下や寒冷時にセンサー付近が熱いときや冷たいとき
- 湿度が極端に高いまたは低いとき

- 凸凹道、坂道、じゃり道、草むらを走行中のとき
- 車が大きく傾いたとき

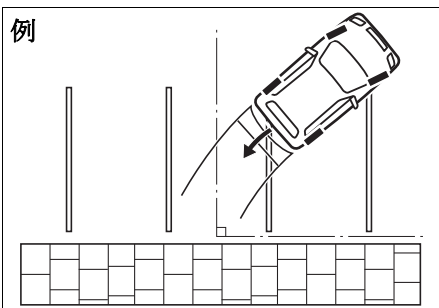
例



83S05550

- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- センサーに障害物が近づきすぎたとき
- 障害物に対して斜め方向や壁などの端（角）に向かったとき（反射波がもどってこない）
- 車両に対して壁などの障害物が垂直の位置にないとき

例



79R40480

- 地面に対して垂直でない壁、凸凹な壁、波状のような連続模様のある壁やシャッター
- 壁から飛び出している柱やパイプなどの配管

- 人、スポンジ状のもの、雪壁などの音を吸収しやすいもの

例



79R40470

- 歩行者、自転車、動物などの動いているもの
- 突然進行方向に出てきた障害物（旋回中、または旋回直後に、車両左右後端付近に突然出てきた障害物）
- 次のような障害物はセンサーが検知できない場合があります。
 - ・ 標識や街灯などポール状の障害物
 - ・ ガードレールなど高さの低い障害物
 - ・ 小さい障害物またはチェーンやロープなどの細い障害物
 - ・ 細かい網目状のフェンス

超音波センサーが異物を検知したとき

超音波センサーが泥、雪、氷などのセンサーに付着した異物を検知すると以下の表のようにマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。付着した異物を取り除けば正常に復帰します。異物を検知している間は超音波センサーは一時停止しています。異物が付着していないのに表示される場合は、センサーの異常の可能性があります。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

セレクトレバー	マルチインフォメーションディスプレイ
R 以外	 システム 一時機能停止中 59R50920
R	P パーキング センサーを掃除 して下さい ⇒ ※ 59R50940 異物を検知しているセンサー側 が表示されます

後退時ブレーキサポート

タイプ別装備

後退時ブレーキサポートは、セレクトレバーが **R** で徐行（車速約 10 km/h 以下）で後退中、超音波センサーにより車両後方の壁などの障害物との衝突を回避できないと判断したときに、自動で強いブレーキをかけて衝突の回避または、衝突時の被害軽減を図る機能です。作動中は次の方法でお知らせします。

- メーター内の後退時ブレーキサポート作動表示灯が点滅
→ 4-70 ページ（後退時ブレーキサポート作動表示灯）
- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージを表示
→ 4-33 ページ
（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）
- 室内ブザーが“ ピー—— ”と連続して鳴る

⚠ 警告

- 後退時ブレーキサポートの検知・制御性能には限界がありますので、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。後退時ブレーキサポートにたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で後退時ブレーキサポートの作動確認を行なわないでください。周囲の状況によっては後退時ブレーキサポートが作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は、強いブレーキがかかります。運転前に全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。

■ 作動イメージ

- ① 障害物へ接近（車間距離短縮）
（約 10 km/h 以下）



- ② 距離短縮（衝突を回避できないと判断）



- ③ 衝突を回避または被害を軽減



83S05531

- ※1 リヤパーキングセンサーのブザー
後退時の速度によっては、リヤパーキングセンサーが作動する（ブザーが鳴る）前に、後退時ブレーキサポートが作動する場合があります。
- ※2 衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停止後、衝突被害軽減ブレーキ機能が解除されるまでの間、後退時ブレーキサポートのブザー音は継続されます。また、後退時ブレーキサポート作動表示灯は、ブレーキ制御終了後、約 3 秒後に消灯します。

⚠ 注意

オートマチック車（オートギヤシフト車）は衝突被害軽減ブレーキ機能が解除されるとクリーブ現象により車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停止後は、すみやかにブレーキをかけてください。

🔊 アドバイス

- 後退時ブレーキサポート作動中に、障害物がセンサーの検知範囲外に移動したり、運転者が回避行動（ステアリングまたは、アクセルペダルの操作）を行なったときには、途中で後退時ブレーキサポートの作動が解除されることがあります。
- 後退時ブレーキサポート作動中にセレクトレバーを **[R]** 以外に操作すると、後退時ブレーキサポート機能は停止します。

■ こんな場合は作動しません

次のようなとき、後退時ブレーキサポートは作動しません。

- エンジン停止中のとき（アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中を除く）
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、後退時ブレーキサポート作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-70 ページ（後退時ブレーキサポート作動表示灯）**
- **ハイブリッド車以外**
セレクトレバーの位置が以下のとき
[P] [N] [D] [L]
- **ハイブリッド車**
セレクトレバーの位置が以下のとき
[P] [N] [D] [M]
- 次のスイッチを操作して、デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）を停止させているとき
 - ・デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ
→ **5-135 ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ）**
 - ・ESP®OFFスイッチ
→ **5-193ページ（ESP® OFFスイッチ）**
- 後方の障害物を検知できないとき
- 急な坂道のとき
- センサーが一時停止または故障しているとき
→ **5-144ページ（超音波センサーの一時停止）**
→ **5-144ページ（超音波センサーの故障）**

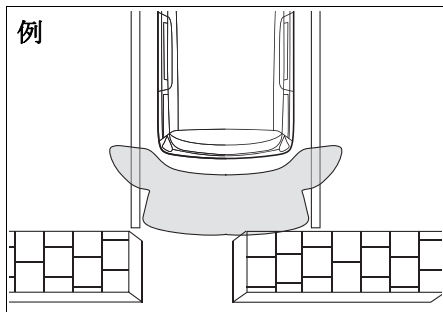
■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のようなとき、後退時ブレーキサポートが正常に作動しない場合があります。

超音波センサーが正常に作動しないとき
→ **5-144ページ（こんな場合は正常に作動しないことがあります）**

- 水たまり走行後や洗車後などでブレーキが濡れて効きが悪くなっているとき
- ブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドル操作をしていたりするとき
- 地面が傾斜している場所を走行中のとき
- 進行方向に複数の障害物が重なってあるとき
- 壁などの障害物の一部しかセンサーの検知範囲内に入っていないとき

例



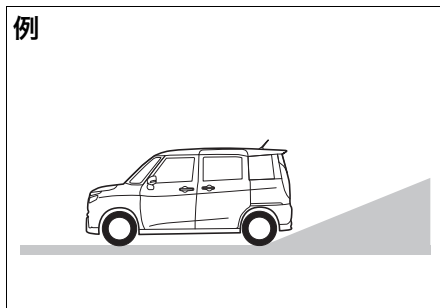
83S05560

■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、センサーが衝突の可能性のある障害物と判断して後退時ブレーキサポートが作動する場合があります。

- 路面の勾配が急に変化するような場所を走行するとき

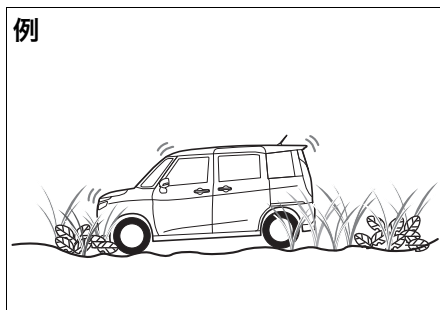
例



83S05570

- 進行方向に駐車場のバーや遮断機、看板などがあるとき
- 垂れ幕、コンビニエンスストアなどに設置してあるのぼりや街路樹などがあるとき
- 縁石などの背が低い障害物
- 生い茂った草むらなどの悪路を走行するとき

例



83S05550

- サスペンションの改造などで車両姿勢やバンパーの高さを変更したとき
- 幅の狭い場所に進入するとき
- 後方障害物のすぐ近くに停車するとき
- シャシダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- 重い荷物を積んで、車両後方が著しく傾いているとき
- 船舶またはキャリアカーなどへ積載する際に、車両後方が著しく傾いているとき
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- 車両後方に障害物がある状態で、起伏や段差などを乗り越えるとき
- 路面に段差、縁石、車止め、突起物などがあるとき
- 側溝のグレーチングなどの金属製のフタの上や砂利道を走行するとき

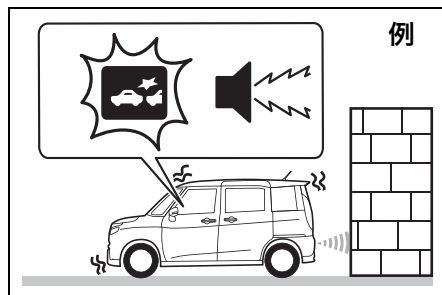
後方誤発進抑制機能

タイプ別装備

後方誤発進抑制機能は停車または徐行（車速約10 km/h以下）で後退中に、車体後端から後方約3 m以内に壁などの障害物を検知すると、アクセルペダルの急激で強い踏み込みによるエンジン出力の上昇を自動的に最大約5秒間抑制することで衝突時の被害軽減を図る機能です。抑制されていたエンジン出力は、機能が解除されると徐々にもどります。作動中は、次の方法でお知らせします。

- メーター内の後退時ブレーキサポート作動表示灯が点滅
→ **4-70 ページ（後退時ブレーキサポート作動表示灯）**
- マルチインフォメーションディスプレイにメッセージを表示
→ **4-34ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧）**
- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴る

後退時ブレーキサポート作動表示灯の点滅は、機能が解除されてから約3秒後に消灯します。



警告

- 後方誤発進抑制機能は、運転者による安全運転をサポートし、衝突時の被害を軽減することを目的としていますが、その検知・制御性能には限界がありますので、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。後方誤発進抑制機能にたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- お客様自身で後方誤発進抑制機能の作動確認を行わないでください。周囲の状況によっては後方誤発進抑制機能が作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 後方誤発進抑制機能は停車状態を保つものではありません。急な上り坂などを後退で上がっている場合に機能が作動すると、自重により坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 後輪を輪止めや縁石などに接触させておくと、より衝突を回避しやすくなります。
- 後方誤発進抑制機能作動中にセレクタレバーを **[R]** 以外に操作すると、後方誤発進抑制機能は停止します。

■ こんな場合は作動しません

次のようなとき、後方誤発進抑制機能は作動しません。

- エンジン停止中のとき（アイドリングストップシステムによるエンジンの自動停止中を除く）
- エンジンスイッチを **[ON]** にした直後の、後退時ブレーキサポート作動表示灯が初期点灯しているとき
→ **4-70 ページ（後退時ブレーキサポート作動表示灯）**
- **ハイブリッド車以外**
セレクタレバーの位置が以下のとき
[P] [N] [D] [L]
- **ハイブリッド車**
セレクタレバーの位置が以下のとき
[P] [N] [D] [M]
- 次のスイッチを操作して、デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）を停止させているとき
 - ・デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ
→ **5-135 ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ）**
 - ・ESP® OFFスイッチ
→ **5-193ページ（ESP® OFFスイッチ）**
- 急な坂道のとき
- 後方の障害物を検知できないとき
- センサーが一時的に停止または故障しているとき
→ **5-144ページ（超音波センサーの一時停止）**
→ **5-144ページ（超音波センサーの故障）**

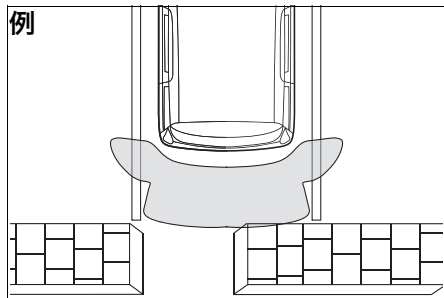
■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のようなとき、後方誤発進抑制機能が正常に作動しない場合があります。

超音波センサーが正常に作動しないとき
→ **5-144ページ（こんな場合は正常に作動しないことがあります）**

- ハンドル操作をしているとき
- 標識などの背が高く上部が張り出している障害物
- 縁石などの背が低い障害物
- 地面が傾斜している場所を走行中のとき
- 壁などの障害物の一部しかセンサーの検知範囲内に入っていないとき

例



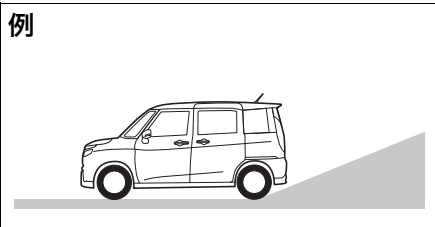
83S05560

■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、センサーが衝突の可能性のある障害物と判断して後方誤発進抑制機能が作動する場合があります。

- 路面の勾配が急に変化するような場所を走行するとき

例



83S05570

- 進行方向に駐車場のバーや遮断機、看板などがあるとき
- 垂れ幕、コンビニエンスストアなどに設置してあるのぼりや街路樹などがあるとき
- 縁石などの背が低い障害物
- 生い茂った草むらなどの悪路を走行するとき

例



83S05550

- サスペンションの改造などで車両姿勢やバンパーの高さを変更したとき
- 幅の狭い場所に入進するとき
- 後方障害物のすぐ近くに停車するとき
- ショーダンダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- 重い荷物を積んで、車両後方が著しく傾いているとき
- 船舶またはキャリアカーなどへ積載する際に、車両後方が著しく傾いているとき

- センサー部に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき（異物を取り除いてください）
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- 車両後方に障害物がある状態で、起伏や段差などを乗り越えるとき
- 路面に段差、縁石、突起物などがあるとき
- 側溝のグレーチングなどの金属製のフタの上や砂利道を走行するとき

■ 踏切内などで作動した場合は

後方誤発進抑制機能が遮断機を障害物と判断して、踏切内に閉じ込められた場合は、次のいずれかの操作を行ない、機能を解除または停止させて、踏切内からすみやかに脱出してください。

- アクセルペダルを5秒以上踏み続ける
- いったんアクセルペダルを離し、再度すばやく踏み込む
- **ハイブリッド車以外**
セレクトレバーの位置が以下のとき

P
N
D
L
- **ハイブリッド車**
セレクトレバーの位置が以下のとき

P
N
D
M
- デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチを長押しする
→ 5-135ページ
（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスイッチ）

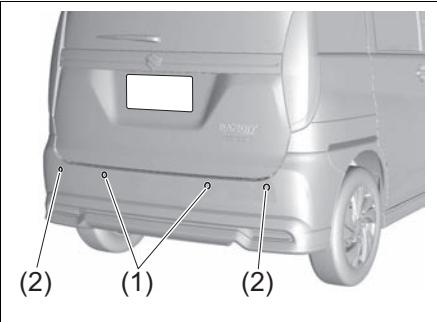
⚠ 警告

遮断機が下がる直前に無理に踏切内に侵入しないでください。踏切内で後退時ブレーキサポートや後方誤発進抑制機能が作動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 8-2 ページ（踏切内で動けなくなったときは）

リヤパーキングセンサー

リヤバンパーに装着された超音波センサーにより、車両後方の障害物を検知します。

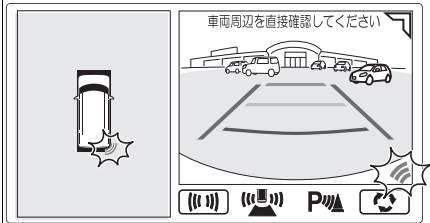


83S05590

- (1) 中央センサー
- (2) コーナーセンサー

セレクトレバーが **R** の位置で停車中、または徐行で後退中に壁などの障害物を検知すると、室内後方のブザーが障害物までの距離に応じて鳴ります。全方位モニターには、センサーの検知情報が画面に表示されます。

全方位モニター用カメラ装備車



57S0165

表示色	距離（目安）	ブザー音
緑 （点滅）	60～150 cm （中央のみ）	ピッ・・・ ピッ・・・ ピッ・・・
黄 （点滅）	45～60 cm	ピッ・ピッ・ ピッ
赤 （点滅）	35～45 cm	ピピピピピピ
赤 （点灯）	35 cm以内	ピー（連続）

全方位モニター用カメラ非装備車

距離（目安）	ブザー音
60～150 cm （中央のみ）	ピッ・・・ピッ・・・ ピッ・・・
45～60 cm	ピッ・ピッ・ピッ
35～45 cm	ピピピピピピ
35 cm以内	ピー（連続）

検知した障害物までの距離により、マルチインフォメーションディスプレイ表示が以下のように切り替わり、リヤパーキングセンサー作動表示灯も点滅します。

→ 4-72 ページ (リヤパーキングセンサー作動表示灯)

距離 (目安)	マルチインフォメーション ディスプレイ表示
60～150 cm (中央のみ)	 83S04340
45～60 cm	
35～45 cm	 83S04350
35 cm以内	 83S04360

⚠ 警告

- リヤパーキングセンサーは運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- センサーの検知範囲、作動速度には限界があります。周囲の安全は必ず直接目視やミラーで確認しながら、ゆっくりと運転してください。リヤパーキングセンサーだけを頼りに運転すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

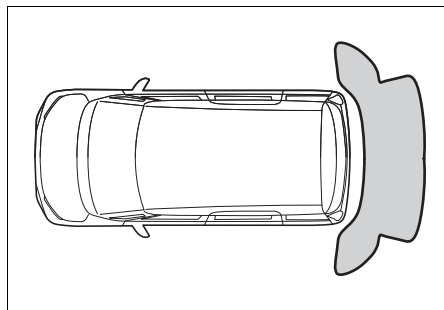
⚠ 注意

- 表内のブザー音以外が鳴ったときは、センサーの故障が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
 - リヤパーキングセンサーが故障すると、リヤパーキングセンサーブザー OFF スwitchの表示灯が点灯しません。表示灯が点灯しないときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 5-157ページ (リヤパーキングセンサー ブザー OFFスイッチ)

📢 アドバイス

- 障害物を検知してから表示されるまでには、多少時間がかかります。
 - いくつかの障害物を同時に検知した場合は、距離の近い障害物を優先して室内ブザーが鳴ります。
 - いつも障害物を検知してブザーが鳴っている場所でも、状況によりブザーが鳴らない場合があります。
 - リヤパーキングセンサーが作動中に障害物を検知すると、リヤパーキングセンサー作動表示灯が点滅します。
- 4-72ページ
(リヤパーキングセンサー作動表示灯)

■ 検知範囲の目安



83S05600

- センサーの直近や真下は検知できません。
- 超音波センサー（コーナー）の検知距離は、約60 cm以内です。
- 超音波センサー（中央）の検知距離は、約150 cm以内です。

5

■ こんな場合は作動しません

次のようなとき、リヤパーキングセンサーは作動しません。

- エンジンスイッチを **ON** にした直後の数秒間
- **ハイブリッド車以外**
セレクトレバーの位置が以下のとき
P N D L
- **ハイブリッド車**
セレクトレバーの位置が以下のとき
P N D M
- メーターのセレクトレバー位置表示に **R** が表示されていないとき、または **—** 表示のとき
- 後方の障害物を検知できないとき
- センサーが一時停止または故障しているとき
 - **5-144ページ**
(超音波センサーの一時停止)
 - **5-144ページ**
(超音波センサーの故障)

■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のようなとき、リヤパーキングセンサーが正常に作動しない場合があります。

超音波センサーが正常に作動しないとき
→ **5-144ページ** (こんな場合は正常に作動しないことがあります)

- 地面が傾斜している場所に駐車しているとき

■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、リヤパーキングセンサーが作動場合があります。

- 路面の勾配が急に変化するような場所を走行するとき

例



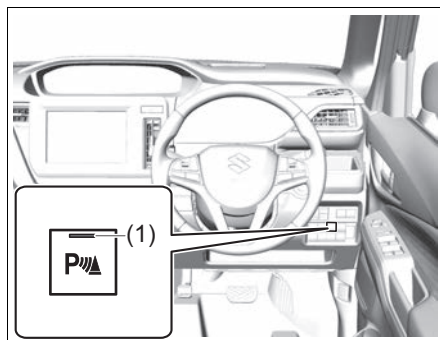
83S05570

- 垂れ幕、コンビニエンスストアなどに設置してあるのぼりや街路樹などがあるとき
- 縁石などの背が低い障害物
- サスペンションの改造などで車両姿勢やバンパーの高さを変更したとき
- 幅の狭い場所に進入するとき
- シャンダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- 重い荷物を積んで、車両後方が著しく傾いているとき
- 船舶またはキャリアカーなどへ積載する際に、車両後方が著しく傾いているとき
- センサー部に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき（異物を取り除いてください）
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- 路面に段差、縁石、突起物などがあるとき
- 側溝のグレーチングなどの金属製のフタの上や砂利道を走行するとき

リヤパーキングセンサー ブザーOFFスイッチ

リヤパーキングセンサーブザーOFFスイッチの表示灯（1）が点灯しているとき、セレクトレバーを **[R]** に入れると、リヤパーキングセンサーが作動します。障害物を検知して室内後方のブザーが鳴っているときにスイッチを押すと、表示灯（1）が消灯し、ブザーが停止します。

- ブザーが停止しているときに、再度スイッチを押す、またはセレクトレバーの位置を **[R]** 以外から **[R]** にすると停止していたブザーが鳴るようになります。

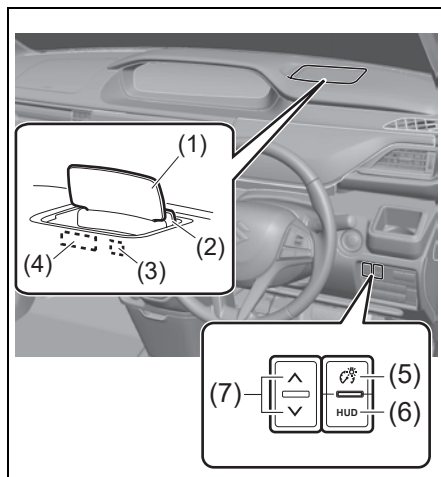


83S05611

ヘッドアップディスプレイ

タイプ別装備

ヘッドアップディスプレイ（HUD）は、現在の車速やギヤポジションなどの情報を運転者の視界前方に表示する機能です。



- (1) ディスプレイ
- (2) カバー
- (3) 受光部
- (4) ミラー
- (5) 明るさ調整スイッチ
- (6) HUDスイッチ
- (7) 上下スイッチ

⚠ 警告

- 走行中にヘッドアップディスプレイを見続けしないでください。前方の車両、歩行者、障害物などを見落として、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 映像の明るさおよび表示位置は、安全運転に支障がないように適切な状態に調整してください。調整が不適切な場合、運転者の視界のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヘッドアップディスプレイの操作は、必ず停車中に行なってください。走行中に操作しようとする、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

ディスプレイが動いているときは手などを近づけないでください。はさまれてけがをすることがあります。

注 記

- ヘッドアップディスプレイの作動が妨げられたり、故障の原因になったりするため、次のことをお守りください。
 - ・ディスプレイの角度調整やカバーの開閉は手で行なわない
 - ・カバーの上やその周辺および受光部には、ものや飲み物を置かない
 - ・ディスプレイやカバーの内部および受光部にシールなどを貼らない
 - ・受光部に強い光を当てない
- カバー内部に落としたものを取り出すときは、ミラーなどの部品が傷つかないように注意して取り出してください。
- ヘッドアップディスプレイの格納部にもものを落として取り出せないときや、ものが落ちたままディスプレイが格納され展開しなくなったときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

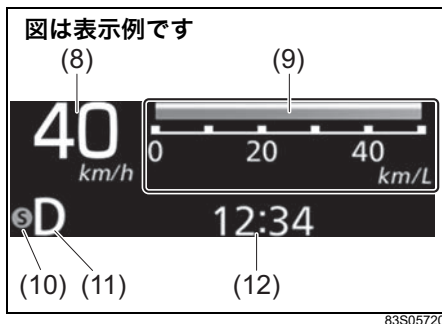
🔧 アドバイス

- サングラスを着用していると、表示が見づらくなる場合があります。表示が見づらい場合は、明るさを調整するか、サングラスをはずしてください。
- 次のような場合は、表示が見づらくなることがあります。
 - ・ 雨の日や日差しの強い日など
 - ・ 積雪路を走行しているときや雨上がりなどで路面が濡れて光っているときなど
 - ・ 夜間、先行車に自車のヘッドライトの光が反射しているときなど
 - ・ 前方車両と表示が重なったとき
 - ・ 運転者の運転姿勢
- 外気温が極端に低い環境などでは、スピードメーターが示す速度とヘッドアップディスプレイの車速表示との間に、わずかなズレが生じることがあります。
- 炎天下に駐車した直後など、ヘッドアップディスプレイが高温になると、保護のために一時的に表示が暗くなる場合があります。さらに高温になると、一時的に表示が消え、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに メッセージが表示されます。
 - ・ 温度が下がると自動的にもとの状態にもどりますが、上記の現象が繰り返される場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
 - ・ 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、高温時の警告をOFFにすることもできます。
 - **4-25ページ（セッティングモード一覧）**

■ ヘッドアップディスプレイの起動

エンジンスイッチを **ON** にしてエンジンがかかる（ハイブリッドシステムが起動する）と自動的にディスプレイが展開し、状況に応じて次の情報が表示されます。

→ **5-160ページ（ヘッドアップディスプレイのON/OFF）**



- (8) 車速
- (9) 基本表示
 - **5-163 ページ（ヘッドアップディスプレイの基本表示）**
- (10) Sモード表示/Mモード表示
 - **5-54ページ（Sモードスイッチ）**
 - **5-66ページ（マニュアルモードの使いかた）**
- (11) セレクトレバー位置表示
 - **4-21 ページ（セレクトレバー位置/ギヤポジション）**
- (12) 時計表示

エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、自動的にディスプレイが格納されます。

アドバイス

- エンジン（ハイブリッドシステム）を停止しても表示設定を記憶しています。
- 車速の表示とスピードメーターで示される車速との間に、わずかに差が生じることがあります。
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、情報の一部を表示させなくすることもできます。
→ **4-25ページ（セッティングモード一覧）**

ヘッドアップディスプレイの ON / OFF

エンジンがかかっている（ハイブリッドシステムが起動している）ときに、HUDスイッチ（1）を長押しすることでディスプレイの展開／格納を切り替えることができます。

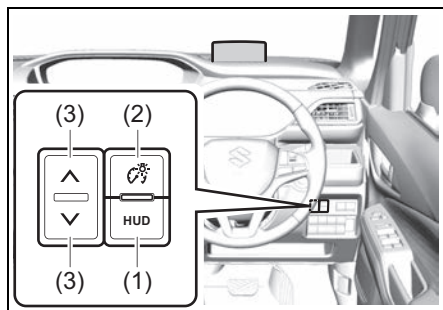
アドバイス

HUDスイッチの操作でヘッドアップディスプレイを格納したままエンジンを止めた場合、次のエンジンの始動時（ハイブリッドシステムの起動時）に自動的に展開しなくなります。

■ ヘッドアップディスプレイの操作

ヘッドアップディスプレイは停車中に操作してください。明るさと表示位置は走行中に調整することができません。

ヘッドアップディスプレイ操作スイッチ

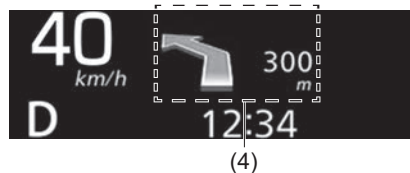


- (1) HUDスイッチ
- (2) 明るさ調整スイッチ
- (3) 上下スイッチ

交差点案内表示のON/OFF (※)

※ 全方位モニターおよび全方位モニター
対応ナビゲーション装着車のみ

図の値は表示例です



83S05740

(4) 交差点案内表示

⌄ アドバイス

- 交差点案内表示のON/OFFは、マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードで行ないます。
→ **4-25ページ (セッティングモード 一覧)**
- ヘッドアップディスプレイの交差点案内表示とナビゲーションの案内表示との間に、わずかなズレが生じることがあります。

明るさ調整

表示の明るさは周囲の状況にあわせて自動的に調整されます。また、自動調整される明るさを、次の方法により明るめまたは暗めに調整することができます。

- 1 明るさ調整スイッチ (2) を押します。
- 2 明るくするときは上下スイッチ (3) のΛ、暗くするときはVを押します。

図の値は表示例です



79R31230

⌄ アドバイス

- 明るさ調整スイッチによる調整は -10~+10までの21段階です。
- 自動調整された明るさによっては、それ以上明るくしたり暗くしたりできない場合があります。
- 次のようなとき、運転席の状況に関わらず明るさが自動で変更されることがあります。
 - ・ トンネルの中を走行しているとき
 - ・ トンネルの出入り口付近を通過しているとき
 - ・ 頭上に構造物などがある道路を走行しているとき

表示位置調整

上下スイッチ (3) を押してディスプレイの表示位置を上下に調整することができます。

図の値は表示例です

表示位置 +4

79R31241

アドバイス

表示位置の調整は-12～+12までの25段階です。

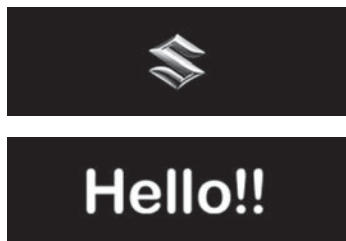
5

■ ヘッドアップディスプレイの表示

ヘッドアップディスプレイの起動/終了

エンジンスイッチを **ON** にすると自動的にディスプレイが起動し、下図起動画面が交互に表示されます。

図は表示例です



83S05780

エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、終了画面が表示され、エコスコアが一定時間表示されます。

図は表示例です



83S05790

エコスコアは、1 回の運転で燃費効率が良いと判定された割合から、運転内容を採点します。

- エコドライブの目安としてお使いください。

→ **6-11 ページ**
(エコドライブをしましょう)

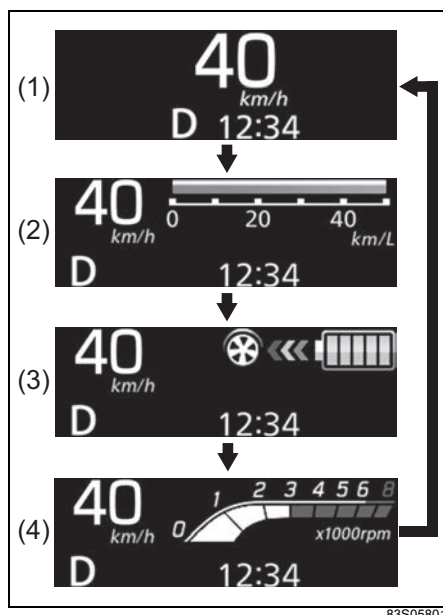
アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、起動/終了画面を変更することができます。

→ **4-25 ページ (セッティングモード一覧)**

ヘッドアップディスプレイの基本表示
HUDスイッチを押すたびに、ディスプレイ表示が次のように切り替わります。

- 下図は代表例です。お車のタイプにより異なります。



- (1) 車速
- (2) 瞬間燃費
→ 4-13ページ (瞬間燃費)
- (3) エネルギーフロー
→ 5-21 ページ (エネルギーフロー表示)
→ 5-33 ページ (エネルギーフローインジケーター)
- (4) タコメーター

アドバイス

- エンジン (ハイブリッドシステム) を停止しても表示設定を記憶しています。
- 車速の表示とスピードメーターで示される車速との間に、わずかに差が生じることがあります。

エアコンを操作したとき

瞬間燃費、エネルギーフロー、タコメーターを表示しているときにエアコンを操作すると、ディスプレイに次のように表示されます。

→ 7-23ページ (オートエアコン)

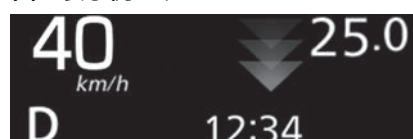
オートスイッチを押すと、**AUTO**表示および設定温度がディスプレイに一定時間表示されます。

図は表示例です



温度調節ノブを操作すると、設定温度がディスプレイに一定時間表示されます。

図は表示例です



ファン (風量) 調節ノブを操作すると、風量がディスプレイに一定時間表示されます。

図は表示例です



アドバイス

- 車速を表示しているときは、エアコン設定は表示されません。
- マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、エアコンの表示をOFFにすることができます。
 - **4-25 ページ (セッティングモード一覧)**

割り込み表示

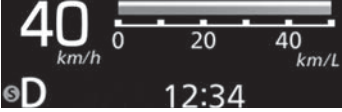
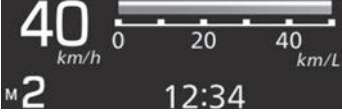
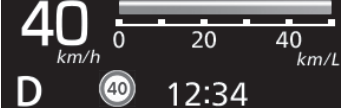
お知らせしたい情報があるとき、エンジンスイッチを **ON** にすると、次の内容が割り込み表示されます。

また、表示の種類によっては、同時にブザーが鳴る場合があります。

- 下図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

表示	ブザー	説明
 83S05840	ポーン (ド ア が 閉 まっていない ときのみ)	いずれかのドア、ボンネット、またはフューエルリッドが完全に閉まっていないときに割り込み表示されます。(助手席側パワースライドドア装備車) 走行中の場合は、安全な場所に停車して、完全に閉めてください。 → 4-61 ページ (半ドア警告灯) → 7-2ページ (燃料給油口) → 7-6ページ (ボンネット)
 83S05850	ピピピッ、 ピピピッ、	走行中に、パーキングブレーキが解除されていないときに割り込み表示されます。安全な場所に停車して、パーキングブレーキを解除してください。 → 5-47 ページ (パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー)
 83S05860	ポーン	燃料の残量が少なくなると割り込み表示されます。 すみやかに給油してください。 → 4-55 ページ (燃料残量警告灯)
 83S05870	ピー、ピー	シートベルトを着用していないときに割り込み表示されます。安全な場所に停車して、ベルトを着用してください。 → 2-30 ページ (シートベルト警告ブザー)
 83S05890	ピピッ	先行車発進お知らせ機能が作動しています。 → 5-103ページ (先行車発進お知らせ機能)

表示	ブザー	説明
 はみ出し注意 83S05890	ピピピピピ	車線逸脱警報が作動しています。 → 5-95 ページ (車線逸脱警報機能)
 ふらつき注意 83S05900	ピピピピピ	ふらつき警報が作動しています。 → 5-102 ページ (ふらつき警報)
 100 km/h D 2:34 ハンドルを 持ってください 2:34 79R4078S	ピ — ピ — ピー	ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がありません。ハンドルを持って操作してください。 → 5-97ページ (車線逸脱抑制機能)
 BRAKE 83S05920	ピピピピピ または ピー——	デュアルカメラブレーキサポートが作動しています。 → 5-88 ページ (デュアルカメラブレーキサポート (DCBS))
 誤発進抑制機能が 作動しています 83S05930	ピピピピピ	誤発進抑制機能が作動しています。 → 5-93ページ (誤発進抑制機能)
 路面凍結注意 83S05940	—	外気温が氷点下近くになると割り込み表示されます。 → 4-4、4-10ページ (外気温)
 100 km/h D 23:59 100 km/h SET 83SR5011	—	アダプティブクルーズコントロール作動中に表示されます。 → 5-108 ページ (アダプティブクルーズコントロール) → 5-121 ページ (アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付))

表示	ブザー	説明
 83SR5020	—	Sモード／Mモード使用中に表示されます。 → 5-54ページ (Sモードスイッチ) → 5-66 ページ (マニュアルモードの使いかた)
 83SR5290	—	
 67T00218	—	標識認識機能が作動しています。 → 5-136 ページ (標識認識機能)
 67T00219	—	
 83S05990	なし	交差点案内を表示しています。 (全方位モニターおよび全方位モニター対応ナビゲーション装着車)

⚙️ アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードにて、標識認識機能および交差点案内（ナビゲーション装着車）の表示をOFFにすることができます。

→ **4-25ページ** (セッティングモード一覧)

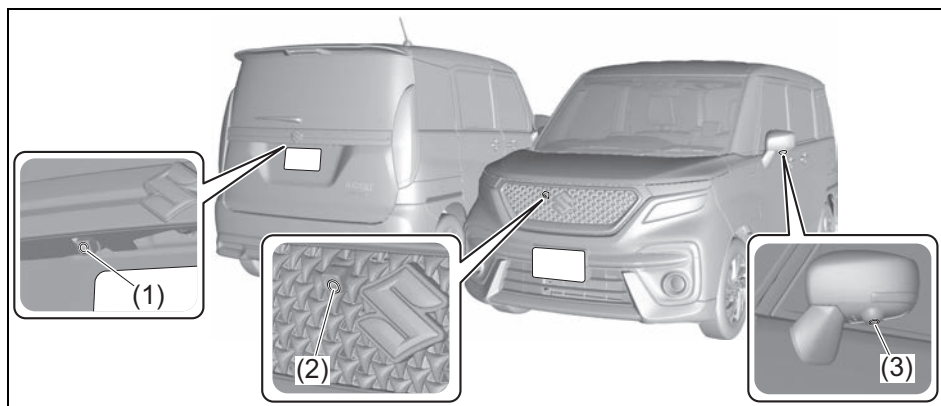
全方位モニター

全方位モニター用カメラ装備車

全方位モニターはフロントカメラ、サイドカメラ（左右）およびバックカメラを使用して、車両周辺の映像をナビゲーションの画面に表示する機能です。駐車時や狭い道でのすれ違い、左右の見通しが悪い場所からの発進時などに運転者を補助します。

- ナビゲーションは全方位モニターに対応したスズキ純正ナビゲーションをお使いください。

■ カメラの位置



83S05620

(1) バックカメラ (2) フロントカメラ (3) サイドカメラ(左右ドアミラー下部)

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 警告

- 全方位モニターは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- 画面に表示される範囲には限界があり、人や障害物が映らないことがあります。後方および周囲の安全は、直接目視やミラーで確認しながら、ゆっくりと運転してください。画面だけを見て運転すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カメラは精密機械ですので、強い衝撃をあたえたり、分解や改造をしたりしないでください。また、カメラに付着して固まった泥や凍り付いた雪などをお湯をかけたり、棒などでついたりして落とさないでください。破損して火災や故障の原因となります。
- ドアミラーが格納された状態、および前席ドア、バックドアが確実に閉まっていない状態で全方位モニターを使用しないでください。周囲の映像が正しく映し出されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 2-10ページ（格納）

注 記

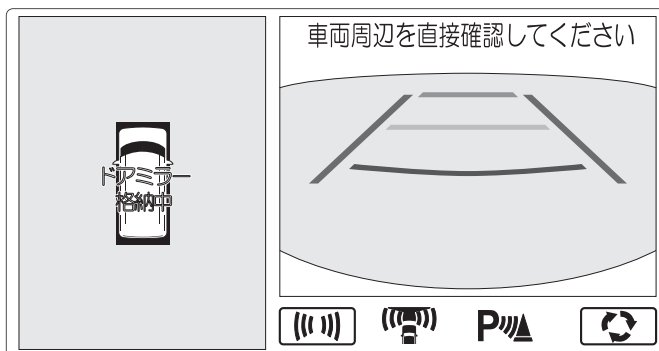
エンジン（ハイブリッドシステム）停止中に長時間使用すると、鉛バッテリーあがりの原因となります。

エンジン（ハイブリッドシステム）停止中は、全方位モニターを長時間使用しないでください。

📢 アドバイス

- 車幅目安線は実際の車幅より広く表示されます。運転するときは必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
→ **5-177ページ（画面の見かた）**
- ドアミラーが格納された状態でカメラの映像を表示すると、画面上に“ドアミラー格納中”と表示されます。

例



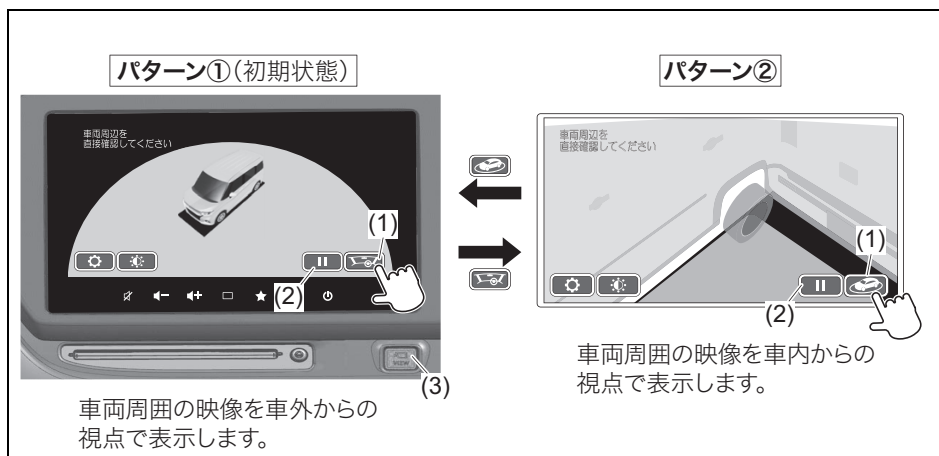
79R50630

■ 使いかた

3Dビュー

車両周辺の映像を車外または車内からの視点で表示します。

- 1 エンジンスイッチを **ON** にします。
→ **5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））**
- 2 ナビゲーションのオープニング画面終了後、3Dビューが画面に映し出されます。
- 3 画面上の映像切替えボタン（1）をタッチすると、視点画面が切り替わります。
一時停止/再生（2）をタッチすると、3Dビューの回転を一時停止します。もう一度タッチすると再び回転します。

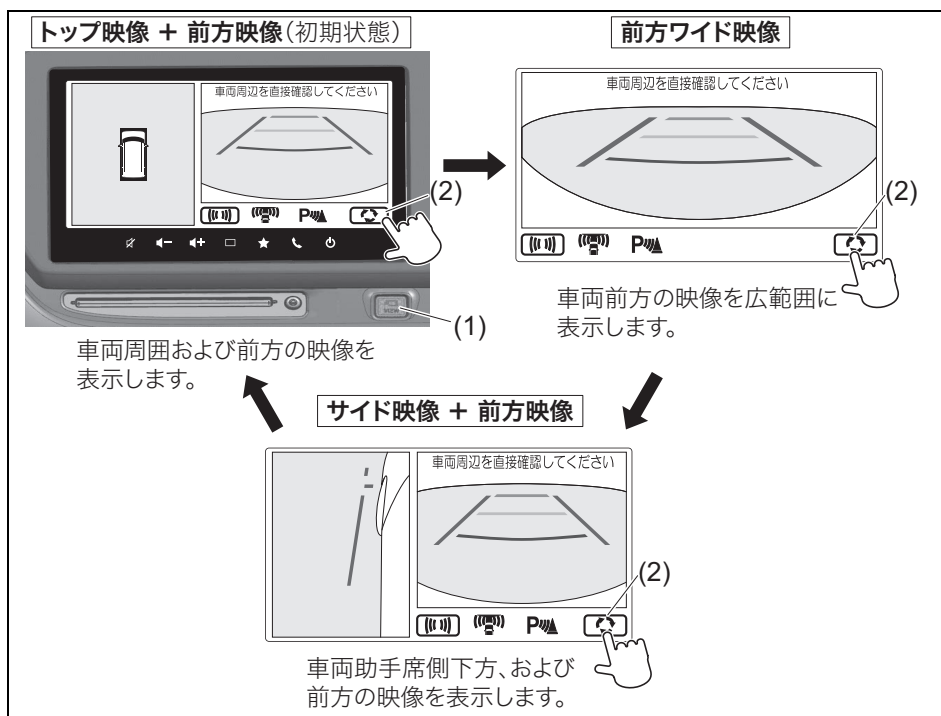


🔊 アドバイス

- セレクトレバーが **P** のときにカメラスイッチ（3）を押すと、3Dビューを表示できます。
- 3Dビューの表示画面は、設定で変更が可能です。
→ **5-184ページ（設定の変更）**
- 起動画面表示中でもカメラスイッチ（3）を押すと、3Dビューが画面に映し出されます。
- エンジンスイッチが **ACC** のときは、3Dビューは表示されません。

前方を確認するときは

- 1 エンジンスイッチを **[ON]** にします。
→ 5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））
- 2 セレクトレバーを **[N]** または **[D]** に入れます。
→ 5-52ページ、5-63ページ（セレクトレバーの操作）
- 3 カメラスイッチ（1）を押します。
「トップ映像+前方映像」（初期状態）が画面に映し出されます。
- 4 映像切替えボタン（2）をタッチするたびに、次のように画面が切り替わります。



83SR5120

- カメラスイッチ（1）を押すと、もとの表示画面にもどります。
- カメラスイッチ（1）を押す以外にも次のようなときに、もとの表示画面にもどります。
 - ・ カメラスイッチ（1）を押してから3分経過したとき
 - ・ ナビゲーションの操作を行なったとき
 - ・ 車速が約10 km/h以上になったとき
- 車速が約10 km/h以上のときにカメラスイッチ（1）を押すと、左側画面にサイド映像のみ表示させることができます。約10 km/h以下となると前方映像が表示されます。

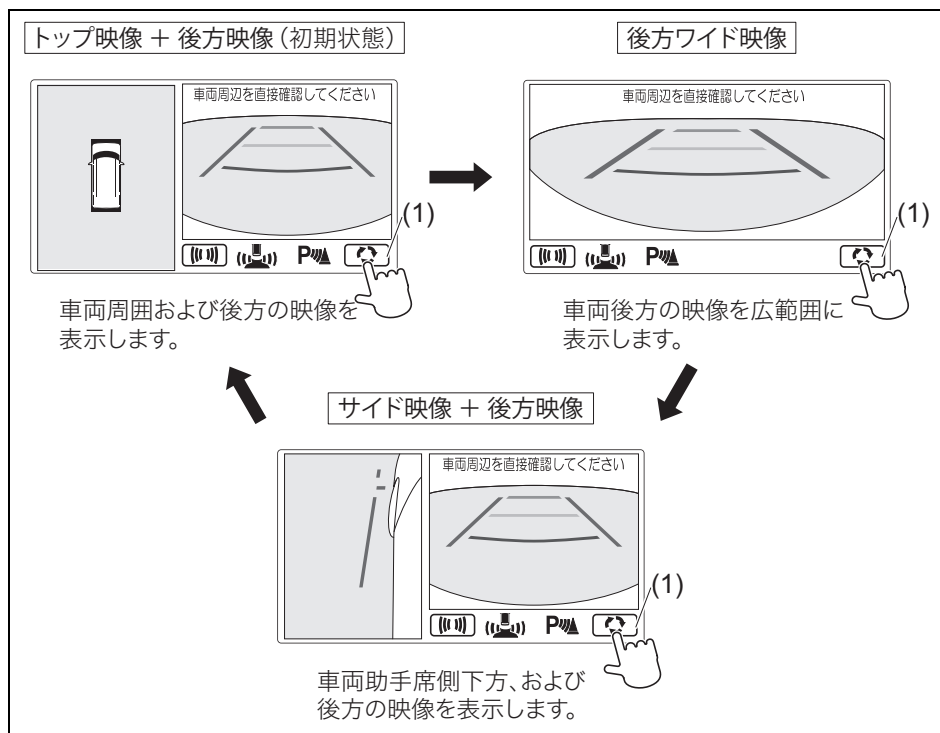
⚠️ アドバイス

- カメラ映像の画質調整および初期表示の画面設定は、セレクトレバーを **[P]** に入れたと変更ができます。
→ **5-184ページ（設定の変更）**
- エンジンスイッチが **[ACC]** のときは、カメラ映像は表示されません。

後方を確認するときは

- 1** エンジンスイッチを **[ON]** にします。
→ **5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））**
- 2** セレクトレバーを **[R]** に入れます。
→ **5-52ページ、5-63ページ（セレクトレバーの操作）**
●自動的に、「トップ映像+後方映像」（初期状態）が画面に映し出されます。
- 3** 映像切替えボタン（1）をタッチするたびに、次のように画面が切り替わります。

5



76R0193

- セレクトレバーを **[R]** から **[P]** 以外にすると、カメラ映像が自動で表示されます。
- セレクトレバーを **[R]** から **[P]** にすると、ナビゲーション画面に戻ります。

アドバイス

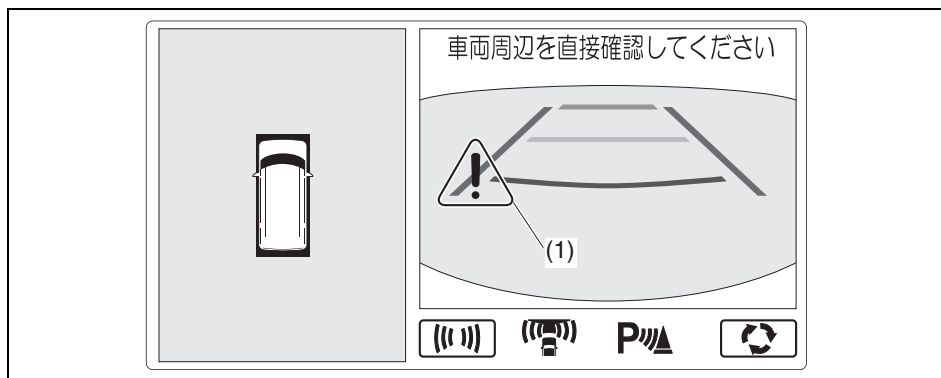
- 全方位モニター後方の映像は、どの画面表示よりも優先して映し出されます。ただし、ナビゲーション本体の起動中は映し出されません。
- カメラ映像の画質調整および初期表示の画面設定は、セレクトレバーを **[P]** に入れると変更ができます。
→ **5-184ページ（設定の変更）**
- エンジンスイッチが **[ACC]** のときは、カメラ映像は表示されません。

画面のエラー表示について

カメラのシステムに異常がある場合は、画面に次のように表示されます。

→ **5-189ページ（故障かなと思ったら）**

スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。



76R0196

(1) カメラシステムエラーマーク

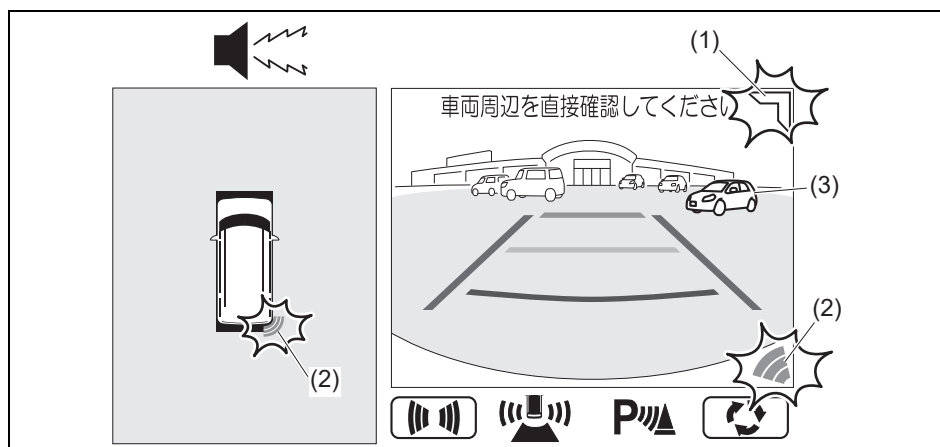
■ 左右確認サポート機能

タイプ別装備

駐車場での停車中または微低速走行時に、全方位カメラの検知範囲内を人や車両などが外側から中央方向へ移動すると、スピーカーから通知音が鳴るとともに、検知した方向の左右確認サポート表示 (1) が点灯して、安全確認および回避行動（ブレーキ操作など）の必要性を運転者にお知らせする機能です。

後退時には、室内ブザーおよび左右確認サポート表示とともに、リヤパーキングセンサーの検知情報 (2) も表示されます

→ 5-154ページ (リヤパーキングセンサー)



79R50530

(3) 検知した車両

⚠ 警告

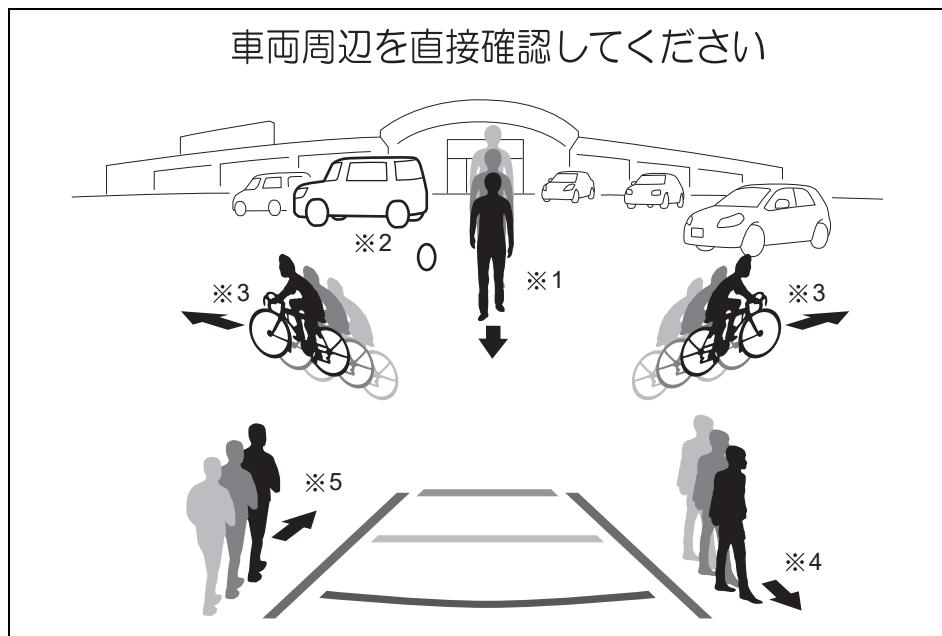
左右確認サポート機能は、すべての移動物を検知できるわけではありません。周囲の安全を直接確認してください。

🔊 アドバイス

左右確認サポート機能は、設定で変更が可能です。

→ 5-184ページ (設定の変更)

作動しない例

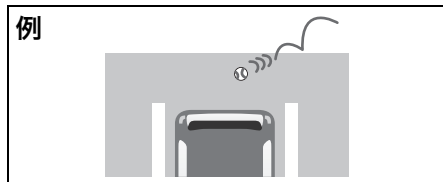


こんな場合は作動しません

- ・人や車両などが自車の正面または真後ろから近づいてくるとき（※1）
- ・人や車両などが動いていないとき（※2）
- ・人や車両などが画面中央から外側へ移動しているとき（※3）
- ・自車が停車中または微低速走行時以外のとき
- ・人や車両などが自車から遠い距離にあるとき
- ・カメラに映し出されていない移動物
- ・検知した対象物が、太陽の強い反射光やヘッドライトの強い光などと重なったとき
- ・画面に表示されるカメラ映像の中で、明るい場所と暗い場所の差が大きいとき

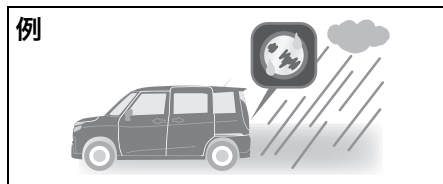
こんな場合は作動しないことがあります

- ・ 自車と平行に人や車両などが近づいてくるとき（※4）
- ・ ボールなどの小さいものとき



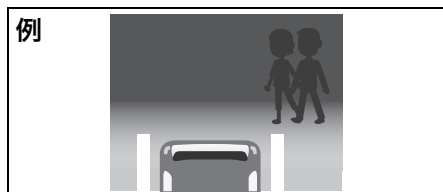
72M30540

- ・ 自転車などの移動物が速い速度で横切るとき
- ・ カメラのレンズが、クモの巣や泥などがついて汚れているとき
- ・ カメラのレンズがくもったとき
- ・ 降雪、雨、霧などで視界が悪いとき



83S05630

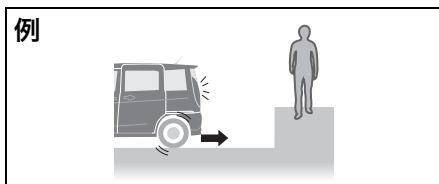
- ・ 太陽やヘッドライトの光が、カメラのレンズに直接当たったとき
- ・ 夜間に街灯などの照明がないところで、横切る人や車両などを検知しづらいとき



72M30542

- ・ 車両の色や横切る人の服装が背景と同色系のとき

- ・ 自車が駐車しようとしている位置よりも高いところを人や車両などが移動しているとき



83S05640

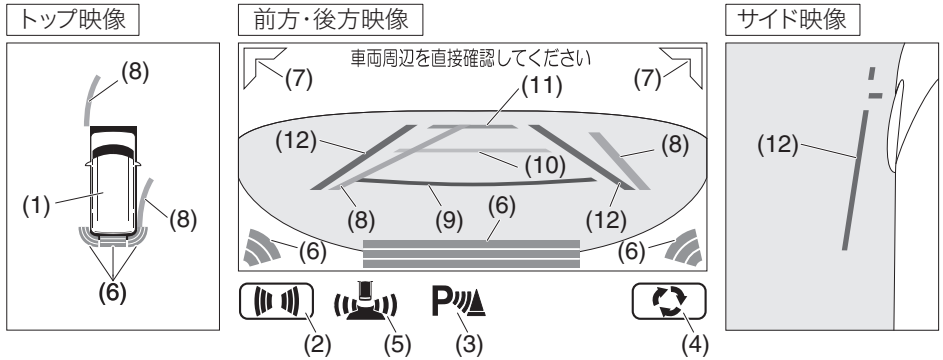
- ・ バックドアが開いているとき
- ・ カメラ本体、およびその周辺部に強い衝撃や力が加わり、搭載位置がずれたとき
- ・ 路面の勾配により、検知範囲がずれたとき

こんな場合にも作動することがあります

- ・ 自車と平行に人や車両などが遠ざかっていくとき（※5）
- ・ コンビニエンスストアなどに設置してあるのぼりや街路樹が風でゆれているとき
- ・ 波状のような連続模様のある壁やシャッター、柵、白線、側溝のグレーチングなどの金属製のフタがあるとき
- ・ 点滅する看板、他車や自車の方向指示器や後退灯などが近くにあるとき
- ・ カメラのレンズ上を水滴や白煙などが流れたとき
- ・ 雨上がりなどで路面が濡れて光っているときや水たまりがあるとき
- ・ 木や建物などの影で明るさが変化したとき
- ・ 車が大きく傾いたとき
- ・ カメラ本体、およびその周辺部に強い衝撃や力が加わり、搭載位置がずれたとき
- ・ 路面の勾配により、検知範囲がずれたとき

■ 画面の見かた

画面には周囲の映像とともに、次のようなガイド線やボタンなどが表示されます。ガイド線は運転操作の目安として使用できます。



76R0195

● 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

5

番号	表示内容	内容
(1)		自車の位置を示します。
(2)		タッチすることにより、左右確認サポート機能の ON/OFF を一時的に切替えることができます。 通常時の左右確認サポート機能の ON/OFFは、設定で変更が可能です。 → 5-184ページ（設定の変更）
(3)		リヤパーキングセンサーが作動していることを示します。
		リヤパーキングセンサーに異常があることを示します。 スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
(4)		タッチすることにより、映像の切替えができます。

番号	表示内容	内容
(5)		車両の前方が表示され、左右確認サポート機能が作動していることを示します。
		車両の後方が表示され、左右確認サポート機能が作動していることを示します。
		左右確認サポート機能が停止していることを示します。
		
		車速が上昇し、左右確認サポート機能が非作動となっていることを示します。
		
		左右確認サポート機能に異常があることを示します。 スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
		

番号	表示色	名称	内容
(6)	緑 または 黄 または 赤	リヤパーキング センサー検知表示	後退中に壁や障害物などを検知すると表示されます。 → 5-154ページ (リヤパーキングセンサー)
(7)	黄	左右確認サポート 表示	カメラの検知範囲内を人や車両などが外側から中央方向へ移動すると表示されます。
(8)	緑	進路目安線	ハンドル操作と連動して、前進／後退時の予想進路を目安として示します。(※)
(9)	赤	距離目安線	バンパー前端／後端の中央部から約0.5 m 前方／後方の位置を目安として示します。
(10)	黄		バンパー前端／後端の中央部から約1 m 前方／後方の位置を目安として示します。
(11)	水色		バンパー前端／後端の中央部から約2 m 前方／後方の位置を目安として示します。

※ ハンドルが中立（まっすぐ）の状態になるとトップ映像、前方／後方映像の進路目安線は非表示になります。

(12)	紫	車幅目安線 (縦線)	車幅（ドアミラーの張り出し分を含む）の少し外側の位置を目安として示します。
		車幅目安線 (横線)	車両最前端的の位置を目安として示します。

- ガイド線は路面に対して表示されているため、自車の周囲にある駐車車両などの障害物との距離を正確に表示するものではありません。また、トップ映像は平らな路面を基準に画像処理して表示しているため、路面より高い位置にある障害物（他車のバンパーなど）の位置を正確に表示するものではありません。
- 画面上に表示される台形状の距離・車幅ガイド線は目安であり、実際の距離間隔・車幅間隔とは異なる場合があります。
- サスペンションを改造したり、指定サイズ以外のタイヤに交換したりするとガイド線とトップ映像が正しく表示されないことがあります。

⚠ 注意

- トップ映像は、ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した擬似的な映像のため、次のように表示されることがあります。
 - ・ 立体物が倒れているように表示される
 - ・ 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない
 - ・ 立体物が映像の継ぎ目で消える、または位置がずれる
- 前方映像または後方映像に表示されている立体物がトップ映像には表示されないことがあります。
- トップ映像上で路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは車両から遠ざかるにつれて大きくなります。
- カメラの位置がずれると、映像やガイド線がずれることがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 雪道や滑りやすい路面では、進路目安線と実際の進路が異なる場合があります。
- トップ映像に表示される車両アイコンはコンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、路面・障害物との位置関係は実際の位置とは異なります。
- トップ映像は照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 映像の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。全方位モニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 全方位モニターのカメラは特殊なレンズを使用しています。そのため、画像上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して表示されたりすることがあります。車両から離れるほど、その傾向は強くなります。
- ワイド映像は広い範囲を映すため、画像は大きくゆがんで表示されます。また、距離も実際とは異なる見え方をします。

📌 アドバイス

ナビゲーションの起動時やタッチパネルの異常時は、ボタンが操作できません。しばらく待つか、カメラスイッチを押してもとの表示画面にもどり、再度カメラスイッチを押して画面を表示させて操作してください。

それでも操作できない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

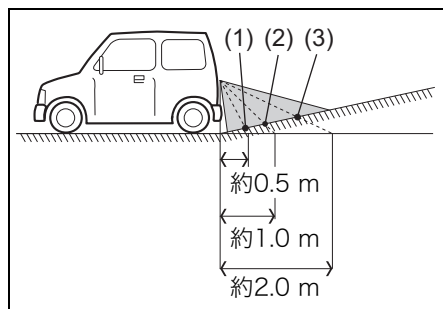
■ 映像と実際の路面との誤差

乗員人数、積載量、路面の勾配や状況などにより、画面のガイド線の示す位置、距離は変わります。運転するときは必ず周囲の安全を直接確認してください。

進行方向に上り坂がある場合

実際の距離より手前に、距離目安線が見えます。

後方映像（代表例）



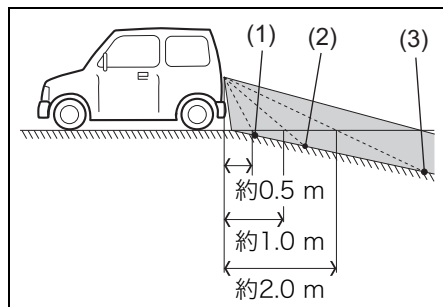
80P0238

- (1) 赤色 距離目安線(約0.5 m)の示す地点
- (2) 黄色 距離目安線(約1.0 m)の示す地点
- (3) 水色 距離目安線(約2.0 m)の示す地点

進行方向に下り坂がある場合

実際の距離より後ろに、距離目安線が見えます。

後方映像（代表例）



80P0239

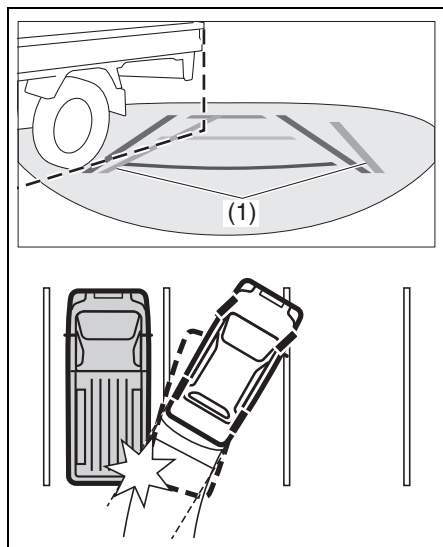
- (1) 赤色 距離目安線(約0.5 m)の示す地点
- (2) 黄色 距離目安線(約1.0 m)の示す地点
- (3) 水色 距離目安線(約2.0 m)の示す地点

立体物が近くにあるとき

立体物が近くにある場合、実際の距離と異なって表示されることがあります。

例1

次の図の進路目安線（1）は、表示されているトラックの車体に触れていませんが、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合、ぶつかることがあります。



81M50590

例2

次の図のトップ映像（2）では、自車とトラックの車体間に、わずかな距離があるように見えますが、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



79R50610

■ 画面に映る範囲

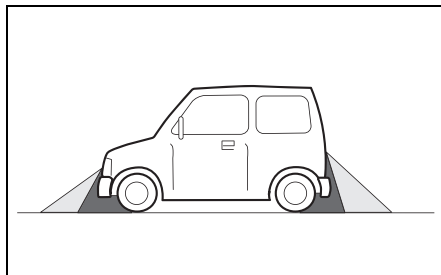
- 次の図の範囲がナビ画面に映し出されます。ただし、前後バンパー付近やバンパー下にあるものは映りません。
- カメラより上の部分は映し出されません。標識などの背が高く上部が張り出している障害物は、画面上では上部まで確認できません。
- 全方位モニターの映像の距離感覚は、実際の距離とは異なります。
- 画面に映し出される範囲に駐車車両などの障害物があると、実際の距離と異なって画面に表示されることがあります。
- 後方の映像は、ルームミラーやドアミラーで見る場合と同じように、左右が反転して映し出されます。
- フロントカメラおよびバックカメラは車両中心よりずれた位置に取り付けられているため、前方映像および後方映像は多少中心よりずれて映し出されます。

全方位モニターの視野範囲イメージ



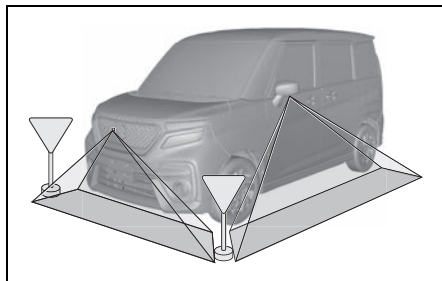
**特定の領域は、カメラに映し出されない死角となります。
必ず目視で安全を確認してください。**

- バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります。



81M50610

- トップ映像ではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります。



83S05650

アドバイス

- 全方位モニターの映像は、実際の色味とは多少異なることがあります。
 - 移動物が映像に映っているときは、移動物の残像がでることがあります。
 - 次のような場合は、全方位モニターの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 夜間や雨の日、および暗い場所
 - ・ 炎天下や寒冷時にカメラ付近が熱いときや冷たいとき、または雨天などで湿度が高いとき（カメラレンズがくもる場合があります）
 - ・ 直接カメラに強い光が入るとき（映像に白い縦線などが入る場合があります）
 - ・ 蛍光灯などの照明の下（映像にちらつきが出る場合があります）
 - ・ 外気温が低いとき（画面が暗くなる場合があります）
 - ・ エンジンをかけたまま長時間停車しているとき（映像にノイズが出る場合があります）
 - ・ カメラのレンズが汚れているとき、または雪、水滴がついているとき
- **5-189 ページ（全方位モニターの映像の映りが悪い）**

■ 設定の変更

映像の画質調整や、全方位モニターおよび左右確認サポートの設定を変更することができます。

⚠ 警告

周囲に何もいないような安全な場所で設定の変更をしないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

設定の変更をするときは、周囲に何もいないような安全な場所で行ってください。

注 記

エンジンをかけない（ハイブリッドシステムを起動しない）で長時間設定を行なうと鉛バッテリーあがりの原因となります。

設定の変更はエンジンをかけた（ハイブリッドシステムを起動した）状態で行なってください。

画質調整

設定の変更は、次の手順で行ないます。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 エンジンスイッチを **ON** にします。
→ 5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））
- 3 ナビゲーションのオープニング画面終了後、ナビ画面表示中にカメラスイッチ（1）を押します。
- 4 3Dビュー画面が映し出され、画質調整ボタン（2）をタッチします。



- 5 明るさ、コントラストなどの調整ができます。好みの画質に調整してください。

アドバイス

- 設定した明るさの数値は、ライトの点灯／消灯で変わります。
- 詳細については、ナビゲーションに付属の取扱説明書をお読みください。

全方位モニター／左右確認サポート（タイプ別装備） 設定

設定の変更は、次の手順で行ないます。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 エンジンスイッチを **ON** にします。
→ 5-14ページ（エンジンのかけかた（ハイブリッドシステムの起動））
- 3 ナビゲーションのオープニング画面終了後、ナビ画面表示中にカメラスイッチ（1）を押します。
- 4 3Dビュー画面が映し出されたら、設定ボタン（2）をタッチします。

5

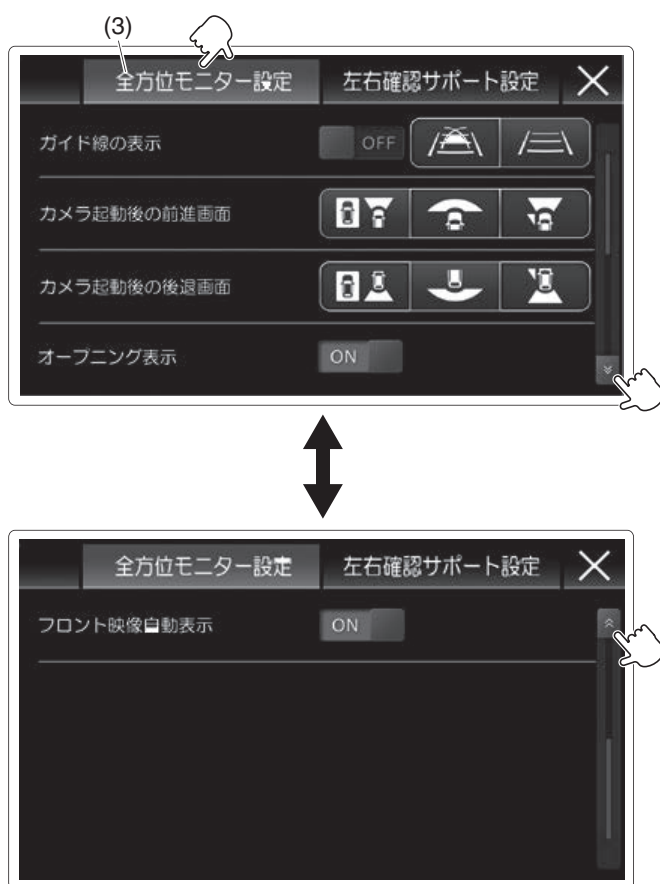


83SR5140

- 5 “全方位モニター設定” (3) をタッチすると、全方位モニターの設定ができます。
お好みに応じて設定を変更してください。

☑ または ⬆ ヘタッチすると、ページが切り替わります。

図は代表例です



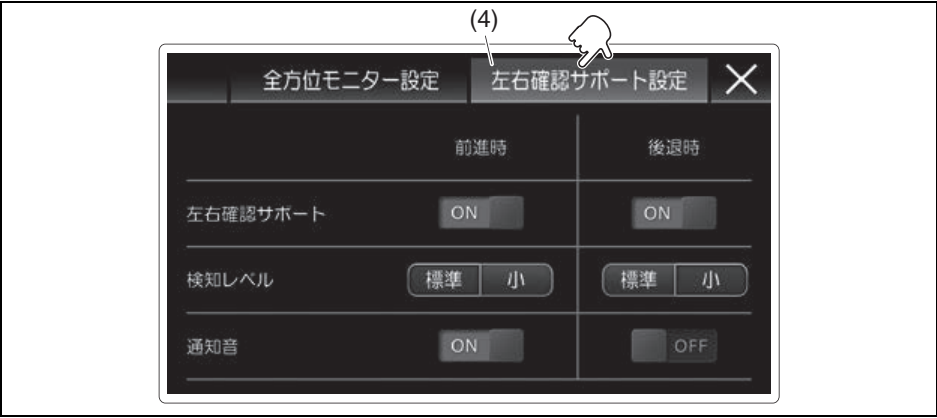
59R51190

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

オープニング表示	起動時に自動表示される3Dビューの表示／非表示を設定できます。
カメラ起動後の前進画面	前方を確認するための映像を “トップ映像+前方映像（初期状態）”、 “前方ワイド映像”、“サイド映像+前方映像” から選択できます。
カメラ起動後の後退画面	後方を確認するための映像を “トップ映像+後方映像（初期状態）”、 “後方ワイド映像”、“サイド映像+後方映像” から選択できます。
ガイド線の表示	ガイド線を“ガイド線非表示”、 “舵角連動ガイド線”、“固定ガイド線” から設定できます。
フロント映像自動表示	セレクトレバーを [R] から [P] 以外にしたときに、自動表示されるカメラ映像の表示／非表示を設定できます。

- 6
- “左右確認サポート設定” (4) をタッチすると、左右確認サポートの設定ができます。
お好みに応じて設定を変更してください。

図は代表例です



59R51200

5

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

左右確認サポート	左右確認サポート機能のON／OFFを設定できます。
検知レベル	左右確認サポート機能の検知レベルを設定できます。
通知音	左右確認サポート機能の通知音（スピーカー）のON／OFFを設定できます。

■ カメラの取扱い

⚠ 注意

カメラやその周辺をぶつけたときは、画面の映像が正しく表示されないことがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

注 記

カメラを分解すると防水性が無くなるなど、故障の原因となります。カメラの取り外し・分解・改造をしないでください。

🔧 アドバイス

- カメラを交換したときは調整が必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- カメラの作動をさまたげるものを、カメラ部分およびカメラ周辺に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートを装着した場合、全方位モニターの映像が一部遮られる可能性があります。

■ 故障かなと思ったら

画面にカメラシステムエラーマークが表示されたら

ナビゲーション画面に ⚠ マークが表示された場合は、カメラシステムに異常が発生しています。

- 表示が消えない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

全方位モニターの映像の映りが悪い

- カメラのレンズが汚れていると、映像が見づらくなる場合があります。レンズに水滴、雪、泥などの汚れが付着しているときは水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。汚れがひどいときや、レンズにワックスなどが付着したときは、中性洗剤を使ってください。

→ 9-5ページ

(全方位モニターのカメラの手入れ)

- 太陽の強い反射光や後続車のヘッドライトの強い光が直接カメラに当たると、映像に白い縦線などが入り映像が見づらくなる場合がありますが、異常ではありません。

画像やガイド線がずれている

次のような場合には、画像やガイド線がずれることがあります。異常ではありません。

- 乗車人数や荷物などの影響で車両が傾いている

本製品のライセンスについて

全方位モニターに組み込まれたソフトウェアには、オープンソフトウェアが含まれています。

ライセンスは次の通りです

[T-Kernel]

This Product uses the Source Code of T-Kernel under T-License granted by the T-Engine Forum (www.tron.org).

[OpenGL ES]

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

79R40530

ESP® 装備車の取扱い

ESP® (※) は、ABS、ブレーキアシスト、トラクションコントロール、スタビリティコントロール（横滑り防止機能）などを総合的に制御して、車両の走行安定性を補助しようとするシステムです。

※ESP®は、Electronic Stability Program（エレクトロニック スタビリティ プログラム）の略で、Mercedes-Benz Group AGの登録商標です。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

5-196ページをお読みください。

■ ブレーキアシスト

ABSのブレーキアシストと同様です。

■ トラクションコントロール

滑りやすい路面での発進時や加速時に起こる駆動輪の過度の空転を、ブレーキ制御およびエンジン出力制御により防ぎ、適切な駆動力を確保しようとする補助機能です。

■ スタビリティコントロール（横滑り防止機能）

急激なハンドル操作をしたり、滑りやすい路面で旋回したりするときの車の横滑りなどを抑制することで、車両の走行安定性を補助しようとする機能です。

⚠ 警告

常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ESP®による制御には限界があります。

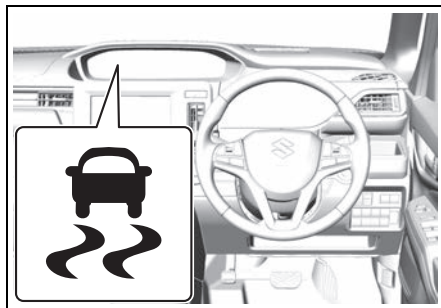
⚠ 注意

- 次のことをお守りください。
守らないとESP®が正常に作動しなくなったり、誤作動につながったりするおそれがあります。
 - ・ タイヤの空気圧を指定空気圧に調整する
→ 10-3ページ（タイヤの空気圧）
 - ・ タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着する
 - ・ 著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しない
 - ・ サスペンションやブレーキを改造しない（車高やサスペンションの硬さ変更など）
 - ・ サスペンションやブレーキを著しく劣化した状態で走行しない
 - ・ エンジンを改造しない（マフラーの改造など）
 - ・ LSD（リミテッドスリップデフ）を装着するなどの改造をしない
- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤを装着したときなどには、ESP®が正常に作動しない場合があります。

アドバイス

- 次のような操作をすると、一時的にモーター音やカチッという音が聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で異常ではありません。
 - ・ エンジンスイッチを **ON** にしたとき
 - ・ ブレーキペダルを踏んだ状態でエンジンスイッチを **ON** にし、最初にブレーキペダルから足を離したとき
 - ・ エンジンをかけたとき（ハイブリッドシステムを起動したとき）
 - ・ エンジンをかけ（ハイブリッドシステムを起動し）、最初の発進時
- エンジン回転が高いときにESP®が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。

ESP® 作動表示灯



83S05661

メーターパネル内にあります。

→ **1-24ページ（表示灯）**

- ESP®の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ **4-67ページ**

（ESP® 作動表示灯）

- 点灯中は次のようになりますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。

- ・ 次の機能が作動しません。
 - ・ トラクションコントロール
 - ・ スタビリティコントロール

- ・ スズキ セーフティ サポート
（タイプ別装備）

→ **5-77ページ**

（スズキ セーフティ サポート）

- ・ アイドリングストップシステム
（タイプ別装備）

→ **5-35ページ（アイドリングストップシステム）**

- ・ エンジンの自動停止
（タイプ別装備）

→ **5-19ページ**

（ハイブリッドシステム）

- ・ ヒルホールドコントロールも作動しない場合があります。

→ **5-195ページ**

（ヒルホールドコントロール）

- ・ ABSは作動します。
- ・ ブレーキアシストは、故障状況によっては作動しない場合があります。

- 次のような状況になると、0.2秒間隔で小刻みに点滅します。
 - ・ 発進時や加速時にトラクションコントロールが作動している
 - ・ 急ハンドル時や旋回時にスタビリティコントロールが作動している
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

▲ 注意

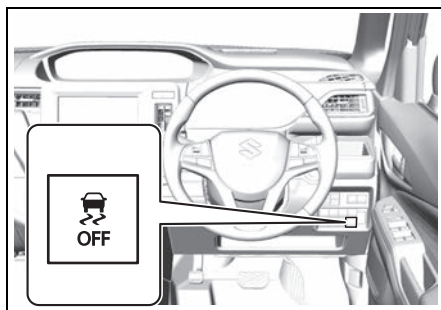
小刻みに点滅したときは、滑りやすい路面で、車がスタックまたは横滑りしやすい状態になっています。とくに慎重に運転してください。

🔊 アドバイス

点灯中はトラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しませんが、ABSは使用することができます。

ESP® OFFスイッチ

- 次のようなときは、メーター内のESP® OFF表示灯が点灯するまでESP® OFFスイッチを押し続けてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動しなくなります。
 - ・ 車検を受けるときなどデスターに載せる場合。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールを作動停止の状態にする必要があります。
 - ・ スタックからの脱出などの場合。トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。
- 次のような操作をすると、ESP® OFF表示灯が消灯し、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動可能な状態にもどります。
 - ・ もう一度ESP® OFFスイッチを押す
 - ・ 一度エンジンを止め、再始動する
(一度ハイブリッドシステムを止め、再起動する)



83S05671

- スタックからの脱出などのあとに通常走行するときは、ESP® OFFスイッチを再度押してESP® OFF表示灯を消灯させ、もとの状態にもどしてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは自動復帰しません。(一度エンジンを止め、再

始動したとき、または一度ハイブリッドシステムを止め、再起動したときを除く)

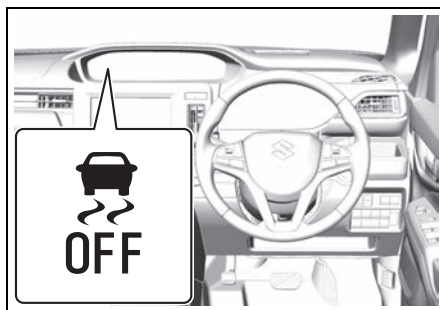
⚠️ アドバイス

- 安全のため、ESP® OFFスイッチを操作しても、ABSおよびブレーキアシストは作動停止の状態になりません。
- スズキ セーフティ サポート装備車は、ESP® を作動停止 (OFF) にすると、デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) OFF 表示灯および車線逸脱警報 OFF 表示灯が点灯し、デュアルカメラブレーキサポート (DCBS) および後退時ブレーキサポートが停止します。

→ 5-88 ページ (デュアルカメラ
ブレーキサポート
(DCBS))

→ 5-147ページ
(後退時ブレーキサポート)

ESP® OFF表示灯



83S05681

メーターパネル内にあります。

→ 1-24ページ (表示灯)

- エンジンスイッチが **ON** のときに、ESP® OFF スイッチを長押しすると点灯します。

→ 4-67ページ

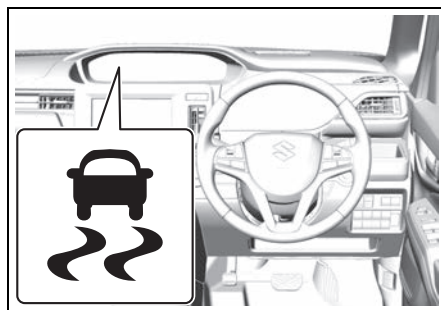
(ESP® OFF表示灯)

- ・点灯中は、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しません。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

ヒルホールドコントロール

ヒルホールドコントロールは、上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に車が後退することを一時的に（約2秒間）防ぎ、スムーズな発進を補助するシステムです。

- ヒルホールドコントロールは、坂道で車を停止させるシステムではありません。



83S05661

⚠ 警告

- 常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルを操作して安全運転に努めてください。ヒルホールドコントロールによる制御には限界があります。
- 停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分な場合、ヒルホールドコントロールが作動しないことがあります。

⚠ 警告

- ブレーキペダルから足を離したまま2秒以上たつとヒルホールドコントロールが解除されるため、勾配によっては自重で坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンストしてブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行ってください。

ℳ アドバイス

- 本システムに異常があると、メーター内のESP®作動表示灯が点灯し、ヒルホールドコントロールが作動しない場合があります。また、アイドリングストップシステムが作動しません。スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ 5-192ページ (ESP®作動表示灯)

- 極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るときや、積載重量によっては、発進時に車両が後退する場合があります。
- 極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るとき、ヒルホールドコントロールが作動するとタイヤがロックし、車両がコントロールできない場合があります。

■ ヒルホールドコントロールの 作動条件

ヒルホールドコントロールは、次の条件をすべて満たしているときに、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間、車が後退することを防ぎます。

- セレクトレバーが前進または後退の位置に入っている
- パーキングブレーキを解除している
- 進行方向が坂の上りである
- ブレーキペダルをしっかりと踏んでいる

アイドリングストップシステム装備車の場合、前記条件をみたしていなくても、エンジン自動停止後の再始動時ならヒルホールドコントロールが作動します。

→ 5-35ページ

(アイドリングストップシステム)

5

🔊 アドバイス

作動中に下記のような状態になることがあります、異常ではありません。

- エンジンルームから音が聞こえる
- ブレーキペダルが硬くなり踏み込めないことがある

ABS装備車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ABSとはAntilock Brake System（アンチロックブレーキシステム）の略です。ABSはブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

⚠ 警告

- 常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABSによる制御には限界があります。
 - ABSは、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象（※）が起こったりした場合は効果を発揮できません。
- ※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

⚠ 警告

- 次のようなときは、ABS のついていない車より制動距離が長くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。

- ・ 凸凹道や石だたみなどの悪路
- ・ じゃり道、新雪路
- ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- ・ マンホールなど鉄板の上を通過するとき
- ・ タイヤチェーンの装着時

🔧 アドバイス

- 急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABS がついていない車と同等です。
- 急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。
※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- 路面の状況によりますが、約 10 km/h 以下ではABSが作動しません。

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

🔧 アドバイス

エンジンをかけて（ハイブリッドシステムを起動して）発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

タイヤについて

⚠ 警告

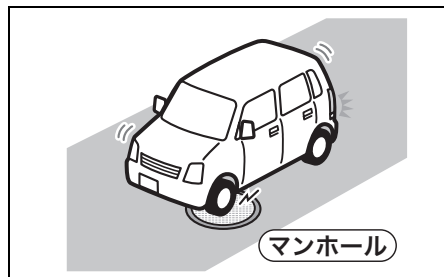
ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。4 輪とも指定のサイズではなく、メーカー、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一ではないもの、もしくは著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用すると、正確な回転速度が検出できなくなって ABS が正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ交換時は、指定のサイズで、4 輪ともサイズ、メーカー、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。

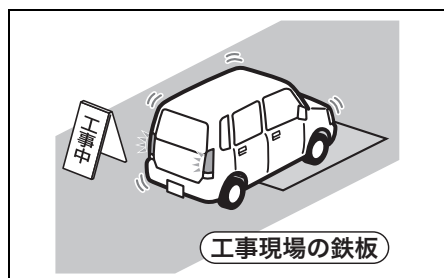
また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。

ABSは、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

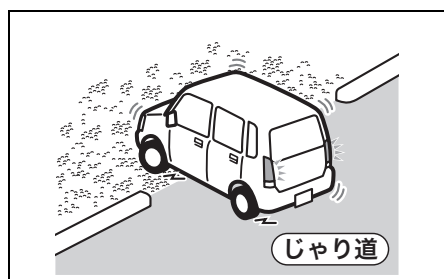
- 滑りやすい路面を走行しているとき



80J1040

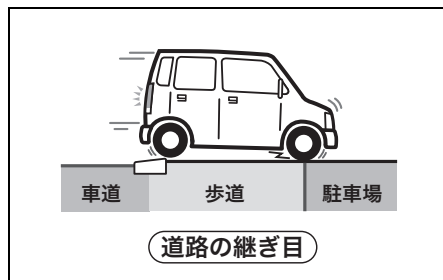


80J1041

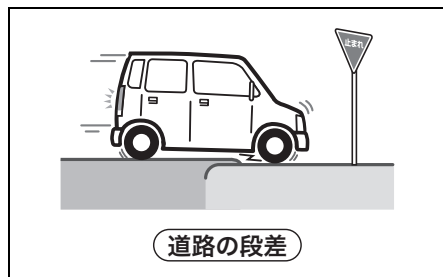


80J1042

- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

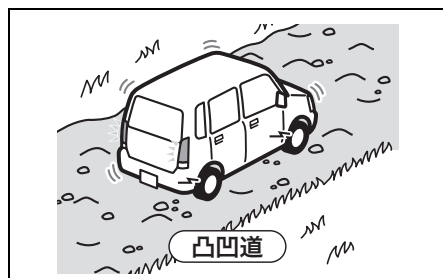


80J1043

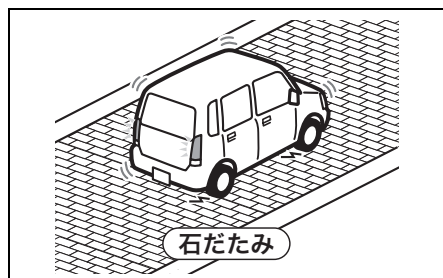


80J1044

- 悪路を走行しているとき

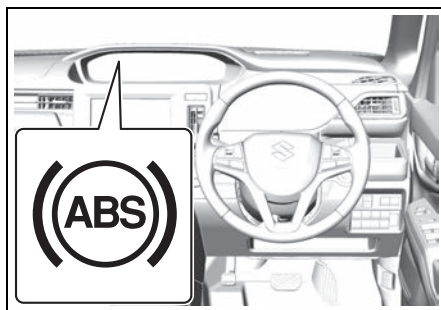


80J1045



80J1046

ABS警告灯



83S05691

メーターパネル内にあります。

→ **1-20ページ（警告灯）**

- ABS の電子制御システムに異常がある
と、エンジンスイッチが **[ON]** のとき
に点灯します。

→ **4-56ページ（ABS警告灯）**

ブレーキアシスト

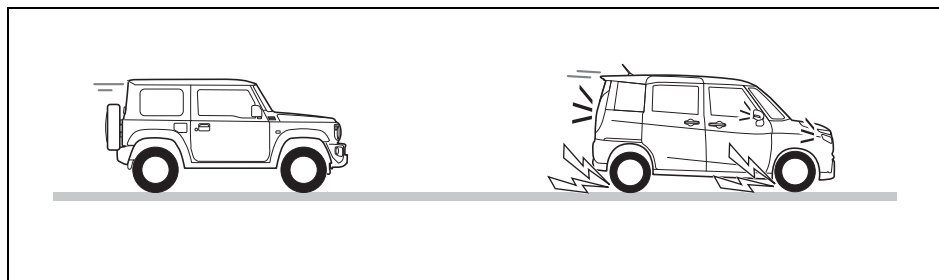
ブレーキ踏力を補助する装置です。急ブレーキをかけたときに、ABSの効果が十分に発揮されるまでの時間を短縮します。

- しっかりとブレーキペダルを踏まないと、ブレーキアシストは作動しません。
- ブレーキアシストは、本来のブレーキ性能を超えた制御をする装置ではありません。

エマージェンシーストップシグナル (ESS)

ESSとはEmergency Stop Signal（エマージェンシーストップシグナル）の略です。ESSは次の条件をすべて満たしているときに、非常点滅表示灯を通常よりも速く点滅させることで、後続車へ注意を促す機能です。またその際、メーター内の方向指示器表示灯もあわせて点滅します。

- ブレーキペダルを踏み込んだときの車速が約55 km/h以上のとき
- ABSが作動しているとき、またはABSが作動するような急ブレーキのとき



83S05700

5 ESSは次の状態になると機能が停止します。

- 車速が十分に低下したとき
- ブレーキペダルを離したとき
- ABSの作動が終了したとき
- 非常点滅表示灯スイッチの位置を **ON** にしたとき

⚠ 警告

ESSは走行中の急ブレーキ時に、後続車に注意を促すことで追突を軽減する機能で、すべての追突を防ぐものではありません。減速や停車するときは不要な急ブレーキはさけ、常に安全運転に努めてください。

🔧 アドバイス

- ESSの機能を停止させることはできません。
- ESSの機能よりも、非常点滅表示灯スイッチの操作が優先されます。
- 次のような路面を走行中に、一瞬しかABSが作動しなかったときは、ESSは作動しないことがあります。
 - ・ 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

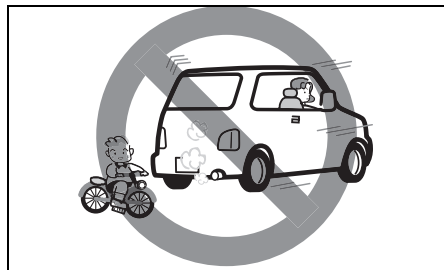
6. 運転するときの アドバイス

- **走行するとき**
走行するときは 6-2
- **4WD車を運転するとき**
4WD車を運転するときは 6-9
- **パワースライドドアを使用するとき**
パワースライドドア装備車の正しい使いかた ... 6-9
- **エコドライブ**
エコドライブをしましょう 6-11
- **寒冷時の取扱い**
雪道を走行するとき 6-12
駐車するとき 6-13
タイヤチェーンを装着するとき 6-15
- **スタック（立ち往生）**
スタック（立ち往生）したときは 6-16
- **こんなことにも注意**
こんなことにも注意して 6-17

走行するときは

周囲をよく確認してから発進する

周囲の安全をしっかりと確認してから発進してください。



69RHS176

⚠ 注意

全方位モニター（タイプ別装備）、リヤパーキングセンサー、バックミラーだけでは周囲の安全が十分に確認できません。車を前進または後退させるときは、直接目視で周囲の安全を確認してください。

エンジン始動直後の空ぶかしや急発進、急加速をしない

エコドライブのため、空ぶかしや急発進、急加速はしないでください。

→ 6-11ページ

（エコドライブをしましょう）



83S06110

注 記

エンジン始動直後は暖まっていないので、空ぶかしや急発進、急加速をすると、エンジン故障の原因となります。エンジン始動直後は、空ぶかしや急発進、急加速をしないでください。

携帯電話やナビゲーションなどに気を取られないで

⚠ 警告

- 運転中に携帯電話などを操作すると、電話の操作に気を取られ、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話などを操作しないでください。



69RHS177

- 走行中にテレビを見たり、ナビゲーションやオーディオなどを操作すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。運転者は、走行中にテレビを見たり、ナビゲーションやオーディオなどを操作したりしないでください。

ハンドルの中に手を入れてスイッチなどを操作しない

⚠ 警告

ハンドルの中に手を入れてスイッチなどを操作すると、ハンドル操作のさまたげになり、思わぬ事故の原因となります。スイッチなどを操作するときは、ハンドルの中に手を入れて操作しないでください。



69RHS178

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しない

⚠ 注意

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ装置が過熱したりして、効きが悪くなるおそれがあります。ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。

アクセルペダルとブレーキペダルの両方が踏み込まれたとき

⚠️ アドバイス

走行中にアクセルペダルとブレーキペダルの両方が踏み込まれたときに、ブレーキ効果を優先させるため、ブレーキオーバーライドシステムによりエンジン出力が抑制される場合があります。

走行中はニュートラルにしない

⚠️ 注意

走行中にセレクトレバーを **N** (ニュートラル) に入れると、エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを **N** (ニュートラル) に入れないでください。



69RHS180

こんなときどうする？

- 警告灯が点灯したら？
警告メッセージが表示されたら？
ただちに安全な場所に停車して処置をしてください。
→ 1-20ページ (警告灯)
→ 4-34ページ (マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧)
- 床下に強い衝撃を受けたら？
ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料が漏れていないか、排気管などに異常がないか点検してください。異常が見つかったときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- タイヤが突然パンクしたら？
ハンドルをしっかりと握り、慎重にブレーキをかけて徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
→ 8-14ページ (パンク)
- ブレーキペダルが重く感じられたら？
車には、エンジンの負圧を利用してブレーキペダルを踏む力を軽減するブレーキ倍力装置がついています。エンジンの負圧が低下していると、ブレーキペダルを踏んだときに重く感じる場合がありますが、異常ではありません。そのままペダルを強く踏んでください。

●ブレーキから金属音（キーキー音）が聞こえたら？

すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。ディスクブレーキのパッド（スズキ純正部品）には、走行中に金属音が発生することで使用限度（交換時期）近くまで摩耗したことを警報する機能があります。

⚠ 警告

金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。金属音が発生したまま走行を続けしないでください。

●ブレーキ操作の感じがいつもと違ったら？

⚠ 注意

次の様な状況を感じたら、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

- 地面に油や液の漏れたあとが残っている
- ブレーキの効きが悪い
- ブレーキの効きに左右差がある
- ブレーキペダルの踏込量が多い
- ブレーキのひきずり感がある

長い下り坂ではエンジンブレーキを使用する

長い下り坂ではエンジンブレーキ（※）を併用してください。アクセルペダルから足を離し、走行速度にあわせて、次のようにシフトダウンします。

ハイブリッド車以外：

SモードスイッチをONにするか、セレクタレバーを  にします。

→ 5-54ページ（Sモードスイッチ）

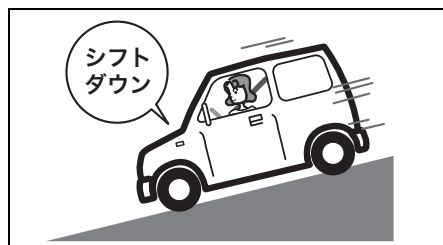
ハイブリッド車：

パドルシフトスイッチ（- 側）を操作して、適切なシフトポジションにします。

→ 5-66ページ

（マニュアルモードの使いかた）

※エンジンブレーキとは、走行中にアクセルペダルから足を離したときに起こるブレーキ効果のことをいいます。エンジンブレーキは低速ギヤほどよく効きます。

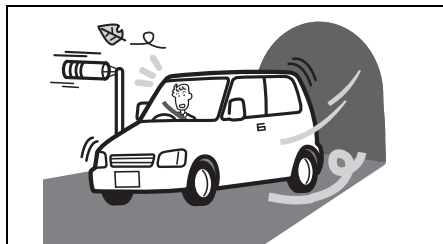


80J1003

⚠ 警告

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してスピードを下げてください。

横風が強いときは



トンネルの出口や橋の上、大型トラックが通りすぎるときなどに、横風を受けて車が横に流されることがあります。あわてずハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として進路を立て直してください。

草の生い茂った場所は走行しない

警告

草などが駆動系部品や排気管にからまると、駆動装置が損傷したり、火災につながったりするおそれがあります。草の生い茂った場所は走行しないでください。



滑りやすい路面ではゆっくり走る

注意

濡れた路面や凍結路、積雪路などで、「急」のつく運転をすると、スリップ事故につながるおそれがあります。濡れた路面や凍結路、積雪路などでは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンプレーキなど「急」のつく運転はしないでください。

急発進
急加速
急ブレーキ
急ハンドル
急激なエンジンプレーキ



水たまりを高速で通り抜け
ない

注意

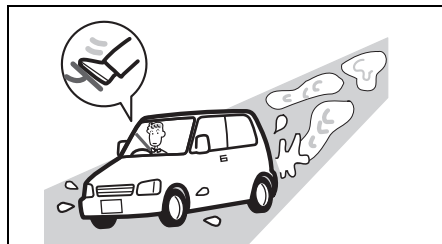
水たまりや濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることがあります。これをハイドロプレーニング現象といい、ハンドルやブレーキがまったく効かなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

水たまりを高速で通り抜けしないでください。



69RHS182

水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認



72J20360

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冠水した場所は走行しない

注 記

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする。
- 電装品がショートする。
- エンジンやトランスミッションの損傷等

やむをえず冠水した道路を走行するとき、水深に応じて対応してください。

- 水深が床面より下のとき、低速で慎重に走行してください。水深がより深い箇所には侵入しないでください。
- 水深が床面より上のとき、すみやかに安全な場所に停車し、車外に出てください。

冠水状態から急激に増水したときは水没したときの対応をしてください。

→ 8-12ページ（水没したときは）

アドバイス

水深が床面より下のときでも速度が速くなると車が停止するおそれがあります。



61M0075

万一、冠水した場所を走行したときは、ブレーキの効きを確かめながら安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ

代理店にご連絡ください。また、次の項目などについて点検を受けてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン、トランスミッション、デファレンシャルなどのオイル量および質の変化（オイルが白濁している場合は、水が混入していますのでオイル交換が必要です）
- ベアリング、ジョイント部などの潤滑不良

注 記

冠水した場所や、深い水たまりを走行すると、エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。

冠水した場所や、深い水たまりを走行しないでください。

4WD車を運転するときは

4WD 車には特有の操作上の注意があります。正しい取扱いをしてください。

路面の状況に注意して走行する

⚠ 注意

4WD 車は、雪道、急坂路、砂地、ぬかるみなどのタイヤがスリップしやすい路面で優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。また、オフロード（不整地）、ラリー専用車ではありません。駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 砂地やぬかるみなど、タイヤが空転しやすいところでは連続走行しないでください。
- ブレーキ性能は 2WD 車と比べてほとんど差がありません。滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作も、2WD 車と同様に慎重に行なってください。
- 渡河走行や冠水した道路（場所）をしないでください。



61M0075

パワースライドドア装備車の正しい使いかた

3-20 ページの「パワースライドドア」もあわせてお読みいただき、パワースライドドア装備車の特性や操作上の注意を十分理解して正しい取扱いをしてください。

パワースライドドアとは

パワースライドドアは、ドアハンドル、ワンアクションスイッチ、運転席にあるスイッチ、または携帯リモコンの操作により、自動開閉が可能です。

- 自動開閉中は、周囲に注意をうながすため、警告ブザーが“ピッピッピッ”と断続的に鳴り続けます。
- パワースライドドアには、スライドドアクローザー機能および予約ロック機能があります。
 - 3-19ページ
(スライドドアクローザー)
 - 3-26 ページ (パワースライドドア【予約ロック機能付】)
- パワースライドドアには、自動開閉するときの安全装置として、はさみ込み防止機構があります。
 - 3-27ページ
(はさみ込み防止機構)

パワースライドドアを開閉するとき

⚠ 警告

- パワースライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06082

- パワースライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行なってください。ドアに手足や頭などの身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



83S06090

- パワースライドドアの開閉はお子さまではなく大人が行ない、お子さまの身体をはさまないように気をつけてください。

⚠ 警告



83S06100

- パワースライドドアは、走行中に自動開閉できないようになっていますが、次の条件をみたと自動開閉する場合があります。完全に停車したことを確認してから操作してください。車が動いているときの開閉は、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・車速が約3 km/h以下
 - ・パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキペダルを踏んでいる

⚠ 注意

後輪のタイヤ交換などをするときは、安全のため、パワースライドドアメインスイッチを **OFF** にし、ドアを全閉状態にしてください。誤って作動してしまった場合、手などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。

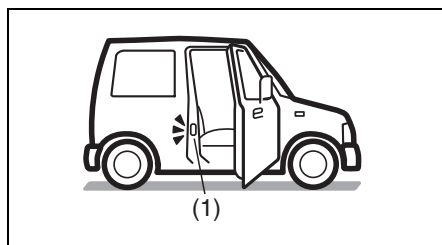
→ 3-22 ページ(パワースライドドアメインスイッチ)

エコドライブをしましょう

- 4-3 ページ (ステータスインフォメーションランプ)
- 4-20ページ (エコスコア表示機能)

タイヤの空気圧を適正に

- タイヤの空気圧が低いとガソリンを多く消費します。適正な空気圧にしてください。
- この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」(1) で確認のうえ、調整してください。



70K115

不要な荷物は積まない

燃費が悪化したりタイヤが早く摩耗したりするなど、車に悪影響があります。

暖機運転は適切に

次のような場合は、数十秒から数分程度の暖機運転を行ってから、走行を開始してください。

- 長期間お車を使用しなかったとき
- 寒冷地などで極低温（ -10°C 以下を目安）にあるとき

上記以外の場合はエコドライブのため、エンジンを始動したらすみやかに走行を開始してください。

注 記

エンジン始動直後は暖まっていないので、空ぶかしや急発進、急加速をすると、エンジン故障の原因となります。エンジン始動直後は、空ぶかしや急発進、急加速をしないでください。

アドバイス

状況によって異なりますが、一般的に暖機運転によって、5分間で160 mL程度の燃料を消費するといわれています。

急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない



83S06130

空ぶかしをしない



83S06110

燃料を消費するだけで、何の効果もありません。

車速に応じたギヤで走行する

低速ギヤを使って高いエンジン回転で走行すると燃費が悪くなります。走行速度に応じた正しいギヤをお使いください。

雪道を走行するとき

雪道や凍結路はゆっくり走行

警告

雪道や凍結路は路面が滑りやすく、スリップ事故を起こすおそれがあります。

スピードを控えめにし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。



83S06120

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に付着した雪や氷が凍結して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効が悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着

雪道や凍結路では、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

- 走行する地区の条例などにしたがって装着してください。

→ 9-9ページ

(タイヤ交換するときは)

→ 6-15ページ

(タイヤチェーンを装着するとき)

フェンダー裏側に付着した雪を取り除く

雪道を走行すると、フェンダーの裏側に雪が付着してタイヤと接触し、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

- ときどき車を止めてフェンダーの裏側を点検してください。雪の塊が付着しているときは、周囲の部品を傷つけないように雪を取り除いてください。



80J313

駐車するとき

パーキングブレーキ

パーキングブレーキが凍結すると解除できなくなります。

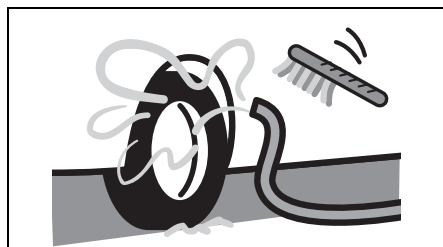
- 長時間駐車するときは、セレクトレバーを **[P]** に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止め（市販品）をしてください。

凍結防止剤が散布してある道を走行したあとは

すみやかに凍結防止剤を洗い落としてください。とくに車体の下まわり、足まわりを念入りに洗ってください。放置するとサビの原因となります。

凍結を防ぐため、洗車後はドアまわりなどの水分をふき取ってください。

- ドアキーの穴を避けて洗車してください。キー穴が凍結すると、ドアが解錠できなくなります。
- ドアまわりのゴム部品の水分は、とくによくふき取ってください。凍結すると、ドアが開かなくなります。



80J314

屋外に駐車するときは

注 記

- 軒下や樹木の下に駐車すると、積雪や落雪で車の屋根がへこむことがあります。降雪時は、軒下や樹木の下には駐車しないでください。
- 降雪時に屋外に駐車すると、雪の重みでワイパーアームが変形したり、ブレード部（ゴムの部分）がガラスに凍結したりすることがあります。駐車するときは、ワイパーアームを立ててください。



80J315

⚠️ アドバイス

ルーフアンテナの場合、降雪時に長時間駐車するときは、アンテナを取り外してください。

→ 7-35ページ（アンテナの脱着）

排気管のまわりが雪で覆われたときは

⚠️ 警告

排気管のまわりが雪で覆われたままエンジンを回転させると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

排気管のまわりが雪で覆われたままエンジンを回転させないでください。



83S06140

タイヤチェーンを装着するとき

タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠ 警告

- 適合品以外を装着すると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。
タイヤチェーンは、適合品以外を装着しないでください。
- 走行中にいつもと違う音がした場合、タイヤチェーンが切れたり、一部が外れたりして車体に当たると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。
走行中にいつもと違う音がするときは、ただちに停車して点検してください。
- タイヤチェーンを装着して走行するときは、必ず次のことをお守りください。
お守りいただかないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・安全およびタイヤチェーン保護のためスピードを控えめ（30 km/h 以下）にしてください。
 - ・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転をしないでください。
 - ・路面の突起や穴を避けてください。

注 記

タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行すると、タイヤチェーンの摩耗が早まったりします。また、4WD 車の場合、駆動装置に無理な力がかかり、故障の原因となります。
タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行しないでください。

ⓘ アドバイス

タイヤチェーンを装着すると、タイヤ回転速度が検出できなくなって、次の機能が正常に作動しない場合があります。

- ABS
- エマージェンシーストップシグナル (ESS)
- ESP®
- デュアルカメラブレーキサポート (タイプ別装備)
- 誤発進抑制機能 (タイプ別装備)
- 車線逸脱抑制機能 (タイプ別装備)
- アダプティブクルーズコントロール (タイプ別装備)
- アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) (タイプ別装備)
- 後退時ブレーキサポート (タイプ別装備)
- 後方誤発進抑制機能 (タイプ別装備)

タイヤチェーンを装着する前に

■ タイヤチェーンは前輪に装着

この車は前輪が駆動輪、または前輪が駆動輪ベースの4WDです。後輪には装着しないでください。

■ ジャッキアップに適した安全な場所で装着

8-26 ページの「タイヤ交換の準備」の①、②をお読みください。

■ 応急用スペアタイヤ（別売り）には装着できません

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪の標準タイヤを前輪に付けてから、タイヤチェーンを前輪に装着します。

6

タイヤチェーンの装着

タイヤチェーンに付属の取扱説明書をよくお読みください。

注 記

アルミホイール装備車の場合、タイヤチェーンでホイールに傷がつくおそれがあります。
タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従い、正しく装着してください。

スタック（立ち往生）したときは

- ぬかるみや砂地などで、駆動輪が空転して脱出できなくなることをスタックといいます。
- 前進と後退を繰り返すときは、駆動装置などが損傷するおそれがあるため、次のことに注意してください。
 - ・セレクトレバーを確実に入れてからアクセルペダルを軽く踏んでください。
 - ・数回行なっても脱出できないときは、操作を中止してください。
- タイヤの下に石や木を入れると脱出しやすくなります。
- ESP® 装備車では、トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。そのようなときは、ESP® OFFスイッチを操作してトラクションコントロールを作動停止の状態にしてください。
→ 5-191ページ
(ESP® 装備車の取扱い)

⚠ 警告

脱出の際、勢いよく発進すると事故を起こすおそれがあります。
脱出しようとする前に、周囲の安全を十分に確認してください。

注 記

タイヤを高速で空転させると、タイヤが異常に過熱して破損したり、駆動装置が損傷したりするおそれがあります。

タイヤを高速で空転させないでください。



83S06150

こんなことにも注意して

車検を受けるときの注意

ESP® 装備車をテスターに載せる場合は、ESP® OFF スイッチを操作して、次の機能を作動停止（OFF）の状態にしてください。

→ 5-193ページ

(ESP® OFFスイッチ)

- トラクションコントロールおよびスタビリティコントロール
- デュアルカメラブレーキサポート（タイプ別装備）
- 誤発進抑制機能（タイプ別装備）
- 後退時ブレーキサポート（タイプ別装備）
- 後方誤発進抑制機能（タイプ別装備）

詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠️アドバイス

デュアルカメラブレーキサポートOFFスイッチ（タイプ別装備）を操作しても、ESP® は作動停止（OFF）しません。

外装部品に力をかけすぎない

注 記

外装部品に強い力をかけすぎると破損するおそれがあります。

フロントバンパー、リヤバンパー、サイドスカート（タイプ別装備）、スポイラー（タイプ別装備）、スライドドアレールカバー、ドアガーニッシュ、カウルトップガーニッシュなどに強い力をかけないでください。

段差などに注意して

注 記

次のような場合は、バンパーまたは車両下部が破損するおそれがあります。十分注意してください。

- 路肩など段差がある場所への乗り入れ
- わだちやくぼみなどがある道路の走行

不正改造はしない

⚠ 警告

- 不正改造をすると、火災や事故につながるおそれがあります。また、取扱い、性能、耐久性に悪影響をあたえたり、法令に違反したりするおそれがあります。

この車に適さない部品を取り付ける、あるいは自己流の調整や配線をするなどの改造をしないでください。



69RHS184

- スズキ純正品以外のホイール、ホイールナットを使用すると、走行中にナットがゆるんでホイールが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、燃費や走行安定性が悪化したり、故障の原因となったりします。

ホイール、ホイールナットは指定のスズキ純正品以外を使用しないでください。

注 記

- LEDヘッドライト装備車では、次のような改造をするとオートレベリング機能（自動光軸調整機能）が正常に作動しなくなるおそれがあります。
 - ・サスペンションの改造（車高やサスペンションの硬さ変更）
 - ・指定サイズ以外のタイヤやホイールの装着
- この車に無線機を搭載する前には、周波数、最大出力、車へのアンテナ位置、搭載や使用のための具体的な条件について、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談することをおすすめします。
無線機が不適切に搭載された場合や、無線機がこの車に適さない場合には、車の電子制御系が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- お車の故障診断コネクタへ指定以外の機器を接続すると、電子部品のはたらきをさまたげたり、鉛バッテリーあがりなどを起こしたりするおそれがあります。
お車の故障診断コネクタには、指定の点検整備用の故障診断装置以外は接続しないでください。

部品の取り付け、取り外し、修理をするときは

⚠ 警告

SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけなく作動したり、必要なときに正常に作動しなかったりすることがあります。

⚠ 警告

次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。事前にスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- ハンドルの取り外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取り付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- 前席の交換およびシートまわりの修理
- フロントピラー、バックピラーおよびルーフサイドまわりの修理
- センターピラーまわりの修理

アクセサリーの取り付けに気をつけて

⚠ 警告

窓ガラスにアクセサリーを取り付けると、アクセサリーや吸盤が視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたりするおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときに、アクセサリーが飛んでけがのおそれがあります。
窓ガラスにアクセサリーを取り付けしないでください。



69RHS185

飲み物などをこぼしたときは

⚠ 警告

車内に水などをかけたり、飲み物などをこぼしたりしないでください。

次のような部品が故障したり、火災の原因になったりするおそれがあります。万一、飲み物などをこぼした場合は、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

- SRSエアバッグシステム
- ナビゲーション、オーディオ、スイッチまたは配線などの電気部品
- セレクトレバー、シートベルトバックルなどの可動部分

注 記

助手席のシートクッションには、シートベルトリマインダーのセンサーが内蔵されています。

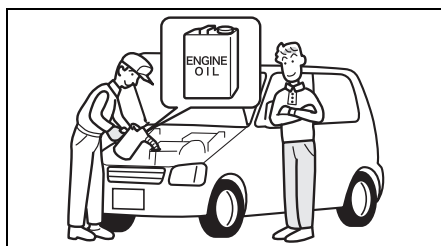
シートクッションの上にソフトドリンクやジュースなどの液体をこぼすと、シートベルトリマインダーセンサーが損傷するおそれがあります。

シートクッションの上にソフトドリンクやジュースなどの液体をこぼしたときは、すぐにやわらかい布などでふき取ってください。

エンジンオイルを交換するときは

■ 定期的に交換する

- 標準的な使用方法では、エンジンオイルは**15,000 km**ごと、または**12 か月**ごとのどちらか早い方で交換し、エンジンオイルフィルターは**15,000 km**ごとに交換してください。
- 厳しい条件（シビアコンディション）で使用した場合は、標準的な場合より早めの交換が必要です。
→ メンテナンスノート



54M3143

注 記

劣化したオイルや目詰まりしたフィルターは、エンジン故障や異音の原因となります。

エンジンオイルを交換するときは、交換時期を守ってください。交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。

■ エンジンオイルの規格／粘度

使用するエンジンオイルにより燃費などの性能は左右されます。品質規格は表1を満たすまたは相当する性能を有するもの、粘度規格は表2を満たすものを使用してください。オイルは、スズキ純正オイルのご使用をおすすめします。

→ 10-1ページ（サービスデータ）

表1

規格		オイル 性能
API (※1)	ILSAC (※2)	
SP 相当	GF-6 相当	
SN 相当	—	
SM 相当	—	
SL 相当	—	

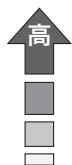


表2

規格	全車共通
SAE粘度(※3)	0W-16
	0W-20
	5W-30

※1 API規格とは、American Petroleum Instituteが定めた規格でエンジンオイルの品質グレードを表しています。

※2 ILSAC規格とは、International Lubricant Specification Advisory Committee が定めた自動車用エンジンオイルの規格で、API 規格をベースに省燃費・耐久性などの性能がさらに優れたオイルであることを示します。

※3 SAE 粘度とは、潤滑油の粘度を定めた規格です。
左側の数字(Wの付く数字)は低温時

の粘度を意味し、この数字が小さいほど寒さに強くエンジンの始動性が良いことを示します。右側の数字は高温時の粘度を意味し、この数字が大きいほど熱に強く、エンジンの保護性能に優れています。

📌 アドバイス

- 0W-16 は燃費性能に優れたオイルです。
- 外気温がー15℃以下となる寒冷時は、0W-16 または0W-20 を使用してください。5W-30 を使用すると、エンジンの始動性が悪くなります。

7. 装備の取扱い

● 主な装備

燃料給油口	7-2
給油するときは	7-4
ボンネット	7-6
サンバイザー	7-8
ロールサンシェード	7-9
室内灯	7-10
アクセサリソケット	7-13
ドリンクホルダー	7-14
インパネ収納スペース	7-16
可倒式アシストグリップ	7-19
フットレスト	7-19
シートアンダーボックス	7-20
ショッピングフック	7-21

● エアコン、ヒーター

エアコンの吹出し口	7-22
オートエアコン	7-23
スリムサーキュレーター	7-31
エアコンの上手な使いかた	7-32

● オーディオ

アンテナ	7-35
オーディオ機能について	7-36
ステアリングオーディオスイッチ	7-37

● その他の装備

オーバーヘッドコンソール	7-38
ドアポケット	7-39
USBソケット	7-40
USB電源ソケット	7-40
アームレスト（ひじ掛け）	7-41
シートバックポケット	7-42
シートサイドポケット	7-42
ラゲッジボード	7-43
サブトランク	7-43
ラゲッジアンダーボックス	7-44
パーソナルテーブル	7-44

燃料給油口

7-4 ページの「給油するときは」もあわせてお読みください。

⚠ 警告

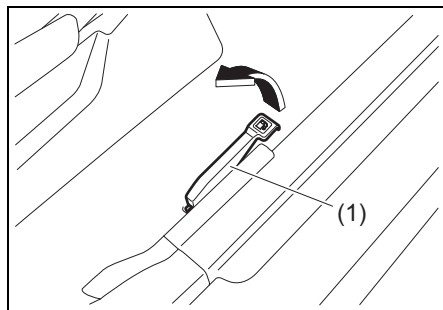
給油するときは、必ず次のことをお守りください。

- エンジン（ハイブリッドシステム）を止めてください。
- 給油中はドアや窓を閉めてください。
- ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。

フューエルリッド

助手席側の車両後方にあります。

- 開けるときは、運転席足元のフューエルリッドオープナー（1）を引き上げます。
 - ・フューエルリッドが開いていると、干渉防止のため、助手席側スライドドアは少ししか開きません。また、助手席側のパワースライドドア機能が作動しません。
- 閉めるときは、フューエルリッドを手で押し付けます。



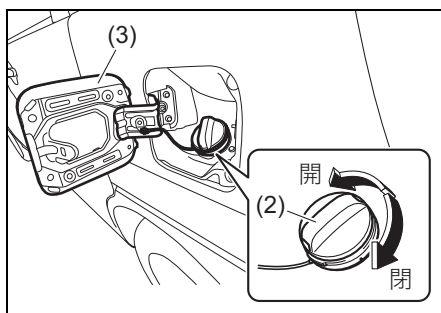
81P50110

注 記

助手席側スライドドアが開いているときに、フューエルリッドを開けないでください。ドアの内側に当たり、破損するおそれがあります。

フューエルキャップ

- 開けるときは、ゆっくり反時計方向にまわします。
- 閉めるときは、カチッという音が2回以上するまで時計方向にまわします。



83S07010

- (2) フューエルキャップ
- (3) フューエルリッド

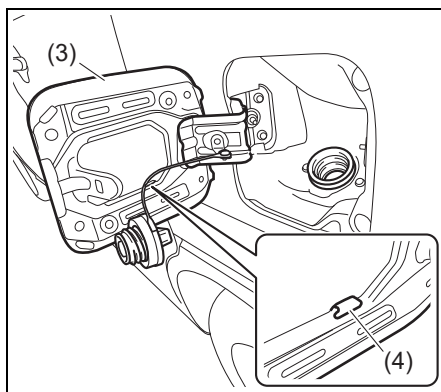
警告

- フューエルキャップを急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けてください。
- 燃料がこぼれると、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちにやわらかい布などでふき取ってください。
- キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。給油後は、フューエルキャップをカチッという音が2回以上するまで閉めてください。
- 純正フューエルキャップ以外を使用すると、燃料漏れのおそれがあります。指定のスズキ純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。

キャップホルダー

フューエルリッド (3) の裏側にあります。

- 給油中は、外したキャップが車体に当たらないように、キャップホルダー (4) にキャップのひもの部分をかけてください。



83S07020

給油するときは

7-2 ページの「燃料給油口」もあわせてお読みください。

火気に気をつけて

⚠ 警告

給油するときは、必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、ガソリンに引火し、火災のおそれがあります。

- エンジン（ハイブリッドシステム）を止めてください。
- 給油中はドアや窓を閉めてください。
- ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。



69RHS186

セルフスタンドで給油するときは

⚠ 警告

セルフスタンドで給油するときは必ず次のことをお守りください。

- 身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
フューエルキャップを開ける前に、車体または給油機の金属部分に手を触れて、身体の静電気（※）を除去してください。また、給油中は車内にもどらないでください。再び帯電するおそれがあります。
- 給油口には、静電気除去を行なった方以外の人を近づけないでください。

※空気が乾燥すると、身体に多くの静電気が帯電します。また、かさね着をすると、繊維の摩擦により静電気が発生します。とくに乾燥する季節は注意してください。

- フューエルキャップを急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けてください。
- ノズルを確実に差し込まないと、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
給油口に給油ノズルが止まるところまで確実に差し込んでください。
- 給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いてください。

警告

- 自動停止（オートストップ）機能が作動した後に継ぎ足し給油をすると、燃料があふれ出るおそれがあります。給油ノズルの自動停止（オートストップ）機能が作動したら、給油を終了してください。



69RHS070

※ 給油機によっては、早期に自動停止機能が作動して給油できない場合があります。スタンド従業員の指示にしたがってください。

- 燃料がこぼれると、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちにやわらかい布などでふき取ってください。
- キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。給油後は、給油ノズルを確実にもとの位置にもどし、フューエルキャップをカチッという音が2回以上するまで閉めてください。
- 燃料は人体に有害な物質を含んでいます。気化した燃料を吸い込まないでください。
- そのほか、スタンドに掲示されている注意事項をお守りください。

無鉛ガソリン以外は使用しない

注記

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、そのほかの燃料（アルコール系、軽油など）を使用すると、エンジンや燃料配管系などに悪影響をおよぼします。無鉛ガソリン以外は使用しないでください。

ボンネット

⚠ 警告

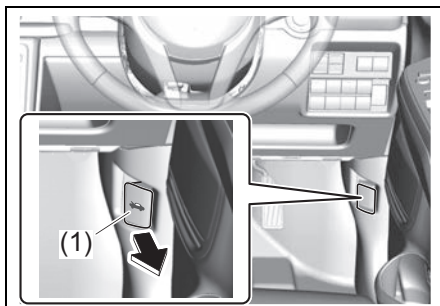
- ボンネットは重いため、お子さまが開閉するとけがのおそれがあります。お子さまにはボンネットを開閉させないでください。
- エンジンルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。ボンネットを開けているときは、お子さまを近づけないでください。
- 工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れると、故障の原因となったり、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながったりするおそれがあります。点検や清掃に使用した工具や布などは、エンジンルーム内に置き忘れないでください。

⚠ 注意

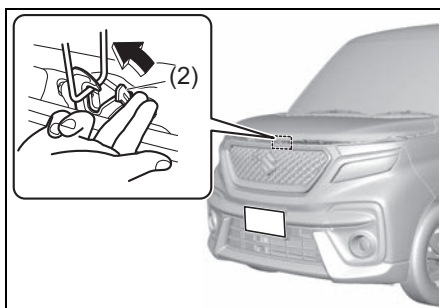
動いているドライブベルトや冷却ファン（ラジエーターファン）に近づくと、手や髪、衣類などが巻き込まれ、けがのおそれがあります。エンジン回転中は、ドライブベルトや冷却ファン（ラジエーターファン）に近づかないでください。

開けかた

- 1 運転席足元のボンネットオープナー（1）を引くと、ボンネットの先端が少し浮き上がります。



- 2 浮き上がったボンネットのすきまからロックレバー（2）の位置を確認し、すきまから手を入れ、ロックレバーを左側へ押し付けながら、ボンネットを持ち上げます。



⚠ 注意

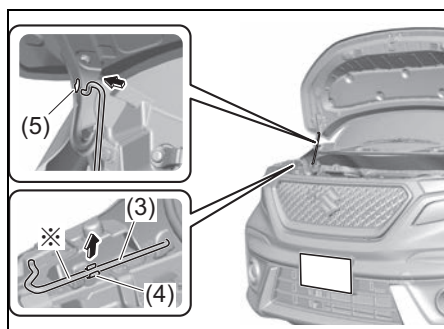
エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあり、やけどのおそれがあります。エンジン回転中や停止直後にボンネットを開けるときは、ロックレバーを操作する前に確認してください。

注 記

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けると、ワイパーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。

3 ボンネットを固定します。

- 車体側にあるステー (3) をホルダー (4) から外し、ボンネット側の固定穴 (5) に差し込みます。



83S07050

⚠ 注意

- エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあり、やけどのおそれがあります。エンジン回転中や停止直後にステーを使用するときは、ステーを持つ前に確認してください。
- ステーが外れると、ボンネットに身体がはさまれけがをするおそれがあります。ステーは固定穴に確実に差し込んでください。
- ボンネットが風にあおられて、ステーが外れるとボンネットに身体がはさまれけがをするおそれがあります。ボンネットを開けるとき、とくに風の強い日は注意してください。

🔧 アドバイス

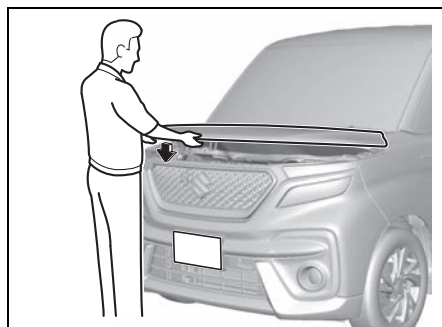
ステーをホルダーから外すときは、※部を持ってください。

閉めかた

1 ボンネットを片手でささえながら、ステーを外してもとのホルダーに固定します。

2 ボンネットを閉めます。

- ボンネットを 20 cm ぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手を離します。



83S07060

⚠ 警告

ボンネットが完全に閉まっていないと、走行中に開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。ボンネットが完全に閉まっていることを確認してください。

⚠ 注意

ボンネットを閉めるとき、手などをはさむとけがをするおそれがあります。また、強く押さえると、ボンネットがへこむおそれがあります。

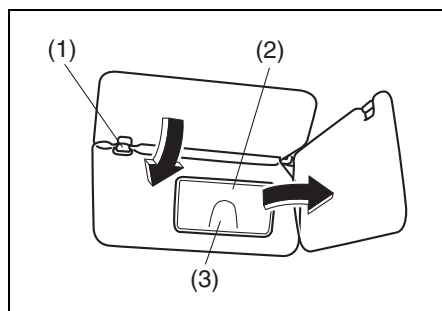
ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。

サンバイザー

日差しがまぶしいときに使用します。横からの日差しがまぶしいときは、フックから外して横にまわします。

チケットホルダー

サンバイザーの裏側にあります。有料道路の通行券などがはさめます。



- (1) フック
- (2) ミラーカバー
- (3) チケットホルダー

注 記

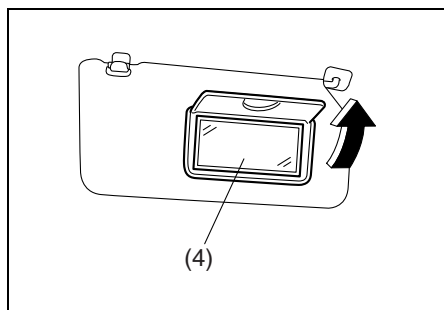
炎天下で駐車すると、車内が高温になるためカードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

炎天下で駐車するときは、チケットホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。

→ 5-51 ページ（ライターやメガネなどを放置しない）

バニティーミラー

ミラーカバーを開けた場所にあります。



70K178

(4) バニティーミラー

⚠ 警告

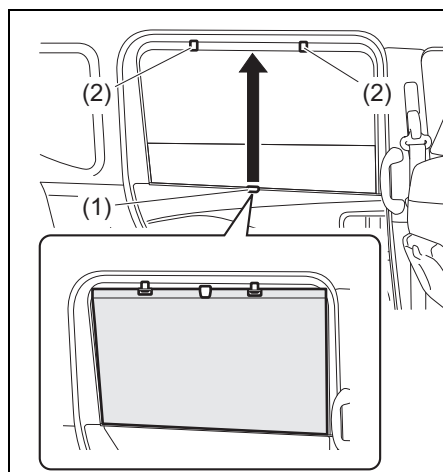
- 走行中にバニティーミラーを使用すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中はバニティーミラーを使用しないでください。
- SRS エアバッグの収納場所に近づいた状態でSRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。バニティーミラーを使用するときは、SRS エアバッグの収納場所に近づいたり、寄りかかったりしないでください。

ロールサンシェード

タイプ別装備

後席の両側にあり、日差しがまぶしいときなどに使用します。

- ツマミ (1) を持ってゆっくり上に引き出し、シェードの2か所の穴をフック (2) にかけます。
- 収納するときは、ツマミを持って少し上に引き上げフックから外し、ゆっくり下げます。



83S07070

⚠ 警告

シェードに手をつかないでください。
シェードを破損するだけでなく、窓が
開いていると手などが外へ出て思わぬ
事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

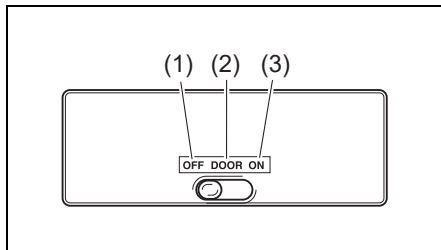
- 使用するときは 2 か所の穴がフック
にかかっているか確認してください。
片側のみで使用すると、走行時の振
動などでフックから外れ、シェード
が暴れてけがをするおそれがありま
す。
- シェードを操作するときは、ツマミ
をしっかり持って操作してください。
途中でツマミを離すと、シェード
が巻きもどされ、指などをはさまれ
てけがをするおそれがあります。

注 記

シェードを上以外の方向に引き出し
たり、勢いよく引き出したりしないで
ください。シェードが破損するおそれ
があります。また、収納するときはま
っすぐ下方向に下げてください。傾けた
状態で下げると、正しく収納されな
かったり、しわがでたりするおそれ
があります。

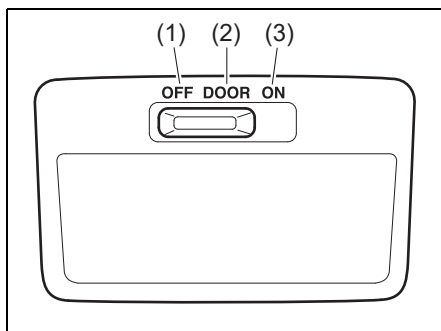
室内灯

前席室内灯



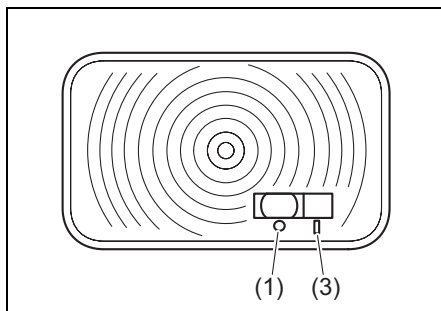
83S07400

後席室内灯



83S07410

荷室室内灯



83S07480

- (1) OFF位置
- (2) DOOR位置
- (3) ON位置

注 記

エンジン（ハイブリッドシステム）停止中に長時間点灯させると、鉛バッテリーあがりの原因となります。

エンジン（ハイブリッドシステム）停止中は、室内灯を長時間点灯させないでください。

⚠️ アドバイス

- 鉛バッテリー保護のため、エンジンスイッチが **LOCK**（OFF）の位置で15分点灯し続けると、前席／後席室内灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
 - 鉛バッテリー保護のため、エンジンスイッチの位置に関係なく15分点灯し続けると、荷室室内灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
 - 室内灯スイッチが DOOR 位置のときに、次の操作を行なった場合、室内灯が点灯または点滅します。
 - ・キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠
 - ・リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
- **3-12 ページ（アンサーバック機能）**

スイッチの位置	状態
ON	前席室内灯または後席室内灯の場合、ドアの開閉に関係なく点灯します。 荷室室内灯の場合、バックドアを開けたときに点灯し、閉めたときに消灯します。
DOOR	いずれかのドアを開けると点灯します。 ●すべてのドアを閉めると約15秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。 ●すべてのドアを閉じているときでも、エンジンスイッチを ON から LOCK (OFF) の位置にすると、約15秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。 また、点灯中であっても次のような操作をすると、徐々に減光しながら消灯します。 ●エンジンスイッチを ACC または ON の位置にする ●キーまたは運転席ドアのロックレバーによる施錠 ●キーレスエントリーまたはリクエストスイッチによる施錠
OFF	ドアの開閉に関係なく消灯します。

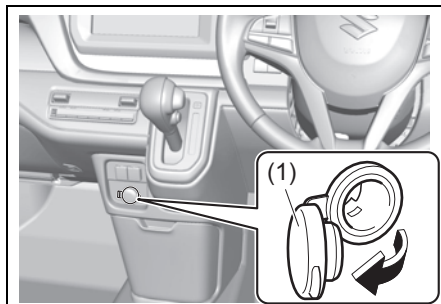
アクセサリソケット

後席はタイプ別装備

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときに、電気製品の電源として使用できます。使用できる電気製品の規定容量はインパネと荷室合わせて 12 V 10 A (120 W) 以下です。

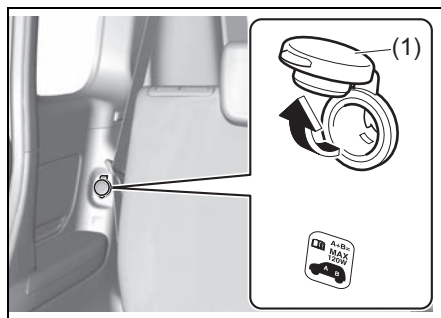
- 使用するときは、ふた (1) を開けます。

インパネ



83S07081

後席



83S07090

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

警告

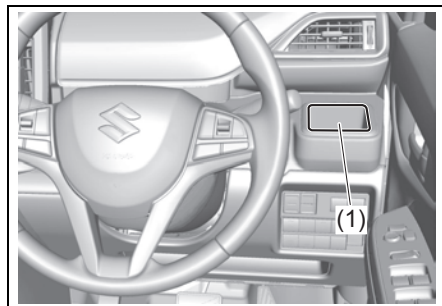
使わないときは、ふたを閉めてください。ソケット内に異物が入ると、故障やショートの原因となります。

注記

- 規定容量は、インパネと荷室合わせて 120 W までとなります。規定容量を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れることがあります。
- エンジン (ハイブリッドシステム) 停止中に長時間使用すると、鉛バッテリーあがりの原因となります。また、エンジンがかかっている状態でもアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- エンジンスイッチが **LOCK** (OFF) の状態で、オーディオまたはナビゲーション機器本体の電源が切れなかったり、キーレスエントリーが作動しなかったりする場合は、アクセサリソケットに接続された機器が影響している可能性があります。アクセサリソケットから機器を取り外して、状況が改善されるか確認してください。改善されない場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

ドリンクホルダー

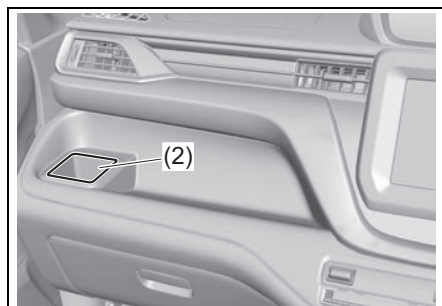
運転席



83S07101

(1) 運転席ドリンクホルダー

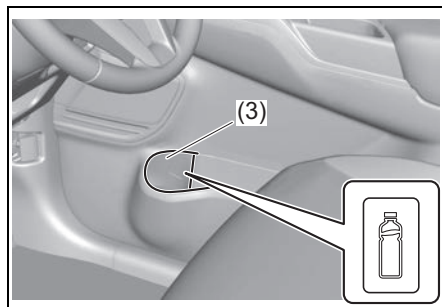
助手席



83S07110

(2) 助手席ドリンクホルダー

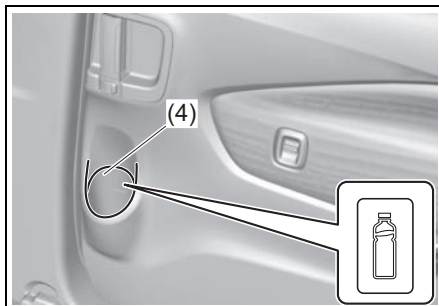
前席ドア



83S07120

(3) 前席ペットボトルホルダー

後席ドア



83S07130

(4) 後席ペットボトルホルダー

警告

- 飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物が次のような部品にかかる、火災や故障の原因になったり、SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

- ・ナビゲーション、またはオーディオやスイッチ類
- ・フロア下の配線や電気部品
- ・セレクトレバー、シートベルトバックルなどの可動部分

- ドリンクホルダーに、背の高い飲料用容器、また鋭利なもの、硬いもの、割れやすいものなどを置くと、走行中に落ちてけがをしたり、運転のさまたげになったりするおそれがあります。運転席 / 助手席ドリンクホルダーには、缶ジュースやカップ、紙パック、ペットボトルを置いてください。

※運転席 / 助手席ドリンクホルダーは、500ml を超えるサイズの紙パックを置かないでください。倒れたり、中身がこぼれたりするおそれがあります。

 警告

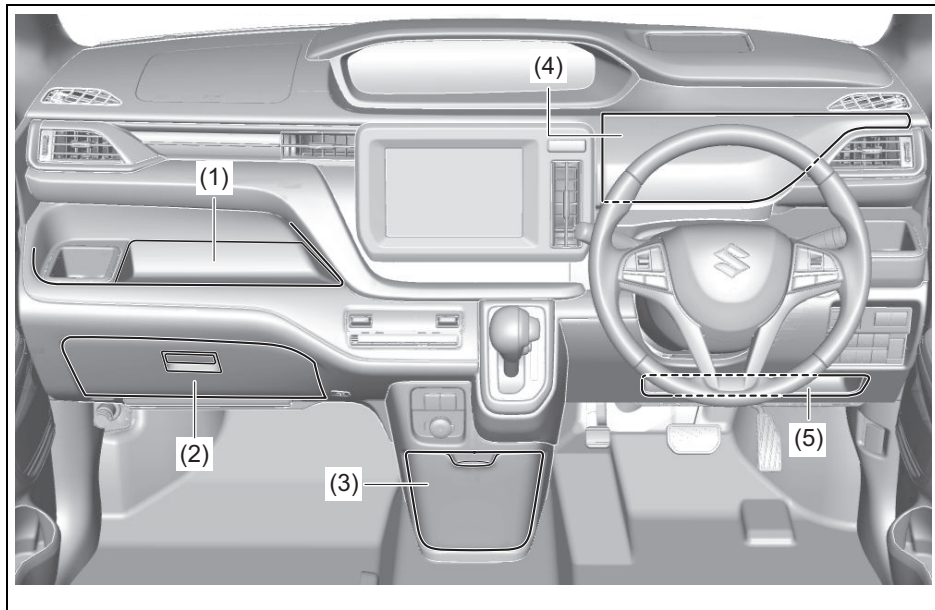
- 運転席 / 助手席ドリンクホルダーには、背の高い飲料容器を置かないでください。視界の妨げとなって事故につながるおそれがあります。

 アドバイス

携帯リモコンをドリンクホルダーや、ペットボトルホルダーに置いた場合、検知できないことがあります。

インパネ収納スペース

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



83S07141

- (1) インパネトレイ(助手席)
- (2) グローブボックス
- (3) インパネロアボックス(センター)
- (4) インパネアッパーボックス(リッド付)
- (5) インパネロアポケット(運転席側)

● 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 警告

- ブレーキペダルやアクセルペダルにものがはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。
ふたがない収納スペースの場合、走行中に転がり落ちるようなものを入れないでください。
- 助手席 SRS エアバッグがふくらむ範囲にものがあると、ものが飛ばされたり、助手席SRS エアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。
インパネトレイ（助手席）には、大きなものを載せないでください。

⚠ 注意

ブレーキや加速、衝突のときなどに、身体がふたに当たったり、中のものが飛び出したりするおそれがあります。
ふた付収納スペースの場合、ふたを開けたまま走行したり、走行中にふたを開けたりしないでください。

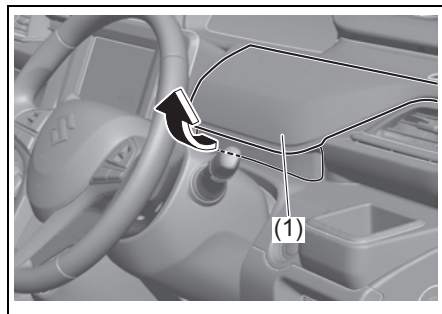
📌 アドバイス

携帯リモコンをいずれかのインパネ収納スペースに置いた場合、検知できないことがあります。

ふた付収納スペースの取扱い

- 下図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

■ インパネアッパーボックス (リッド付)



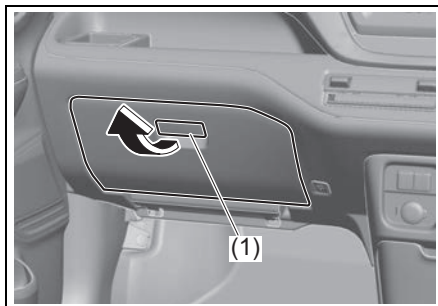
83S07151

- ふた (1) を持ち上げて開けます。

⚠ 警告

- 炎天下で駐車するときは、インパネアッパーボックス (運転席) 内にライターやスプレー缶、熱に弱いプラスチック製品や精密機器 (メガネやカード、CD ケースなど) を入れないでください。ボックス内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカード、CD ケースなどの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

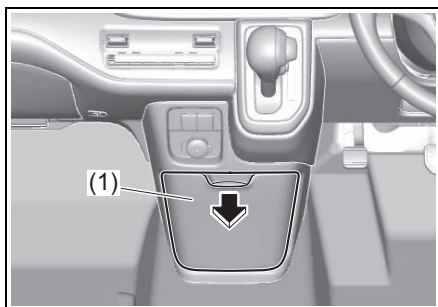
■ グローブボックス



83S07160

- レバー (1) を手前に引いてふたを開けます。
- 閉めるときはカチッと音がするまで確実に閉めます。

■ インパネロアボックス (センター)

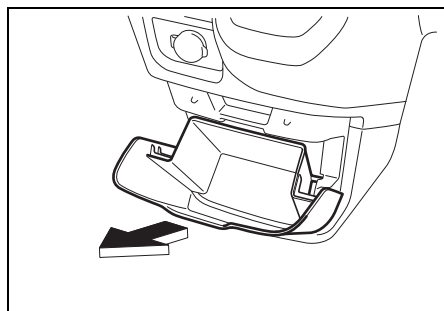


83S07171

- ふた (1) を手前に引いて開けます。

取り外しかた

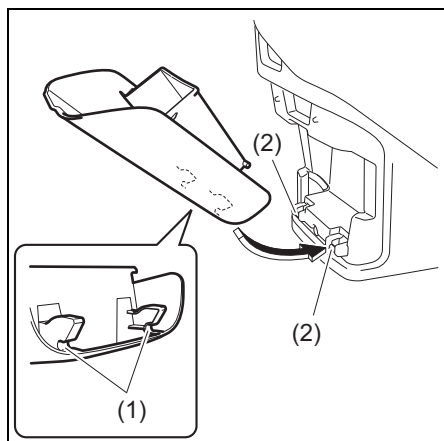
ボックスを引き上げて取り外します。



83S07180

取り付けかた

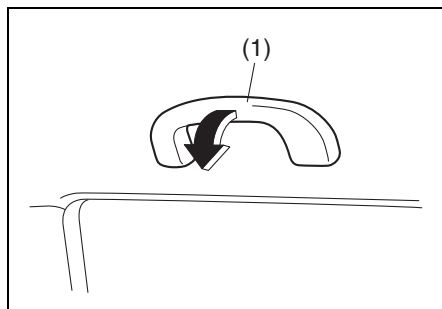
ボックス底面のつめ (1) を、穴 (2) に押し込んで取り付けます。



83S07190

可倒式アシストグリップ

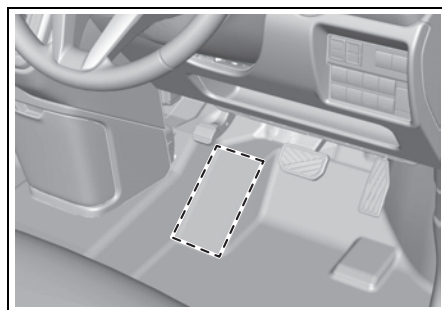
アシストグリップ (1) を手前に倒して使用します。



80J1233

フットレスト

フロアカーペット内にあります。左足のささえとして使用します。



83S07201

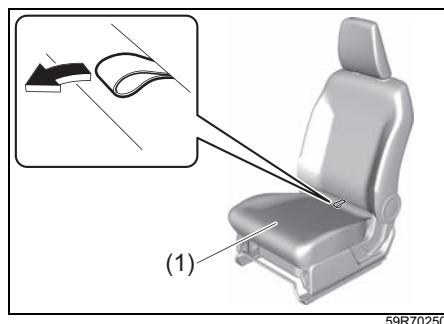
シートアンダーボックス

助手席クッションの下に小物入れボックスがあります。この小物入れボックスは、車外に持ち出すことができます。

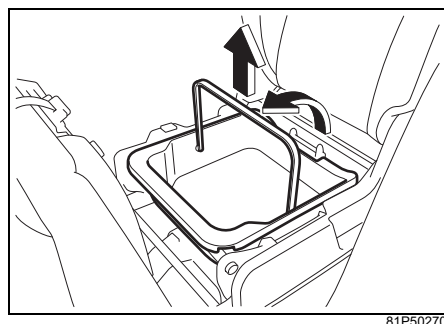
■ 取り出しかた

- 1 クッション（1）後部のバンドを引き上げて、固定を外します。

- バンドが引き上げにくいときは、背もたれを後方へ倒します。



- 2 クッションを車の前方向へ起こし、とっ手を持ってボックスを取り出します。



注 記

起こしたクッションに力を加えると、クッション取り付け部が損傷するおそれがあります。
起こしたクッションに、力を加えないでください。

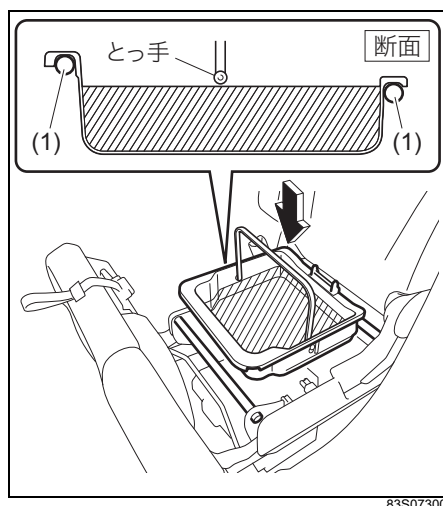
⚠️ アドバイス

シートアンダーボックスの下にリチウムイオンバッテリーがあります。

→ 5-5ページ
(リチウムイオンバッテリー)

■ もとにもどすときは

- 1 ボックスの両端がシートのパイプ（1）にはまるように、ボックスをはめ込みます。



注 記

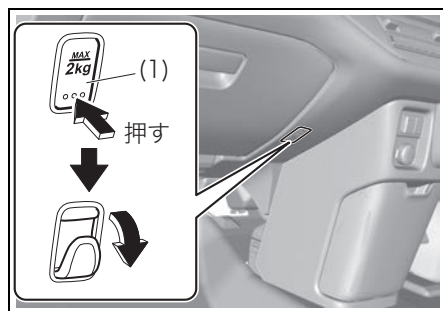
上図の斜線部分よりも上にもものを入れると、クッションやボックス、中のもものが破損するおそれがあります。
上図の斜線部分よりも上にはものを入れないでください。

- 2 クッションを車の後方へ倒します。クッションは、もとの位置までもどると固定されます。

ショッピングフック

買い物袋などをひっかけるときにご使用ください。

■ インパネ



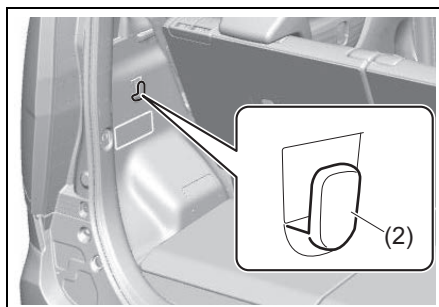
83S07210

- 使用するときは、フック (1) の下部を押しながら回転させます。
- 使用後は、反転させてフックを格納します。

注 記

重いものをフックにかけると、フックが破損するおそれがあります。フックにかけるものは、2 kg 以下としてください。

■ ラゲッジサイド左側



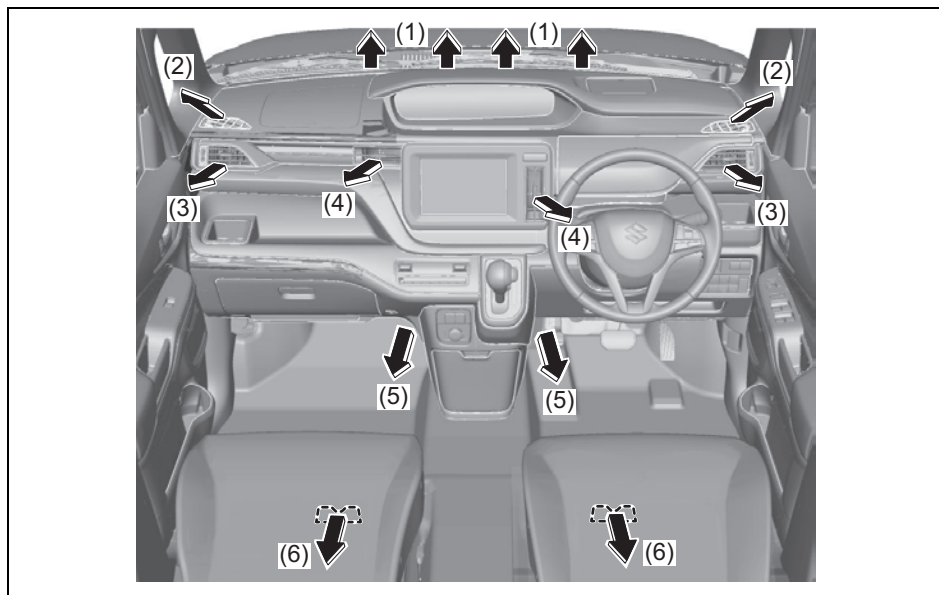
83S07220

荷室の左側面にフック (2) があります。

注 記

重いものをフックにかけると、フックが破損するおそれがあります。フックにかけるものは、1 kg 以下としてください。

エアコンの吹き出し口



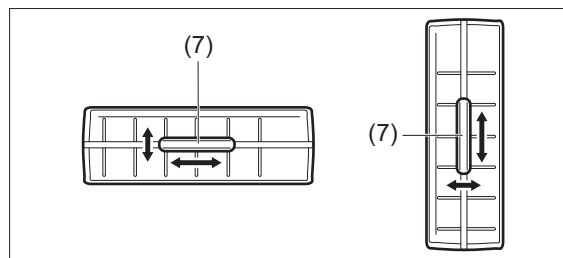
83S07231

- (1) デフロスター
- (2) サイドデフロスター
- (3) サイド吹き出し口
- (4) 中央吹き出し口
- (5) 足元吹き出し口
- (6) 後席足元吹き出し口(リヤヒーターダクト)

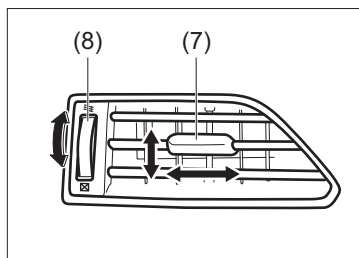
7

- サイド吹き出し口 (3) および中央吹き出し口 (4) は、ノブ (7) を上下左右に動かすと、風の向きが調節できます。
- サイド吹き出し口は、ダイヤル (8) を上下に動かすと開閉ができます。

中央吹き出し口



サイド吹き出し口



83S07240

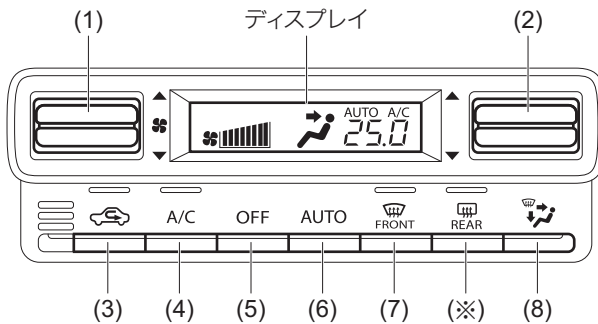
⚠ 注意

エアコンやヒーターからの温風に長時間さらされると、低温やけどのおそれがあります。とくに、お子さま、お年寄り、皮膚の弱い方が乗車される場合や、同乗者が仮眠される場合には、足元の吹出し口からの温風に長時間さらされないように注意してください。

💡 アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

オートエアコン



- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) ファン(風量)調節ノブ | (5) OFFスイッチ |
| (2) 温度調節ノブ | (6) オートスイッチ |
| (3) 内外気切替えスイッチ | (7) デフロスタースイッチ |
| (4) エアコンスイッチ | (8) モード(吹出し口)切替えスイッチ |

※リヤデフォグスイッチについては、**3-46ページ**をお読みください。

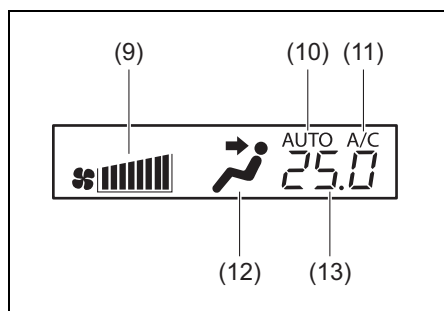
オートエアコンの使いかた

■ 通常の使いかた（自動で使うとき）

オートスイッチ（6）を押して温度調節ノブ（2）で希望の温度を設定すると、各機能が自動制御されます。ただし、デフロスター位置へは自動で切り替わりません。

→ 7-28ページ（オートスイッチ）

1 エンジンをかけて（ハイブリッドシステムを起動して）、オートスイッチ（6）を押します。ディスプレイに次のように表示（代表例）されます。



(9) 風量 (12) 吹出し口
(10) AUTO表示 (13) 設定温度
(11) A/C表示

●冷房や除湿をしないときは、エアコンスイッチ（4）を押してエアコンを止めてください。エンジンへの負荷が軽減され、燃費の向上につながります。ただし、エアコンを止めると、室内温度を外気温度以下にはできません。

●フロントガラス、運転席・助手席ドアガラスがくもったときは、デフロスタースイッチ（7）を押すか、モード（吹出し口）切替えスイッチ（8）を押して「デフロスター / 足元」位置へ切替えてください。

→ 7-27 ページ（モード（吹出し口）切替えスイッチ）

→ 7-30ページ
（デフロスタースイッチ）

2 温度調節ノブ（2）を操作して希望温度を設定します。設定温度はLO、18℃～32℃、HIの間で、0.5℃間隔で設定できます。

●25℃を基準に希望の温度を設定してください。ただし、外気温によっては、希望の設定温度にならないことがあります。

3 作動を停止するときは、OFFスイッチ（5）を押します。

🔧 アドバイス

- エンジン（ハイブリッドシステム）を停止しても設定温度を記憶しています。
- AUTO作動中に、ファン（風量）調節ノブ（1）、モード（吹出し口）切替えスイッチ（8）のいずれかを操作すると、操作したスイッチの機能が優先されて**AUTO**表示が消えます。ただし、操作したスイッチ以外は自動制御となります。
- AUTO作動中にデフロスタースイッチ（7）を押すと、**AUTO**表示が消えて風量が増加し、外気導入となってエアコンが作動します。ただし外気温が低いと、エアコンが作動しないこともあります。
- 外気温が低くエンジンが冷えているときや、外気温が高いときは、冷風や熱風が吹き出すのを防ぐため、しばらくの間、風が少量しか吹き出さないことがあります。
- エンジンスイッチが **ON** のときに、ディスプレイの **AUTO** 表示が点滅したときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

■ 手動で使うとき

好みにあわせてスイッチを操作してください。

- AUTO 作動中でも、操作したスイッチの機能が優先され、操作したスイッチ以外は自動制御されます。
- すべての作動を AUTO にもどすときは、オートスイッチ（6）を押します。
- 止めるときは、OFFスイッチ（5）を押します。

■ アイドリングストップ中

マイルドハイブリッド車

エンジン自動停止中は送風に切り替わり、風量が調整され、エコクールで蓄えた冷気を車内に送ります。

→ **5-44 ページ（エコクール（蓄冷エバポレーター））**

- 設定を切替えることで、アイドリングストップ中の空調を変更できます。

→ **4-23ページ**

（セッティングモード）

🔧 アドバイス

- 走行を開始して間もないときや渋滞中は、冷気が十分に蓄えられない場合があります。また、外気温やエアコンの設定状態によっては、効果に差があります。
- エンジン自動停止により、冷暖房性能が十分でなくなった場合は、アイドリングストップシステム OFF スwitchを押して、アイドリングストップシステムを停止状態にしてください。（エンジンが自動再始動し、冷暖房性能が復帰します。）

→ **5-43 ページ（アイドリングストップシステムOFFスイッチ）**

- エンジン自動停止中にフロントガラス、運転席・助手席ドアガラスがくもったときは、デフロスタースイッチ（7）を押してください。（デフロスタースイッチを押すとエンジンが自動再始動し、デフロスターが作動します。）

→ **5-35 ページ（アイドリングストップシステム）**

→ **7-30ページ**

（デフロスタースイッチ）

■ エンジン自動停止中

ハイブリッド車

エンジン自動停止中は送風に切り替わります。風量が調整され、エコクールで蓄えた冷気を車内に送ります。

→ **5-44 ページ** (エコクール (蓄冷エバポレーター))

- 設定を切り替えることで、エンジン自動停止中の空調を変更できます。

→ **4-23ページ**

(セッティングモード)

🔊アドバイス

- 走行を開始して間もないときや渋滞中は、冷気が十分に蓄えられない場合があります。また、外気温やエアコンの設定状態によっては、効果に差があります。

- エンジン自動停止により、冷暖房性能が十分でなくなった場合は、セッティングモードの空調設定を「快適優先」にすることでエンジンが自動停止しなくなり、快適性を向上させることができます。

→ **4-23ページ**

(セッティングモード)

- ECO モードON / OFF により空調によるエンジン自動停止および再始動の条件が異なります。

→ **3-47ページ**

(ECOモードスイッチ)

- エンジン自動停止中にフロントガラス、運転席・助手席ドアガラスがくもったときは、デフロスタースイッチを押してください。(デフロスタースイッチを押すとエンジンが自動再始動し、デフロスターが作動します。)

→ **5-19ページ**

(ハイブリッドシステム)

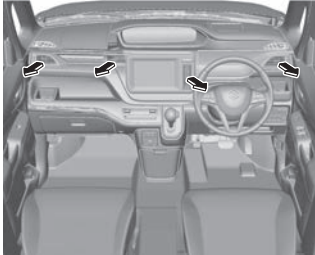
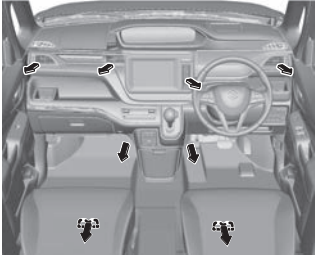
→ **7-30ページ**

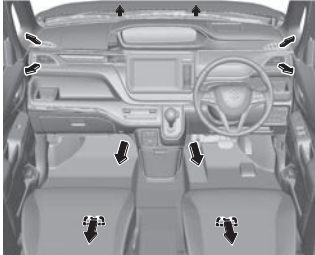
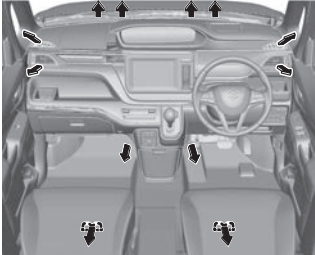
(デフロスタースイッチ)

各スイッチの使いかた

■ モード（吹出し口）切替えスイッチ

モード（吹出し口）切替えスイッチ（8）を押すごとに吹出し口が切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表示		
吹出し口	 83S07251	 83S07261

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示		
吹出し口	 83S07272	 83S07282

👉 アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

■ 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わります。内気循環のときに、スイッチの上の表示灯が点灯します。

表示	状態
(消灯)  (外気導入)	外気を導入しています。 ●通常はこの位置でお使いください。
(点灯)  (内気循環)	内気を循環しています。 ●トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

🔊アドバイス

- 長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。
- 外気と内気の温度差により、外気導入、内気循環のどちらかに固定される場合があります。必要に応じて、内外気切替えスイッチ（3）を押して切替えてください。
- エアコンシステムへの不快な臭いの吸着・発生を抑えるために、長時間駐車するときは「外気導入」にしておくことをおすすめします。

■ オートスイッチ

オートスイッチ（6）を押すと、ディスプレイに **AUTO A/C** が表示され、次の機能が自動制御されます。

- 吹出し風量の調節
- 吹出し口の切替え
- 内気循環／外気導入の切替え

内気循環／外気導入の自動制御

手動で内気循環を選択しているときは、オートスイッチを押しても内気循環はそのまま自動制御されません。内気循環／外気導入の切替えを自動制御にもどすには、次のようにします。

1 内外気切替えスイッチ（3）、またはデフロスタースイッチ（7）を押して外気導入に切替えます。

2 オートスイッチ（6）を押します。

頭寒足熱暖房

AUTO 作動中、吹出し口切替え表示が  のときに、頭寒足熱暖房になります。

- 足元に温かい風が吹き出し、上半身には比較的低い温度の風が吹き出します。
- エアコンを作動させると、さらに温度差のある効果的な頭寒足熱暖房ができます。

■ 温度調節ノブ

温度調節ノブを操作すると、LO、18℃～32℃、HIの間で設定温度を変更できます。設定温度はディスプレイに表示されます。

- 温度を高くするときは、温度調整ノブ(2)を押し上げます。連続調節するときは、押し上げ続けます。
- 温度を低くするときは、温度調整ノブ(2)を押し下げます。連続調節するときは、押し下げ続けます。
- 18℃のときに温度調整スイッチを押し下げると、ディスプレイに **LO** が表示され、最大冷房になります。また、32℃のときに温度調整スイッチを押し上げると、ディスプレイに **HI** が表示され、最大暖房になります。

⚠️ アドバイス

LO または **HI** が表示されているときは、急に風量が最大となったり、急に吹き出し温度が変化したりする場合がありますが、異常ではありません。

■ ファン（風量）調節ノブ

ファン（風量）調節ノブ(1)を操作すると、風量が調節できます。風量はディスプレイに表示されます。

- 風量を大きくするときは、ファン（風量）調節ノブ(1)を押し上げます。連続調節するときは、押し上げ続けます。
- 風量を小さくするときは、ファン（風量）調節ノブ(1)を押し下げます。連続調節するときは、押し下げ続けます。
- ファンを停止するときは、OFF スイッチ(5)を押します。

■ エアコンスイッチ

ファン作動中に使用できます。

- エアコンスイッチ(4)を押すごとに、エアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチ(4)を入れると、除湿された温風が吹き出して、こころ良い暖房になります。

⚠️ アドバイス

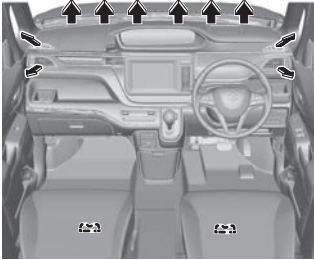
- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0℃近くまで下がると、エアコンが停止します。このため、外気温度が0℃近くまで下がっているとき外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチ(4)を入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これはしめった空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

■ デフロスタースイッチ

デフロスタースイッチ（7）を押すと、自動的にエアコンが作動し、吹出し口が切り替わります。同時にスイッチ内の表示灯が点灯し、ディスプレイの表示も切り替わります。

もう一度押すと、デフロスタースイッチ（7）を押す前の制御にもどります。（オート制御の場合、吹出し口や内外気、風量の状態が変わることがあります。）

- 内気循環になっているときは、外気導入に切り替わります。
- 風量が自動的に増加します。ファン（風量）調節ノブ（1）を操作して、好みの風量にも調節できます。
- エアコンが必要ないときは、エアコンスイッチ（4）を押してエアコンを停止してください。

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示	
吹出し口	 83S07292

アドバイス

- 内気循環に切替えると、くもりが取れにくくなります。
- 設定温度を低くすると、窓ガラスの外側に露がつくことがあります。
- 設定温度を高くすると、早くくもりが取れます。
- 外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- スイッチ内の表示灯は吹出し口がデフロスター位置にあると、ファンやエアコンを停止させた状態でも点灯します。
- 運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

■ OFFスイッチ

OFF スイッチ（5）を押すと、ファンが停止してエアコンも止まります。

エンジン自動停止に関する 空調設定

マイルドハイブリッド車 またはハイブリッド車

ノーマルモードでは、エンジン自動停止中の空調設定を「標準」、「燃費優先」、「快適優先」から選択できます。

→ **4-23ページ（セッティングモード）**

- 「燃費優先」を選択すると、「標準」に対して空調によるエンジンの自動停止条件が緩和され、エンジン自動停止になりやすく、自動停止時間も長くなります。（燃料の消費を抑えます。）
「快適優先」を選択すると、エアコンのファンが作動しているとき、エンジンの自動停止を禁止して快適性を優先させます。（快適性が向上します。）

⚠️アドバイス

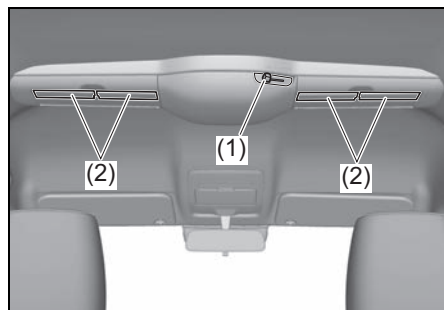
- エンジン自動停止により、冷暖房性能が十分でなくなった場合は、エアコンの設定温度を変更すると、エンジンが自動再始動し、冷暖房性能が復帰します。
- ハイブリッド車**
ECOモードのとき、ノーマルモードの「燃費優先」に対して空調によるエンジンの自動停止条件がさらに緩和され、エンジン自動停止になりやすく、自動停止時間も長くなります。（ノーマルモードの「燃費優先」よりも燃料の消費を抑えます。）

→ **3-47ページ
（ECOモードスイッチ）**

スリムサーキュレーター

タイプ別装備

後席の乗員へ風を送る装置です。

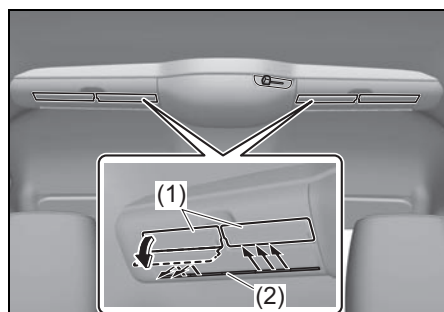


83S07440

(1) 風量調整ノブ (2) フラップ

風向きの調整

フラップ (1) を上下に動かすことにより、吹出し口 (2) からの風向きが調整できます。



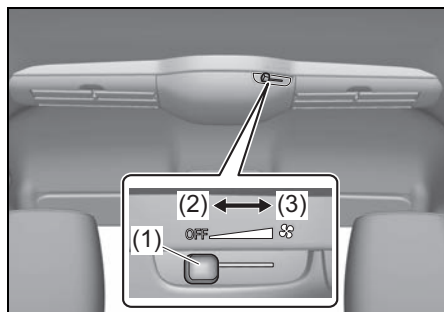
83S07450

(1) フラップ (2) 吹出し口

風量の調整

風量調整ノブ (1) を動かすと、風量が調整できます。

- 風量調整ノブ (1) を右へ動かすと、風量が強くなります。
- 風量調整ノブ (1) を左へ動かすと、風量が弱くなります。



83S07460

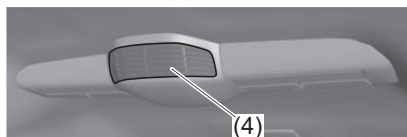
(1) 風量調整ノブ

(2) 弱

(3) 強

注 記

7 空気の吸い込み口 (4) にもものなどを入れないでください。スリムサーキュレーター故障の原因となります。



83S07470

アドバイス

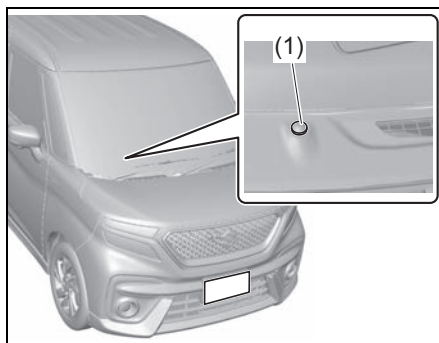
- バッテリーの状態や車両の走行状況 (モーターアシストや減速エネルギー回生など) によっては、スリムサーキュレーターの風量が変わりますが、異常ではありません。

エアコンの上手な使いかた

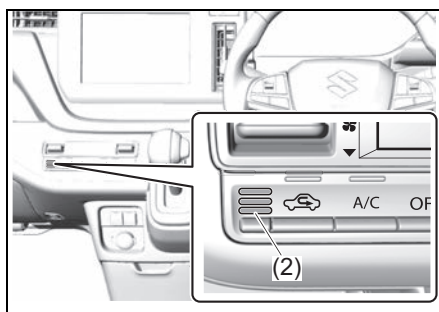
温度感知装置

オートエアコンは、日射センサー (1)、室温センサー (2)、外気温センサーなどによって周囲の状況を検知し、自動制御しています。

インパネ運転席側



83S07310



83S07320

アドバイス

日射センサーの上や周囲にもものを置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。また、室温センサーにシールなどを貼って、ふさがないようにください。センサー感度が低下し、正常に自動制御されなくなります。

エアコンガスを充填するときは

エアコンガスは、必ず冷媒 HFO-1234yf (R-1234yf) を使用してください。

- エアコンガスを充填するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 冷房性能が低下してきたと感じた場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

長期間使用しないときは

月に 1 回程度はエアコンを作動させ、エアコン装置の各部にエアコンガスを循環させてください。エアコンガスには各部の潤滑に必要なオイルが含まれていますので油ぎれを防ぐことにより性能を維持します。

炎天下に駐車したときは

長時間、炎天下に駐車すると、室内が高温になります。ドアや窓を開けて室内を換気しながら、冷房をしてください。

エアフィルターを清掃、交換するときは

エアコンを快適に使用するために、エアフィルターを取り付けています。エアフィルターは定期的に清掃、交換してください。

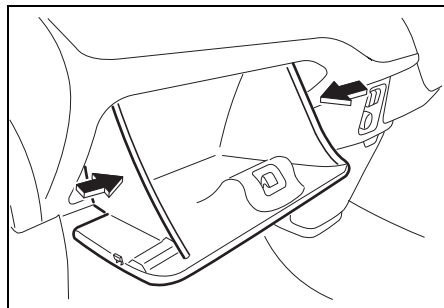
地域	清掃時期 の目安	交換時期 の目安
寒冷地、粉じんの多い地域	5,000 km ごと、または 6か月ごと	車検ごと
上記以外の地域	10,000 km ごと、または 12か月ごと	車検ごと

アドバイス

- エアフィルターを清掃または交換の際は、車内部品を破損するおそれがありますので、スズキ販売店またはスズキ代理店での清掃／交換（有料）をおすすめします。
- 新しいエアフィルターはスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。

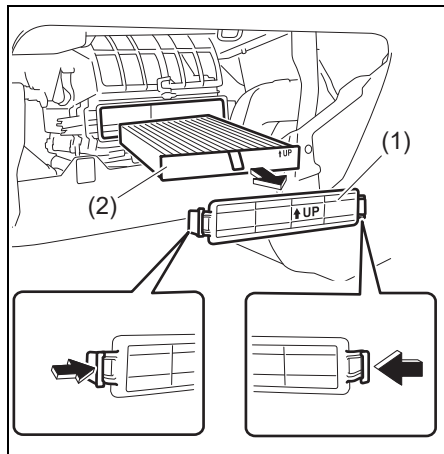
■ エアフィルターの取り外し

- 1 グローブボックスの側面を矢印の方向に押し込み、取り外します。



83S07330

- 2 ホルダー (1) 両側のツメを矢印の方向に押し込んで外し、エアフィルター (2) を取り出します。

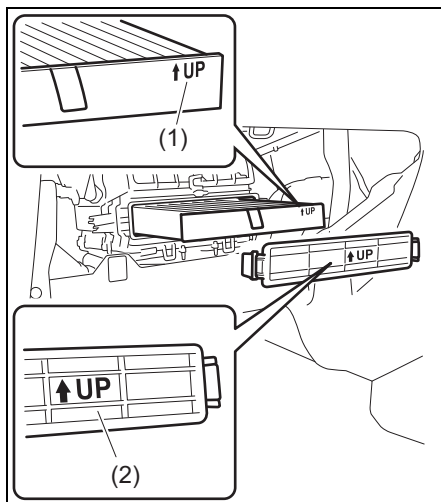


83S07341

■ エアフィルターの取り付け

- 1 エアフィルターは、取り付け方向マーク (1) の矢印を上向きにして挿入します。

- 2 ホルダー (2) 両側のつめをケース側にひっかけて取り付けます。



83S07351

アンテナ

⚠️アドバイス

運転中にアンテナで受信できるラジオの電波は刻々と変わるため、ビルの谷間などでは良好な受信状態を保てないことがあります。

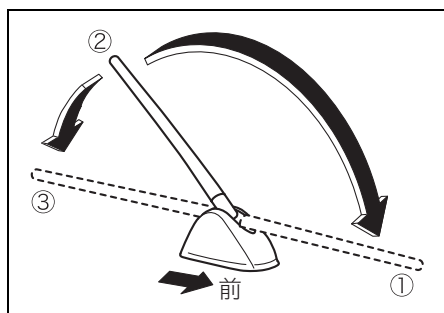
ルーフアンテナ

車両後部の右側にあります。

■ アンテナの調節

アンテナの位置は3段階（①、②、③）に調節できます。

- 調節は手でアンテナを動かして行ないます。
 - ラジオまたはテレビを視聴するとき、アンテナを②の位置に固定してください。
- アンテナが①または③の位置に倒れていると、ラジオやテレビの受信が正常にできないことがあります。



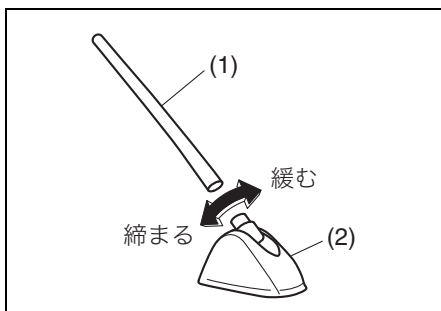
50M0162

⚠️アドバイス

車庫の天井などにアンテナが当たるときは、手でアンテナを①または③の位置に倒してください。

■ アンテナの脱着

- 取り外すときはアンテナ（1）を反時計方向にまわします。
- 再び取り付けるときは手でアンテナをベース部（2）にねじ込み、しっかりと取り付けてください。



50M0160

注 記

次のようなときには、アンテナを損傷するおそれがあります。

アンテナを取り外してください。

- 自動洗車機にかけるとき
- ボディカバーをかけるとき
- 降雪時に長時間駐車するとき

ガラスアンテナ

タイプ別装備

リヤクォーターガラス上部に内蔵されています。

ⓘアドバイス

アンテナ線部に次のようなものを貼り付けしないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が入るおそれがあります。

- 金属が含まれるウインドーフィルム
- そのほかの金属物（スズキ純正用品を除く）

リヤクォーターガラスの室内側をふくときは、アンテナ線を傷つけないように、水を含ませたやわらかい布でアンテナ線に沿ってふいてください。

オーディオ機能について

安全運転のさまたげにならない音量でお聞きください

- 音楽などを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
- ナビゲーションまたはオーディオが不法電波の影響を受けると、正常に作動しないことがあります。
- ナビゲーションまたはオーディオの機能については、付属の取扱説明書をお読みください。

⚠警告

走行中にナビゲーション、またはオーディオを操作すると、操作に気を取られて、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

走行中はナビゲーション、またはオーディオを操作しないでください。

注 記

エンジン（ハイブリッドシステム）を停止したまま長時間ナビゲーション、またはオーディオを使うと、鉛バッテリーあがりの原因となります。

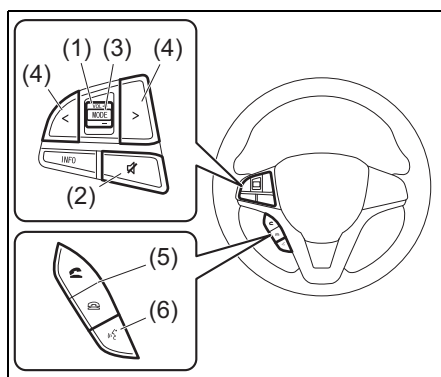
エンジン（ハイブリッドシステム）を停止したままでの長時間の使用は避けてください。

ステアリング オーディオスイッチ

タイプ別装備

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときに、手でナビゲーションまたはオーディオの操作ができます。

- ナビゲーションまたはオーディオは、ステアリングオーディオスイッチに対応したスズキ純正ナビゲーションまたはスズキ純正オーディオをお使いください。お使いのナビゲーションまたはオーディオによっては、ステアリングオーディオスイッチの機能が、実際の機能と異なることがあります。付属の取扱説明書をお読みください。



83S07500

- (1) 音量調節スイッチ
- (2) ミュートスイッチ
- (3) モードスイッチ
- (4) 選局(選曲)スイッチ
- (5) オフフック/オンフックスイッチ
- (6) 発話スイッチ

音量調節スイッチ (1)

音量が調節できます。

- 大きくするときは**+**側を押します
- 小さくするときは**-**側を押します
- 連続調節するときは、**+**または**-**側を長押しします

ミュートスイッチ (2)

お使いの機器によって、次の表のように操作ができます。

使用モード	スイッチ操作
ラジオ	消音／消音解除
音楽再生 (※)	音楽の消音／消音解除
テレビ	テレビの消音／ 消音解除

※CD/AUXなどを使用

モードスイッチ (3)

スイッチを押すたびに、順番にオーディオ(ラジオやCD など)のモードを切替えます。

- ご使用のナビゲーションまたはオーディオによっては、機器本体の電源が切れているときにスイッチを押すと、電源を入れることもできます。

選局（選曲）スイッチ（4）

スイッチを押すたびに、使用中のモードにあわせて、放送局の選局や再生する曲の選曲などができます。

オフフック／オンフック スイッチ（5）

■ ハンズフリー機能

ハンズフリー機能がある機器で使用できます。機能を使用するにはお使いの機器にあわせた設定が必要となります。付属の取扱説明書をお読みください。

発話スイッチ（6）

■ 音声認識機能

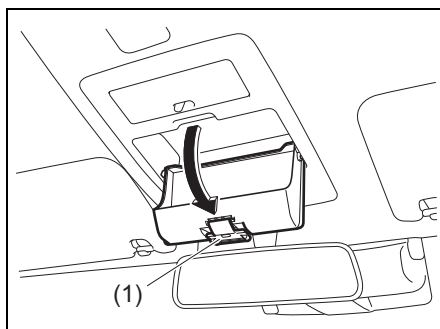
音声認識機能がある機器で使用できます。

機能を使用するにはお使いの機器にあわせた設定が必要となります。お使いのナビゲーションまたはオーディオに付属の取扱説明書をお読みください。

オーバーヘッドコンソール

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

- 開けるときは、レバー（1）を押します。
- 閉めるときは“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。



83S07490

- ものを出し入れするとき以外は、ふたを閉めてください。

⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中のものが飛び出すおそれがあります。
- オーバーヘッドコンソールに入れるものを合計 300g 以下としてください。走行中の衝撃でふたが開いて、中のものが飛び出すおそれがあります。また、オーバーヘッドコンソール破損の原因となります。

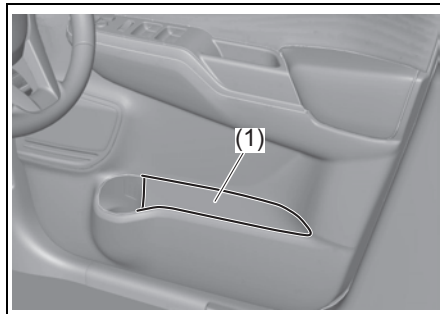
注 記

- ふたを開けた状態からさらに開く方向へ力をかけないでください。オーバーヘッドコンソールが破損するおそれがあります。
- 炎天下で駐車するときはオーバーヘッドコンソール内にプラスチック素材のメガネやカードを放置しないでください。車内が高温になるため、メガネやカードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。
→ 5-51 ページ (ライターやメガネなどを放置しない)
- ふたを無理に閉めないでください。中のものやオーバーヘッドコンソールが破損するおそれがあります。
- メガネを収納するときは、ケースなどに入れてください。レンズに傷がつくおそれがあります。

ドアポケット

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

前席



83S07361

(1) ドアポケット

⚠ 注意

ドアポケットを掴んで引っ張ると、ポケットが破損し、けがをするおそれがあります。
ドアを閉める際、ドアポケットを掴んで引っ張らないでください。

🔧 アドバイス

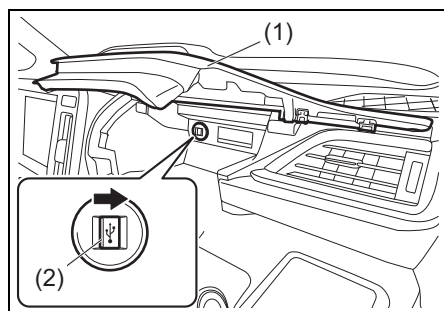
ドアポケットに携帯リモコンを置いた場合、検知できないことがあります

USBソケット

タイプ別装備

インパネアッパーボックス（リッド付）
（1）の奥にあります。ソケットのふた
（2）を開けると、接続ケーブル（市販
品）を使用して、お使いのナビゲーショ
ンにUSB機器、スマートフォンなどが接
続できます。

- 機能については、お使いのナビゲー
ションに付属の取扱説明書をお読みく
ださい。



83S07370

⚠ 警告

ソケット内に異物が入ると、故障や
ショートの原因となります。
使わないときは、ふたを閉めてくだ
さい。

USB電源ソケット

タイプ別装備

エンジンスイッチが **ACC** または **ON**
のときに、接続ケーブル（市販品）を使
用して、お使いのスマートフォンなどの
モバイル端末が充電できます。

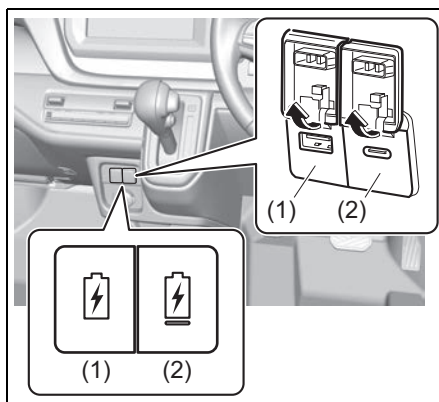
規定容量

- （1） 5 V / 2.4 A (12 W)以下
- （2） 5 V / 3.0 A (15 W)以下

使用できるUSB端子の規格

- （1） USB Type-A（充電用）
- （2） USB Type-C（充電用）

- 使用するときは、ふたを開けます。



83S07560

⚠ 警告

使わないときは、ふたを閉めてくだ
さい。ソケット内に異物が入ると、故障
やショートの原因となります。

注 記

エンジン（ハイブリッドシステム）停止中に長時間充電をしないでください。鉛バッテリーあがりの原因となります。

⚡️ アドバイス

- USB電源ソケットは充電専用です。
- 一部の機種では、充電中に充電が途切れることがあります。異常ではありません。
- 車両状態によっては、一時的に充電を停止することがあります。（例：炎天下に駐車した後など車室内温度が高い場合、エンジン始動時）

アームレスト（ひじ掛け）

後席はタイプ別装備

手前に倒して使用します。

- 使用後は、持ち上げて収納します。



59R70240

⚠️ 警告

アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できず、万一の事故で重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトは、アームレストの下を通してください。



59RN02130

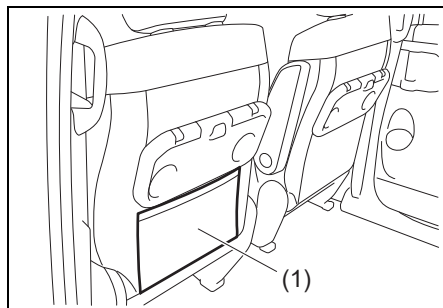
注 記

アームレストに腰をかけたり、荷物を載せたりすると、アームレストが破損するおそれがあります。アームレストに腰をかけたり、荷物を載せたりしないでください。

シートバックポケット

タイプ別装備

雑誌や手荷物などの収納にご使用ください。



83S07430

(1) シートバックポケット

注 記

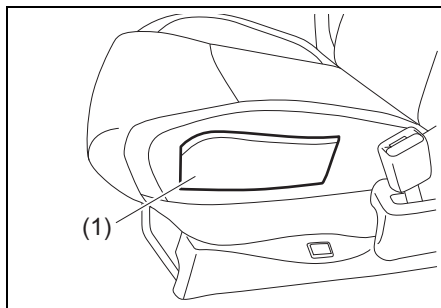
鋭利なものや、重たいものを収納すると、シート表皮を破損するおそれがあります。

シートバックには、鋭利なものや、重たいものを収納しないでください。

シートサイドポケット

タイプ別装備

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



81P50630

(1) シートサイドポケット

注 記

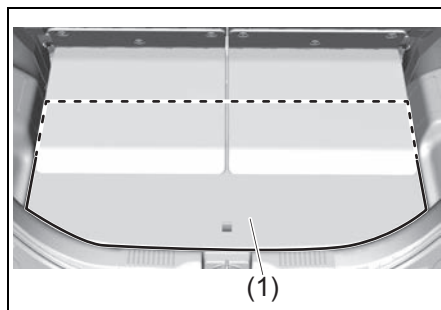
シート表皮を破損するような鋭利なものや、重たいものを収納しないでください。

ラゲッジボード

荷室にあります。

- ボードの下にも荷物が収納できます。

ボードを取り外すと、背の高い荷物が積みめず。



83S08090

(1) ラゲッジボード

▲ 注意

後席よりも高い位置に荷物を積み重ねると、後方視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキのときなどに荷物が飛び出して、身体に当たるおそれがあります。後席よりも高い位置に荷物を積み重ねないでください。



59RN07290

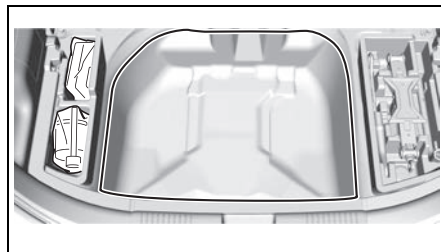
- 荷物がバックドアに当たると、ドアや荷物が破損するおそれがあります。バックドアを閉めるときに、ドアに当たらないように荷物を積んでください。

サブトランク

2WD車

荷室のラゲッジボード下にあります。

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



83S07381

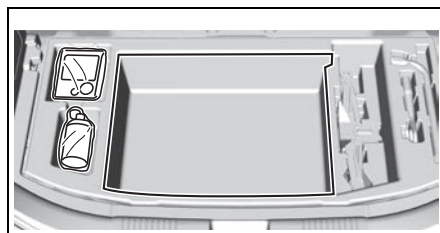
⚠ アドバイス

サブトランクに携帯リモコンを置いた場合、検知できないことがあります。

ラゲッジアンダーボックス

4WD車

荷室のラゲッジボード下にあります。
手回り品や小物などの収納にご使用ください。



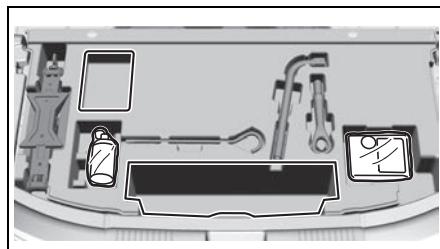
83S07390

⚠️ アドバイス

ラゲッジアンダーボックスに携帯リモコンを置いた場合、検知できないことがあります。

ハイブリッド車

荷室のラゲッジボード下にあります。
手回り品や小物などの収納にご使用ください。



83S07552

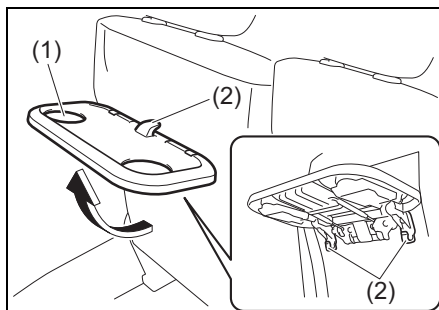
⚠️ アドバイス

ラゲッジアンダーボックスに携帯リモコンを置いた場合、検知できないことがあります。

パーソナルテーブル

タイプ別装備

手前に引き上げて使用します。



59R70380

- (1) ドリンクホルダー
- (2) ショッピングフック(3個)

- 使用するときには、確実に固定されているか確認してください。
- 使用後は、テーブル先端の中央部を押し下げてもとの位置にもどします。

⚠️ 注意

- ブレーキや加速、衝突のときなどに、テーブル上のものが飛んだり、顔や頭などの身体がテーブルに当たったりしてけがのおそれがあります。テーブルは、走行中は格納し使用しないでください。
- テーブル使用中に、テーブルに手を突いたり、もたれかかったりすると、急にテーブルが倒れ、思わぬけがのおそれがあります。使用中は、テーブルに手を突いたり、もたれかかったりしないでください。

注 記

テーブルに重いものを載せると、テーブルが破損するおそれがあります。テーブルに載せるものは、合計 2 kg 以下としてください。

■ ドリンクホルダー

ペットボトルなどの飲み物が置けます。

⚠ 警告

熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。

飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。

また、飲み物がリチウムイオンバッテリーにかかると、火災や感電を引き起こしたり、故障の原因となったりするおそれがあります。

飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。

🔧 アドバイス

ドリンクホルダーに置く飲み物は、ふたが閉められるものをおすすめします。

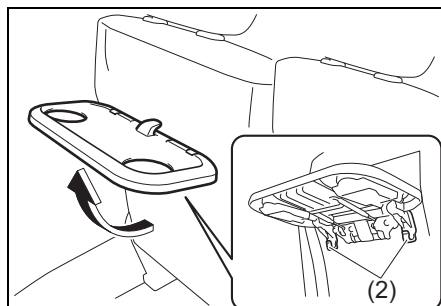
■ ショッピングフック

買い物袋などをひっかけるときにご使用ください。

→ 7-44ページ

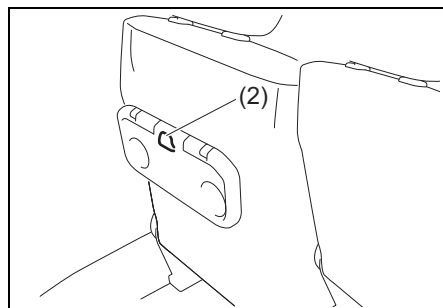
(パーソナルテーブル)

テーブル使用時



59R70390

テーブル収納時



59R70400

⚠ 注意

荷物がしっかりとかかると、走行中の振動で荷物が落下し、けがのおそれがあります。

フックに荷物がしっかりとかからない場合は使用しないでください。

注 記

フックに大きな力がかかると、フックが破損するおそれがあります。

フックにかけるものは、テーブル使用時はフック1個につき1 kg以下、テーブル収納時は4 kg 以下としてください。

[illegible]

8. 万一のとき

● トラブルが起きたときの対処方法

故障したときは	8-2
発炎筒	8-4
レッカーけん引	8-5
ロープけん引	8-7
水没したときは	8-12
万一、事故が起きたときは	8-13

● パンク

工具、ジャッキ、 タイヤパンク応急修理セットの収納場所	8-14
パンクしたときは	8-16
タイヤパンク応急修理セット	8-17
応急用スペアタイヤ（別売り）の取扱い	8-24
タイヤ交換の準備	8-26
ジャッキアップ	8-28
タイヤの取り付け・取り外し	8-31
タイヤを交換したあとは	8-33

● バッテリーあがり

鉛バッテリーあがりとは	8-34
鉛バッテリーあがりのときは	8-34
バッテリーあがりを防ぐためには	8-36

● オーバーヒート

オーバーヒートとは	8-37
オーバーヒートしたときは	8-37

故障したときは

故障したときの連絡先は

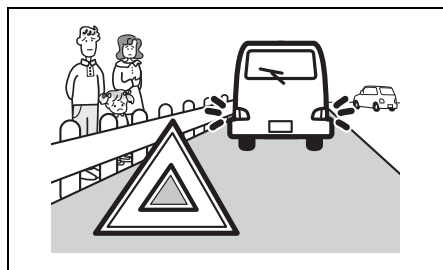
お買い求めのスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。スズキ代理店およびJAFの連絡先は、別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」をご覧ください。

停止表示板を常備する

万一のために、停止表示板（別売り）を車に備えてください。高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板を置くことが法令で義務づけられています。

路上で故障したときは

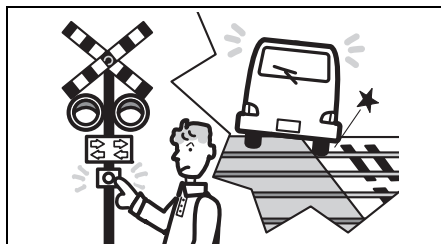
車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板（別売り）や発炎筒で他車に注意をうながします。



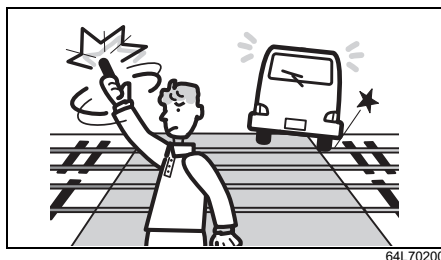
全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪など、踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



踏切の非常ボタンがわからないときは、発炎筒で列車に合図してください。



エンストした車を少し移動させるときは

踏切や交差点などでエンストして動けなくなったときは、付近の人に押しってもらう、車を安全な場所まで移動させてください。

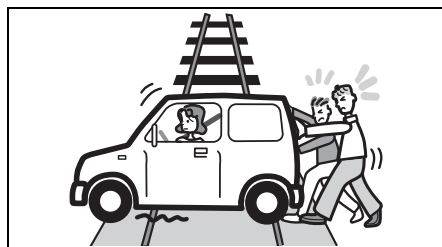
ハイブリッド車以外

このとき、セレクトレバーを **[N]** に入れます。

ハイブリッド車

このとき、エンジンスイッチを **[ON]** にして、ブレーキペダルを踏んだ状態でセレクトレバーを **[N]** に入れます。また、メーター内のセレクトレバー位置表示がNになっていることを確認します。

- メーター内のセレクトレバー位置表示がNにならない場合、セレクトレバーを一度 **[P]** に入れたあと、再度セレクトレバーをNに入れてください。



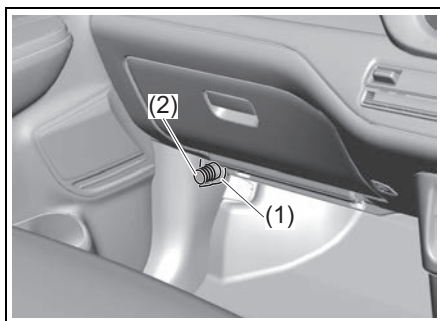
64L70210

アドバイス

- エンジンスイッチを **[START]** の位置で保持してスターターをまわすことにより、車を動かすことはできません。
- エンジンスイッチを **[ON]** にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーを **[P]** からほかの位置へ動かせないときは、**5-54ページ**、**5-66ページ**の手順でシフトロックを解除してください。
- ハイブリッド車**
トランスミッションが故障したとき、停車したあとにアクセルペダルを踏み込むと、数十秒間、低速のEV走行ができる場合があります。

発炎筒

- 発炎筒は、助手席足元の左側面のホルダーに取り付けています。
- 点火すると約 5 分間発炎します。踏切や高速道路などの危険な場所で故障したときに、非常用信号として使用します。
- 使用方法是発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎筒に表示されている有効期限が切れる前に、新品と交換してください。発炎筒はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。



83S08190

(1) ホルダー

(2) 発炎筒

⚠ 警告

- 可燃物の近くで使用すると、火災の原因となります。
ガソリンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。
- トンネル内など、換気が悪い場所で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなります。
トンネル内での合図は非常点滅表示灯をご使用ください。

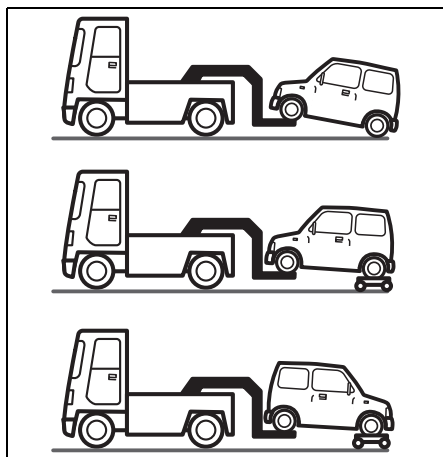
⚠ 警告

- お子さまにさわらせると、やけどや火災などの思いがけない事故を起こすおそれがあります。
発炎筒はお子さまにはさわらせないでください。
- 必ずホルダーに保管してください。
- やけどのおそれがあるため、点火するときは、筒先を顔や身体に向けないでください。

レッカーけん引

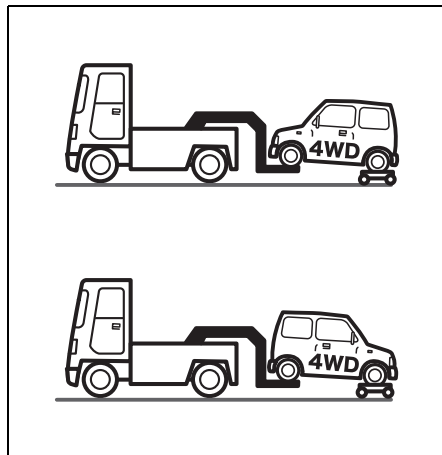
けん引してもらうときは

- 2WD 車をレッカー車でけん引してもらうときは、4輪または駆動輪である前輪を持ち上げてください。前輪のみ持ち上げる場合は、パーキングブレーキを解除してください。



67T00160

- 4WD 車をレッカー車でけん引してもらうときは、必ず4輪を持ち上げてください。



67T00161

- 故障車を移動するには、車両運搬車を利用する方法もあります。
- エンジンがかかっても車が動かなかったり、いつもと違う音がしたりするときは、駆動装置の故障が考えられます。

けん引する前に、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

⚠ 警告

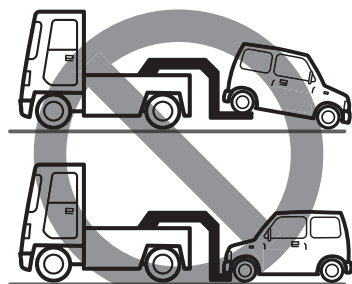
- スズキ セーフティ サポート装備車は、デュアルカメラブレーキサポートを作動停止（OFF）にしていないと、けん引中に急にデュアルカメラブレーキサポートが作動して思いがけない事故につながるおそれがあります。

けん引するときは、デュアルカメラブレーキサポートOFF スwitchを操作して作動停止（OFF）にしてください。

→ 5-135 ページ（デュアルカメラブレーキサポート（DCBS）OFFスitch）

- 2WD車は、前輪が地面に着いた状態でけん引すると駆動装置が破損するおそれがあります。

2WD車は、4輪または駆動輪である前輪を持ち上げた状態でけん引してください。

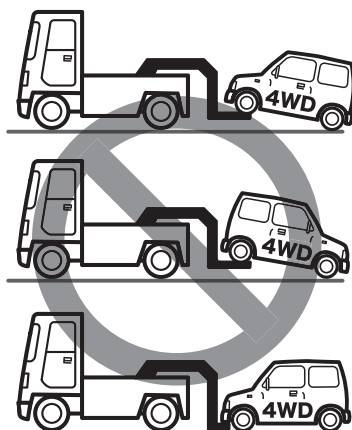


67T00158

⚠ 警告

- 4WD車は、前輪だけまたは後輪だけを台車に乗せた（車輪が回転できない）状態でけん引すると、車が台車から飛び出すなどの思いがけない事故につながるおそれがあります。また、駆動装置が破損する原因ともなります。

4WD車は、前輪だけまたは後輪だけを台車に乗せた（車輪が回転できない）状態で絶対にけん引しないでください。

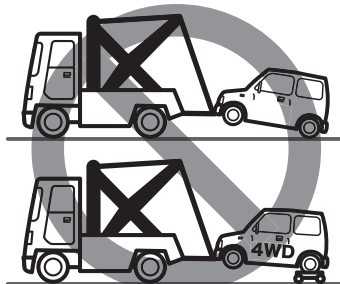


67T00159

注 記

図のような車体つり上げ式のレッカー車でけん引すると、バンパーや車体が破損するおそれがあります。

車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください。



67T00157

ロープけん引

ロープをかける位置は

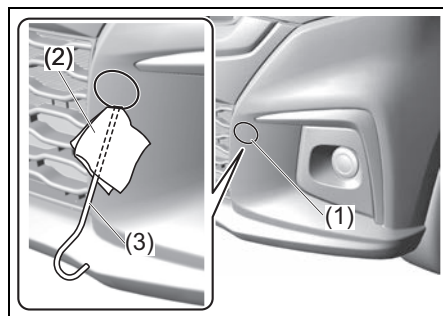
ロープは、けん引フックにかけます。

- 1 工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）を取り出します。

→ 8-14ページ（工具、ジャッキ、タイヤパンク応急修理セットの収納場所）

- 2 けん引フックカバー（1）の切り欠き部に、先端に布（2）をかぶせたジャッキバー（3）を差し込み、カバーをこじって外します。

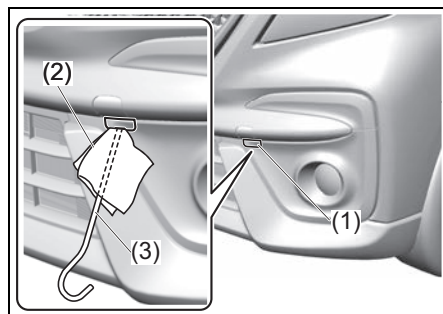
ソリオ



83S08010

8

ソリオ バンディット



83S08020

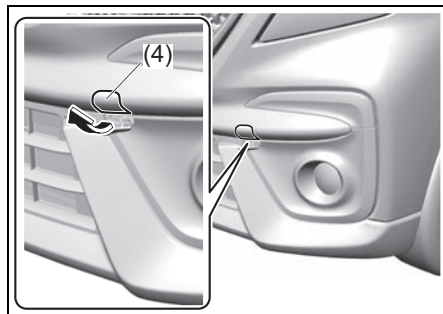
注 記

けん引フックカバーを勢いよく引いたり、ねじったりすると、落下防止のひもが破損するおそれがあります。けん引フックカバーを外すときは、勢いよく引いたり、ねじったりしないでください。

⚠️ アドバイス

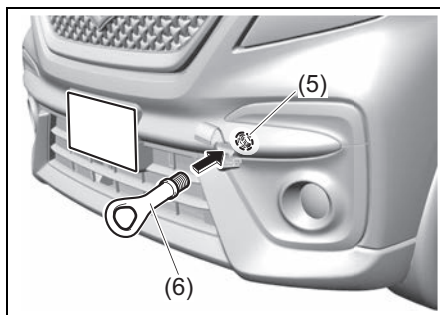
外したけん引フックカバーは、粘着テープなどで固定しておくとかん引中に落ちたり、バンパーに当たったりしにくくなります。

- 3** ソリオ バンディット は、もう一つのけん引フックカバー (4) を前方に引いて外します。



83S08030

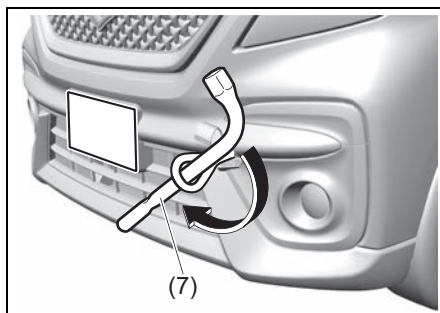
- 4** けん引フック差し込み口 (5) にけん引フック (6) を差し込み、手でまわせなくなる程度まで締め付けます。



83S08040

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 5** ホイールナットレンチ (7) でけん引フックをしっかりと締め付けます。



83S08050

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

注 記

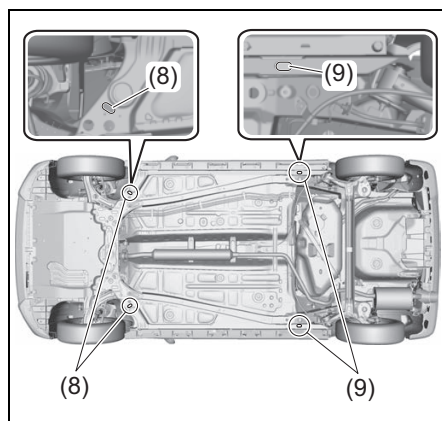
- この車で他車をけん引すると、フックや車体が破損するおそれがあります。この車で他車のけん引をしないでください。
- リヤ側に装備されている ※ 印のフックを、けん引や積載車などで搬送するときに使用すると、フックや車体が破損するおそれがあります。リヤ側のフックは、船積み専用フックです。けん引や積載車などで搬送するときには使用しないでください。



83S08060

■ 積載車用の取り付け穴

積載車などに載せて搬送する場合は、前輪後部および後輪前部の取り付け穴（長穴）にロープをかけて固定します。



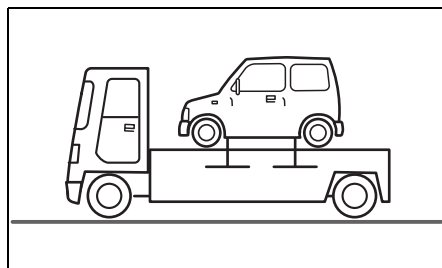
83S08131

(8) 前輪後部の取り付け穴（長穴）

(9) 後輪前部の取り付け穴（長穴）

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

ロープなどを使用して車両を固定する場合は、下図を参考に固定してください。



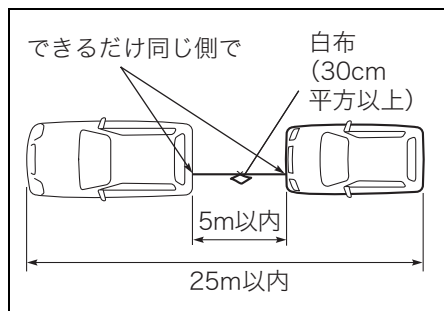
67T00163

⚠ 注意

ロープなどを過度に締め付けしないでください。車体が破損するおそれがあります。

ロープでけん引してもらうときは

- 1 けん引フックにロープをかけます。
 - ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平にかけてください。
- 2 ロープの中間に白い布（30cm 平方以上）を付けます。



64L70250

- 3 エンジンのかけたまま（ハイブリッドシステムは起動したまま）にします。
 - エンジンがかからない（ハイブリッドシステムが起動しない）ときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) 以外の位置にします。
 - ハンドルを左右にまわして、ハンドルロックが解除されているか確認します。
 - スズキ セーフティ サポート装備車は、エンジンスイッチ位置が **ON** のときは、デュアルカメラブレーキサポート OFF スイッチを操作して作動停止 (OFF) にしてください。

⚠ 警告

エンジンがかからない（ハイブリッドシステムが起動しない）車を運転すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ロープけん引してもらうときは、次のことをお守りください。

- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) の位置にしないでください。ハンドルがロックされてまわせなくなります。
- ブレーキ倍力装置が働かないため、いつもより強めにブレーキペダルを踏んでください。
- パワーステアリング装置が働かないため、通常より大きな力をかけて操作してください。
- ハイブリッド車：
エンジンスイッチを **ON** にしても、ハイブリッドシステム警告灯が点灯し、車が動かない場合は、ロープでのけん引をせずに、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ハンドルロックが解除できないと、操作が出来ず思わぬ事故につながるおそれがあります。
故障や鉛バッテリーあがりなどでハンドルロックが解除できないときは、ロープでけん引しないでください。

- 4 セレクトレバーを **[N]** に入れます。

⚙️ アドバイス

- **[N]**（ニュートラル）にできないときは、ロープけん引できません。スズキ代理店や JAF などのロードサービス事業者にご連絡ください。
- 故障や鉛バッテリーあがりなどで、エンジンスイッチを **[ON]** にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーの位置を **[P]** からほかの位置へ動かせないときは、**5-54 ページ**の手順でシフトロックを解除してください。

- 5 けん引中はロープをたるませないようにします。追突防止のため、前の車の制動灯をよく見て運転してください。

- 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅表示灯を点滅させてください。

⚠️ 警告

長い下り坂や急な下り坂では、ブレーキペダルを踏み続けるとブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

長い下り坂や急な下り坂があるときは、ロープけん引をせず、レッカー車を依頼してください。

注 記

- 急発進などでけん引フックやロープに大きな衝撃が加わると、けん引フックや車体が破損するおそれがあります。
けん引する車は、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- やむをえずロープでけん引してもらうときは、トランスミッション保護のため、速度30 km/h以下、走行距離30 km以内にしてください。

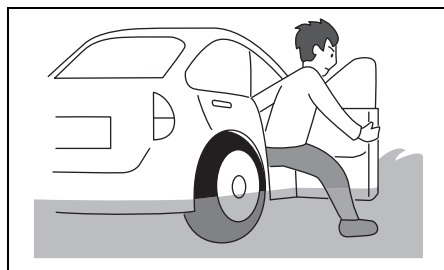
水没したときは

万一、お車が水没したときは、落ち着いて次のように対処してください。

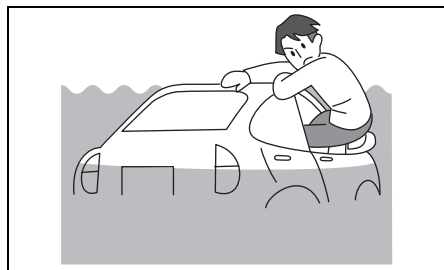
- まずシートベルトをはずしてください。



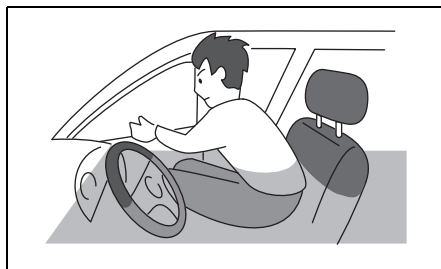
- ドアを開けることができる場合、ドアを開けて車外に出てください。



- パワーウィンドースイッチでウィンドーガラスを開けてください。ドアを開けることができない場合、窓から車外に出てください。



- パワーウィンドースイッチでウィンドーガラスが開けられない場合、落ち着いて車内外の水圧差が無くなるまで浸水するのを待ってからドアを開けて車外に出てください。



⚠ 警告

- 水没した後、時間が経過するとパワーウィンドーが動作しなくなります。
- この車のフロントドアガラス・リアドアガラス・バックドアガラスは緊急脱出用ハンマー（別売り）で割ることができますが、フロントガラスは合わせガラスのため緊急脱出用ハンマー（別売り）で割ることができません。
- 着座位置、乗員の体格等によっては、窓から車外に脱出できない場合があります。

💡 アドバイス

車内外の水圧差に応じた方法で対処してください。

- 水位差がある場合は窓から避難してください。
- 水位差がない場合はドアを開けて避難してください。

万一、事故が起きたときは

処置のしかた

- 1 事故の続発を防ぐため、ほかの交通のさまたげにならない安全な場所に車を移動し、エンジン（ハイブリッドシステム）を止めます。
- 2 負傷者がいるときは、医師、救急車などが到着するまでの間、安全な場所で応急手当を行ないます。ただし、頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしてください。その場合でも、後続事故の心配があるときは、安全な場所に移動します。
- 3 事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。
- 4 相手方、事故の状況をメモします。
- 5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡します。

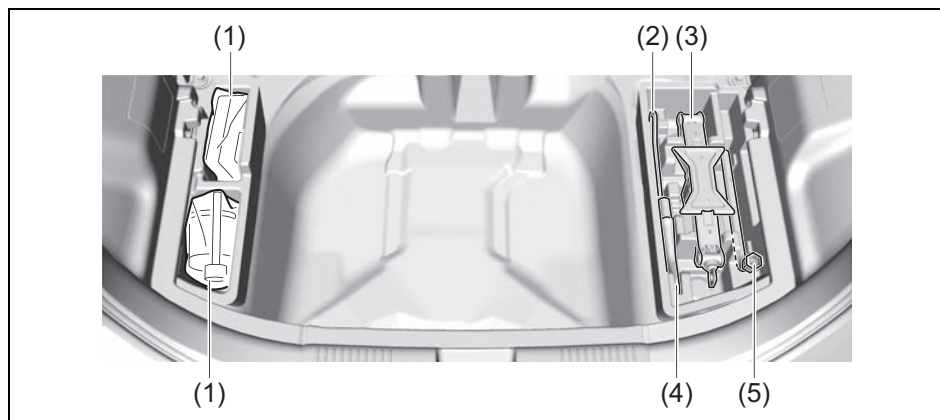
外傷がなくても医師の診断を受けましょう

後遺症が出るおそれがあります。

工具、ジャッキ、タイヤパンク応急修理セットの収納場所

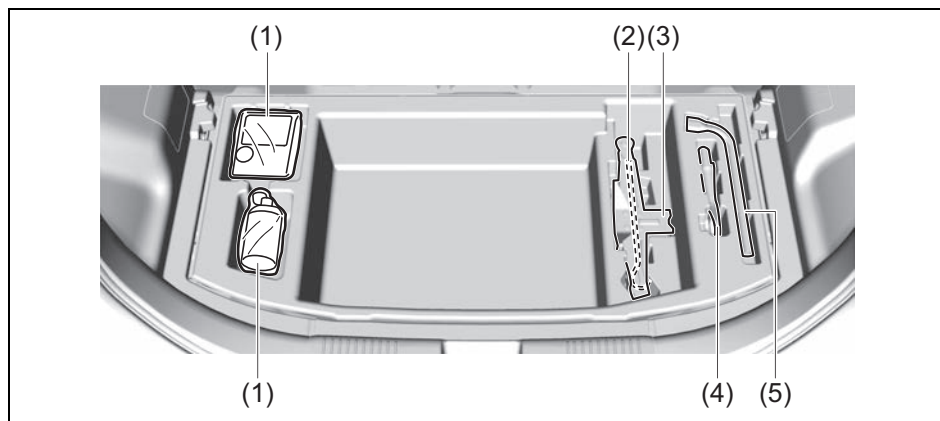
- ラゲッジボードの下に収納されています。
 - 7-43ページ (サブトランク)
 - 7-44ページ (ラゲッジアンダーボックス)

2WD車



83S08071

4WD車

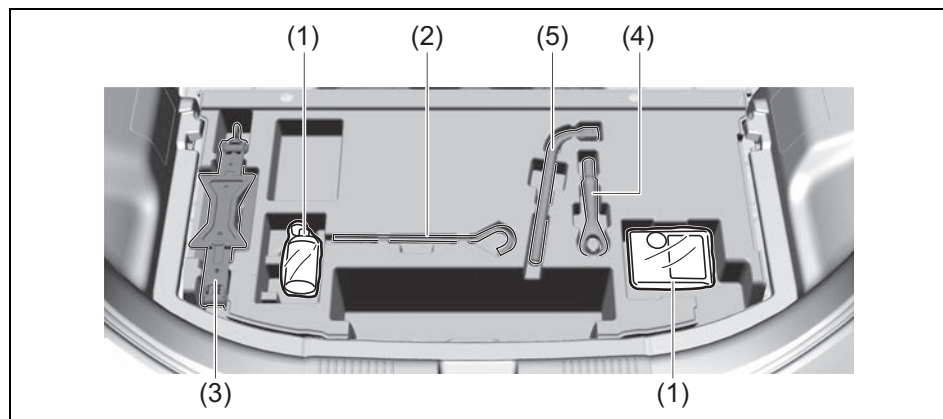


83S08080

- (1) タイヤパンク応急修理セット
- (2) ジャッキバー
- (3) ジャッキ

- (4) けん引フック
- (5) ホイールナットレンチ

ハイブリッド車



83S08201

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) タイヤパンク応急修理セット | (4) けん引フック |
| (2) ジャッキバー | (5) ホイールナットレンチ |
| (3) ジャッキ | |

- 使用後は、所定の位置に収納してください。
- ジャッキは、完全に縮めてから収納してください。

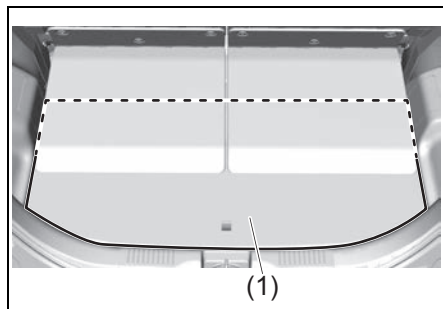
タイヤパンク応急修理セットの 取り出し方

- 1 後席座席下または背もたれ上部（タイプ別装備）にあるスライドレバーを引き上げたまま、シートをいっばいまで前に動かします。

→ 2-14ページ

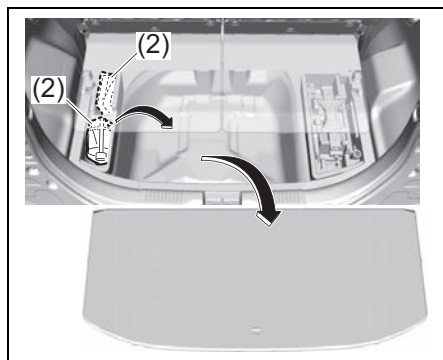
（前後位置の調節）

- 2 ラゲッジボード（1）を取り外します。



83S08090

- 3 タイヤパンク応急修理セット（2）を取り出します。



83S08100

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

パンクしたときは

お車にはスペアタイヤが搭載されていません。

タイヤパンク応急修理セットをお使いください。

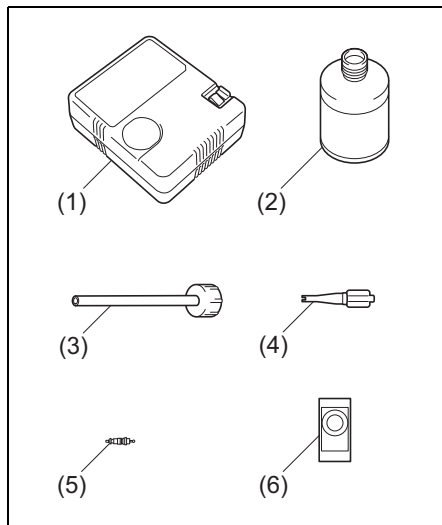
→ 8-14ページ

（工具、ジャッキ、タイヤパンク応急修理セットの収納場所）

- 応急用スペアタイヤ（別売り）を使用するときは、8-24 ページの「応急用スペアタイヤ（別売り）の取扱い」以降の項目をお読みください。

タイヤパンク応急修理セット

このセットは、標準タイヤがパンクしたときに応急的に使用するものです。パンクしたタイヤはすみやかにスズキサービス工場で修理または交換してください。



83P70030

- (1) エアコンプレッサー
- (2) 修理剤ボトル
- (3) 注入ホース
- (4) コア回し
- (5) バルブコア(予備)
- (6) 速度制限シール

⚠ 注意

- 応急修理剤は、飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用したときは、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 保管するときは、お子さまが誤って手を触れないように所定の位置に収納してください。

注 記

エアコンプレッサーを使用するときは、故障を防ぐため次のことをお守りください。

- 10分以上連続して使用しない
- 防水加工がされていないため、降雨時などは水がかからないようにする
- 砂やほこりなどを吸い込ませない
- 使用中に動作がおそくなったり、本体が熱くなったりしたときはすぐにスイッチを OFF にして、30 分以上放置する
- 分解、改造などをしない
- 強い衝撃や圧力を加えない

🔧 アドバイス

- エアコンプレッサーは、自動車タイヤ専用です。そのほかの目的で使用しないでください。
- エアコンプレッサーはDC12V専用です。ほかの電源での使用はできません。

応急修理セットの点検

定期的に点検してください。

- 応急修理剤ボトルに表示されている有効期限の確認
 - ・ 期限が切れる前に、新品と交換してください。
- アクセサリーソケット電源の確認
- エアコンプレッサー作動の確認
 - ・ エンジンスイッチを **ACC** にし、エアコンプレッサーの電源プラグをアクセサリーソケットに差し込んで行ないます。

応急修理の可否判断

■ 次のようなとき、タイヤの応急修理ができます

タイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理セットで応急修理できます。

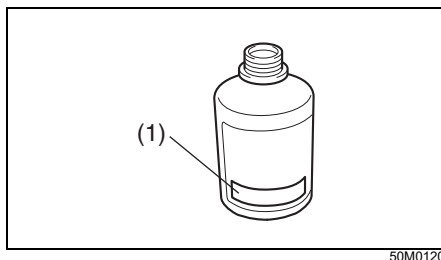
注 記

タイヤに刺さった釘やネジを抜いてしまうと、タイヤの損傷が大きくなったり、そこからの空気漏れで修理時の空気充填ができなくなったりするおそれがあります。
タイヤに刺さった釘やネジなどは抜かないでください。

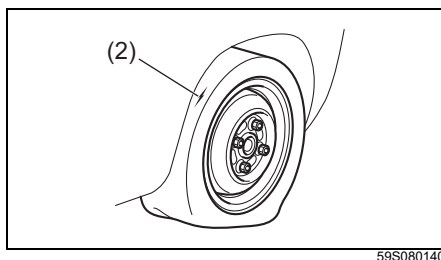
■ 次のような場合は、タイヤの応急修理ができません

スズキ代理店や JAF などのロードサービス事業者にご連絡ください。(別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」参照)

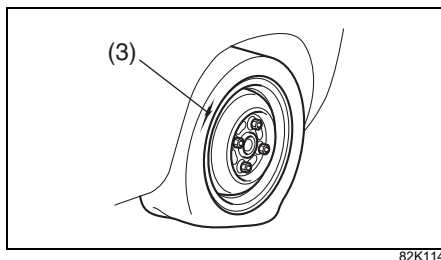
- 応急修理剤の有効期限 (1) が切れている (有効期限はボトルのラベルに記載)



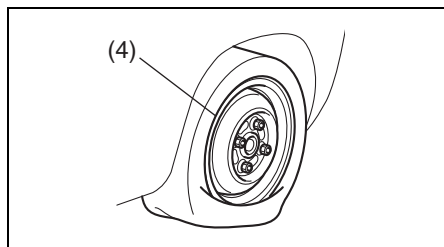
- タイヤの接地面に長さ 4 mm 以上の切り傷や刺し傷 (2) がある



- タイヤの側面に傷 (3) を受けている

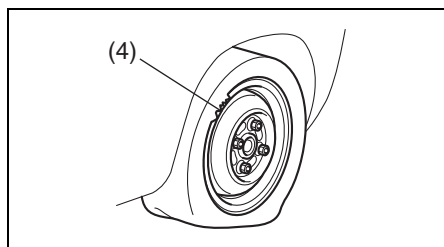


- タイヤの空気がほとんど抜けた状態で走行した
- タイヤがホイールリム（4）の外側へ完全に外れている



82K300

- ホイールリム（4）が破損または変形している



82K116

- タイヤが2本以上パンクしている（修理剤はタイヤ1本分です）

■ タイヤ応急修理のしかた

1 他車に注意をうながすため、非常点滅表示灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

2 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

- セレクトレバーを **[P]** に入れ、エンジン（ハイブリッドシステム）を止めます。

必要に応じて、停止表示板（別売り）を置きます。

- パンクしたタイヤの状態を確認します。

→ **8-18ページ**

（応急修理の可否判断）

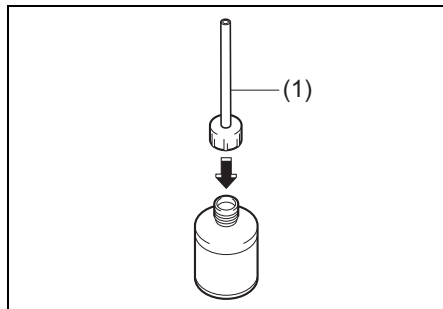
3 同乗者がいるときや重い荷物を載せているときは、車から降ろします。タイヤパンク応急修理セットを取り出し、注入ホースをねじ込む前に、修理剤ボトルをよく振ります。



50M0121

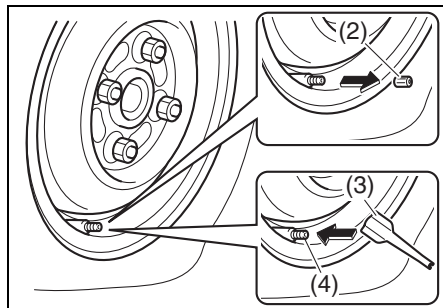
- 4 注入ホース（1）を修理剤ボトルにしっかりとねじ込みます。

●ボトルの栓が破れます。



81P70040

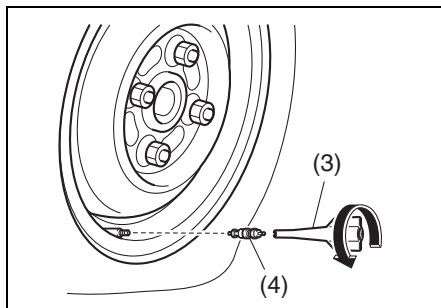
- 5 タイヤバルブからキャップ（2）を反時計方向にまわして外します。コア回し（3）の羽根状部分の先端などでバルブ内のバルブコア（4）を押し、タイヤに残った空気を完全に抜きます。



65P70040

- 6 コア回し（3）でバルブコア（4）を反時計方向にまわして外します。

●バルブコアは再使用します。汚れないようにきれいなところへ保管します。



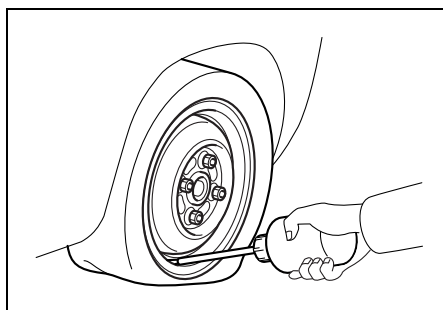
65P70050

▲ 注意

バルブコアを外すとき、タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出しけがをするおそれがあります。バルブコアを外すときは、慎重に外してください。

- 7 注入ホースの先端をタイヤバルブに差し込みます。修理剤ボトルを逆さまにして持ち、手で何回も圧迫し、修理剤をすべてタイヤ内に注入します。

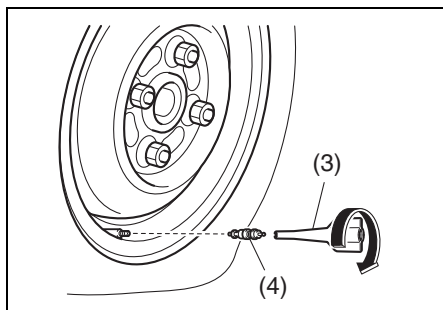
- 空になったボトルは、修理剤の抜き取りに必要なため、タイヤ交換または修理を依頼するときにスズキサービス工場にお渡しください。
- こぼれた修理剤は、ふき取るかそのまま乾燥させてからはがします。



82K121

- 8 注入ホースをタイヤバルブから引き抜き、コア回し (3) でバルブコア (4) をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。

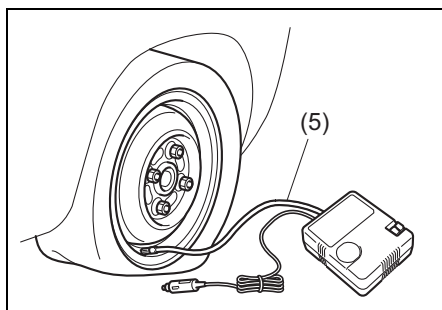
- 外しておいたバルブコアが汚れていたり紛失したりした場合は、タイヤパンク応急修理セット内にある予備のバルブコアをご使用ください。



65P70060

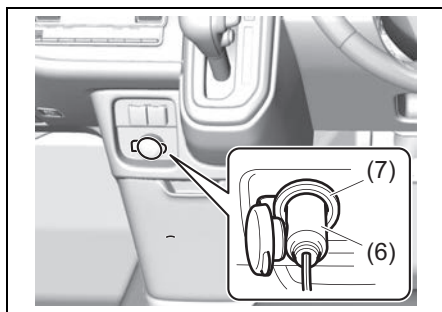
- 9 エアコンプレッサーの底面から、ホースを取り出します。

- 10 エアコンプレッサーのホース (5) 先端の口金をタイヤバルブにねじ込みます。



81P70080

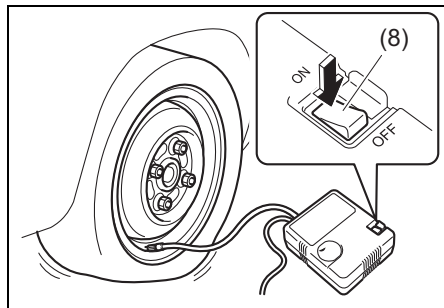
- 11 エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認します。電源プラグ (6) をアクセサリソケット (7) に差し込み、エンジンスイッチを **ACC** にします。



83S08120

- 上図のインパネは代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 12** エアコンプレッサーのスイッチ (8) を ON にし、空気を入れます。タイヤ空気圧が指定空気圧になるまで昇圧させます。



81P70100

- タイヤがホイールリムから外れている場合は、空気が漏れないようにリムとタイヤのすきまをなくするようにしてから、コンプレッサーを作動させます。(すきまがなくなれば空気圧が上がります。)
- 指定空気圧まで昇圧するには、約 10 分程度が必要です。10 分以内に指定空気圧まで昇圧しないときは、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理セットによる応急修理ができません。スズキ代理店や JAF などのロードサービス事業者にご連絡ください。
- 空気を入れすぎたときは、コンプレッサーのホース先端の口金をゆるめて、空気を抜きます。

⚠ 注意

- コンプレッサーを作動させているとき、万が一バーストなどすると、けがのおそれがあります。コンプレッサーを作動させているときは、タイヤの近くに立たないでください。
- コンプレッサーを作動させると、タイヤがふくらみ、タイヤがリム部にはまり込むため、指などをはさみけがをするおそれがあります。タイヤがふくらむときは、指などをはさまないように注意してください。

注 記

コンプレッサーは連続して作動させると故障につながるおそれがあります。コンプレッサーは 10 分以上連続して作動させないでください。

🔧 アドバイス

- コンプレッサーの起動・停止は、コンプレッサー本体のスイッチで行なってください。
- タイヤの指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある空気圧ラベルで確認できます。

- 13** 指定空気圧まで昇圧できたら、修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、コンプレッサーを収納し、ただちに走行します。スピードを控えめにして、急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはせず、慎重に運転してください。

- 14 約10分間または5 km程度走行したら、タイヤ空気圧をコンプレッサーの空気圧計で確認します。空気圧が130 kPa (1.3 kgf/cm²) 以上あれば、パンク応急修理の完了です。再度、指定空気圧に調整してください。

- タイヤ空気圧を測定するときは、コンプレッサーのホース先端の口金をタイヤバルブにねじ込んだあとに電源をつなぎ、一度スイッチをONにしたあと、すぐにスイッチをOFFにして空気圧を確認します。
- 走行後、タイヤ空気圧が130 kPa未満に低下していた場合は、本修理セットによる応急修理ができていないことを示しています。走行を中止して、スズキ代理店やJAFなどのロードサービス事業者にご連絡ください。

アドバイス

走行後、必ず空気圧のチェックを行ない、応急修理の完了を確認してください。

- 15 異常がなければ、付属の速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。十分注意して80 km/h以下の速度で走行してください。



82K359

警告

- 万一のときに、エアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。SRS エアバッグの収納部には、速度制限シールを貼らないでください。
- 安全運転のさまだけになるため、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には、速度制限シールを貼らないでください。

タイヤを応急修理したあとは

応急修理剤を使用したタイヤは、一時的に使用するものです。すみやかにスズキサービス工場で、タイヤ交換または修理してください。

- タイヤ交換または修理を依頼するときは、修理剤を使用したことを知らせてください。また、修理剤の抜き取りに必要なため、空になった修理剤ボトルを渡してください。
- ホイールは、付着した修理剤をふき取り、バルブコアを新しいものに交換すれば再使用できます。
- タイヤを修理・再使用するときは、付着した修理剤をふき取る必要があります。ただし、タイヤの損傷の程度によっては、再使用できない場合があります。
- 新しい修理剤はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。

応急用スペアタイヤ (別売り) の取扱い

応急用スペアタイヤ (別売り) は、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するものです。パンクしたタイヤはただちに修理または交換し、できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べて空気圧が高く、幅が細く、直径がやや小さいため、次の事項を守ってください。

■ 定期的に点検する

⚠ 警告

空気圧不足やタイヤが摩耗した状態での使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。

応急用スペアタイヤの空気圧や摩耗状態を定期的に点検してください。

応急用スペアタイヤの指定空気圧は 420 kPa (4.2 kgf/cm²) です。

■ ほかの車のスペアタイヤを使わない

⚠ 警告

応急用スペアタイヤは、この車専用です。ほかの車に使用したり、ほかの車の応急用スペアタイヤをこの車に使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

応急用スペアタイヤをほかの車に使用したり、ほかの車の応急用スペアタイヤをこの車に使用したりしないでください。

■ 装着するときは

⚠ 警告

応急用スペアタイヤを同時に使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2つ以上の応急用スペアタイヤを同時に使用しないでください。

■ 装着したときの走行は

⚠ 警告

やむをえず高速走行する場合は、80 km/h 以下の速度で走行し、できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。

応急用スペアタイヤは、高速走行には適していません。

注 記

●4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。

●応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べ直径がやや小さいため、車高が少し低くなり車体に接触するおそれがあります。

突起物などを乗り越えるときは、車体を接触させないように気をつけてください。

⚠ アドバイス

正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、次の機能が正常に作動しない場合があります。

- ABS
- エマージェンシーストップシグナル (ESS)
- ESP®
- デュアルカメラブレーキサポート (タイプ別装備)
- 誤発進抑制機能 (タイプ別装備)
- 車線逸脱抑制機能 (タイプ別装備)
- アダプティブクルーズコントロール (タイプ別装備)
- アダプティブクルーズコントロール (全車速追従機能付) (タイプ別装備)
- 後退時ブレーキサポート (タイプ別装備)
- 後方誤発進抑制機能 (タイプ別装備)

■ 前輪には使用しない

この車は前輪が駆動輪、または前輪が駆動輪ベースの4WDです。前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪の標準タイヤを前輪に付けてください。

■ デュアルカメラブレーキサポート装備車での取扱い

応急用スペアタイヤ (別売り) を使用する場合は、デュアルカメラブレーキサポートOFFスイッチを操作して誤発進抑制機能を停止させてください。

■ タイヤチェーンは装着できません

タイヤチェーンを装着した前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に使用し、外した後輪の標準タイヤを前輪に付けてからタイヤチェーンを再装着してください。

■ ラベルは見えるように

応急用スペアタイヤを装着したときはホイールに貼り付けてあるラベルが見えるようにしてください。

■ ラベルは剥がさない

応急用スペアタイヤのホイールに貼り付けてある速度制限ラベルを剥がさないでください。

■ ラベルが剥がれたときは

応急用スペアタイヤのホイールに貼り付けてある速度制限ラベルが剥がれた時は、貼り直してください。

タイヤ交換の準備

お車にはスペアタイヤが搭載されていません。

応急用スペアタイヤが準備できない場合は、タイヤパンク応急修理セットをご使用ください。

→ 8-17ページ

(タイヤパンク応急修理セット)

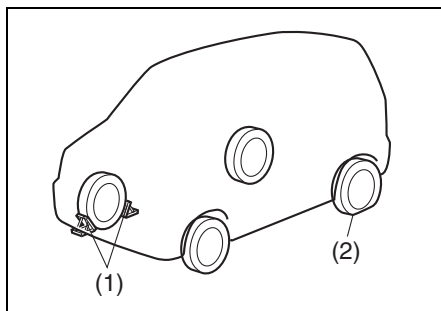
1 他車に注意をうながすため、非常点滅表示灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

2 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

●セレクトレバーを **[P]** に入れ、エンジンを止めます。

必要に応じて、停止表示板（別売り）を置きます。

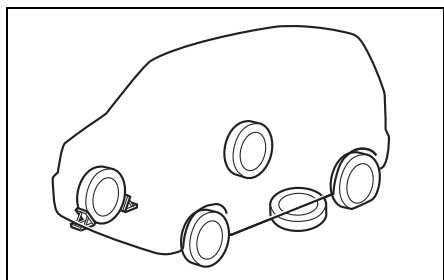
3 交換するタイヤ (2) と対角線の位置にあるタイヤの前後に、輪止め (1) (市販品) を置きます。



80J1245

- 4 工具、ジャッキ、スペアタイヤを取り出します。同乗者がいるときや重い荷物を載せているときは、車から降ろします。

- 万一ジャッキが外れたときに足などをはさまないために、取り出したスペアタイヤは、交換するタイヤの近くの車体の下に置いてください。



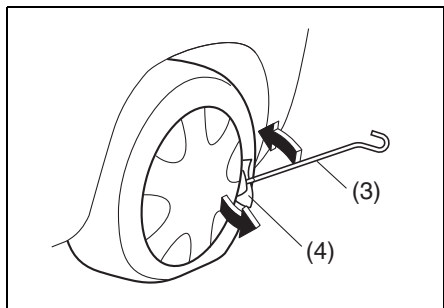
80J323

アドバイス

スペアタイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にとすると傷つきにくくなります。

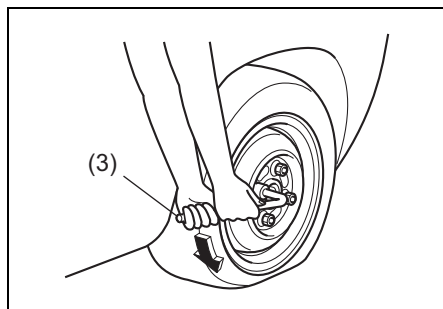
- 5 フルホイールキャップ（タイプ別装備）を外します。

- 傷つき防止のため、ジャッキバー（3）の先端に布（4）をあてがってホイールとキャップの間に差し込み、こじって外します。



64L70260

- 6 ホイールナットレンチ（3）を使用して、ホイールナット4個を反時計方向にまわし、手でナットが軽くまわるくらいまでゆるめます。



59R80080

ジャッキアップ

ジャッキアップをする前に、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。

- セレクトレバーを **[P]** に入れ、エンジンを止めてください。

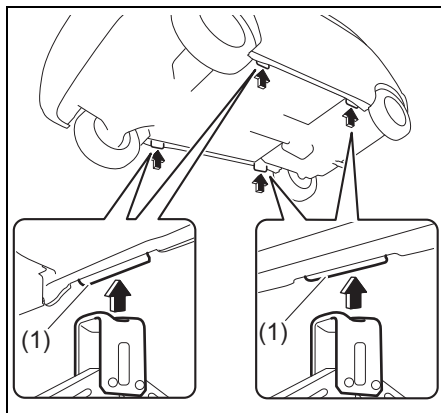
⚠ 警告

万一ジャッキが外れると、身体がはさまれ重大な傷害を受けたり、車が動き出して思わぬ事故につながったりするおそれがあります。ジャッキアップするときは次のことをお守りください。

- 地面が硬くて平らな場所でジャッキアップしてください。
- ジャッキは、タイヤ交換またはタイヤパンク修理だけに使用してください。
- ジャッキはこの車に付属のものを使用し、ほかの車のものは使用しないでください。また、この車のジャッキをほかの車に使用しないでください。
- ジャッキは必ず指定された位置にかけてください。指定以外の位置にジャッキをかけると、ジャッキが外れたり、車を損傷したりするおそれがあります。
- ジャッキで必要以上に車を持ち上げないでください。
- ジャッキで車を持ち上げているときは、車の下にもぐったり、エンジンをかけたり（ハイブリッドシステムを起動したり）、車をゆすったりしないでください。
- ジャッキアップするときに、ジャッキの上や下にものをはさまないでください。
- 複数のジャッキを使用して、複数輪を同時にジャッキアップしないでください。

- 1 ジャッキバー取り付け部を手で時計方向にまわしてジャッキを広げ、ジャッキ頭部の凹み部を車載ジャッキ指定位置 (1) に軽く接触させます。

- 2 ジャッキ頭部を軽くゆすって、ジャッキ頭部の凹み部が指定位置 (1) にはまっているか確認します。

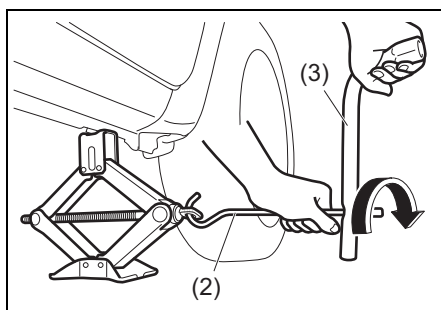


59R80200

- 3 ジャッキに、ジャッキバーとホイールナットレンチを取り付けます。
(次の図参照)

- ジャッキバーは次の図のように、ホイールナットレンチの穴に差し込みます。

- 4 ホイールナットレンチをまわして、タイヤが地面から少し離れるまで、車体を慎重に持ち上げます。

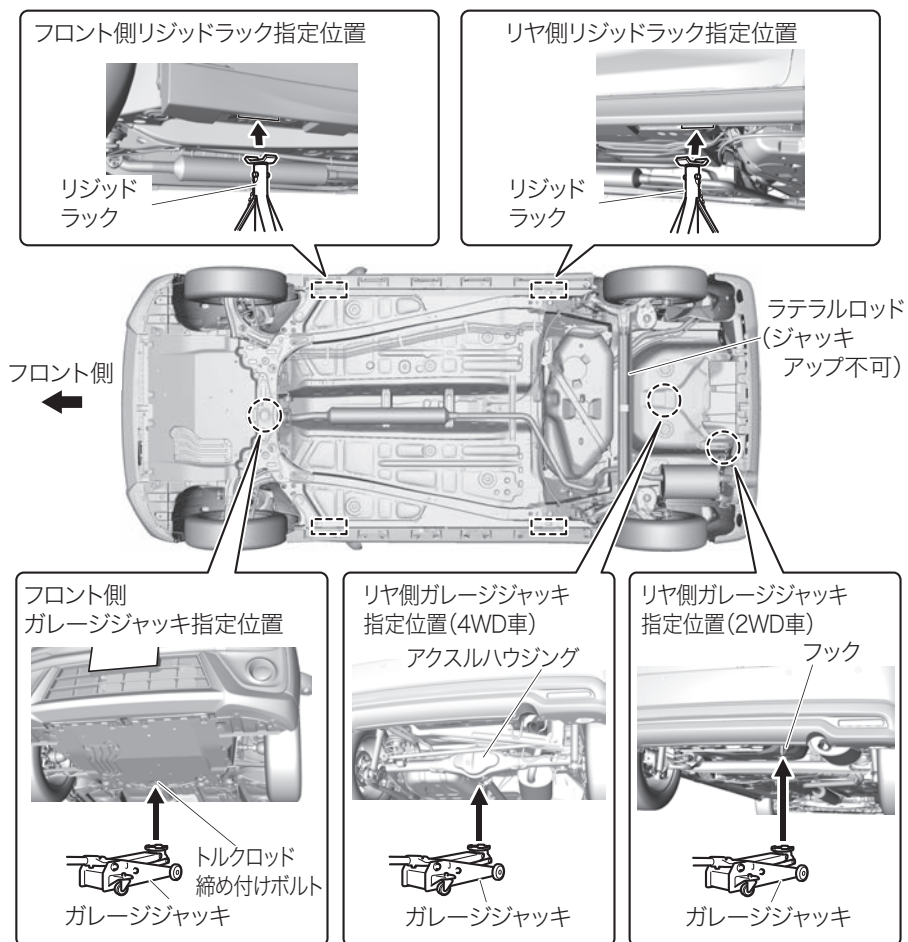


62R0182

- (2) ジャッキバー
(3) ホイールナットレンチ

ガレージジャッキ（市販品）を使用するときは

ガレージジャッキおよびリジッドラック（市販品）の指定位置を次の図に示します。詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。



83S08141

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 警告

車両が損傷したり、思わぬ事故のおそれがあるため、次のことをお守りください。

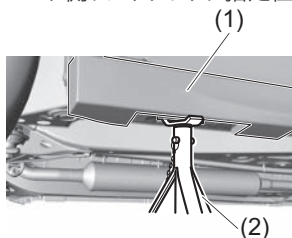
- 必ず図に示す指定位置を守ってください。
- ジャッキアップした車体を保持する際は、必ずリジッドラックに掛け替えてください。
- フロント側またはリア側のみをジャッキアップする際は、必ず接地側のタイヤの前後に輪止め（市販品）を置いてください。

注 記

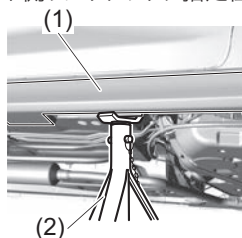
サイドスカート (1) にリジッドラック (2) が接触した状態で使用すると、サイドスカートが破損したり傷ついたりするおそれがあります。

リジッドラックを使用するときは、サイドスカートに当たらないように位置を調整してください。

フロント側リジッドラック指定位置



リヤ側リジッドラック指定位置



83S08180

タイヤの取り付け・取り外し

- 1 ホイールナットを外して、タイヤを取り外します。外したタイヤは、車体の下に置きます。

⚠ 注意

走行直後のホイール、ホイールナット、ブレーキまわりは高温になっていることがあるため、やけどのおそれがあります。

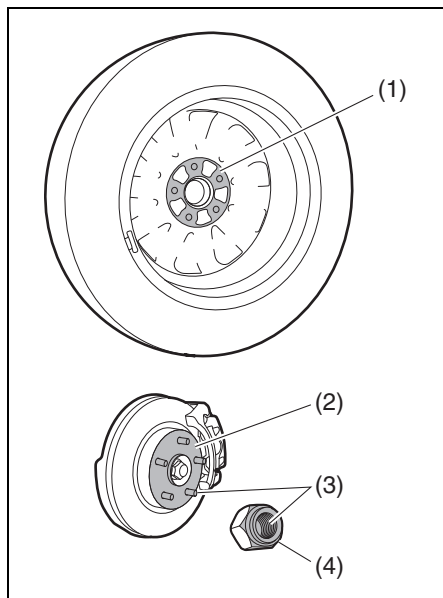
走行直後のホイール、ホイールナット、ブレーキまわりなどには触れないでください。

📌 アドバイス

タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にとすると傷つきにくくなります。

- 2 次の場所の汚れや異物を取り除きます。

- 交換するホイールの取り付け面 (1)
- 車体側の取り付け面 (ハブ面) (2)
- ボルトやホイールナットのネジ部 (3)
- ホイールナットのテーパ面 (4)
- ホイール穴のテーパ面 (5)



65J4033

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

- このとき、ボルトやナットのネジ部、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 前記の場所に汚れや異物、つぶれや亀裂などの異常があると、走行中にホイールナットがゆるみ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ボルトやナットのネジ部、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

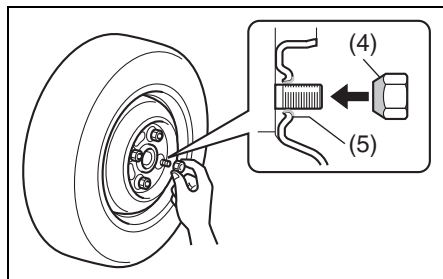
注 記

ナットやボルトに、オイルやグリスが付着していると、必要以上にナットを締めすぎて、ボルトが折れるおそれがあります。

ナットやボルトに、オイルやグリスを付着させないでください。

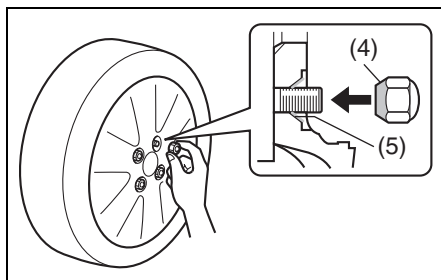
- 3 ホイールナットのテーパー面 (4) が、ホイール穴のテーパー面 (5) に軽く接触するまで、手で時計方向にまわして締めます。

スチールホイール装備車



71L70400

アルミホイール装備車



71L70410

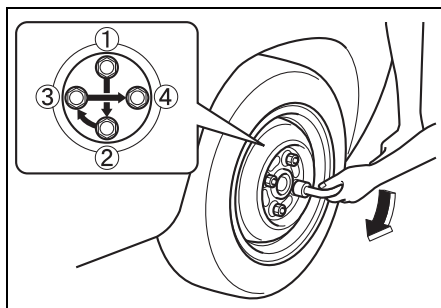
- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 4 車体の下に置いたタイヤを取り出し、タイヤが地面に接触するまでジャッキを下げます。

- 5 ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを次の図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

**締め付けトルク : 100 N・m
(1020 kgf・cm)**

- ホイールナットレンチの柄の先端にかかる力は416 N (42 kgf) を目安にしてください。
- すべてのホイールナットが確実に締まっていることを確認してください。



82K132

⚠ 警告

ホイールナットが確実に締まっていないと、ボルトやブレーキ部品を損傷したり、ホイールが外れたりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。トルクレンチ（市販品）を使用せずにタイヤ交換した場合は、できるだけ早くスズキサービス工場で締め付けトルクの点検を受けてください。

注 記

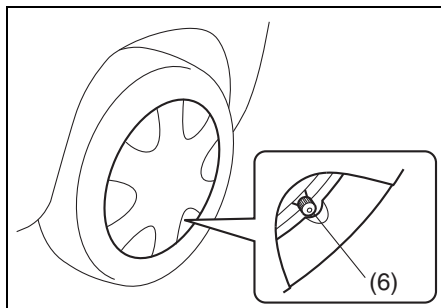
ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプや棒などを追加して締め付けたりすると、ナットを締めすぎてボルトが損傷するおそれがあります。パイプや棒などを使用して、必要以上にナットを締めないでください。

🔧 アドバイス

既定の締め付けトルクで締める場合は、トルクレンチ（市販品）のご使用をおすすめします。

6 フルホイールキャップ（タイプ別装備）を付けます。

- タイヤの空気注入口（6）とキャップの切り欠き部分をあわせてから、確実に押し込みます。



71L70420

タイヤを交換したあとは

- 工具、ジャッキは、所定の位置に収納してください。
- タイヤを交換してしばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないか確認してください。
- アルミホイール装備車は、タイヤを交換してから 1,000 km 程度走行したあとに、ホイールナットにゆるみがないか点検してください。

🔧 アドバイス

タイヤを交換したあと、車体の振動などの異常を感じたときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

鉛バッテリーあがりとは

次のようなときは、鉛バッテリーがあがっています。

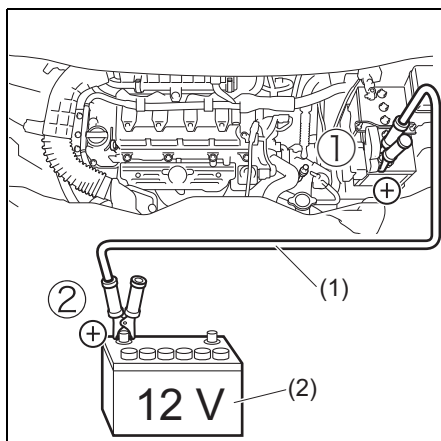
- エンジンをかけようとしてもスターターがまわらない。または、まわっても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ヘッドライトが極端に暗かったり、ホーンの音が小さかったりする。

鉛バッテリーあがりのときは

ブースターケーブルと、12 Vバッテリーを使用しているほかのバッテリー正常車があれば、エンジンの始動ができます。

- 1** 1 本目のブースターケーブル (1) を①→②の順序で接続します。

- ①バッテリーあがり車の ⊕ 端子
- ②バッテリー正常車の ⊕ 端子

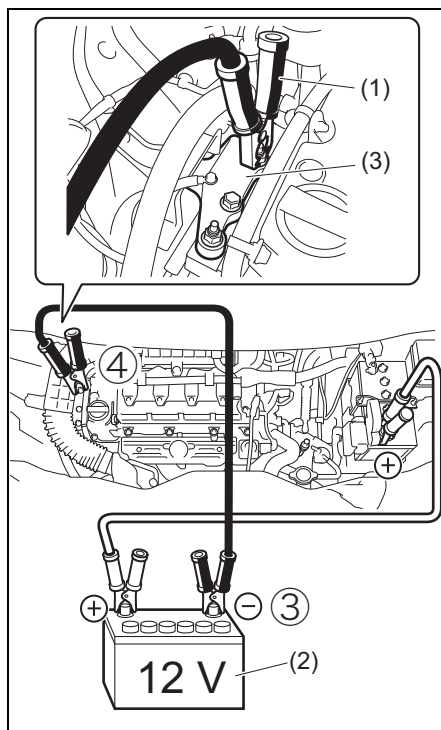


- (1) ブースターケーブル
- (2) 正常車の鉛バッテリー

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

- 2** 2本目のブースターケーブルを③→④の順序で接続します。

- ③バッテリー正常車の⊖端子
④バッテリーあがり車のエンジンマウントのボルト



83S08160

- (1) ブースターケーブル
(2) 正常車の鉛バッテリー
(3) エンジンマウント

- 3** バッテリー正常車のエンジンを始動し、エンジンの回転を少し高めに保ちます。

- 4** バッテリーあがり車のエンジンを始動します。

- 5** 取り付けたとときと逆の順序で、ブースターケーブルを外します。

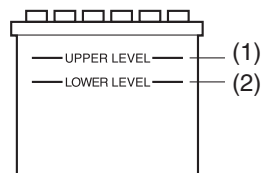
- 6** お近くのスズキ販売店またはスズキ代理店でバッテリーを完全充電します。

警告

●鉛バッテリーからは水素ガスが発生しています。水素ガスは、火気や火花に引火すると爆発のおそれがありますので、次のことをお守りください。

- ・バッテリーを充電するときやブースターケーブルをつなぐときは、必ずバッテリー液面を確認してください。バッテリー液面が下限(2)以下のままで充電などすると、バッテリーが発熱して爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

バッテリー補充液を上限(1)まで補充してから、充電などを行ってください。



82K209

- ・充電は火気のない風通しの良いところで、すべてのバッテリーキャップを外して行なってください。
- ・④の接続のときに、バッテリーがあがった車の⊖端子につながないでください。発生した火花が水素ガスに引火し、爆発のおそれがあります。バッテリーから離れたエンジンマウントのボルトに接続してください。
- ・乾いた布でバッテリーをふかないでください。静電気が発生して引火のおそれがあります。

⚠ 警告

- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚につくと、失明などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- エンジン始動時の振動などでブースターケーブルが外れると、ドライブベルトや冷却ファンに巻き込まれるおそれがあります。
ブースターケーブルは確実に接続してください。
- ショート防止のため、ブースターケーブルの⊕端子は、バッテリーの⊕端子以外の部分（⊖端子、ボデー、ブラケットなど）と接触させないでください。

🔧 アドバイス

☐ オートマチック車 または
☐ オートギヤシフト車 は押しがけができません。

バッテリーあがりを防ぐためには

- 1か月に一度は連続して30分以上走行して充電する必要があります。
 - エンジン（ハイブリッドシステム）を停止したままライトをつけたり、長時間ナビゲーションやオーディオなどを使用したりしないようにしましょう。
 - 渋滞などで長時間アイドリングを続けている場合は、電装品の使用を極力避けてください。
- 5-4ページ
(鉛バッテリーの液面を点検する)

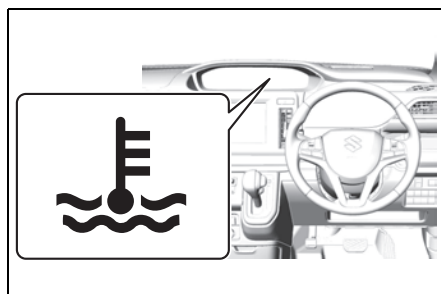
オーバーヒートとは

ラジエーターなどの冷却システムによるエンジンの冷却が間に合わなくなり、冷却水を適温に保てなくなった状態をオーバーヒートといいます。

次のようなときは、オーバーヒートです。

- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている
- エンジンの力が急に落ちた
- エンジン冷却水温が異常に高くなって、メーターパネル内の水温警告灯が点滅または点灯

→ 4-56ページ (水温警告灯)



83S08171

メーターパネル内にあります。

→ 1-20ページ (警告灯)

オーバーヒートしたときは

- 1 車を安全な場所に止めます。
- 2 エンジンをかけたままでボンネットを開けて、エンジンルーム内の風通しをよくします。
 - エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けずに次の手順を行なってください。

→ 7-6ページ (ボンネット)

⚠ 注意

エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときにボンネットを開けると、蒸気や熱湯が吹き出して、やけどのおそれがあります。

エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けないでください。

- 3 冷却ファンの作動を確認し、水温警告灯が消灯するのを待ってエンジンを止めます。
 - 冷却ファンが作動していないときや、水温警告灯が消灯しないときは、ただちにエンジンを止め、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やホースなどからの水漏れを点検します。

⚠ 注意

エンジンが熱いときにラジエーターキャップを外すと、冷却水に圧力がかかっているため、蒸気や熱湯が吹き出してやけどのおそれがあります。

ラジエーターキャップは、エンジンが十分に冷えてから外してください。



83S06170

5 冷却水の量が不足しているときは補充します。

- 水漏れなどの異常があるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- 冷却水がなく、やむをえず水だけを補充したときは、できるだけ早くスズキサービス工場で冷却水の点検または交換をしてください。

9. お手入れのしかた

● お手入れ

外装のお手入れ	9-2
内装のお手入れ	9-5
タイヤの交換	9-8
携帯リモコンの電池交換	9-10
ワイパーブレードラバーの交換	9-12
ウインドーウォッシャー液の補充	9-16

● 部品の交換

ヒューズが切れたときは	9-17
ヒューズの点検と交換	9-23
電球の点検	9-24
電球を交換するときは	9-24

● 寒冷時の取扱い

冬期に入る前の準備	9-36
出発の前に	9-37

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

お車をいつまでも美しく保つためには、日頃のお手入れが大切です。

- 駐車、車の保管は風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のようなときはサビや塗装の変色などの原因となります。すみやかに洗車をしてください。
 - ・ 海岸地帯や凍結防止剤を散布した道を走行したとき。とくに車体の下まわり、足まわりを洗車してください。
 - ・ 鳥のふん、虫の死がい、樹液、鉄粉、ばい煙、コールドタールなどが付着したり、酸性雨に濡れたりしたとき。
 - ・ ほこりや泥でひどく汚れたとき。
- ワックスがけは月に1回程度、または水のはじきが悪くなったら行なってください。ワックスがけのしかたは、ワックス（別売り）の容器に書かれている取扱説明にしたがってください。

🔧 アドバイス

ワックスがけのときに塗装されていない樹脂部品にワックスを使わないでください。ワックスが付着すると白くなったりムラになったりするおそれがあります。



80J302

- 飛び石の傷や、ひっかき傷などはサビの原因となります。見つけたら早めに補修してください。

注 記

塗装面の傷の補修を不適切な塗料で行なうと、塗装がはがれる原因となります。

塗装面の傷を補修するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

洗車のときのご注意

⚠ 注意

- 洗車をするときは、安全のためパワースライドドアメインスイッチを手動開閉位置にしてください。
→ 3-22ページ（パワースライドドアメインスイッチ）
- 車体の下まわりや足まわりを洗うときは、けがをしないように気をつけてください。
- 洗車したあとはブレーキの効きが悪くなることがあります。
洗車した後の運転は注意してください。
→ 6-7ページ
（水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認）

注 記

エンジンルームに水をかけると、エンジンの始動不良や電気部品が故障する原因となります。

洗車のときは、エンジンルームに水などをかけないでください。

注 記

洗車やワックスがけをするとき、車体に寄りかかったり強い力で押したりしないでください。

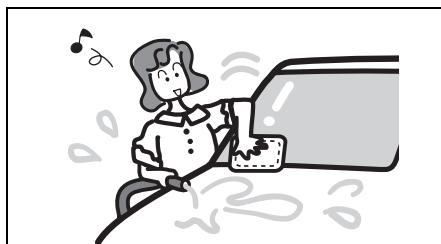
車体に変形するおそれがあります。



84S09240

手洗い洗車をするときは

- 1 十分に水をかけながら、スポンジやセーム皮のようなやわらかいものを使って汚れを洗い落とします。
- 2 汚れがひどいところは中性洗剤を使って洗い、さらに真水で洗って洗剤を落とします。
- 3 やわらかい布で水をよくふき取り、水滴のあとが残らないようにします。



80J303

自動洗車機を使うときは

注 記

- ドアミラーやアンテナが洗車機に引っかかり、損傷するおそれがあります。
自動洗車機を使うときは、ドアミラーを格納し、ルーフアンテナを取り外してください。
- ルーフエンドスポイラー装備車は、自動洗車機を使用すると、ルーフエンドスポイラーが洗車機に引っかかり、スポイラーを損傷するおそれがあります。
ルーフエンドスポイラー装備車は、自動洗車機での洗車を避けてください。

♪アドバイス

自動洗車機によっては、ブラシで傷がついて塗装面の光沢が失われたり、塗装の劣化が早まったりすることがあります。

高圧洗浄機を使うときは

洗車ノズルを車体から十分に離してください。

注 記

- カメラおよびカメラ周辺部に高圧洗浄機のノズルを向けると、カメラに水が入るなどして、火災や故障、結露などの原因となります。
全方位モニター用カメラ装備車は、カメラおよびカメラ周辺部にノズルを向けないでください。
- 洗車ノズルを車体に近づけすぎると、水圧により車体や部品の変形や損傷の原因となります。
洗車ノズルを車体に近づけすぎたり、バンパーなどの開口部に向けたりしないでください。
- 洗車ノズルをドアガラスやドアまわりなどに向けると、車内に水が入るおそれがあります。
洗車ノズルをドアガラスやドアまわりなどの開閉部分に向けないでください。

フロントガラスの手入れ

油膜などが付着してワイパーのふき残しが出たときは、ガラスクリーナー（別売り）で汚れを取ってください。

アルミホイール（タイプ別装備）の手入れ

9-3 ページの「手洗い洗車をするときは」をお読みください。

注 記

- 使用するクリーナーによっては、塗装のしみ、変色、ひび割れ、およびセンターキャップの損傷の原因となります。
アルミホイールの手入れには、酸性、アルカリ性の洗剤、石油系溶剤を含むクリーナーを使用しないでください。
- 硬いブラシや砂入り石けんを使用すると、アルミホイールが傷つく原因となります。
アルミホイールの手入れには、硬いブラシや砂入り石けんを使用しないでください。

ランプの手入れ

ランプのレンズ部分は水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。

注 記

- ランプのレンズ表面に有機溶剤などを含んだ洗剤は使用しないでください。レンズ表面にひび割れが発生するおそれがあります。
もし使用した場合には、十分な水で洗い流してください。
- レンズ表面をワックスや硬いブラシでふかないでください。レンズが損傷したり、劣化を早めるおそれがあります。

全方位モニター（タイプ別装備）のカメラの手入れ

レンズ部分は水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をご使用ください。

注 記

- アルコールなどを使用してカメラをふくと、変色などの原因となります。カメラをふくときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- カメラのレンズは傷がつきにくいようハードコート仕様になっていますが、車ブラシなどを使用すると、全方位モニターの映像が見づらくなる場合があります。レンズの傷つきには十分気をつけてください。
- 有機溶剤などが付着するとカメラの樹脂製カバーが破損する原因となります。有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。
- カメラに急激な温度変化を与えるとカメラが破損する恐れがあります。凍りついた雪をお湯をかけて溶かすなどの急激な温度変化をカメラに与えないでください。

内装のお手入れ

- 砂、ほこりなどは掃除機などで吸い取るか、水またはぬるま湯を固くしぼったやわらかい布でふき取ってください。そのまま放置すると、傷つきの原因となります。
- 液体芳香剤やジュースなど液体類が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーややわらかい布でふき取ってください。こぼしたままにしておくと、しみ、変色、ひび割れの原因となります。

⚠ 警告

- ナビゲーション、またはオーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。内装のお手入れの際は、車内に水などをかけないでください。車内に水をかけたり飲み物をこぼしたりした場合は、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
- マイルドハイブリッド車**
助手席下には、リチウムイオンバッテリーがあります。バッテリーを水などで濡らすと、火災や感電などを起こしたり、故障の原因となったりするおそれがあります。バッテリーを水などで濡らさないでください。
- ハイブリッド車**
助手席下には、リチウムイオンバッテリー、荷室のラゲッジボード下にはパワーパック（高電圧バッテリー、インバーター）があります。バッテリーを水などで濡らさないでください。火災や感電などを起こしたり、故障の原因となったりするおそれがあります。

注 記

●しみ、変色、変形、強度低下などの原因となるため、次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。

- ・ベンジン、ガソリン、シンナー、ステッカーはがし剤などの溶剤
- ・酸性、アルカリ性の洗剤
- ・漂白剤や染料

●電装品やスイッチにシリコンが付着すると、故障の原因となるおそれがあります。

エアコン、オーディオまたはナビゲーションなどの電装品や各種スイッチおよびこれら周辺の清掃にはシリコンを含むケミカル用品を使用しないでください。

●車内へ革製品・毛皮・ビニールなどを長時間放置すると、内装の変色や変質の原因となります。

色物の革製品・毛皮・ビニールなどは、車内へ長時間放置しないでください。

●高電圧バッテリーの冷却用空気取り入れ口（1）を荷物やごみ等の異物などでふさがないでください。また、水や異物を入れないでください。高電圧バッテリーの過熱や故障の原因になります。

→ 5-26ページ

（ハイブリッドシステムの手扱い）

布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ

- 1 中性洗剤の水溶液をやわらかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
- 2 真水を含ませたやわらかい布で、残った洗剤分をふき取ります。
- 3 残った水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

アドバイス

液体芳香剤はこぼさないように容器を固定するか、固形タイプのもののご使用をおすすめします。

本革の手入れ

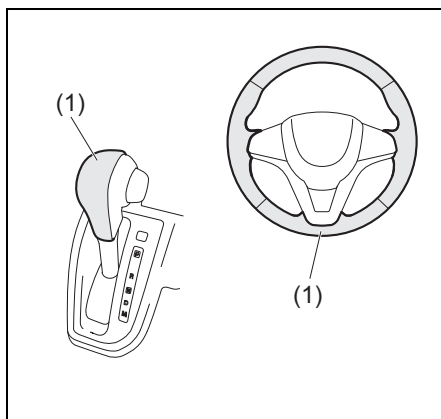
タイプ別装備

- 1 ウール用中性洗剤を次の比率でうすめたものをやわらかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
ウール用中性洗剤：水＝1：20
- 2 真水を含ませたやわらかい布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

注 記

洗剤をふき残すと、本革部分を傷めるおそれがあります。
洗剤はふき残さないように注意してください。

- 3 乾いたやわらかい布で乾ぶきし、風通しの良い日陰で乾燥させます。



76R0090

(1) 本革部分

注 記

化粧液やハンドクリームなどに含まれるオレイン酸は変色、しみの原因となります。万一、ハンドクリームなどがハンドルの本革部分に付着した際は、すみやかにティッシュペーパーや、やわらかい布でふき取り、前記手順でお手入れをしてください。

アドバイス

- 外観品質を長く保つため、年に2回程度は定期的にお手入れをしてください。
- 水が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーややわらかい布でふき取ってください。ぬれたままにしておくと、硬くなって縮むことがあります。
- 炎天下に駐車するときは、日よけなどを使用してください。直射日光に長時間さらすと、色あせや縮みの原因となります。
- 天然素材のため、シボ（皮革表面肌凹凸）の不均一や、皮革本来の傷などがあっても、皮革としての物性に影響はありません。

フロントガラスの室内側の手入れ

ステレオカメラ装備車の場合、フロントガラスの内側を清掃するときは、ステレオカメラのレンズ部にほこりやガラスクリーナーなどが付着しないように保護してください。

リヤクォーターガラス／バックドアガラスの室内側の手入れ

⚠️ アドバイス

アンテナ線や熱線、端子を傷つけないように、水を含ませたやわらかい布でアンテナ線または熱線に沿ってふいてください。

ヘッドアップディスプレイ (タイプ別装備) の手入れ

ディスプレイは表面がコーティングされているため、メガネふきのようなやわらかい布で汚れをふき取ってください。

注 記

- ディスプレイが破損したり、表面のコーティングが傷ついたりするおそれがありますので、硬い布や洗剤などは使用しないでください。
- ディスプレイやミラーをふくときは、力をかけすぎないようにしてください。破損するおそれがあります。

タイヤの交換

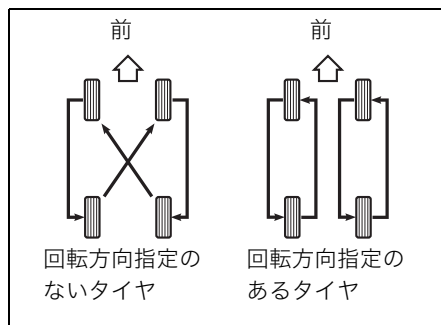
タイヤのローテーション

タイヤのかたよった摩耗を防止して寿命をのばすために、約**5,000 km**走行ごとに行なってください。(次の図参照)

- 車載ジャッキでタイヤのローテーションを行なうときは、応急用スペアタイヤ(市販品)などを使用して1輪ずつ交換します。

→ **8-28ページ** (ジャッキアップ)

- タイヤパンク応急修理セット装備車には、応急用スペアタイヤが装備されていないため、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。



80J305

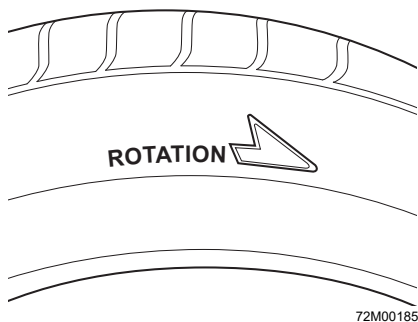
注 記

回転方向指定のあるタイヤを逆に装着すると、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

回転方向指定のあるタイヤをローテーションするときは、回転方向を逆にしないでください。

⚠️ アドバイス

回転方向指定のあるタイヤは、側面に図のような“ROTATION”の文字と、回転方向を示す矢印が刻印されています。

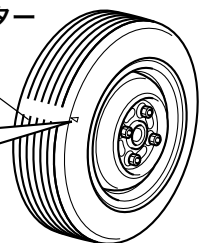


- 上図のタイヤは代表例です。

タイヤ交換するときは

- タイヤの指定サイズと指定空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。
- 走行中にハンドルや車体に振動が出る場合は、タイヤのバランスを点検してください。
- 取り付ける前にタイヤの摩耗状態を点検してください。ウェアインジケーター（溝の深さが 1.6mm 浅い部分）が現れて溝の一部が消えていたら、ほかのタイヤと交換してください。

ウェアインジケーター (摩耗限度表示)



82K135

⚠ 警告

4輪とも指定のサイズではなく、メーカー、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一ではないもの、もしくは著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用すると、燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。（冬用タイヤも同様です）

指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のタイヤを装着してください。

●正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、次の機能が正常に作動しない場合があります。

- ・ABS
- ・エマージェンシーストップシグナル（ESS）
- ・ESP[®]
- ・デュアルカメラブレーキサポート（タイプ別装備）
- ・誤発進抑制機能（タイプ別装備）
- ・車線逸脱抑制機能（タイプ別装備）
- ・アダプティブクルーズコントロール（タイプ別装備）
- ・アダプティブクルーズコントロール（全車速追従機能付）（タイプ別装備）
- ・後退時ブレーキサポート（タイプ別装備）
- ・後方誤発進抑制機能（タイプ別装備）

●4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。

携帯リモコンの電池交換

⚠ 警告

電池が小さいため、お子さまが誤って飲み込むと、のどなどに詰まらせて重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながる可能性があります。

電池および取り外した部品は、お子さまが誤って飲み込まないように注意してください。

注 記

- 故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・濡れた手で電池交換をしない
 - ・電池以外の端子や電子部品に触れない
 - ・端子を曲げない
 - ・油や異物を付着させない
- お客様ご自身で電池を交換される場合は、静電気により携帯リモコンが破損するおそれがあるため、金属部分に触れて身体や衣類の静電気を除去してください。

🔧 アドバイス

- 電池交換の際、携帯リモコンを破損するおそれがありますので、スズキ販売店またはスズキ代理店での交換（有料）をおすすめします。
- 電池は、製造年をお確かめのうえスズキ販売店や家電量販店・ホームセンターなどでご購入ください。

使用電池 リチウム電池CR2032

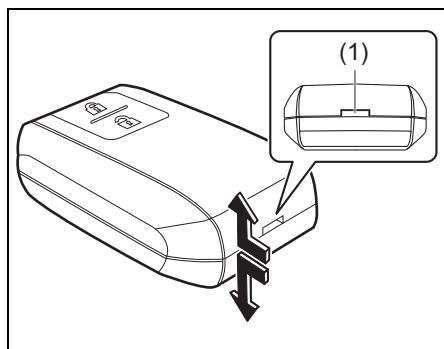
1 携帯リモコンのケースを分割します。

- 携帯リモコンに格納されているエマージェンシーキーを取り出します。

→ **3-13ページ**

(携帯リモコン)

- リモコンの側面にある溝 (1) へ力を加えて、ケースを分割します。



73S020020

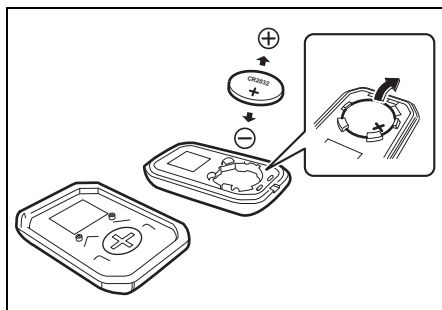
- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

注 記

- 内部ユニットを破損するおそれがあります。ケースを分割するときは注意してください。
- お客様ご自身で電池を交換される場合は、静電気により携帯リモコンが破損するおそれがあるため、金属部分に触れて身体や衣類の静電気を除去してください。

2 電池を交換します。

- 古い電池を取り出します。
- 電池は、+極を上にして取り付けます。



83S09320

3 ケースを組み付けます。

- ケースのあわせ部分のすきまが均等になるように確実にはめ込みます。

注 記

ケースの組み付けはあわせ部分のすきまが均等になるように、確実にはめ込んでください。すきまから水などが進入することにより、携帯リモコンが正常に動作しなくなるおそれがあります。

4 携帯リモコンが正常に作動するか確認します。

■ 携帯リモコン電池消耗警告灯 ／携帯リモコン電池消耗警告 のリセットのしかた

電池交換前に携帯リモコン電池消耗警告灯、または携帯リモコン電池消耗警告が表示されていた場合は、電池交換後に次の操作を行なって警告表示をリセットしてください。

- キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を2回以上繰り返す
→ 3-11ページ
(キーレスエントリー)
→ 3-15ページ
(携帯リモコン電池消耗警告)

🔧 アドバイス

所持している予備の携帯リモコンの電池が正常な場合、予備の携帯リモコンで上記の操作を行なっても警告表示をリセットできます。

ワイパーブレードラバー の交換

注 記

- ワイパーブレードラバーが傷んでい
ると、ふき取りがきれいにできな
かったり、ガラスに傷がついたりす
るおそれがあります。
定期的にワイパーブレードラバーを
点検し、傷んでいる場合は交換して
ください。
- ワイパーアームおよびワイパーブ
レードがガラスに当たると、ガラス
が破損したり傷がついたりするおそ
れがあります。
ワイパーブレード、ブレードラバー
を交換するときはガラスに当たらない
ようにしてください。

🔧 アドバイス

ワイパーブレード、ブレードラバーはスズキ純正品の使用をおすすめします。スズキ純正品以外のものを使用すると適切に取り付けできないおそれがあります。

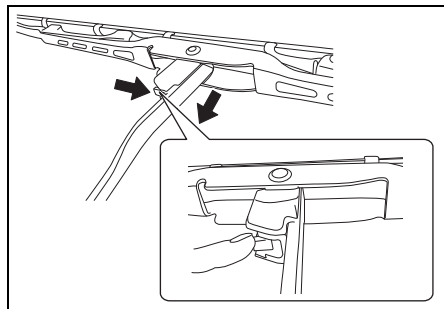
フロントワイパー

- 1 ワイパーアームを起こします。



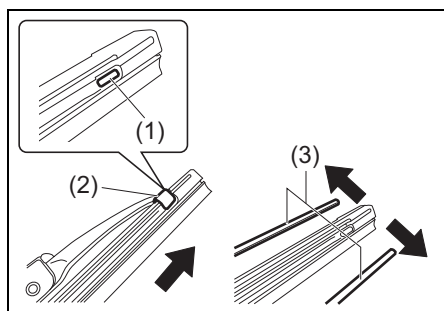
83S09010

- 2 脱着用のツメを押しながらワイパーブレードをワイパーアームから外します。



52R60070

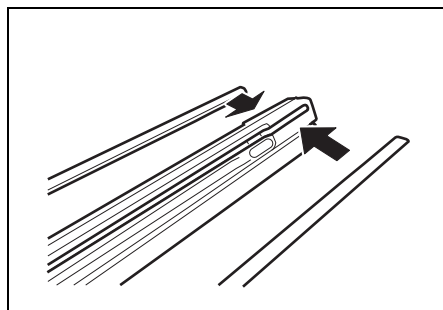
- 3 ブレードラバーのストッパー (1) がツメ (2) から外れるまで引っ張り出し、そのままブレードから引き抜きます。ブレードラバーからリテーナー (3) を引き抜きます。



63R60150

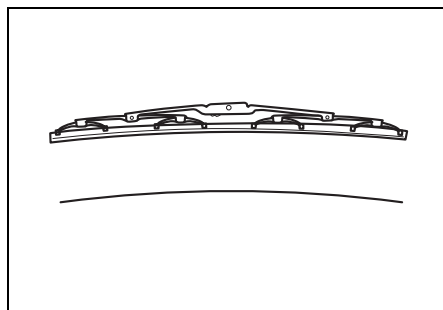
- (1) ストッパー
(2) ツメ
(3) リテーナー

- 4 新品のブレードラバーにリテーナーを取り付けます。



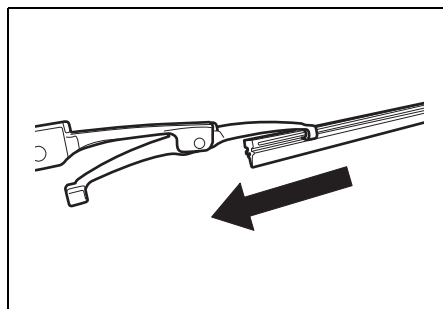
63R60160

- リテーナーは、反りの向きを次の図のように合わせて取り付けてください。



63R60170

- 5 ブレードラバーをワイパーブレードに差し込みます。ブレードラバーを取り付けるときは、ストッパーのない方からワイパーブレードに差し込みます。

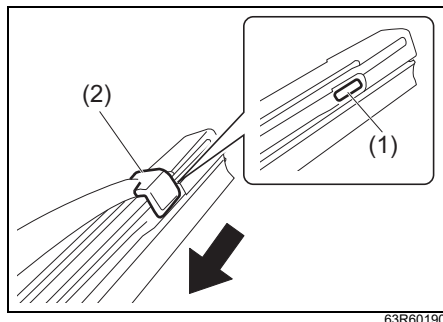


63R60180

注 記

ブレードラバーは、ストッパーのある側が運転席側になるように取り付けてください。ワイパーの作動中にブレードラバーがずれるおそれがあります。

- 6 ワイパーブレードのツメをストッパーに押し込んでブレードラバーを確実に固定します。



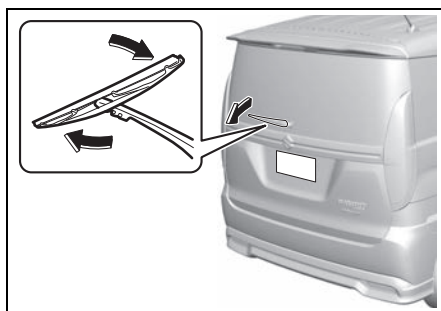
(1) ストッパー (2) ツメ

- 7 ワイパーアームにワイパーブレードを取り外したときと逆の手順で取り付けます。ワイパーブレードがワイパーアームに確実に固定されていることを確認してください。

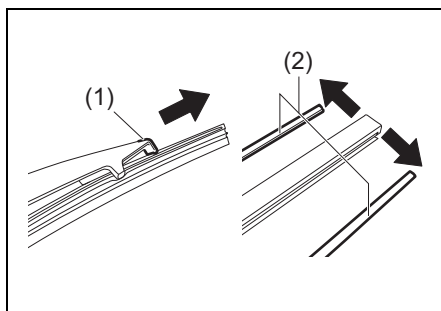
- 8 助手席側、運転席側の順にワイパーアームをもどします。

リヤワイパー

- 1 ワイパーアームを起こします。起こしたあと、ワイパーブレードを回転させてワイパーブレードをワイパーアームから外します。

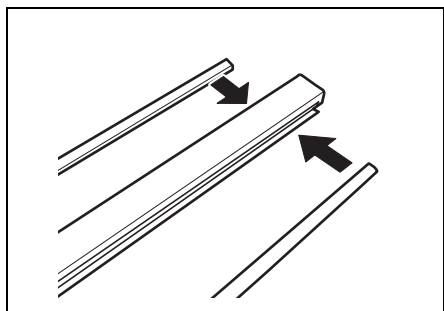


- 2 ブレードラバーの先端を引っ張りワイパーブレードのストッパー (1) から外し、そのまま引き抜きます。取り外したブレードラバーからリテーナー (2) を取り外します。



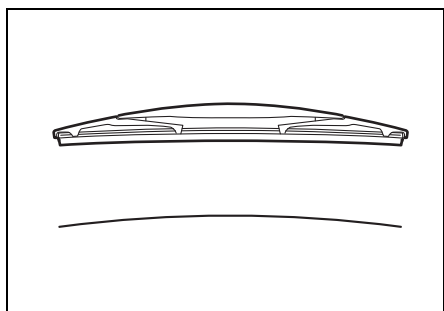
(1) ストッパー (2) リテーナー

- 3 新品のブレードラバーにリテーナーを取り付けます。



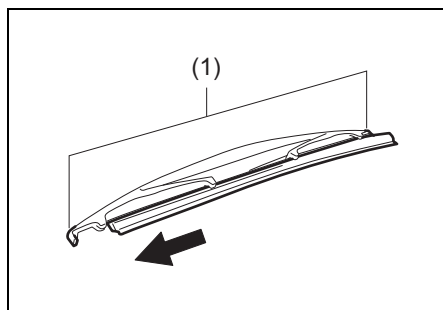
63R60220

- リテーナーは、反りの向きを次の図のように合わせて取り付けてください。



63R60230

- 4 ブレードラバーをワイパーブレードに差し込みます。ブレードラバーの両端がワイパーブレードの両端のストッパー(1) 内に収まるように確実に取り付けます。

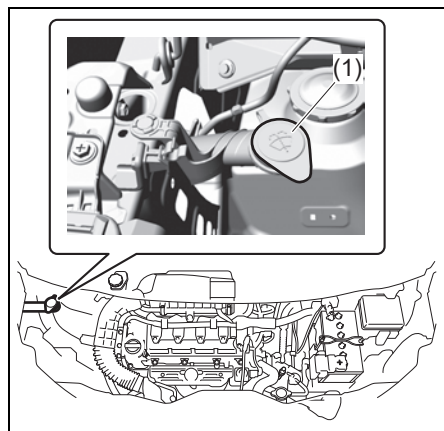


63R60240

- 5 ワイパーアームにワイパーブレードを取り外したときと逆の手順で取り付けます。ワイパーブレードがワイパーアームに確実に固定されていることを確認してください。そのあと、ワイパーアームをもどします。

ウインドーウォッシャー液の補充

ウインドーウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップ (1) を開け、ウインドーウォッシャー液を補充します。



- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 警告

ウインドーウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火のおそれがあります。

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウインドーウォッシャー液を補充しないでください。

⚠ 注意

ウインドーウォッシャー液の取扱いに関する注意は、容器に記載してありますのでよくお読みください。

注 記

- 液が空のまま使用すると、ポンプが破損するおそれがあります。
- キャップにある穴が詰まると、噴射不良を起こすおそれがあります。液の出かたが悪い場合は、この穴も点検してください。
- ウインドーウォッシャー液の代わりに石鹼水などを入れないでください。塗装がしみになるおそれがあります。
- 水だけの補充はしないでください。冬期に凍って、ウインドーウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

🔧 アドバイス

スズキエクスターウインドーウォッシャー液は、薄める割合で凍結温度が異なります。車の使用地域の最低気温にあわせて、次の表を参考に薄めてください。

→ 9-36ページ

(ウインドーウォッシャー液)

薄める割合は、使用するウインドーウォッシャー液により異なります。ウインドーウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

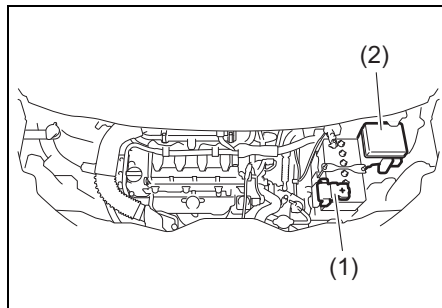
ヒューズが切れたときは

電気装置が作動しないときや、電球が切れていないのにランプが点灯しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

- ヒューズは、エンジンルーム内と助手席足元にあります。
- 装備仕様の違いにより、所定の位置にヒューズがない場合があります。また、装備がなくてもヒューズだけがある場合があります。

エンジンルーム内のヒューズ

ハイブリッド車以外



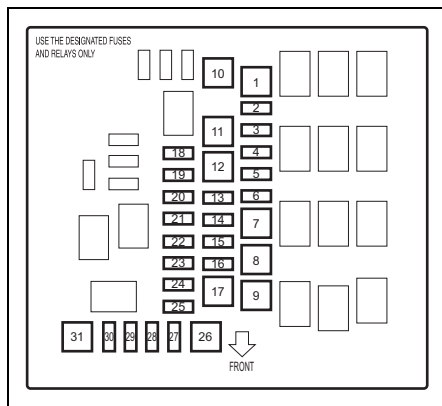
81P70190

(1) メインヒューズボックス

(2) リレーボックス

■ リレーボックス内のヒューズ

ヒューズの表は、ボックスのふたの裏側にあります。



81P70200

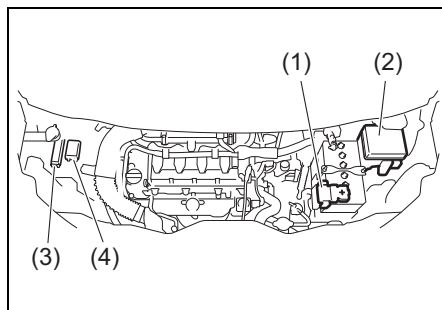
部品の交換

● 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な
装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	P/S	50A	パワー ステアリング
2	—	—	—
3	CPRSR	10A	コンプレッサー
4	H/L HI SOL	25A	ディスチャージ ヘッドライト、 LEDヘッドライ ト
5	H/L L	15A	ヘッドライト (左)
6	H/L R	15A	ヘッドライト (右)
7	ST	30A	スターター
8	RDTR	30A	ラジエーター ファン
9	ST2	30A	スターター
10	IGN2	40A	エンジン スイッチ
11	—	—	—
12	—	—	—
13	B/U	30A	バックアップ
14	PSD L	20A	パワースライド ドア (左)
15	FR FOG	20A	フォグランプ
16	SUB BAT	30A	サブバッテリー

位置	表示	容量	接続先名称
17	BLW	40A	ブローファン
18	—	—	—
19	ST SIG	5A	エンジン コントローラー
20	—	—	—
21	H/L HI L	15A	ディスチャージ ヘッドライト、 LEDヘッドライ ト (左)
22	H/L HI R	15A	ディスチャージ ヘッドライト、 LEDヘッドライ ト (右)
23	—	—	—
24	T/M PUMP	15A	電動 オイルポンプ
25	FI	15A	燃料噴射装置
26	ABS MOT	40A	ABS モーター
27	ABS SOL	25A	ABS ソレノイド
28	PSD R	20A	パワースライド ドア (右)
29	RR BLW	10A	リヤブロー ファン
30	—	—	—
31	IGN	40A	エンジン スイッチ

ハイブリッド車



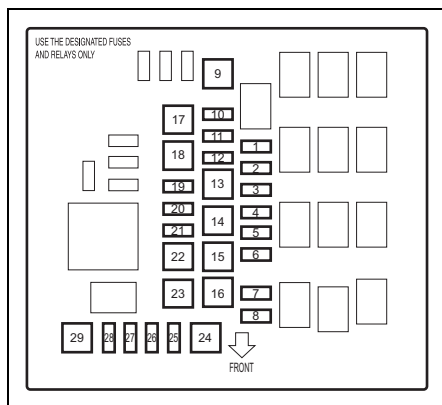
83S07510

- (1) メインヒューズボックス
- (2) リレーボックス No.1
- (3) リレーボックス No.2
- (4) リレーボックス No.3

■ リレーボックス内のヒューズ

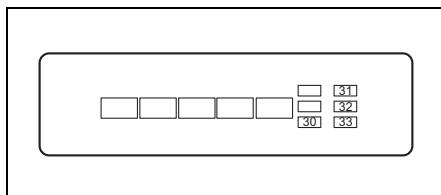
ヒューズの表は、ボックスのふたの裏側にあります。

リレーボックス No.1



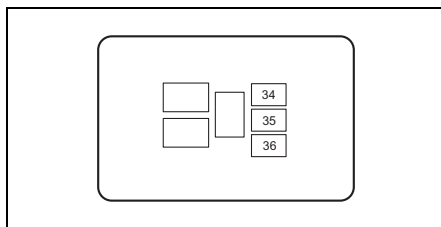
83S07520

リレーボックス No.2



83S07530

リレーボックス No.3



83S07540

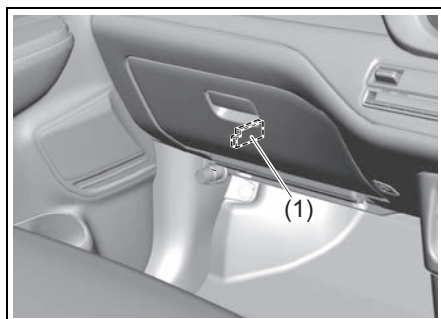
- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	HEV3	10A	ハイブリッドシステム
2	METER	10A	スピードメーター
3	H/L HI L	15A	ヘッドライト (左)
4	H/L HI R	15A	ヘッドライト (右)
5	RR BLW	10A	リヤプロワーファン
6	ST SIG	5A	エンジンコントローラー
7	HEV2	30A	ハイブリッドシステム
8	H/L HI SOL	25A	ヘッドライト

位置	表示	容量	接続先名称
9	IGN	40A	エンジン スイッチ
10	PSD L	20A	パワースライド ドア (左)
11	PSD R	20A	パワースライド ドア (右)
12	B/U	30A	バックアップ
13	RDTR	30A	ラジエーター ファン
14	T/M PUMP	30A	オートギヤシフ ト (AGS)
15	SUB BAT	60A	サブバッテリー
16	VAC PUMP	40A	電動負圧 ポンプ
17	ST	30A	スターター
18	IGN2	40A	エンジン スイッチ
19	FR FOG	20A	フォグランプ
20	FI	15A	燃料噴射装置
21	CPRSR	10A	コンプレッサー
22	—	—	—
23	BLW	40A	ブローファン
24	ABS MOT	40A	ABS モーター
25	H/L R	15A	ヘッドライト (右)
26	H/L L	15A	ヘッドライト (左)

位置	表示	容量	接続先名称
27	ABS SOL	25A	ABS ソレノイド
28	B/U2	30A	バックアップ
29	P/S	50A	パワー ステアリング
30	VAC SIG	5A	ハイブリッド コントローラー
31	BTRY FAN	10A	バッテリー ファン
32	WTR PUMP	10A	冷却水ポンプ
33	HEV	20A	ハイブリッド システム
34	SUB HTR2	40A	PTCヒーター
35	—	—	—
36	SUB HTR	40A	PTCヒーター

助手席足元のヒューズ

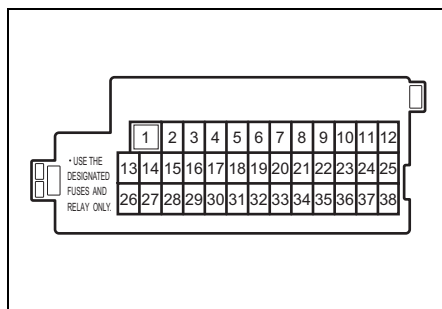


3S09030

(1) 助手席足元のヒューズ

■ 助手席足元のヒューズ

ヒューズの表は、ヒューズカバーの表側にあります。



81P70220

- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	P/W	30A	パワーウインドー
2	ACC	5A	ラジオ
3	MTR	10A	メーター
4	IG	15A	イグニッション
5	IG1 SIG2	5A	パワーステアリング
6	CONT	5A	コントローラー
7	T/M 2	5A	—
8	STL	15A	電動ハンドルロック
9	HORN	15A	ホーン
10	D/L	20A	ドアロック
11	HAZ	10A	ハザード
12	T/M	10A	—
13	RADIO	15A	ラジオ
14	ACC2	15A	アクセサリソケット
15	IG1 SIG3	5A	デュアルカメラブレーキサポート
16	ACC3	5A	—

位置	表示	容量	接続先名称
17	DOME2	10A	室内灯
18	DOME	5A	メーター
19	KEY	5A	—
20	注) P/W T	20A	パワーウイン ドタイマー機 能
21	USB	10A	USB
22	KEY 2	5A	—
23	TAIL L	5A	車幅灯
24	A-STOP	5A	アイドリング ストップ
25	TAIL	10A	尾灯
26	IG1 SIG	10A	アイドリングス トップ、BCM
27	A/B	10A	エアバッグ
28	BACK	10A	後退灯
29	ABS	5A	ABS、ESP®
30	MRR HTR	10A	ドアミラー ヒーター
31	RR DEF	15A	リヤデフォッ ガー
32	S/H	10A	シートヒーター
33	WIP	10A	ワイパー

位置	表示	容量	接続先名称
34	IG2 SIG	5A	ブローファン
35	WASH	15A	ウォッシャー モーター
36	T/M 3	10A	トランス ミッション
37	FR WIP	20A	フロント ワイパー
38	STOP	10A	制動灯

注) P/W Tのヒューズを外したり交換し
たりしたときは、はさみ込み防止機
構の初期設定を行なってください。

→ **3-36ページ**

(初期設定のしかた)

ヒューズの点検と交換

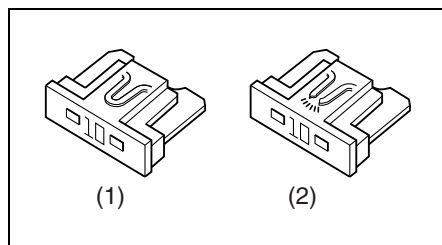
ヒューズの点検・交換には、ヒューズ抜き（低背ヒューズ用、市販品）および交換用ヒューズ（別売り）が必要となります。点検・交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠ 警告

サイズの違うヒューズ、容量の大きいヒューズ、針金、銀紙などを使用すると、配線が焼損したり火災が発生したりする原因となります。ヒューズは、同じサイズで同じ容量のものと交換してください。

点検・交換のしかた

- 1 エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にします。
- 2 エンジンルーム内のリレーボックスでは、ボックスのふたを外します。助手席足元のヒューズでは、ヒューズのふたを外します。
- 3 故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズの表で確認します。ヒューズ抜き（市販品）をヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか点検します。
- 4 切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。
 - 交換したヒューズがすぐに切れるときは、電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。



82K208

- (1) 正常なヒューズの例
(2) 切れたヒューズの例

電球の点検

ライトやランプ、方向指示器／非常点滅表示灯などを点灯または点滅させて、電球切れがないか点検してください。

⚡️アドバイス

- 制動灯はほかの人に見てもらるか、壁などを利用して点検してください。
- メーター内の方向指示器表示灯の点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。

ヘッドライトなどのレンズ内面のくもり

ヘッドライトやリヤコンビネーションランプなどは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が曇ることや結露することがあります。これは、ランプ内外の温度差により一時的に起こる現象です。

（雨天時などに窓ガラスが曇るのと同じ現象です。）

また、レンズの縁に水滴が付着しランプ内に水が入っているように見えることがあります。これは、ランプの外側に水が付着することで一時的に起こる現象です。

これらは機能上の問題はありません。

ただし、ランプ内に実際に水がたまっているときやレンズ内面に大粒の水滴がついているときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

電球を交換するときは

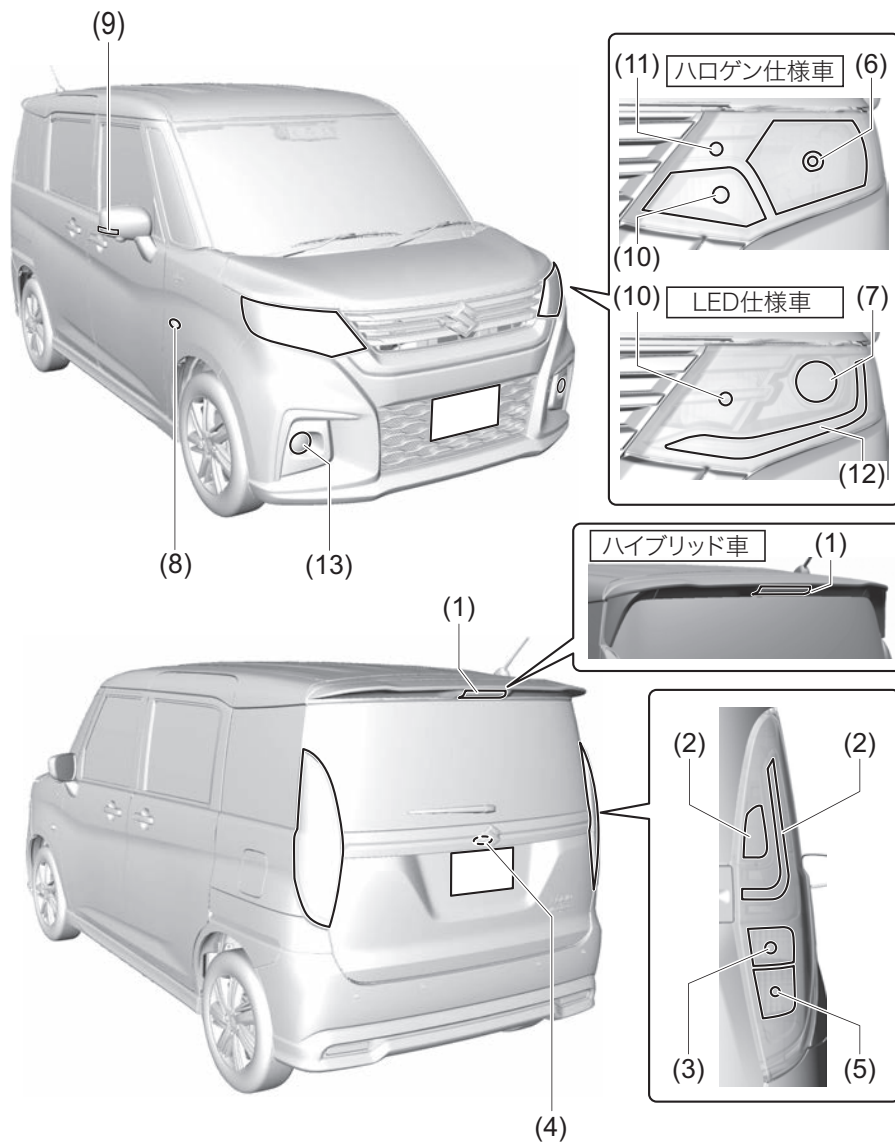
電球が切れているときは、ワット数および型式が同一の電球と交換してください。

電球のワット数および型式は、**9-26、9-28 ページ**の「**電球の容量**」をご覧ください。

- 電球を交換しても点灯しない、またはすぐ切れるときは電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

■ 電球の位置

ソリオ



■ 電球の容量

番号	名 称		ワット数(型式)
(1)	ハイマウントストップランプ		LED(※1)
(2)	制動灯／尾灯		LED(※2)
(3)	方向指示器／ 非常点滅表示灯	後面	21W(WY21W) (※3)
(4)	番号灯		5W(W5W)(※3)
(5)	後退灯		16W(W16W) (※3)
(6)	ヘッドライト	ハロゲンヘッドライト車	60/55W(H4)
(7)		LEDヘッドライト車	LED(※1)
(8)	方向指示器／ 非常点滅表示灯	側面	フェンダー 5W(※1)
(9)			ドアミラー LED(※1)
(10)		前面	21W(WY21W) (※3)
(11)	車幅灯	ハロゲンヘッドライト車	5W(W5W)(※3)
(12)		LEDヘッドライト車	LED(※1)
(13)	フォグランプ		LED(※1)

- 表に記載されている次の電球の場合、点検・交換の際はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※1 非分解式のランプのため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。

※2 点灯しないときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※3 ウエッジタイプの電球

→ **9-30ページ (車幅灯)**

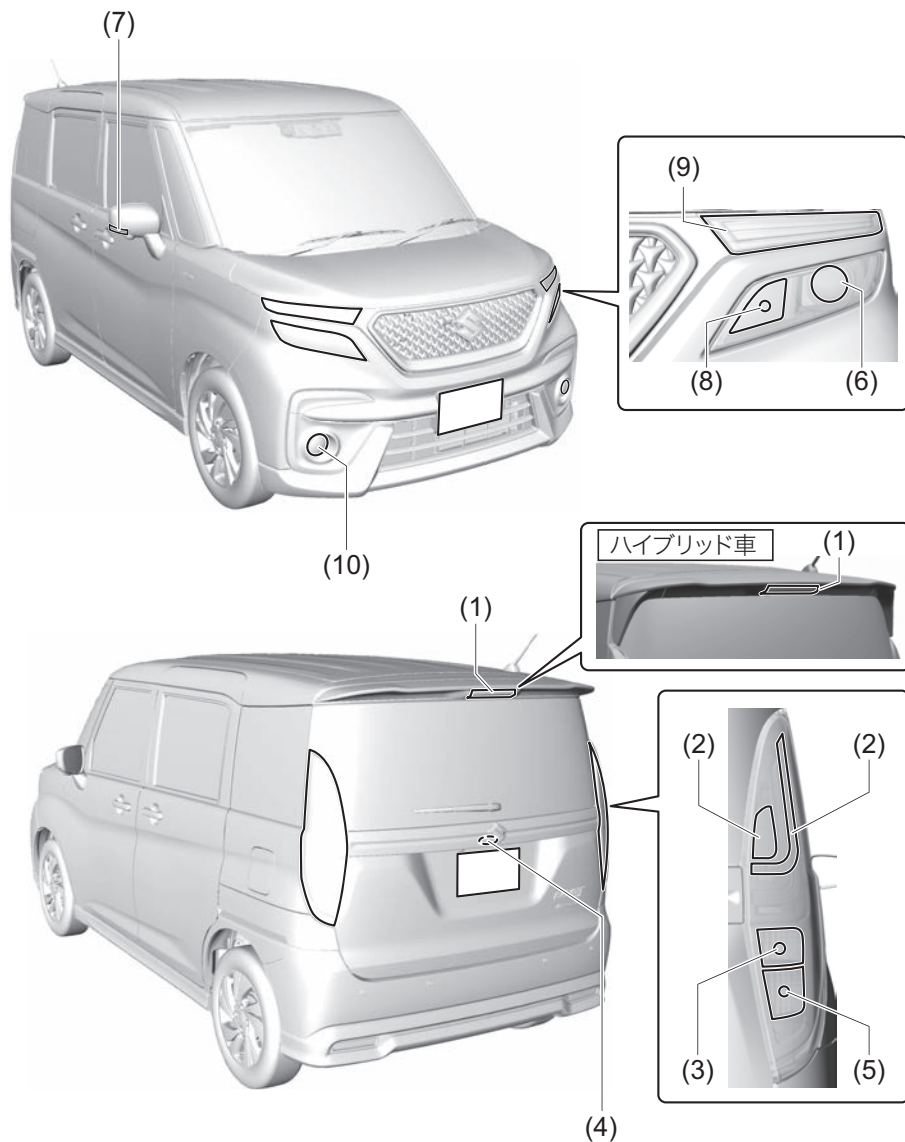
→ **9-31ページ (方向指示器／非常点滅表示灯 (前面))**

→ **9-33ページ (方向指示器／非常点滅表示灯 (後面)／後退灯)**

→ **9-34ページ (番号灯)**

■ 電球の位置

ソリオ バンディット



■ 電球の容量

番号	名 称		ワット数(型式)
(1)	ハイマウントストップランプ		LED(※1)
(2)	制動灯／尾灯		LED(※2)
(3)	方向指示器／ 非常点滅表示灯	後面	21W(WY21W) (※3)
(4)	番号灯		5W(W5W)(※3)
(5)	後退灯		16W(W16W) (※3)
(6)	ヘッドライト		LED(※1)
(7)	方向指示器／ 非常点滅表示灯	ドアミラー	LED(※1)
(8)		前面	21W(WY21W) (※3)
(9)	車幅灯		LED(※1)
(10)	フォグランプ		LED(※1)

- 表に記載されている次の電球の場合、点検・交換の際はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※1 非分解式のランプのため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。

※2 点灯しないときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※3 ウエッジタイプの電球

- **9-31ページ** (方向指示器／非常点滅表示灯 (前面))
- **9-33ページ** (方向指示器／非常点滅表示灯 (後面)／後退灯)
- **9-34ページ** (番号灯)

▲ 注意

電球を交換するときは、次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故を起こしたり、やけどやけがなどをするおそれがあります。

- 安全で平らな場所に駐車し、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。
- エンジンを止め（ハイブリッドシステムを停止し）、各ランプを消灯させ、エンジンや排気管、電球などが十分に冷えてから行なってください。やけどのおそれがあります。
- ハロゲン電球は高圧ガスを封入しているため、とくに慎重に扱ってください。割れるとガラスが飛散して、けがのおそれがあります。
- 車両の部品などで手や腕などをけがしないよう、長袖の上着と手袋を着用してください。



51K0180

注 記

ハロゲン電球を素手で扱ってガラス部分に油などが付着すると、使用時電球が高温になるため、発熱による早期電球切れのおそれがあります。

ハロゲン電球を扱うときは、油脂類が付着していない、きれいな手袋をはめてください。

非分解式ランプ

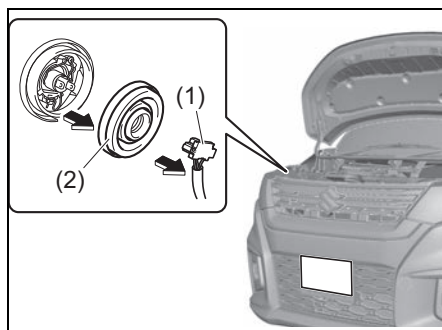
次のランプは非分解式のため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。点検・交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- LEDヘッドライト（タイプ別装備）
- LEDヘッドライト車の車幅灯
- フロントフォグランプ（タイプ別装備）
- 方向指示器／非常点滅表示灯（フェンダーまたはドアミラー）
- ハイマウントストップランプ
- 制動灯 / 尾灯（リヤコンビネーションランプ）

ハロゲンヘッドライト

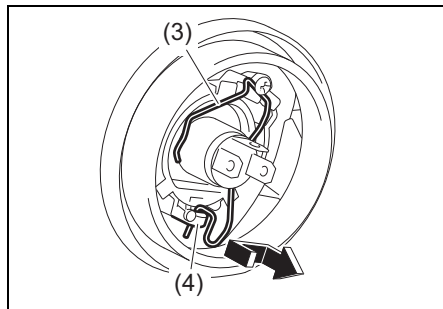
タイプ別装備

- 1 ボンネットを開けます。
→ 7-6ページ（ボンネット）
- 2 カブラー（1）は、カブラー本体をしっかり持って車両後方へまっすぐ引いて外します。
ゴムカバー（2）を引いて外します。



83S09060

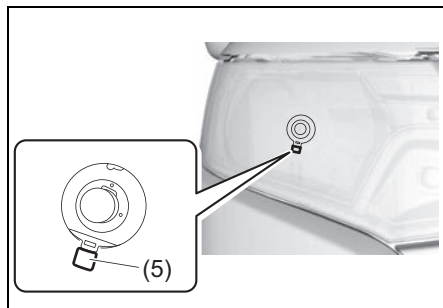
- 3** 止め金 (3) を図の矢印のように、押しながらずらして固定フック (4) から外します。



83S09070

⚠️ アドバイス

止め金の固定状態は、電球下側の穴 (5) を通して車両前方からも確認できます。



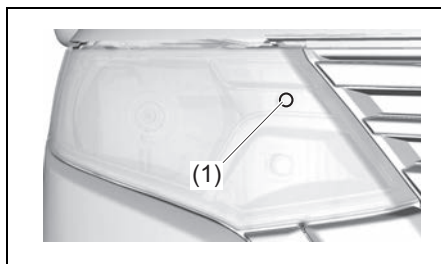
83S090080

- 4** 電球を外します。交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

車幅灯

ハロゲンヘッドライト車

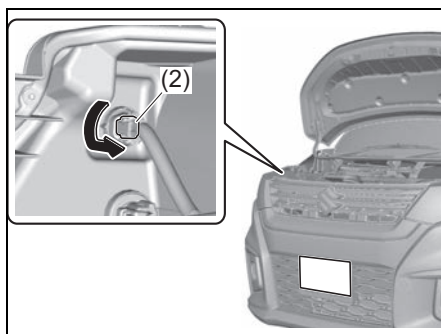
- 1** ボンネットを開け、エンジンルーム内から交換します。
→ **7-6ページ (ボンネット)**



83S09090

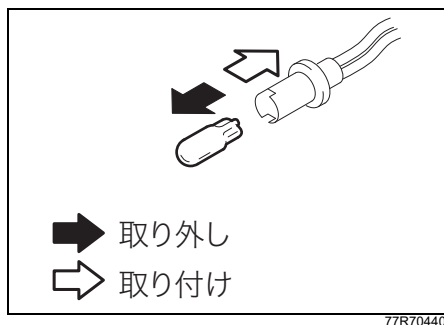
- (1) 車幅灯

- 2** 電球 (ソケット一体式) (2) は、反時計方向にまわして外します。



83S09100

- 3 電球は図のように抜き差しします。

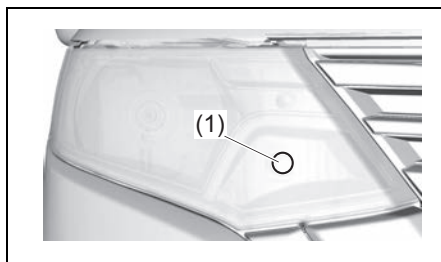


- 4 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

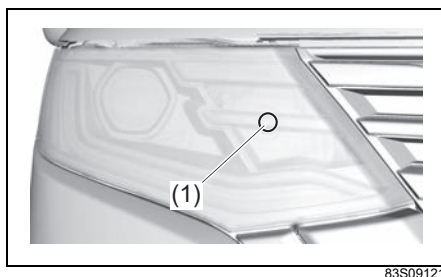
方向指示器／非常点滅表示灯 (前面)

- 1 ボンネットを開け、エンジンルーム
内から交換します。
→ 7-6ページ (ボンネット)

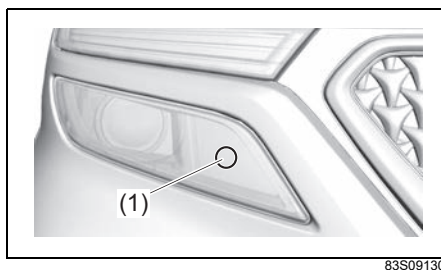
ハロゲンヘッドライト車



LEDヘッドライト車 (ソリオ)



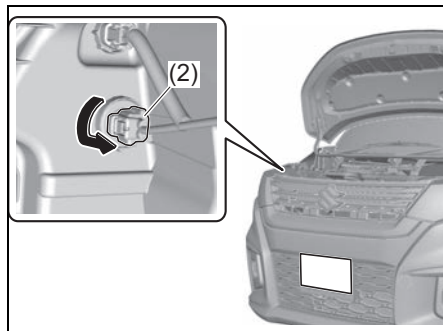
LEDヘッドライト車 (ソリオバンディット)



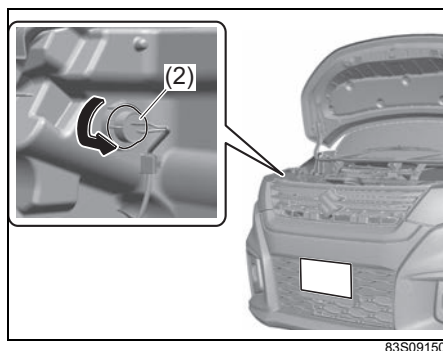
(1) 方向指示器／非常点滅表示灯(前面)

- 2** 電球（ソケット一体式）（2）は、反時計方向にまわして外します。

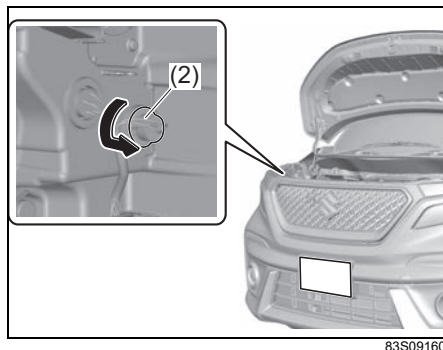
ハロゲンヘッドライト車



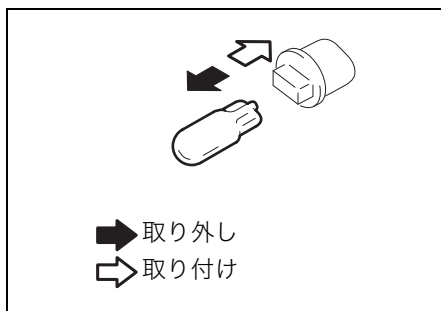
LEDヘッドライト車（ソリオ）



LEDヘッドライト車（ソリオバンディット）



- 3** 電球は図のように抜き差しします。



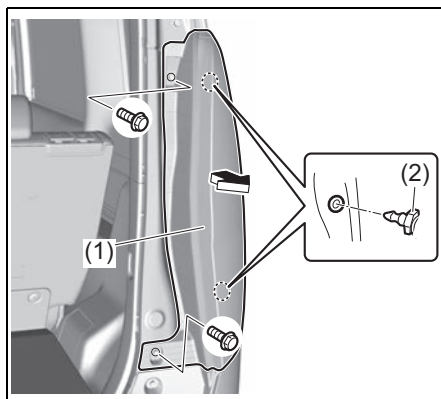
79R030716

- 4** 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

リヤコンビネーションランプ

- 1 バックドアを開け、ランプ全体を外してから交換します。

- ボルト2個を外します。
- ランプ本体は、まっすぐ車両後方へ引いて外します。



83S09170

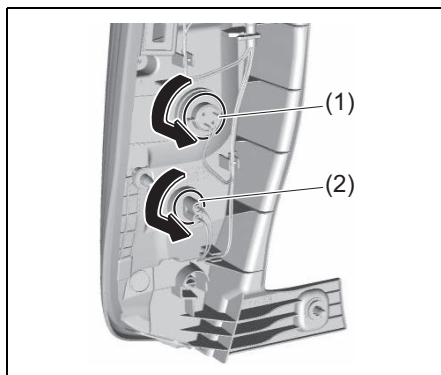
(1) リヤコンビネーションランプ

- 2 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどしますが、次の点に注意ください。

- ランプ本体をもとにもどすときは、クリップ2か所(2)を車体側の穴にあわせて押し込みます。

■ 方向指示器／非常点滅表示灯(後面)／後退灯

- 1 方向指示器／非常点滅表示灯のソケット(1)および後退灯のソケット(2)は、反時計方向にまわして外します。

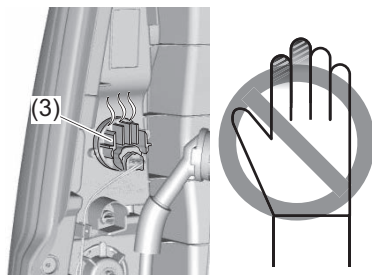


83S09180

⚠ 注意

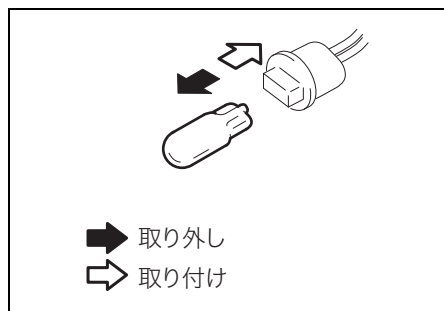
制動灯は、使用直後は裏側の放熱板(3)が高温になるため、やけどのおそれがあります。

方向指示器／非常点滅表示灯(後面)および後退灯を交換するときは、放熱板に触れないでください。



83S09191

- 2 電球は図のように抜き差しします。



77R70460

- 3 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

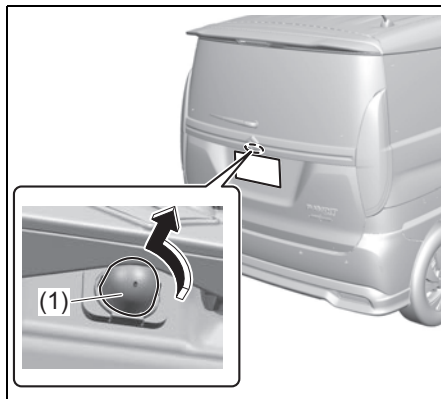
■ 制動灯／尾灯

◆ アドバイス

制動灯／尾灯が点灯しないときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

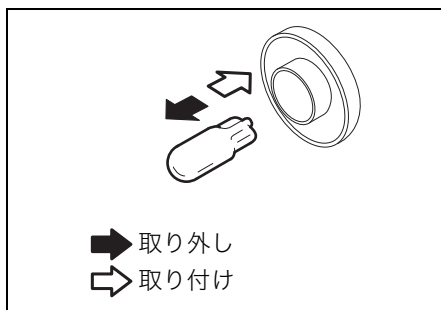
番号灯

- 1 レンズ (1) を反時計方向にまわして外します。



83S09200

- 2 電球は図のように抜き差しします。



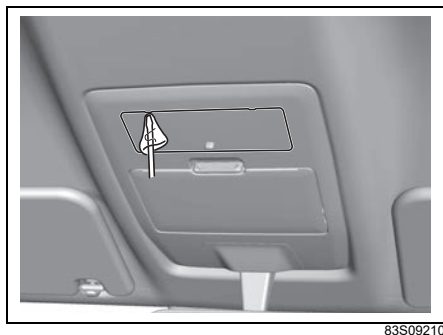
79R030718

- 3 交換後は外したときと逆の手順でもとにもどします。

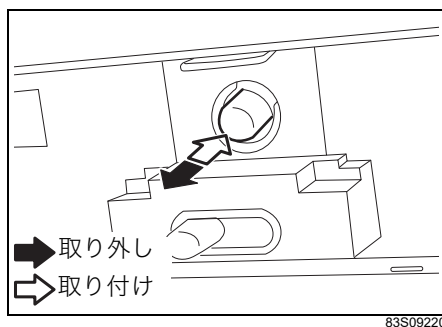
室内灯

■ 前室室内灯

- 1 先端に布をかぶせたマイナスドライバー（市販品）を使用してレンズを取り外します。



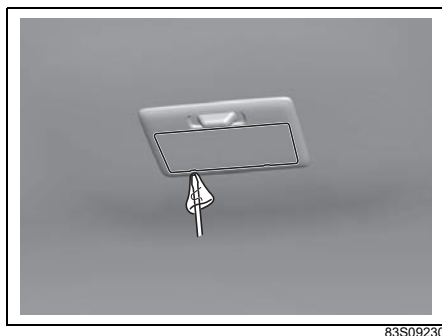
- 2 電球は図のように抜き差しします。



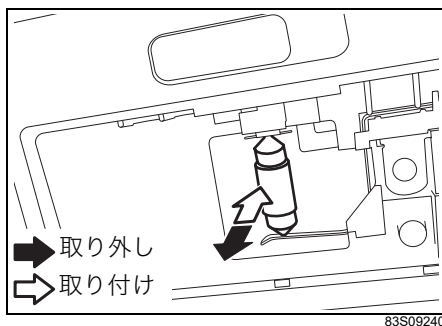
- 3 交換後は外したときと逆の手順でもとにもどします。

■ 後室室内灯

- 1 先端に布をかぶせたマイナスドライバー（市販品）を使用してレンズを取り外します。



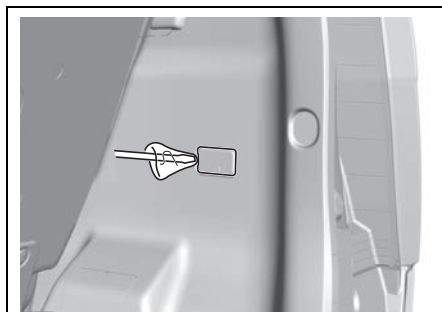
- 2 電球は図のように抜き差しします。



- 3 交換後は外したときと逆の手順でもとにもどします。

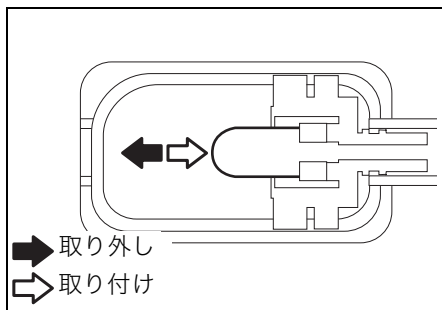
■ 荷室室内灯

- 1 先端に布をかぶせたマイナスドライバー（市販品）を使用してレンズを取り外します。



83S09250

- 2 電球は図のように抜き差しします。



83S09260

- 3 交換後は外したときと逆の手順でもともどします。

冬期に入る前の準備

ウインドーウォッシャー液

凍結を防ぐため、外気温に応じた割合で配合してください。

〈スズキエクスターウインドーウォッシャー液の場合〉

使用地域・季節	薄める割合	凍結温度
通 常	原液1に水3	約-5℃
温暖地の冬期	原液1に水2	約-9℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	約-15℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	約-40℃

鉛バッテリー

鉛バッテリーの液量や比重を点検してください。寒くなるとバッテリーの性能が下がり、弱っているバッテリーではエンジンがかかりにくくなります。

→ 5-4ページ

（鉛バッテリーの液面を点検する）

冷却水

エンジン内部の腐食および凍結防止のため、指定の冷却水をお使いください。

→ 10-1ページ（サービスデータ）

→ メンテナンスノート（日常点検）

⚠️ アドバイス

冷却水の濃度点検および交換は、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。

スノーブレード (別売り)

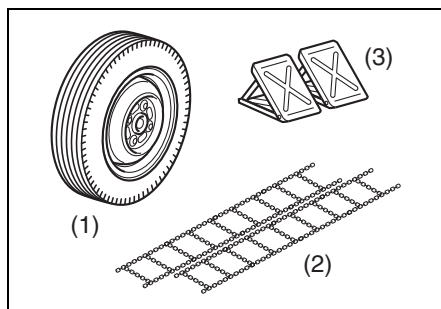
スノーブレード (降雪地用ワイパーブレード) は、金属部分をゴムで覆って雪の付着を少なくするものです。標準装備のワイパーブレードでは、降雪時に雪が付着し、ふき取りにくくなることがありますので、必要に応じて交換してください。

⚡️アドバイス

- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなることがあります。その場合には、車のスピードを落としてください。
- 雪の降らない時季は、通常のワイパーブレードのご使用をおすすめします。
- スノーブレードはスズキ純正品の使用をおすすめします。スズキ純正品以外のものを使用すると適切に機能しないおそれがあります。

冬用タイヤ、タイヤチェーン、輪止め

雪道や凍結路を走行するために必要です。



82K139

- (1) 冬用タイヤ(市販品)
- (2) タイヤチェーン(別売り)
- (3) 輪止め(市販品)

出発の前に

屋根に積もった雪

出発の前に取り除いてください。走行時に落下して、視界をさまたげるおそれがあります。

- スズキ セーフティ サポート装備車の場合、フロントガラスに雪や霜などが付着していると、デュアルカメラブレーキサポート が正常に作動しない場合があります。

→ 5-78ページ (ステレオカメラ)



80J308

ワイパーの凍結

ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にワイパーを作動させると、ブレード部 (ゴムの部分) が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。



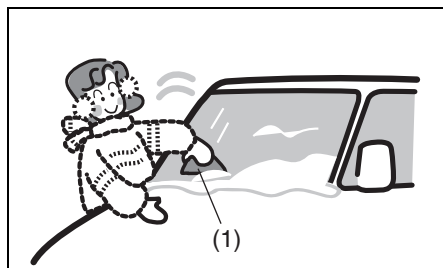
65P6006

ガラス面の雪や霜

プラスチックの板 (1) を使うと、ガラスを傷つけずに落とせます。

- スズキ セーフティ サポート装備車の場合、フロントガラスに雪や霜などが付着していると、デュアルカメラブレーキサポートが正常に作動しない場合があります。

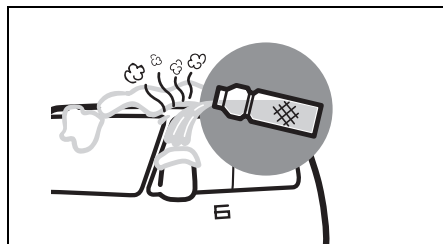
→ 5-78ページ (ステレオカメラ)



82K261

ドアミラーの凍結

ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にドアミラーを動かそうとすると、故障するおそれがあります。



65P60070

注 記

- ドアミラー格納スイッチの場合、ミラーを手で動かすことが可能かを確認してから、スイッチ操作を行ってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。

→ 2-11ページ

(ドアミラー格納スイッチ)

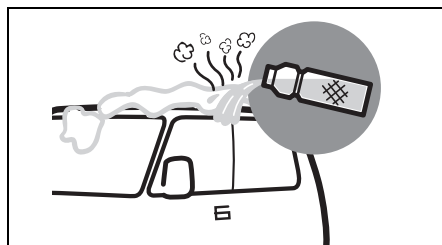
- リモート格納ミラーの場合、ドアミラーが凍結するような寒冷時は、リモート格納ミラーの機能を停止してください。凍結したまま動作を繰り返すと、故障の原因となります。

→ 2-12ページ

(リモート格納ミラー)

ドアの凍結

ぬるま湯をドアキーの穴を避けてかけます。ドアが開いたあとは水分をふき取ってください。凍結したまま無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、破損したりするおそれがあります。



65P60080

注 記

- パワースライドドアの場合、パワースライドドアメインスイッチを手動開閉位置にし、開閉可能かを手動で確認してから、自動開閉操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。

→ 3-22ページ（パワースライドドアメインスイッチ）

靴に付着した雪

乗車するときによく落としてください。そのまま乗車すると、ペダル操作時に滑ったり、車内の湿気が多くなってガラスがくもりやすくなったりします。



80J312

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

項 目		デ ー タ	
燃料	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン	
	タンク 容量	2WD車	32 L
		4WD車	30 L
エンジンオイル (※)	グレード	エクスターF SN 0W-16 プラス エクスターF SN 0W-20 エクスターF SN 5W-30	
		オイル交換時	3.1 L
	規定量	オイル、オイルフィルター同時交換時	
トランスミッション フルード (ハイブリッド車以外)	グレード	スズキCVTF グリーン2	
	規定量	5.73 L	
トランスミッション オイル (ハイブリッド車)	グレード	スズキ4輪ギヤオイル 75W シンセティック	
	規定量	1.6 L	
減速機 (PTOアシ ン) オイル (ハイブリッド車)	グレード	スズキ4輪ギヤオイル 75W シンセティック	
	規定量	0.6 L	
トランスファー オイル (4WD車)	グレード	スズキ4輪スーパーギヤオイル 75W-85	
	規定量	0.41 L	
リヤデファレン シャルオイル (4WD車)	グレード	スズキ4輪スーパーギヤオイル 75W-85	
	規定量	0.9 L	
冷却水	グレード	スズキ純正スーパーロングライフクーラント (青色)	
	規定量	ハイブリッド車以外	4.3 L
		ハイブリッド車	4.4 L

※ 適切なオイルのご使用方法については、**6-21 ページ**の「**エンジンオイルの規格／粘度**」をお読みください。0W-16は燃費性能に優れたオイルです。

- 油脂類などの交換時期、規定の冷却水濃度は、「**メンテナンスノート**」をご覧ください。
- 指定外のトランスミッションフルード（オイル）、ブレーキ液は絶対に入れないでください。

指定外のトランスミッションフルード（オイル）を使用すると、CVT / オートギヤシフト（AGS）が破損するおそれがあります。

トランスミッションフルード（オイル）の補充や交換が必要な場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

サービスデータ

項 目		デ ー タ		
ブレーキ液	グレード	スズキ純正ブレーキフルード（DOT-3）		
ウォッシャー液	グレード	スズキエクスターウインドーウォッシャー液		
	タンク容量	1.6 L		
スパークプラグ	タイプ	NGK：ILZKR6F11（イリジウム）		
	電極のすきま	1.0～1.1 mm		
バッテリー	タイプ	アイドリングストップシステム非装備車	46B24L	
		アイドリングストップシステム装備車／ハイブリッド車	鉛バッテリー	N-55
			リチウムイオンバッテリー	点検不要（※1）
ハイブリッド車	高電圧バッテリー			
フロントブレーキ	ディスク厚さ（※2）	基準値（新品時）	17.0 mm	
		限度値	15.0 mm	
リヤブレーキ	ドラム内径（※2）	基準値（新品時）	180 mm	
		限度値	181 mm	
ブレーキペダル	遊び	1～8 mm		
	床板とのすきま	94 mm 以上〔踏み込み力 300 N（31 kgf）〕		
パーキングブレーキペダル	踏みしろ	6～8ノッチ〔踏み込み力 300 N（31 kgf）〕		
ドライブベルト	たわみ量	自動調整式のため確認不要		
ハンドル	遊び	0～30 mm（ホイール外周）		
タイヤ	ローテーション	5,000 km走行ごと		

※1 完全に放電させてしまったリチウムイオンバッテリーは、再充電することができません。交換または廃棄については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※2 点検して限度値に達していたら、ディスクやドラムを新品に交換してください。なお、点検するには、ブレーキ装置の分解とマイクロメーターやキャリパーゲージによる測定が必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ 電球の容量（室内）

名 称	ワット数(型式)
前席室内灯	8W
後席室内灯	10W
荷室室内灯	5W

表に記載されている次の電球の場合、点検・交換の際はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ タイヤ／ホイール

タイヤの指定サイズと指定空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。

タイヤの空気圧

タイヤの種類	タイヤサイズ	空気圧	
標準タイヤ	165/70R14 81S	前輪	250 kPa (2.5 kgf/cm ²)
	165/65R15 81S	後輪	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)

ホイールのサイズ

タイヤ	適合ホイール		
	リムサイズ	インセット	取り付けピッチ円直径 (PCD)
165/70R14 81S	14 × 4 1/2J	45 mm	100 mm
165/65R15 81S	15 × 5J		

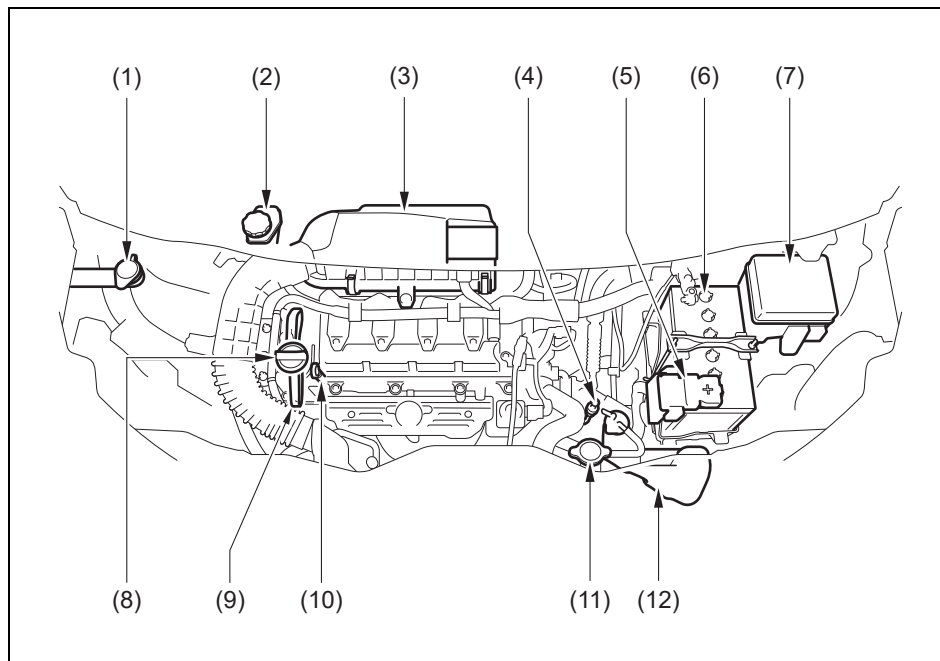
タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

エンジンルームをのぞいて

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

ハイブリッド車以外

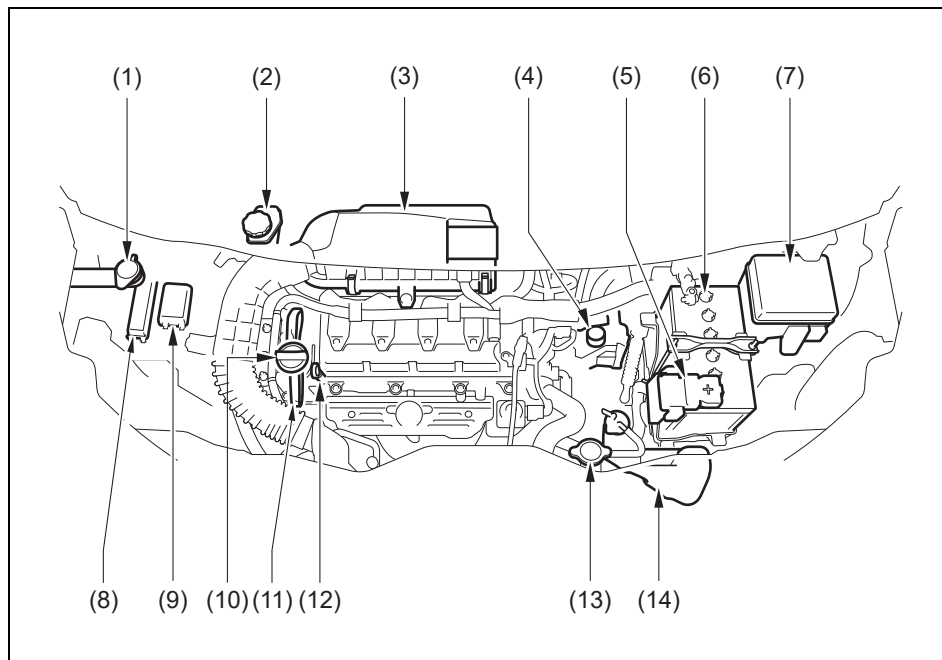


83S09271

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) ウォッシャータンク(※) | (7) リレーボックス |
| (2) ブレーキフルードリザーバータンク | (8) エンジンオイルフィルターキャップ |
| (3) エアクリーナー | (9) ドライブベルト |
| (4) CVTフルードレベルゲージ | (10) エンジンオイルレベルゲージ |
| (5) メインヒューズボックス | (11) ラジエーターキャップ |
| (6) 鉛バッテリー | (12) 冷却水リザーバータンク |

※ウォッシャータンクのキャップが閉めにくいときは、注入口の下に手を添えて閉めてください。



83S09301

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| (1) ウォッシャータンク(※) | (7) リレーボックスNo.1 |
| (2) ブレーキフルードリザーバータンク | (8) リレーボックスNo.2 |
| (3) エアクリーナー | (9) リレーボックスNo.3 |
| (4) オートギヤシフト(AGS)アクチュエーターフルードリザーバータンク | (10) エンジンオイルフィルターキャップ |
| (5) メインヒューズボックス | (11) ドライブベルト |
| (6) 鉛バッテリー | (12) エンジンオイルレベルゲージ |
| | (13) ラジエーターキャップ |
| | (14) 冷却水リザーバータンク |

※ウォッシャータンクのキャップが閉めにくいときは、注入口の下に手を添えて閉めてください。

次の機能は、必ず初期設定してください

項目	機能	初期設定が必要なとき
パワーウィンドー → 3-32ページ	はさみ込み防止機構 → 3-35ページ	鉛バッテリー端子やヒューズ (9-17、10-4ページ 参照) を外すなどしたとき

こんな機能が設定切替え（カスタマイズ）できます

次の機能の設定切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- キーレスプッシュスタートシステム
- アンサーバック機能（点灯箇所）

項目	機能	初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
キーレスプッシュ スタートシステム	キーレスプッシュスタートシステム の各発信機の機能	あり	なし
	携帯リモコン電池消耗警告の表示 (約15秒間) → 3-15ページ	あり	なし
	携帯リモコン検出範囲外警告ブザー の吹鳴 (1回) → 5-12ページ、5-16ページ	なし	あり
アンサーバック 機能 → 3-12ページ	非常点滅表示灯/室内灯による合図	非常点滅 表示灯 ／室内灯	室内灯のみ
	車外ブザーによる合図	あり	なし
リモート格納 ミラー → 2-12ページ	ドアの施錠やエンジンスイッチ操作 による連動動作	あり	なし

項目	機能	初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
セッティングモード → 4-25ページ	平均燃費の燃費リセット方法	非連動	給油連動 TRIP A連動
	時刻の調整	4-7ページ (時刻の設定)	
	時計の12h表示と24h表示	12h表示	24h表示
	日付の調整	4-8ページ (日付調整)	
	アンサーバック機能の車外ブザーによる合図	ON	OFF
	オートハイビーム（ハイビームアシスト）（タイプ別装備）	ON	OFF
	セキュリティアラームモード（ハイブリッド車以外）	Dモード (警報モード)	Aモード (警報なしモード)
	アイドリングストップ空調（タイプ別装備）	標準	燃費優先 快適優先
	先行車発進お知らせ機能（タイプ別装備）	ON	OFF
	標識認識機能（タイプ別装備）	ON	OFF

項目	機能		初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
セッティングモード → 4-25ページ	ディスプレイ 表示	時計表示	カレンダー ON	カレンダー OFF
		カレンダー表示	YYYY.MM.DD	DD.MM.YYYY MM.DD.YYYY
		燃費履歴表示	時間表示	運転サイクル 表示
		Motion履歴表示	表示ON	表示OFF
		アイドリング ストップ時間／ 節約燃料表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		アイドリング ストップ警告表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		エコスコア表示	表示ON	表示OFF
		交差点案内表示 (ナビゲーション 装備車)	表示ON	表示OFF
		表示優先設定 (ナビゲーション 装備車)	交差点案内 優先	標識認識 優先
	基本画面設定	燃費表示	表示ON	表示OFF
		燃費履歴表示	表示ON	表示OFF
		平均車速／ 走行時間表示	表示ON	表示OFF
		積算時間／ 節約燃料表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		時計表示	表示ON	表示OFF

項目	機能		初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
セッティングモード → 4-25ページ	基本画面設定	Motion表示	表示ON	表示OFF
		アクセル/ ブレーキ表示	表示ON	表示OFF
		エネルギーフロー 表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		パワーメータ表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		車速/ タコメータ表示	表示ON	表示OFF
	アニメーション 表示	オープニング設定	切替え	固定A 固定B
		警告表示	表示ON	表示OFF
	ヘッドアップ ディスプレイ (HUD) 表示設 定 (タイプ別装 備)	車速表示	表示ON	表示OFF
		シフト表示	表示ON	表示OFF
		時計表示	表示ON	表示OFF
		標識認識表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		交差点案内表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		クルーズ システム表示 (タイプ別装備)	表示ON	表示OFF
		空調表示	表示ON	表示OFF
		高温警告表示	表示ON	表示OFF
		オープニング 設定	切替え	A 固定 B 固定

サービスデータ

項目	機能	初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
セッティングモード → 4-25ページ	エコ照明設定	3色変化	青色固定
	設定のリセット	—	すべての設定 を 初 期 設 定 (工場出荷時) にもどす

数字

4WD車の運転 6-9
5分毎平均車速 4-15

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)
警告灯 4-56、5-199
装置 5-196

D

DCBS(デュアルカメラ
ブレーキサポート) 5-88

E

ECOモード表示灯 4-72
ECOモードスイッチ 3-47
ESP® 5-191
ESP® OFFスイッチ 5-193
ESP® OFF表示灯 4-67、5-194
ESP® 作動表示灯 4-67、5-192
EV表示灯 4-73

I

ISG 5-33
ISOFIX 2-49
ISOFIXお子さま用シート
固定対応取付装置 2-49

L

LEDヘッドライト警告灯 4-62

M

M(マニュアル)モード表示 4-21

R

R(リバース)ポジション
警告ブザー 5-55、5-70
READY表示灯 4-73

S

SRSエアバッグ 2-53
SRSエアバッグ警告灯 2-37、4-54
SRSエアバッグシステム 2-56
Sモードスイッチ 5-54
Sモード表示灯 4-67

U

USBソケット 7-40
USB電源ソケット 7-40

ア

アームレスト(ひじ掛け) 7-41
アイドリングストップ空調設定 5-45
アイドリングストップシステム 5-35
アイドリングストップシステム
OFFスイッチ 5-43
アイドリングストップシステム
OFF表示灯 4-68
アイドリングストップ表示灯 4-68
アクセサリソケット 7-13
アクセル/ブレーキ操作表示 4-17
アシストグリップ 7-19
アダプティブクルーズコントロール
..... 5-108、5-121
アダプティブクルーズコントロール
警告灯 4-62
アダプティブクルーズ
コントロールスイッチ
..... 5-111、5-124
アンサーバック機能 3-12
アンテナ 7-35

イ

イモビライザー警告灯 4-61、5-9
 イモビライザーシステム 5-8
 イラスト目次 1-2
 インパネアッパーボックス(リッド付)
 7-18
 インパネ収納スペース 7-16
 インパネロアボックス 7-18

ウ

ウインドー
 ウインドーロックスイッチ 3-33
 パワーウインドー 3-32
 フロントガラスの手入れ 9-4
 フロントガラスの
 室内側の手入れ 9-7
 ウインドーウォッシャー液の補充
 9-16
 ウォッシャー液
 9-16、9-36、10-2、10-4、10-5
 ウォッシャースイッチ 3-43
 植込み型心臓ペースメーカー 0-4
 運転席フロア 2-2

エ

エアコン、ヒーター
 オートエアコン 7-23
 吹出し口 7-22
 エアフィルター 7-33
 エコクール 5-44
 エコドライブ 6-11
 エネルギーフロー
 インジケーター 5-33
 エマージェンシー
 ストップシグナル(ESS) 5-200
 エンジンオイル 4-59、6-20、10-1
 エンジンキー 3-2
 エンジン警告灯 4-57
 エンジン自動停止・再始動 5-23、5-24
 エンジンスイッチ 5-6
 エンジンスイッチ照明 5-11
 エンジンスイッチもどし忘れ
 警告ブザー 5-18
 エンジンのかけかた 5-14
 エンジンの止めかた 5-17
 エンジンフード(ボンネット) 7-6
 エンジンブレイキ 6-5
 エンジンルームをのぞいて 10-4
 エンジンを止めるときは 5-17
 エンスト 8-3
 エンディングモード 4-19

オ

- オーディオ・・・・・・・・・・ 7-36
- オートエアコン・・・・・・・・ 7-23
- オートギヤシフト車
 - 運転・・・・・・・・・・ 5-72
 - セレクトレバー・・・・・・・・ 5-63
- オートマチック車
 - 運転・・・・・・・・・・ 5-58
 - セレクトレバー・・・・・・・・ 5-52
- オートレベリング警告灯・・・・ 4-57
- オーバーヒート・・・・・・・・ 8-37
- オイル(エンジンオイル)
 - ・・・・・・・・ 4-59、6-20、10-1
- 応急用スペアタイヤ
 - 取扱い・・・・・・・・ 8-24
- オーバーヘッドコンソール・・・・ 7-38
- お子さま用シート・・・・・・・・ 2-39
- お子さま用シートの
 - シートベルトによる固定・・・・ 2-47
- お子さま用シートの
 - 選択について・・・・・・・・ 2-41
- お子さまを乗せるときは・・・・ 2-22
- オドメーター(積算距離計)・・・・ 4-22

カ

- 外気導入
 - (エアコン、ヒーター)・・・・ 7-28
- 回生ブレーキ・・・・・・・・ 5-25
- 外装のお手入れ・・・・・・・・ 9-2
- ガソリン(燃料)・・・・・・・・ 7-5、10-1
- 仮眠するときは・・・・ 2-71、5-49
- ガラスアンテナ・・・・・・・・ 7-36
- ガレージジャッキ・・・・・・・・ 8-29
- 冠水した場所・・・・・・・・ 6-8
- 寒冷時の取扱い・・・・・・・・ 9-36

キ

- キー・・・・・・・・ 3-2
- キーナンバープレート・・・・ 3-3
- キーレスエントリー・・・・ 3-11
- キーレスブッシュスタート
 - システム・・・・・・・・ 5-10
- キックダウン・・・5-58、5-60、5-69、5-74
- ギヤポジション表示・・・・ 4-21
- 給油・・・・・・・・ 7-2、7-4、10-1

ク

- 空気圧・・・・・・・・ 10-3
- くもり取り(デフロスター)
 - ・・・・・・・・ 7-22、7-30
- くもり取り(リヤデフォッガー)・・・ 3-46
- クリープ現象・・・・・・・・ 5-57、5-68
- 車のお手入れ・・・・・・・・ 9-2
- グローブボックス・・・・・・・・ 7-18

ケ

警告灯 1-20
警告灯・表示灯の見かた 1-20、4-52
警告ブザー
 R(リバース)ポジション
 警告ブザー 5-55、5-70
 エンジンスイッチもどし忘れ
 警告ブザー 5-18
 警告ブザーが鳴ったときは 1-28
 携帯リモコン検出範囲外
 警告ブザー 5-12、5-16
 シートベルト警告ブザー 2-30
 パーキングブレーキ解除忘れ
 警告ブザー 5-47
 ハンドルロック未作動
 警告ブザー 5-18
 ライト消し忘れ警告ブザー 3-39
 リクエストスイッチ未作動
 警告ブザー 3-17
警告ラベル 1-7、2-58
携帯電話 6-3
携帯リモコン 3-13
携帯リモコン車外持ち出し警告 ... 5-13
携帯リモコン電池消耗警告 3-15
携帯リモコン閉じ込み防止機能 ... 3-17
携帯リモコンの電池交換 9-10
警報装置 3-28
けん引 8-5

コ

工具 1-16、1-17、1-18、8-14
光軸調整ダイヤル 3-41
後席シート 2-14
後席シートベルト警告灯 4-54
航続可能距離 4-14
後退時ブレーキサポート 5-147
後退時ブレーキサポート
 作動表示灯 4-70
後退灯 9-26、9-28、9-33
高電圧遮断機能 5-31
高電圧バッテリー 5-27
高電圧バッテリー冷却用
 空気取り入れ口 5-28
高電圧部位 5-29
後方誤発進抑制機能 5-150
故障したときは 8-2
誤発進抑制機能 5-93

サ

サービスデータ 10-1
サブランク 7-43
サンバイザー 7-8

シ

シート	2-4、2-14
シートアンダーボックス	7-20
シートサイドポケット	7-42
シートバックポケット	7-42
シートヒータースイッチ	2-8
シートベルト	2-29
シートベルト可変	
フォースリミッター	2-38
シートベルト警告ブザー	2-30
シートベルトプリテンショナー	2-37
事故が起きたときは	8-13
室内灯	7-10、9-35、10-3
シフトロック	5-53、5-61、5-65、5-76
車線逸脱警報	5-95
車線逸脱警報OFFスイッチ	5-136
車線逸脱警報OFF表示灯	4-70
車線逸脱警報作動表示灯	4-71
車線逸脱抑制機能	5-97
車線逸脱抑制機能	
ON/OFFスイッチ	5-99
車線逸脱抑制機能警告灯	4-63
ジャッキ (収納場所)	
	1-16、1-17、1-18、8-14
ジャッキアップ	
(タイヤチェーン)	6-16
ジャッキアップ	
(パンクしたとき)	8-28
車幅灯	9-26、9-28、9-30
車両接近通報装置	5-30、5-32
車両接近通報装置警告灯	4-64
集中ドアロック	
(パワードアロック)	3-9
充電警告灯	4-59
樹脂部品などの手入れ	9-6
出発の前に (お車の確認)	5-2
ジュニアシート	2-25、2-39、2-42
瞬間燃費	4-13
照明コントロール表示	4-19
助手席SRSエアバッグに関する	
警告ラベル	1-7、2-58
ショッピングフック	7-21
心臓ペースメーカー	0-4

ス

水温警告灯	4-56
スズキ セーフティ サポート	
後方	5-141
前方	5-78
スズキセーフティサポート	5-77
スタック (立ち往生)	6-16
ステアリングオーディオ	
スイッチ	7-37
ステータスインフォメーション	
ランプ	4-3
ステレオカメラ	5-78
スノーブレード	9-37
スピードメーター (速度計)	4-3
スペアタイヤ (応急用スペアタイヤ)	
取扱い	8-24
スライドドアクローザー	3-19
スライドレバー	2-5、2-14
スリムサーキュレーター	7-31

セ

制動灯	9-26、9-28、9-34
積算アイドリングストップ時間	4-16
積算節約燃料	4-16
積算走行時間	4-15
セキュリティアラーム	3-28
セキュリティアラーム	
インジケーター	3-31、4-71
セッティングモード	4-23、4-25
セレクトレバーの操作	5-52、5-63
セレクトレバー	
位置表示	4-21
先行車発進お知らせ機能	5-103
洗車	9-2
前照灯 (ヘッドライト)	
	9-24、9-26、9-28、9-29
前席シート	2-4
前席シートベルト警告灯	4-53
全方位モニター	5-168
設定の変更	5-184

ソ

走行中の注意 6-2
速度計(スピードメーター) 4-3

タ

タイマーロック機能 3-13
タイヤ
 応急修理したあとは 8-24
 応急修理のしかた 8-19
 空気圧 10-3
 交換したあとは 8-33
 交換するときは 9-9
 交換の準備 8-26
 チェーン 6-15、9-37
 取り付け・取り外し 8-31
 パンク応急修理セット 8-17
 冬用タイヤ 9-37
 ホイールサイズ 10-3
 ローテーション 9-8
 輪止め 5-48、9-37
タイヤチェーン 6-15、9-37
タコメーター 4-18
立ち往生 6-16
暖機運転 6-11

チ

チェーン(タイヤチェーン)
 6-15、9-37
チケットホルダー(サンバイザー)
 7-8
チャイルドシート 2-42
チャイルドプルーフ 3-10
駐車するときは
 5-47、5-61、5-76、6-13
超音波センサー 5-141
チルトステアリング 2-9

テ

停止表示板 8-2
低水温表示灯 4-67
デフロスター
 (エアコン、ヒーター) 7-22
デフロスタースイッチ 7-30
デュアルカメラブレーキサポート
 (DCBS) 5-88
デュアルカメラブレーキサポート
 (DCBS)OFFスイッチ 5-135
デュアルカメラブレーキサポート
 OFF表示灯 4-69
デュアルカメラブレーキサポート
 作動表示灯 4-69
電球
 電球の交換(ランプ類) 9-24
 電球の点検 9-24
 ワット数(ランプ類)
 9-26、9-28、10-3
点検 5-2、10-1
電源が切り替わらないときは 5-12
電源の切替え 5-11
電池交換(携帯リモコン) 9-10

ト

ドア 3-3
ドアの開閉 3-2
ドアポケット 7-39
ドアミラー 2-10
ドアミラー角度調節スイッチ 2-10
ドアミラー格納スイッチ 2-11
ドアミラーヒータースイッチ 2-13
ドアロック解除機能 3-10
凍結防止剤 6-13
凍結路 6-12
時計 4-7
登降坂変速制御 5-58、5-69
トランスミッション警告灯
 4-60、5-55、5-69
トリップメーター(区間距離計) 4-22
ドリンクホルダー 7-14

ナ

内気循環(エアコン、ヒーター)・・・ 7-28
内装のお手入れ・・・9-5
鉛バッテリー・・・ 5-4、9-36、10-2

ニ

日常点検・・・5-2

ネ

燃費

5分毎平均燃費・・・ 4-13
運転1回毎平均燃費・・・ 4-13
瞬間燃費・・・ 4-13
平均燃費・・・ 4-13
燃料・・・ 7-5、10-1
燃料給油口・・・ 7-2
燃料計・・・ 4-23
燃料残量警告灯・・・ 4-55
燃料タンク容量・・・ 10-1

ハ

パーキングブレーキ

寒冷時の取扱い・・・ 6-13
操作・・・ 5-45
パーキングブレーキ解除忘れ
警告ブザー・・・ 5-47
ブレーキ警告灯・・・ 4-52
パーソナルテーブル・・・ 7-44
ハイドロブレーキング現象・・・ 6-7
ハイビームアシスト警告灯・・・ 4-62
ハイビームアシスト作動表示灯・・・ 4-72
ハイビームアシスト・・・ 5-104
ハイブリッドシステム・・・ 5-19
ハイブリッドシステム警告灯・・・ 4-64
ハイマウントストップランプ
・・・ 9-26、9-28、9-29
はさみ込み防止機構・・・ 3-27、3-35
発炎筒・・・ 8-4
バックウインドーガラス
室内側の手入れ・・・ 9-8

バックドア・・・ 3-6、3-7
バックミラー(ルームミラー)・・・ 2-9
バッテリー
鉛バッテリー・・・ 5-4、9-36、10-2
鉛バッテリーあがり・・・ 8-34
バッテリーを点検して・・・ 5-3
リチウムイオンバッテリー・・・ 5-5
バッテリーあがり・・・ 8-34
パドルシフトスイッチ・・・ 5-67
バニティーミラー(サンバイザー)
・・・ 7-9
ハロゲンヘッドライト・・・ 9-26、9-29
パワーウインドー・・・ 3-32
パワーステアリング警告灯・・・ 4-58
パワースライドドアを使用するとき
・・・ 6-9
パワードアロック・・・ 3-9
パワースライドドア・・・ 3-20
パワースライドドアスイッチ・・・ 3-25
パワースライドドアボタン・・・ 3-25
パワースライドドア
メインスイッチ・・・ 3-22
パワースライドドア予約ロック・・・ 3-26
パワーパック・・・ 5-19
パンク
応急修理のしかた・・・ 8-19
タイヤ交換・・・ 8-26
番号灯・・・ 9-26、9-28、9-34
半ドア警告灯・・・ 4-61
ハンドルロックが
解除できないときは・・・ 5-8
ハンドルロック未解除警告・・・ 5-8
ハンドルロック未作動
警告ブザー・・・ 5-18

ヒ

ヒーター(エアコン)	7-22
オートエアコン	7-23
吹出し口	7-22
非常点滅表示灯	9-26、9-28、9-29、9-31、9-33
非常点滅表示灯スイッチ	3-42
尾灯	9-26、9-28、9-34
標識認識機能	5-136
日よけ(サンバイザー)	7-8
ヒルホールドコントロール	5-195

フ

ブースターケーブル	8-34
フォグランプ	9-26、9-28
フォグランプスイッチ	3-40
フットレスト	7-19
フューエルキャップホルダー	7-3
フューエルリッド	7-2
ふらつき警報	5-102
ブレーキ ブレーキ液	10-2
ブレーキ警告灯	4-52
ブレーキ倍力装置 ...	5-17、6-4、8-10
ブレーキリクエストインジケーター	4-63
フロント(前席)シート	2-4
フロントウォッシャースイッチ ...	3-44
フロントフォグランプ 点灯表示灯	4-66
フロントワイパースイッチ	3-44

ヘ

平均車速	4-15
平均燃費	4-13
ヘッドアップディスプレイ	5-158
ヘッドライト(前照灯)	9-24、9-26、9-28、9-29
ヘッドライト上向き(ハイビーム) 表示灯	4-66
ヘッドレスト 前席	2-7
後席	2-16
ベビーシート	2-42

ホ

ホイールサイズ	10-3
方向指示器	9-26、9-28、9-29、9-31
方向指示器スイッチ	3-42
方向指示器表示灯	4-66
ホーンスイッチ	3-45
ボンネット	7-6

マ

マイルドハイブリッド	5-33
マスターウォーニング	4-65
マニュアルモード マニュアルモードシフト警告 ...	5-67
マニュアルモードの使いかた ...	5-66
マルチインフォメーション ディスプレイ	4-4
万一のとき	8-1

ミ

ミラー ドアミラー	2-10
パニティーミラー (サンバイザー)	7-9
ルームミラー	2-9

メ

- メーターの明るさ調整…………… 4-19
- メーターの見かた…………… 4-2
- メーター
 - マルチインフォメーション
 - ディスプレイ…………… 4-4

ユ

- 油圧警告灯…………… 4-59
- 雪道を走行するとき…………… 6-12

ヨ

- よくあるご質問…………… 1-39
- 横風が強いときは…………… 6-6

ラ

- ライト消し忘れ警告ブザー…………… 3-39
- ライト自動消灯システム…………… 3-39
- ライトスイッチ…………… 3-37
- ライト点灯表示灯…………… 4-66
- ラゲッジアンダーボックス…………… 7-44
- ラゲッジボード…………… 7-43
- ラジエーターキャップ
 - …………… 8-38、10-4、10-5
- ランプ
 - 室内灯…………… 10-3
 - 制動灯／尾灯…………… 9-34
 - 電球の交換(ランプ類)…………… 9-24
 - ハイマウントストップランプ… 9-29
 - 番号灯…………… 9-34
 - フォグランプ…………… 9-29
 - ヘッドライト…………… 9-29
 - 方向指示器／非常点滅表示灯
 - …………… 9-29、9-31、9-33
 - リヤコンビネーションランプ… 9-33
 - ワット数(ランプ類)…………… 9-26、9-28
 - 車幅灯…………… 9-30

リ

- リクエストスイッチ…………… 3-16
- リクエストスイッチ未作動
 - 警告ブザー…………… 3-17
- リクライニングレバー…………… 2-6、2-15
- リジッドラック…………… 8-29
- リチウムイオンバッテリー…………… 5-5
- リバース(R)ポジション
 - 警告ブザー…………… 5-55、5-70
- リモート格納ミラー…………… 2-12
- リヤ(後席)シート…………… 2-14
- リヤウォッシャースイッチ…………… 3-45
- リヤクォーターガラス／バックドア
 - ガラスの室内側の手入れ…………… 9-8
- リヤコンビネーションランプ…………… 9-33
- リヤデフォッガースイッチ…………… 3-46
- リヤパーキングセンサー作動表示灯
 - …………… 4-72
- リヤパーキングセンサー…………… 5-154
- リヤワイパースイッチ…………… 3-44

ル

- ルーフアンテナ…………… 7-35
- ルームミラー…………… 2-9
- ルームランプ(室内灯)…………… 7-10、10-3

レ

- 冷却水(ラジエーター液)
 - 寒冷時の取扱い…………… 9-36
 - 規定水量…………… 10-1
- レッカーけん引…………… 8-5

ロ

- ローブけん引…………… 8-7
- ロールサンシェード…………… 7-9

ワ

ワイパー

寒冷時の取扱い 9-37

ワイパースイッチ 3-43

ワイパーブレードラバーの交換 ... 9-12

ワックス 9-2

ワンアクションスイッチ 3-24

[illegible]

MEMO

[illegible]